

令和6年度宮城地方最低賃金審議会 第1回宮城県自動車小売業最低賃金専門部会  
【資料一覧】

令和6年9月30日開催

番号	資料名
1	宮城地方最低賃金審議会宮城県自動車小売業最低賃金専門部会委員名簿
2	宮城地方最低賃金審議会宮城県自動車小売業最低賃金専門部会運営規程(案)
3	令和6年度宮城県特定最低賃金改正の申出状況及び申出書
4	労働協約における賃金の最低額(宮城県特定最低賃金対象業種)
5	令和5年度宮城県特定最低賃金適用事業場数及び適用労働者数
6	令和6年最低賃金に関する基礎調査結果(自動車小売業)
7	令和6年最低賃金に関する基礎調査結果(地域別最低賃金対象産業)
8	特定最低賃金改定状況
9	賃金関連統計
10	事業動向関連統計
11	雇用情勢関連統計
12	経済情勢

## 宮城地方最低賃金審議会

## 宮城県自動車小売業最低賃金専門部会委員名簿

令和6年9月6日任命

定数 9名	公益を代表する委員 労働者を代表する委員 使用者を代表する委員	3名 3名 3名	任期	専門部会を廃止 するまでの間
委員				
	氏名	職名等		
	《公益を代表する委員》			
	小幡 佳緒里	弁護士		
	熊谷 真宏	公認会計士		
	桑原 真弓	東北福祉大学教授		
	《労働者を代表する委員》			
	井上 淳	自動車総連宮城地方協議会副議長		
	長澤 裕之	自動車総連宮城地方協議会事務局長		
	新関 直人	U Aゼンセン宮城県支部次長		
	《使用者を代表する委員》			
	片倉 正幸	有限会社ステージワン代表取締役		
	鈴木 勝志	一般社団法人宮城県自動車販売店協会 総務課長 兼務 事業課長		
	千田 茂穂	宮城三菱自動車販売株式会社代表取締役社長		

注. 委員の配列は五十音順による。

## 宮城地方最低賃金審議会 宮城県自動車小売業最低賃金専門部会運営規程（案）

### （目的）

第1条 宮城地方最低賃金審議会に設置する宮城県自動車小売業最低賃金専門部会（以下「専門部会」という。）の議事運営は、最低賃金法（昭和34年法律第137号）及び最低賃金審議会令（昭和34年政令第163号）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

### （構成）

第2条 専門部会の委員の数は、9人とする。

### （会議の招集）

第3条 専門部会の会議（以下「会議」という。）は、部会長が必要と認めたときのほか、宮城労働局長（以下「局長」という。）又は3人以上の委員から開催の請求があったとき、部会長が招集する。

- 2 前項の規程により、局長又は委員が会議の開催を請求しようとする場合には、付議事項及び希望期日を、少なくとも当該期日の1週間前までに、部会長に通知しなければならない。
- 3 部会長は、会議を招集しようとするときには、緊急やむを得ない場合のほか、少なくとも3日前までに、付議事項、日時及び場所を委員に通知するとともに、局長に通知するものとする。

### （委員の欠席）

第4条 部会長が必要であると認めるときは、テレビ会議システム（映像と音声の送受信により、相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。次項においても同じ）を利用する方法によって、会議に出席することができる。

- 2 テレビ会議システムを利用する方法による会議の出席は、最低賃金審議会令第6条第6項により準用する同令第5条第2項及び第3項に規定する会議への出席に含めるものとする。
- 3 委員は、病気その他の事由によって会議に出席できないときは、その旨を部会長に適当な方法で通知しなければならない。
- 4 委員は、旅行その他の事由によって長期間不在となるときは、あらかじめ部会長に適当な方法で通知しなければならない。

### （会議の議事）

第5条 部会長は、会議の議長となり、議事を整理する。

- 2 委員は、会議において発言しようとするときは、部会長の許可を受けるものとする。
- 3 専門部会は、部会長が必要があると認めるときは、委員でない者の説明又は意見

を聴くことができる。

(会議の公開)

第6条 会議は原則として公開する。ただし、公開することにより、個人情報の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合には、部会長は、会議を非公開とすることができる。

2 部会長は、会議における秩序の維持のため、傍聴人の退場を命じるなど必要な措置をとることができる。

(議事録及び議事要旨)

第7条 会議の議事については、議事録を作成するものとする。

2 議事録及び会議の資料は、原則として公開とする。ただし、公開することにより、個人情報の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合には、部会長は、議事録及び会議の資料の一部又は全部を非公開とすることができる。

3 議事録を非公開とする場合には、議事要旨を作成し公開するものとする。

(報告)

第8条 部会長は、専門部会が議決を行ったときは、宮城地方最低賃金審議会に報告するものとする。

(専門部会の廃止)

第9条 各専門部会は、その専門部会に係る最低賃金についての審議会の意見に関する意義の申出期間が満了したときをもって、これを廃止する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、議事及び運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附則

(施行期日)

この規程は、令和 年 月 日から施行する。

## 令和6年度 宮城県特定最低賃金改正の申出状況

令和6年7月18日現在

改正・新設 ・廃止の別	件名・適用業種の範囲	申出 年月日	申出者 (団体名)	ケース	適用 事業場数	適用 労働者数	合意者数	合意率	備考
改正	宮城県鉄鋼業最低賃金 E22(2211、2251、2252、 229、220を除く)、L7282	R6.7.18	基幹労連 宮城県本部 委員長 青田 浩一	労働協約	13	1,400	802	57.3%	
改正	宮城県電子部品・デバイス・ 電子回路、電気機械器具、 情報通信機械器具製造業 最低賃金 E28、29、30、L7282	R6.7.18	電機連合 宮城地方協議会 議長 佐藤 斉 JAM南東北 宮城県連絡会 会長 佐藤 俊晴	公正競争	312	14,640	9,279	63.4%	
改正	宮城県自動車小売業 最低賃金 I591(5914を除く)、I590、 L7282	R6.7.18	自動車総連宮城地方 協議会 議長 杉山 剛		831	7,170	4,547	63.4%	

2024年7月18日

宮城労働局長  
小宅 栄作 殿

仙台市宮城野区港1-6-1  
基幹労連宮城県本部  
委員長 青田 浩一 印

## 申 出 書

最低賃金法第15条1の規定により、宮城県鉄鋼産業における最低賃金の改定の決定を下記の通り申し出る。

### 記

#### 1. 申し出る者が代表する基幹的労働者の範囲

宮城県において、鉄鋼業を営む使用者に使用される労働者数

1,400名

#### 2. 最低賃金の適用を受けるべき基幹的労働者の範囲

宮城県において、鉄鋼業を営む使用者に使用される労働者。但し、次に掲げる者を除く。

- 18歳未満及び65歳以上。
- 雇い入れ後3ヶ月未満の者であって、技能習得中の者。
- 清掃又は片付け業務に主として従事する者。  
尚、「技能習得中の者」とは、企業において実施される技能養成の対象となっている者をいうが、この場合の「技能習得中の者」とは、職業能力開発促進法に基づく職業訓練に限定されるものではないが、次の要件に該当するものであること。
  - 当該業務に従事した経験がない者で、直ちに業務の遂行が期待できない業務について認められること。したがって、離転職者を含め、ある程度当該業務に従事した経験のある者を対象とするものは含まれないこと。
  - 職場の内外において、集合的に実施されるもののほか、OJT（業務遂行の過程内において仕事を通じて行われる教育訓練）も含まれること。
  - 修得させるべき技能の内容、及び技能養成の実施期間が明確であり、かつ計画性をもって実施されるものであること。
  - 技能養成を実施する担当者、又は責任者が定められていること。

### 3. 決定を申し出る最低賃金の件名

宮 城 県 鉄 鋼 業 最 低 賃 金

### 4. 申し出の内容

上記2つの基幹的労働者に適用される最低賃金の改訂、決定を求めるものである。最低賃金額については、最低賃金法第15条第2項に基づいて最低賃金審議会の決定とする。

### 5. 申し出の理由

賃金の最低額に関する労働協約の適用労働者が概3分の1以上  
(協約率は802名/1,400名×100=57.3%)に達していること。  
最も低い労働協約の金額 1116円/時間額  
現在適用されている法定最低賃金額 1003円/時間額

### 6. 添付書類

- ① 労使による最低賃金に関する協定書
- ② 申告代表者に対する委任書
- ③ 宮城県下における鉄鋼業の事業者数と労働者の概要

以上

令和6年(2024年)7月18日

厚生労働省宮城労働局  
局長 小宅 栄作 殿

仙台市青葉区本町2-12-7  
電機連合宮城地方協議会  
議長 佐藤 斉

仙台市宮城野区東仙台4-2-76  
JAM南東北宮城県連絡会  
会長 佐藤 俊晴

## 申 出 書

最低賃金法第15条第1項の規定により、宮城県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業の最低賃金の改正を求める申出を行うことに合意し、下記のとおり申し出る。

記

### 1. 申出する者が代表する基幹的労働者の範囲

宮城県において、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業を営む使用者に使用される労働者。

9, 279名

### 2. 最低賃金の適用を受けるべき基幹的労働者の範囲

宮城県において、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業又は純粋持株会社（管理する全子会社を通じて主要な経済活動が電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業又は情報通信機械器具製造業に分類されるものに限る）を営む使用者に使用されている労働者。

14, 640名

### 3. 改正を申し出る最低賃金の件名

「宮城県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」

### 4. 申出の内容

上記3の最低賃金改正決定を求める。尚、最低賃金額は、最低賃金法第15条第2項に基づく最低賃金審議会の決定による。



## 5. 申出の理由

- (1) 申出産業は、宮城県における基幹産業であり、生産額・出荷額のみならず、雇用者数のウェイトも高く、県内の賃金秩序に与える影響が極めて大きい。また、非正規労働者を含めた申出産業で働く労働者全体の賃金の底上げ、底支えをはかることにより生活の安定に寄与する。
- (2) 申出産業においては、同種の基幹的労働者の賃金格差が存在する等のため、事業の公正競争を確保する観点から、当該最低賃金の適用を受けるべき労働者の概ね3分の1以上の合意をもって、法定最低賃金改正の決定を求めるものである。
- (3) 宮城県、他業種、特定産業別最低賃金（鉄鋼業、自動車小売業）との格差是正を求めるものである。
- (4) 申出産業に現在適用されている法定特定最低賃金額

**時間額 959円**（令和5年(2023年)12月15日発効）

尚、賃金格差についての疎明資料は別添資料の通りである。

## 6. 添付書類

- ・疎明資料
- ・改正に合意する者の事業所と適用労働者数の一覧
- ・労働協約の写し
- ・最低賃金必要性の決議書

以 上

2024年7月18日

宮城労働局長  
小宅 栄作 殿

仙台市宮城野区苦竹2丁目6-26  
自動車総連宮城地方協議会  
議長 杉山 剛

## 申 出 書

最低賃金法第15条第1項の規定により、宮城県自動車小売業の最低賃金の改正の決定を下記の通り申し出る。

### 記

1. 申し出する者が代表する基幹的労働者の範囲

「宮城県において自動車小売業（二輪自動車小売業（原動機付自転車を含む）を除く。以下同じ）、当該産業において管理、補助的経済活動を行う事業所又は純粋持株会社（管理する全子会社を通じての主要な経済活動が自動車小売業に分類されるものに限る。）を営む使用者に使用される労働者」

2. 改正の決定を申し出る最低賃金の件名

宮城県自動車小売業最低賃金

3. 申し出の内容

上記2の最低賃金の改正の決定を求める。なお、最低賃金は、最低賃金法第15条第2項に基づく最低賃金審議会の決定による。

4. 申し出の理由

(1) 申し出産業における事業の公正競争を確保する観点から、当該産業別最低賃金の用を受けるべき労働者の概3分の1以上の合意をもって、法定最低賃金の改正の決定を求めるものである。

(2) 申し出産業は、労働者数、工場出荷額、生産台数（売上高、販売台数）などからみて地域社会の賃金秩序に与える影響が大きく、雇用、消費など地域経済においても重要な役割を果たしているため。

【添付資料】

宮城県における自動車小売業の事業所数と、労働者の概数及び合意の効力の及ぶ労働者の範囲

1. 宮城県における自動車小売業の事業数と、労働者の概数

産業小分類	事業所数	労働者数
自動車小売業	831 事業所	7,170 人

2. 1のうち、最低賃金の必要性に合意する労働者数

合意のケース	事業所数	労働者数
労使協定	5 事業所	2,357 人
機関決定	13 事業所	2,190 人
合計	18 事業所	4,547 人

令和6年7月現在  
宮城県鉄鋼業  
の労働協約における賃金の最低額

時間額 1, 1 1 6円

令和6年7月現在  
宮城県電子部品・デバイス・電子回路、  
電気機械器具、情報通信機械器具製造業  
の労働協約における賃金の最低額

時間額 1,086 円

令和6年7月現在  
宮城県自動車小売業（二輪自動車小売業を除く）  
の労働協約における賃金の最低額

時間額 1,042 円

## 令和5年度 宮城県特定最低賃金適用事業場数及び適用労働者数

	適用事業場数	適用労働者数
鉄鋼業	13 (13)	1,400 (1,410)
電子部品・デバイス・電子回路、 電気機械器具、情報通信機械器 具製造業	312 (314)	14,640 (14,210)
自動車小売業	831 (917)	7,170 (7,950)
産業別最低賃金合計	1,156 (1,244)	23,210 (23,570)

※ 令和5年12月1日現在の集計数である。

※ 令和3年経済センサス活動調査（母集団DB（令和3年次フレーム））等に  
基づき推計した数値である。

※ カッコ内は前年度の数字である。

---

---

令和6年 最低賃金に関する基礎調査結果報告

調査結果の概要（表・グラフ）  
【自動車小売業】

---

---

令和6年 9月 作成

宮 城 労 働 局



# 目 次

1 最低賃金に関する基礎調査(概要).....	1
2 用語の説明.....	2
3 調査対象産業表.....	3
4 令和6年最低賃金に関する基礎調査結果.....	4
5 令和6年度影響率表.....	8
6 対象労働者別分位数等グラフ.....	9
7 中計・明細別分位数等グラフ.....	13
8 年齢別時間当たり賃金額.....	14
9 地域別時間当たり賃金額の推移.....	15
10 男女別時間当たり賃金額の推移.....	17
11 未満率の推移.....	18

# 1 最低賃金に関する基礎調査(概要)

調査の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方最低賃金審議会における最低賃金の決定及び改正等の審議に資すること</li> <li>・中小規模の事業所の労働者の賃金の実態等を把握すること</li> </ul>
調査対象 (産業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業(E)</li> <li>・情報通信業(G)のうち新聞業(G413)及び出版業(G414)</li> <li>・卸売業, 小売業(I)</li> <li>・学術研究, 専門・技術サービス業(L)</li> <li>・宿泊業, 飲食サービス業(M)</li> <li>・生活関連サービス業, 娯楽業(N)</li> <li>・医療, 福祉(P)</li> <li>・サービス業(他に分類されないもの)(R)</li> </ul> <p>※ ただし、上記の産業以外の産業において特定最低賃金が設定されており、当該特定最低賃金の審議に必要な場合は、上記の産業以外の産業であっても調査の対象とする。</p>
(事業所)	<p>事業所規模30人未満の民営事業所 (製造業(E)、情報通信業(G)は100人未満)</p> <p>※ ただし、特定最低賃金が設定されている産業が、常用労働者30人若しくは100人以上を雇用している事業所が多くを占めており、特定最低賃金の審議に必要な場合は、30人若しくは100人以上を雇用している事業所も調査の対象とする。</p>
(労働者)	当年6月1日において雇用される労働者
調査時期	毎年5～6月
調査方法	郵送+オンライン
主な調査結果	・未満率、影響率(総括表)

## 2 用語の説明

### 地域について

- 仙 台 市 : 仙台市  
仙 台 市 周 辺 : 塩釜市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、  
亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町  
郡 部 : 仙台市と仙台市周辺を除く市町村

### 統計用語

- 中 位 数 : 労働者の賃金を低いものから一列に並べ、それを二等分し、真ん中の節（ふし）に当たる労働者の賃金額  
第一・四分位数 : 同様に四等分して低いほうから最初の節に当たる労働者の賃金額  
第一・十分位数 : 同様に十等分して低いほうから最初の節に当たる労働者の賃金額  
第一・二十分位数 : 同様に二十等分して低いほうから最初の節に当たる労働者の賃金額

未 満 率 : 最低賃金を改正する前に、最低賃金を下回っている労働者の割合  
(最低賃金の減額特例許可を受けている労働者等も含まれる)

影 響 率 : 最低賃金を改定した後に、改定後の最低賃金を下回ることになる労働者の割合  
(すなわち、最低賃金の改定に伴い、法の強制力により、賃金の引上げを行う必要のある労働者の比率である。引上げ額が大きければ、影響率が上がり、引上げ率が小さければ、影響率は下がることとなる。)

### 3 調査対象産業表

総計	大計	中計	明細
調査対象産業計	地域最賃対象産業	00 特定(産業別)最賃適用除外者及び年齢除外者	01 特定(産業別)最賃適用除外者及び年齢除外者
		01 地域最賃適用製造業	02 E-製造業 E(特賃除く)
		02 地域最賃適用卸売業, 小売業	04 I-卸売業, 小売業 I(特賃を除く)
		03 地域最賃適用 学術研究, 専門・技術サービス業, 新聞業, 出版業	03 G-情報通信業のうち新聞業(G413), 出版業(G414) G413, G414
			05 L-学術研究, 専門技術サービス業 L
		04 地域最賃適用宿泊業, 飲食サービス業	06 M-宿泊業, 飲食サービス業 M
		05 地域最賃適用生活関連サービス業, 娯楽業	07 N-生活関連サービス業, 娯楽業 N
		06 地域最賃適用医療, 福祉	08 P-医療・福祉 P
	07 地域最賃適用サービス業(他に分類されないもの)	09 R-サービス業(他に分類されないもの) R	
	特定(産業別)最賃対象産業	08 鉄鋼業	10 鉄鋼業 E22 (2211, 2251, 2252, 229, 220を除く)
		09 電子部品・デバイス・電子回路, 電気機械器具, 情報通信機械器具製造業	11 電子部品・デバイス・電子回路製造業 E28
			12 電気機械器具製造業 E29
			13 情報通信機械器具製造業 E30
	10 自動車小売業	14 自動車(新車)小売業 I5911	
		15 中古自動車小売業 I5912	
		16 自動車部品・附属品小売業 I5913	

#### 4 令和6年 最低賃金に関する基礎調査結果（自動車小売業）

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
自動車 小売業	中計10	5,929 人	1,536 円	1,451 円	1,223 円	1,081 円	1,000 円	1.7 %
	男	4,716 人	1,610 円	1,523 円	1,294 円	1,150 円	1,062 円	0.7 %
	女	1,213 人	1,251 円	1,188 円	1,078 円	1,000 円	969 円	5.8 %
	パート	379 人	1,100 円	1,100 円	1,000 円	986 円	925 円	9.2 %
	仙台市	2,445 人	1,589 円	1,481 円	1,262 円	1,118 円	1,050 円	0.4 %
	仙台市周辺	1,019 人	1,543 円	1,485 円	1,225 円	1,100 円	986 円	2.8 %
	郡部	2,465 人	1,481 円	1,395 円	1,190 円	1,033 円	1,000 円	2.5 %
	10～29人	4,369 人	1,561 円	1,471 円	1,237 円	1,100 円	1,040 円	0.8 %
	1～9人	1,560 人	1,466 円	1,404 円	1,190 円	1,000 円	986 円	4.3 %
令和5 年度調査	中計10	5,845 人	1,492 円	1,414 円	1,185 円	1,030 円	967 円	2.8 %
	男	4,768 人	1,553 円	1,473 円	1,256 円	1,089 円	1,009 円	1.7 %
	女	1,077 人	1,222 円	1,155 円	1,000 円	950 円	913 円	8.0 %
	パート	237 人	1,143 円	1,000 円	960 円	946 円	897 円	9.0 %
	仙台市	2,569 人	1,499 円	1,433 円	1,175 円	1,050 円	992 円	1.8 %
	仙台市周辺	911 人	1,547 円	1,463 円	1,250 円	1,071 円	966 円	3.5 %
	郡部	2,366 人	1,464 円	1,381 円	1,180 円	1,000 円	953 円	3.7 %
	10～29人	4,190 人	1,514 円	1,430 円	1,198 円	1,056 円	980 円	2.2 %
	1～9人	1,655 人	1,438 円	1,380 円	1,153 円	1,000 円	950 円	4.3 %

## 4 令和6年 最低賃金に関する基礎調査結果 (I5911)

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
自動車 (新車) 小売業	I5911	4,072 人	1,581 円	1,489 円	1,262 円	1,118 円	1,050 円	1.0 %
	男	3,385 人	1,644 円	1,561 円	1,327 円	1,172 円	1,094 円	0.3 %
	女	687 人	1,269 円	1,222 円	1,114 円	1,009 円	986 円	4.5 %
	パート	65 人	1,075 円	1,050 円	1,000 円	986 円	833 円	6.0 %
	仙台市	1,745 人	1,595 円	1,484 円	1,267 円	1,144 円	1,082 円	0.1 %
	仙台市周辺	673 人	1,591 円	1,516 円	1,256 円	1,073 円	986 円	3.0 %
	郡部	1,654 人	1,562 円	1,479 円	1,261 円	1,101 円	1,032 円	1.2 %
	10～29人	3,534 人	1,590 円	1,489 円	1,271 円	1,142 円	1,076 円	0.6 %
	1～9人	538 人	1,522 円	1,472 円	1,237 円	1,000 円	986 円	4.0 %
令和5 年度調査	I5911	3,996 人	1,531 円	1,447 円	1,217 円	1,081 円	1,000 円	2.3 %
	男	3,334 人	1,586 円	1,501 円	1,279 円	1,112 円	1,050 円	1.2 %
	女	662 人	1,254 円	1,203 円	1,081 円	961 円	908 円	8.2 %
	パート	102 人	1,075 円	1,000 円	950 円	935 円	890 円	17.4 %
	仙台市	1,713 人	1,536 円	1,461 円	1,220 円	1,087 円	1,038 円	1.1 %
	仙台市周辺	669 人	1,565 円	1,490 円	1,239 円	1,064 円	966 円	3.9 %
	郡部	1,614 人	1,512 円	1,414 円	1,211 円	1,060 円	972 円	3.0 %
	10～29人	3,441 人	1,548 円	1,456 円	1,231 円	1,089 円	1,032 円	1.3 %
	1～9人	555 人	1,427 円	1,381 円	1,127 円	946 円	909 円	8.6 %

#### 4 令和6年 最低賃金に関する基礎調査結果 (I5912)

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
中古自動車小売業	15912	1,043 人	1,491 円	1,380 円	1,180 円	1,000 円	986 円	4.5 %
	男	777 人	1,565 円	1,456 円	1,274 円	1,078 円	1,000 円	3.8 %
	女	265 人	1,276 円	1,141 円	1,000 円	969 円	930 円	15.4 %
	パート	118 人	1,080 円	1,000 円	986 円	930 円	925 円	17.0 %
	仙台市	536 人	1,592 円	1,447 円	1,250 円	1,042 円	1,000 円	1.6 %
	仙台市周辺	101 人	1,473 円	1,319 円	1,154 円	986 円	975 円	6.3 %
	郡部	406 人	1,363 円	1,316 円	1,147 円	986 円	969 円	7.8 %
	10～29人	448 人	1,535 円	1,380 円	1,215 円	1,050 円	986 円	3.3 %
	1～9人	595 人	1,458 円	1,375 円	1,177 円	1,000 円	975 円	5.4 %
令和5年度調査	15912	1,036 人	1,387 円	1,311 円	1,089 円	980 円	950 円	4.9 %
	男	769 人	1,470 円	1,378 円	1,180 円	1,048 円	973 円	3.5 %
	女	268 人	1,147 円	1,053 円	980 円	950 円	909 円	9.0 %
	パート	119 人	1,207 円	1,090 円	1,000 円	950 円	950 円	3.0 %
	仙台市	495 人	1,380 円	1,229 円	1,048 円	980 円	965 円	2.5 %
	仙台市周辺	120 人	1,441 円	1,336 円	1,136 円	1,071 円	1,047 円	4.5 %
	郡部	421 人	1,378 円	1,333 円	1,136 円	957 円	937 円	7.8 %
	10～29人	404 人	1,343 円	1,273 円	1,053 円	980 円	930 円	8.5 %
	1～9人	633 人	1,414 円	1,333 円	1,100 円	980 円	950 円	2.6 %

#### 4 令和6年 最低賃金に関する基礎調査結果 (I5913)

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
自動車部分品・付属品小売業	15913	814 人	1,370 円	1,270 円	1,107 円	1,010 円	1,000 円	1.7 %
	男	553 人	1,461 円	1,416 円	1,202 円	1,100 円	1,000 円	0.7 %
	女	261 人	1,178 円	1,116 円	1,061 円	1,000 円	986 円	3.8 %
	パート	197 人	1,120 円	1,100 円	1,010 円	986 円	923 円	5.6 %
	仙台市	164 人	1,517 円	1,465 円	1,262 円	1,202 円	1,116 円	0.0 %
	仙台市周辺	246 人	1,441 円	1,420 円	1,200 円	1,100 円	1,100 円	1.0 %
	郡部	405 人	1,267 円	1,150 円	1,022 円	1,000 円	1,000 円	2.7 %
	10～29人	387 人	1,331 円	1,210 円	1,100 円	1,010 円	1,000 円	0.0 %
	1～9人	427 人	1,405 円	1,369 円	1,181 円	1,022 円	986 円	3.2 %
令和5年度調査	15913	813 人	1,436 円	1,392 円	1,166 円	977 円	953 円	2.7 %
	男	666 人	1,485 円	1,452 円	1,232 円	1,028 円	971 円	2.0 %
	女	147 人	1,212 円	1,212 円	966 円	953 円	939 円	5.9 %
	パート	16 人	1,083 円	1,000 円	955 円	950 円	950 円	0.0 %
	仙台市	361 人	1,486 円	1,471 円	1,204 円	1,040 円	970 円	3.9 %
	仙台市周辺	122 人	1,550 円	1,518 円	1,343 円	1,147 円	1,000 円	0.0 %
	郡部	330 人	1,338 円	1,321 円	1,028 円	966 円	953 円	2.4 %
	10～29人	346 人	1,372 円	1,362 円	1,011 円	966 円	953 円	4.1 %
	1～9人	468 人	1,483 円	1,428 円	1,275 円	1,085 円	1,000 円	1.7 %



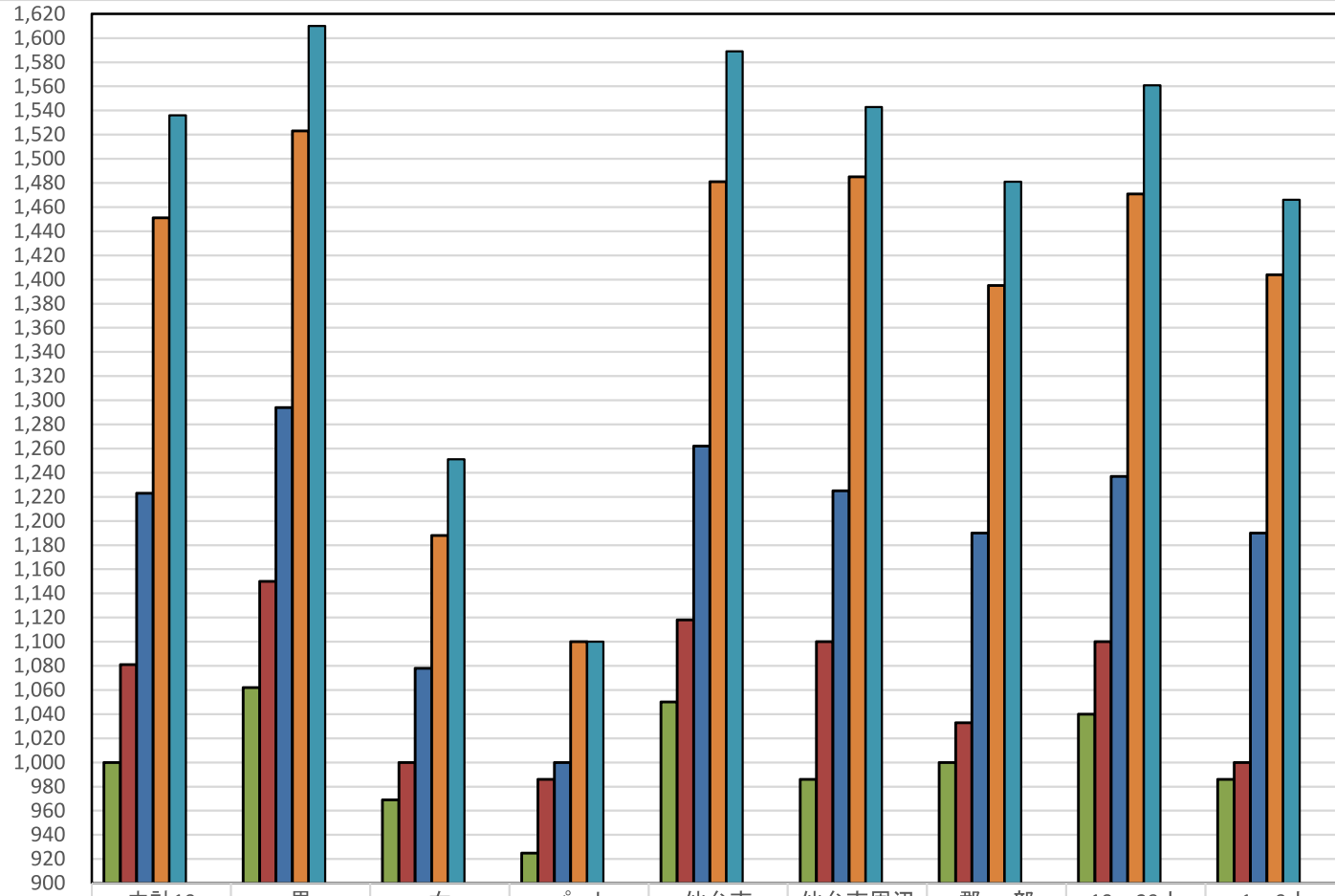
5 令和6年度影響率表（自動車小売業）

調査対象労働者数：5,929人  
男女計・全地域

賃金（円）	加算額（円）	分布労働者数	影響率（％）
～985		102	
986		52	1.72（未満率）
987	1	4	2.59
988	2	3	2.66
989	3	0	2.71
990	4	31	2.71
991	5	0	3.23
992	6	0	3.23
993	7	0	3.23
994	8	3	3.23
995	9	0	3.28
996	10	0	3.28
997	11	0	3.28
998	12	0	3.28
999	13	2	3.28
1,000	14	122	3.32
1,001	15	0	5.37
1,002	16	0	5.37
1,003	17	4	5.37
1,004	18	3	5.43
1,005	19	0	5.49
1,006	20	0	5.49
1,007	21	0	5.49
1,008	22	10	5.49
1,009	23	6	5.65
1,010	24	19	5.75
1,011	25	0	6.07
1,012	26	0	6.07
1,013	27	0	6.07
1,014	28	3	6.07
1,015	29	0	6.12
1,016	30	0	6.12
1,017	31	0	6.12
1,018	32	0	6.12
1,019	33	0	6.12

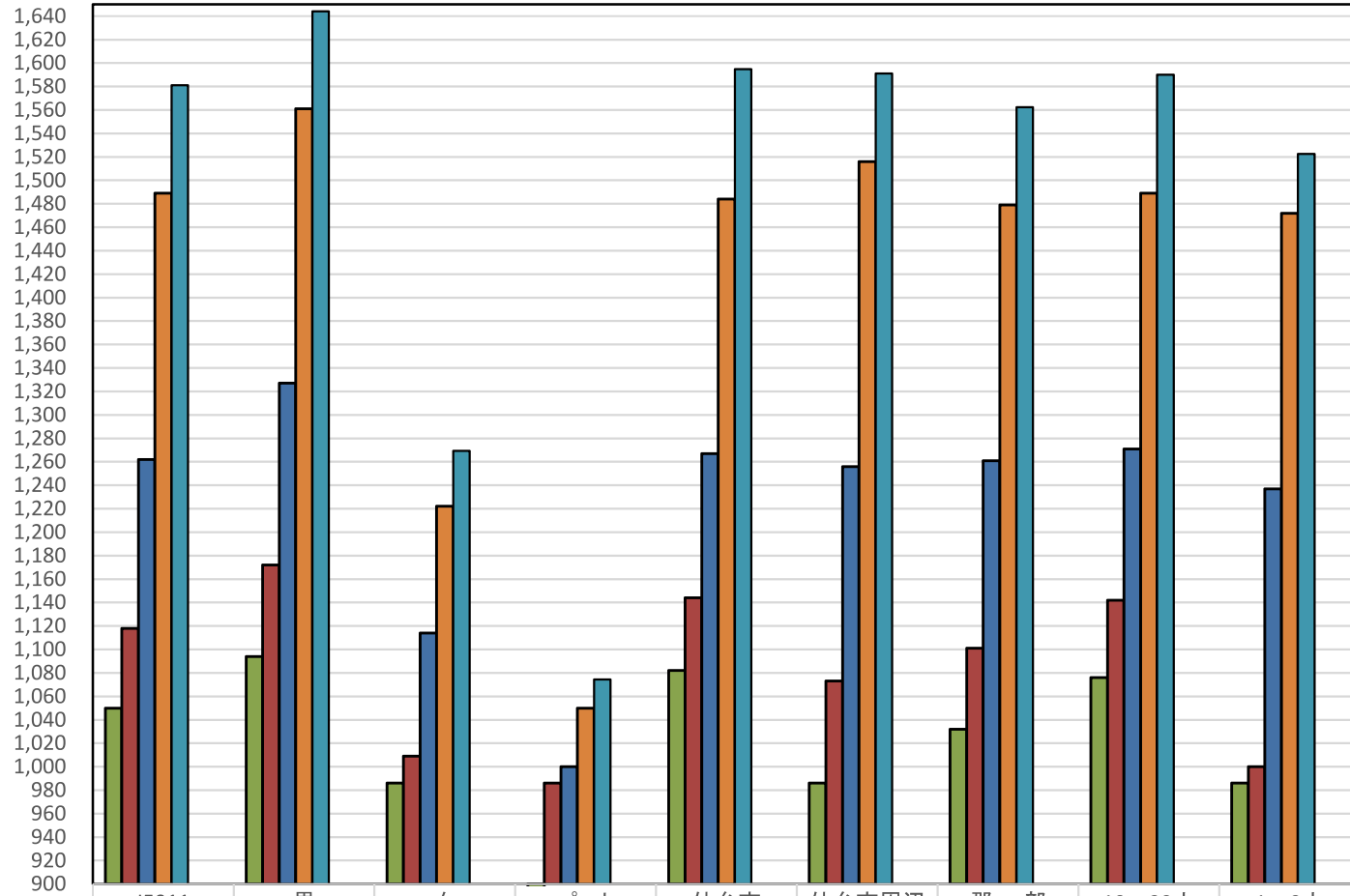
賃金（円）	加算額（円）	分布労働者数	影響率（％）
1,020	34	16	6.12
1,021	35	0	6.39
1,022	36	4	6.39
1,023	37	0	6.45
1,024	38	0	6.45
1,025	39	6	6.45
1,026	40	4	6.55
1,027	41	0	6.61
1,028	42	3	6.61
1,029	43	0	6.67
1,030	44	6	6.67
1,031	45	4	6.76
1,032	46	6	6.83
1,033	47	11	6.93
1,034	48	0	7.12
1,035	49	0	7.12
1,036	50	0	7.12
1,037	51	3	7.12
1,038	52	0	7.17
1,039	53	0	7.17
1,040	54	3	7.17
1,041	55	0	7.22
1,042	56	6	7.22
1,043	57	3	7.31
1,044	58	0	7.36
1,045	59	0	7.36
1,046	60	0	7.36
1,047	61	3	7.36
1,048	62	3	7.40
1,049	63	0	7.45
1,050	64	34	7.45
1,051	65	0	8.02
1,052	66	3	8.02
1,053	67	3	8.07
1,054	68	3	8.11
1,055	69	0	8.17
1,056	70	6	8.17

## 6 対象労働者別分位数等グラフ



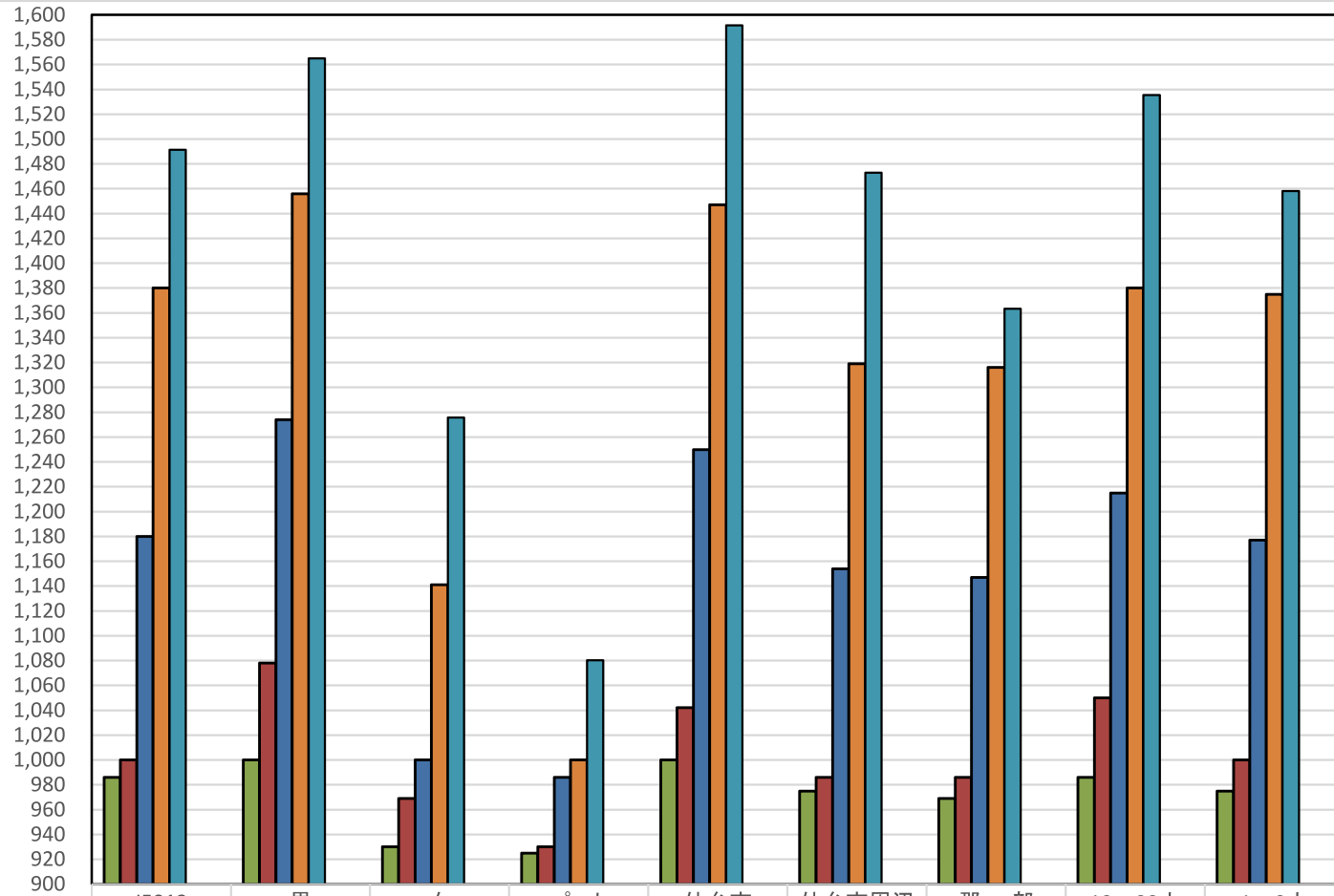
	中計10	男	女	パート	仙台市	仙台市周辺	郡部	10~29人	1~9人
■ 第一・二十分位数	1,000	1,062	969	925	1,050	986	1,000	1,040	986
■ 第一・十分位数	1,081	1,150	1,000	986	1,118	1,100	1,033	1,100	1,000
■ 第一・四分位数	1,223	1,294	1,078	1,000	1,262	1,225	1,190	1,237	1,190
■ 中位数	1,451	1,523	1,188	1,100	1,481	1,485	1,395	1,471	1,404
■ 時間当たり平均賃金額	1,536	1,610	1,251	1,100	1,589	1,543	1,481	1,561	1,466
人数	5,929	4,716	1,213	379	2,445	1,019	2,465	4,369	1,560
未満率	1.7	0.7	5.8	9.2	0.4	2.8	2.5	0.8	4.3

6 対象労働者別分位数等グラフ(15911)



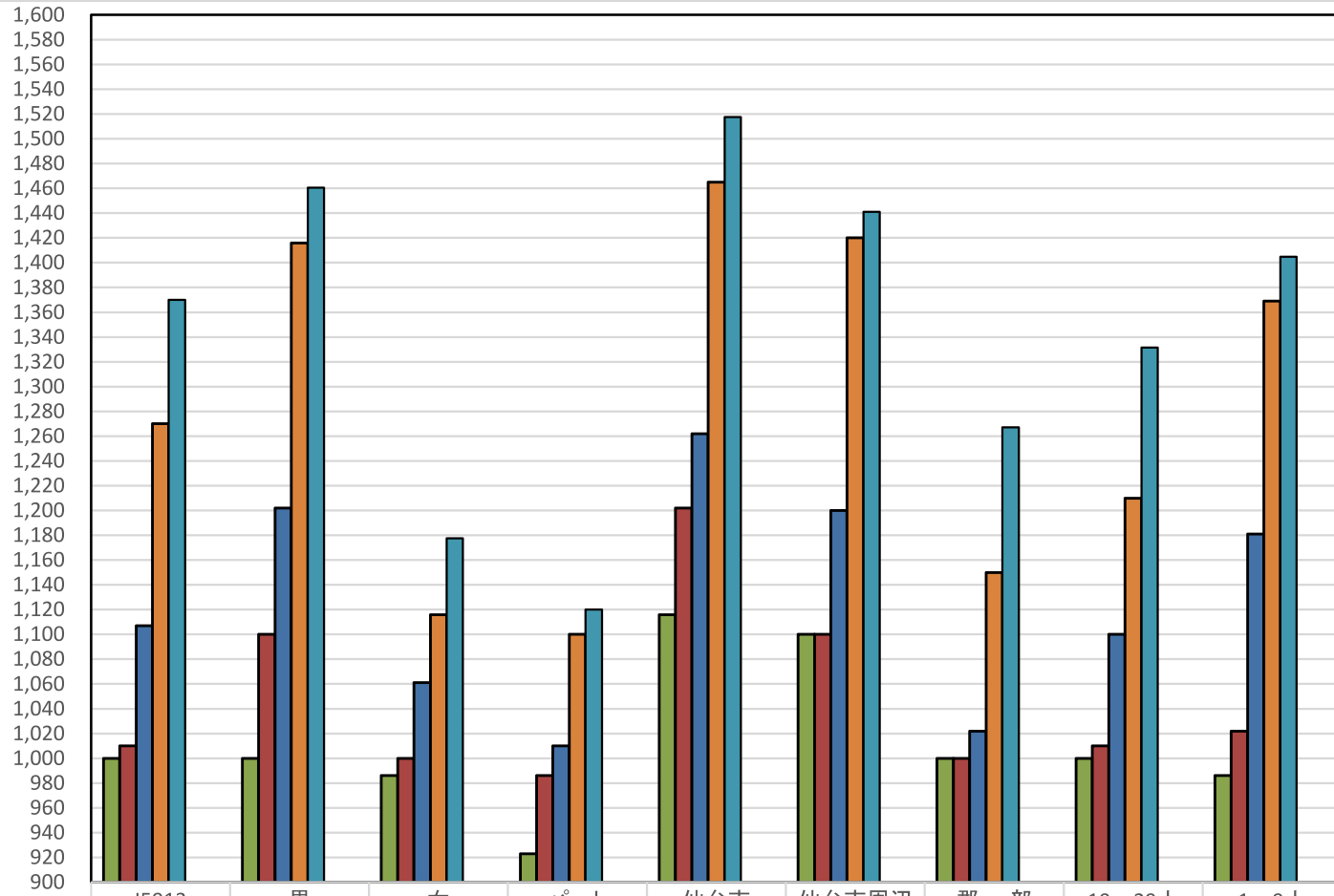
	15911	男	女	パート	仙台市	仙台市周辺	郡部	10~29人	1~9人
■ 第一・二十分位数	1,050	1,094	986	833	1,082	986	1,032	1,076	986
■ 第一・十分位数	1,118	1,172	1,009	986	1,144	1,073	1,101	1,142	1,000
■ 第一・四分位数	1,262	1,327	1,114	1,000	1,267	1,256	1,261	1,271	1,237
■ 中位数	1,489	1,561	1,222	1,050	1,484	1,516	1,479	1,489	1,472
■ 時間当たり平均賃金額	1,581	1,644	1,269	1,075	1,595	1,591	1,562	1,590	1,522
人数	4,072	3,385	687	65	1,745	673	1,654	3,534	538
未満率	1.0	0.3	4.5	6.0	0.1	3.0	1.2	0.6	4.0

6 対象労働者別分位数等グラフ(15912)



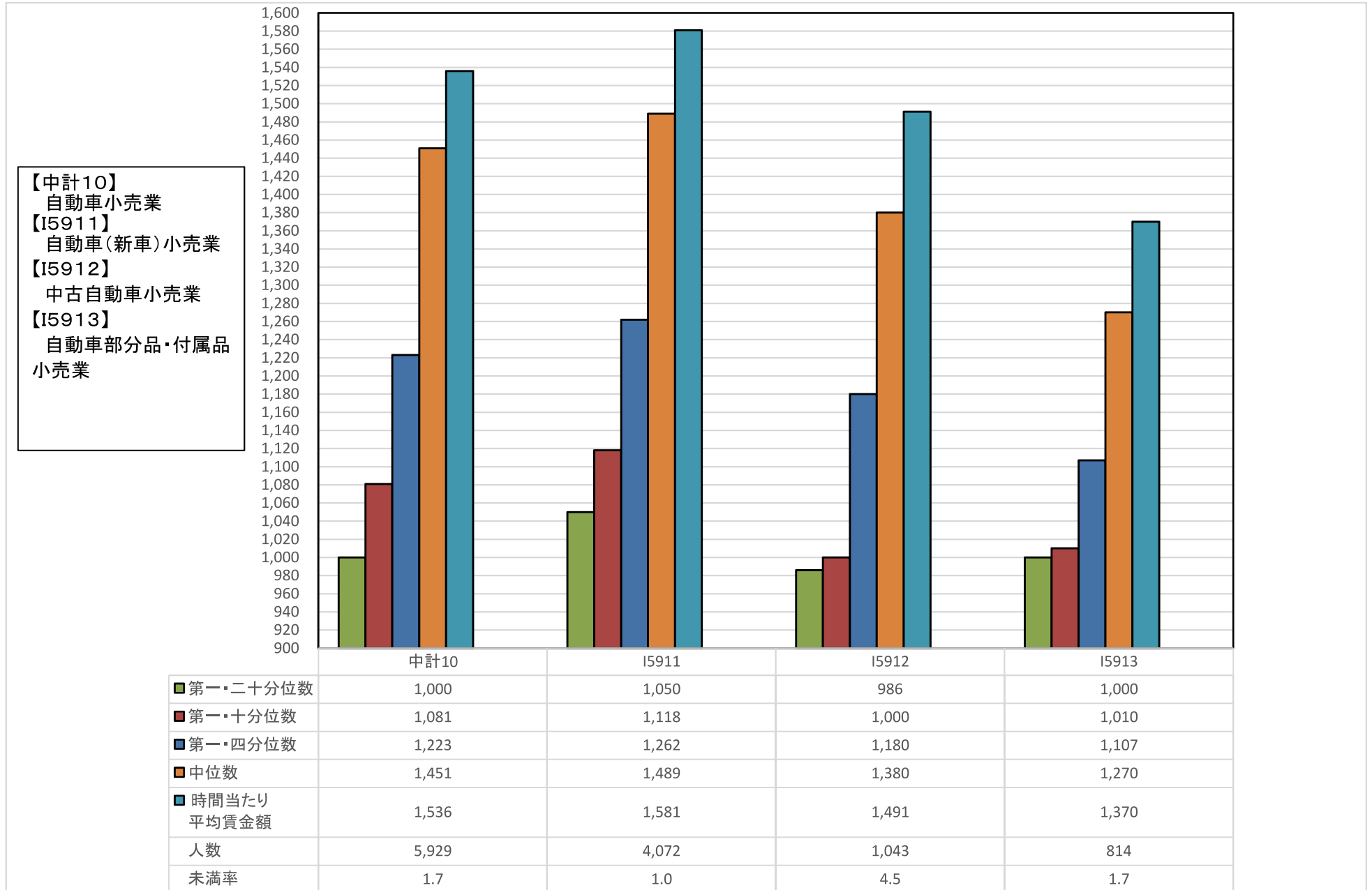
	15912	男	女	パート	仙台市	仙台市周辺	郡部	10~29人	1~9人
■ 第一・二十分位数	986	1,000	930	925	1,000	975	969	986	975
■ 第一・十分位数	1,000	1,078	969	930	1,042	986	986	1,050	1,000
■ 第一・四分位数	1,180	1,274	1,000	986	1,250	1,154	1,147	1,215	1,177
■ 中位数	1,380	1,456	1,141	1,000	1,447	1,319	1,316	1,380	1,375
■ 時間当たり平均賃金額	1,491	1,565	1,276	1,080	1,592	1,473	1,363	1,535	1,458
人数	1,043	777	265	118	536	101	406	448	595
未満率	4.5	3.8	15.4	17.0	1.6	6.3	7.8	3.3	5.4

6 対象労働者別分位数等グラフ(15913)

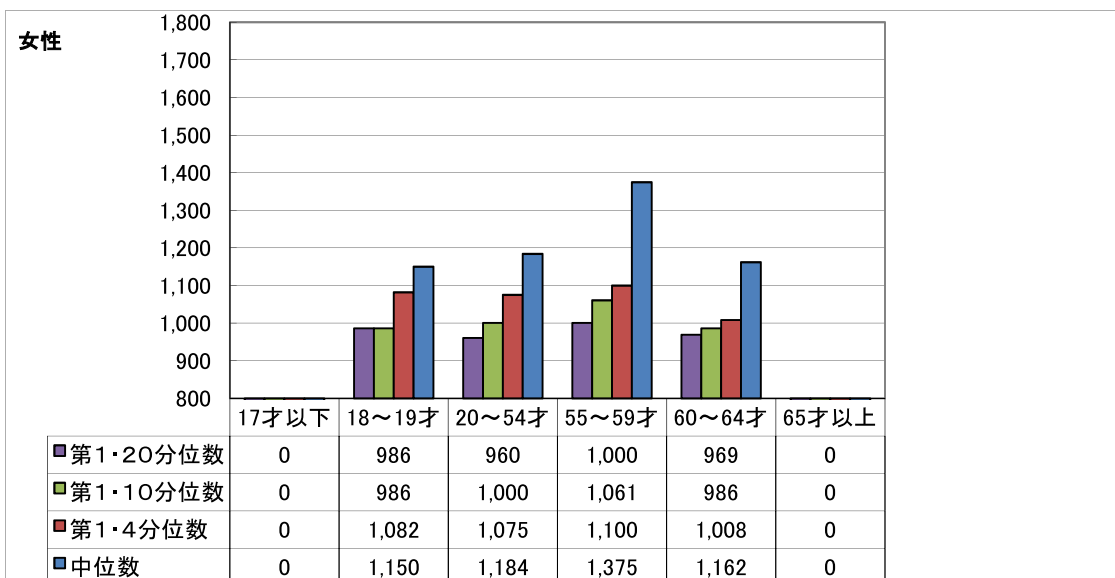
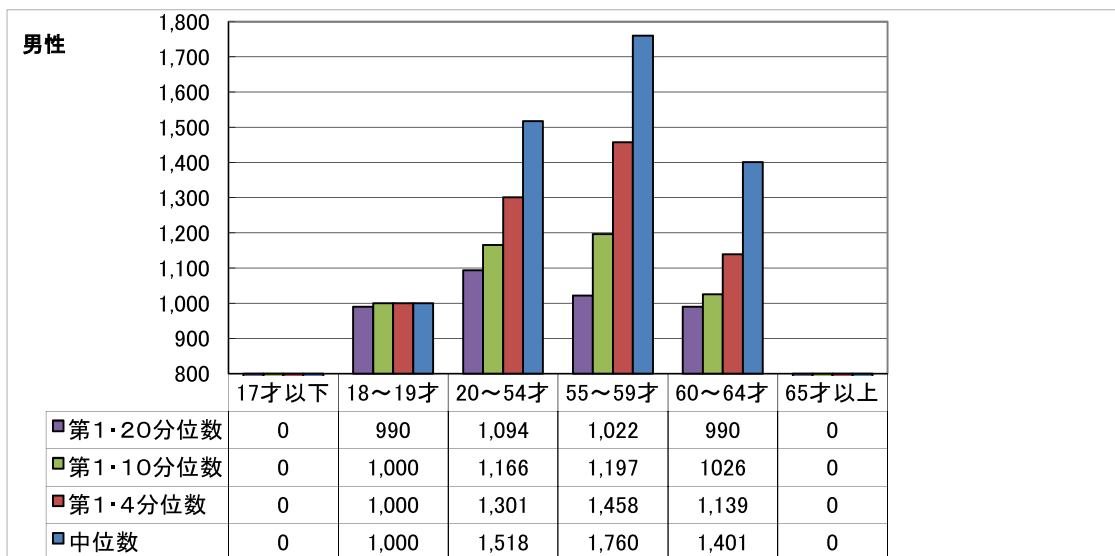
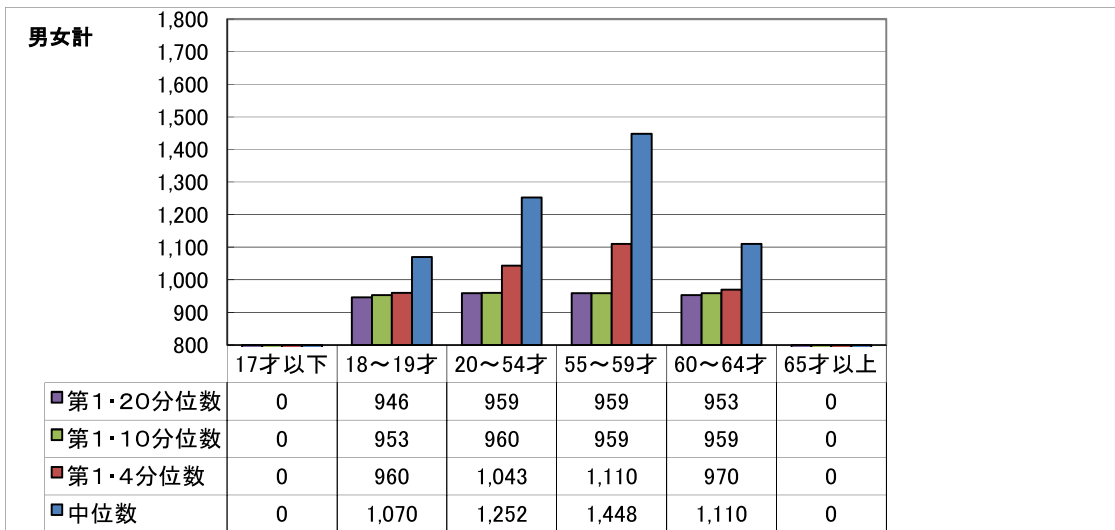


	15913	男	女	パート	仙台市	仙台市周辺	郡部	10~29人	1~9人
■ 第一・二十分位数	1,000	1,000	986	923	1,116	1,100	1,000	1,000	986
■ 第一・十分位数	1,010	1,100	1,000	986	1,202	1,100	1,000	1,010	1,022
■ 第一・四分位数	1,107	1,202	1,061	1,010	1,262	1,200	1,022	1,100	1,181
■ 中位数	1,270	1,416	1,116	1,100	1,465	1,420	1,150	1,210	1,369
■ 時間当たり平均賃金額	1,370	1,461	1,178	1,120	1,517	1,441	1,267	1,331	1,405
人数	814	553	261	197	164	246	405	387	427
未満率	1.7	0.7	3.8	5.6	0.0	1.0	2.7	0.0	3.2

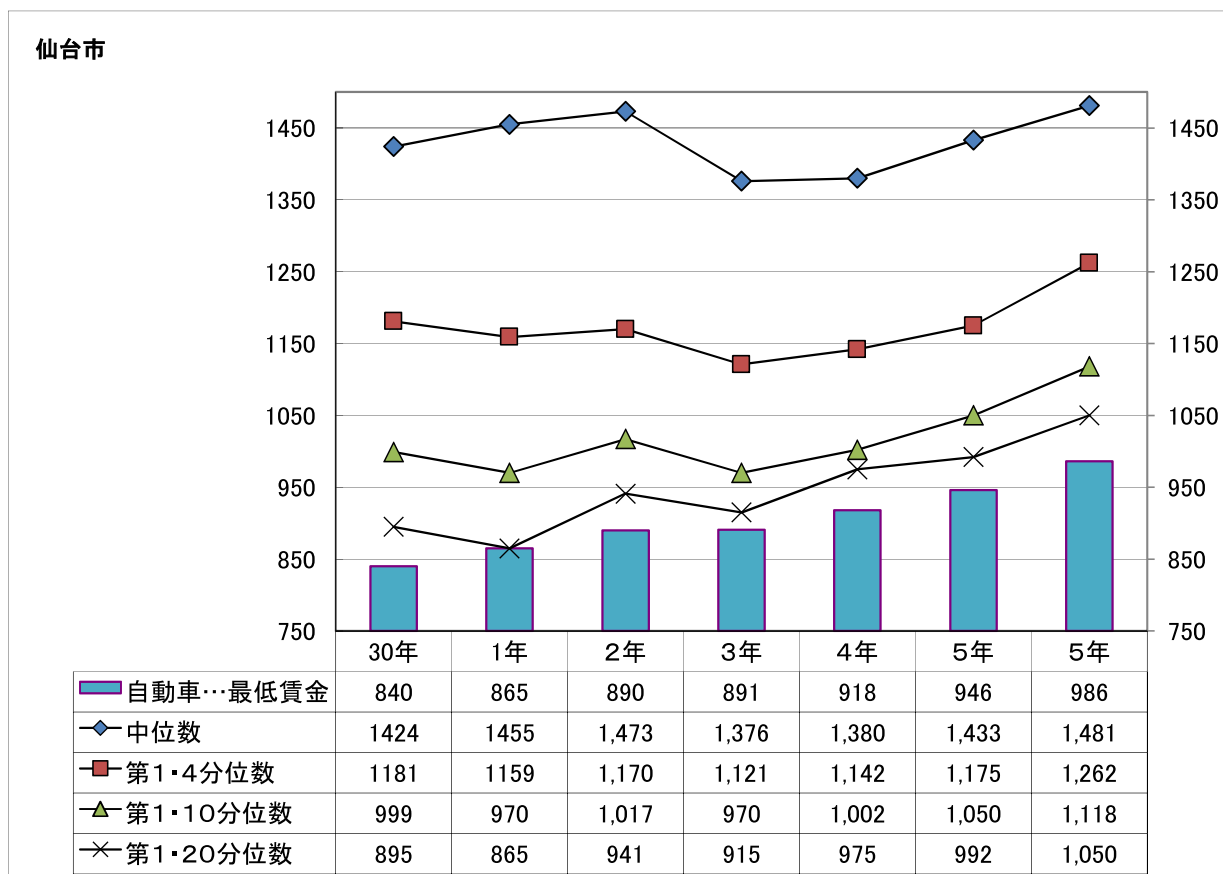
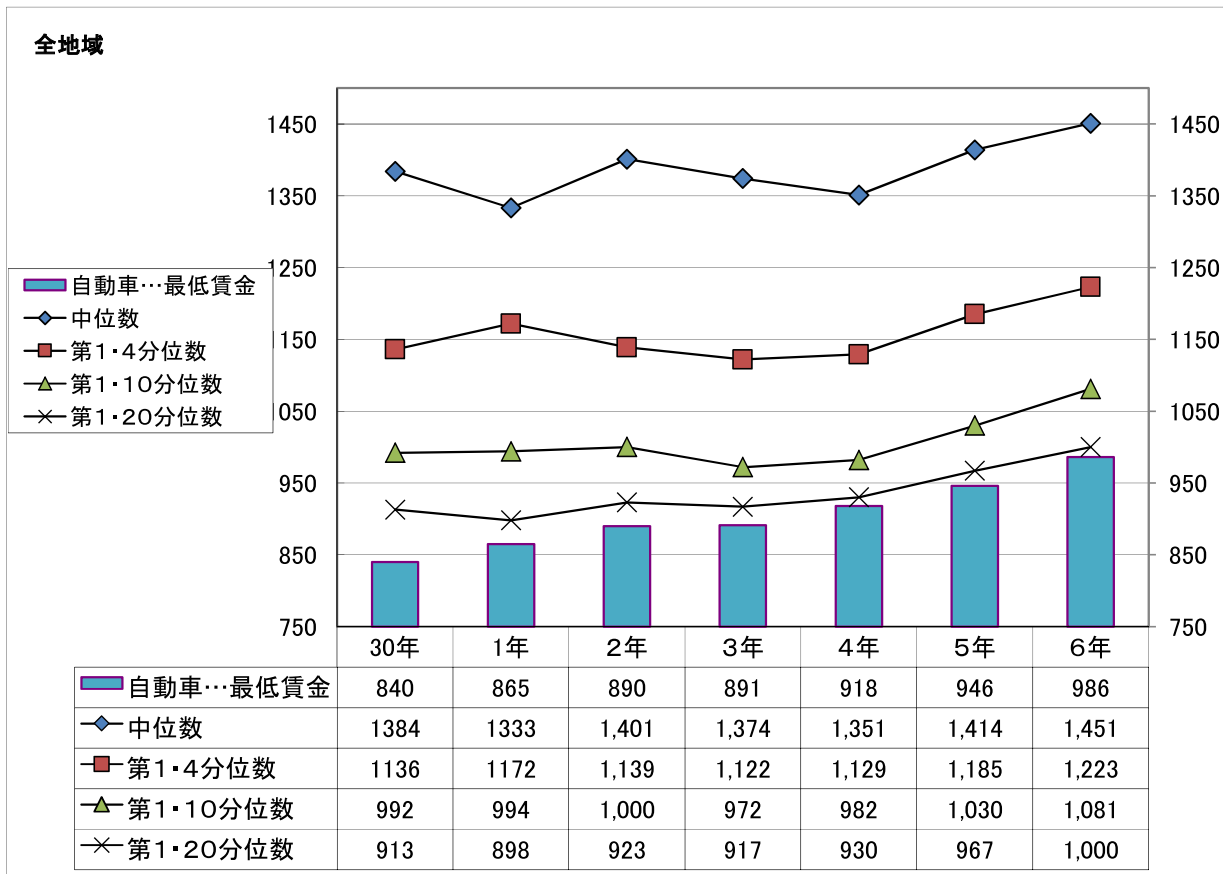
7 中計・明細別分位数等グラフ



## 8 年齢別時間当たり賃金額(自動車小売業)



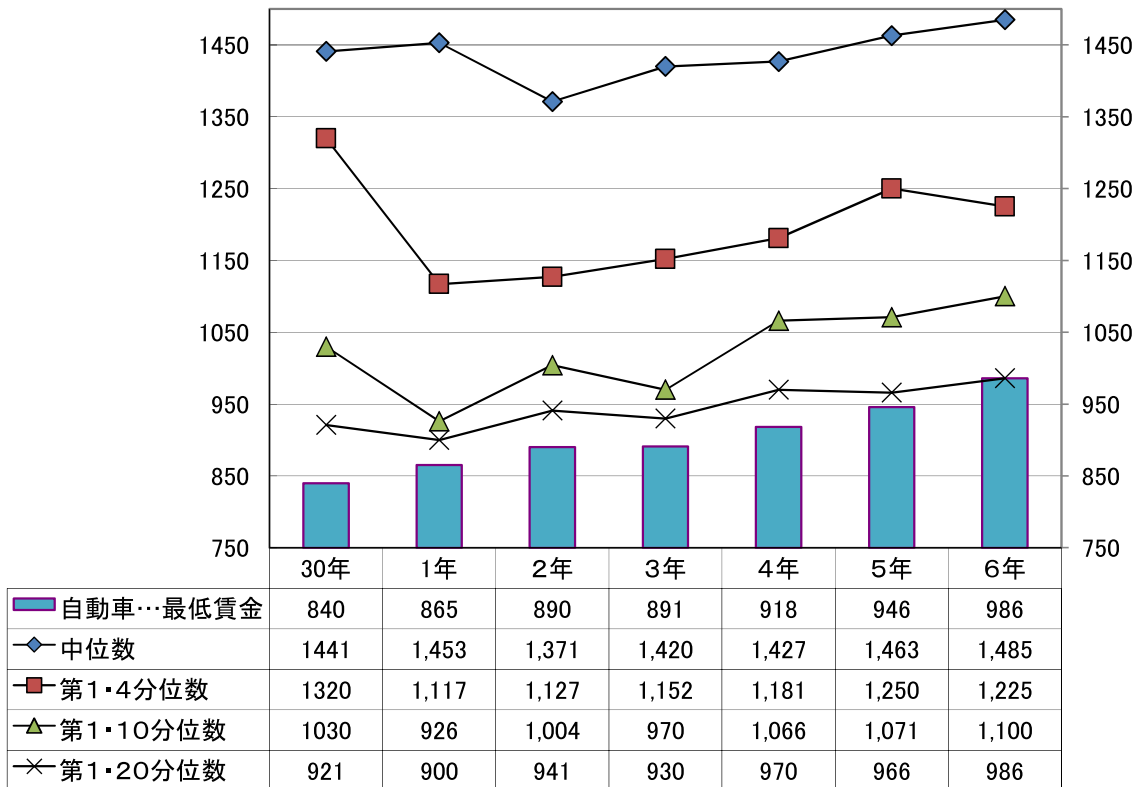
## 9 地域別時間当たり賃金額の推移



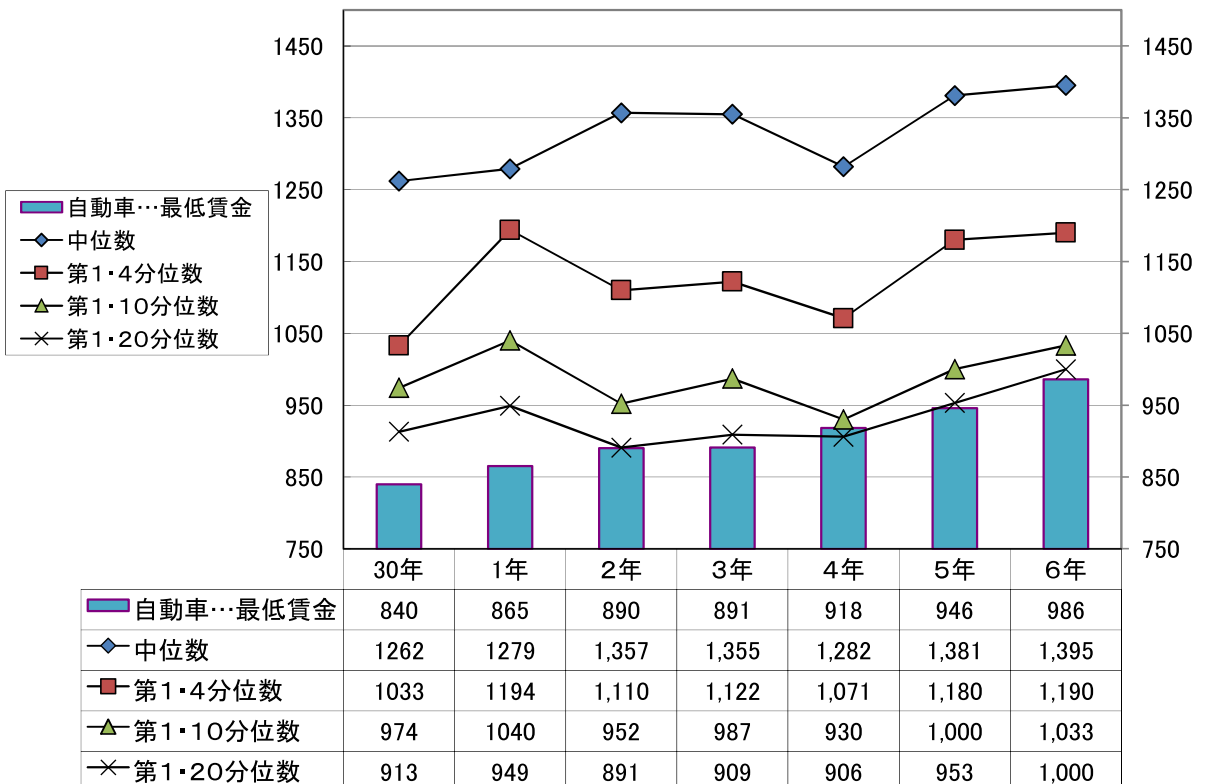


## 9 地域別時間当たり賃金額の推移

### 仙台市周辺

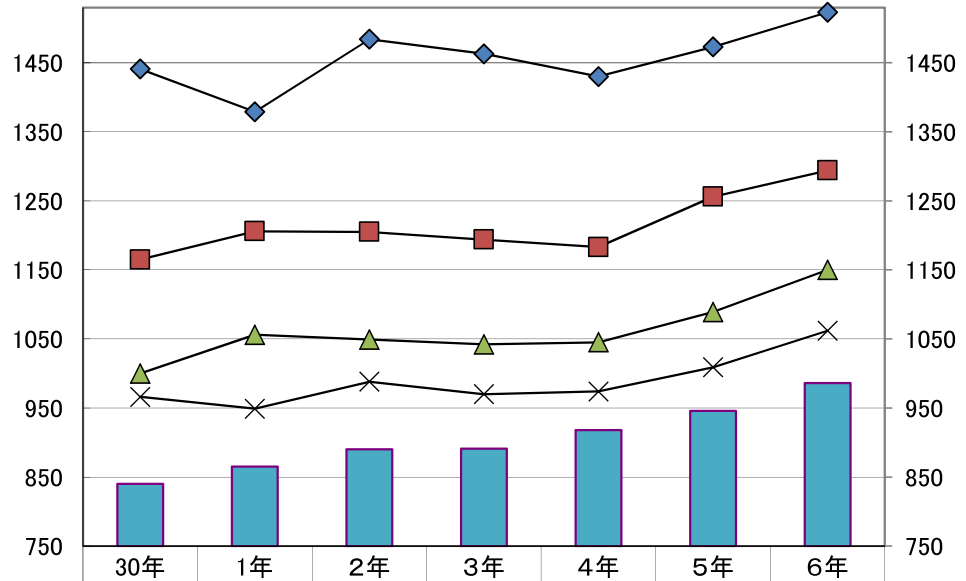


### 郡部



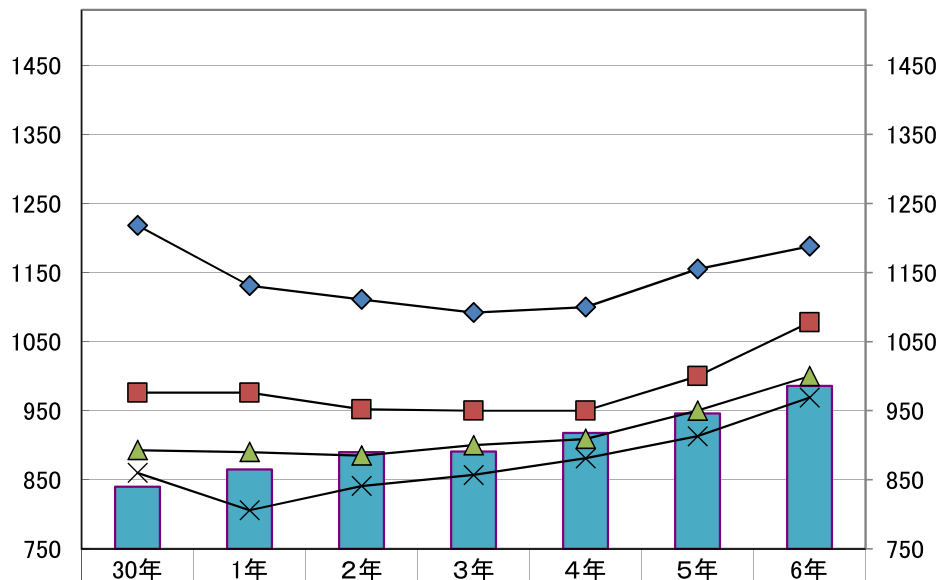
## 10 男女別時間あたり賃金額の推移

男性



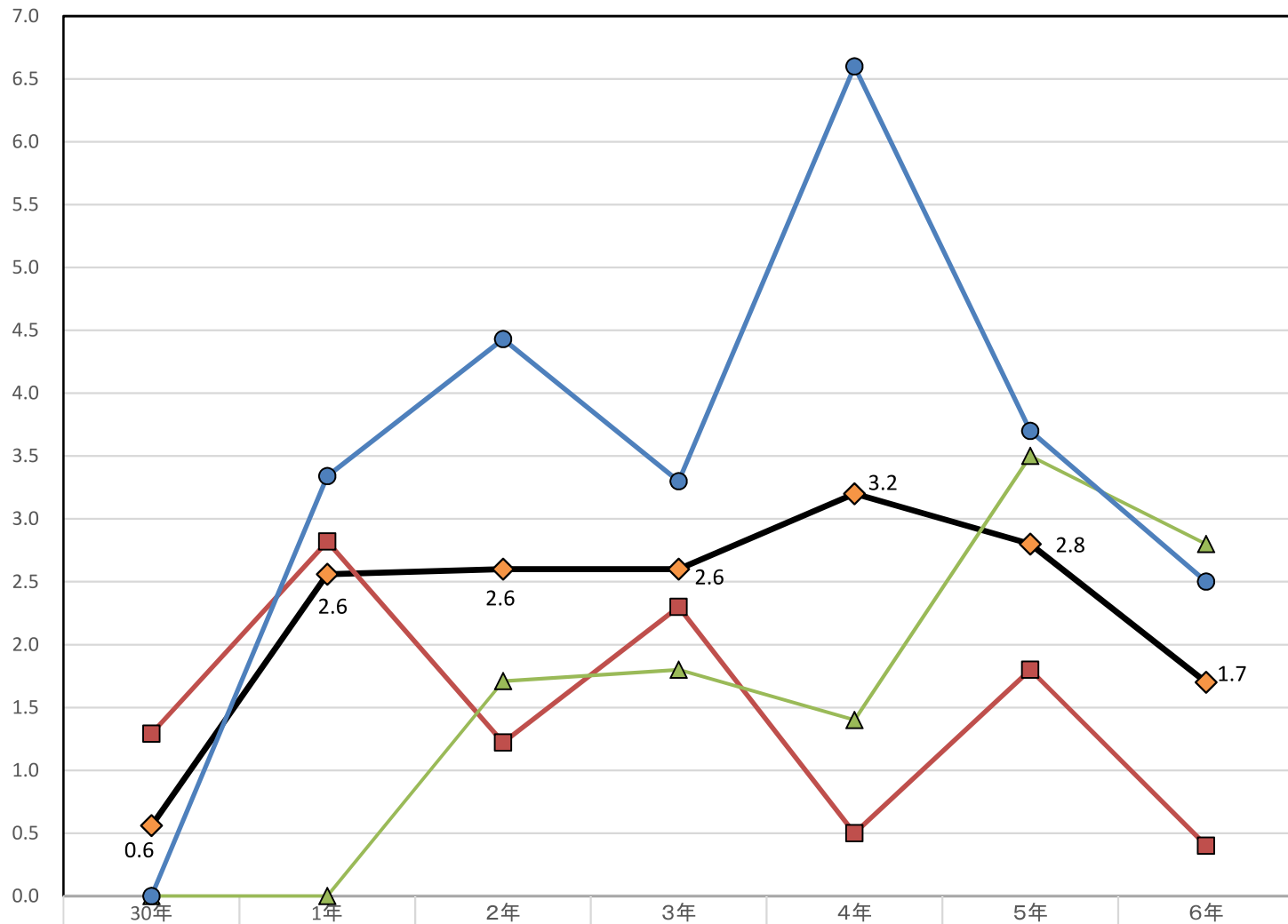
自動車…最低賃金	840	865	890	891	918	946	986
中位数	1441	1379	1,484	1,463	1,430	1,473	1,523
第1・4分位数	1165	1206	1,205	1,194	1,183	1,256	1,294
第1・10分位数	1000	1056	1,049	1,042	1,045	1,089	1,150
第1・20分位数	966	949	988	970	974	1,009	1,062

女性



自動車…最低賃金	840	865	890	891	918	946	986
中位数	1218	1,131	1,111	1,092	1,100	1,155	1,188
第1・4分位数	976	976	952	950	950	1,000	1,078
第1・10分位数	893	890	885	900	909	950	1,000
第1・20分位数	860	806	841	857	881	913	969

# 11 未満率の推移



自動車...最低賃金	30年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
全地域	0.6	2.6	2.6	2.6	3.2	2.8	1.7
仙台市	1.3	2.8	1.2	2.3	0.5	1.8	0.4
仙台市周辺	0.0	0.0	1.7	1.8	1.4	3.5	2.8
郡部	0.0	3.3	4.4	3.3	6.6	3.7	2.5

---

---

令和6年 最低賃金に関する基礎調査結果報告

調査結果の概要（表・グラフ）

---

---

令和6年 7月 作成

宮 城 労 働 局

# 目 次

1 最低賃金に関する基礎調査(概要).....	1
2 用語の説明.....	2
3 調査対象産業表.....	3
4 令和6年最低賃金に関する基礎調査結果表.....	4
5 令和6年度影響率表.....	7
6 対象労働者別分位数等グラフ.....	8
7 対象産業別分位数等グラフ.....	9
8 年齢別時間当たり賃金額(産業計).....	10
9 年齢別時間当たり賃金額(産業計)(パート).....	11
10 地域別時間当たり賃金額の推移.....	12
11 男女別時間当たり賃金額の推移.....	14
12 未満率の推移.....	15
13 総括表1、2(地域最賃対象産業).....	16

# 1 最低賃金に関する基礎調査(概要)

調査の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方最低賃金審議会における最低賃金の決定及び改正等の審議に資すること</li> <li>・中小規模の事業所の労働者の賃金の実態等を把握すること</li> </ul>
調査対象 (産業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業(E)</li> <li>・情報通信業(G)のうち新聞業(G413)及び出版業(G414)</li> <li>・卸売業, 小売業(I)</li> <li>・学術研究, 専門・技術サービス業(L)</li> <li>・宿泊業, 飲食サービス業(M)</li> <li>・生活関連サービス業, 娯楽業(N)</li> <li>・医療, 福祉(P)</li> <li>・サービス業(他に分類されないもの)(R)</li> </ul> <p>※ ただし、上記の産業以外の産業において特定最低賃金が設定されており、当該特定最低賃金の審議に必要な場合は、上記の産業以外の産業であっても調査の対象とする。</p>
(事業所)	<p>事業所規模30人未満の民営事業所 (製造業(E)、情報通信業(G)は100人未満)</p> <p>※ ただし、特定最低賃金が設定されている産業が、常用労働者30人若しくは100人以上を雇用している事業所が多くを占めており、特定最低賃金の審議に必要な場合は、30人若しくは100人以上を雇用している事業所も調査の対象とする。</p>
(労働者)	当年6月1日において雇用される労働者
調査時期	毎年5～6月
調査方法	郵送+オンライン
主な調査結果	・未満率、影響率(総括表)

## 2 用語の説明

### 地域について

- 仙 台 市 : 仙台市  
仙 台 市 周 辺 : 塩釜市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、  
亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町  
郡 部 : 仙台市と仙台市周辺を除く市町村

### 統計用語

- 中 位 数 : 労働者の賃金を低いものから一列に並べ、それを二等分し、真ん中の節（ふし）に当たる労働者の賃金額  
第一・四分位数 : 同様に四等分して低いほうから最初の節に当たる労働者の賃金額  
第一・十分位数 : 同様に十等分して低いほうから最初の節に当たる労働者の賃金額  
第一・二十分位数 : 同様に二十等分して低いほうから最初の節に当たる労働者の賃金額

未 満 率 : 最低賃金を改正する前に、最低賃金を下回っている労働者の割合  
(最低賃金の減額特例許可を受けている労働者等も含まれる)

影 響 率 : 最低賃金を改定した後に、改定後の最低賃金を下回ることになる労働者の割合  
(すなわち、最低賃金の改定に伴い、法の強制力により、賃金の引上げを行う必要のある労働者の比率である。引上げ額が大きければ、影響率が上がり、引上げ率が小さければ、影響率は下がることとなる。)

### 3 調査対象産業表

総計	大計	中計	明細
調査対象産業計	地域最賃対象産業	00 特定(産業別)最賃適用除外者及び年齢除外者	01 特定(産業別)最賃適用除外者及び年齢除外者
		01 地域最賃適用製造業	02 E-製造業 E(特賃除く)
		02 地域最賃適用卸売業, 小売業	04 I-卸売業, 小売業 I(特賃を除く)
		03 地域最賃適用 学術研究, 専門・技術サービス業, 新聞業, 出版業	03 G-情報通信業のうち新聞業(G413), 出版業(G414) G413, G414
			05 L-学術研究, 専門技術サービス業 L
		04 地域最賃適用宿泊業, 飲食サービス業	06 M-宿泊業, 飲食サービス業 M
		05 地域最賃適用生活関連サービス業, 娯楽業	07 N-生活関連サービス業, 娯楽業 N
		06 地域最賃適用医療, 福祉	08 P-医療・福祉 P
	07 地域最賃適用サービス業(他に分類されないもの)	09 R-サービス業(他に分類されないもの) R	
	特定(産業別)最賃対象産業	08 鉄鋼業	10 鉄鋼業 E22 (2211, 2251, 2252, 229, 220を除く)
		09 電子部品・デバイス・電子回路, 電気機械器具, 情報通信機械器具製造業	11 電子部品・デバイス・電子回路製造業 E28
			12 電気機械器具製造業 E29
			13 情報通信機械器具製造業 E30
	10 自動車小売業	14 自動車(新車)小売業 I5911	
		15 中古自動車小売業 I5912	
		16 自動車部品・附属品小売業 I5913	



#### 4 令和6年最低賃金に関する基礎調査結果表

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
産業計	大計01	343,442 人	1,430 円	1,203 円	980 円	930 円	923 円	1.7 %
	男	149,928 人	1,686 円	1,482 円	1,095 円	945 円	930 円	1.1 %
	女	193,514 人	1,231 円	1,050 円	950 円	930 円	923 円	2.1 %
	パート	118,482 人	1,096 円	970 円	933 円	925 円	923 円	0.9 %
	仙台市	175,906 人	1,527 円	1,290 円	1,000 円	935 円	925 円	1.5 %
	仙台市周辺	50,819 人	1,349 円	1,120 円	950 円	930 円	925 円	0.9 %
	郡部	116,717 人	1,320 円	1,107 円	960 円	930 円	923 円	2.3 %
	30～99人 (製造業)	28,224 人	1,488 円	1,270 円	955 円	923 円	923 円	4.2 %
	10～29人	177,491 人	1,424 円	1,200 円	970 円	930 円	923 円	0.8 %
	1～9人	137,727 人	1,425 円	1,200 円	992 円	930 円	923 円	2.4 %
製造業	中計01	53,797 人	1,425 円	1,250 円	992 円	930 円	923 円	2.2 %
	男	31,792 人	1,655 円	1,504 円	1,211 円	1,031 円	955 円	1.7 %
	女	22,005 人	1,093 円	988 円	935 円	923 円	923 円	2.8 %
	パート	10,874 人	1,002 円	950 円	930 円	923 円	923 円	0.0 %
	仙台市	10,406 人	1,713 円	1,593 円	1,279 円	1,043 円	992 円	0.0 %
	仙台市周辺	11,299 人	1,543 円	1,250 円	1,000 円	925 円	923 円	0.0 %
	郡部	32,092 人	1,290 円	1,118 円	966 円	925 円	923 円	3.6 %
	30～99人	27,604 人	1,499 円	1,289 円	977 円	924 円	923 円	4.0 %
	10～29人	17,748 人	1,372 円	1,236 円	1,004 円	945 円	930 円	0.0 %
	1～9人	8,445 人	1,292 円	1,200 円	1,000 円	950 円	940 円	0.7 %

#### 4 令和6年最低賃金に関する基礎調査結果表

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
卸売業・小売業	中計02	121,288 人	1,551 円	1,282 円	973 円	930 円	923 円	1.1 %
	男	59,390 人	1,829 円	1,625 円	1,200 円	940 円	930 円	0.1 %
	女	61,899 人	1,283 円	1,030 円	940 円	923 円	923 円	2.0 %
	パート	39,686 人	1,073 円	950 円	930 円	923 円	923 円	1.3 %
	仙台市	71,375 人	1,629 円	1,411 円	1,000 円	930 円	923 円	1.1 %
	仙台市周辺	16,224 人	1,449 円	1,230 円	1,000 円	930 円	930 円	1.2 %
	郡部	33,690 人	1,433 円	1,100 円	950 円	923 円	923 円	1.2 %
	10～29人	66,659 人	1,559 円	1,275 円	950 円	925 円	923 円	0.6 %
	1～9人	54,629 人	1,541 円	1,305 円	1,000 円	930 円	925 円	1.8 %
学術研究、専門・技術サービス業、出版業、新聞	中計03	15,908 人	1,886 円	1,572 円	1,221 円	1,054 円	970 円	0.0 %
	男	9,387 人	2,196 円	1,992 円	1,431 円	1,100 円	1,020 円	0.0 %
	女	6,521 人	1,439 円	1,291 円	1,113 円	980 円	930 円	0.0 %
	パート	2,225 人	1,322 円	1,110 円	1,000 円	930 円	930 円	0.0 %
	仙台市	11,814 人	1,962 円	1,655 円	1,193 円	1,050 円	970 円	0.0 %
	仙台市周辺	1,199 人	1,519 円	1,312 円	1,146 円	1,092 円	1,041 円	0.0 %
	郡部	2,895 人	1,725 円	1,500 円	1,266 円	1,054 円	1,000 円	0.0 %
	10～29人	7,679 人	1,852 円	1,588 円	1,281 円	1,100 円	1,025 円	0.0 %
	1～9人	8,229 人	1,918 円	1,531 円	1,151 円	1,020 円	936 円	0.0 %
宿泊業、飲食サービス業	中計04	47,420 人	1,102 円	1,000 円	950 円	930 円	930 円	1.1 %
	男	14,305 人	1,161 円	1,000 円	950 円	930 円	923 円	1.9 %
	女	33,115 人	1,076 円	1,000 円	950 円	930 円	930 円	0.8 %
	パート	30,564 人	1,031 円	970 円	945 円	930 円	930 円	0.6 %
	仙台市	27,775 人	1,129 円	1,000 円	957 円	930 円	930 円	1.3 %
	仙台市周辺	7,142 人	1,022 円	950 円	945 円	930 円	930 円	0.0 %
	郡部	12,503 人	1,087 円	1,000 円	940 円	930 円	923 円	1.4 %
	10～29人	26,657 人	1,082 円	992 円	950 円	940 円	930 円	0.0 %
	1～9人	20,763 人	1,128 円	1,000 円	950 円	930 円	923 円	2.6 %

#### 4 令和6年最低賃金に関する基礎調査結果表

		人数	時間当たり 平均賃金額	中位数	第一・ 四分位数	第一・ 十分位数	第一・ 二十分位数	未満率
生活関連サービス業、 娯楽業	中計05	20,595 人	1,197 円	1,000 円	940 円	923 円	900 円	5.9 %
	男	6,251 人	1,388 円	1,238 円	940 円	923 円	923 円	3.1 %
	女	14,344 人	1,114 円	1,000 円	948 円	923 円	900 円	7.1 %
	パート	9,361 人	1,006 円	970 円	930 円	923 円	923 円	2.5 %
	仙台市	10,845 人	1,271 円	1,103 円	940 円	923 円	900 円	5.3 %
	仙台市周辺	3,214 人	1,049 円	1,000 円	930 円	923 円	923 円	4.0 %
	郡部	6,536 人	1,148 円	1,000 円	948 円	925 円	900 円	7.8 %
	10～29人	9,749 人	1,332 円	1,124 円	970 円	930 円	930 円	0.0 %
	1～9人	10,846 人	1,077 円	986 円	925 円	900 円	850 円	11.2 %
医療・福祉	中計06	55,393 人	1,403 円	1,300 円	1,091 円	964 円	945 円	0.2 %
	男	12,909 人	1,602 円	1,398 円	1,151 円	988 円	946 円	0.0 %
	女	42,484 人	1,343 円	1,278 円	1,077 円	961 円	943 円	0.2 %
	パート	17,905 人	1,314 円	1,100 円	994 円	940 円	930 円	0.0 %
	仙台市	28,078 人	1,458 円	1,320 円	1,144 円	1,001 円	950 円	0.2 %
	仙台市周辺	8,263 人	1,347 円	1,251 円	1,033 円	950 円	930 円	0.0 %
	郡部	19,052 人	1,347 円	1,250 円	1,050 円	960 円	930 円	0.3 %
	10～29人	34,040 人	1,386 円	1,278 円	1,071 円	960 円	945 円	0.0 %
	1～9人	21,353 人	1,432 円	1,365 円	1,100 円	991 円	940 円	0.5 %
サービス業（他に分類されないもの）	中計07	27,642 人	1,455 円	1,255 円	982 円	925 円	923 円	4.8 %
	男	15,438 人	1,578 円	1,416 円	1,086 円	926 円	923 円	3.7 %
	女	12,204 人	1,299 円	1,100 円	930 円	923 円	916 円	6.2 %
	パート	7,290 人	1,143 円	940 円	930 円	923 円	923 円	1.3 %
	仙台市	15,523 人	1,612 円	1,416 円	1,103 円	923 円	914 円	6.1 %
	仙台市周辺	3,288 人	1,139 円	950 円	930 円	930 円	925 円	4.3 %
	郡部	8,831 人	1,296 円	1,144 円	982 円	930 円	926 円	2.6 %
	10～29人	14,471 人	1,439 円	1,250 円	940 円	926 円	915 円	6.5 %
	1～9人	13,171 人	1,472 円	1,260 円	1,008 円	923 円	923 円	2.9 %

5 令和6年度影響率表

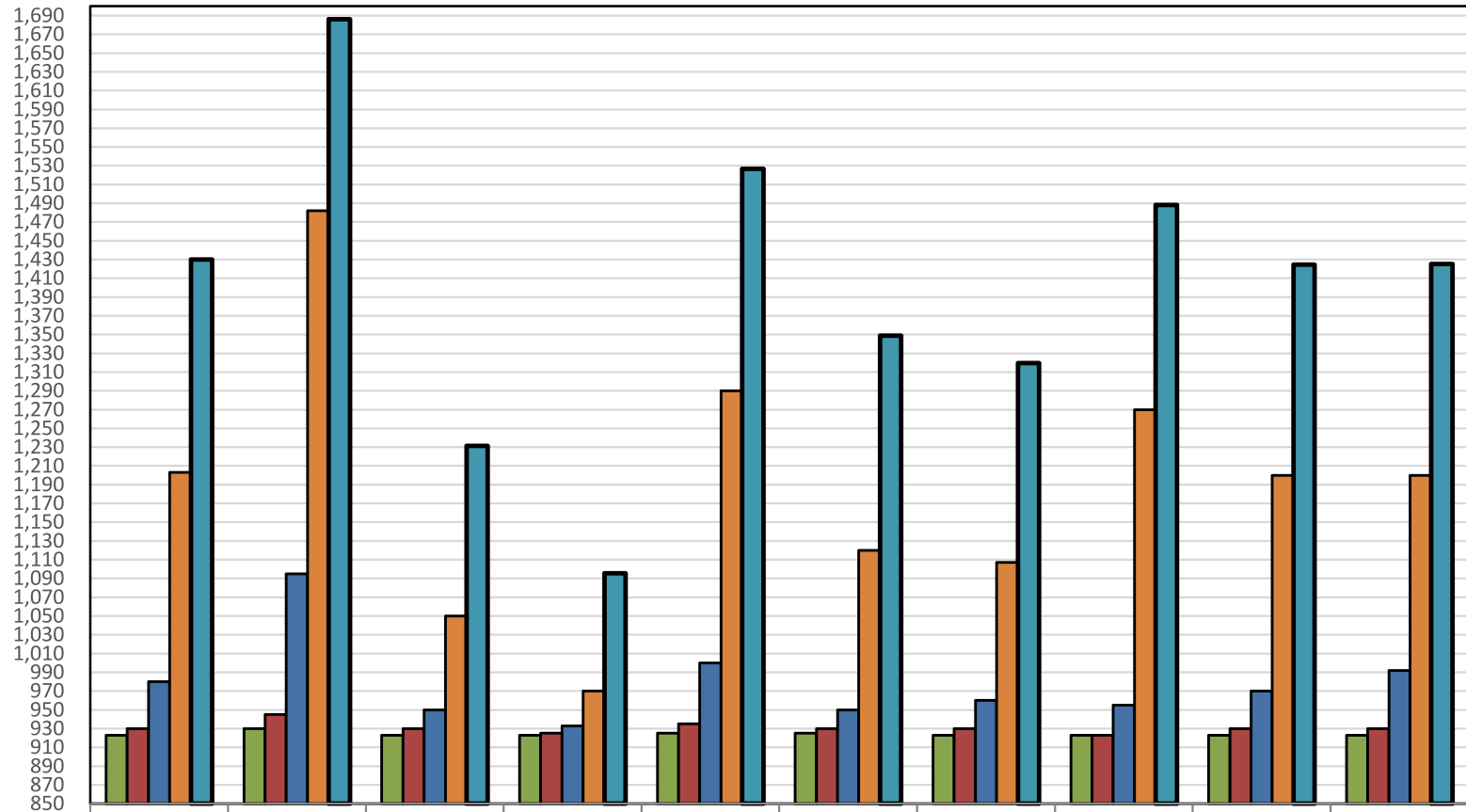
調査対象労働者数：343,442人

男女計・全地域

賃金（円）	加算額（円）	分布労働者数	影響率（%）
～922		5,796	
923		14,051	1.68（未満率）
924	1	404	5.78
925	2	3,717	5.90
926	3	612	6.98
927	4	40	7.16
928	5	50	7.17
929	6	105	7.18
930	7	16,820	7.21
931	8	72	12.11
932	9	94	12.13
933	10	440	12.16
934	11	0	12.29
935	12	1,857	12.29
936	13	147	12.83
937	14	263	12.87
938	15	78	12.95
939	16	223	12.97
940	17	9,386	13.04
941	18	78	15.77
942	19	120	15.79
943	20	380	15.83
944	21	7	15.94
945	22	1,168	15.94
946	23	1,206	16.28
947	24	187	16.63
948	25	264	16.68
949	26	207	16.76
950	27	12,899	16.82
951	28	816	20.58
952	29	148	20.82
953	30	210	20.86
954	31	19	20.92
955	32	475	20.93
956	33	4	21.06

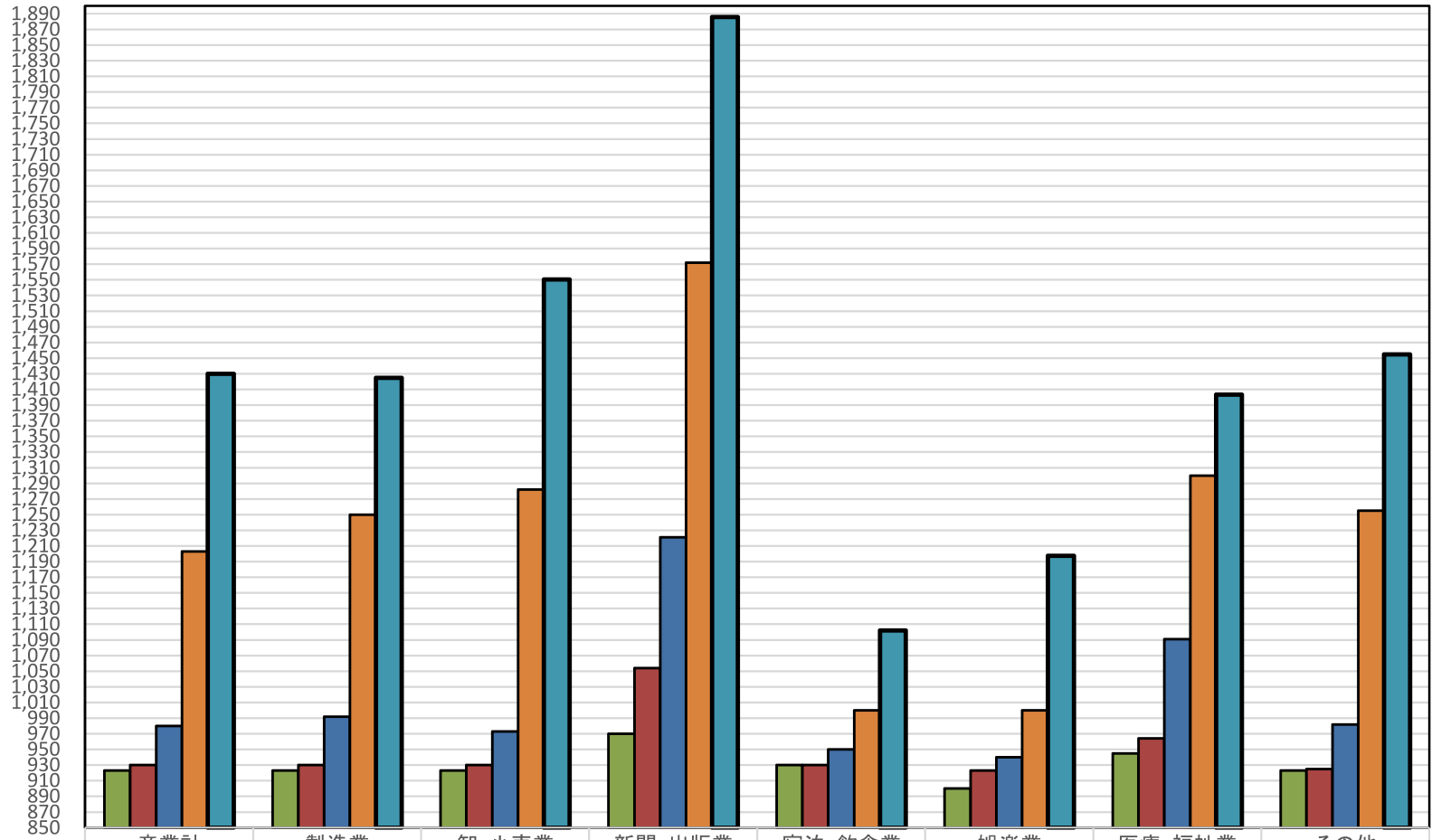
賃金（円）	加算額（円）	分布労働者数	影響率（%）
957	34	381	21.06
958	35	157	21.18
959	36	182	21.22
960	37	3,961	21.27
961	38	462	22.43
962	39	49	22.56
963	40	512	22.58
964	41	159	22.73
965	42	615	22.77
966	43	358	22.95
967	44	147	23.06
968	45	161	23.10
969	46	250	23.14
970	47	2,483	23.22
971	48	812	23.94
972	49	193	24.18
973	50	731	24.23
974	51	0	24.45
975	52	567	24.45
976	53	104	24.61
977	54	155	24.64
978	55	579	24.69
979	56	185	24.86
980	57	3,513	24.91
981	58	116	25.93
982	59	573	25.97
983	60	216	26.13
984	61	0	26.20
985	62	212	26.20
986	63	290	26.26
987	64	0	26.34
988	65	114	26.34
989	66	149	26.38
990	67	1,716	26.42
991	68	259	26.92
992	69	3,964	25.97
993	70	83	27.12

## 6 対象労働者別分位数等グラフ



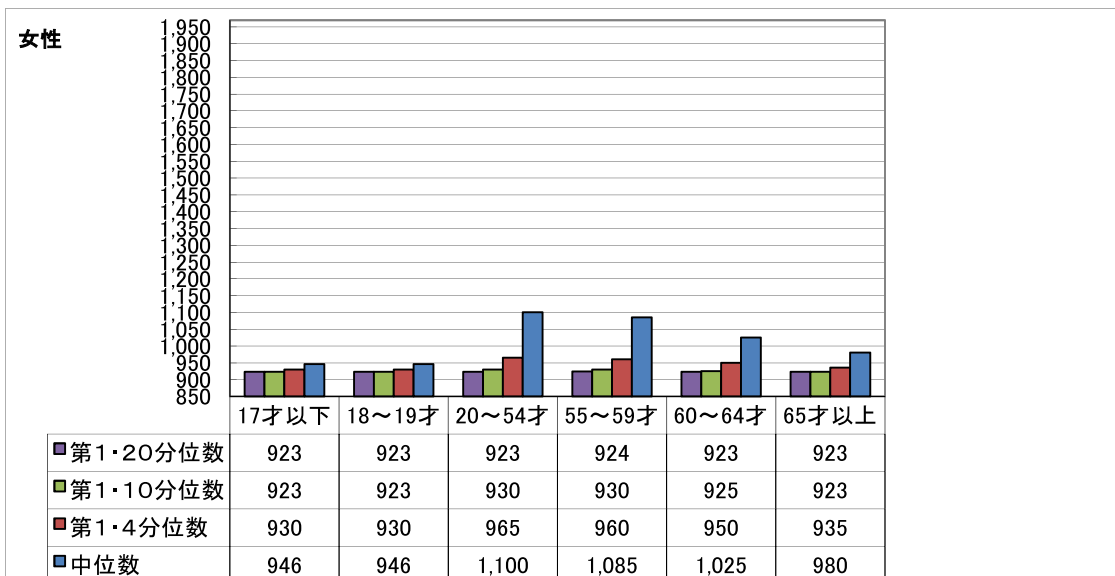
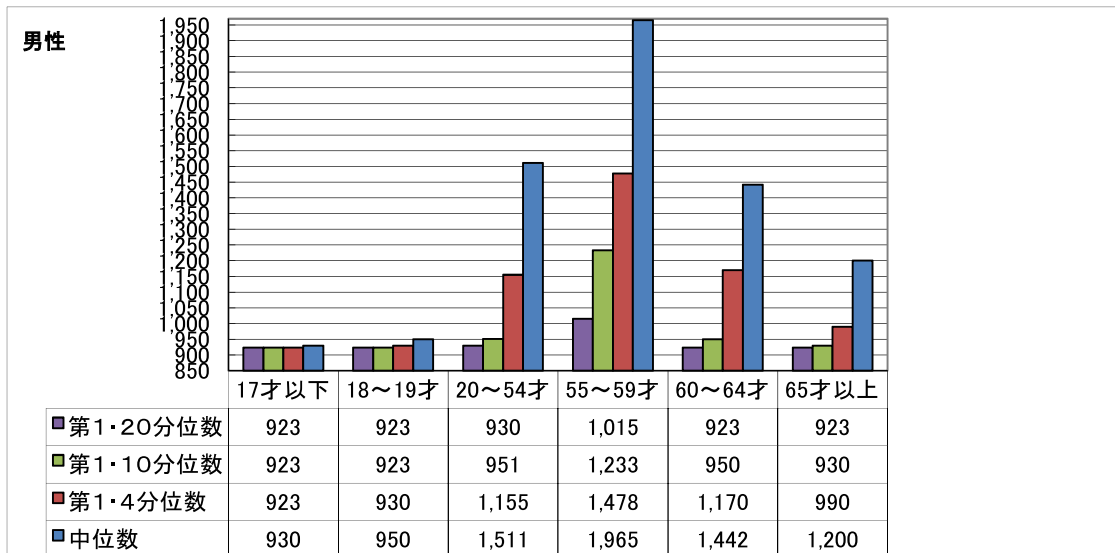
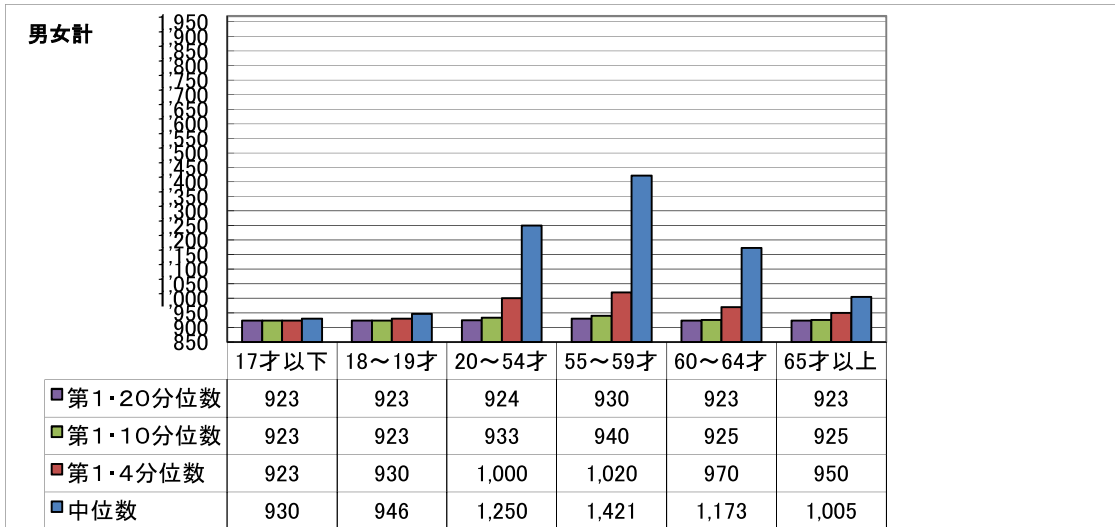
	産業計	男	女	パート	仙台市	仙台市周辺	郡部	30~99人 (製造業)	10~29人	1~9人
■ 第一・二十分位数	923	930	923	923	925	925	923	923	923	923
■ 第一・十分位数	930	945	930	925	935	930	930	923	930	930
■ 第一・四分位数	980	1,095	950	933	1,000	950	960	955	970	992
■ 中位数	1,203	1,482	1,050	970	1,290	1,120	1,107	1,270	1,200	1,200
■ 時間当たり 平均賃金額	1,430	1,686	1,231	1,096	1,527	1,349	1,320	1,488	1,424	1,425
人数	343,442	149,928	193,514	118,482	175,906	50,819	116,717	28,224	177,491	137,727
未満率	1.7	1.1	2.1	0.9	1.5	0.9	2.3	4.2	0.8	2.4

## 7 対象産業別分位数等グラフ

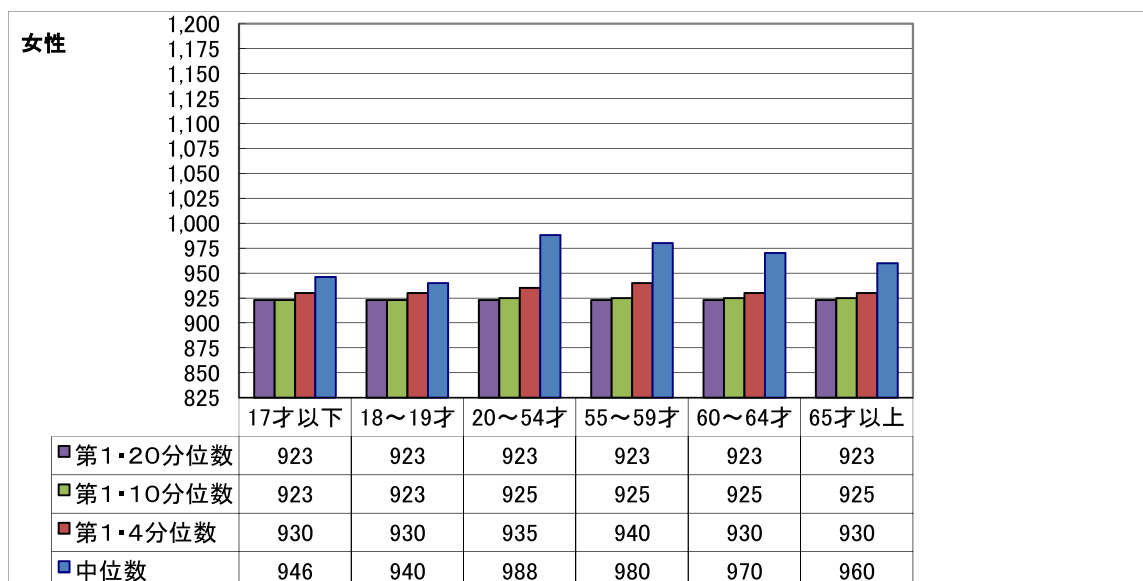
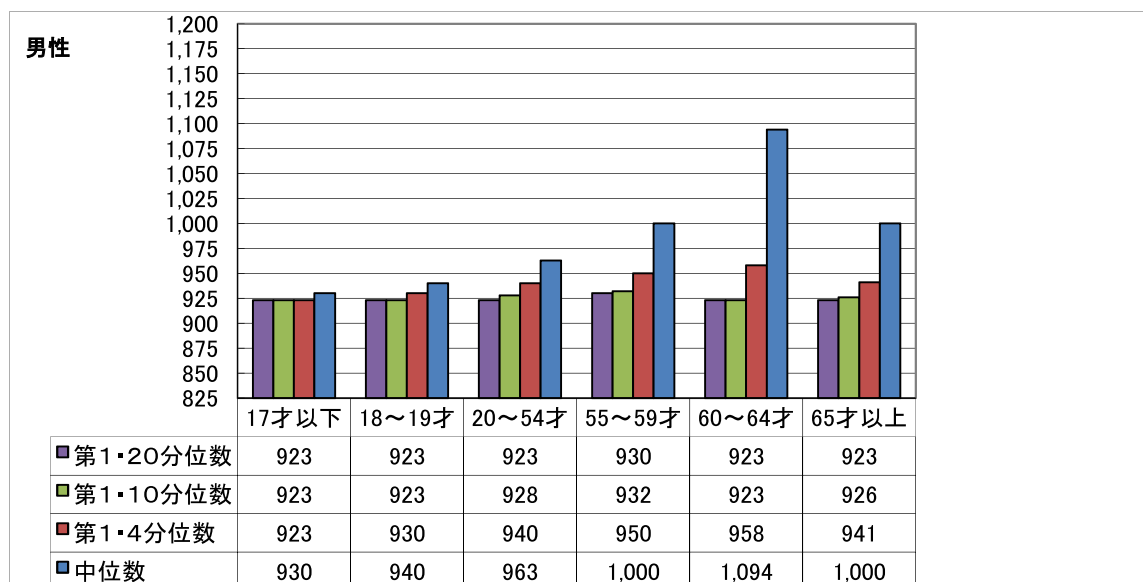
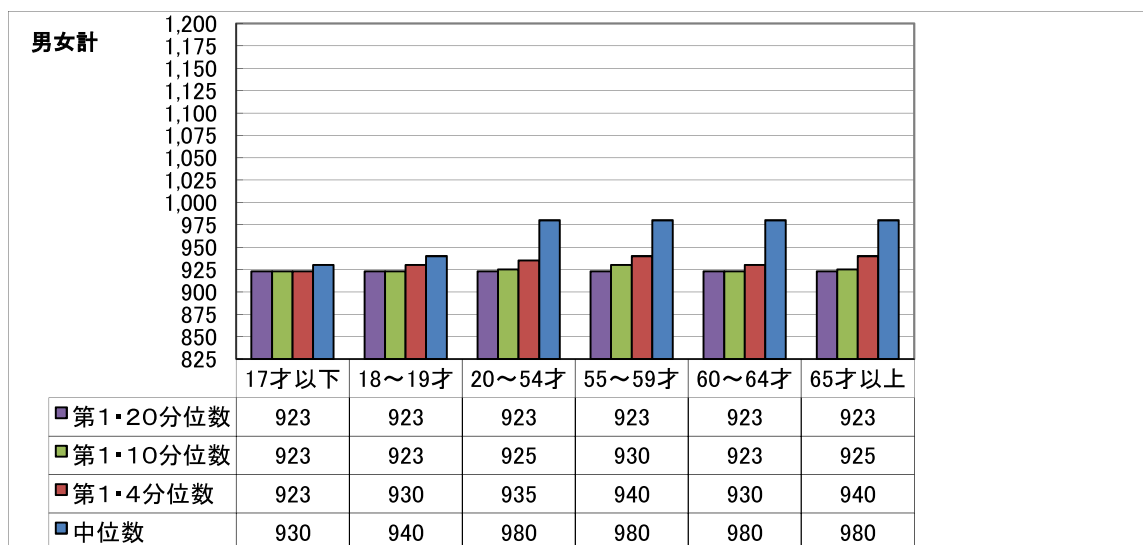


■ 第一・二十分位数	923	923	923	970	930	900	945	923
■ 第一・十分位数	930	930	930	1,054	930	923	964	925
■ 第一・四分位数	980	992	973	1,221	950	940	1,091	982
■ 中位数	1,203	1,250	1,282	1,572	1,000	1,000	1,300	1,255
■ 時間当たり平均賃金額	1,430	1,425	1,551	1,886	1,102	1,197	1,403	1,455
人数	343,442	53,797	121,288	15,908	47,420	20,595	55,393	27,642
未満率	1.7	2.2	1.1	0.0	1.1	5.9	0.2	4.8

## 8 年齢別時間あたり賃金額(産業計)

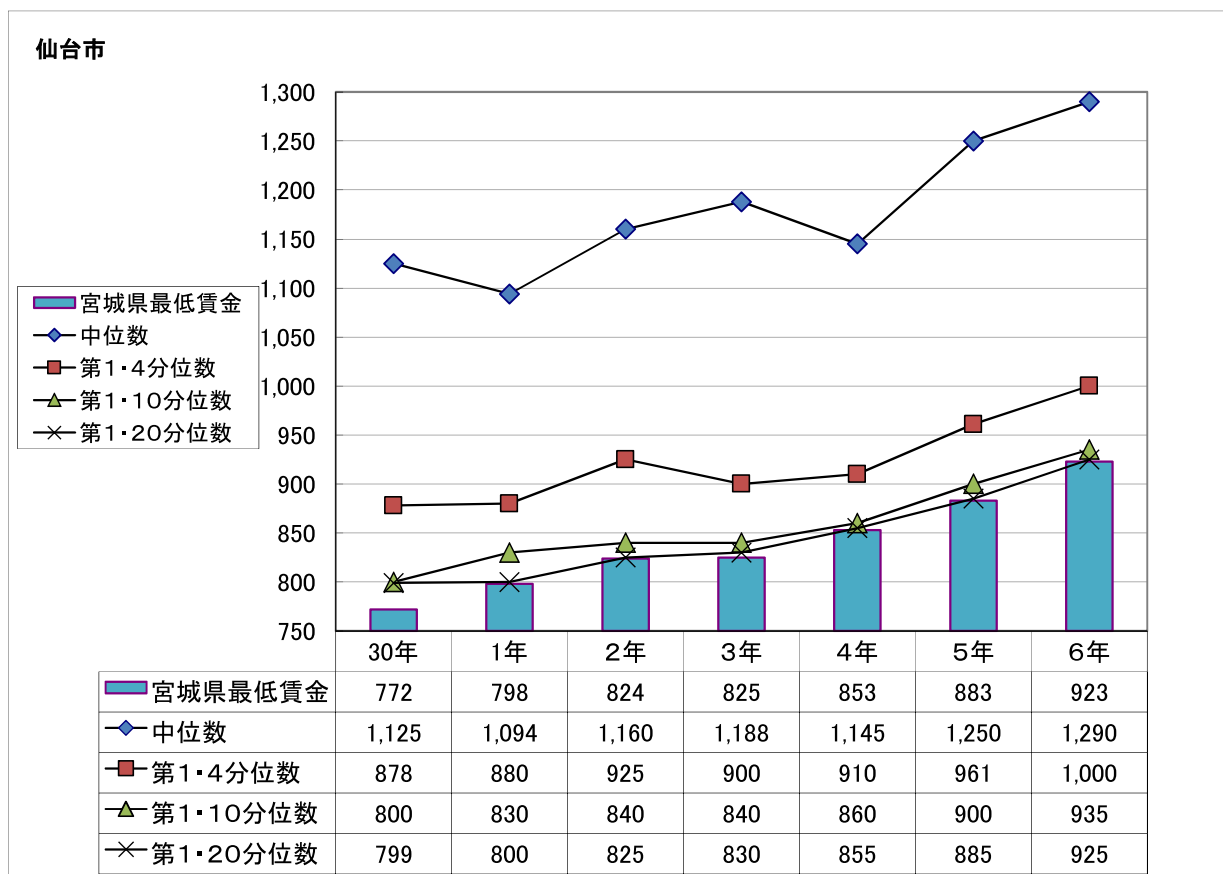
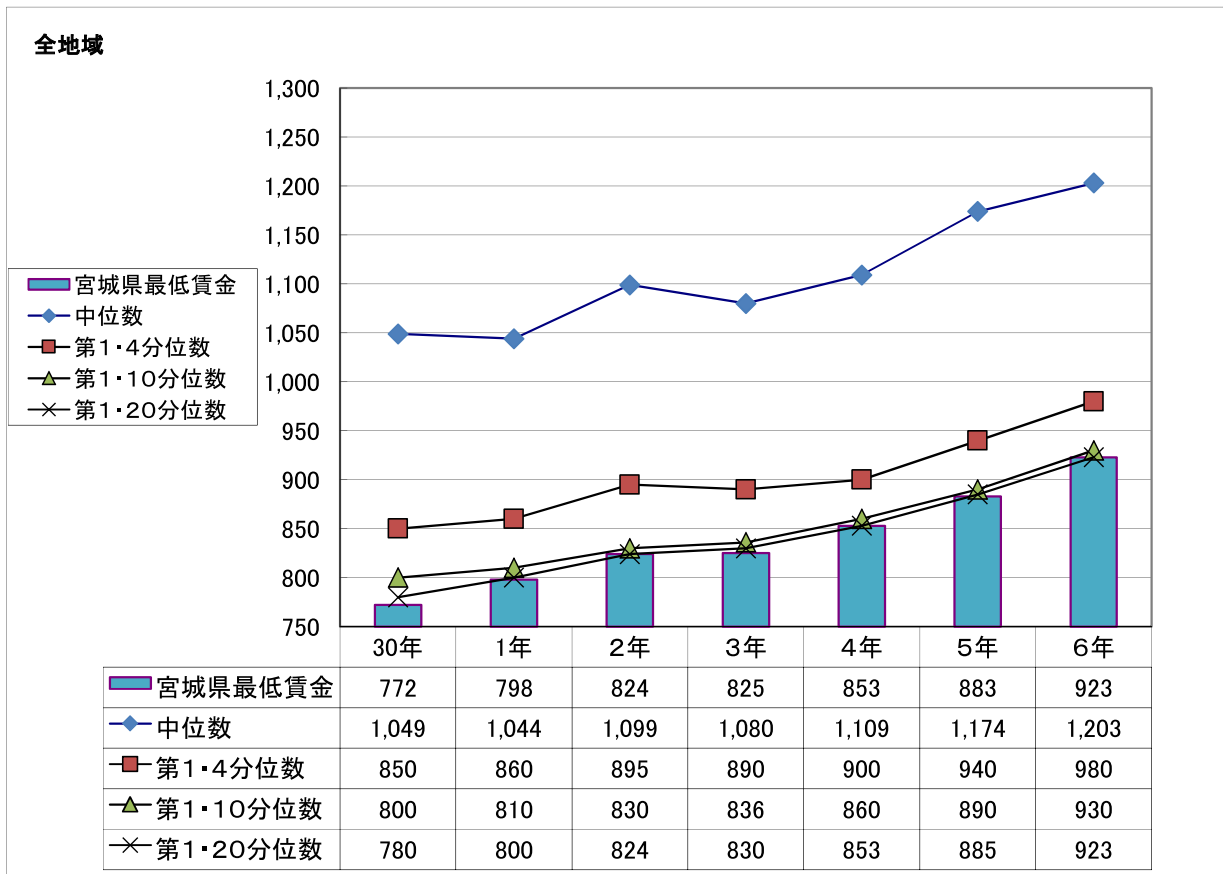


### 9 年齢別時間当たり賃金額(産業計)(パート)



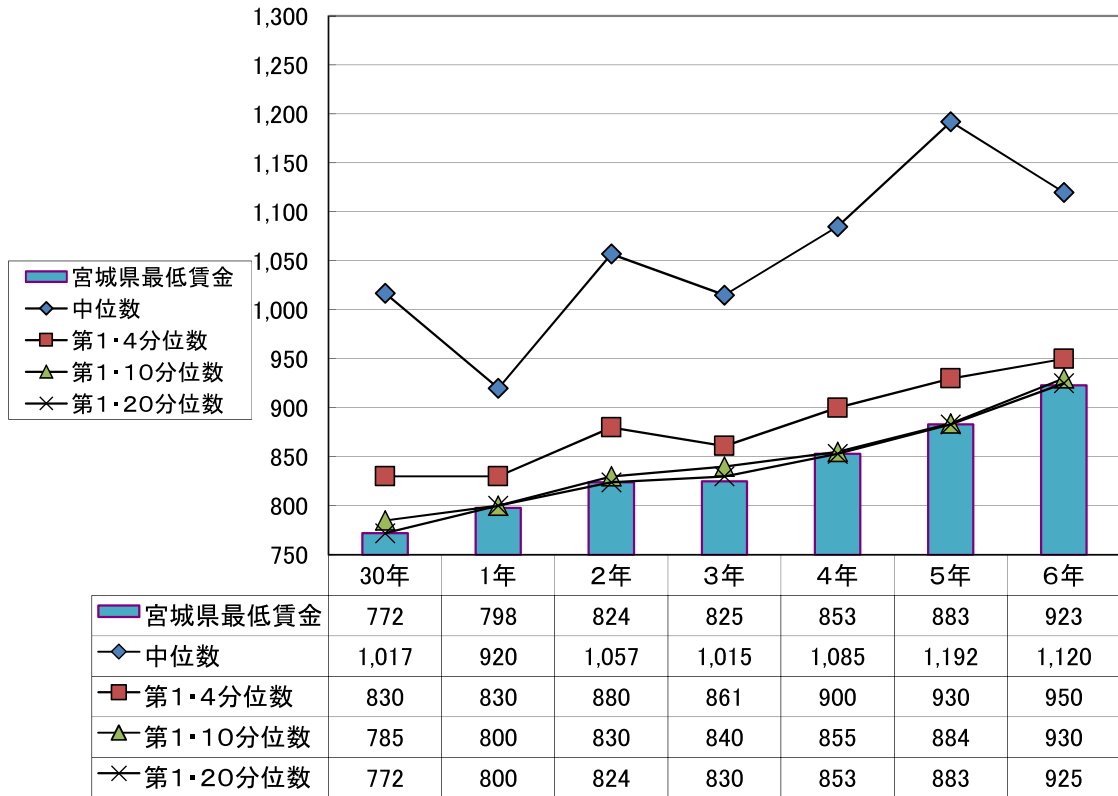


## 10 地域別時間当たり賃金額の推移

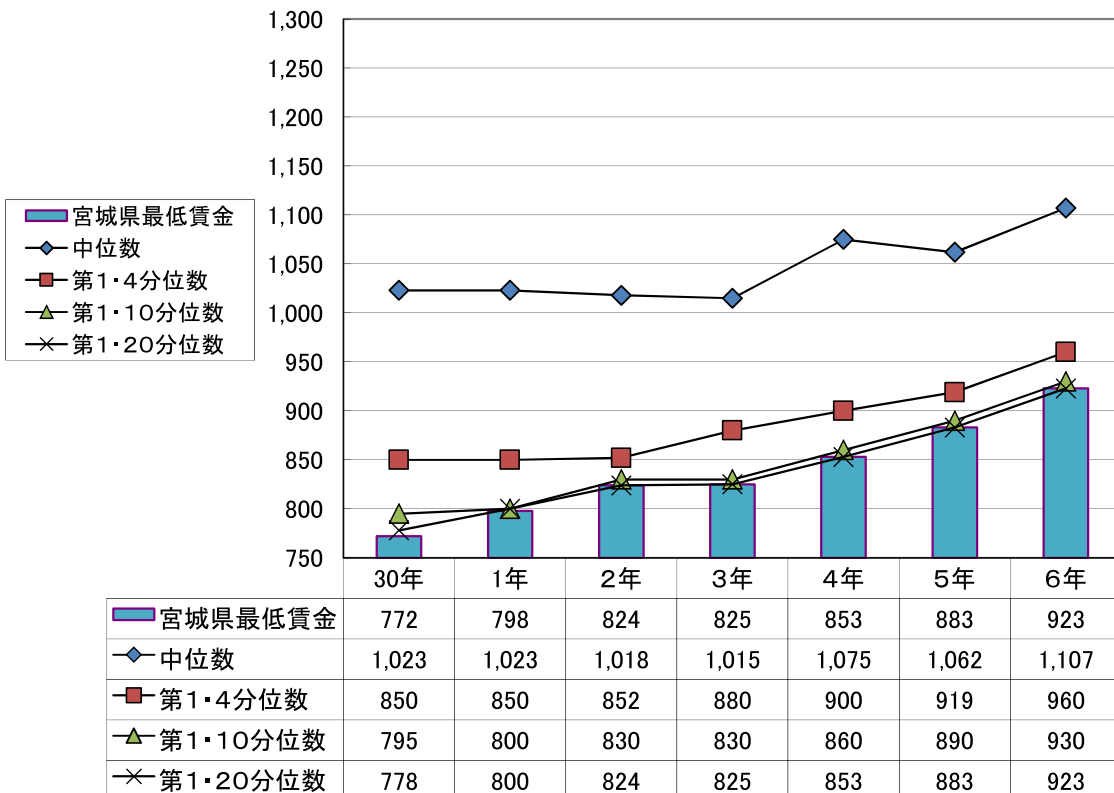


## 10 地域別時間当たり賃金額の推移

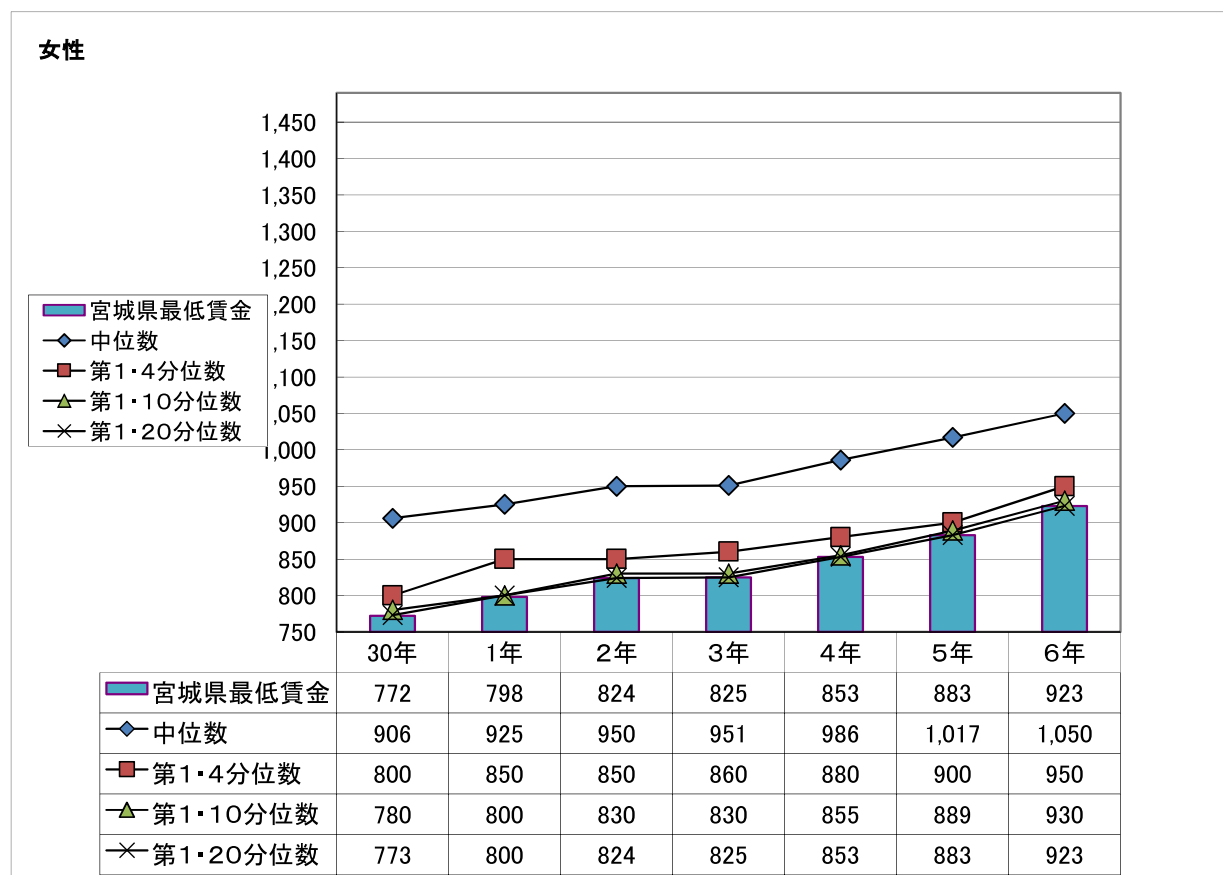
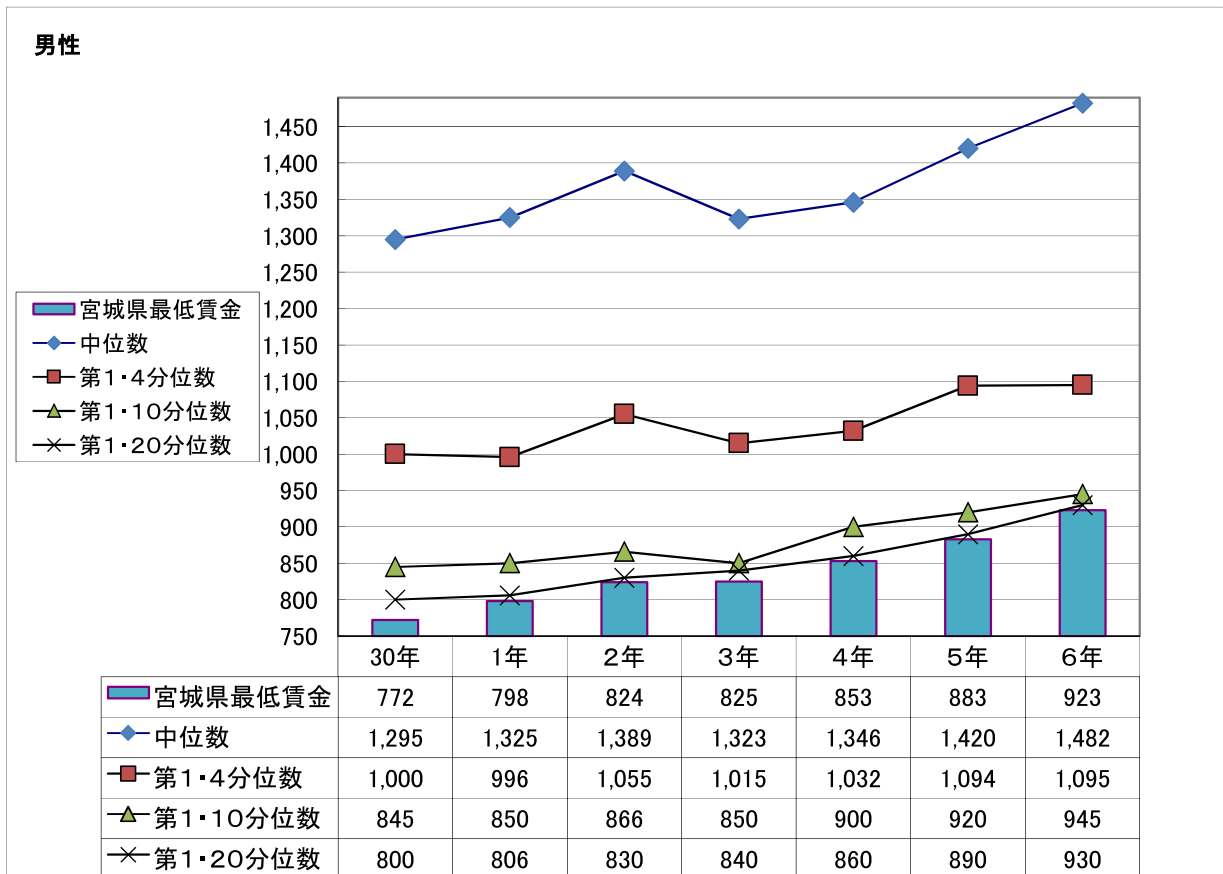
### 仙台市周辺



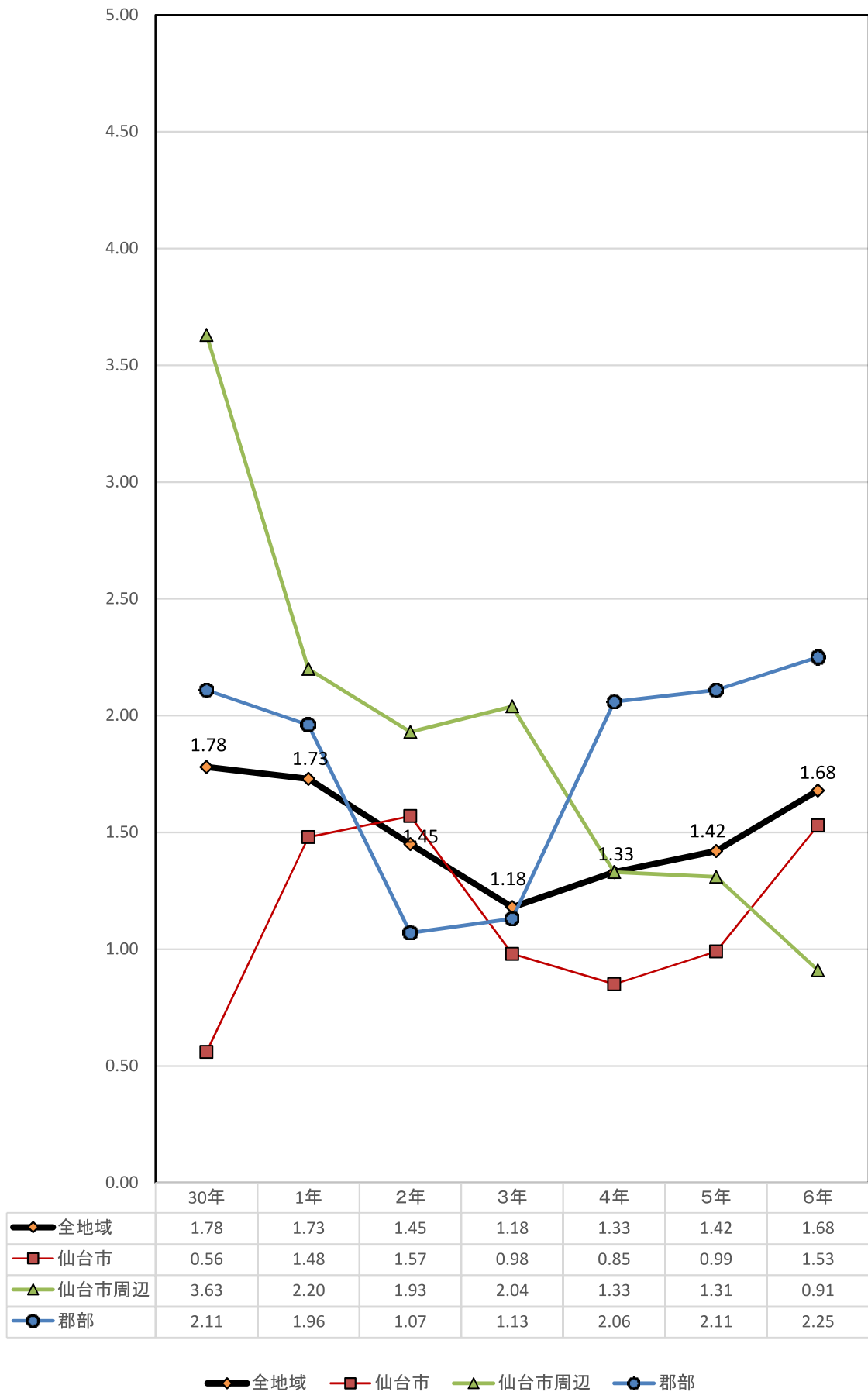
### 郡部



## 11 男女別時間当たり賃金額の推移



## 12 未満率の推移





937	-	937	44,469 (12.9)	17,942 (13.0)	20,670 (11.6)	5,856 (20.7)	18,282 (10.4)	9,288 (18.3)	16,898 (14.5)	1,773 (57.2)	2,864 (31.2)	24,944 (10.7)	3,033 (9.2)	4,305 (16.2)	7,550 (19.5)
938	-	938	44,547 (13.0)	17,942 (13.0)	20,749 (11.7)	5,856 (20.7)	18,361 (10.4)	9,288 (18.3)	16,898 (14.5)	1,773 (57.2)	2,864 (31.2)	24,944 (10.7)	3,033 (9.2)	4,305 (16.2)	7,628 (19.7)
939	-	939	44,769 (13.0)	17,942 (13.0)	20,971 (11.8)	5,856 (20.7)	18,569 (10.6)	9,288 (18.3)	16,912 (14.5)	1,773 (57.2)	2,864 (31.2)	25,167 (10.8)	3,033 (9.2)	4,305 (16.2)	7,628 (19.7)
940	-	940	54,155 (15.8)	21,141 (15.4)	26,957 (15.2)	6,056 (21.5)	22,323 (12.7)	10,066 (19.8)	21,767 (18.6)	2,014 (65.0)	4,185 (45.6)	31,528 (13.5)	3,313 (10.0)	4,613 (17.3)	8,503 (22.0)
941	-	941	54,233 (15.8)	21,141 (15.4)	27,035 (15.2)	6,056 (21.5)	22,401 (12.7)	10,066 (19.8)	21,767 (18.6)	2,014 (65.0)	4,185 (45.6)	31,528 (13.5)	3,313 (10.0)	4,613 (17.3)	8,581 (22.2)
942		942	54,354 (15.8)	21,141 (15.4)	27,113 (15.3)	6,099 (21.6)	22,479 (12.8)	10,066 (19.8)	21,809 (18.7)	2,014 (65.0)	4,185 (45.6)	31,570 (13.6)	3,313 (10.0)	4,613 (17.3)	8,659 (22.4)
943		943	54,734 (15.9)	21,232 (15.4)	27,403 (15.4)	6,099 (21.6)	22,608 (12.9)	10,155 (20.0)	21,971 (18.8)	2,014 (65.0)	4,235 (46.2)	31,810 (13.7)	3,403 (10.3)	4,613 (17.3)	8,659 (22.4)
944		944	54,741 (15.9)	21,232 (15.4)	27,411 (15.4)	6,099 (21.6)	22,608 (12.9)	10,155 (20.0)	21,979 (18.8)	2,014 (65.0)	4,235 (46.2)	31,814 (13.7)	3,403 (10.3)	4,616 (17.3)	8,659 (22.4)
945		945	55,909 (16.3)	21,466 (15.6)	28,288 (15.9)	6,155 (21.8)	23,130 (13.1)	10,381 (20.4)	22,399 (19.2)	2,014 (65.0)	4,235 (46.2)	32,374 (13.9)	3,444 (10.4)	4,839 (18.2)	9,003 (23.3)
946		946	57,116 (16.6)	21,571 (15.7)	29,388 (16.6)	6,157 (21.8)	23,391 (13.3)	10,383 (20.4)	23,342 (20.0)	2,108 (68.0)	4,613 (50.3)	33,002 (14.2)	3,446 (10.4)	4,839 (18.2)	9,108 (23.6)
947		947	57,302 (16.7)	21,637 (15.7)	29,466 (16.6)	6,200 (22.0)	23,469 (13.3)	10,448 (20.6)	23,385 (20.0)	2,108 (68.0)	4,613 (50.3)	33,123 (14.2)	3,446 (10.4)	4,839 (18.2)	9,173 (23.7)
948		948	57,566 (16.8)	21,637 (15.7)	29,727 (16.7)	6,203 (22.0)	23,651 (13.4)	10,448 (20.6)	23,467 (20.1)	2,108 (68.0)	4,613 (50.3)	33,305 (14.3)	3,528 (10.7)	4,839 (18.2)	9,173 (23.7)
949		949	57,773 (16.8)	21,696 (15.8)	29,835 (16.8)	6,242 (22.1)	23,755 (13.5)	10,448 (20.6)	23,569 (20.2)	2,108 (68.0)	4,613 (50.3)	33,508 (14.4)	3,528 (10.7)	4,843 (18.2)	9,173 (23.7)
950		950	70,672 (20.6)	27,461 (19.9)	36,258 (20.4)	6,952 (24.6)	29,323 (16.7)	13,502 (26.6)	27,847 (23.9)	2,919 (94.1)	5,914 (64.5)	39,649 (17.0)	4,404 (13.3)	5,907 (22.2)	11,878 (30.7)
951		951	71,488 (20.8)	27,461 (19.9)	37,072 (20.9)	6,955 (24.6)	29,570 (16.8)	13,502 (24.3)	28,416 (24.3)	2,919 (94.1)	5,914 (64.5)	40,118 (17.2)	4,499 (13.6)	6,066 (22.8)	11,973 (31.0)
952		952	71,636 (20.9)	27,527 (20.0)	37,154 (20.9)	6,955 (24.6)	29,570 (16.8)	13,568 (26.7)	28,498 (24.4)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,121 (17.2)	4,564 (13.8)	6,066 (22.8)	11,973 (31.0)
953		953	71,846 (20.9)	27,527 (20.0)	37,335 (21.0)	6,985 (24.7)	29,661 (16.9)	13,657 (26.9)	28,528 (24.4)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,243 (17.3)	4,564 (13.8)	6,155 (23.1)	11,973 (31.0)
954		954	71,866 (20.9)	27,529 (20.0)	37,349 (21.0)	6,987 (24.8)	29,663 (16.9)	13,659 (26.9)	28,543 (24.5)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,258 (17.3)	4,568 (13.8)	6,155 (23.1)	11,973 (31.0)
955		955	72,341 (21.1)	27,618 (20.1)	37,648 (21.2)	7,075 (25.1)	29,857 (17.0)	13,659 (26.9)	28,824 (24.7)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,601 (17.4)	4,700 (14.2)	6,155 (23.1)	11,973 (31.0)
956		956	72,344 (21.1)	27,618 (20.1)	37,648 (21.2)	7,079 (25.1)	29,857 (17.0)	13,659 (26.9)	28,828 (24.7)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,605 (17.4)	4,700 (14.2)	6,155 (23.1)	11,973 (31.0)
957		957	72,726 (21.2)	27,721 (20.1)	37,926 (21.4)	7,079 (25.1)	30,066 (17.1)	13,659 (26.9)	29,000 (24.8)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,986 (17.6)	4,700 (14.2)	6,155 (23.1)	11,973 (31.0)
958		958	72,882 (21.2)	27,770 (20.2)	38,031 (21.4)	7,081 (25.1)	30,170 (17.2)	13,659 (26.9)	29,053 (24.9)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	40,986 (17.6)	4,700 (14.2)	6,259 (23.5)	12,025 (31.1)
959		959	73,065 (21.3)	27,770 (20.2)	38,139 (21.5)	7,155 (25.4)	30,266 (17.2)	13,672 (26.9)	29,127 (25.0)	2,919 (94.1)	5,993 (65.4)	41,025 (17.6)	4,700 (14.2)	6,259 (23.5)	12,168 (31.5)
960		960	77,026 (22.4)	28,676 (20.8)	41,192 (23.2)	7,157 (25.4)	31,922 (18.1)	14,099 (27.7)	31,005 (26.6)	2,919 (94.1)	6,174 (67.3)	43,423 (18.6)	4,917 (14.9)	6,356 (23.8)	13,237 (34.3)
961		961	77,488 (22.6)	28,823 (20.9)	41,507 (23.4)	7,157 (25.4)	32,237 (18.3)	14,099 (27.7)	31,152 (26.7)	2,919 (94.1)	6,174 (67.3)	43,572 (18.7)	4,917 (14.9)	6,434 (24.1)	13,472 (34.9)
962		962	77,537 (22.6)	28,872 (21.0)	41,507 (23.4)	7,157 (25.4)	32,237 (18.3)	14,099 (27.7)	31,201 (26.7)	2,919 (94.1)	6,174 (67.3)	43,621 (18.7)	4,917 (14.9)	6,434 (24.1)	13,472 (34.9)
963		963	78,050 (22.7)	28,930 (21.0)	41,962 (23.6)	7,157 (25.4)	32,602 (18.5)	14,188 (27.9)	31,259 (26.8)	2,919 (94.1)	6,174 (67.3)	44,076 (18.9)	4,975 (15.1)	6,434 (24.1)	13,472 (34.9)
964		964	78,208 (22.8)	29,089 (21.1)	41,962 (23.6)	7,157 (25.4)	32,711 (18.6)	14,188 (27.9)	31,309 (26.8)	2,919 (94.1)	6,174 (67.3)	44,234 (19.0)	4,975 (15.1)	6,434 (24.1)	13,472 (34.9)

965	965	78,823 (23.0)	29,354 (21.3)	42,269 (23.8)	7,200 (25.5)	32,816 (18.7)	14,301 (28.1)	31,706 (27.2)		2,919 (94.1)	6,228 (67.9)	44,546 (19.1)	5,163 (15.6)	6,496 (24.4)	13,472 (34.9)
966	966	79,181 (23.1)	29,354 (21.3)	42,627 (24.0)	7,200 (25.5)	32,920 (18.7)	14,301 (28.1)	31,959 (27.4)		2,919 (94.1)	6,228 (67.9)	44,809 (19.2)	5,163 (15.6)	6,591 (24.7)	13,472 (34.9)
967	967	79,328 (23.1)	29,437 (21.4)	42,691 (24.1)	7,200 (25.5)	33,003 (18.8)	14,301 (28.1)	32,024 (27.4)		2,919 (94.1)	6,228 (67.9)	44,956 (19.3)	5,163 (15.6)	6,591 (24.7)	13,472 (34.9)
968	968	79,489 (23.1)	29,437 (21.4)	42,852 (24.1)	7,200 (25.5)	33,094 (18.8)	14,301 (28.1)	32,094 (27.5)		2,919 (94.1)	6,228 (67.9)	44,956 (19.3)	5,163 (15.6)	6,591 (24.7)	13,633 (35.3)
969	969	79,738 (23.2)	29,491 (21.4)	43,048 (24.3)	7,200 (25.5)	33,343 (19.0)	14,301 (28.1)	32,094 (27.5)		2,919 (94.1)	6,228 (67.9)	45,114 (19.4)	5,163 (15.6)	6,591 (24.7)	13,724 (35.5)
970	970	82,222 (23.9)	30,339 (22.0)	44,458 (25.0)	7,425 (26.3)	33,971 (19.3)	15,259 (30.0)	32,992 (28.3)		2,919 (94.1)	6,389 (69.7)	46,630 (20.0)	5,429 (16.4)	6,735 (25.3)	14,120 (36.5)
971	971	83,034 (24.2)	30,446 (22.1)	45,162 (25.4)	7,425 (26.3)	34,676 (19.7)	15,259 (30.0)	33,099 (28.4)		2,919 (94.1)	6,389 (69.7)	47,210 (20.3)	5,429 (16.4)	6,813 (25.6)	14,274 (36.9)
972	972	83,227 (24.2)	30,638 (22.2)	45,162 (25.4)	7,427 (26.3)	34,867 (19.8)	15,261 (30.0)	33,099 (28.4)		2,919 (94.1)	6,389 (69.7)	47,401 (20.4)	5,429 (16.4)	6,813 (25.6)	14,276 (37.0)
973	973	83,958 (24.4)	30,802 (22.4)	45,729 (25.8)	7,427 (26.3)	35,329 (20.1)	15,261 (30.0)	33,369 (28.6)		2,919 (94.1)	6,389 (69.7)	47,998 (20.6)	5,494 (16.6)	6,813 (25.6)	14,346 (37.1)
974	974	83,958 (24.4)	30,802 (22.4)	45,729 (25.8)	7,427 (26.3)	35,329 (20.1)	15,261 (30.0)	33,369 (28.6)		2,919 (94.1)	6,389 (69.7)	47,998 (20.6)	5,494 (16.6)	6,813 (25.6)	14,346 (37.1)
975	975	84,526 (24.6)	31,031 (22.5)	46,067 (26.0)	7,427 (26.3)	35,627 (20.3)	15,261 (30.0)	33,638 (28.8)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	48,152 (20.7)	5,598 (16.9)	7,032 (26.4)	14,346 (37.1)
976	976	84,630 (24.6)	31,031 (22.5)	46,172 (26.0)	7,427 (26.3)	35,732 (20.3)	15,261 (30.0)	33,638 (28.8)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	48,256 (20.7)	5,598 (16.9)	7,032 (26.4)	14,346 (37.1)
977	977	84,785 (24.7)	31,147 (22.6)	46,172 (26.0)	7,467 (26.5)	35,732 (20.3)	15,261 (30.0)	33,793 (29.0)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	48,354 (20.8)	5,656 (17.1)	7,032 (26.4)	14,346 (37.1)
978	978	85,364 (24.9)	31,661 (23.0)	46,236 (26.0)	7,467 (26.5)	36,196 (20.6)	15,261 (30.0)	33,907 (29.1)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	48,883 (21.0)	5,656 (17.1)	7,032 (26.4)	14,395 (37.3)
979	979	85,550 (24.9)	31,661 (23.0)	46,419 (26.2)	7,470 (26.5)	36,379 (20.7)	15,261 (30.0)	33,910 (29.1)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	48,961 (21.0)	5,761 (17.4)	7,032 (26.4)	14,398 (37.3)
980	980	89,062 (25.9)	32,963 (23.9)	47,715 (26.9)	8,383 (29.7)	37,660 (21.4)	15,727 (30.9)	35,676 (30.6)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	50,590 (21.7)	6,242 (18.9)	7,429 (27.9)	15,405 (39.9)
981	981	89,178 (26.0)	33,079 (24.0)	47,715 (26.9)	8,383 (29.7)	37,660 (21.4)	15,727 (30.9)	35,792 (30.7)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	50,706 (21.8)	6,242 (18.9)	7,429 (27.9)	15,405 (39.9)
982	982	89,752 (26.1)	33,154 (24.1)	48,214 (27.2)	8,383 (29.7)	38,021 (21.6)	15,727 (30.9)	36,004 (30.8)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,188 (22.0)	6,242 (18.9)	7,429 (27.9)	15,496 (40.1)
983	983	89,968 (26.2)	33,332 (24.2)	48,214 (27.2)	8,423 (29.8)	38,021 (21.6)	15,727 (30.9)	36,220 (31.0)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,233 (22.0)	6,281 (19.0)	7,517 (28.2)	15,540 (40.2)
984	984	89,968 (26.2)	33,332 (24.2)	48,214 (27.2)	8,423 (29.8)	38,021 (21.6)	15,727 (30.9)	36,220 (31.0)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,233 (22.0)	6,281 (19.0)	7,517 (28.2)	15,540 (40.2)
985	985	90,180 (26.3)	33,332 (24.2)	48,426 (27.3)	8,423 (29.8)	38,126 (21.7)	15,835 (31.2)	36,220 (31.0)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,391 (22.1)	6,335 (19.2)	7,517 (28.2)	15,540 (40.2)
986	986	90,470 (26.3)	33,484 (24.3)	48,524 (27.3)	8,462 (30.0)	38,126 (21.7)	15,835 (31.2)	36,510 (31.3)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,543 (22.1)	6,374 (19.3)	7,615 (28.6)	15,540 (40.2)
987	987	90,470 (26.3)	33,484 (24.3)	48,524 (27.3)	8,462 (30.0)	38,126 (21.7)	15,835 (31.2)	36,510 (31.3)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,543 (22.1)	6,374 (19.3)	7,615 (28.6)	15,540 (40.2)
988	988	90,584 (26.4)	33,533 (24.3)	48,589 (27.4)	8,462 (30.0)	38,126 (21.7)	15,835 (31.2)	36,624 (31.4)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,607 (22.2)	6,374 (19.3)	7,615 (28.6)	15,590 (40.4)
989	989	90,733 (26.4)	33,577 (24.4)	48,693 (27.4)	8,462 (30.0)	38,230 (21.7)	15,835 (31.2)	36,668 (31.4)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	51,712 (22.2)	6,374 (19.3)	7,660 (28.7)	15,590 (40.4)
990	990	92,449 (26.9)	34,095 (24.8)	49,889 (28.1)	8,465 (30.0)	38,963 (22.2)	15,954 (31.4)	37,532 (32.2)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	53,153 (22.8)	6,374 (19.3)	7,754 (29.1)	15,770 (40.8)
991	991	92,708 (27.0)	34,188 (24.8)	50,055 (28.2)	8,465 (30.0)	39,068 (22.2)	16,015 (31.5)	37,625 (32.2)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	53,259 (22.9)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,770 (40.8)
992	992	93,142 (27.1)	34,516 (25.1)	50,161 (28.3)	8,465 (30.0)	39,500 (22.5)	16,015 (31.5)	37,627 (32.2)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	53,693 (23.1)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,770 (40.8)

993	993	93,225 (27.1)	34,599 (25.1)	50,161 (28.3)	8,465 (30.0)	39,582 (22.5)	16,015 (31.5)	37,627 (32.2)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	53,775 (23.1)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,770 (40.8)
994	994	93,381 (27.2)	34,599 (25.1)	50,317 (28.3)	8,465 (30.0)	39,739 (22.6)	16,015 (31.5)	37,627 (32.2)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	53,931 (23.2)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,770 (40.8)
995	995	93,502 (27.2)	34,681 (25.2)	50,317 (28.3)	8,505 (30.1)	39,821 (22.6)	16,015 (31.5)	37,667 (32.3)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	54,053 (23.2)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,770 (40.8)
996	996	93,955 (27.4)	34,945 (25.4)	50,506 (28.5)	8,505 (30.1)	39,821 (22.6)	16,015 (31.5)	38,120 (32.7)		2,919 (94.1)	6,478 (70.7)	54,506 (23.4)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,770 (40.8)
997	997	94,091 (27.4)	35,002 (25.4)	50,506 (28.5)	8,584 (30.4)	39,875 (22.7)	16,015 (31.5)	38,201 (32.7)		2,919 (94.1)	6,518 (71.1)	54,599 (23.4)	6,424 (19.4)	7,858 (29.5)	15,773 (40.8)
998	998	94,235 (27.4)	35,052 (25.5)	50,600 (28.5)	8,584 (30.4)	39,875 (22.7)	16,015 (31.5)	38,345 (32.9)		2,919 (94.1)	6,518 (71.1)	54,649 (23.5)	6,518 (19.7)	7,858 (29.5)	15,773 (40.8)
999	999	94,413 (27.5)	35,101 (25.5)	50,689 (28.6)	8,623 (30.6)	39,964 (22.7)	16,015 (31.5)	38,434 (32.9)		2,919 (94.1)	6,518 (71.1)	54,826 (23.5)	6,518 (19.7)	7,858 (29.5)	15,773 (40.8)
1000	1000	113,013 (32.9)	43,764 (31.8)	60,428 (34.0)	8,820 (31.3)	50,133 (28.5)	18,841 (37.1)	44,038 (37.7)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	66,543 (28.6)	7,746 (23.4)	8,767 (32.9)	19,108 (49.5)
1001	1001	113,067 (32.9)	43,818 (31.8)	60,428 (34.0)	8,820 (31.3)	50,187 (28.5)	18,841 (37.1)	44,038 (37.7)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	66,597 (28.6)	7,746 (23.4)	8,767 (32.9)	19,108 (49.5)
1002	1002	113,200 (33.0)	43,876 (31.9)	60,504 (34.1)	8,820 (31.3)	50,187 (28.5)	18,841 (37.1)	44,172 (37.8)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	66,669 (28.6)	7,746 (23.4)	8,829 (33.1)	19,108 (49.5)
1003	1003	113,316 (33.0)	43,992 (31.9)	60,504 (34.1)	8,820 (31.3)	50,187 (28.5)	18,841 (37.1)	44,288 (37.9)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	66,727 (28.7)	7,746 (23.4)	8,829 (33.1)	19,166 (49.6)
1004	1004	113,665 (33.1)	44,198 (32.1)	60,646 (34.2)	8,820 (31.3)	50,354 (28.6)	18,900 (37.2)	44,410 (38.0)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	66,881 (28.7)	7,863 (23.8)	8,829 (33.1)	19,244 (49.8)
1005	1005	114,270 (33.3)	44,581 (32.4)	60,869 (34.3)	8,820 (31.3)	50,750 (28.9)	18,966 (37.3)	44,554 (38.2)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	67,230 (28.9)	7,952 (24.1)	8,918 (33.5)	19,322 (50.0)
1006	1006	114,353 (33.3)	44,663 (32.4)	60,869 (34.3)	8,820 (31.3)	50,833 (28.9)	18,966 (37.3)	44,554 (38.2)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	67,312 (28.9)	7,952 (24.1)	8,918 (33.5)	19,322 (50.0)
1007	1007	114,678 (33.4)	44,663 (32.4)	61,195 (34.5)	8,820 (31.3)	51,015 (29.0)	18,966 (37.3)	44,697 (38.3)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	67,455 (29.0)	7,952 (24.1)	9,022 (33.9)	19,401 (50.2)
1008	1008	114,723 (33.4)	44,707 (32.5)	61,195 (34.5)	8,820 (31.3)	51,015 (29.0)	18,966 (37.3)	44,742 (38.3)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	67,499 (29.0)	7,952 (24.1)	9,022 (33.9)	19,401 (50.2)
1009	1009	115,081 (33.5)	44,961 (32.6)	61,300 (34.5)	8,820 (31.3)	51,311 (29.2)	18,966 (37.3)	44,804 (38.4)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	67,690 (29.1)	8,015 (24.2)	9,022 (33.9)	19,505 (50.5)
1010	1010	115,746 (33.7)	45,069 (32.7)	61,817 (34.8)	8,860 (31.4)	51,311 (29.2)	19,324 (38.0)	45,110 (38.6)		3,098 (99.9)	7,751 (84.5)	68,207 (29.3)	8,015 (24.2)	9,022 (33.9)	19,654 (50.9)
1011	1011	116,293 (33.9)	45,304 (32.9)	62,036 (35.0)	8,953 (31.7)	51,458 (29.3)	19,538 (38.4)	45,296 (38.8)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	68,496 (29.4)	8,015 (24.2)	9,076 (34.1)	19,811 (51.3)
1012	1012	116,464 (33.9)	45,386 (33.0)	62,125 (35.0)	8,953 (31.7)	51,629 (29.4)	19,538 (38.4)	45,296 (38.8)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	68,667 (29.5)	8,015 (24.2)	9,076 (34.1)	19,811 (51.3)
1013	1013	116,670 (34.0)	45,386 (33.0)	62,212 (35.1)	9,071 (32.1)	51,629 (29.4)	19,626 (38.6)	45,414 (38.9)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	68,785 (29.5)	8,015 (24.2)	9,076 (34.1)	19,899 (51.5)
1014	1014	117,043 (34.1)	45,557 (33.1)	62,375 (35.1)	9,111 (32.3)	51,803 (29.4)	19,626 (38.6)	45,614 (39.1)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	68,983 (29.6)	8,015 (24.2)	9,251 (34.7)	19,899 (51.5)
1015	1015	117,340 (34.2)	45,764 (33.2)	62,466 (35.2)	9,111 (32.3)	51,894 (29.5)	19,626 (38.6)	45,821 (39.3)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	69,074 (29.7)	8,131 (24.6)	9,342 (35.1)	19,899 (51.5)
1016	1016	117,830 (34.3)	46,015 (33.4)	62,704 (35.3)	9,111 (32.3)	51,894 (29.5)	19,731 (38.8)	46,205 (39.6)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	69,563 (29.9)	8,131 (24.6)	9,342 (35.1)	19,899 (51.5)
1017	1017	117,888 (34.3)	46,073 (33.5)	62,704 (35.3)	9,111 (32.3)	51,894 (29.5)	19,731 (38.8)	46,263 (39.6)		3,098 (99.9)	7,797 (85.1)	69,621 (29.9)	8,131 (24.6)	9,342 (35.1)	19,899 (51.5)
1018	1018	118,011 (34.4)	46,197 (33.5)	62,704 (35.3)	9,111 (32.3)	51,894 (29.5)	19,797 (39.0)	46,321 (39.7)		3,098 (99.9)	7,863 (85.8)	69,621 (29.9)	8,131 (24.6)	9,400 (35.3)	19,899 (51.5)
1019	1019	118,181 (34.4)	46,262 (33.6)	62,808 (35.4)	9,111 (32.3)	51,998 (29.6)	19,862 (39.1)	46,321 (39.7)		3,098 (99.9)	7,863 (85.8)	69,726 (29.9)	8,196 (24.8)	9,400 (35.3)	19,899 (51.5)
1020	1020	120,030 (34.9)	46,516 (33.8)	64,207 (36.2)	9,308 (33.0)	53,104 (30.2)	19,862 (39.1)	47,064 (40.3)		3,098 (99.9)	7,967 (86.9)	70,812 (30.4)	8,333 (25.2)	9,634 (36.1)	20,186 (52.2)



1021	1021	120,472 (35.1)	46,516 (33.8)	64,649 (36.4)	9,308 (33.0)	53,104 (30.2)	19,862 (39.1)	47,506 (40.7)		3,098 (99.9)	7,967 (86.9)	70,971 (30.5)	8,427 (25.5)	9,729 (36.5)	20,280 (52.5)
1022	1022	120,715 (35.1)	46,624 (33.9)	64,713 (36.5)	9,378 (33.2)	53,104 (30.2)	19,991 (39.3)	47,620 (40.8)		3,098 (99.9)	7,967 (86.9)	71,214 (30.6)	8,427 (25.5)	9,729 (36.5)	20,280 (52.5)
1023	1023	120,874 (35.2)	46,624 (33.9)	64,873 (36.5)	9,378 (33.2)	53,104 (30.2)	20,080 (39.5)	47,690 (40.9)		3,098 (99.9)	7,967 (86.9)	71,303 (30.6)	8,427 (25.5)	9,729 (36.5)	20,350 (52.7)
1024	1029	122,901 (35.8)	47,178 (34.3)	66,305 (37.4)	9,417 (33.4)	54,133 (30.8)	20,383 (40.1)	48,385 (41.5)		3,098 (99.9)	7,967 (86.9)	72,870 (31.3)	8,427 (25.5)	10,094 (37.9)	20,445 (52.9)
1030	1039	125,985 (36.7)	48,820 (35.4)	67,418 (38.0)	9,746 (34.5)	55,101 (31.3)	21,128 (41.6)	49,755 (42.6)		3,098 (99.9)	8,032 (87.6)	74,587 (32.0)	8,955 (27.1)	10,390 (39.0)	20,924 (54.2)
1040	1049	129,062 (37.6)	50,135 (36.4)	69,059 (38.9)	9,868 (35.0)	56,249 (32.0)	21,867 (43.0)	50,946 (43.6)		3,098 (99.9)	8,032 (87.6)	76,439 (32.8)	9,285 (28.1)	10,604 (39.8)	21,605 (55.9)
1050	1059	133,609 (38.9)	51,596 (37.5)	71,859 (40.5)	10,154 (36.0)	58,103 (33.0)	22,809 (44.9)	52,698 (45.1)		3,098 (99.9)	8,450 (92.2)	79,310 (34.1)	9,596 (29.0)	10,938 (41.0)	22,218 (57.5)
1060	1069	135,628 (39.5)	52,627 (38.2)	72,686 (41.0)	10,315 (36.5)	58,872 (33.5)	23,184 (45.6)	53,572 (45.9)		3,098 (99.9)	8,450 (92.2)	80,806 (34.7)	9,643 (29.2)	11,048 (41.5)	22,584 (58.5)
1070	1079	138,042 (40.2)	53,803 (39.1)	73,633 (41.5)	10,606 (37.6)	59,804 (34.0)	23,381 (46.0)	54,857 (47.0)		3,098 (99.9)	8,450 (92.2)	82,400 (35.4)	9,879 (29.9)	11,273 (42.3)	22,942 (59.4)
1080	1089	140,516 (40.9)	55,003 (39.9)	74,436 (41.9)	11,078 (39.2)	60,983 (34.7)	23,762 (46.8)	55,771 (47.8)		3,098 (99.9)	8,519 (92.9)	84,131 (36.1)	10,304 (31.2)	11,474 (43.1)	22,990 (59.5)
1090	1099	143,122 (41.7)	56,228 (40.8)	75,619 (42.6)	11,275 (39.9)	62,309 (35.4)	24,259 (47.7)	56,554 (48.5)		3,098 (99.9)	8,606 (93.9)	86,160 (37.0)	10,423 (31.5)	11,678 (43.8)	23,157 (59.9)
1100	1199	168,157 (49.0)	67,536 (49.0)	87,678 (49.4)	12,943 (45.9)	75,677 (43.0)	27,686 (54.5)	64,794 (55.5)		3,098 (99.9)	8,707 (95.0)	105,417 (45.3)	12,445 (37.7)	13,583 (51.0)	24,907 (64.5)
1200	1299	195,027 (56.8)	78,137 (56.7)	102,374 (57.7)	14,516 (51.4)	89,257 (50.7)	31,742 (62.5)	74,028 (63.4)		3,101 (100.0)	9,053 (98.8)	125,058 (53.7)	14,178 (42.9)	16,096 (60.4)	27,541 (71.3)
1300	1399	217,251 (63.3)	86,805 (63.0)	114,080 (64.3)	16,365 (58.0)	100,273 (57.0)	34,961 (68.8)	82,017 (70.3)			9,123 (99.5)	142,008 (61.0)	16,113 (48.8)	17,583 (66.0)	29,323 (75.9)
1400	1499	237,240 (69.1)	95,550 (69.4)	123,983 (69.9)	17,707 (62.7)	111,432 (63.3)	37,996 (74.8)	87,812 (75.2)			9,123 (99.5)	157,070 (67.5)	17,680 (53.5)	18,960 (71.1)	31,305 (81.0)
1500	1599	254,726 (74.2)	102,396 (74.3)	133,018 (74.9)	19,312 (68.4)	120,795 (68.7)	40,097 (78.9)	93,835 (80.4)			9,123 (99.5)	170,591 (73.3)	19,417 (58.7)	20,617 (77.4)	31,877 (82.5)
1600	1699	269,593 (78.5)	107,458 (78.0)	141,717 (79.8)	20,418 (72.3)	129,086 (73.4)	42,179 (83.0)	98,328 (84.2)			9,167 (100.0)	181,912 (78.1)	20,768 (62.8)	21,382 (80.2)	33,263 (86.1)
1700	1799	280,490 (81.7)	112,197 (81.5)	146,787 (82.7)	21,506 (76.2)	134,838 (76.7)	43,773 (86.1)	101,878 (87.3)				190,080 (81.6)	21,930 (66.3)	22,216 (83.4)	33,996 (88.0)
1800	1899	289,042 (84.2)	115,811 (84.1)	150,795 (85.0)	22,436 (79.5)	140,170 (79.7)	45,334 (89.2)	103,538 (88.7)				196,697 (84.5)	22,968 (69.5)	22,832 (85.7)	34,277 (88.7)
1900	1999	296,694 (86.4)	119,132 (86.5)	154,264 (86.9)	23,299 (82.5)	145,248 (82.6)	45,830 (90.2)	105,616 (90.5)				202,440 (86.9)	23,946 (72.4)	23,113 (86.7)	34,928 (90.4)
2000		343,442 (100.0)	137,727 (100.0)	177,491 (100.0)	28,224 (100.0)	175,906 (100.0)	50,819 (100.0)	116,717 (100.0)				232,837 (100.0)	33,052 (100.0)	26,651 (100.0)	38,633 (100.0)
月平均賃金額		200,155	194,104	198,976	237,092	215,074	177,505	187,532		38,170	68,528	207,161	261,935	197,488	151,150
時間当平均賃金額		1,430	1,425	1,424	1,488	1,527	1,349	1,320		939	979	1,437	1,729	1,421	1,283
月一人当たり労働時間数		133	131	132	157	133	123	137		41	69	139	144	136	113
第1・20分位数		923	923	923	923	925	925	923		923	923	924	930	923	923
第1・10分位数		930	930	930	923	935	930	930		923	923	933	940	925	925
第1・4分位数		980	992	970	955	1,000	950	960		923	930	1,000	1,020	970	950
中位数		1,203	1,200	1,200	1,270	1,290	1,120	1,107		930	946	1,250	1,421	1,173	1,005
四分位偏差係数		0.2648	0.2604	0.2625	0.3189	0.2888	0.2455	0.2385		0.0145	0.0370	0.2504	0.3916	0.2451	0.2065

【上段】

累積労働者数

【下段】

累積構成比



937	-	937	44,469 (12.9)	11,183 (7.5)	999 (78.4)	1,100 (30.1)	5,833 (5.7)	155 (1.0)	1,014 (9.4)	2,082 (11.7)	33,286 (17.2)	774 (42.4)	1,764 (32.0)	19,110 (14.6)	2,878 (15.8)	3,291 (20.7)	5,468 (26.2)
938	-	938	44,547 (13.0)	11,261 (7.5)	999 (78.4)	1,100 (30.1)	5,833 (5.7)	155 (1.0)	1,014 (9.4)	2,160 (12.1)	33,286 (17.2)	774 (42.4)	1,764 (32.0)	19,110 (14.6)	2,878 (15.8)	3,291 (20.7)	5,468 (26.2)
939	-	939	44,769 (13.0)	11,470 (7.7)	999 (78.4)	1,100 (30.1)	6,042 (5.9)	155 (1.0)	1,014 (9.4)	2,160 (12.1)	33,300 (17.2)	774 (42.4)	1,764 (32.0)	19,124 (14.6)	2,878 (15.8)	3,291 (20.7)	5,468 (26.2)
940	-	940	54,155 (15.8)	14,530 (9.7)	1,181 (92.7)	1,473 (40.2)	8,019 (7.9)	155 (1.0)	1,067 (9.9)	2,636 (14.8)	39,625 (20.5)	833 (45.6)	2,712 (49.2)	23,509 (17.9)	3,158 (17.4)	3,546 (22.3)	5,867 (28.2)
941	-	941	54,233 (15.8)	14,608 (9.7)	1,181 (92.7)	1,473 (40.2)	8,019 (7.9)	155 (1.0)	1,067 (9.9)	2,714 (15.2)	39,625 (20.5)	833 (45.6)	2,712 (49.2)	23,509 (17.9)	3,158 (17.4)	3,546 (22.3)	5,867 (28.2)
942		942	54,354 (15.8)	14,647 (9.8)	1,181 (92.7)	1,473 (40.2)	8,058 (7.9)	155 (1.0)	1,067 (9.9)	2,714 (15.2)	39,706 (20.5)	833 (45.6)	2,712 (49.2)	23,512 (17.9)	3,158 (17.4)	3,546 (22.3)	5,945 (28.5)
943		943	54,734 (15.9)	14,770 (9.9)	1,181 (92.7)	1,523 (41.6)	8,130 (8.0)	155 (1.0)	1,067 (9.9)	2,714 (15.2)	39,964 (20.7)	833 (45.6)	2,712 (49.2)	23,680 (18.0)	3,248 (17.9)	3,546 (22.3)	5,945 (28.5)
944		944	54,741 (15.9)	14,770 (9.9)	1,181 (92.7)	1,523 (41.6)	8,130 (8.0)	155 (1.0)	1,067 (9.9)	2,714 (15.2)	39,972 (20.7)	833 (45.6)	2,712 (49.2)	23,684 (18.0)	3,248 (17.9)	3,550 (22.3)	5,945 (28.5)
945		945	55,909 (16.3)	15,119 (10.1)	1,181 (92.7)	1,523 (41.6)	8,425 (8.3)	155 (1.0)	1,067 (9.9)	2,768 (15.6)	40,790 (21.1)	833 (45.6)	2,712 (49.2)	23,949 (18.2)	3,289 (18.1)	3,772 (23.7)	6,235 (29.9)
946		946	57,116 (16.6)	15,631 (10.4)	1,181 (92.7)	1,712 (46.8)	8,692 (8.6)	157 (1.1)	1,067 (9.9)	2,822 (15.9)	41,485 (21.4)	928 (50.8)	2,901 (52.7)	24,310 (18.5)	3,289 (18.1)	3,772 (23.7)	6,285 (30.2)
947		947	57,302 (16.7)	15,740 (10.5)	1,181 (92.7)	1,712 (46.8)	8,735 (8.6)	157 (1.1)	1,067 (9.9)	2,888 (16.2)	41,563 (21.5)	928 (50.8)	2,901 (52.7)	24,388 (18.6)	3,289 (18.1)	3,772 (23.7)	6,285 (30.2)
948		948	57,566 (16.8)	15,740 (10.5)	1,181 (92.7)	1,712 (46.8)	8,735 (8.6)	157 (1.1)	1,067 (9.9)	2,888 (16.2)	41,827 (21.6)	928 (50.8)	2,901 (52.7)	24,570 (18.7)	3,371 (18.5)	3,772 (23.7)	6,285 (30.2)
949		949	57,773 (16.8)	15,883 (10.6)	1,181 (92.7)	1,712 (46.8)	8,879 (8.7)	157 (1.1)	1,067 (9.9)	2,888 (16.2)	41,890 (21.6)	928 (50.8)	2,901 (52.7)	24,629 (18.8)	3,371 (18.5)	3,776 (23.8)	6,285 (30.2)
950		950	70,672 (20.6)	18,230 (12.2)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,128 (10.0)	208 (1.4)	1,117 (10.4)	3,154 (17.7)	52,442 (27.1)	1,648 (90.2)	3,562 (64.7)	29,522 (22.5)	4,197 (23.1)	4,789 (30.1)	8,724 (41.9)
951		951	71,488 (20.8)	18,516 (12.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,316 (10.2)	208 (1.4)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	52,972 (27.4)	1,648 (90.2)	3,562 (64.7)	29,801 (22.7)	4,291 (23.6)	4,945 (31.1)	8,724 (41.9)
952		952	71,636 (20.9)	18,582 (12.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,316 (10.2)	273 (1.8)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	53,054 (27.4)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	29,805 (22.7)	4,291 (23.6)	4,945 (31.1)	8,724 (41.9)
953		953	71,846 (20.9)	18,585 (12.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,319 (10.2)	273 (1.8)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	53,262 (27.5)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	29,923 (22.8)	4,291 (23.6)	5,035 (31.7)	8,724 (41.9)
954		954	71,866 (20.9)	18,587 (12.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,322 (10.2)	273 (1.8)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	53,279 (27.5)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	29,936 (22.8)	4,295 (23.6)	5,035 (31.7)	8,724 (41.9)
955		955	72,341 (21.1)	18,776 (12.5)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,511 (10.3)	273 (1.8)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	53,564 (27.7)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	30,090 (22.9)	4,427 (24.3)	5,035 (31.7)	8,724 (41.9)
956		956	72,344 (21.1)	18,776 (12.5)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,511 (10.3)	273 (1.8)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	53,568 (27.7)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	30,094 (22.9)	4,427 (24.3)	5,035 (31.7)	8,724 (41.9)
957		957	72,726 (21.2)	18,881 (12.6)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,615 (10.5)	273 (1.8)	1,120 (10.4)	3,248 (18.2)	53,845 (27.8)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	30,371 (23.1)	4,427 (24.3)	5,035 (31.7)	8,724 (41.9)
958		958	72,882 (21.2)	18,985 (12.7)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,615 (10.5)	273 (1.8)	1,225 (11.4)	3,248 (18.2)	53,897 (27.9)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	30,371 (23.1)	4,427 (24.3)	5,035 (31.7)	8,777 (42.1)
959		959	73,065 (21.3)	19,122 (12.8)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	10,655 (10.5)	273 (1.8)	1,225 (11.4)	3,346 (18.8)	53,942 (27.9)	1,648 (90.2)	3,641 (66.1)	30,371 (23.1)	4,427 (24.3)	5,035 (31.7)	8,822 (42.3)
960		960	77,026 (22.4)	20,026 (13.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	11,136 (11.0)	343 (2.3)	1,277 (11.9)	3,646 (20.5)	57,000 (29.5)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	32,288 (24.6)	4,574 (25.1)	5,079 (31.9)	9,591 (46.0)
961		961	77,488 (22.6)	20,026 (13.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	11,136 (11.0)	343 (2.3)	1,277 (11.9)	3,646 (20.5)	57,462 (29.7)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	32,436 (24.7)	4,574 (25.1)	5,157 (32.4)	9,826 (47.2)
962		962	77,537 (22.6)	20,026 (13.4)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	11,136 (11.0)	343 (2.3)	1,277 (11.9)	3,646 (20.5)	57,512 (29.7)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	32,486 (24.7)	4,574 (25.1)	5,157 (32.4)	9,826 (47.2)
963		963	78,050 (22.7)	20,235 (13.5)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	11,344 (11.2)	343 (2.3)	1,277 (11.9)	3,646 (20.5)	57,815 (29.9)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	32,731 (24.9)	4,632 (25.5)	5,157 (32.4)	9,826 (47.2)
964		964	78,208 (22.8)	20,344 (13.6)	1,271 (99.8)	2,352 (64.3)	11,454 (11.3)	343 (2.3)	1,277 (11.9)	3,646 (20.5)	57,864 (29.9)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	32,781 (25.0)	4,632 (25.5)	5,157 (32.4)	9,826 (47.2)

965	965	78,823 (23.0)	20,468 (13.7)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	11,524 (11.3)	343 (2.3)	1,277 (11.9)	3,646 (20.5)	58,355 (30.2)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	33,022 (25.2)	4,819 (26.5)	5,219 (32.8)	9,826 (47.2)
966	966	79,181 (23.1)	20,562 (13.7)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	11,524 (11.3)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,646 (20.5)	58,619 (30.3)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	33,285 (25.4)	4,819 (26.5)	5,219 (32.8)	9,826 (47.2)
967	967	79,328 (23.1)	20,627 (13.8)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	11,588 (11.4)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,646 (20.5)	58,701 (30.3)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	33,368 (25.4)	4,819 (26.5)	5,219 (32.8)	9,826 (47.2)
968	968	79,489 (23.1)	20,697 (13.8)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	11,588 (11.4)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,716 (20.9)	58,792 (30.4)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	33,368 (25.4)	4,819 (26.5)	5,219 (32.8)	9,917 (47.6)
969	969	79,738 (23.2)	20,697 (13.8)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	11,588 (11.4)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,716 (20.9)	59,042 (30.5)	1,648 (90.2)	3,821 (69.4)	33,526 (25.5)	4,819 (26.5)	5,219 (32.8)	10,008 (48.0)
970	970	82,222 (23.9)	20,983 (14.0)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	11,768 (11.6)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,823 (21.5)	61,239 (31.6)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	34,862 (26.6)	5,086 (28.0)	5,363 (33.7)	10,297 (49.4)
971	971	83,034 (24.2)	21,554 (14.4)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	12,186 (12.0)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	61,479 (31.8)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,024 (26.7)	5,086 (28.0)	5,441 (34.2)	10,297 (49.4)
972	972	83,227 (24.2)	21,554 (14.4)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	12,186 (12.0)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	61,673 (31.9)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,216 (26.8)	5,086 (28.0)	5,441 (34.2)	10,299 (49.4)
973	973	83,958 (24.4)	21,830 (14.6)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	12,461 (12.3)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	62,129 (32.1)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,537 (27.1)	5,151 (28.3)	5,441 (34.2)	10,369 (49.8)
974	974	83,958 (24.4)	21,830 (14.6)	1,271 (99.8)	2,406 (65.8)	12,461 (12.3)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	62,129 (32.1)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,537 (27.1)	5,151 (28.3)	5,441 (34.2)	10,369 (49.8)
975	975	84,526 (24.6)	21,919 (14.6)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	12,461 (12.3)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	62,607 (32.4)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,691 (27.2)	5,255 (28.9)	5,661 (35.6)	10,369 (49.8)
976	976	84,630 (24.6)	21,919 (14.6)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	12,461 (12.3)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	62,711 (32.4)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,795 (27.3)	5,255 (28.9)	5,661 (35.6)	10,369 (49.8)
977	977	84,785 (24.7)	21,919 (14.6)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	12,461 (12.3)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	3,976 (22.3)	62,866 (32.5)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	35,893 (27.3)	5,313 (29.2)	5,661 (35.6)	10,369 (49.8)
978	978	85,364 (24.9)	22,224 (14.8)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	12,717 (12.5)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	4,026 (22.6)	63,140 (32.6)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	36,166 (27.6)	5,313 (29.2)	5,661 (35.6)	10,369 (49.8)
979	979	85,550 (24.9)	22,224 (14.8)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	12,717 (12.5)	343 (2.3)	1,372 (12.8)	4,026 (22.6)	63,325 (32.7)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	36,244 (27.6)	5,418 (29.8)	5,661 (35.6)	10,372 (49.8)
980	980	89,062 (25.9)	22,733 (15.2)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,004 (12.8)	385 (2.6)	1,372 (12.8)	4,206 (23.6)	66,329 (34.3)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	37,586 (28.6)	5,856 (32.2)	6,057 (38.1)	11,199 (53.8)
981	981	89,178 (26.0)	22,733 (15.2)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,004 (12.8)	385 (2.6)	1,372 (12.8)	4,206 (23.6)	66,445 (34.3)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	37,702 (28.7)	5,856 (32.2)	6,057 (38.1)	11,199 (53.8)
982	982	89,752 (26.1)	23,062 (15.4)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,242 (13.0)	385 (2.6)	1,372 (12.8)	4,297 (24.1)	66,689 (34.5)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	37,947 (28.9)	5,856 (32.2)	6,057 (38.1)	11,199 (53.8)
983	983	89,968 (26.2)	23,062 (15.4)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,242 (13.0)	385 (2.6)	1,372 (12.8)	4,297 (24.1)	66,906 (34.6)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	37,991 (28.9)	5,896 (32.4)	6,146 (38.7)	11,243 (54.0)
984	984	89,968 (26.2)	23,062 (15.4)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,242 (13.0)	385 (2.6)	1,372 (12.8)	4,297 (24.1)	66,906 (34.6)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	37,991 (28.9)	5,896 (32.4)	6,146 (38.7)	11,243 (54.0)
985	985	90,180 (26.3)	23,170 (15.5)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,295 (13.1)	439 (3.0)	1,372 (12.8)	4,297 (24.1)	67,010 (34.6)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	38,095 (29.0)	5,896 (32.4)	6,146 (38.7)	11,243 (54.0)
986	986	90,470 (26.3)	23,170 (15.5)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,295 (13.1)	439 (3.0)	1,372 (12.8)	4,297 (24.1)	67,300 (34.8)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	38,247 (29.1)	5,935 (32.6)	6,244 (39.3)	11,243 (54.0)
987	987	90,470 (26.3)	23,170 (15.5)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,295 (13.1)	439 (3.0)	1,372 (12.8)	4,297 (24.1)	67,300 (34.8)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	38,247 (29.1)	5,935 (32.6)	6,244 (39.3)	11,243 (54.0)
988	988	90,584 (26.4)	23,219 (15.5)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,295 (13.1)	439 (3.0)	1,372 (12.8)	4,346 (24.4)	67,364 (34.8)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	38,312 (29.2)	5,935 (32.6)	6,244 (39.3)	11,243 (54.0)
989	989	90,733 (26.4)	23,264 (15.5)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,295 (13.1)	439 (3.0)	1,416 (13.2)	4,346 (24.4)	67,469 (34.9)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	38,416 (29.3)	5,935 (32.6)	6,244 (39.3)	11,243 (54.0)
990	990	92,449 (26.9)	23,879 (15.9)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,636 (13.4)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	68,570 (35.4)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	39,518 (30.1)	5,935 (32.6)	6,244 (39.3)	11,243 (54.0)
991	991	92,708 (27.0)	23,940 (16.0)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,697 (13.5)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	68,768 (35.5)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	39,562 (30.1)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
992	992	93,142 (27.1)	24,049 (16.0)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,806 (13.6)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	69,093 (35.7)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	39,887 (30.4)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)

993	993	93,225 (27.1)	24,049 (16.0)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,806 (13.6)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	69,176 (35.7)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	39,969 (30.5)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
994	994	93,381 (27.2)	24,049 (16.0)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,806 (13.6)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	69,332 (35.8)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	40,125 (30.6)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
995	995	93,502 (27.2)	24,131 (16.1)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,888 (13.7)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	69,371 (35.8)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	40,165 (30.6)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
996	996	93,955 (27.4)	24,131 (16.1)	1,271 (99.8)	2,495 (68.2)	13,888 (13.7)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,527 (25.4)	69,824 (36.1)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	40,618 (30.9)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
997	997	94,091 (27.4)	24,174 (16.1)	1,271 (99.8)	2,535 (69.3)	13,888 (13.7)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,530 (25.4)	69,918 (36.1)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	40,711 (31.0)	5,984 (32.9)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
998	998	94,235 (27.4)	24,174 (16.1)	1,271 (99.8)	2,535 (69.3)	13,888 (13.7)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,530 (25.4)	70,061 (36.2)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	40,761 (31.1)	6,079 (33.4)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
999	999	94,413 (27.5)	24,262 (16.2)	1,271 (99.8)	2,535 (69.3)	13,977 (13.8)	439 (3.0)	1,510 (14.0)	4,530 (25.4)	70,150 (36.3)	1,648 (90.2)	3,983 (72.3)	40,849 (31.1)	6,079 (33.4)	6,348 (39.9)	11,243 (54.0)
1,000	1,000	113,013 (32.9)	28,840 (19.2)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,382 (16.1)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,051 (34.0)	84,172 (43.5)	1,826 (100.0)	4,839 (87.9)	50,161 (38.2)	7,134 (39.2)	7,154 (45.0)	13,057 (62.7)
1,001	1,001	113,067 (32.9)	28,840 (19.2)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,382 (16.1)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,051 (34.0)	84,226 (43.5)		4,839 (87.9)	50,215 (38.3)	7,134 (39.2)	7,154 (45.0)	13,057 (62.7)
1,002	1,002	113,200 (33.0)	28,912 (19.3)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,454 (16.2)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,051 (34.0)	84,288 (43.6)		4,839 (87.9)	50,215 (38.3)	7,134 (39.2)	7,216 (45.4)	13,057 (62.7)
1,003	1,003	113,316 (33.0)	28,970 (19.3)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,511 (16.3)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,051 (34.0)	84,346 (43.6)		4,839 (87.9)	50,215 (38.3)	7,134 (39.2)	7,216 (45.4)	13,115 (63.0)
1,004	1,004	113,665 (33.1)	29,113 (19.4)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,576 (16.3)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,129 (34.4)	84,552 (43.7)		4,839 (87.9)	50,305 (38.3)	7,251 (39.9)	7,216 (45.4)	13,115 (63.0)
1,005	1,005	114,270 (33.3)	29,241 (19.5)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,627 (16.4)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,207 (34.9)	85,029 (43.9)		4,839 (87.9)	50,603 (38.6)	7,340 (40.3)	7,305 (45.9)	13,115 (63.0)
1,006	1,006	114,353 (33.3)	29,241 (19.5)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,627 (16.4)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,207 (34.9)	85,111 (44.0)		4,839 (87.9)	50,686 (38.6)	7,340 (40.3)	7,305 (45.9)	13,115 (63.0)
1,007	1,007	114,678 (33.4)	29,385 (19.6)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,691 (16.4)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,286 (35.3)	85,294 (44.1)		4,839 (87.9)	50,764 (38.7)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,115 (63.0)
1,008	1,008	114,723 (33.4)	29,385 (19.6)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,691 (16.4)	612 (4.1)	1,613 (15.0)	6,286 (35.3)	85,338 (44.1)		4,839 (87.9)	50,808 (38.7)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,115 (63.0)
1,009	1,009	115,081 (33.5)	29,447 (19.6)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,691 (16.4)	674 (4.5)	1,613 (15.0)	6,286 (35.3)	85,634 (44.3)		4,839 (87.9)	50,999 (38.9)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,219 (63.5)
1,010	1,010	115,746 (33.7)	29,601 (19.7)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,845 (16.6)	674 (4.5)	1,613 (15.0)	6,286 (35.3)	86,144 (44.5)		4,839 (87.9)	51,361 (39.1)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,367 (64.2)
1,011	1,011	116,293 (33.9)	29,656 (19.8)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,845 (16.6)	674 (4.5)	1,667 (15.5)	6,286 (35.3)	86,637 (44.8)		4,886 (88.7)	51,650 (39.4)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,525 (64.9)
1,012	1,012	116,464 (33.9)	29,656 (19.8)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,845 (16.6)	674 (4.5)	1,667 (15.5)	6,286 (35.3)	86,808 (44.9)		4,886 (88.7)	51,821 (39.5)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,525 (64.9)
1,013	1,013	116,670 (34.0)	29,822 (19.9)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	16,924 (16.7)	674 (4.5)	1,667 (15.5)	6,374 (35.8)	86,848 (44.9)		4,886 (88.7)	51,861 (39.5)	7,340 (40.3)	7,409 (46.6)	13,525 (64.9)
1,014	1,014	117,043 (34.1)	29,982 (20.0)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	17,040 (16.8)	674 (4.5)	1,711 (15.9)	6,374 (35.8)	87,060 (45.0)		4,886 (88.7)	51,943 (39.6)	7,340 (40.3)	7,540 (47.4)	13,525 (64.9)
1,015	1,015	117,340 (34.2)	30,098 (20.1)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	17,040 (16.8)	790 (5.3)	1,711 (15.9)	6,374 (35.8)	87,242 (45.1)		4,886 (88.7)	52,033 (39.6)	7,340 (40.3)	7,631 (48.0)	13,525 (64.9)
1,016	1,016	117,830 (34.3)	30,381 (20.3)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	17,323 (17.1)	790 (5.3)	1,711 (15.9)	6,374 (35.8)	87,449 (45.2)		4,886 (88.7)	52,241 (39.8)	7,340 (40.3)	7,631 (48.0)	13,525 (64.9)
1,017	1,017	117,888 (34.3)	30,381 (20.3)	1,271 (99.8)	2,911 (79.6)	17,323 (17.1)	790 (5.3)	1,711 (15.9)	6,374 (35.8)	87,507 (45.2)		4,886 (88.7)	52,299 (39.8)	7,340 (40.3)	7,631 (48.0)	13,525 (64.9)
1,018	1,018	118,011 (34.4)	30,446 (20.3)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	17,323 (17.1)	790 (5.3)	1,711 (15.9)	6,374 (35.8)	87,565 (45.3)		4,886 (88.7)	52,299 (39.8)	7,340 (40.3)	7,689 (48.4)	13,525 (64.9)
1,019	1,019	118,181 (34.4)	30,446 (20.3)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	17,323 (17.1)	790 (5.3)	1,711 (15.9)	6,374 (35.8)	87,735 (45.3)		4,886 (88.7)	52,403 (39.9)	7,406 (40.7)	7,689 (48.4)	13,525 (64.9)
1,020	1,020	120,030 (34.9)	30,941 (20.6)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	17,678 (17.4)	790 (5.3)	1,786 (16.6)	6,438 (36.2)	89,089 (46.0)		4,990 (90.6)	53,134 (40.5)	7,543 (41.5)	7,848 (49.4)	13,747 (66.0)

1,021	1,021	120,472 (35.1)	31,036 (20.7)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	17,772 (17.5)	790 (5.3)	1,786 (16.6)	6,438 (36.2)	89,436 (46.2)		4,990 (90.6)	53,199 (40.5)	7,637 (42.0)	7,942 (50.0)	13,842 (66.4)
1,022	1,022	120,715 (35.1)	31,036 (20.7)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	17,772 (17.5)	790 (5.3)	1,786 (16.6)	6,438 (36.2)	89,679 (46.3)		4,990 (90.6)	53,442 (40.7)	7,637 (42.0)	7,942 (50.0)	13,842 (66.4)
1,023	1,023	120,874 (35.2)	31,036 (20.7)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	17,772 (17.5)	790 (5.3)	1,786 (16.6)	6,438 (36.2)	89,839 (46.4)		4,990 (90.6)	53,531 (40.8)	7,637 (42.0)	7,942 (50.0)	13,912 (66.8)
1,024	1,029	122,901 (35.8)	31,353 (20.9)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	18,016 (17.7)	790 (5.3)	1,856 (17.3)	6,442 (36.2)	91,548 (47.3)		4,990 (90.6)	54,854 (41.8)	7,637 (42.0)	8,237 (51.8)	14,003 (67.2)
1,030	1,039	125,985 (36.7)	31,783 (21.2)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	18,224 (17.9)	790 (5.3)	1,954 (18.2)	6,567 (36.9)	94,201 (48.7)		5,055 (91.8)	56,363 (42.9)	8,164 (44.9)	8,436 (53.1)	14,357 (68.9)
1,040	1,049	129,062 (37.6)	33,171 (22.1)	1,271 (99.8)	2,977 (81.3)	18,933 (18.6)	880 (5.9)	1,954 (18.2)	7,157 (40.2)	95,891 (49.6)		5,055 (91.8)	57,507 (43.8)	8,405 (46.2)	8,650 (54.4)	14,448 (69.4)
1,050	1,059	133,609 (38.9)	34,328 (22.9)	1,271 (99.8)	3,186 (87.1)	19,547 (19.2)	969 (6.5)	1,993 (18.5)	7,361 (41.4)	99,282 (51.3)		5,264 (95.6)	59,762 (45.5)	8,627 (47.4)	8,945 (56.3)	14,857 (71.3)
1,060	1,069	135,628 (39.5)	34,956 (23.3)	1,271 (99.8)	3,186 (87.1)	19,980 (19.7)	969 (6.5)	2,033 (18.9)	7,517 (42.2)	100,672 (52.0)		5,264 (95.6)	60,825 (46.3)	8,674 (47.7)	9,015 (56.7)	15,067 (72.3)
1,070	1,079	138,042 (40.2)	35,962 (24.0)	1,271 (99.8)	3,186 (87.1)	20,632 (20.3)	1,023 (6.9)	2,110 (19.6)	7,741 (43.5)	102,080 (52.8)		5,264 (95.6)	61,769 (47.1)	8,856 (48.7)	9,163 (57.6)	15,202 (73.0)
1,080	1,089	140,516 (40.9)	36,786 (24.5)	1,271 (99.8)	3,186 (87.1)	21,252 (20.9)	1,023 (6.9)	2,264 (21.1)	7,789 (43.8)	103,731 (53.6)		5,333 (96.8)	62,879 (47.9)	9,281 (51.0)	9,210 (57.9)	15,202 (73.0)
1,090	1,099	143,122 (41.7)	37,606 (25.1)	1,271 (99.8)	3,273 (89.4)	21,894 (21.6)	1,023 (6.9)	2,355 (21.9)	7,789 (43.8)	105,516 (54.5)		5,333 (96.8)	64,266 (49.0)	9,399 (51.7)	9,323 (58.6)	15,368 (73.8)
1,100	1,199	168,157 (49.0)	45,136 (30.1)	1,271 (99.8)	3,374 (92.2)	27,398 (27.0)	1,326 (8.9)	2,923 (27.2)	8,844 (49.7)	123,021 (63.6)		5,333 (96.8)	78,019 (59.4)	11,119 (61.1)	10,660 (67.0)	16,063 (77.1)
1,200	1,299	195,027 (56.8)	56,774 (37.9)	1,274 (100.0)	3,615 (98.8)	35,257 (34.7)	2,042 (13.7)	3,982 (37.0)	10,603 (59.6)	138,253 (71.4)		5,438 (98.7)	89,801 (68.4)	12,136 (66.7)	12,114 (76.2)	16,938 (81.3)
1,300	1,399	217,251 (63.3)	66,778 (44.5)		3,615 (98.8)	42,406 (41.7)	3,053 (20.5)	4,893 (45.5)	11,536 (64.8)	150,473 (77.8)		5,508 (100.0)	99,601 (75.9)	13,061 (71.8)	12,690 (79.8)	17,787 (85.4)
1,400	1,499	237,240 (69.1)	76,664 (51.1)		3,615 (98.8)	49,648 (48.9)	3,980 (26.8)	5,491 (51.1)	12,656 (71.1)	160,576 (83.0)			107,423 (81.8)	13,700 (75.3)	13,469 (84.7)	18,649 (89.5)
1,500	1,599	254,726 (74.2)	86,638 (57.8)		3,615 (98.8)	57,251 (56.4)	4,683 (31.5)	6,838 (63.6)	12,977 (72.9)	168,088 (86.9)			113,340 (86.3)	14,734 (81.0)	13,779 (86.7)	18,900 (90.7)
1,600	1,699	269,593 (78.5)	95,401 (63.6)		3,659 (100.0)	63,472 (62.5)	5,523 (37.2)	7,504 (69.8)	13,969 (78.5)	174,191 (90.0)			118,440 (90.2)	15,245 (83.8)	13,877 (87.3)	19,295 (92.6)
1,700	1,799	280,490 (81.7)	102,489 (68.4)			68,888 (67.8)	6,296 (42.4)	7,943 (73.9)	14,428 (81.1)	178,001 (92.0)			121,192 (92.3)	15,634 (85.9)	14,273 (89.8)	19,567 (93.9)
1,800	1,899	289,042 (84.2)	108,529 (72.4)			73,693 (72.5)	6,930 (46.6)	8,331 (77.5)	14,641 (82.2)	180,512 (93.3)			123,003 (93.7)	16,038 (88.2)	14,501 (91.2)	19,636 (94.3)
1,900	1,999	296,694 (86.4)	114,312 (76.2)			78,115 (76.9)	7,571 (50.9)	8,454 (78.6)	15,239 (85.6)	182,382 (94.2)			124,325 (94.7)	16,375 (90.0)	14,658 (92.2)	19,690 (94.5)
2,000		343,442 (100.0)	149,928 (100.0)			101,580 (100.0)	14,860 (100.0)	10,753 (100.0)	17,801 (100.0)	193,514 (100.0)			131,257 (100.0)	18,192 (100.0)	15,898 (100.0)	20,832 (100.0)
月平均賃金額		200,155	257,967	37,253	76,152	262,293	362,162	260,303	198,070	155,364	38,810	63,462	164,495	180,064	155,001	111,057
時間当平均賃金額		1,430	1,686	930	1,681	1,681	2,220	1,685	1,468	1,231	945	969	1,249	1,328	1,243	1,124
月一人当たり労働時間数		133	148	40	75	152	162	153	131	122	41	65	128	129	124	97
第1・20分位数		923	930	923	923	930	1,015	923	923	923	923	923	923	923	923	923
第1・10分位数		930	945	923	923	951	1,233	950	930	930	930	923	930	930	925	923
第1・4分位数		980	1,095	923	930	1,155	1,478	990	1,170	950	930	965	930	965	950	935
中位差係数		1,203	1,482	930	950	1,511	1,965	1,442	1,200	1,050	946	946	1,100	1,085	1,025	980
四分位差係数		0,2648	0,2935	0,0038	0,0368	0,2644	0,3160	0,2323	0,2671	0,1890	0,0106	0,0370	0,1900	0,2410	0,1507	0,0944

【上段】

累積労働者数

【下段】

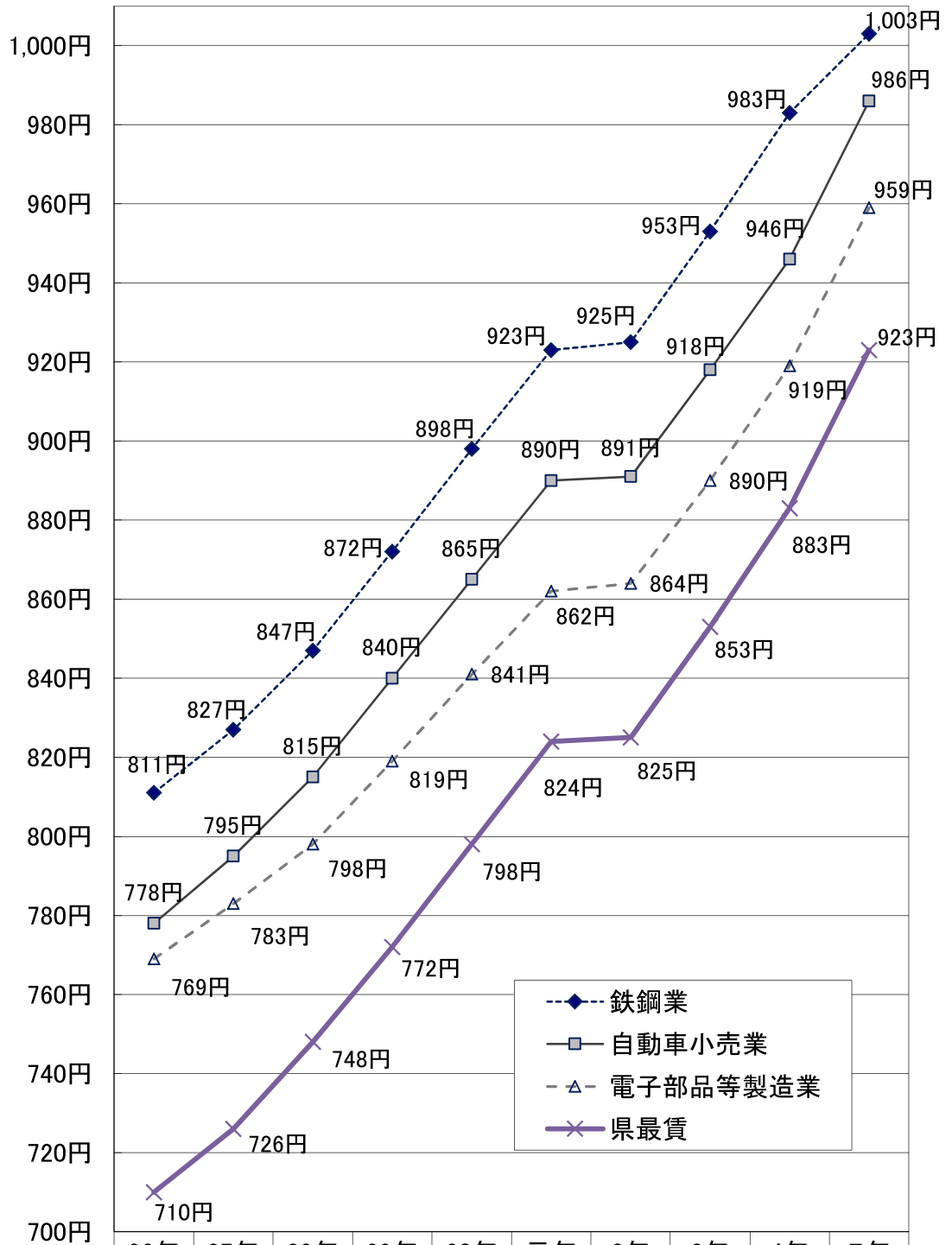
累積構成比

## 8 特定最低賃金改定状況

### 目次

1	宮城県の最低賃金決定状況	1
2	宮城県の最低賃金時間額引上額の推移	2
3	東北3県の鉄鋼業最低賃金決定状況	3
4	東北3県の鉄鋼業最低賃金引上額の推移	4
5	東北6県の電機等製造業最低賃金決定状況	5
6	東北6県の電機等製造業最低賃金引上額の推移	6
7	東北5県の自動車小売業最低賃金決定状況	7
8	東北5県の自動車小売業最低賃金引上額の推移	8
9	宮城県の特定最低賃金適用事業場数・適用労働者数（鉄鋼業）	9
10	宮城県の特定最低賃金適用事業場数・適用労働者数 （電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信 機械器具製造業）	10
11	宮城県の特定最低賃金適用事業場数・適用労働者数 （自動車小売業）	11

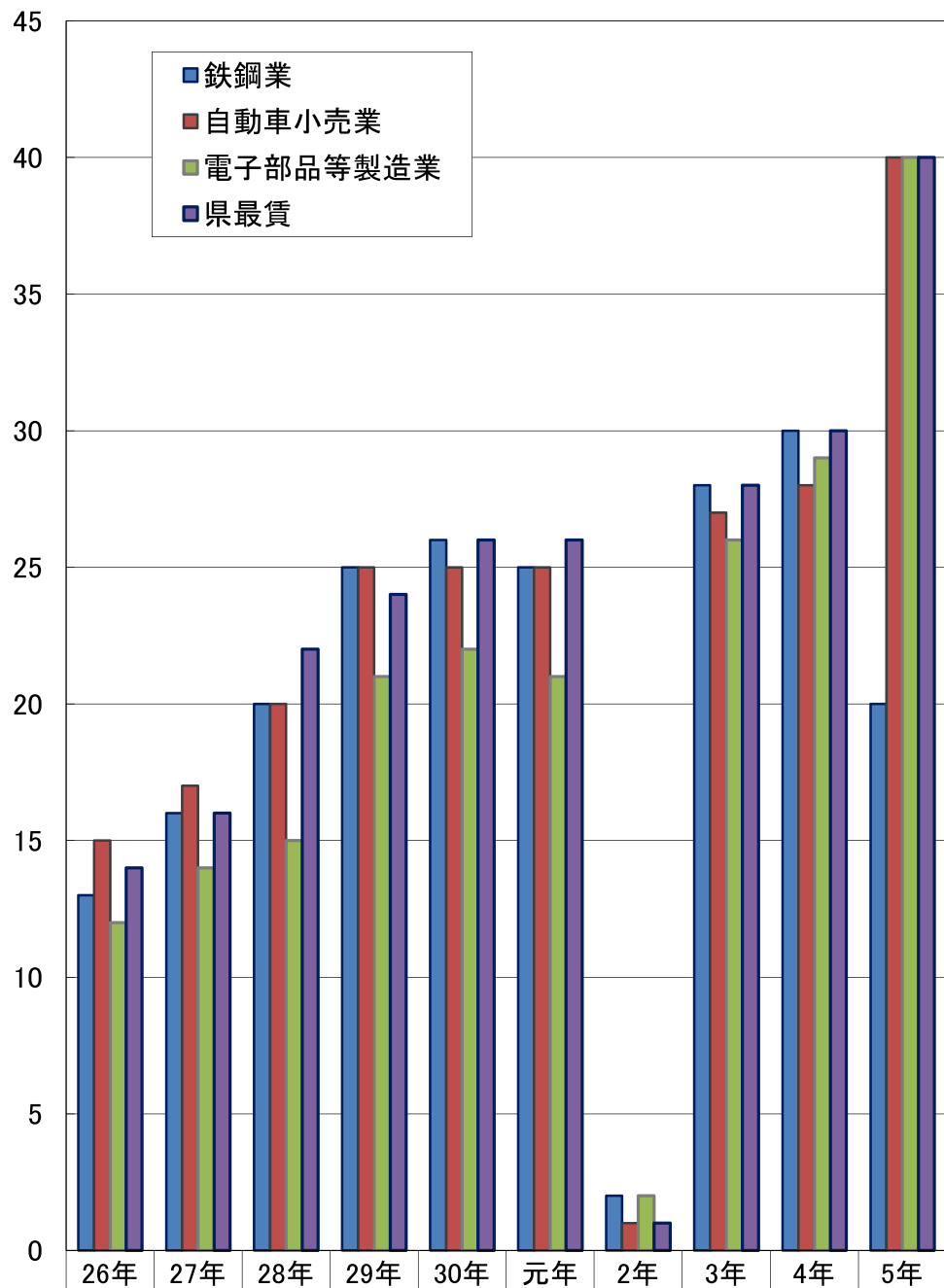
# 1 宮城県の最低賃金決定状況



	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
鉄鋼業	811円	827円	847円	872円	898円	923円	925円	953円	983円	1,003円
自動車小売業	778円	795円	815円	840円	865円	890円	891円	918円	946円	986円
電子部品等製造業	769円	783円	798円	819円	841円	862円	864円	890円	919円	959円
県最賃	710円	726円	748円	772円	798円	824円	825円	853円	883円	923円

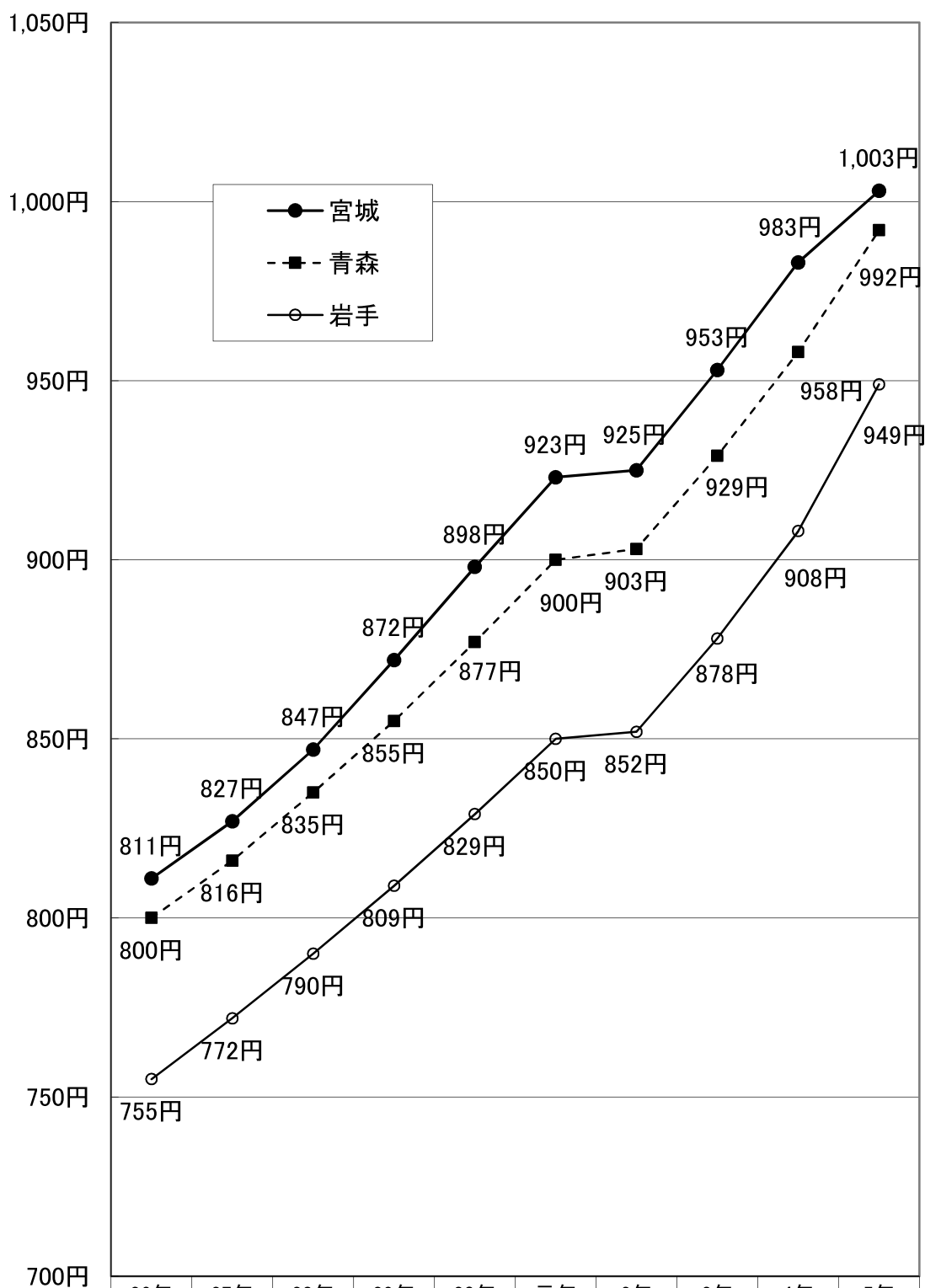


## 2 宮城県の最低賃金時間額引上額の推移



鉄鋼業	13	16	20	25	26	25	2	28	30	20
自動車小売業	15	17	20	25	25	25	1	27	28	40
電子部品等製造業	12	14	15	21	22	21	2	26	29	40
県最賃	14	16	22	24	26	26	1	28	30	40

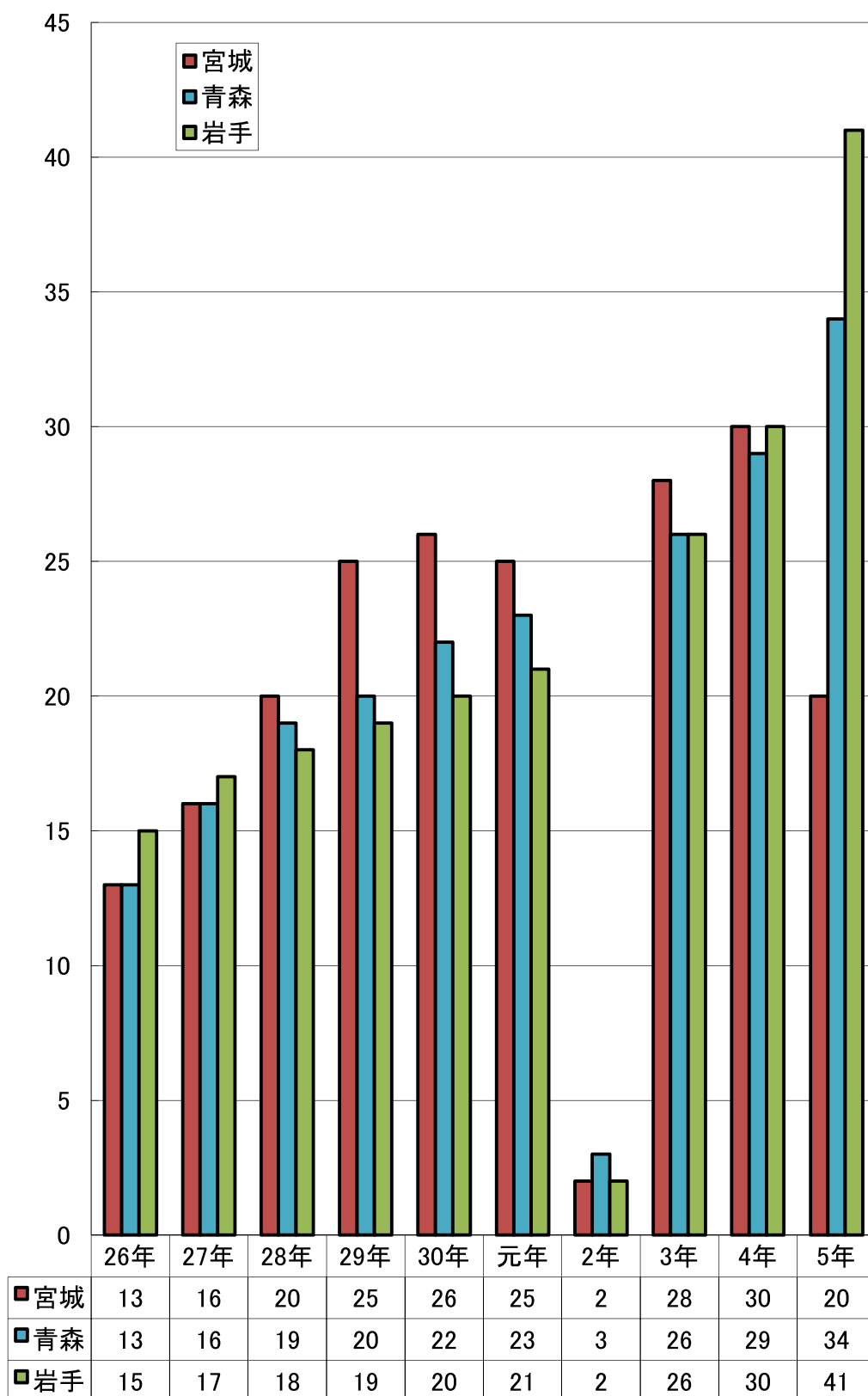
### 3 東北3県の鉄鋼業最低賃金決定状況



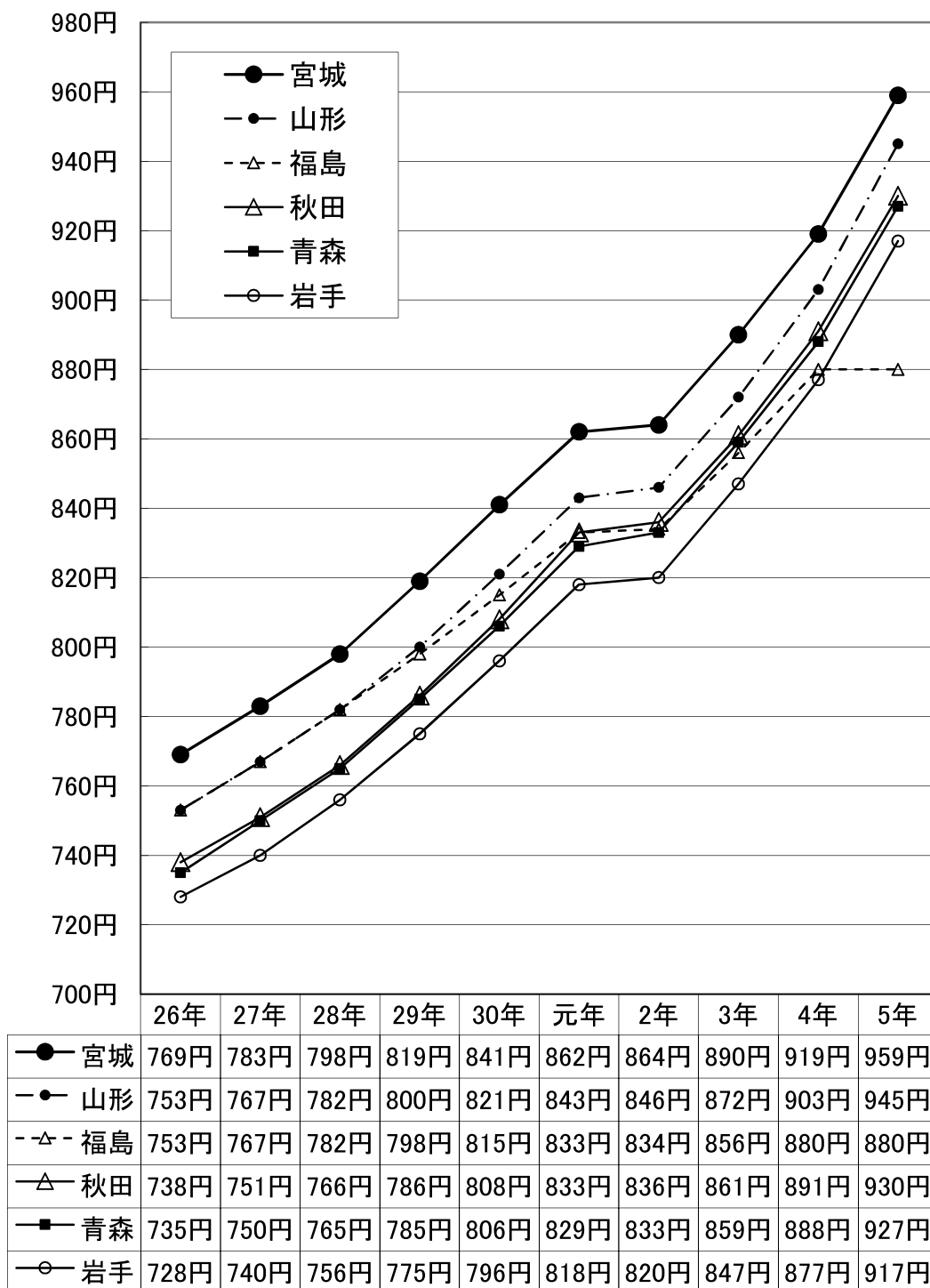
● 宮城	811円	827円	847円	872円	898円	923円	925円	953円	983円	1,003円
-■- 青森	800円	816円	835円	855円	877円	900円	903円	929円	958円	992円
○ 岩手	755円	772円	790円	809円	829円	850円	852円	878円	908円	949円

岩手県は金属線製品、その他の金属製品製造業を含む

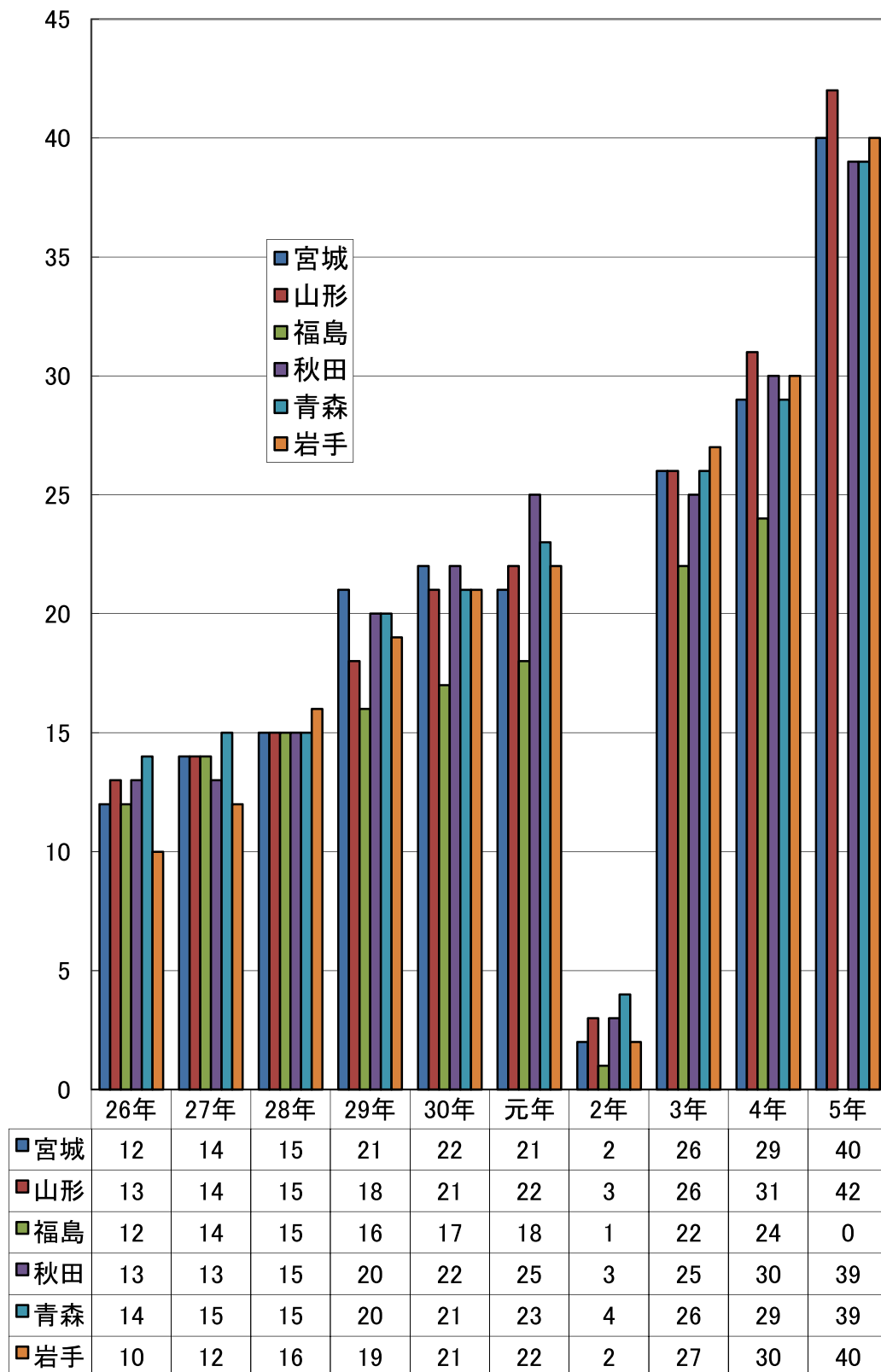
#### 4 東北3県の鉄鋼業最低賃金引上額の推移



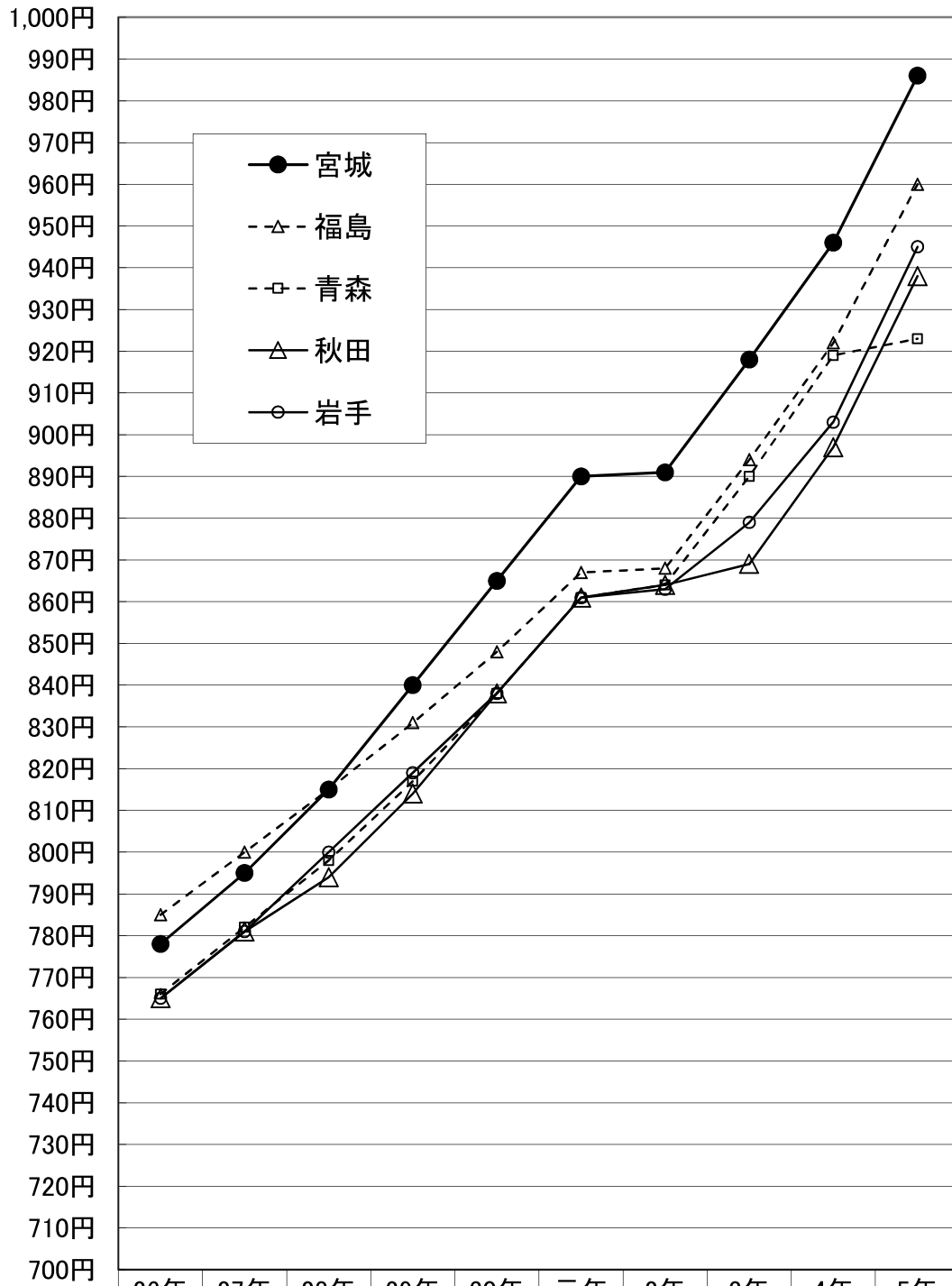
## 5 東北6県の電子部品等製造業最低賃金決定状況



## 6 東北6県の電機等製造業最低賃金引上額の推移

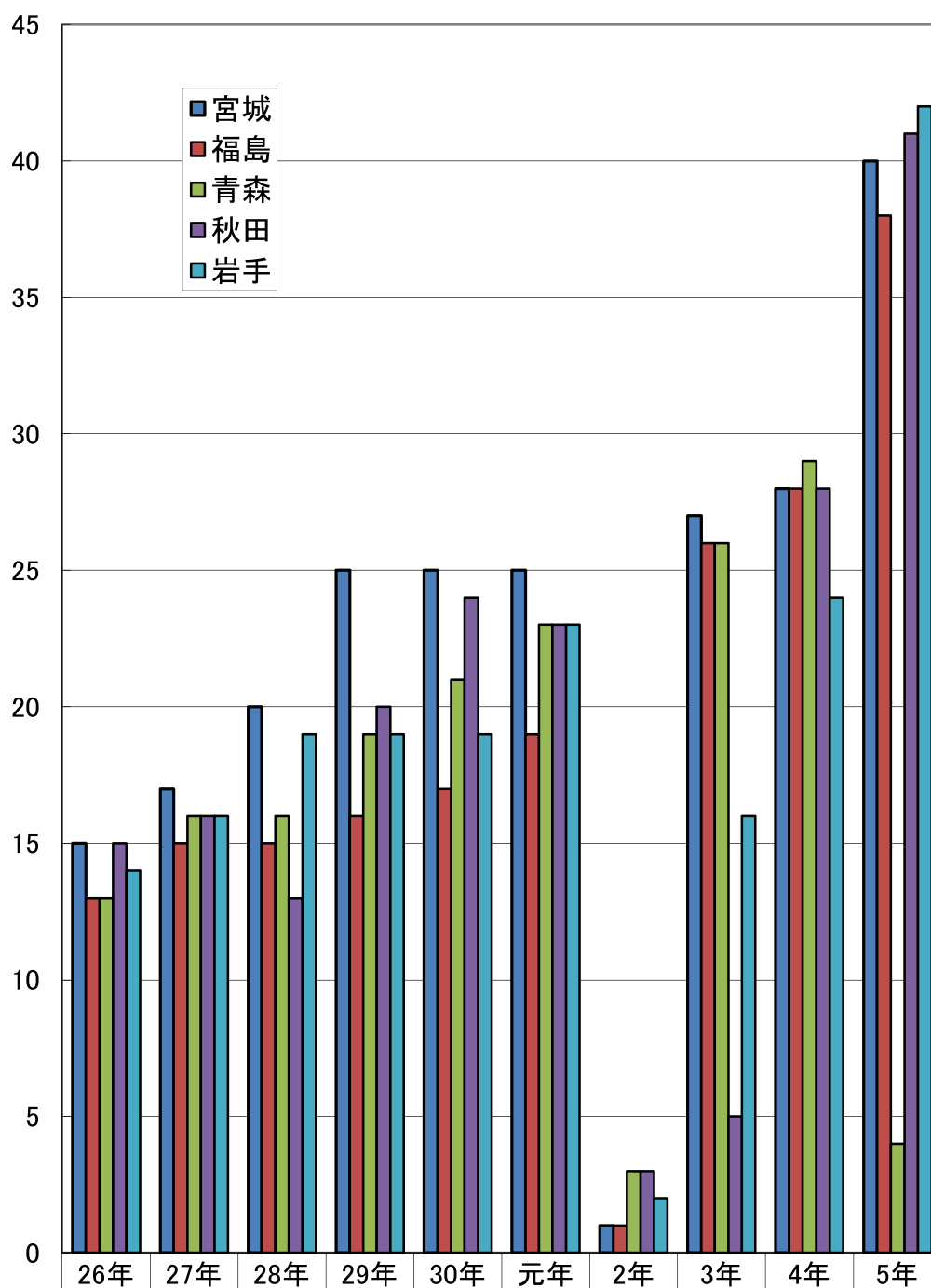


## 7 東北5県の自動車小売業最低賃金決定状況



	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
● 宮城	778円	795円	815円	840円	865円	890円	891円	918円	946円	986円
-△- 福島	785円	800円	815円	831円	848円	867円	868円	894円	922円	960円
-□- 青森	766円	782円	798円	817円	838円	861円	864円	890円	919円	923円
△ 秋田	765円	781円	794円	814円	838円	861円	864円	869円	897円	938円
○ 岩手	765円	781円	800円	819円	838円	861円	863円	879円	903円	945円

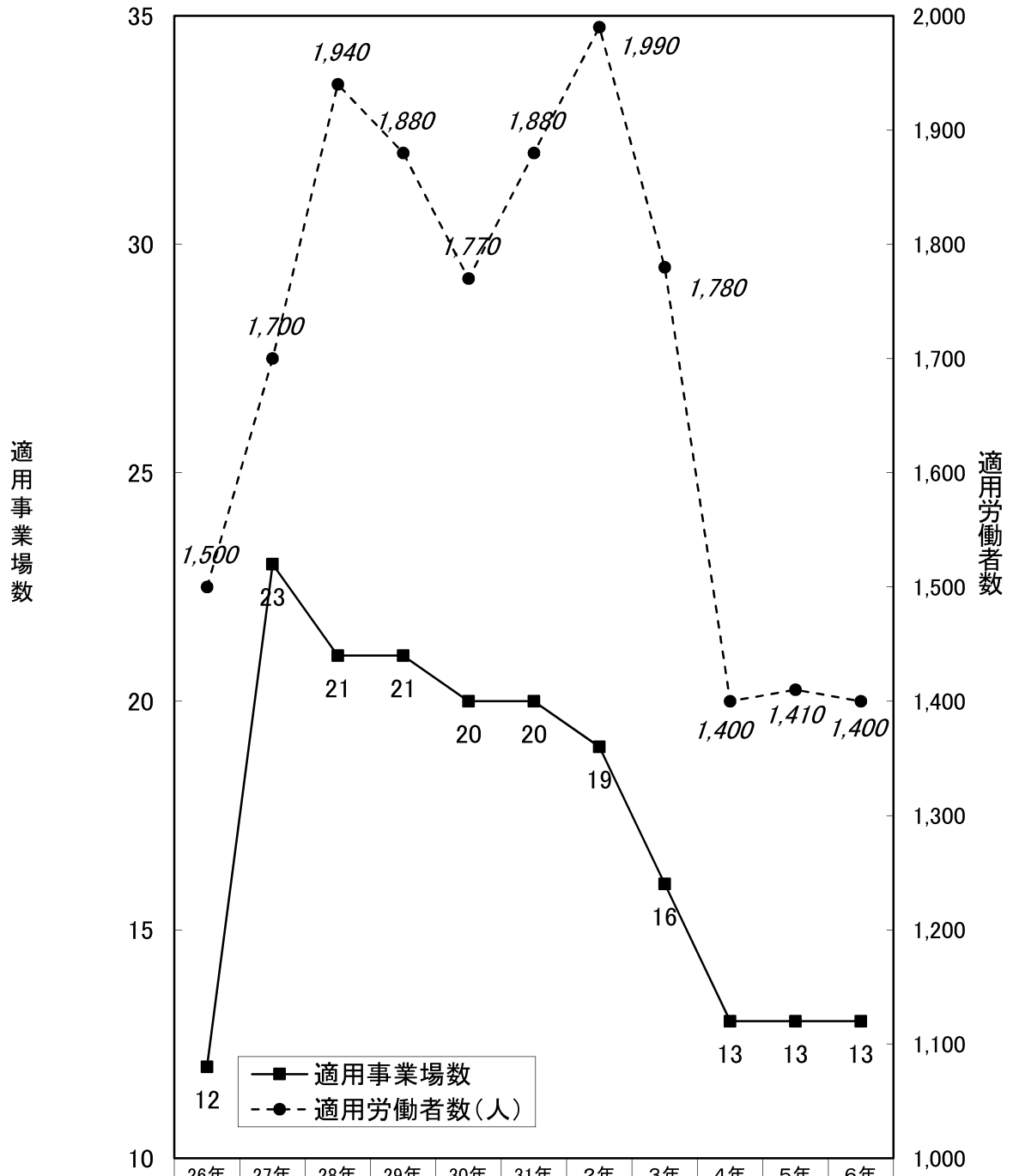
## 8 東北5県の自動車小売業最低賃金引上額の推移



	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
■宮城	15	17	20	25	25	25	1	27	28	40
■福島	13	15	15	16	17	19	1	26	28	38
■青森	13	16	16	19	21	23	3	26	29	4
■秋田	15	16	13	20	24	23	3	5	28	41
■岩手	14	16	19	19	19	23	2	16	24	42

## 9 宮城県の特定最低賃金適用事業場数・適用労働者数 (鉄鋼業)

\* 適用労働者数は一の位を四捨五入

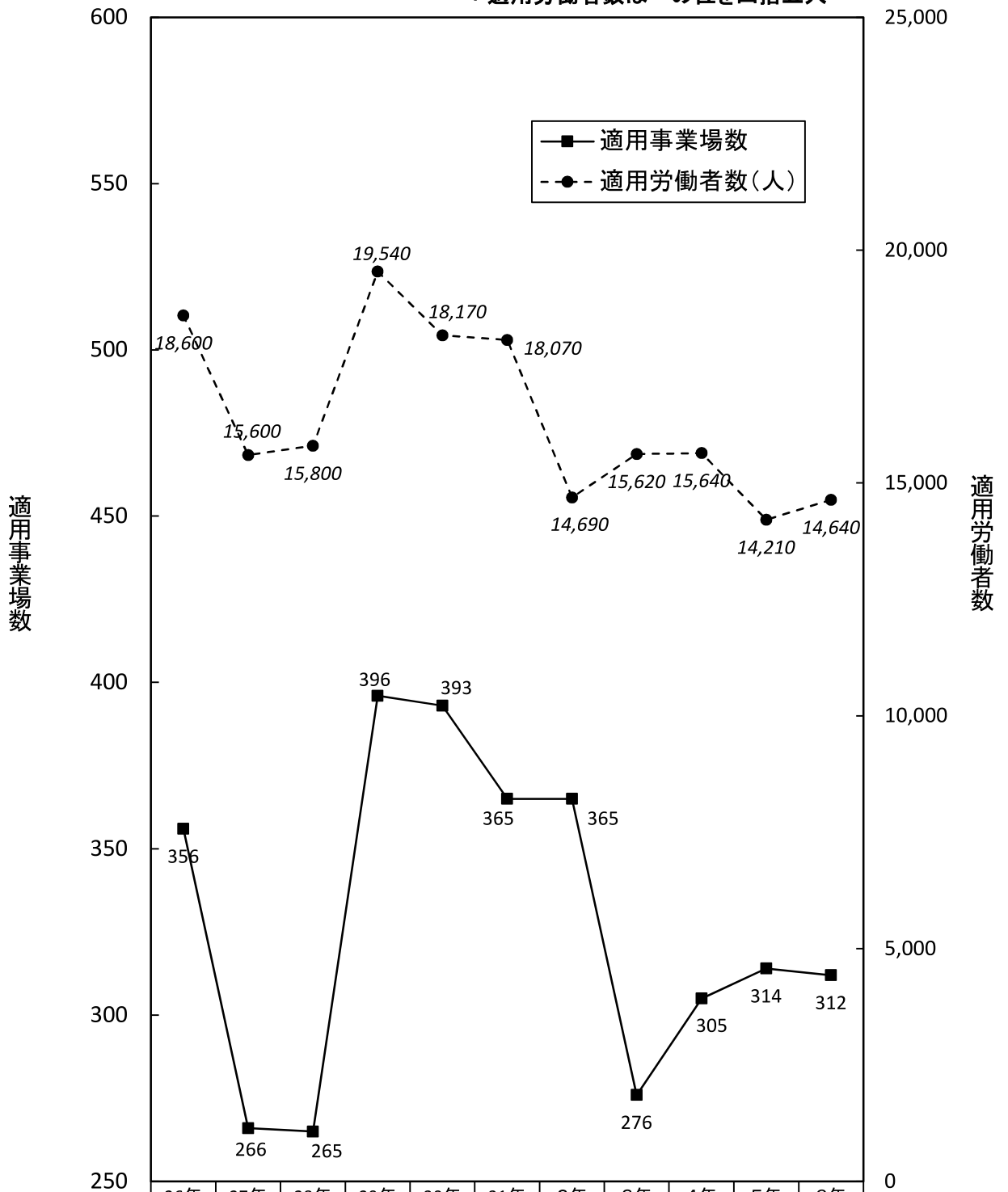


■ 適用事業場数	12	23	21	21	20	20	19	16	13	13	13
● 適用労働者数(人)	1,500	1,700	1,940	1,880	1,770	1,880	1,990	1,780	1,400	1,410	1,400



## 10 宮城県の特定期最低賃金適用事業場数・適用労働者数 (電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業)

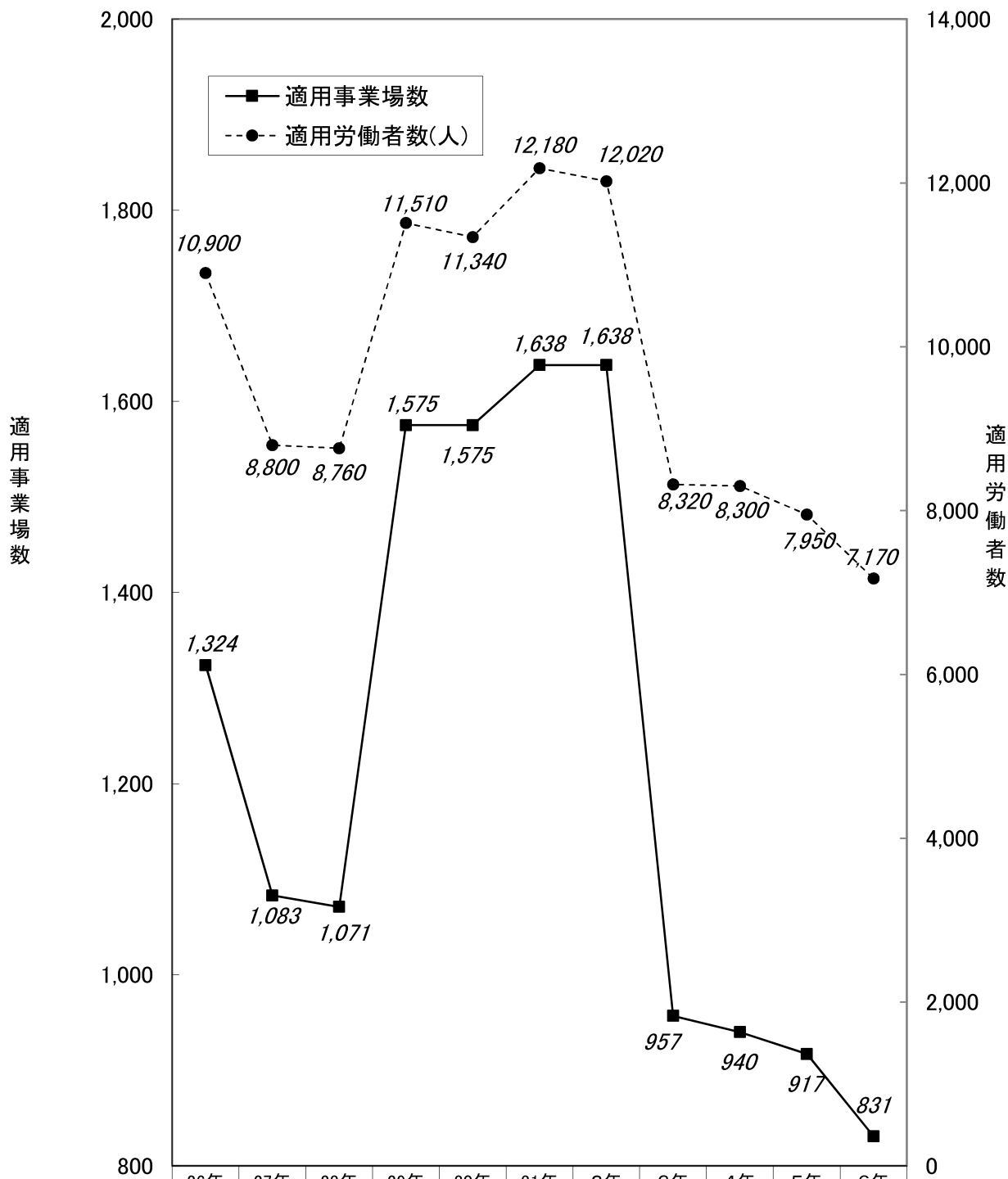
\* 適用労働者数は一の位を四捨五入



■ 適用事業場数	356	266	265	396	393	365	365	276	305	314	312
● 適用労働者数(人)	18,600	15,600	15,800	19,540	18,170	18,070	14,690	15,620	15,640	14,210	14,640

# 11 宮城県の特定最低賃金適用事業場数・適用労働者数 (自動車小売業)

\* 適用労働者数は一の位で四捨五入



■ 適用事業場数	1,324	1,083	1,071	1,575	1,575	1,638	1,638	957	940	917	831
● 適用労働者数(人)	10,900	8,800	8,760	11,510	11,340	12,180	12,020	8,320	8,300	7,950	7,170

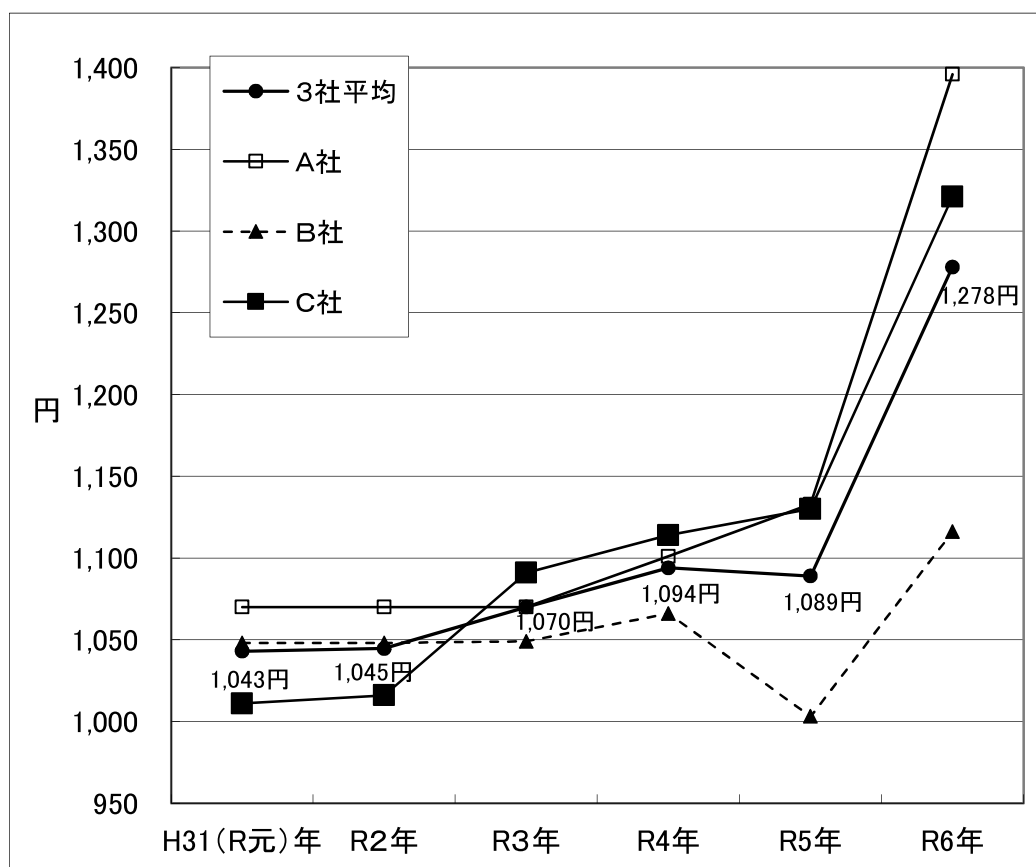
## 9 賃金関連統計

### 目次

1	鉄鋼業の労働協約における賃金の最低額の推移（宮城県）	1
2	鉄鋼業の所定内給与額の推移（全国）	2
3	鉄鋼業の所定内給与額の推移（全国、～19歳）	3
4	電子部品等製造業の所定内給与額の推移（宮城県）	4
5	電子部品等製造業の所定内給与額の推移（宮城県、20～24歳）	5
6	電気機械器具製造業の所定内給与額の推移（全国）	6
7	電気機械器具製造業の所定内給与額の推移（全国、20～24歳）	7
8	東北3県自動車営業職従事者（男女計）の所定内給与額の推移	8

## 1 鉄鋼業の労働協約における賃金の最低額の推移 (宮城県、平成31年～令和6年)

労働協約のある 事業場3社	時間額					
	H31(R元)年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
3社平均	1,043円	1,045円	1,070円	1,094円	1,089円	1,278円
A社	1,070円	1,070円	1,070円	1,101円	1,133円	1,396円
B社	1,048円	1,048円	1,049円	1,066円	1,003円	1,116円
C社	1,011円	1,016円	1,091円	1,114円	1,130円	1,321円



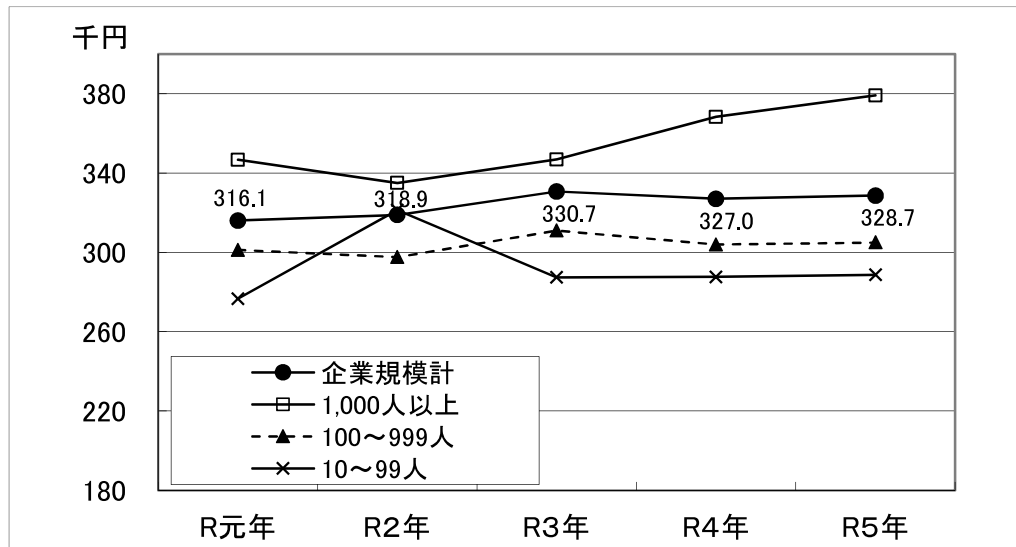
(資料出所:最低賃金改正決定申出書添付の労働協約による)

## 2 鉄鋼業の所定内給与額の推移 (全国、男女別、令和元年～令和5年)

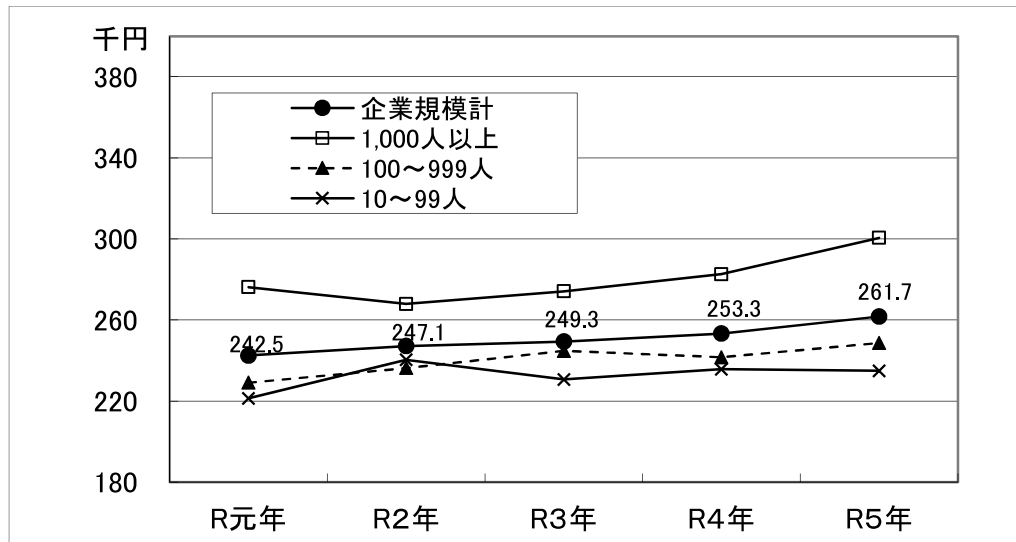
	男子労働者					女子労働者				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
企業規模計	316.1	318.9	330.7	327.0	328.7	242.5	247.1	249.3	253.3	261.7
1,000人以上	346.7	335.0	346.9	368.3	379.2	276.2	267.9	274.1	282.6	300.5
100～999人	301.2	297.6	311.0	304.0	305.0	229.0	236.2	244.7	241.5	248.6
10～99人	276.7	321.4	287.4	287.6	288.7	221.3	240.3	230.6	235.7	234.9

単位：千円

(男子労働者)



(女子労働者)



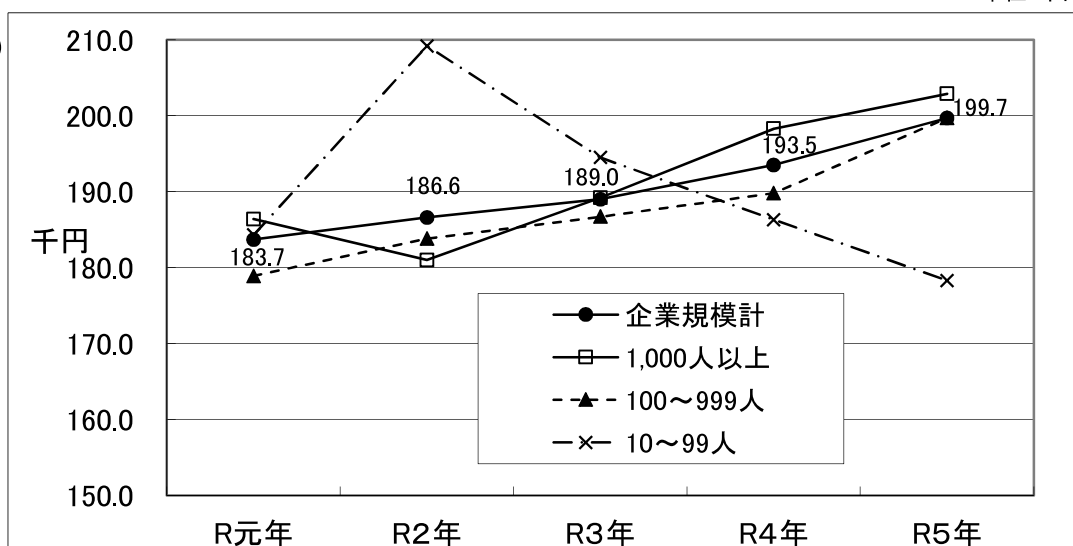
(資料出所：賃金構造基本統計調査 ※令和2年調査から推計方法の見直しが行われた。)

### 3 鉄鋼業の所定内給与額の推移 (全国、男女別、～19歳、令和元年～令和5年)

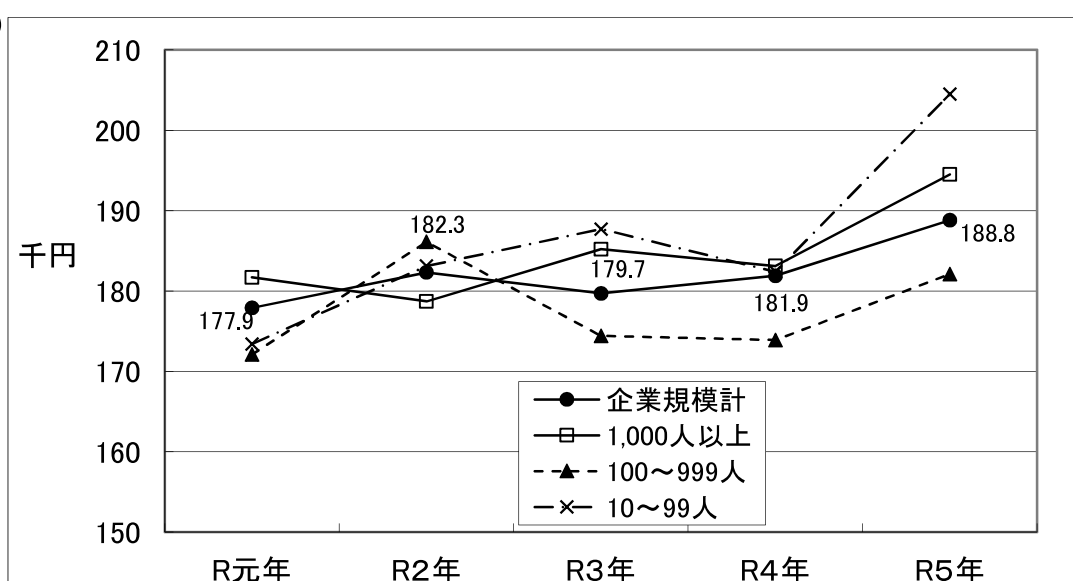
	男子労働者(18～19歳)					女子労働者(18～19歳)				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
企業規模計	183.7	186.6	189.0	193.5	199.7	177.9	182.3	179.7	181.9	188.8
1,000人以上	186.4	181.0	189.2	198.3	202.9	181.7	178.7	185.2	183.1	194.5
100～999人	178.9	183.8	186.7	189.8	199.7	172.1	186.1	174.4	173.9	182.1
10～99人	184.3	209.2	194.5	186.3	178.3	173.4	183.1	187.7	182.4	204.5

単位:千円

(男子労働者)



(女子労働者)



(資料出所:賃金構造基本統計調査 ※令和2年調査から推計方法の見直しが行われた。)

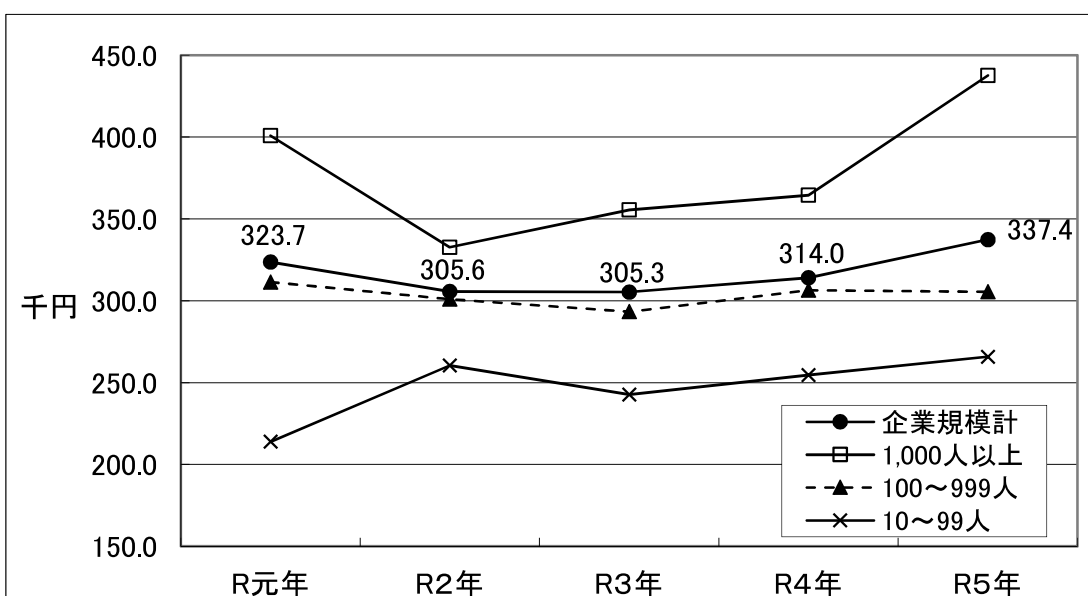
## 4 電子部品等製造業の所定内給与額の推移 (宮城県、令和元年～令和5年、E28・29・30の加重平均)

E28電子部品・デバイス・電子回路製造業、E29電気機械器具製造業、E30情報通信機械器具製造業

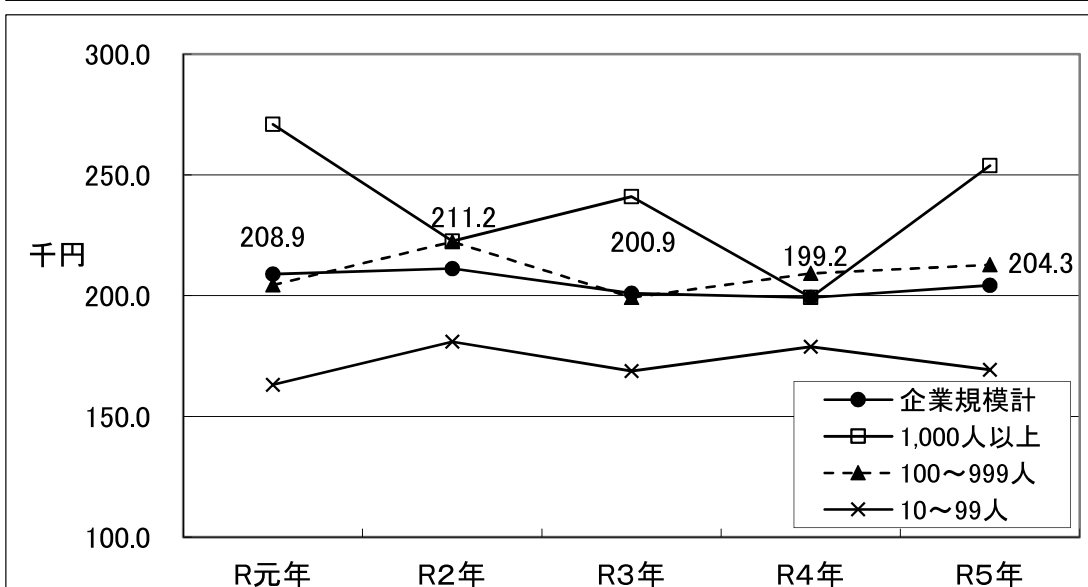
	男子労働者					女子労働者				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
企業規模計	323.7	305.6	305.3	314.0	337.4	208.9	211.2	200.9	199.2	204.3
1,000人以上	400.9	332.7	355.4	364.4	437.6	270.9	222.5	241.0	199.2	253.8
100～999人	311.4	301.0	293.3	306.5	305.5	204.4	222.3	199.2	209.1	212.7
10～99人	213.9	260.4	242.6	254.7	265.8	163.1	180.9	168.7	178.8	169.3

単位：千円

(男子労働者)



(女子労働者)



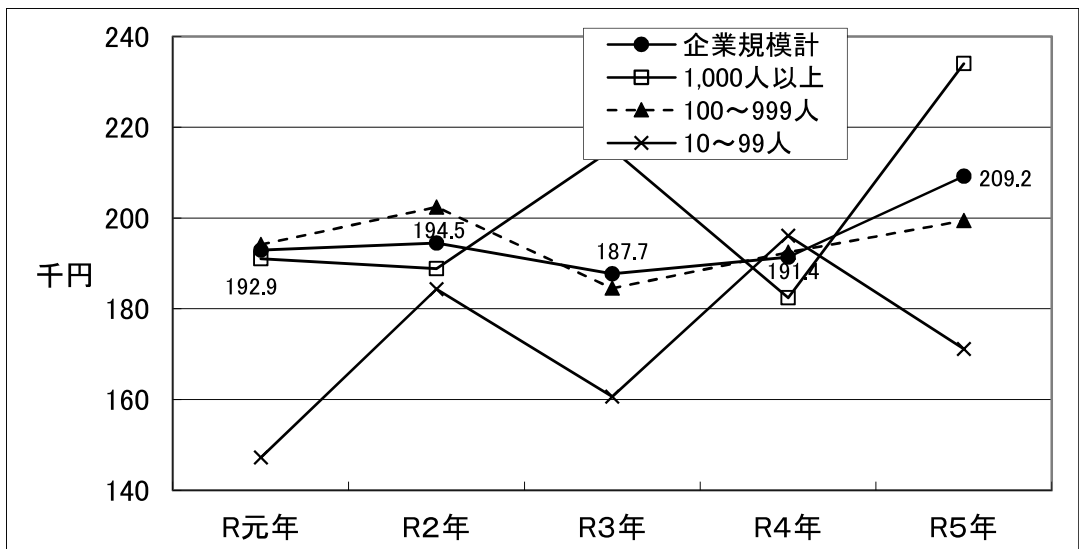
(資料出所：賃金構造基本統計調査 ※令和2年調査から推計方法の見直しが行われた。)

## 5 電子部品等製造業の所定内給与額の推移 (宮城県、20～24歳、令和元年～令和5年、E28・29・30の加重平均)

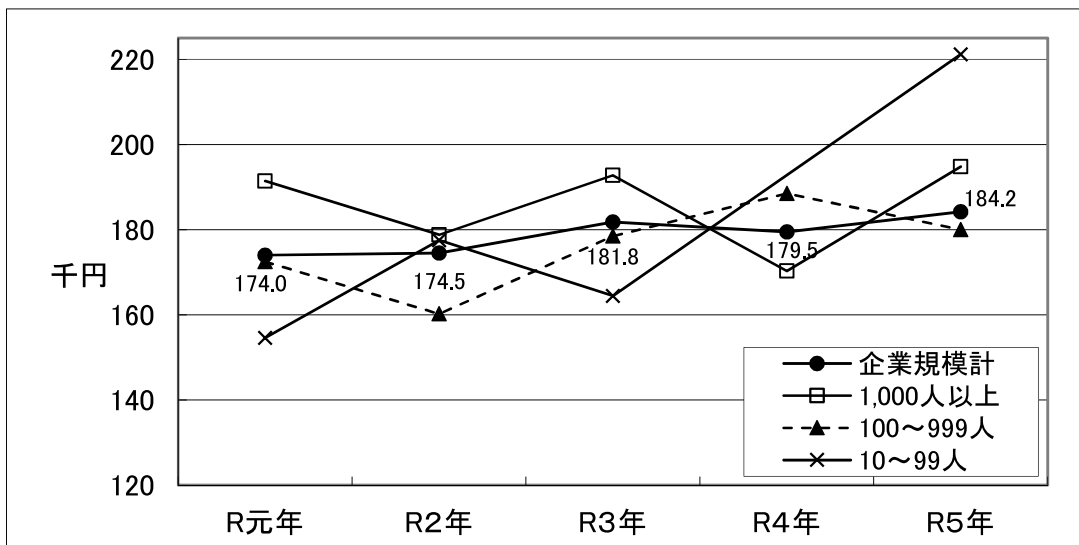
	男子労働者(20～24歳)					女子労働者(20～24歳)				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
企業規模計	192.9	194.5	187.7	191.4	209.2	174.0	174.5	181.8	179.5	184.2
1,000人以上	191.0	188.8	215.1	182.4	234.0	191.4	178.8	192.8	170.3	194.8
100～999人	194.1	202.4	184.5	192.4	199.4	172.5	160.2	178.5	188.5	180.0
10～99人	147.2	184.3	160.6	196.1	171.1	154.6	177.5	164.4	—	221.2

単位：千円

(男子労働者)



(女子労働者)



(資料出所：賃金構造基本統計調査 ※令和2年調査から推計方法の見直しが行われた。)

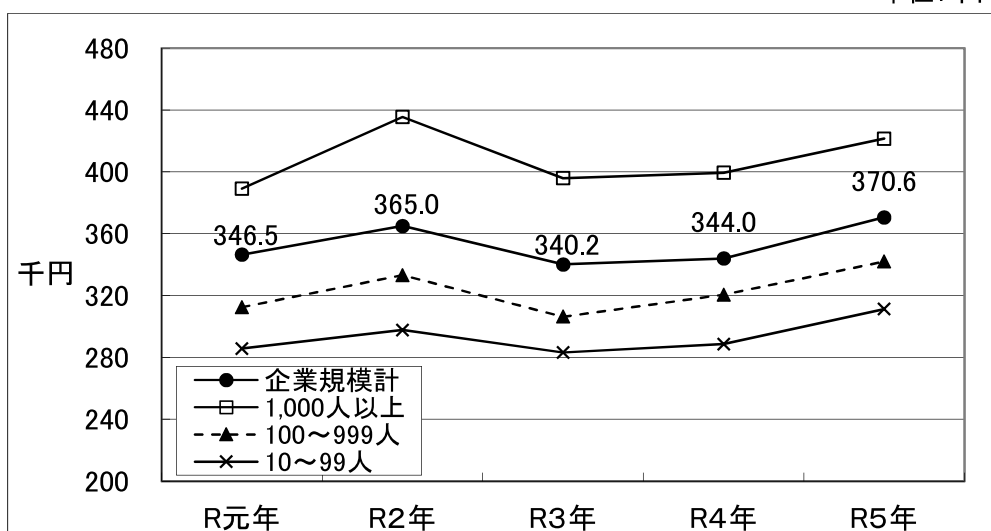


## 6 電気機械器具製造業(E29)の所定内給与額の推移 (全国、令和元年～令和5年)

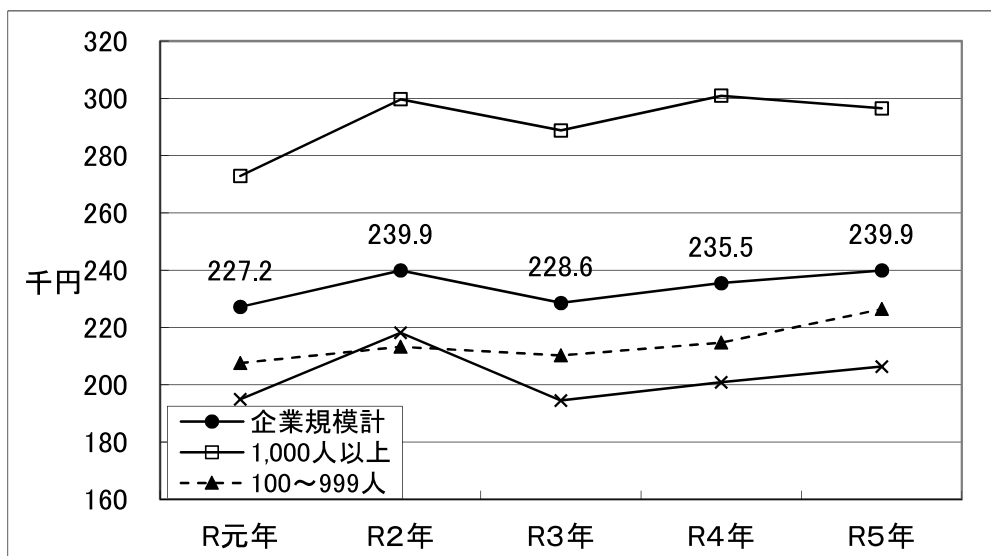
	男子労働者					女子労働者				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
企業規模計	346.5	365.0	340.2	344.0	370.6	227.2	239.9	228.6	235.5	239.9
1,000人以上	389.2	435.5	396.0	399.5	421.5	272.9	299.7	288.8	300.9	296.5
100～999人	312.5	333.1	306.3	320.5	342.0	207.6	213.3	210.2	214.7	226.4
10～99人	285.8	297.8	283.2	288.6	311.3	194.9	218.2	194.5	200.9	206.3

単位：千円

(男子労働者)



(女子労働者)



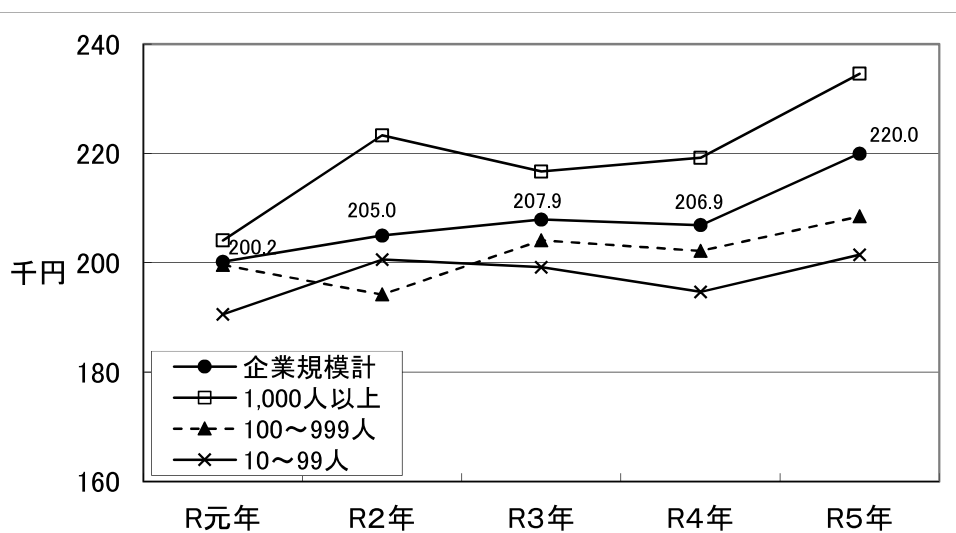
(資料出所：賃金構造基本統計調査 ※令和2年調査から推計方法の見直しが行われた。)

## 7 電気機械器具製造業(E29)の所定内給与額の推移 (全国、20～24歳、令和元年～令和5年)

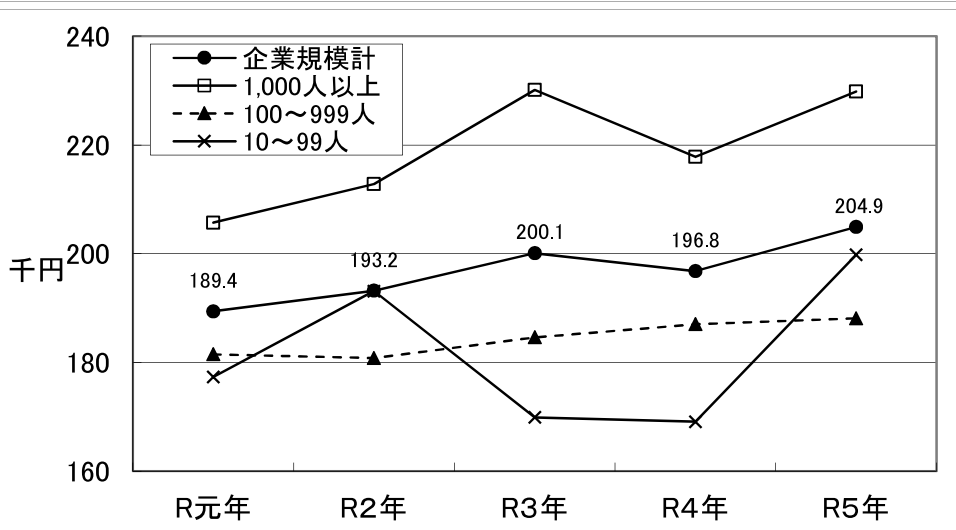
	男子労働者(20～24歳)					女子労働者(20～24歳)				
	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
企業規模計	200.2	205.0	207.9	206.9	220.0	189.4	193.2	200.1	196.8	204.9
1,000人以上	204.1	223.3	216.7	219.2	234.6	205.7	212.8	230.1	217.8	229.8
100～999人	199.6	194.2	204.1	202.2	208.5	181.5	180.8	184.6	187.0	188.1
10～99人	190.6	200.6	199.2	194.7	201.5	177.3	193.1	169.9	169.1	199.8

単位:千円

(男子労働者)



(女子労働者)



(資料出所:賃金構造基本統計調査 ※令和2年調査から推計方法の見直しが行われた。)

## 8 東北3県 自動車営業職業従事者(男女計)の所定内給与額の推移 (平成29年～令和5年)

### ○宮城県

年	年齢 (歳)	勤続年数 (年)	所定内労働時間数 (時間)	所定内給与額 (千円)	1時間当たりの所 定内給与額(円)
平成29年	35.3	13.4	159	264.1	1,661
平成30年	47.2	28.2	152	328.1	2,159
令和元年	40.9	11.9	190	337.5	1,776
令和2年	42.7	18.9	165	295.6	1,792
令和3年	41.0	15.3	169	329.6	1,950
令和4年	38.0	10.4	164	344.4	2,100
令和5年	38.4	15.5	165	265.0	1,606

### ○福島県

年	年齢 (歳)	勤続年数 (年)	所定内労働時間数 (時間)	所定内給与額 (千円)	1時間当たりの所 定内給与額(円)
平成29年	35.4	6.0	171	283.2	1,656
平成30年	39.9	13.8	174	268.4	1,543
令和元年	36.0	10.5	172	312.8	1,819
令和2年	40.4	12.0	173	305.4	1,765
令和3年	43.2	17.4	158	324.2	2,052
令和4年	38.4	11.3	156	325.9	2,089
令和5年	41.8	16.8	160	364.4	2,278

### ○山形県

年	年齢 (歳)	勤続年数 (年)	所定内労働時間数 (時間)	所定内給与額 (千円)	1時間当たりの所 定内給与額(円)
平成29年	34.0	10.1	172	292.1	1,698
平成30年	37.1	10.1	175	306.7	1,753
令和元年	41.3	16.0	167	276.3	1,654
令和2年	41.0	13.8	167	281.6	1,686
令和3年	39.9	13.4	174	317.6	1,825
令和4年	45.4	15.4	168	330.6	1,968
令和5年	42.3	17.6	165	355.5	2,155

### ※参考 全国

年	年齢 (歳)	勤続年数 (年)	所定内労働時間数 (時間)	所定内給与額 (千円)	1時間当たりの所 定内給与額(円)
平成29年	37.0	12.3	166	313.9	1,891
平成30年	36.5	12.0	167	306.0	1,832
令和元年	37.5	13.1	167	321.5	1,925
令和2年	39.4	14.1	167	324.5	1,943
令和3年	37.9	12.5	167	326.7	1,956
令和4年	39.4	14.3	164	335.7	2,047
令和5年	40.8	15.0	166	328.9	1,981

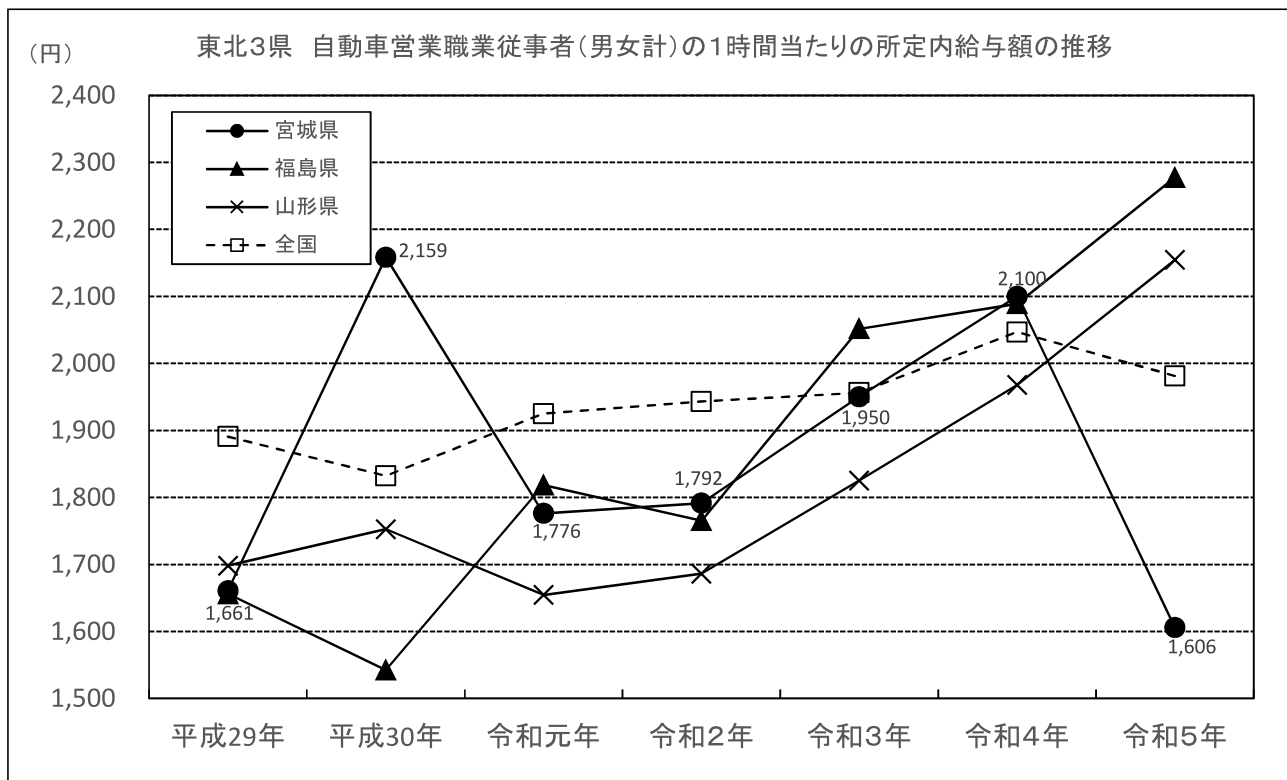
資料出所:賃金構造基本統計調査

※1 令和2年調査から調査項目及び推計方法の見直しが行われた。平成27年から令和元年までの表の数値は、令和2年と同じ推計方法で集計を行ったもの。

※2 令和元年までの職種の区分は、「自動車外交販売員(男女計)」。

※3 1時間当たりの所定内給与額(円)＝所定内給与額(千円)÷所定内労働時間数(時間)

## 8 東北3県 自動車営業職業従事者(男女計)の所定内給与額の推移 (平成29年～令和5年)



## 10 事業動向関連統計

### 目次

1	宮城県の鉄鋼業製造品出荷額・付加価値額等の推移	1
2	宮城県の電機等製造業製造品出荷額・付加価値額等の推移	2
3	宮城県の自動車新規登録台数の推移（軽自動車を除く）	3
4	宮城県の自動車新規登録台数の推移（軽自動車のみ）	4
5	宮城県の自動車新規登録台数の推移（軽自動車を含む合計）	5
6	鉱工業生産指数	6
6-1	業種別鉱工業生産指数 鉄鋼業	6
6-2	業種別鉱工業生産指数 電子部品・デバイス工業	7
6-3	業種別鉱工業生産指数 電気機械工業	7
6-4	業種別鉱工業生産指数 情報通信機械工業	8

# 1 宮城県の鉄鋼業製造品出荷額・付加価値額等の推移

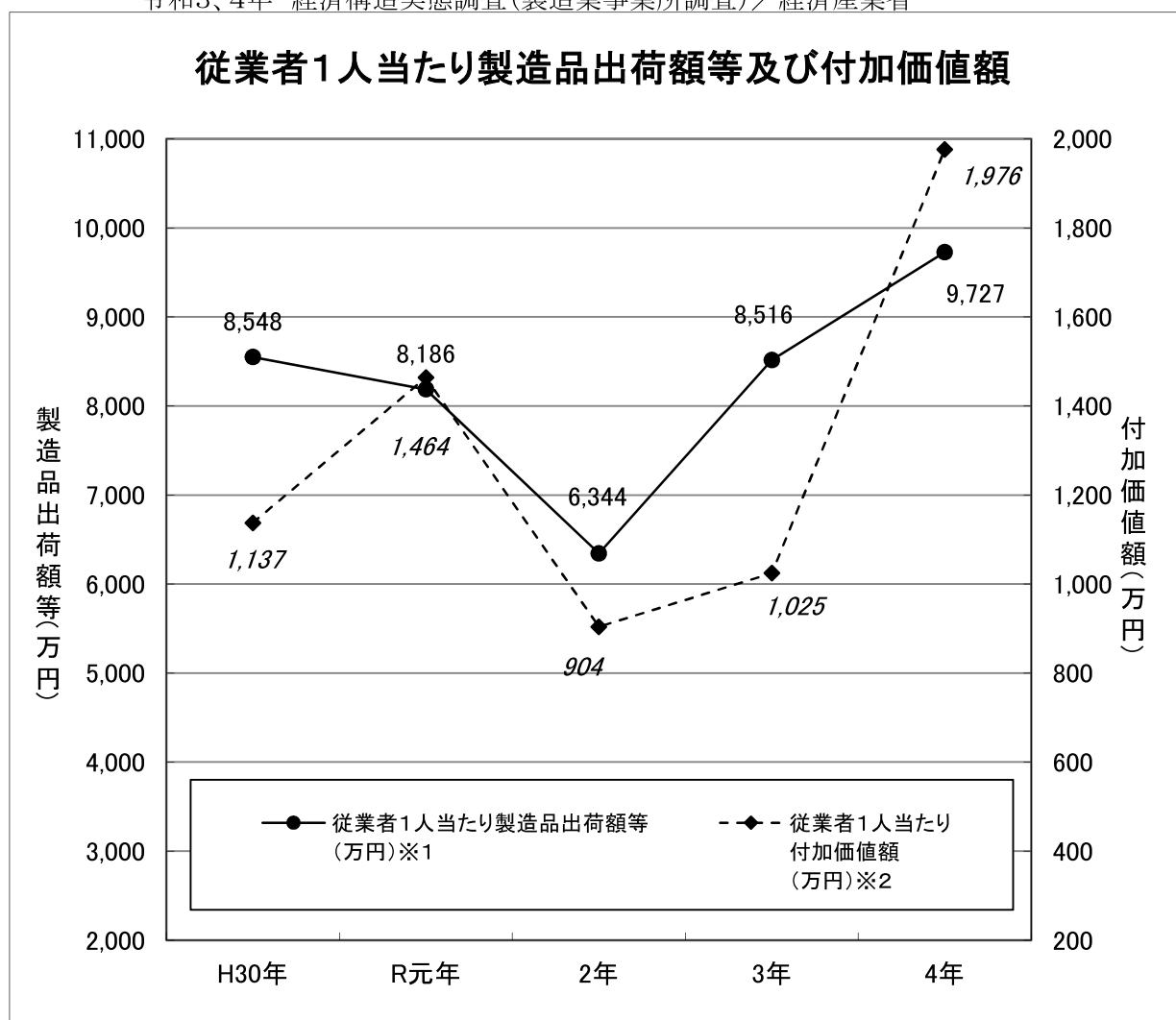
全事業所(産業中分類:鉄鋼業)

年	事業所数	従業者数	事業に従事する者の人件費等(百万円)	製造品出荷額等(百万円)	従業者1人当たり製造品出荷額等(万円)※1	付加価値額(万円)	従業者1人当たり付加価値額(万円)※2
H30年	41	2,236	12,080	191,142	8,548	2,543,121	1,137
R元年	37	2,228	11,414	182,389	8,186	3,261,422	1,464
2年	46	2,210	11,475	140,202	6,344	1,998,011	904
3年	55	2,222	12,114	189,221	8,516	2,276,700	1,025
4年	57	2,242	13,014	218,073	9,727	4,430,400	1,976

※1、※2 「製造品出荷額等」や「付加価値額」を従業者数で除した額。

資料出所:平成29年～令和2年 宮城県の工業(確報)／宮城県企画部

令和3、4年 経済構造実態調査(製造業事業所調査)／経済産業省



## 2 宮城県の電機等製造業製造品出荷額・付加価値額等の推移

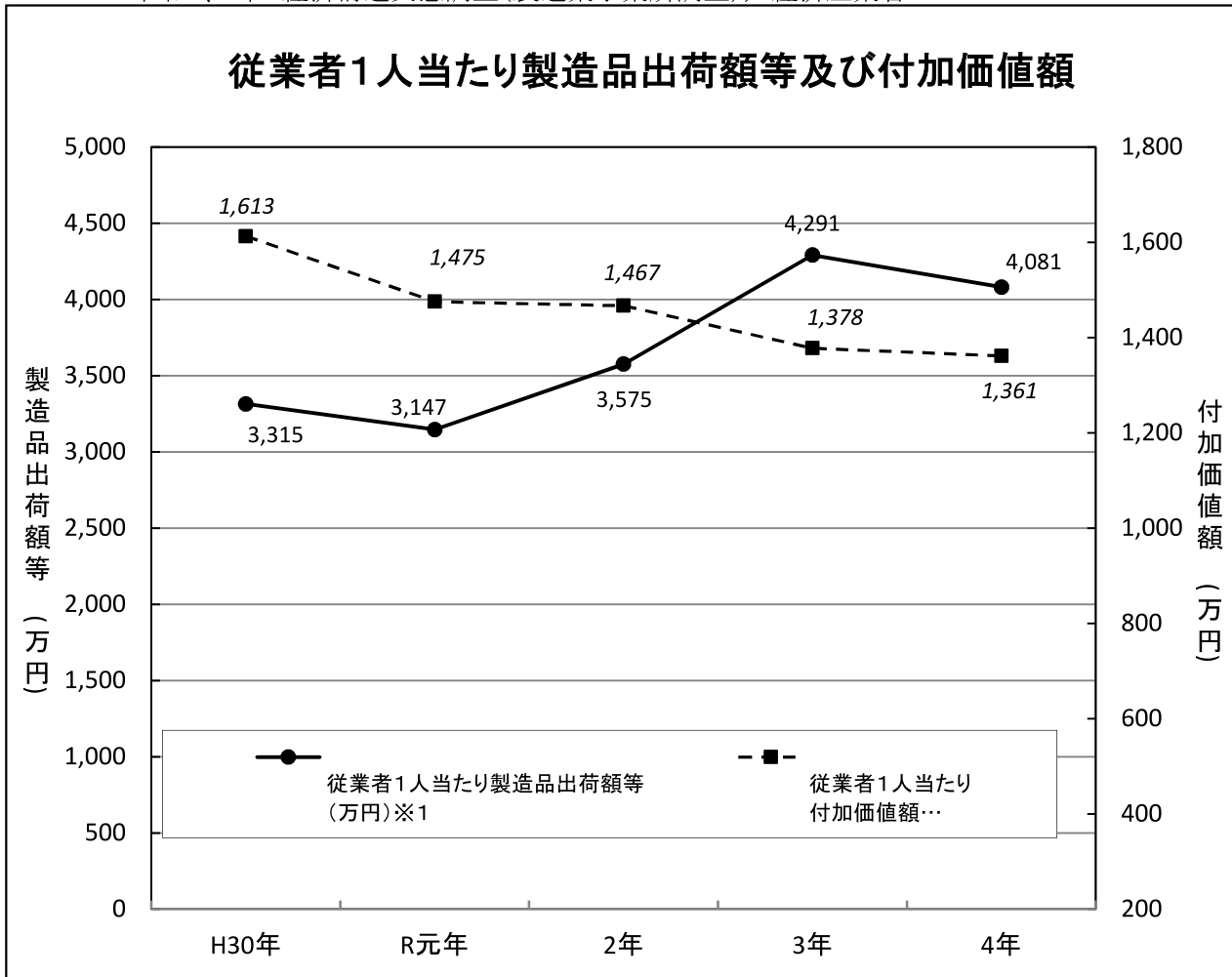
全事業所(産業中分類:電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業及び情報通信機械器具製造業)

年	事業所数	従業者数	事業に従事する者の人件費等(万円)	製造品出荷額等(万円)	従業者1人当たり製造品出荷額等(万円)※1	付加価値額(万円)	従業者1人当たり付加価値額(万円)※2
H30年	225	24,860	11,528,599	82,408,979	3,315	40,098,239	1,613
R元年	212	23,735	10,304,057	74,684,132	3,147	35,016,537	1,475
2年	225	22,050	10,262,537	78,836,399	3,575	32,347,502	1,467
3年	261	21,882	9,997,400	93,891,300	4,291	30,145,300	1,378
4年	264	23,236	11,272,500	94,826,616	4,081	31,634,000	1,361

※1、※2 「製造品出荷額等」や「付加価値額」を従業者数で除した額。

資料出所:平成29年～令和2年 宮城県の工業(確報)／宮城県企画部

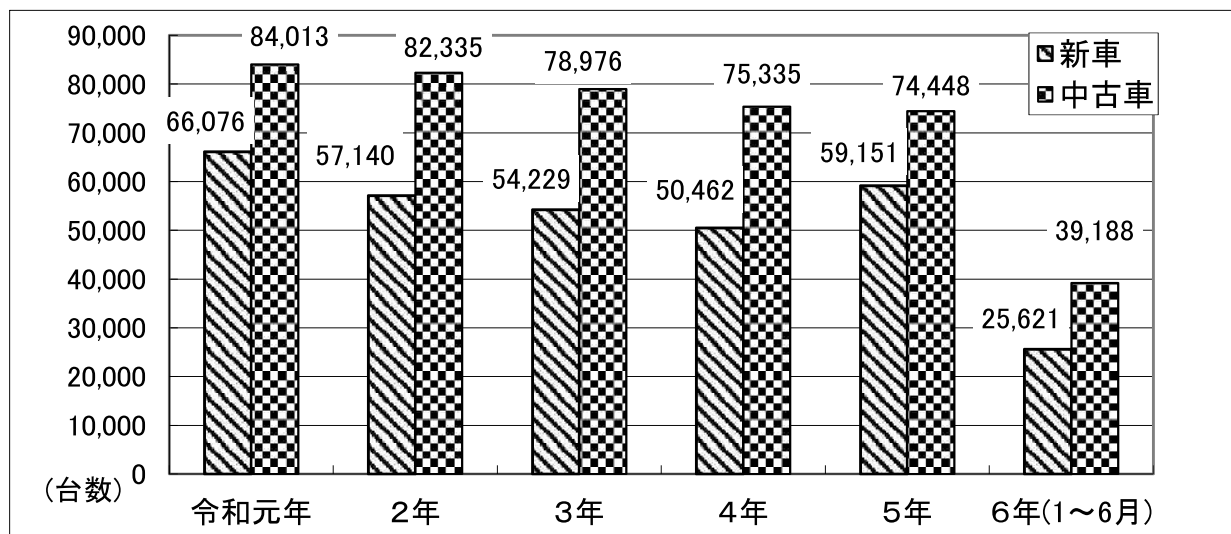
令和3、4年 経済構造実態調査(製造業事業所調査)／経済産業省



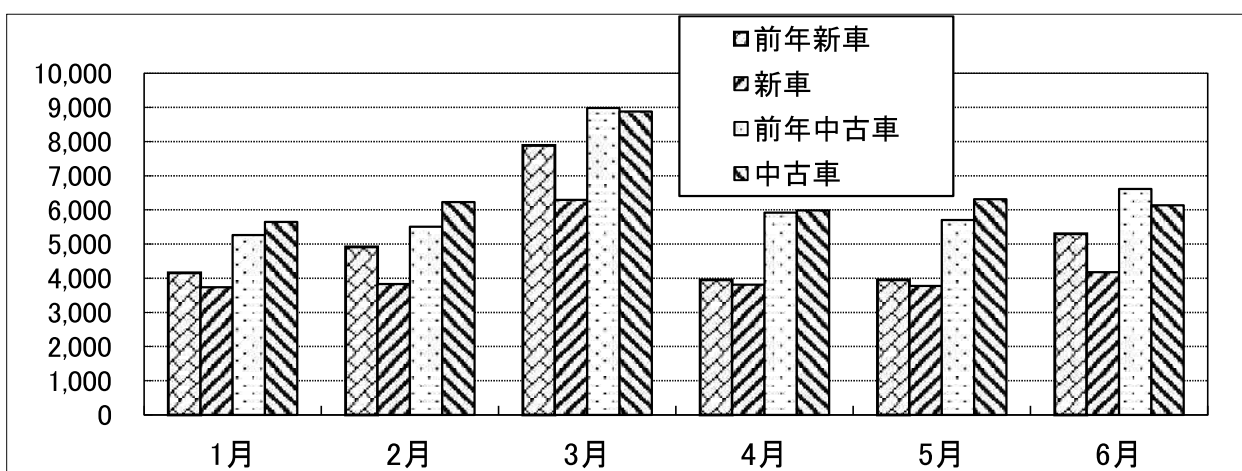
### 3 宮城県の新規登録台数の推移(軽自動車を除く)

単位:台

	新車	新車対前年比	中古車	中古車対前年比
令和元年	66,076	-1.46%	84,013	1.24%
2年	57,140	-13.52%	82,335	-2.00%
3年	54,229	-5.09%	78,976	-4.08%
4年	50,462	-6.95%	75,335	-4.61%
5年	59,151	17.22%	74,448	-1.18%
6年(1~6月)	25,621	-15.08%	39,188	3.17%



令和6年	前年新車	新車	前年中古車	中古車
1月	4,161	3,734	5,262	5,648
2月	4,915	3,831	5,509	6,230
3月	7,888	6,291	8,980	8,880
4月	3,952	3,811	5,915	5,985
5月	3,951	3,773	5,707	6,310
6月	5,304	4,181	6,610	6,135
計	30,171	25,621	37,983	39,188



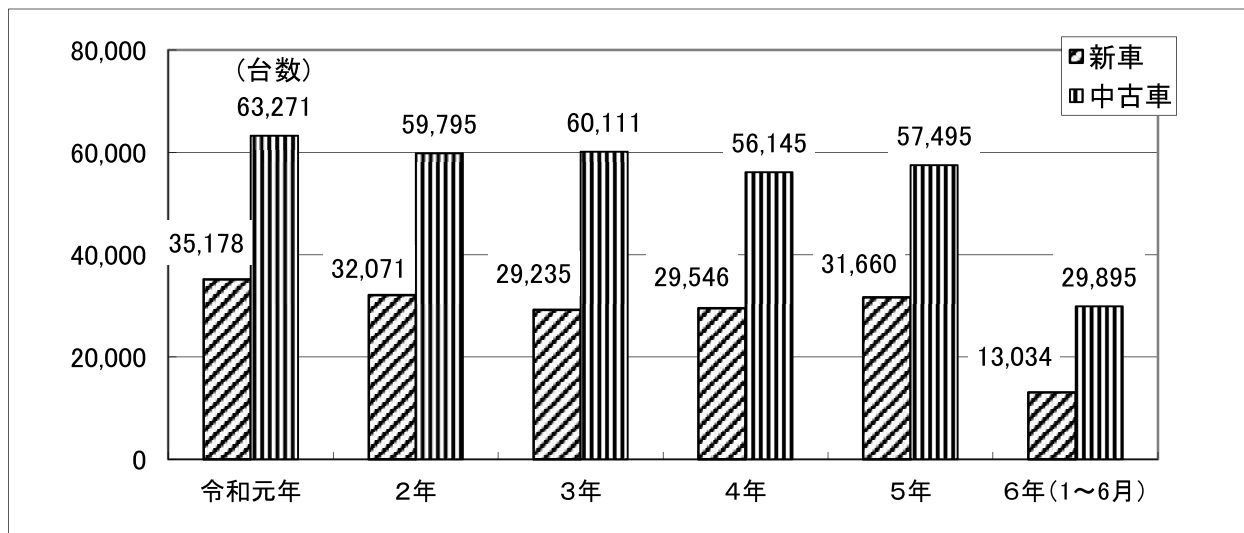
資料出所:東北運輸局、(一社)日本自動車販売協会連合会宮城県支部



## 4 宮城県の自動車新規登録台数の推移(軽自動車のみ)

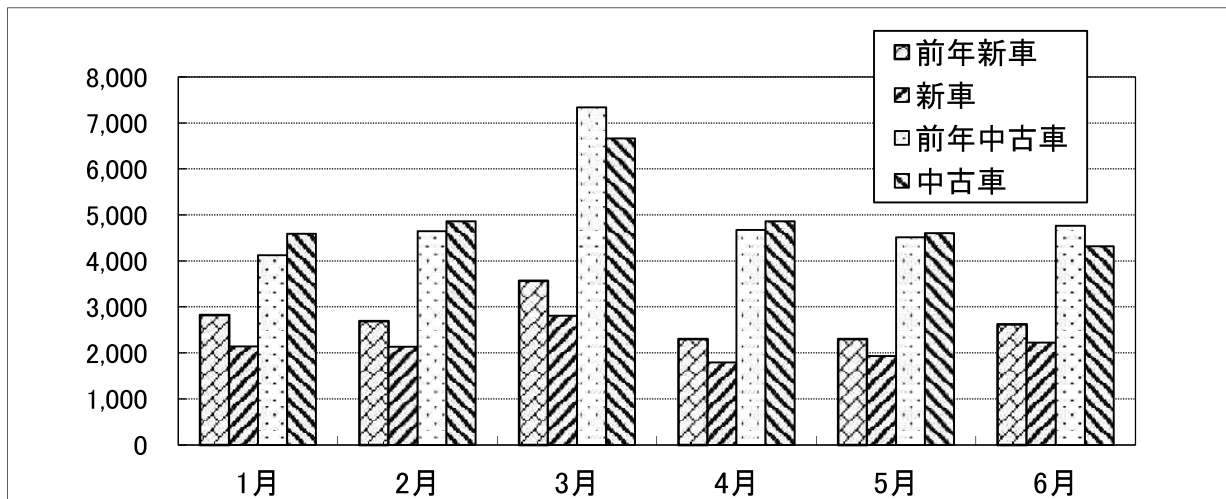
単位:台

	新車	新車対前年比	中古車	中古車対前年比
令和元年	35,178	1.71%	63,271	0.82%
2年	32,071	-8.83%	59,795	-5.49%
3年	29,235	-8.84%	60,111	0.53%
4年	29,546	1.06%	56,145	-6.60%
5年	31,660	7.15%	57,495	2.40%
6年(1~6月)	13,034	-20.01%	29,895	-0.57%



単位:台

令和6年	前年新車	新車	前年中古車	中古車
1月	2,823	2,141	4,123	4,588
2月	2,686	2,133	4,648	4,859
3月	3,568	2,811	7,337	6,663
4月	2,301	1,794	4,675	4,862
5月	2,298	1,932	4,516	4,605
6月	2,618	2,223	4,767	4,318
計	16,294	13,034	30,066	29,895

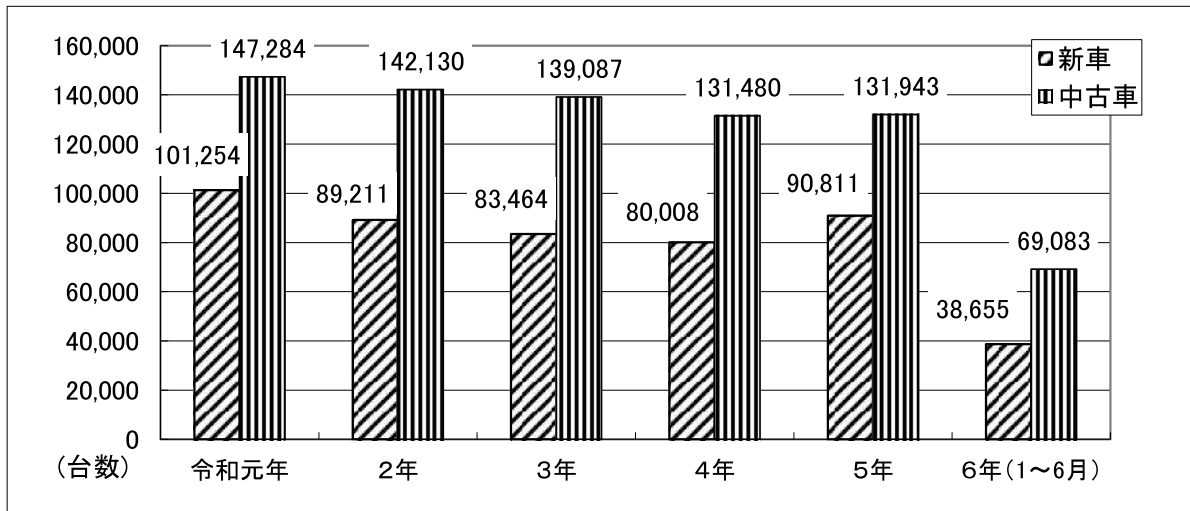


資料出所:宮城県軽自動車協会

## 5 宮城県の自動車新規登録台数の推移(軽自動車を含む合計)

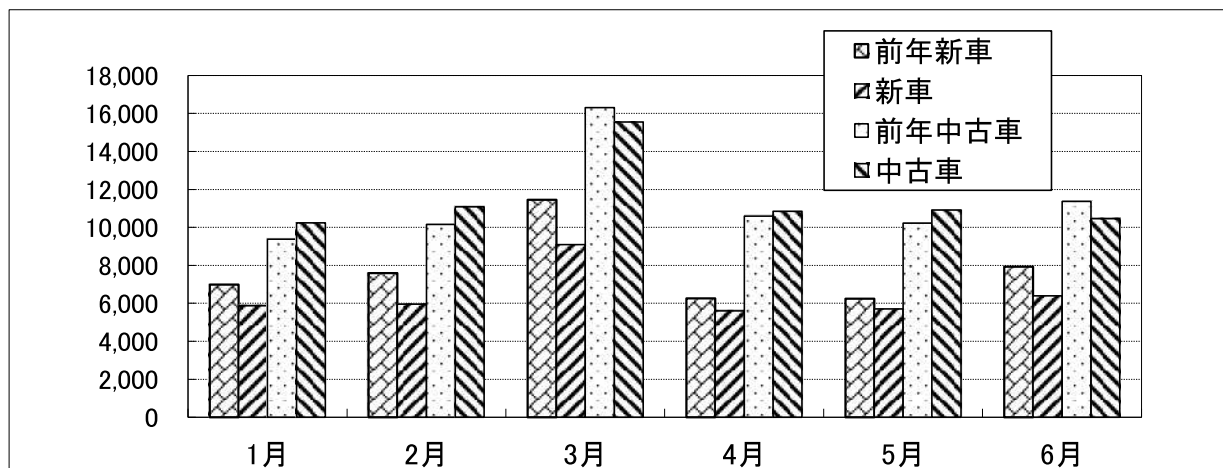
単位:台

	新車	新車対前年比	中古車	中古車対前年比
令和元年	101,254	-0.38%	147,284	1.06%
2年	89,211	-11.89%	142,130	-3.50%
3年	83,464	-6.44%	139,087	-2.14%
4年	80,008	-4.14%	131,480	-5.47%
5年	90,811	13.50%	131,943	0.35%
6年(1~6月)	38,655	-16.81%	69,083	1.52%



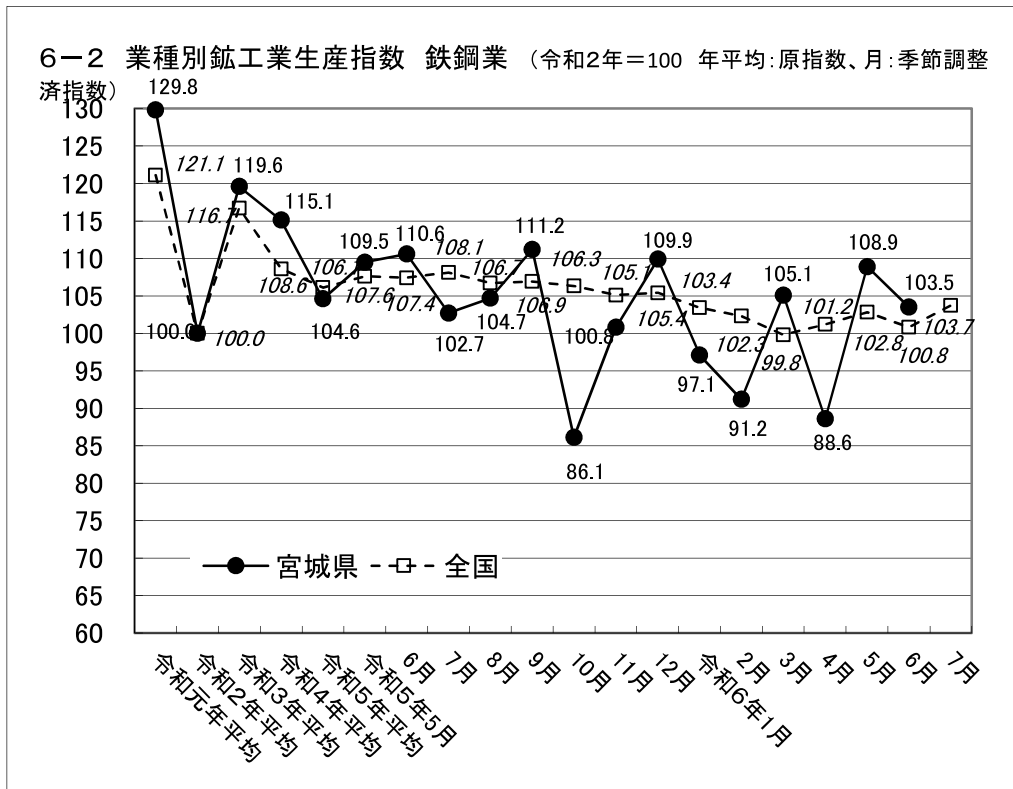
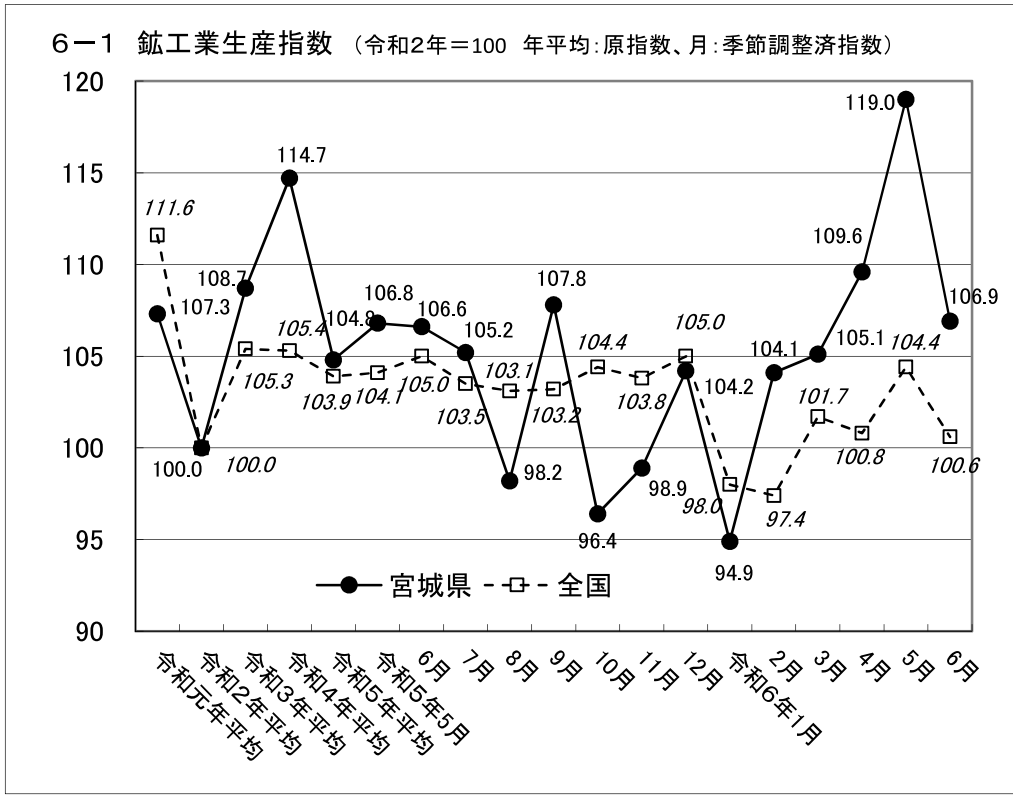
単位:台

令和6年	前年新車	新車	前年中古車	中古車
1月	6,984	5,875	9,385	10,236
2月	7,601	5,964	10,157	11,089
3月	11,456	9,102	16,317	15,543
4月	6,253	5,605	10,590	10,847
5月	6,249	5,705	10,223	10,915
6月	7,922	6,404	11,377	10,453
計	46,465	38,655	68,049	69,083

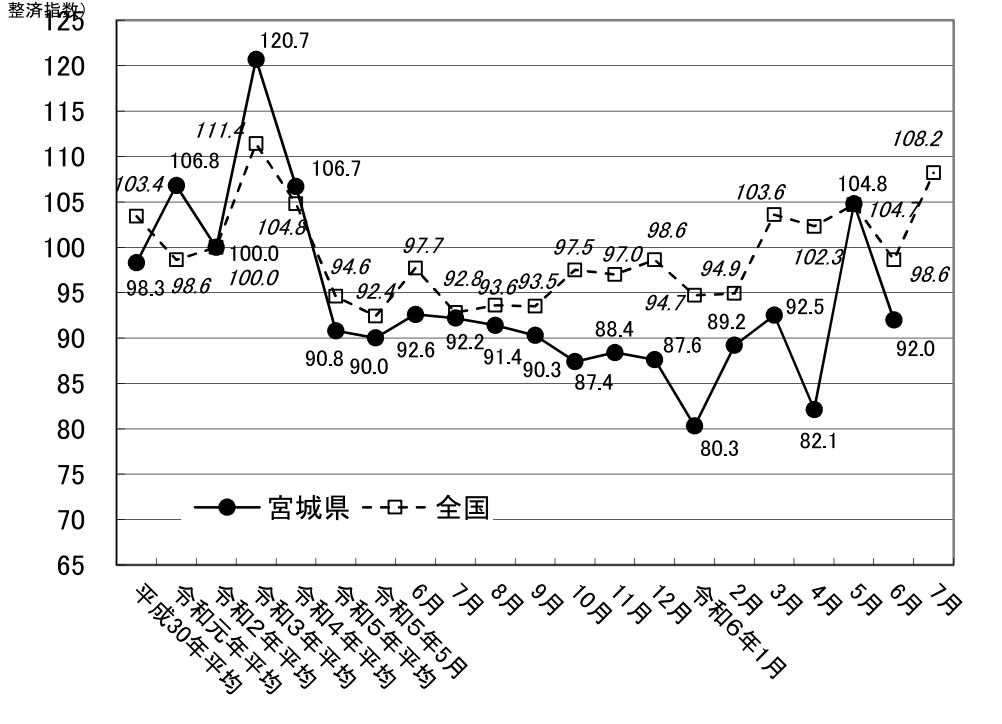


資料出所: 東北運輸局、(一社)日本自動車販売協会連合会宮城県支部  
宮城県軽自動車協会

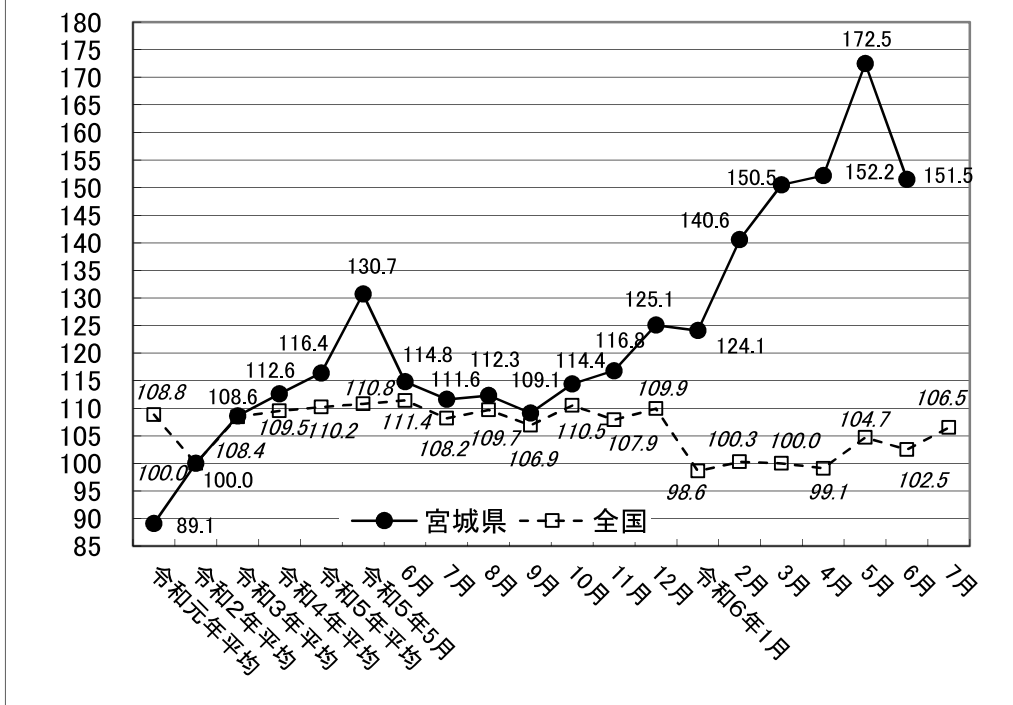
## 6 鋳工業生産指数の推移



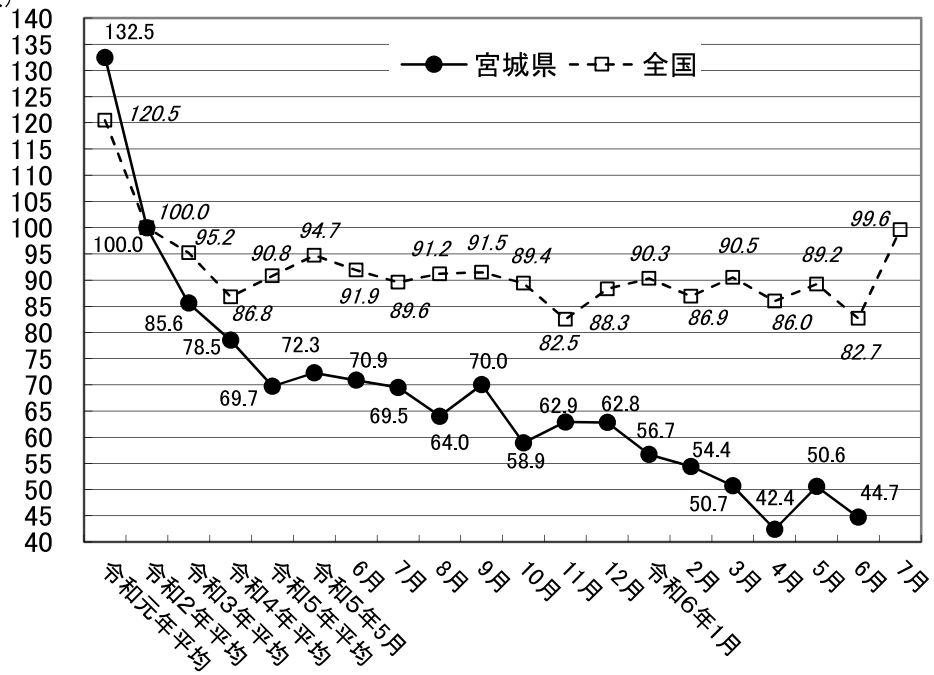
6-3 業種別鉱工業生産指数 電子部品・デバイス工業 (令和2年=100 年平均:原指数、月:季節調整済指数)



業種別鉱工業指数 電気機械工業 (令和2年=100 年平均:原指数、月:季節調整済指数)



6-4 業種別鉱工業生産指数 情報通信機械工業 (年平均:原指数、月:季節調整済指数)



# 11 雇用情勢関連統計

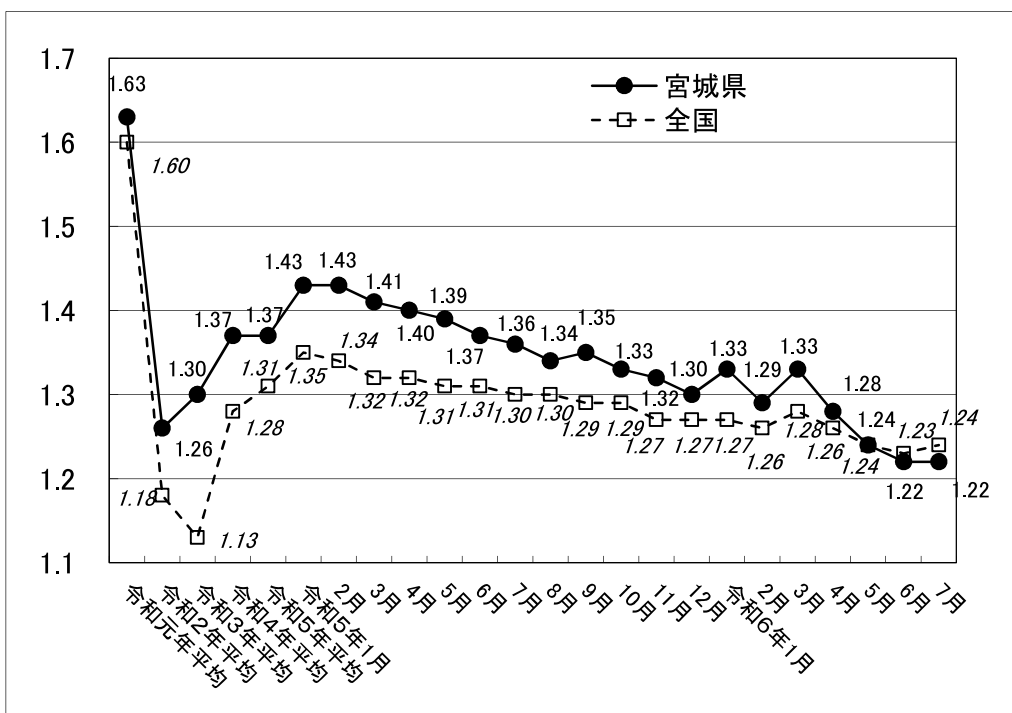
## 目次

1	宮城県内の求人倍率等の推移	1
1-1	有効求人倍率の推移	1
1-2	新規求人倍率等の推移	1
1-3	有効求人数及び新規求人数の対前年同月比	2
2	宮城県の一般職業紹介状況(令和6年7月分)について	3

# 1 宮城県内の求人倍率等の推移

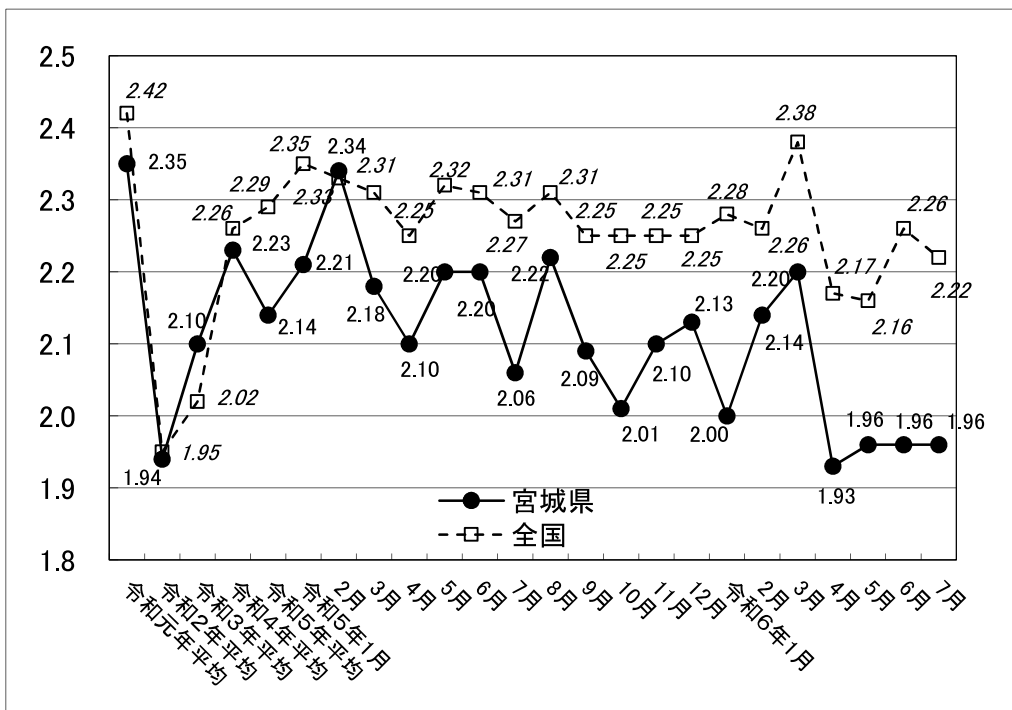
## 1-1 有効求人倍率の推移

資料出所:宮城労働局



## 1-2 新規求人倍率の推移

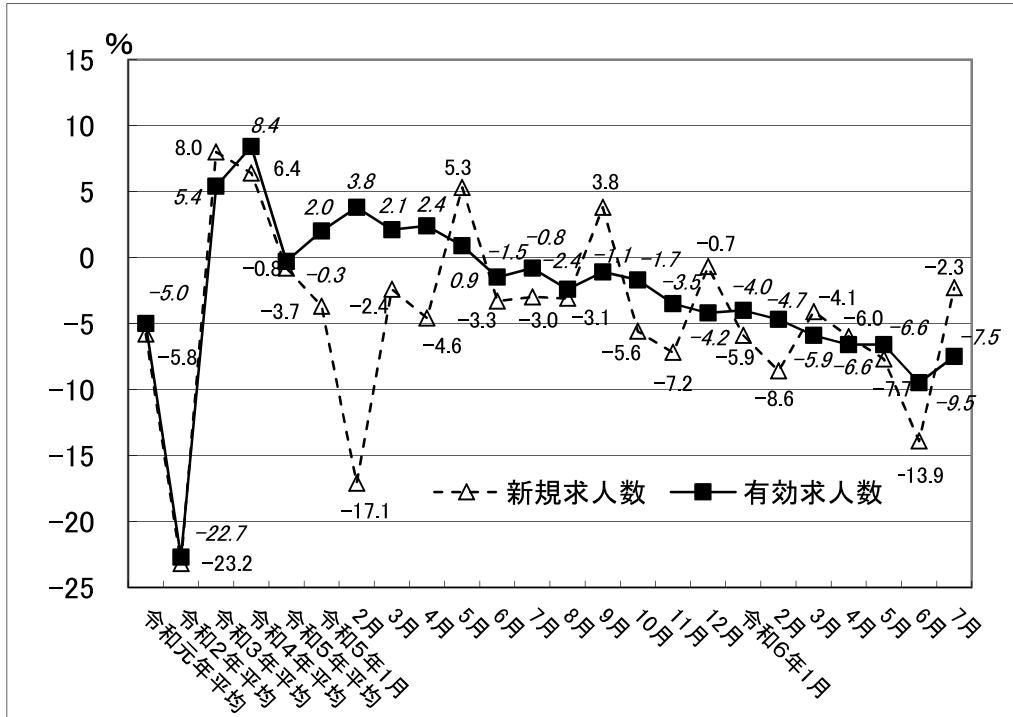
資料出所:宮城労働局



\* 新規学卒関係及び一般日雇い関係を除く

資料出所:宮城労働局

1-3 有効求人数及び新規求人数の対前年同月比(%)



\* 新規学卒関係及び一般日雇い関係を除く



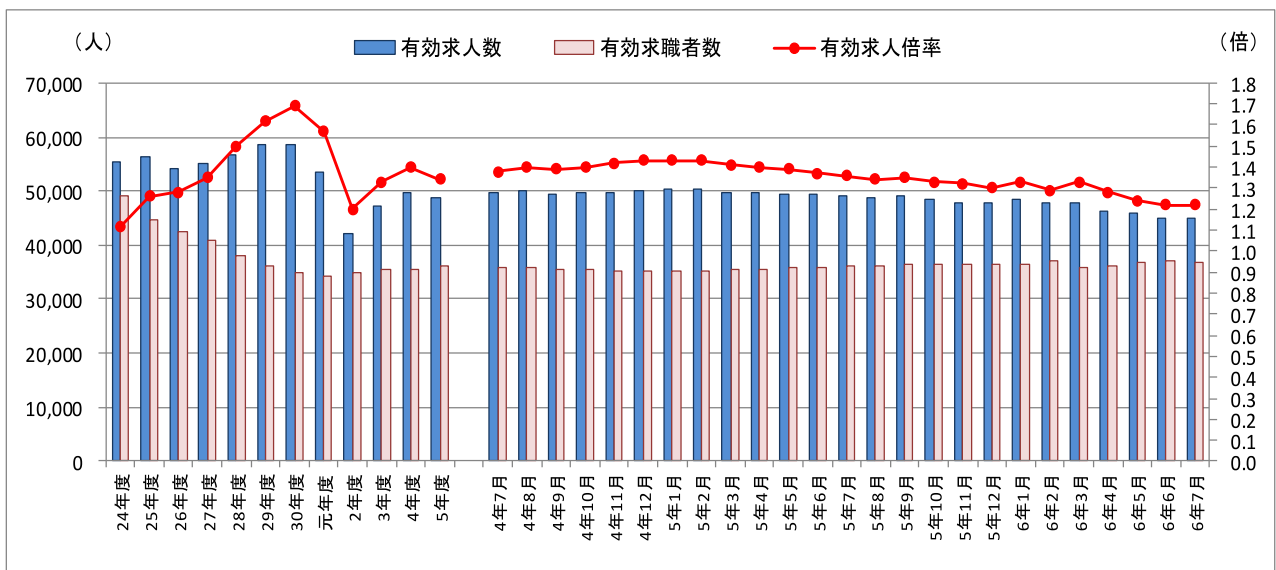


令和6年8月30日（金）  
 宮城労働局職業安定部職業安定課  
 職業安定課長 伊藤文武  
 地方労働市場情報官 藤村学  
 電話 022(299)8061

## 一 宮城県の一般職業紹介状況（令和6年7月分）について 一

### 令和6年7月の有効求人倍率等（季節調整値）の動向

- ◎ 令和6年7月の有効求人倍率は**1.22倍**で、前月と同水準となった。
  - 有効求人数は44,890人で、前月と比べて0.5%の減少となった。
  - 有効求職者数は36,780人で、前月と比べて0.7%の減少となった。
  - 新規求人倍率は1.96倍で、前月と同水準となった。
- ◎ 県内の雇用失業情勢は、求人が求職を上回って推移しているものの、改善の動きにやや弱さが見られる。引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響に、より一層注意する必要がある。



(注) 1 月別の数値は季節調整値である。なお、令和5年12月以前の数値は、令和6年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。  
 2 ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募した就職件数等が含まれている。

## 前月との比較(季節調整値)

### 1 有効求人・有効求職の動き

有効求人数は44,890人で、前月比0.5%減と4か月連続で減少し、有効求職者数は36,780人で、前月比0.7%減と4か月ぶりに減少しました。

今月の有効求人倍率は1.22倍となり、前月と同水準でした。

### 2 新規求人・新規求職の動き

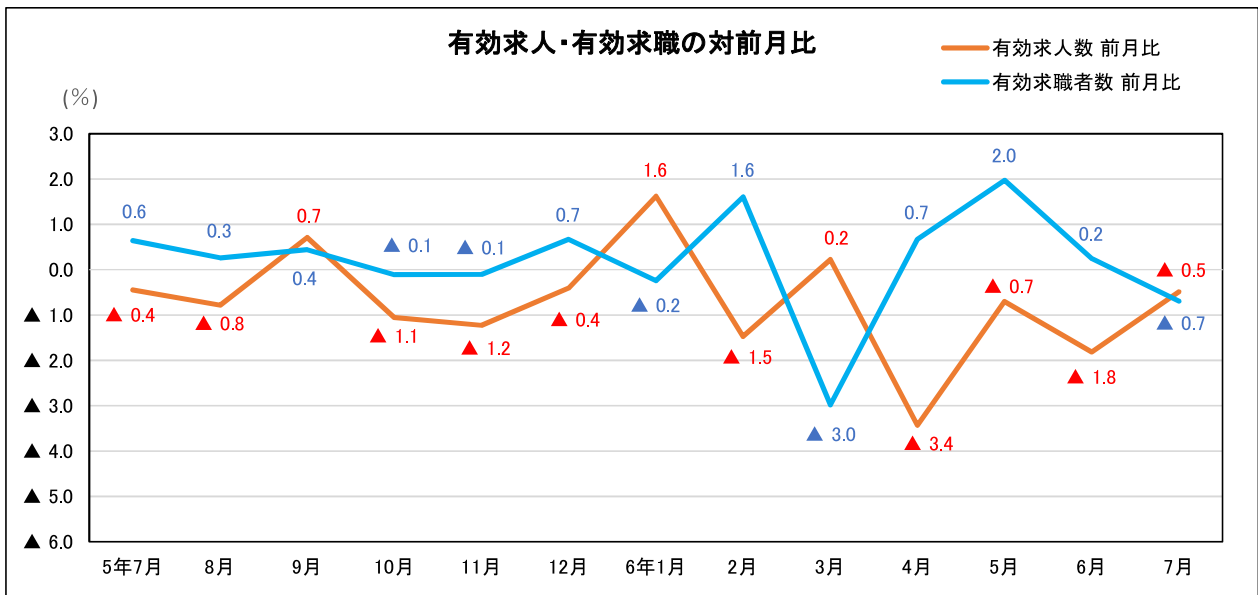
新規求人数は15,381人で、前月比0.7%増と2か月ぶりに増加し、新規求職者数は7,858人で、前月比1.0%増と2か月ぶりに増加しました。

今月の新規求人倍率は1.96倍となり、前月と同水準でした。

【第1表】 求人・求職・求人倍率の動向

	有効求人数		有効求職者数		有効求人倍率		新規求人数		新規求職者数		新規求人倍率	
		前月比		前月比		前月差		前月比		前月比		前月差
5年7月	49,089	▲ 0.4	36,180	0.6	1.36	▲ 0.01	16,790	▲ 3.1	8,149	3.6	2.06	▲ 0.14
8月	48,705	▲ 0.8	36,275	0.3	1.34	▲ 0.02	17,963	7.0	8,096	▲ 0.7	2.22	0.16
9月	49,052	0.7	36,436	0.4	1.35	0.01	16,959	▲ 5.6	8,129	0.4	2.09	▲ 0.13
10月	48,535	▲ 1.1	36,396	▲ 0.1	1.33	▲ 0.02	16,181	▲ 4.6	8,064	▲ 0.8	2.01	▲ 0.08
11月	47,939	▲ 1.2	36,357	▲ 0.1	1.32	▲ 0.01	16,856	4.2	8,045	▲ 0.2	2.10	0.09
12月	47,746	▲ 0.4	36,600	0.7	1.30	▲ 0.02	17,514	3.9	8,238	2.4	2.13	0.03
6年1月	48,520	1.6	36,511	▲ 0.2	1.33	0.03	16,218	▲ 7.4	8,118	▲ 1.5	2.00	▲ 0.13
2月	47,804	▲ 1.5	37,098	1.6	1.29	▲ 0.04	17,763	9.5	8,303	2.3	2.14	0.14
3月	47,912	0.2	35,991	▲ 3.0	1.33	0.04	16,864	▲ 5.1	7,662	▲ 7.7	2.20	0.06
4月	46,268	▲ 3.4	36,231	0.7	1.28	▲ 0.05	15,594	▲ 7.5	8,065	5.3	1.93	▲ 0.27
5月	45,944	▲ 0.7	36,946	2.0	1.24	▲ 0.04	16,086	3.2	8,215	1.9	1.96	0.03
6月	45,111	▲ 1.8	37,036	0.2	1.22	▲ 0.02	15,270	▲ 5.1	7,777	▲ 5.3	1.96	0.00
7月	44,890	▲ 0.5	36,780	▲ 0.7	1.22	0.00	15,381	0.7	7,858	1.0	1.96	0.00

(注) 令和5年12月以前の数値は、令和6年1月分公表時に新季節指数により改定されている。



# 前年同月との比較(原数値)

## 1 求人の動き

新規求人数は15,809人で、367人(2.3%)減と10か月連続で減少となりました。

これを産業別にみると、「建設業」(89人増、5.1%増)、「公務・その他」(88人増、50.9%増)、「生活関連サービス業、娯楽業」(69人増、15.7%増)などで増加となり、「宿泊業、飲食サービス業」(386人減、36.7%減)、「サービス業」(210人減、6.2%減)、「製造業」(139人減、10.9%減)などで減少となりました。

なお、有効求人数は43,849人で、3,565人(7.5%)減と14か月連続で減少となりました。

## 2 求職の動き

新規求職者数は7,603人で、241人(3.3%)増と2か月ぶりの増加となりました。うち、常用フルタイム希望者は5,083人で、27人(0.5%)増加し、事業主都合による離職者は875人で、31人(3.7%)増と2か月ぶりの増加となりました。

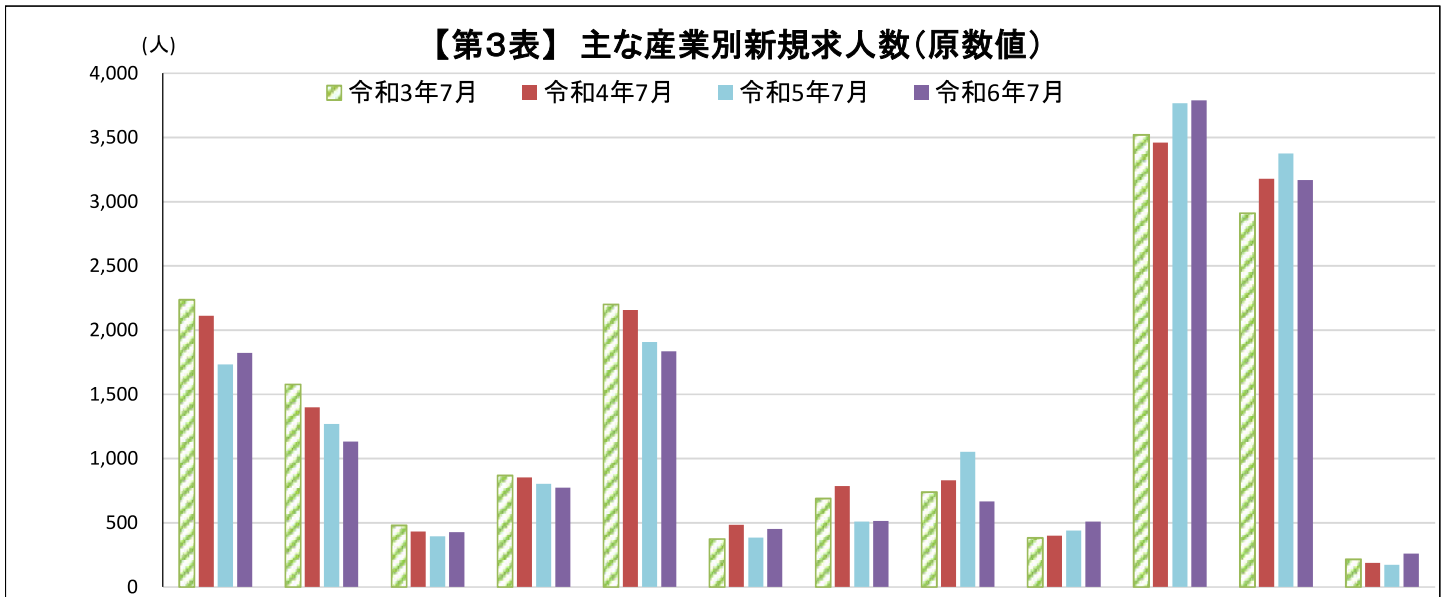
なお、有効求職者数は37,133人で、1,029人(2.9%)増と13か月連続で増加となりました。

【第2表】 求人・求職・求人倍率等の状況(時系列)(原数値)

	新規求人数		新規求職者数		有効求人数		有効求職者数		新規求人倍率		有効求人倍率	
		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		対前年 同月比		前年度差		前年度差
令和2年度平均	15,104	▲ 19.1	7,854	▲ 4.8	42,057	▲ 21.5	34,941	2.4	1.92	▲ 0.34	1.20	▲ 0.37
令和3年度平均	16,779	11.1	7,754	▲ 1.3	47,139	12.1	35,468	1.5	2.16	0.24	1.33	0.13
令和4年度平均	17,588	4.8	7,900	1.9	49,780	5.6	35,679	0.6	2.23	0.07	1.40	0.07
令和5年度平均	17,010	▲ 3.3	8,061	2.0	48,641	▲ 2.3	36,246	1.6	2.11	▲ 0.12	1.34	▲ 0.06
令和2年平均	15,180	▲ 23.2	7,809	▲ 7.2	43,295	▲ 22.7	34,450	0.4	1.94	▲ 0.41	1.26	▲ 0.37
令和3年平均	16,394	8.0	7,814	0.1	45,626	5.4	35,212	2.2	2.10	0.16	1.30	0.04
令和4年平均	17,442	6.4	7,835	0.3	49,445	8.4	35,974	2.2	2.23	0.13	1.37	0.07
令和5年平均	17,307	▲ 0.8	8,080	3.1	49,278	▲ 0.3	35,969	▲ 0.0	2.14	▲ 0.09	1.37	0.00
令和3年 7月	16,583	12.0	6,929	▲ 12.2	43,912	11.3	34,360	▲ 2.2				
4年 7月	16,675	0.6	6,811	▲ 1.7	47,811	8.9	35,821	4.3				
5年 7月	16,176	▲ 3.0	7,362	8.1	47,414	▲ 0.8	36,104	0.8				
8月	17,088	▲ 3.1	7,430	1.4	47,980	▲ 2.4	35,687	1.2				
9月	17,261	3.8	7,763	3.0	48,480	▲ 1.1	35,928	2.5				
10月	17,564	▲ 5.6	8,130	5.8	49,680	▲ 1.7	36,454	3.1				
11月	16,405	▲ 7.2	6,909	2.4	48,553	▲ 3.5	35,438	2.7				
12月	16,112	▲ 0.7	6,196	9.8	47,699	▲ 4.2	33,617	4.3				
6年 1月	18,224	▲ 5.9	8,817	1.8	49,025	▲ 4.0	34,298	3.9				
2月	18,344	▲ 8.6	8,770	2.1	50,648	▲ 4.7	36,341	4.7				
3月	16,611	▲ 4.1	8,186	▲ 6.3	49,522	▲ 5.9	37,067	1.1				
4月	15,366	▲ 6.0	11,096	4.7	46,032	▲ 6.6	38,774	2.7				
5月	15,528	▲ 7.7	8,848	0.2	44,515	▲ 6.6	39,599	3.0				
6月	14,774	▲ 13.9	7,191	▲ 7.2	43,212	▲ 9.5	38,577	2.0				
7月	15,809	▲ 2.3	7,603	3.3	43,849	▲ 7.5	37,133	2.9				

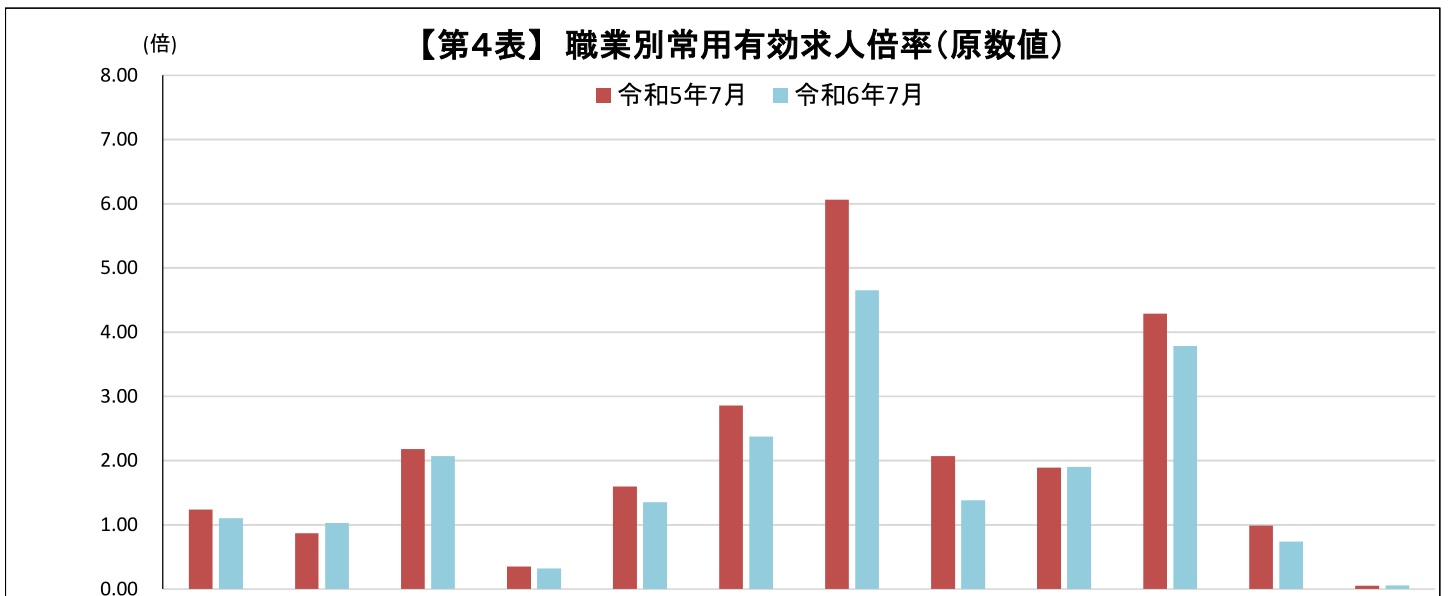
※令和6年1月26日に、過去の求人数、求職者数の訂正のお知らせを掲載しております。

詳しくは以下の資料(<https://jiste.mhlw.go.jp/miyagi-roudoukyoku/content/contents/001706183.pdf>)をご覧ください。



	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	医療・福祉	サービス業	公務・その他
令和3年7月	2,237	1,578	480	868	2,200	374	688	740	382	3,521	2,911	216
令和4年7月	2,112	1,397	432	855	2,156	484	785	830	399	3,461	3,180	186
令和5年7月	1,733	1,270	396	803	1,909	385	508	1,051	440	3,766	3,377	173
令和6年7月	1,822	1,131	427	772	1,835	450	516	665	509	3,790	3,167	261
前年同月比	5.1	▲ 10.9	7.8	(▲ 3.9)	(▲ 3.9)	16.9	1.6	▲ 36.7	15.7	(0.6)	(▲ 6.2)	50.9
前々年同月比	▲ 13.7	▲ 19.0	▲ 1.2	(▲ 9.7)	(▲ 14.9)	▲ 7.0	▲ 34.3	▲ 19.9	27.6	(9.5)	(▲ 0.4)	40.3
令和3年同月比	▲ 18.6	▲ 28.3	▲ 11.0	(▲ 11.1)	(▲ 16.6)	20.3	▲ 25.0	▲ 10.1	33.2	(7.6)	(8.8)	20.8

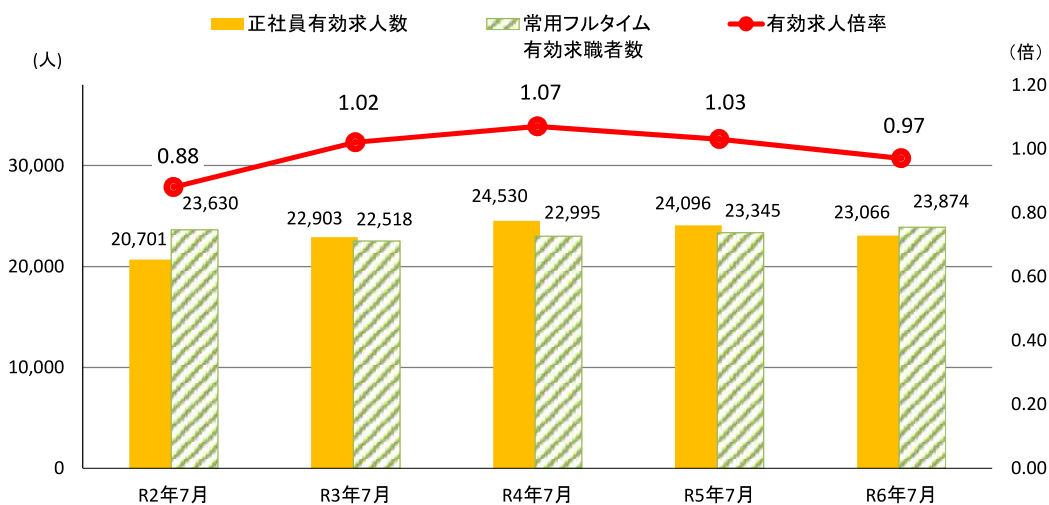
(注) 令和6年4月以降については令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分、令和6年3月以前については平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分により表章したもの。令和6年4月以降の対前年同月比については、産業分類改定による影響のある産業について( )で示している。



	職業計	管理的職業従事者	専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	保安職業従事者	生産工程従事者	輸送・機械運転従事者	建設・採掘従事者	運搬・清掃・包装等従事者	その他の職業
令和5年7月	1.24	0.87	2.18	0.35	1.60	2.86	6.06	2.07	1.89	4.29	0.99	0.05
令和6年7月	1.10	1.03	2.07	0.32	1.35	2.37	4.66	1.38	1.90	3.79	0.74	0.05
前年同月差	▲ 0.14	0.16	▲ 0.11	▲ 0.03	▲ 0.25	▲ 0.49	▲ 1.40	▲ 0.69	0.01	▲ 0.50	▲ 0.25	0.00

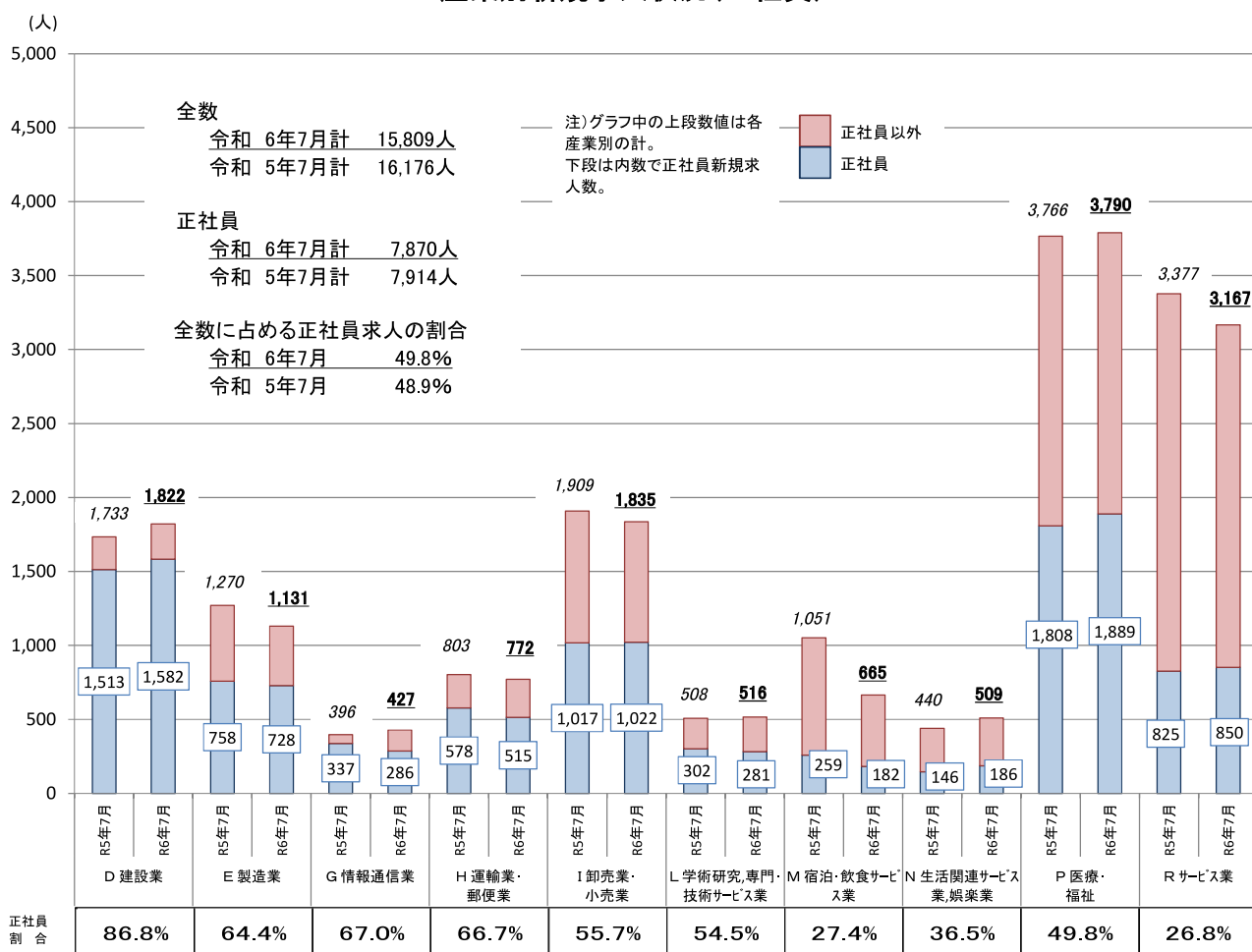
※令和5年4月内容より、平成21年12月改訂の「日本標準職業分類」に基づく区分を使用。

【第5表】 正社員の有効求人・有効求職及び有効求人倍率(原数値)



※「正社員」とは、パートタイム労働者、派遣労働者、臨時・季節労働者、契約社員、準社員、嘱託等の非正規社員以外の者である。  
 ※有効求職者は常用フルタイム有効求職者数。  
 ※常用フルタイム有効求職者数にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。  
 ※正社員有効求人倍率＝正社員有効求人数／常用フルタイム有効求職者数。

産業別新規求人状況(正社員)



※(注)令和6年4月以降については令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分、令和6年3月以前については平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分により表章したものを。

【第6表】 新規常用的フルタイム求職者の態様別状況

	常用計		在職者		離職者		うち事業主都合		うち自己都合		無業者	
	前年同月比	値	前年同月比	値	前年同月比	値	前年同月比	値	前年同月比	値	前年同月比	値
令和2年度月平均	▲ 5.0	5,330	▲ 13.2	1,733	3,317	0.1	1,020	14.5	2,161	▲ 5.6	279	▲ 7.8
3年度月平均	▲ 3.4	5,149	3.6	1,796	3,052	▲ 8.0	835	▲ 18.1	2,080	▲ 3.8	302	8.0
4年度月平均	0.9	5,193	▲ 2.1	1,757	3,113	2.0	802	▲ 4.0	2,164	4.1	322	6.8
5年度月平均	2.2	5,309	0.4	1,764	3,246	4.3	856	6.6	2,251	4.0	299	▲ 7.3
令和3年 7月	▲ 14.3	4,704	▲ 12.0	1,528	2,889	▲ 16.3	758	▲ 32.6	2,005	▲ 8.8	287	▲ 5.0
4年 7月	▲ 2.2	4,601	▲ 0.1	1,527	2,802	▲ 3.0	717	▲ 5.4	1,961	▲ 2.2	272	▲ 5.2
8月	4.6	4,990	▲ 2.5	1,632	3,033	6.5	751	3.6	2,147	6.6	325	29.0
9月	1.9	5,021	▲ 10.1	1,563	3,084	6.4	695	9.3	2,248	5.5	374	29.4
10月	▲ 0.5	5,066	▲ 2.4	1,634	3,133	0.8	794	▲ 5.9	2,216	3.5	299	▲ 2.0
11月	▲ 4.3	4,553	▲ 5.9	1,585	2,723	▲ 3.3	594	▲ 17.0	2,002	0.4	245	▲ 4.3
12月	▲ 10.0	3,866	▲ 9.6	1,444	2,192	▲ 10.3	557	▲ 18.3	1,538	▲ 6.8	230	▲ 9.4
5年 1月	1.2	5,753	▲ 4.5	2,214	3,255	5.3	816	▲ 1.6	2,301	7.8	284	3.6
2月	3.4	5,503	▲ 1.5	2,258	2,933	7.3	686	6.5	2,106	7.2	312	6.1
3月	▲ 0.6	5,761	▲ 5.0	2,168	3,192	2.9	808	▲ 1.2	2,228	3.5	401	▲ 2.9
4月	1.4	6,602	1.4	1,677	4,571	3.4	1,463	2.9	2,831	3.4	354	▲ 18.6
5月	3.2	5,597	▲ 3.5	1,640	3,609	6.3	998	7.8	2,442	6.6	348	5.8
6月	▲ 1.6	5,184	▲ 1.2	1,690	3,198	0.1	796	▲ 7.4	2,282	3.9	296	▲ 17.8
7月	9.9	5,056	8.6	1,658	3,131	11.7	844	17.7	2,161	10.2	267	▲ 1.8
8月	2.3	5,106	2.1	1,667	3,160	4.2	774	3.1	2,256	5.1	279	▲ 14.2
9月	2.5	5,146	12.3	1,756	3,105	0.7	707	1.7	2,283	1.6	285	▲ 23.8
10月	5.6	5,350	1.5	1,658	3,370	7.6	843	6.2	2,396	8.1	322	7.7
11月	0.0	4,553	▲ 7.0	1,474	2,814	3.3	721	21.4	1,983	▲ 0.9	265	8.2
12月	8.7	4,201	▲ 0.2	1,441	2,542	16.0	716	28.5	1,739	13.1	218	▲ 5.2
6年 1月	1.3	5,828	▲ 0.9	2,195	3,337	2.5	879	7.7	2,323	1.0	296	4.2
2月	2.3	5,629	▲ 0.4	2,250	3,105	5.9	802	16.9	2,166	2.8	274	▲ 12.2
3月	▲ 5.3	5,454	▲ 4.7	2,066	3,009	▲ 5.7	723	▲ 10.5	2,145	▲ 3.7	379	▲ 5.5
4月	3.8	6,854	0.8	1,691	4,766	4.3	1,582	8.1	2,867	1.3	397	12.1
5月	0.1	5,601	0.4	1,647	3,599	▲ 0.3	1,013	1.5	2,428	▲ 0.6	355	2.0
6月	▲ 7.1	4,815	▲ 3.8	1,626	2,897	▲ 9.4	733	▲ 7.9	2,033	▲ 10.9	292	▲ 1.4
7月	0.5	5,083	▲ 0.4	1,651	3,150	0.6	875	3.7	2,141	▲ 0.9	282	5.6

\* 事業主都合には雇用期間満了等も含む。

【別表1-1】

## 一般職業紹介状況(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

年 月		6年7月			6年6月	5年7月
		項目	対前年同月 増減率、差 (%、ポイント)	季節調整値 対前月 増減率、差 (%、ポイント)		
全 数	1 月間有効求職者数 (人)	37,133	2.9	▲ 0.7	38,577	36,104
	2 新規求職申込件数 (件)	7,603	3.3	1.0	7,191	7,362
	3 月間有効求人数 (人)	43,849	▲ 7.5	▲ 0.5	43,212	47,414
	4 新規求人数 (人)	15,809	▲ 2.3	0.7	14,774	16,176
	5 就職件数 (件)	2,121	3.9	—	2,183	2,041
	6 充足件数 (件)	2,120	2.8	—	2,154	2,063
	7 有効求人倍率(3/1) (倍)	1.18	▲ 0.13	—	1.12	1.31
	同 季節調整値 (倍)	1.22	—	0.00	1.22	1.36
	8 新規求人倍率(4/2) (倍)	2.08	▲ 0.12	—	2.05	2.20
	同 季節調整値 (倍)	1.96	—	0.00	1.96	2.06
9 就職率(5/2×100) (%)	27.9	0.2	—	30.4	27.7	
10 充足率(6/4×100) (%)	13.4	0.6	—	14.6	12.8	
常 用	11 月間有効求職者数 (人)	36,966	2.9		38,399	35,935
	12 新規求職申込件数 (件)	7,576	3.3		7,172	7,334
	13 月間有効求人数 (人)	40,729	▲ 8.2		40,240	44,387
	14 新規求人数 (人)	14,511	▲ 3.7		13,666	15,062
	15 就職件数 (件)	1,984	4.3		2,020	1,903
	16 充足件数 (件)	1,983	2.7		1,992	1,930
	17 有効求人倍率(13/11) (倍)	1.10	▲ 0.14		1.05	1.24
	18 新規求人倍率(14/12) (倍)	1.92	▲ 0.13		1.91	2.05
	19 就職率(15/12×100) (%)	26.2	0.3		28.2	25.9
	20 充足率(16/14×100) (%)	13.7	0.9		14.6	12.8

\* 季節調整値は、毎年2月に季節調整替えを行い、過去の数値が変更される。

有効求人倍率＝有効求人数／有効求職者数、新規求人倍率＝新規求人数／新規求職申込件数

【別表1-2】

## 雇用形態別常用職業紹介状況(新規学卒者を除く)

年 月		6年7月		6年6月	5年7月
			対前年同月 増減率、差 (%、ポイント)		
項 目					
パート タイム を除く 常用	1 月間有効求職者数 (人)	23,874	2.3	24,406	23,345
	2 新規求職申込件数 (件)	5,083	0.5	4,815	5,056
	3 月間有効求人数 (人)	29,718	▲ 5.4	29,192	31,416
	4 新規求人数 (人)	10,168	▲ 4.2	10,148	10,615
	5 就職件数 (件)	1,248	4.6	1,241	1,193
	6 充足件数 (件)	1,246	3.1	1,206	1,209
	7 有効求人倍率(3/1) (倍)	1.24	▲ 0.11	1.20	1.35
	8 新規求人倍率(4/2) (倍)	2.00	▲ 0.10	2.11	2.10
	9 就職率(5/2×100) (%)	24.6	1.0	25.8	23.6
	10 充足率(6/4×100) (%)	12.3	0.9	11.9	11.4
正 社 員	11 月間有効求人数 (人)	23,066	▲ 4.3	22,587	24,096
	12 新規求人数 (人)	7,870	▲ 0.6	7,987	7,914
	13 就職件数 (件)	974	6.0	933	919
	14 充足件数 (件)	946	3.2	906	917
	15 有効求人倍率(11/1) (倍)	0.97	▲ 0.06	0.93	1.03
	16 充足率(14/12×100) (%)	12.0	0.4	11.3	11.6
常用 的 パ ー ト タ イ ム	17 月間有効求職者数 (人)	13,092	4.0	13,993	12,590
	18 新規求職申込件数 (件)	2,493	9.4	2,357	2,278
	19 月間有効求人数 (人)	11,011	▲ 15.1	11,048	12,971
	20 新規求人数 (人)	4,343	▲ 2.3	3,518	4,447
	21 就職件数 (件)	736	3.7	779	710
	22 充足件数 (件)	737	2.2	786	721
	23 有効求人倍率(19/17) (倍)	0.84	▲ 0.19	0.79	1.03
	24 新規求人倍率(20/18) (倍)	1.74	▲ 0.21	1.49	1.95
	25 就職率(21/18×100) (%)	29.5	▲ 1.7	33.1	31.2
	26 充足率(22/20×100) (%)	17.0	0.8	22.3	16.2

\* 正社員の有効求人倍率は正社員の月間有効求人数をパートタイムを除く常用の月間有効求職者数で除して算出しているが、パートタイムを除く常用の月間有効求職者数には派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。



【別表2】

## 求職数・求人数・求人倍率の推移（季節調整値）

	月間有効求職者数		月間有効求人数		有効求人倍率		新規求職申込件数		新規求人数		新規求人倍率	
		前年度・前年比		前年度・前年比		前年度・前年差		前年度・前年比		前年度・前年比		前年度・前年差
令和元年度平均	34,106	▲ 1.9	53,568	▲ 8.7	1.57	▲ 0.12	8,248	▲ 4.0	18,663	▲ 10.0	2.26	▲ 0.15
令和2年度平均	34,941	2.4	42,057	▲ 21.5	1.20	▲ 0.37	7,854	▲ 4.8	15,104	▲ 19.1	1.92	▲ 0.34
令和3年度平均	35,468	1.5	47,139	12.1	1.33	0.13	7,754	▲ 1.3	16,779	11.1	2.16	0.24
令和4年度平均	35,679	0.6	49,780	5.6	1.40	0.07	7,900	1.9	17,588	4.8	2.23	0.07
令和5年度平均	36,246	1.6	48,641	▲ 2.3	1.34	▲ 0.06	8,061	2.0	17,010	▲ 3.3	2.11	▲ 0.12

令和元年平均	34,298	▲ 1.8	56,033	▲ 5.0	1.63	▲ 0.06	8,412	▲ 2.6	19,773	▲ 5.8	2.35	▲ 0.08
令和2年平均	34,450	0.4	43,295	▲ 22.7	1.26	▲ 0.37	7,809	▲ 7.2	15,180	▲ 23.2	1.94	▲ 0.41
令和3年平均	35,212	2.2	45,626	5.4	1.30	0.04	7,814	0.1	16,394	8.0	2.10	0.16
令和4年平均	35,974	2.2	49,445	8.4	1.37	0.07	7,835	0.3	17,442	6.4	2.23	0.13
令和5年平均	35,969	▲ 0.0	49,278	▲ 0.3	1.37	0.00	8,080	3.1	17,307	▲ 0.8	2.14	▲ 0.09

※年度平均・年平均は季節調整なし

		月間有効求職者数		月間有効求人数		有効求人倍率		新規求職申込件数		新規求人数		新規求人倍率	
			前月比		前月比		前月差		前月比		前月比		前月差
令和3年	7月	34,400	▲ 0.4	45,753	1.6	1.33	0.03	7,605	0.7	16,790	5.4	2.21	0.10
	8月	34,491	0.3	46,410	1.4	1.35	0.02	7,699	1.2	16,556	▲ 1.4	2.15	▲ 0.06
	9月	34,335	▲ 0.5	46,556	0.3	1.36	0.01	7,725	0.3	16,446	▲ 0.7	2.13	▲ 0.02
	10月	34,871	1.6	47,551	2.1	1.36	0.00	7,729	0.1	17,367	5.6	2.25	0.12
	11月	35,746	2.5	48,228	1.4	1.35	▲ 0.01	7,975	3.2	16,845	▲ 3.0	2.11	▲ 0.14
	12月	36,882	3.2	48,708	1.0	1.32	▲ 0.03	8,149	2.2	17,674	4.9	2.17	0.06
令和4年	1月	37,342	1.2	49,600	1.8	1.33	0.01	7,910	▲ 2.9	18,114	2.5	2.29	0.12
	2月	36,433	▲ 2.4	48,938	▲ 1.3	1.34	0.01	7,479	▲ 5.4	16,961	▲ 6.4	2.27	▲ 0.02
	3月	36,021	▲ 1.1	49,057	0.2	1.36	0.02	7,833	4.7	16,985	0.1	2.17	▲ 0.10
	4月	36,137	0.3	48,619	▲ 0.9	1.35	▲ 0.01	8,001	2.1	17,534	3.2	2.19	0.02
	5月	36,249	0.3	49,266	1.3	1.36	0.01	8,006	0.1	17,754	1.3	2.22	0.03
	6月	36,499	0.7	50,014	1.5	1.37	0.01	8,129	1.5	17,854	0.6	2.20	▲ 0.02
	7月	35,946	▲ 1.5	49,600	▲ 0.8	1.38	0.01	7,594	▲ 6.6	16,896	▲ 5.4	2.22	0.02
	8月	35,793	▲ 0.4	50,057	0.9	1.40	0.02	7,839	3.2	17,866	5.7	2.28	0.06
	9月	35,543	▲ 0.7	49,315	▲ 1.5	1.39	▲ 0.01	7,840	0.0	17,134	▲ 4.1	2.19	▲ 0.09
	10月	35,500	▲ 0.1	49,674	0.7	1.40	0.01	7,956	1.5	17,243	0.6	2.17	▲ 0.02
	11月	35,174	▲ 0.9	49,813	0.3	1.42	0.02	7,717	▲ 3.0	17,581	2.0	2.28	0.11
	12月	35,080	▲ 0.3	50,094	0.6	1.43	0.01	7,489	▲ 3.0	17,292	▲ 1.6	2.31	0.03
令和5年	1月	35,207	0.4	50,272	0.4	1.43	0.00	7,999	6.8	17,648	2.1	2.21	▲ 0.10
	2月	35,282	0.2	50,488	0.4	1.43	0.00	7,924	▲ 0.9	18,532	5.0	2.34	0.13
	3月	35,416	0.4	49,875	▲ 1.2	1.41	▲ 0.02	7,835	▲ 1.1	17,091	▲ 7.8	2.18	▲ 0.16
	4月	35,542	0.4	49,833	▲ 0.1	1.40	▲ 0.01	8,131	3.8	17,050	▲ 0.2	2.10	▲ 0.08
	5月	35,757	0.6	49,526	▲ 0.6	1.39	▲ 0.01	8,022	▲ 1.3	17,640	3.5	2.20	0.10
	6月	35,950	0.5	49,308	▲ 0.4	1.37	▲ 0.02	7,866	▲ 1.9	17,328	▲ 1.8	2.20	0.00
	7月	36,180	0.6	49,089	▲ 0.4	1.36	▲ 0.01	8,149	3.6	16,790	▲ 3.1	2.06	▲ 0.14
	8月	36,275	0.3	48,705	▲ 0.8	1.34	▲ 0.02	8,096	▲ 0.7	17,963	7.0	2.22	0.16
	9月	36,436	0.4	49,052	0.7	1.35	0.01	8,129	0.4	16,959	▲ 5.6	2.09	▲ 0.13
	10月	36,396	▲ 0.1	48,535	▲ 1.1	1.33	▲ 0.02	8,064	▲ 0.8	16,181	▲ 4.6	2.01	▲ 0.08
	11月	36,357	▲ 0.1	47,939	▲ 1.2	1.32	▲ 0.01	8,045	▲ 0.2	16,856	4.2	2.10	0.09
	12月	36,600	0.7	47,746	▲ 0.4	1.30	▲ 0.02	8,238	2.4	17,514	3.9	2.13	0.03
令和6年	1月	36,511	▲ 0.2	48,520	1.6	1.33	0.03	8,118	▲ 1.5	16,218	▲ 7.4	2.00	▲ 0.13
	2月	37,098	1.6	47,804	▲ 1.5	1.29	▲ 0.04	8,303	2.3	17,763	9.5	2.14	0.14
	3月	35,991	▲ 3.0	47,912	0.2	1.33	0.04	7,662	▲ 7.7	16,864	▲ 5.1	2.20	0.06
	4月	36,231	0.7	46,268	▲ 3.4	1.28	▲ 0.05	8,065	5.3	15,594	▲ 7.5	1.93	▲ 0.27
	5月	36,946	2.0	45,944	▲ 0.7	1.24	▲ 0.04	8,215	1.9	16,086	3.2	1.96	0.03
	6月	37,036	0.2	45,111	▲ 1.8	1.22	▲ 0.02	7,777	▲ 5.3	15,270	▲ 5.1	1.96	0.00
	7月	36,780	▲ 0.7	44,890	▲ 0.5	1.22	0.00	7,858	1.0	15,381	0.7	1.96	0.00

※令和6年2月季節調整

【別表3】

## 職業紹介状況～主要指標（全数）

新規卒園係及び一般日雇関係を除く

区分 年月	月間有効求職者数				月間有効求人数				新規求職申込件数				新規求職人数				就職件数				充足数			
	全数計		うち パート		全数計		うち パート		全数計		うち パート		全数計		うち パート		全数計		うち パート		全数計		うち パート	
	対前年 同月比	うち フルタイム	対前年 同月比	うち パート	対前年 同月比	うち フルタイム	対前年 同月比	うち パート	対前年 同月比	うち フルタイム	対前年 同月比	うち パート	対前年 同月比	うち フルタイム	対前年 同月比	うち パート	対前年 同月比	うち フルタイム	対前年 同月比	うち パート	対前年 同月比	うち フルタイム	対前年 同月比	うち パート
令和元年度月平均	34,106	▲1.9	22,838	11,267	53,568	▲8.7	36,652	16,916	8,248	▲4.0	5,661	2,588	18,663	▲10.0	12,601	6,061	2,689	▲8.4	1,680	1,009	2,728	▲8.0	1,703	1,025
2年度月平均	34,941	2.4	23,512	11,429	42,057	▲21.5	29,298	12,759	7,854	▲4.8	5,368	2,486	15,104	▲19.1	10,297	4,807	2,267	▲15.7	1,339	928	2,324	▲14.8	1,371	952
3年度月平均	35,468	1.5	23,340	12,128	47,139	12.1	32,732	14,407	7,754	▲1.3	5,185	2,569	16,779	11.1	11,470	5,309	2,260	▲0.3	1,338	921	2,314	▲0.4	1,367	947
4年度月平均	35,679	0.6	23,141	12,538	49,780	5.6	34,063	15,717	7,900	1.9	5,226	2,674	17,588	4.8	11,858	5,729	2,237	▲1.0	1,318	919	2,268	▲2.0	1,325	943
5年度月平均	36,246	1.6	23,564	12,681	48,641	▲2.3	33,673	14,968	8,062	2.0	5,338	2,724	17,010	▲3.3	11,675	5,335	2,246	0.4	1,303	943	2,277	0.4	1,323	953
令和3年 7月	34,360	▲2.2	22,584	11,776	43,912	11.3	31,024	12,888	6,929	▲12.2	4,714	2,215	16,583	12.0	11,463	5,120	2,069	▲5.4	1,258	811	2,120	▲5.4	1,276	844
4年 7月	35,821	4.3	23,059	12,762	47,811	8.9	33,300	14,511	6,811	▲1.7	4,608	2,203	16,675	0.6	11,639	5,036	1,981	▲4.3	1,211	770	1,999	▲5.7	1,221	778
8月	35,281	4.1	22,970	12,311	49,169	8.6	33,728	15,441	7,330	6.1	5,001	2,329	17,631	15.1	11,693	5,938	1,927	▲1.3	1,225	702	1,927	▲1.3	1,198	729
9月	35,058	3.4	22,796	12,262	49,034	5.9	33,893	15,141	7,540	1.7	5,037	2,503	16,625	▲0.2	11,754	4,871	2,236	6.4	1,338	898	2,257	3.6	1,336	921
10月	35,344	1.3	22,892	12,452	50,539	3.6	34,757	15,782	7,682	▲0.1	5,085	2,597	18,606	▲3.6	12,577	6,029	2,130	▲3.5	1,315	815	2,198	▲2.7	1,344	854
11月	34,505	▲1.9	22,369	12,136	50,289	2.6	34,603	15,686	6,744	▲3.6	4,574	2,170	17,681	10.3	11,910	5,771	2,042	▲6.8	1,266	776	2,060	▲8.0	1,244	816
12月	32,242	▲5.1	21,108	11,134	49,802	2.2	33,987	15,815	5,642	▲9.1	3,945	1,697	16,223	▲0.1	11,030	5,193	1,843	▲7.5	1,050	793	1,872	▲6.6	1,061	811
5年 1月	33,019	▲5.4	21,930	11,089	51,092	2.0	34,681	16,411	8,665	2.8	5,868	2,797	19,363	▲3.7	12,881	6,482	1,697	1.1	1,009	688	1,723	▲0.2	1,026	697
2月	34,702	▲2.8	22,832	11,870	53,142	3.8	35,269	17,873	8,591	7.4	5,551	3,040	20,075	17.1	12,571	7,504	2,470	1.3	1,412	1,058	2,483	9.6	1,404	1,079
3月	36,664	▲1.8	23,924	12,740	52,602	2.1	35,167	17,435	8,739	▲0.6	5,781	2,958	17,314	▲2.4	11,310	6,004	3,366	5.3	1,794	1,572	3,407	4.3	1,829	1,578
4月	37,758	▲1.7	24,266	13,492	49,273	2.4	33,588	15,685	10,596	▲0.1	6,620	3,976	16,342	▲4.6	11,420	4,922	2,338	▲3.3	1,331	1,007	2,406	▲5.5	1,392	1,014
5月	38,434	▲1.0	24,494	13,940	47,679	0.9	32,711	14,968	8,831	4.1	5,625	3,206	16,827	5.3	11,390	5,437	2,344	2.7	1,344	1,000	2,404	5.3	1,379	1,025
6月	37,820	▲1.2	24,138	13,682	47,738	▲1.5	33,063	14,675	7,747	▲2.8	5,202	2,545	17,160	▲3.3	11,920	5,240	2,477	1.1	1,449	1,028	2,517	2.1	1,461	1,056
7月	36,104	0.8	23,426	12,678	47,414	▲0.8	32,992	14,422	7,362	8.1	5,068	2,294	16,176	▲3.0	11,259	4,917	2,041	3.0	1,241	800	2,063	3.2	1,256	807
8月	35,687	1.2	23,462	12,225	47,980	▲2.4	33,772	14,208	7,430	1.4	5,116	2,314	17,088	▲3.1	11,882	5,206	1,913	▲0.7	1,195	718	1,978	2.6	1,238	740
9月	35,928	2.5	23,542	12,386	48,480	▲1.1	34,128	14,352	7,763	3.0	5,157	2,806	17,261	3.8	12,195	5,066	2,162	▲3.3	1,313	849	2,177	▲3.5	1,313	864
10月	36,455	3.1	23,701	12,754	49,681	▲1.7	34,996	14,685	8,131	5.8	5,369	2,762	17,565	▲5.6	12,246	5,319	2,284	7.2	1,347	937	2,300	4.6	1,371	929
11月	35,438	2.7	22,984	12,454	48,553	▲3.5	34,138	14,415	6,909	2.4	4,565	2,344	16,405	▲7.2	11,219	5,186	2,101	2.9	1,228	873	2,116	2.7	1,238	878
12月	33,617	4.3	21,986	11,631	47,699	▲4.2	33,443	14,256	6,196	9.8	4,274	1,922	16,112	▲0.7	11,360	4,752	1,900	3.1	1,146	754	1,913	2.2	1,162	751
6年 1月	34,298	3.9	22,626	11,672	49,025	▲4.0	33,378	15,647	8,817	1.8	5,920	2,897	18,224	▲5.9	11,675	6,549	1,700	0.2	1,018	682	1,697	▲1.5	1,019	678
2月	36,341	4.7	23,857	12,484	50,648	▲4.7	34,053	16,595	8,770	2.1	5,675	3,095	18,344	▲8.6	11,927	6,417	2,524	2.2	1,365	1,159	2,557	3.0	1,364	1,193
3月	37,087	1.1	24,288	12,779	49,522	▲5.9	33,811	15,711	8,186	▲6.3	5,460	2,726	16,611	▲4.1	11,601	5,010	3,163	▲6.0	1,659	1,504	3,190	▲6.4	1,684	1,506
4月	38,774	2.7	24,912	13,862	46,032	▲6.6	31,832	14,200	11,096	4.7	6,879	4,217	15,366	▲6.0	10,250	5,116	2,298	▲1.7	1,277	1,021	2,378	▲1.2	1,320	1,058
5月	39,599	3.0	25,178	14,421	44,515	▲6.6	31,233	13,282	8,848	0.2	5,623	3,225	15,528	▲7.7	10,978	4,550	2,413	2.9	1,374	1,039	2,460	2.3	1,422	1,038
6月	38,577	2.0	24,471	14,106	43,212	▲9.5	30,665	12,547	7,191	▲7.2	4,826	2,365	14,774	▲13.9	10,715	4,059	2,183	▲11.9	1,279	904	2,154	▲14.4	1,252	902
7月	37,133	2.9	23,936	13,197	43,849	▲7.5	31,356	12,493	7,603	3.3	5,095	2,508	15,809	▲2.3	10,877	4,932	2,121	3.9	1,295	826	2,120	2.8	1,290	830

注 1. 就職率＝就職件数/新規求職申込件数 充足率＝充足数/新規求職人数

2. 表中の各数値は原数値

【別表4】

主な産業別新規求人数

<宮城局計>

産業別	製造業のうち主なもの											R サービス業	S.T公務・その他																									
	計		E 製造業			製造業のうち主なもの					P 医療、福祉																											
年月	対前期 同月比	対前年 同月比	09~10 食料品・飲料	11 繊維	25~27 (25.4)学生 業前業前	29 電気 機械	28.30 「ハム」の 製造業	31 輸送機械 器具	G 情報通信業		H 運輸業・郵便業		I 卸売業・小売業		J 金融業・保険業 K 不動産業 L 物品買入れ業		M 宿泊業・飲食サービス業		N 生活関連サービス業・娯楽業		O 教育・研究・専門・技術サービス業																	
令和元年年度平均	18,663	▲10.0	▲19.3	▲3.9	▲10.8	65	▲9.9	119	▲15.3	77	▲16.1	158	▲41.7	80	▲19.5	449	▲3.6	449	▲10.9	1,057	▲10.9	2,282	▲17.5	390	▲14.5	687	▲12.6	▲1.48	▲10.2	592	▲4.1	3,966	▲5.7	3,326	▲11.8	550	6.9	
2年度度月平均	15,104	▲19.1	▲18.8	▲5.4	▲15.0	40	▲98.1	86	▲27.9	66	▲15.0	120	▲23.8	65	▲18.8	322	▲28.4	737	▲30.3	737	▲25.1	685	▲20.6	1,812	▲20.6	317	▲18.6	515	▲25.1	685	▲40.3	3,435	▲13.4	2,557	▲23.1	547	▲10.5	
3年度度月平均	16,779	11.1	2,268	2.7	1,458	29.1	537	19.7	54	33.8	122	42.3	88	33.7	183	52.3	84	28.6	404	25.5	858	16.4	1,910	5.4	380	18.8	595	15.7	805	17.4	424	13.6	3,751	9.2	2,977	16.4	461	▲15.8
4年度度月平均	17,588	4.8	2,137	▲5.8	1,492	2.3	565	5.1	58	6.5	138	13.0	87	▲1.2	174	▲5.1	71	▲15.7	437	8.2	901	5.1	2,125	11.3	428	12.7	627	5.3	922	14.5	478	12.6	3,858	2.8	3,184	7.0	498	8.1
5年度度月平均	17,010	▲3.3	1,954	▲8.6	1,338	▲10.3	498	▲11.9	55	▲3.6	115	▲17.0	77	▲11.3	136	▲21.4	78	11.2	423	▲3.2	856	▲5.1	2,082	▲2.1	414	▲3.3	512	▲18.4	769	▲16.6	522	9.2	3,907	1.3	3,306	3.8	434	▲12.8
令和3年7月	16,583	12.0	2,237	7.8	1,578	46.9	510	1.0	76	204.0	135	114.3	83	69.4	165	97.1	116	404.3	480	42.4	868	72.2	2,200	3.2	374	31.2	688	40.7	740	▲21.4	382	▲0.5	3,521	10.0	2,911	8.7	216	▲39.8
4年7月	16,675	0.6	2,112	▲5.6	1,397	▲11.5	622	22.0	36	▲32.6	124	▲8.1	60	▲27.7	167	1.2	48	▲98.6	432	▲10.0	855	▲1.5	2,156	▲2.0	484	28.4	785	14.1	830	12.2	399	4.5	3,461	▲1.7	3,180	9.2	186	▲13.9
8月	17,631	15.1	1,986	▲10.0	1,575	15.1	604	28.2	65	116.7	92	4.5	121	9.0	210	13.5	96	6.7	357	▲6.5	820	4.9	2,321	23.6	460	41.1	658	13.3	1,157	188.3	619	71.5	3,778	7.4	3,237	11.9	236	4.9
9月	16,825	▲0.2	2,409	4.4	1,605	12.1	628	17.2	69	97.1	171	▲0.6	66	▲17.5	225	2.7	70	42.9	462	17.0	971	15.0	1,896	15.7	387	▲1.3	510	▲28.4	680	▲31.7	384	▲13.7	3,620	▲8.9	2,988	3.5	212	▲6.6
10月	18,606	▲3.6	2,239	▲4.6	1,763	4.6	754	11.7	45	▲0.8	136	5.4	67	▲27.2	206	10.2	50	▲40.5	438	▲10.6	969	▲9.2	2,533	▲0.5	530	27.4	727	5.7	918	▲16.4	534	8.8	4,020	▲0.2	3,240	▲6.0	169	▲28.1
11月	17,681	10.3	1,925	▲8.9	1,522	14.1	540	14.9	66	73.7	103	7.3	139	26.4	177	9.9	103	18.4	501	36.5	822	▲7.5	2,152	49.0	393	8.3	588	13.7	808	30.3	630	60.3	3,947	1.5	3,338	13.3	692	▲0.1
12月	16,223	▲0.1	2,140	▲6.0	1,171	▲15.9	383	▲24.2	68	21.4	167	▲1.8	53	▲32.1	137	▲26.3	63	▲3.1	388	2.8	909	6.6	1,554	3.6	328	▲9.9	511	▲9.4	980	▲8.0	388	▲10.0	3,892	▲1.2	3,036	14.8	477	32.9
5年1月	19,363	▲3.7	2,104	▲5.7	1,432	▲9.7	477	▲27.1	45	▲22.6	165	35.2	53	▲24.3	116	▲44.0	39	▲98.5	427	11.5	930	▲0.3	2,239	▲19.9	492	8.8	709	▲1.5	971	▲5.5	494	17.3	4,146	0.4	3,438	▲1.0	1,375	6.2
2月	20,075	17.1	2,089	▲3.9	1,572	7.5	653	6.2	74	117.6	115	22.3	111	29.1	190	13.1	95	31.9	433	▲8.1	912	19.8	2,733	73.0	484	9.7	549	9.6	739	22.8	545	3.4	4,170	10.7	3,575	18.7	1,599	38.5
3月	17,314	▲2.4	2,083	▲12.7	1,350	▲8.2	427	▲18.7	66	20.0	177	24.6	82	17.1	85	▲9.9	58	▲18.3	475	13.1	984	▲1.9	1,848	5.9	347	▲11.5	531	▲3.1	1,239	42.4	454	2.7	3,798	▲8.3	3,090	▲4.2	401	2.6
4月	16,342	▲4.6	1,879	▲14.4	1,278	▲10.6	498	▲14.9	48	0.0	74	▲36.8	48	▲35.1	124	▲92.9	41	▲40.6	359	▲9.6	811	11.2	2,068	▲16.7	411	1.5	591	▲19.6	903	19.4	501	65.9	3,606	▲1.2	3,426	2.6	174	▲15.9
5月	16,827	5.3	2,112	10.7	1,534	1.3	601	13.4	63	37.0	103	▲14.2	92	▲29.8	191	18.4	91	▲1.1	433	6.7	685	▲24.9	2,335	28.4	486	26.6	439	▲26.8	721	▲23.1	625	25.0	3,622	▲2.1	3,233	20.1	224	▲3.0
6月	17,160	▲3.3	2,275	▲7.5	1,277	▲18.7	414	▲30.5	62	0.0	191	10.4	54	▲34.1	99	▲48.4	61	▲3.2	422	▲18.7	933	▲7.1	2,089	17.4	379	▲22.0	394	▲36.5	894	▲14.7	504	4.1	3,915	▲4.7	3,338	9.4	207	10.1
7月	16,176	▲3.0	1,733	▲17.9	1,270	▲9.1	446	▲28.3	54	90.0	85	▲31.5	83	36.3	147	▲120	57	18.8	396	▲6.3	803	▲6.1	1,909	▲11.5	385	▲20.5	508	▲35.3	1,051	26.6	440	10.3	3,766	8.8	3,377	6.2	173	▲7.0
8月	17,088	▲3.1	1,948	▲1.9	1,539	▲2.3	606	0.3	63	▲3.1	108	17.4	72	▲40.5	197	▲6.2	105	9.4	456	27.7	821	0.1	2,325	0.2	447	▲2.6	533	▲19.0	704	▲38.2	651	5.2	3,729	▲1.3	3,262	0.8	200	▲15.3
9月	17,261	3.8	2,082	▲13.6	1,462	▲8.9	585	▲8.8	58	▲5.9	141	17.5	66	0.0	89	▲90.4	86	22.9	508	10.0	988	1.8	2,114	12.1	354	▲3.5	648	27.1	744	9.4	480	19.8	3,810	5.2	3,444	15.3	182	▲23.6
10月	17,565	▲5.6	2,016	▲0.0	1,392	▲21.0	518	▲31.3	28	▲27.8	109	▲19.9	114	70.1	142	▲31.1	77	54.0	357	▲18.5	974	0.5	2,104	▲16.9	440	▲17.0	559	▲23.1	964	5.0	528	▲1.1	4,159	3.5	3,448	6.4	190	12.4
11月	16,405	▲7.2	1,858	▲3.5	1,362	▲10.5	546	1.1	65	▲1.5	66	▲35.9	75	▲46.0	159	▲10.2	96	▲6.8	361	▲27.9	704	▲14.4	1,896	▲21.2	403	2.5	502	▲14.6	618	▲23.5	618	▲1.9	3,714	▲5.9	3,348	0.3	744	7.5
12月	16,112	▲0.7	1,846	▲13.7	1,199	2.4	405	11.6	65	▲4.4	135	19.2	64	20.8	106	▲22.8	93	47.6	475	19.3	896	▲1.4	2,070	33.2	393	19.8	490	▲4.1	503	▲48.7	420	8.2	4,027	3.5	2,938	▲3.2	396	▲17.0
6年1月	18,224	▲3.9	1,846	▲12.3	1,173	▲18.1	442	▲2.3	42	▲6.7	98	▲40.6	86	62.3	144	24.1	54	38.5	392	▲8.2	864	▲7.1	2,367	5.7	400	▲16.7	440	▲37.9	759	▲21.8	396	▲19.8	4,370	5.4	3,373	▲1.9	1,252	▲8.9
2月	18,344	▲8.6	1,971	▲5.6	1,367	▲13.0	498	▲23.7	60	▲8.8	130	13.0	108	▲2.7	130	▲31.6	96	1.1	389	▲10.2	852	▲6.6	1,779	▲34.9	446	▲3.9	564	2.7	610	▲17.5	676	24.0	4,171	0.0	3,456	▲3.3	1,267	▲20.8
3月	16,611	▲4.1	1,882	▲9.6	1,200	▲11.1	413	▲3.3	57	▲3.6	137	▲22.6	60	▲26.8	109	28.2	84	44.8	528	11.2	938	▲4.7	2,122	14.8	427	23.1	470	▲11.5	752	▲39.3	441	▲2.9	3,990	5.1	3,032	▲1.9	220	▲45.1
4月	15,366	▲0.0	1,719	▲8.5	1,108	▲13.3	518	4.0	47	▲2.1	93	25.7	72	50.0	87	▲29.8	41	0.0	379	5.6	716	▲11.7	2,327	(12.5)	415	1.0	422	▲28.6	711	▲21.3	358	▲28.5	3,531	(▲2.1)	3,039	(▲11.3)	200	14.9
5月	15,528	▲7.7	1,937	▲6.3	1,294	▲15.6	478	▲20.5	48	▲23.8	107	3.9	71	▲22.8	135	▲33.3	121	33.0	327	▲24.5	889	(29.8)	1,574	(▲32.8)	451	▲7.2	500	13.9	531	▲26.4	437	▲30.1	3,900	(7.7)	2,982	(▲7.8)	231	3.1
6月	14,774	▲13.9	1,827	▲19.7	1,140	▲10.7	379	▲8.5	61	▲1.6	113	▲40.8	76	40.7	134	35.4	60	▲1.6	502	19.0	924	(▲1.0)	1,739	(▲16.8)	376	▲0.8	395	0.3	639	▲28.5	413	▲16.1	3,499	(▲10.6)	2,671	(▲20.0)	163	▲21.3
7月	15,809	▲2.3	1,822	5.1	1,131	▲10.9	451	1.1	47	▲3.0	126																											

【別表5】

正社員の職業紹介状況

新規学卒関係及び一般日雇関係を除く

年月	月間有効求職者数			月間有効求人人数			新規求職者数			新規求職者数			有効求人倍率			充足数			就職件数			就職率			充足率					
	全数	常用 フルタイム	パート タイム	全数	常用 フルタイム	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム	全数	正社員	パート タイム
令和元年度月平均	34,106	22,717	▲ 2.7	53,568	25,357	▲ 5.9	8,248	5,613	▲ 4.8	18,663	8,686	▲ 7.4	2,689	1,176	▲ 10.6	2,728	1,166	▲ 11.0	2,728	1,166	▲ 11.0	32.6	20.9	14.6	13.4					
2年度月平均	34,941	23,391	3.0	42,057	21,640	▲ 14.7	7,854	5,330	▲ 5.0	15,104	7,540	▲ 13.2	2,267	977	▲ 16.9	2,324	983	▲ 15.7	2,324	983	▲ 15.7	28.9	18.3	15.4	13.0					
3年度月平均	35,468	23,219	▲ 0.7	47,139	24,031	11.1	7,754	5,149	▲ 3.4	16,779	8,329	10.5	2,260	966	▲ 1.1	2,314	970	▲ 1.3	2,314	970	▲ 1.3	29.1	18.8	13.8	11.6					
4年度月平均	35,679	23,023	▲ 0.8	49,780	24,858	3.4	7,900	5,193	0.9	17,588	8,594	3.2	2,237	969	0.3	2,268	958	▲ 1.3	2,268	958	▲ 1.3	28.3	18.7	12.9	11.1					
5年度月平均	36,246	23,454	1.9	48,641	24,450	▲ 1.6	8,062	5,309	2.2	17,010	8,413	▲ 2.1	2,246	956	▲ 1.4	2,277	953	▲ 0.5	2,277	953	▲ 0.5	27.9	18.0	13.4	11.3					
令和3年7月	34,360	22,518	▲ 4.7	43,912	22,903	10.6	6,929	4,704	▲ 14.3	16,583	8,243	13.3	2,069	909	▲ 9.8	2,120	912	▲ 10.1	2,120	912	▲ 10.1	29.9	19.3	12.8	11.1					
4年7月	35,821	22,995	2.1	47,811	24,530	7.1	6,811	4,601	▲ 2.2	16,675	8,316	0.9	1,981	905	▲ 0.4	1,999	890	▲ 2.4	1,999	890	▲ 2.4	29.1	19.7	12.0	10.7					
8月	35,281	22,919	2.0	49,169	24,684	4.0	7,330	4,990	4.6	17,631	8,404	2.7	1,927	914	1.7	1,927	878	1.0	1,927	878	1.0	26.3	18.3	10.9	10.4					
9月	35,058	22,740	1.8	49,034	24,743	3.0	7,540	5,021	1.9	16,625	8,766	5.3	2,236	1,002	9.6	2,257	986	5.5	2,257	986	5.5	29.7	20.0	13.6	11.2					
10月	35,344	22,831	0.0	50,539	25,418	0.1	7,682	5,066	▲ 0.5	18,606	9,070	▲ 0.2	2,130	990	2.2	2,198	987	2.8	2,198	987	2.8	27.7	19.5	11.8	10.9					
11月	34,505	22,291	▲ 3.3	50,289	25,524	2.4	6,744	4,553	▲ 4.3	17,681	8,712	10.4	2,042	990	0.9	2,060	949	▲ 3.9	2,060	949	▲ 3.9	30.3	21.7	11.7	10.9					
12月	32,242	20,972	▲ 5.9	49,802	24,840	0.3	5,642	3,866	▲ 10.0	16,223	8,077	▲ 1.9	1,843	784	▲ 13.8	1,872	785	▲ 11.9	1,872	785	▲ 11.9	32.7	20.3	11.5	9.7					
5年1月	33,019	21,702	▲ 5.6	51,092	25,201	1.7	8,665	5,753	1.2	19,363	9,161	▲ 2.1	1,697	778	1.2	1,723	788	▲ 1.7	1,723	788	▲ 1.7	19.6	13.5	8.9	8.6					
2月	34,702	22,567	▲ 3.9	53,142	25,208	1.6	8,591	5,503	3.4	20,075	8,651	11.5	2,470	988	7.5	2,483	975	7.3	2,483	975	7.3	28.8	18.0	12.4	11.3					
3月	36,664	23,725	▲ 3.0	52,602	25,367	1.3	8,739	5,761	▲ 0.6	17,314	8,399	▲ 3.8	3,366	1,190	2.3	3,407	1,197	2.2	3,407	1,197	2.2	38.5	20.7	19.7	14.3					
4月	37,758	24,157	▲ 1.9	49,273	24,320	1.3	10,596	6,602	1.4	16,342	8,147	▲ 3.9	2,338	985	▲ 1.7	2,406	1,012	▲ 0.4	2,406	1,012	▲ 0.4	22.1	14.9	14.7	12.4					
5月	38,434	24,412	▲ 1.1	47,679	23,910	▲ 0.3	8,831	5,597	3.2	16,827	8,175	3.0	2,344	1,001	▲ 3.1	2,404	998	▲ 0.5	2,404	998	▲ 0.5	26.5	17.9	14.3	12.2					
6月	37,820	24,056	▲ 0.7	47,738	24,348	▲ 1.9	7,747	5,184	▲ 1.6	17,160	8,862	▲ 2.1	2,477	1,074	1.8	2,517	1,050	1.3	2,517	1,050	1.3	32.0	20.7	14.7	11.7					
7月	36,104	23,345	1.5	47,414	24,096	▲ 1.8	7,362	5,056	9.9	16,176	7,914	▲ 4.8	2,041	919	1.5	2,063	917	3.0	2,063	917	3.0	27.7	18.2	12.8	11.6					
8月	35,687	23,400	2.1	47,980	24,603	▲ 0.3	7,430	5,106	2.3	17,088	8,527	1.5	1,913	900	▲ 1.5	1,978	910	3.6	1,978	910	3.6	25.7	17.6	11.6	10.7					
9月	35,928	23,485	3.3	48,480	24,887	0.6	7,763	5,146	2.5	17,261	9,211	5.1	2,162	966	▲ 3.6	2,177	943	▲ 4.4	2,177	943	▲ 4.4	27.9	18.8	12.6	10.2					
10月	36,455	23,637	3.5	49,681	25,516	0.4	8,131	5,350	5.6	17,565	8,534	▲ 5.9	2,284	1,016	2.6	2,300	1,032	4.6	2,300	1,032	4.6	28.1	19.0	13.1	12.1					
11月	35,438	22,922	2.8	48,553	24,774	▲ 2.9	6,909	4,553	0.0	16,405	7,879	▲ 9.6	2,101	900	▲ 9.1	2,116	883	▲ 7.0	2,116	883	▲ 7.0	30.4	19.8	12.9	11.2					
12月	33,617	21,862	4.2	47,689	24,097	▲ 3.0	6,196	4,201	8.7	16,112	8,440	4.5	1,900	880	12.2	1,913	881	12.2	1,913	881	12.2	30.7	20.9	11.9	10.4					
6年1月	34,298	22,428	3.3	49,025	23,990	▲ 4.3	8,817	5,828	1.3	18,224	8,114	▲ 11.4	1,700	778	0.0	1,697	765	▲ 2.9	1,697	765	▲ 2.9	19.3	13.3	9.3	9.4					
2月	36,341	23,619	4.7	50,648	24,340	▲ 3.4	8,770	5,629	2.3	18,344	8,319	▲ 3.8	2,524	970	▲ 1.8	2,557	969	▲ 0.6	2,557	969	▲ 0.6	28.8	17.2	13.9	11.6					
3月	37,067	24,130	1.7	49,522	24,524	▲ 3.3	8,186	5,454	▲ 5.3	16,611	8,734	4.0	3,163	1,077	▲ 9.5	3,190	1,079	▲ 9.9	3,190	1,079	▲ 9.9	38.6	19.7	19.2	12.4					
4月	38,774	24,817	2.7	46,032	23,472	▲ 3.5	11,096	6,854	3.8	15,366	7,378	▲ 9.4	2,298	968	▲ 1.7	2,378	971	▲ 4.1	2,378	971	▲ 4.1	20.7	14.1	15.5	13.2					
5月	39,599	25,114	2.9	44,515	23,062	▲ 3.5	8,848	5,601	0.1	15,528	7,867	▲ 3.8	2,413	1,012	1.1	2,460	1,016	1.8	2,460	1,016	1.8	27.3	18.1	15.8	12.9					
6月	38,577	24,406	1.5	43,212	22,587	▲ 7.2	7,191	4,815	▲ 7.1	14,774	7,887	▲ 10.9	2,183	933	▲ 13.1	2,154	906	▲ 13.7	2,154	906	▲ 13.7	30.4	19.4	14.6	11.3					
7月	37,133	23,874	2.3	43,849	23,066	▲ 4.3	7,603	5,083	0.5	15,809	7,870	▲ 0.6	2,121	974	6.0	2,120	946	3.2	2,120	946	3.2	27.9	19.2	13.4	12.0					

(注) 1. 正社員有効求人倍率＝正社員月間有効求人人数÷常用フルタイム月間有効求職者数、なお、常用フルタイム有効求職者にはフルタイムの派遣労働者や契約社員を希望する者も含まれるため

2. 就職率＝正社員有効求人倍率より低い値となる

3. 表中の各数値は原数値

【別表6】

## 安定所別新規求人数の推移

ハローワーク名	局計		仙台圏				沿岸部			県南部				県北部								
			仙台		(大和)		塩釜		石巻	気仙沼		大河原		(白石)		古川		築館		迫		
	対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)			
令和元年度計	223,952	▲10.0	137,930	▲11.0	9,234	▲4.9	10,883	▲7.9	20,940	0.2	7,725	▲11.7	7,224	▲13.7	2,916	▲12.6	14,075	▲9.3	7,773	▲9.3	5,252	▲22.7
2年度計	181,249	▲19.1	106,243	▲23.0	6,734	▲27.1	9,537	▲12.4	18,596	▲11.2	6,798	▲12.0	6,555	▲9.3	2,663	▲8.7	12,693	▲9.8	6,555	▲15.7	4,875	▲7.2
3年度計	201,351	11.1	121,990	14.8	7,597	12.8	9,729	2.0	18,368	▲1.2	7,144	5.1	7,189	9.7	3,142	18.0	13,805	8.8	7,425	13.3	4,962	1.8
4年度計	211,053	4.8	133,541	9.5	8,346	9.9	9,884	1.6	17,737	▲3.4	6,639	▲7.1	7,094	▲1.3	3,043	▲3.2	13,616	▲1.4	6,021	▲18.9	5,132	3.4
5年度計	204,115	▲3.3	131,320	▲1.7	8,172	▲2.1	9,258	▲6.3	15,745	▲11.2	6,101	▲8.1	6,522	▲8.1	3,119	2.5	13,319	▲2.2	5,671	▲5.8	4,888	▲4.8
令和5年7月	16,176	▲3.0	10,070	▲3.8	761	10.0	751	8.1	1,340	▲8.3	538	▲8.3	446	▲21.2	257	24.2	1,179	12.5	452	▲10.7	382	▲13.8
8月	17,088	▲3.1	11,070	0.3	671	▲26.7	810	▲5.5	1,370	▲9.4	415	▲22.6	550	12.7	223	▲3.5	1,027	▲8.4	513	8.0	439	▲3.5
9月	17,261	3.8	11,586	15.1	580	▲3.5	700	▲14.6	1,191	▲28.8	551	1.5	480	▲7.3	303	▲3.2	1,010	▲9.5	473	▲12.4	387	▲10.6
10月	17,565	▲5.6	11,125	▲6.6	896	22.1	785	▲7.9	1,387	▲3.1	509	▲22.8	484	▲28.5	266	13.7	1,206	2.9	488	▲1.0	419	▲5.8
11月	16,405	▲7.2	10,455	▲7.9	639	▲23.1	738	▲1.7	1,407	▲3.2	407	▲32.8	571	2.7	230	7.0	1,111	6.0	471	▲0.6	376	▲4.1
12月	16,112	▲0.7	10,534	▲0.7	581	15.5	767	5.9	1,019	▲17.0	582	14.3	525	▲12.5	257	17.4	1,041	3.6	415	▲14.4	391	14.0
6年1月	18,224	▲5.9	11,391	▲6.8	780	5.0	921	▲2.7	1,614	8.0	453	▲3.4	498	▲26.1	247	▲20.1	1,280	▲16.6	583	3.9	457	10.7
2月	18,344	▲8.6	11,607	▲10.1	779	2.4	845	▲16.4	1,553	▲2.5	489	▲9.1	837	▲7.3	259	▲1.1	1,137	▲0.7	396	▲16.8	442	▲5.8
3月	16,611	▲4.1	10,995	▲1.7	576	2.5	620	▲28.2	1,181	▲12.3	594	11.0	460	▲14.5	260	▲10.7	1,076	▲0.7	509	▲1.7	340	▲13.3
4月	15,366	▲6.0	9,678	▲5.1	668	▲11.5	855	2.9	1,174	1.6	473	▲6.5	461	▲14.8	212	▲22.9	1,001	▲16.9	440	▲5.6	404	▲0.7
5月	15,528	▲7.7	10,108	▲7.2	642	▲4.2	655	▲9.8	1,260	▲4.6	360	▲29.3	505	▲15.3	192	▲25.0	961	▲2.1	422	▲3.7	423	▲4.1
6月	14,774	▲13.9	9,894	▲13.2	498	2.9	579	▲24.2	1,211	0.3	447	▲18.4	440	▲17.6	223	▲22.0	830	▲22.1	374	▲19.9	278	▲31.7
7月	15,809	▲2.3	9,742	▲3.3	705	▲7.4	894	19.0	1,315	▲1.9	493	▲8.4	515	15.5	261	1.6	991	▲15.9	459	1.5	434	13.6

※各数値は原数値、各年度は対前年度比、各月は対前年同月比

※( )は出張所

【別表7】

## 安定所別新規求職者数の推移

ハローワーク名	局計		仙台圏				沿岸部			県南部				県北部								
			仙台		(大和)		塩釜		石巻	気仙沼		大河原		(白石)		古川		築館		迫		
	対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)		対前年度比(%)			
令和元年度計	98,978	▲4.0	52,192	▲4.2	3,519	▲0.3	7,196	▲7.3	9,017	▲3.1	3,929	▲6.1	6,266	▲5.6	1,736	▲5.6	8,109	▲0.9	2,776	▲2.5	4,238	▲3.7
2年度計	94,250	▲4.8	49,237	▲5.7	3,392	▲3.6	7,501	4.2	8,390	▲7.0	3,460	▲11.9	6,072	▲3.1	1,830	5.4	7,866	▲3.0	2,529	▲8.9	3,973	▲6.3
3年度計	93,046	▲1.3	48,426	▲1.6	3,239	▲4.5	7,378	▲1.6	8,392	0.0	3,592	3.8	6,076	0.1	1,721	▲6.0	7,844	▲0.3	2,517	▲0.5	3,861	▲2.8
4年度計	94,801	1.9	50,122	3.5	3,395	4.8	7,381	0.0	8,202	▲2.3	3,594	0.1	6,086	0.2	1,606	▲6.7	7,772	▲0.9	2,712	7.7	3,931	1.8
5年度計	96,738	2.0	51,297	2.3	3,555	4.7	7,586	2.8	8,176	▲0.3	3,571	▲0.6	6,138	0.9	1,625	1.2	8,128	4.6	2,681	▲1.1	3,981	1.3
令和5年7月	7,362	8.1	3,905	7.1	282	26.5	593	8.2	679	9.5	265	0.8	429	4.6	107	3.9	623	18.7	175	▲15.9	304	15.2
8月	7,430	1.4	3,915	2.2	312	12.2	562	▲3.4	618	▲8.2	253	▲5.9	468	7.8	122	▲8.3	667	10.2	215	6.4	298	▲8.3
9月	7,763	3.0	4,170	2.6	300	23.0	611	8.5	679	▲0.1	306	10.9	463	7.7	104	▲12.6	622	▲1.9	196	▲8.4	312	▲1.6
10月	8,131	5.8	4,392	6.5	269	▲9.7	604	7.1	696	1.5	282	▲1.1	536	13.1	128	0.0	690	7.3	205	▲0.5	329	19.6
11月	6,909	2.4	3,656	0.2	238	3.0	551	▲5.3	585	18.7	251	12.1	424	▲3.9	117	▲2.5	586	13.3	205	17.8	296	▲5.1
12月	6,196	9.8	3,331	14.0	213	12.7	472	7.3	500	18.2	216	12.5	438	▲5.8	125	14.7	515	▲2.8	168	10.5	218	▲1.4
6年1月	8,817	1.8	4,609	▲0.1	351	19.8	673	3.9	732	▲4.1	307	▲3.2	572	0.0	157	35.3	736	▲2.8	272	14.3	408	16.9
2月	8,770	2.1	4,677	8.0	344	10.6	739	6.9	734	0.8	368	▲3.7	504	▲20.8	136	▲8.7	714	▲0.8	237	▲13.2	317	▲14.1
3月	8,186	▲6.3	4,229	▲6.1	322	▲8.5	662	▲6.4	684	▲5.8	288	▲24.2	561	▲5.1	151	4.1	679	▲3.3	252	4.6	358	▲8.0
4月	11,096	4.7	5,878	4.3	407	5.4	858	1.9	965	13.3	407	6.0	683	7.4	193	1.0	874	▲5.7	366	17.7	465	7.9
5月	8,848	0.2	4,616	▲0.9	313	13.8	685	0.3	819	6.0	301	▲13.8	592	▲0.2	136	▲6.8	765	4.9	242	10.5	379	▲6.7
6月	7,191	▲7.2	3,837	▲6.8	247	▲6.1	533	▲10.3	613	▲4.8	241	▲20.2	484	▲5.8	116	▲17.7	601	▲6.1	224	▲0.9	295	▲3.0
7月	7,603	3.3	4,027	3.1	237	▲16.0	601	1.3	687	1.2	227	▲14.3	482	12.4	114	6.5	687	10.3	229	30.9	312	2.6

※各数値は原数値、各年度は対前年度比、各月は対前年同月比

※( )は出張所

【別表8】

## 安定所別有効求人倍率の推移

ハローワーク名	局 計	仙台圏			沿岸部		県南部		県北部		
		仙 台	(大 和)	塩 釜	石 巻	気仙沼	大河原	(白 石)	古 川	築 館	迫
令和元年度平均	1.57	1.76	1.88	1.01	1.72	1.62	0.90	1.16	1.22	2.00	0.91
2年度平均	1.20	1.28	1.24	0.83	1.60	1.40	0.72	0.96	1.02	1.52	0.82
3年度平均	1.33	1.44	1.49	0.84	1.60	1.43	0.78	1.16	1.15	2.02	0.86
4年度平均	1.40	1.59	1.58	0.82	1.52	1.34	0.76	1.18	1.14	1.54	0.93
5年度平均	1.34	1.55	1.44	0.78	1.37	1.20	0.70	1.31	1.10	1.44	0.90
令和5年7月	1.31	1.52	1.43	0.74	1.28	1.25	0.69	1.32	1.10	1.38	0.88
8月	1.34	1.55	1.37	0.79	1.34	1.21	0.68	1.35	1.14	1.47	0.91
9月	1.35	1.55	1.38	0.78	1.36	1.22	0.68	1.44	1.11	1.54	0.92
10月	1.36	1.56	1.48	0.80	1.36	1.20	0.68	1.45	1.09	1.54	0.96
11月	1.37	1.56	1.51	0.78	1.47	1.19	0.68	1.45	1.12	1.51	0.93
12月	1.42	1.60	1.59	0.85	1.54	1.32	0.73	1.32	1.22	1.56	0.99
6年1月	1.43	1.62	1.58	0.90	1.59	1.27	0.70	1.28	1.20	1.60	0.97
2月	1.39	1.58	1.48	0.83	1.54	1.19	0.81	1.27	1.16	1.36	0.97
3月	1.34	1.55	1.37	0.73	1.40	1.21	0.69	1.27	1.07	1.40	0.88
4月	1.19	1.38	1.27	0.66	1.20	1.06	0.59	1.10	0.96	1.20	0.78
5月	1.12	1.31	1.20	0.63	1.10	1.02	0.57	1.02	0.90	1.23	0.74
6月	1.12	1.31	1.21	0.65	1.15	0.97	0.56	1.05	0.89	1.10	0.72
7月	1.18	1.36	1.38	0.69	1.23	1.09	0.62	1.19	0.90	1.20	0.79

※原数値

※( )は出張所

【別表9】

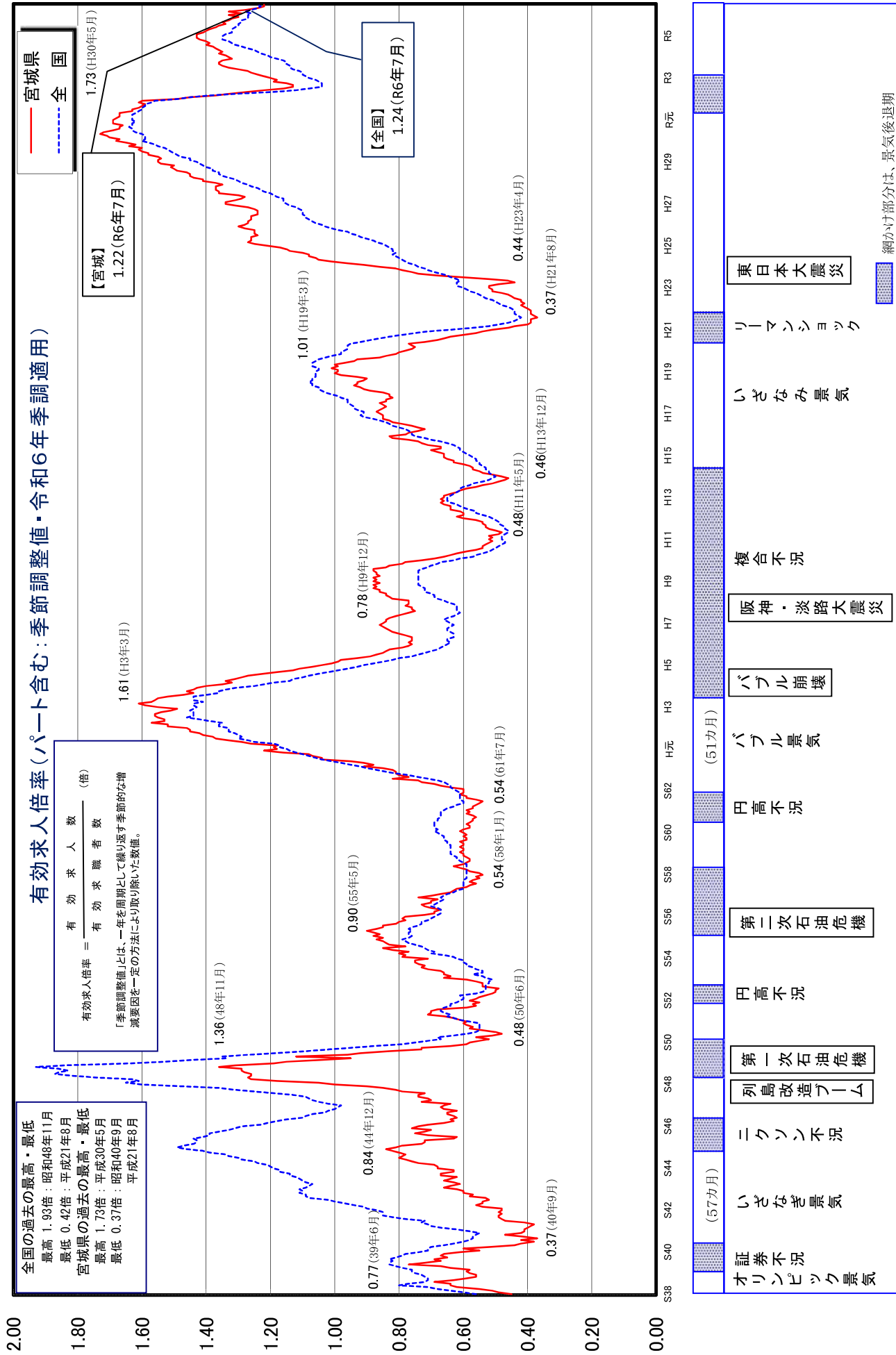
## 東北ブロック求人倍率の推移

局名	全国		東北		宮城		青森	岩手	秋田	山形	福島
	新規	有効	新規	有効	新規	有効	有効	有効	有効	有効	有効
令和元年度平均	2.35	1.55	2.00	1.43	2.26	1.57	1.20	1.33	1.30	1.52	1.44
2年度平均	1.90	1.10	1.79	1.14	1.92	1.20	0.95	1.06	1.34	1.54	1.45
3年度平均	2.08	1.16	2.04	1.30	2.16	1.33	1.09	1.26	1.49	1.35	1.32
4年度平均	2.30	1.31	2.11	1.39	2.23	1.40	1.18	1.32	1.49	1.57	1.43
5年度平均	2.28	1.29	1.97	1.30	2.11	1.34	1.17	1.22	1.32	1.38	1.37
令和5年7月	2.27	1.30	1.95	1.32	2.06	1.36	1.17	1.23	1.34	1.41	1.39
8月	2.31	1.30	2.01	1.31	2.22	1.34	1.17	1.23	1.34	1.39	1.37
9月	2.25	1.29	1.98	1.30	2.09	1.35	1.17	1.22	1.31	1.39	1.37
10月	2.25	1.29	1.96	1.30	2.01	1.33	1.17	1.22	1.32	1.37	1.39
11月	2.25	1.27	1.92	1.29	2.10	1.32	1.16	1.21	1.29	1.33	1.38
12月	2.25	1.27	1.93	1.28	2.13	1.30	1.15	1.21	1.28	1.35	1.35
6年1月	2.28	1.27	1.93	1.26	2.00	1.33	1.16	1.18	1.28	1.30	1.30
2月	2.26	1.26	1.91	1.26	2.14	1.29	1.15	1.19	1.27	1.32	1.30
3月	2.38	1.28	2.02	1.28	2.20	1.33	1.13	1.22	1.31	1.32	1.34
4月	2.17	1.26	1.91	1.26	1.93	1.28	1.13	1.22	1.32	1.33	1.30
5月	2.16	1.24	1.85	1.23	1.96	1.24	1.10	1.21	1.30	1.32	1.26
6月	2.26	1.23	1.84	1.21	1.96	1.22	1.10	1.16	1.24	1.28	1.24
7月	2.22	1.24	1.95	1.22	1.96	1.22	1.12	1.19	1.24	1.30	1.25

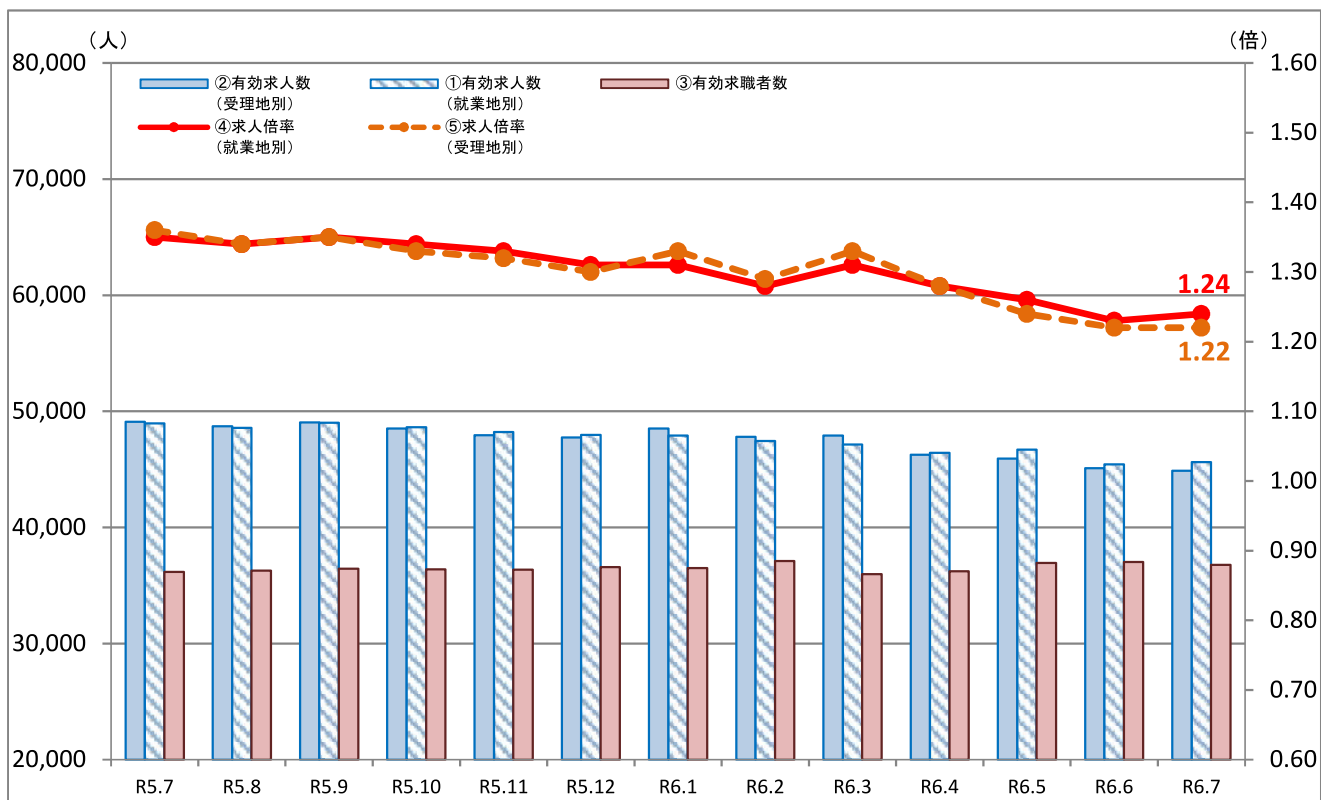
※表中の「新規」は新規求人倍率、「有効」は有効求人倍率

※求人倍率の年度平均は原数値、各月は季節調整値(令和6年2月季節調整)

# 【別表10】 有効求人倍率の長期推移



【別表11】 受理地別・就業地別有効求人倍率等の推移



	①有効求人人数 (就業地別)	②有効求人人数 (受埋地別)	差分 (①-②)	③有効求職者数	④求人倍率 (就業地別)	⑤求人倍率 (受埋地別)	差分 (④-⑤)
R5.7	48,961	49,089	-128	36,180	1.35	1.36	-0.01
R5.8	48,590	48,705	-115	36,275	1.34	1.34	0.00
R5.9	49,027	49,052	-25	36,436	1.35	1.35	0.00
R5.10	48,620	48,535	85	36,396	1.34	1.33	0.01
R5.11	48,223	47,939	284	36,357	1.33	1.32	0.01
R5.12	47,958	47,746	212	36,600	1.31	1.30	0.01
R6.1	47,905	48,520	-615	36,511	1.31	1.33	-0.02
R6.2	47,455	47,804	-349	37,098	1.28	1.29	-0.01
R6.3	47,150	47,912	-762	35,991	1.31	1.33	-0.02
R6.4	46,440	46,268	172	36,231	1.28	1.28	0.00
R6.5	46,715	45,944	771	36,946	1.26	1.24	0.02
R6.6	45,430	45,111	319	37,036	1.23	1.22	0.01
R6.7	45,622	44,890	732	36,780	1.24	1.22	0.02

※各数値は季節調整値(R6年季調値適用)



# 12 経済情勢

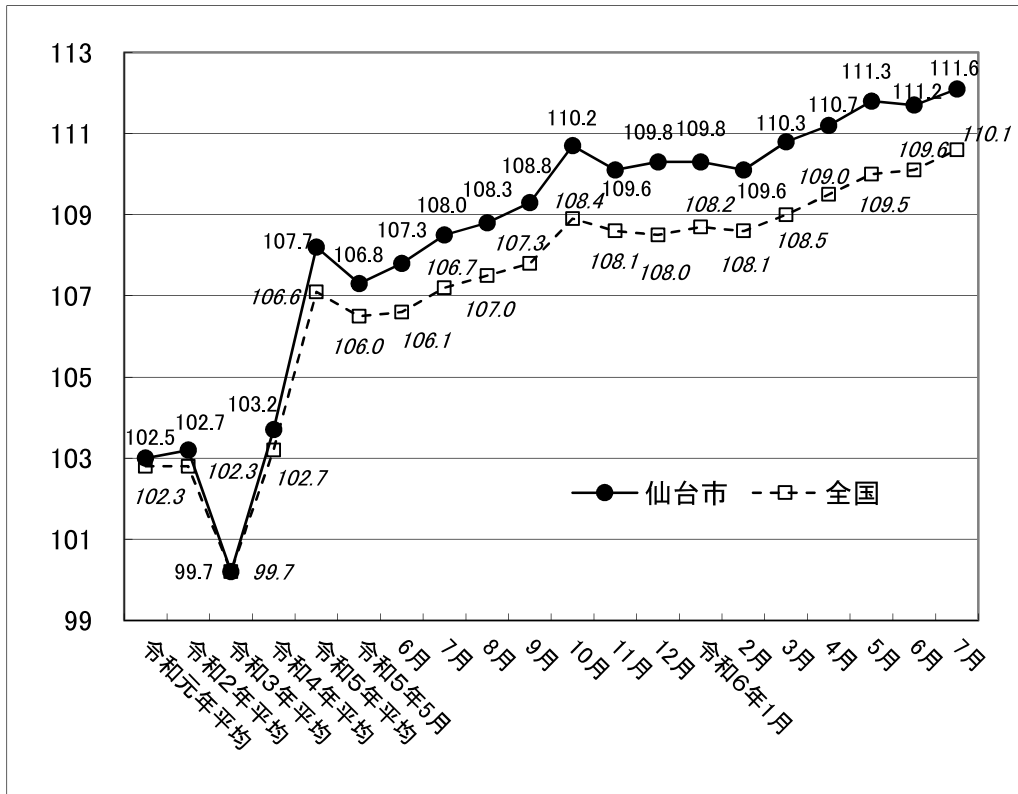
## 目次

1	消費者物価指数	1
2	宮城県の経済情勢 令和6年7月（財務省東北財務局）	2
3	法人企業景気予測調査 令和6年4月—6月期調査 宮城県分 （財務省東北財務局）	17
4	みやぎ経済月報 2024年8月号（宮城県統計課）	22
5	経済の動き 2024年6月（日本銀行仙台支店）	56
6	全国企業短期経済観測調査結果（東北地区6県） -2024年6月調査（日本銀行仙台支店）	58
7	地域経済報告 - さくらレポート -（2024年7月） （日本銀行仙台支店）	68
8	77R&C 調査月報 2024年7月号／9月号（速報） （七十七リサーチ&コンサルティング株式会社）	116

# 1 消費者物価指数(仙台市)の推移

(令和元年、2年の指数は平成27年=100 令和3年以降の指数は令和2年=100)

資料出所:宮城県、総務省統計局  
 ※ 指数は、「持家の帰属家賃を除く総合指数」





# 宮 城 県 の 経 済 情 勢

令 和 6 年 7 月  
財 務 省 東 北 財 務 局

## 調査方法の概略

### ◆調査対象・期間

前回(令和6年4月22日発表)以降に公表された指標と、今回判断(7月下旬)までのヒアリング情報

### ◆資料の分析とヒアリング調査

#### 1. 各種指標を網羅した資料・計数分析

当局で直接調査している法人企業景気予測調査(回答企業188社)に加え、各関係機関が調査公表している各種の調査指標を詳細に分析。

#### 2. 県内約200社へのヒアリング調査実施

各調査項目すべてにおいて広範かつ深度あるヒアリング調査を実施。

県内約200社からの協力を得て状況を聴取。

対象は主要企業のみならず中堅・中小企業にも実施。


上記により定量面・定性面を併せて分析し、経済情勢を立体的に判断。

なお、本報告の設備投資、企業収益、企業の景況感については、令和6年6月13日に公表した「法人企業景気予測調査(令和6年4-6月期)」の結果を活用しており、計数や判断コメントは6月に発表した内容と同じである。

東北財務局

## 1. 総論

## 【総括判断】「県内経済は、持ち直している」




項目	前回(6年4月判断)	今回(6年7月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

(注)6年7月判断は、前回6年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

## (判断の要点)

個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、汎用・生産用・業務用機械が海外メーカーで設備投資の動きがみられることから持ち直しつつあるなど、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

## 【各項目の判断】

項目	前回(6年4月判断)	今回(6年7月判断)	前回比較
個人消費	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	回復に向けたテンポが緩やかになっている	
生産活動	一進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	

設備投資	5年度は増加見込み	6年度は増加見込み	
企業収益	5年度は増益見込み	6年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が縮小	
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	

## 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売は飲食料品が堅調となっており、前年を上回っているものの、このところ伸び悩みがみられる。コンビニエンスストア販売は米飯類等が低調となっており、前年を下回っている。ドラッグストア販売は飲食料品等が好調となっており、前年を上回っている。ホームセンター販売はインテリア等が低調となっており、前年を下回っている。家電大型専門店販売はエアコンが好調となっており、前年を上回っている。乗用車販売は一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、前年を下回っている。旅行は国内旅行が緩やかに回復しつつある。このように、個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。

(主なヒアリング結果)

- 消費者は以前よりも価格に敏感になっており、お金をかける部分と節約する部分のメリハリが強くなってきている。(スーパー)
- 「東北初」、「限定」などの特別感のある商品が選ばれる傾向にある。(百貨店)
- 弁当類は価格の上昇により選ばれなくなっているため、低調が続いている。(コンビニエンスストア)
- 飲食料品は売れ筋商品を中心に、競合店よりも安い価格で販売していることから好調。(ドラッグストア)
- 物価高を背景とした節約志向の高まりなどにより、インテリアは低調に推移している。(ホームセンター)
- エアコンは気温上昇の影響により動き出しが早く、好調となっている。(家電量販店)
- 販売台数は落ち込んでいるものの、車は必需品との意識は継続しており、長期的な需要は底堅い。(業界団体)
- 円安もありインバウンドは増加傾向。特に5月末より開催された人気ゲームの世界的イベントの際は、市内中心部の高価格クラスのホテルも満室となるほど盛況。(業界団体)
- 旅行支援での宿泊割引に慣れてしまったことで、旅行控えがみられるのではないかと懸念していたものの、宿泊客数は順調に推移しており、支援策が旅行への意識を変える良いきっかけとなったものと感じている。(宿泊)
- 5 類移行から 1 年が経過しても飲食店は引き続き堅調。ファミリー層の来客は多く、夜間の来店客数も落ちていない。(専門店)

### ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

電子部品・デバイスはスマートフォン向けなどで海外経済の減速等を背景に弱い動きとなっている。汎用・生産用・業務用機械は海外の半導体メーカーにおいて設備投資の動きがみられることから、持ち直しつつある。輸送機械は持ち直しているものの、足下で一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響がみられる。このように、生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。

- 自動車向け部品などは、電気自動車(EV)需要の伸び悩みや海外経済の減速の影響もあって、低調に推移している。(電子部品・デバイス)
- スマートフォン向け部品は、在庫調整の進展はみられるものの、低調に推移している。(電子部品・デバイス)
- 半導体メーカーにおいて、在庫調整の進展に加え人工知能(AI)向けの需要もあって、製造装置への投資は緩やかに持ち直している。(汎用・生産用・業務用機械)
- 一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響から、足下で減産している。(輸送機械)

### ■ 雇用情勢 「緩やかに持ち直している」

有効求人倍率はこのところ低下しているものの、企業の人手不足感は引き続き高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

- 有効求人倍率は悪くない水準にあるものの、賃上げ原資を確保するため新規求人を抑制し、既存従業員の待遇改善を優先する企業が増えてきている。(公的機関)
- システムエンジニアなど専門的な人材が不足しているが、同業他社と取り合いになっており、十分な人数を採用できていない。(情報通信)
- 生産が堅調であることから人手が不足しており、民間人材紹介会社も活用して募集活動を行っている。(輸送機械)

- 設備投資 「6年度は増加見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」6年4-6月期
    - 製造業は、増加見込みとなっている。
    - 非製造業は、増加見込みとなっている。
  
  - 企業収益 「6年度は減益見込み」(全産業)「法人企業景気予測調査」6年4-6月期
    - 製造業は、減益見込みとなっている。
    - 非製造業は、減益見込みとなっている。
  
  - 企業の景況感 「『下降』超幅が縮小」(全産業)「法人企業景気予測調査」6年4-6月期
    - 現状(6年4~6月期)は「下降」超幅が縮小している。先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。
  
  - 住宅建設 「前年を上回っている」
    - 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲いずれも前年を上回っている。
- 貸家については、都市部を中心に利便性を求めたファミリー層の需要が増加している。(不動産)
- 公共事業 「前年度を下回っている」
    - 前払金保証請負金額は、独立行政法人等、県などで前年度を下回っており、全体でも前年度を下回っている。
  
  - 消費者物価 「前年を上回っている」
  
  - 金融 「貸出金残高は、前年を上回っている」
  
  - 企業倒産 「件数、負債総額とも前年を上回っている」

# 資料編（宮城県）

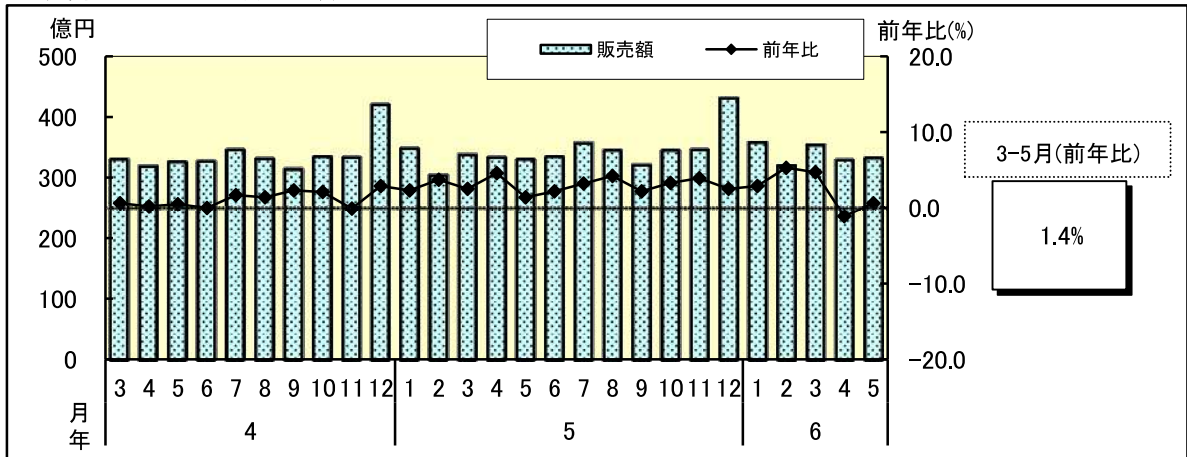
## 目 次

1. 個人消費 .....	1
2. 生産活動 .....	4
3. 雇用情勢 .....	5
4. 設備投資 .....	6
5. 企業収益 .....	6
6. 企業の景況感 .....	7
7. 住宅建設 .....	7
8. 公共事業 .....	8
9. 消費者物価 .....	8
10. 金融 .....	9
11. 企業倒産 .....	9



# 1.個人消費 …… 回復に向けたテンポが緩やかになっている

## 百貨店・スーパー販売額



### 全店舗ベース

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
5年	3.2	3.0
5. 4-6	3.2	2.7
7-9	4.4	3.2
10-12	2.9	3.2
6. 1-3	3.6	4.3
6. 1	2.1	2.9
2	4.5	5.3
3	4.3	4.7
4	▲ 0.6	▲ 1.1
5	0.4	0.6

(注)5年分は年間補正後

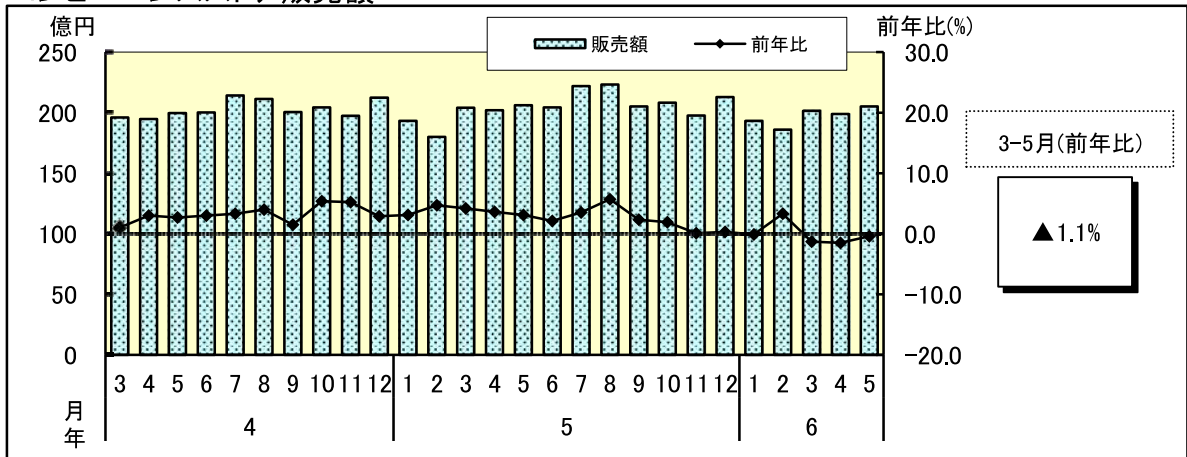
### 品目別販売額

区分	衣料品 (前年比%)	身の回り品 (前年比%)	飲食品 (前年比%)	その他の商品 (前年比%)
6. 1	▲ 2.0	4.7	2.4	8.5
2	▲ 5.9	12.6	5.2	10.6
3	▲ 7.1	10.2	4.2	7.8
4	▲ 9.9	2.9	▲ 0.3	▲ 1.7
5	▲ 5.7	3.4	0.3	4.1

(注)6年5月は速報値

[経済産業省、東北経済産業局]

## コンビニエンスストア販売額



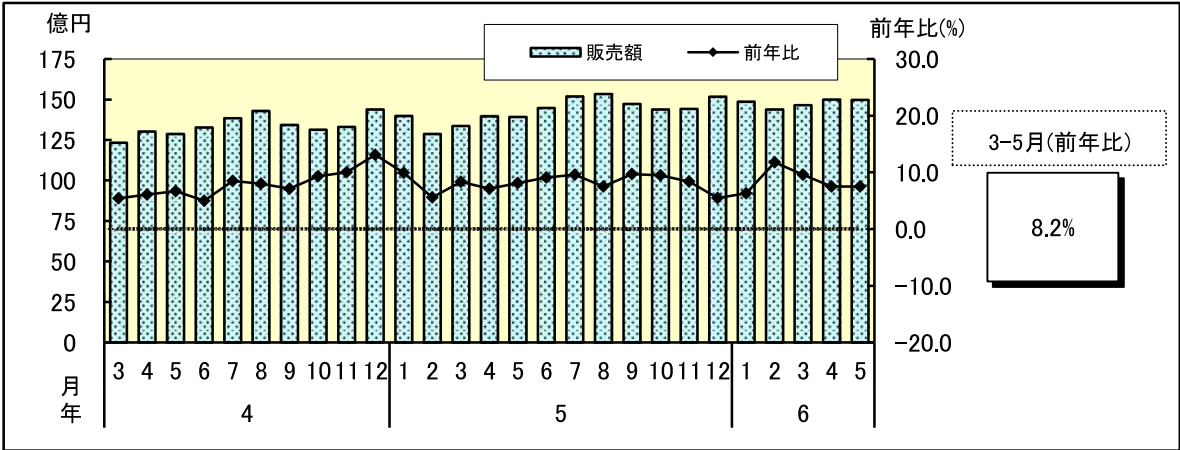
### 全店舗ベース

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
5年	2.3	2.9
5. 4-6	2.2	2.9
7-9	3.3	3.9
10-12	0.2	0.8
6. 1-3	0.6	0.5
6. 1	0.1	▲ 0.1
2	3.4	3.3
3	▲ 1.4	▲ 1.3
4	▲ 1.0	▲ 1.5
5	▲ 0.7	▲ 0.4

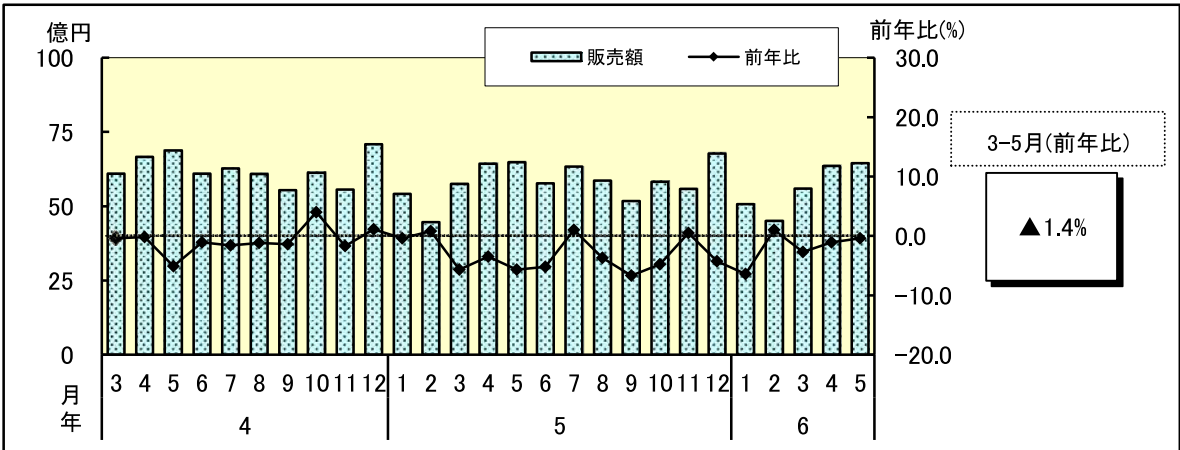
(注)5年分は年間補正後

[経済産業省、東北経済産業局]

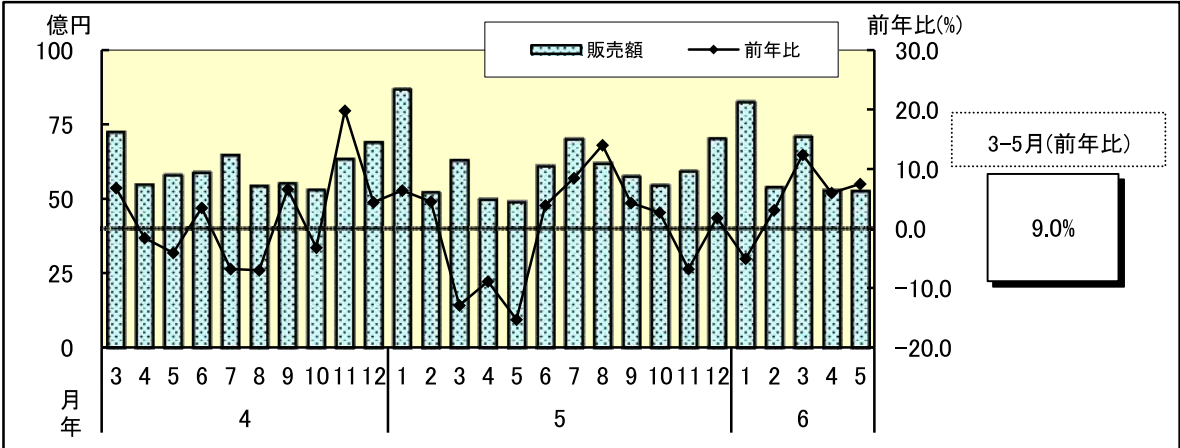
### ドラッグストア販売額



### ホームセンター販売額



### 家電大型専門店販売額



### 全店舗ベース ドラッグストア

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
5年	8.0	8.2
5. 4-6	8.4	8.1
7-9	8.8	8.9
10-12	6.7	7.7
6. 1-3	8.6	9.2
6. 1	6.9	6.3
2	10.5	11.8
3	8.6	9.6
4	6.6	7.5
5	7.7	7.5

### ホームセンター

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
5年	▲ 3.7	▲ 3.3
5. 4-6	▲ 5.2	▲ 4.8
7-9	▲ 2.4	▲ 3.0
10-12	▲ 4.7	▲ 3.1
6. 1-3	▲ 4.4	▲ 2.9
6. 1	▲ 6.9	▲ 6.4
2	▲ 0.3	1.0
3	▲ 5.2	▲ 2.7
4	▲ 0.1	▲ 1.1
5	▲ 0.9	▲ 0.4

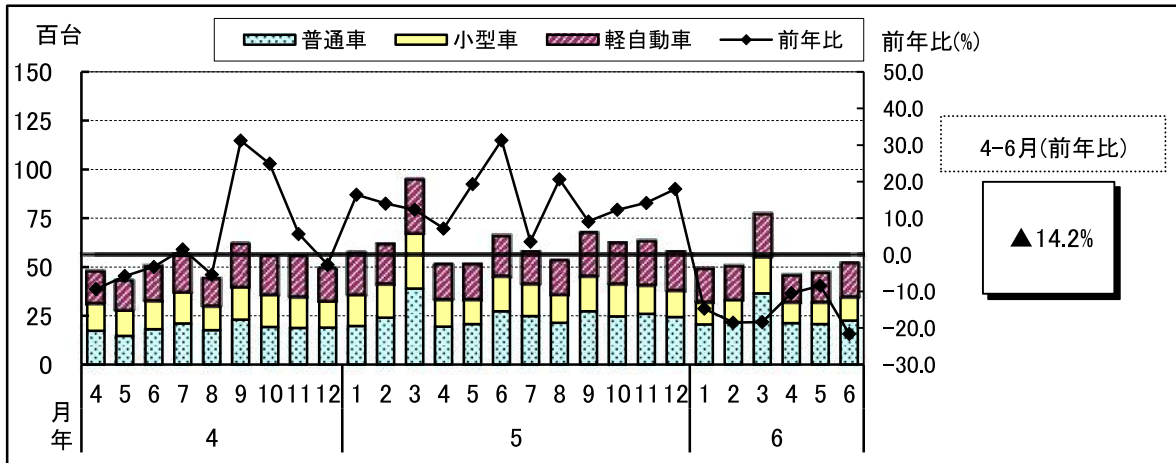
### 家電大型専門店

区分	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)
5年	▲ 2.0	0.1
5. 4-6	▲ 11.9	▲ 6.7
7-9	6.0	8.9
10-12	▲ 1.1	▲ 0.9
6. 1-3	▲ 0.3	2.5
6. 1	▲ 5.8	▲ 5.1
2	0.5	3.1
3	5.4	12.4
4	1.8	6.0
5	2.7	7.5

(注)5年分は年間補正後

〔経済産業省、東北経済産業局〕

### 乗用車新車登録・届出台数

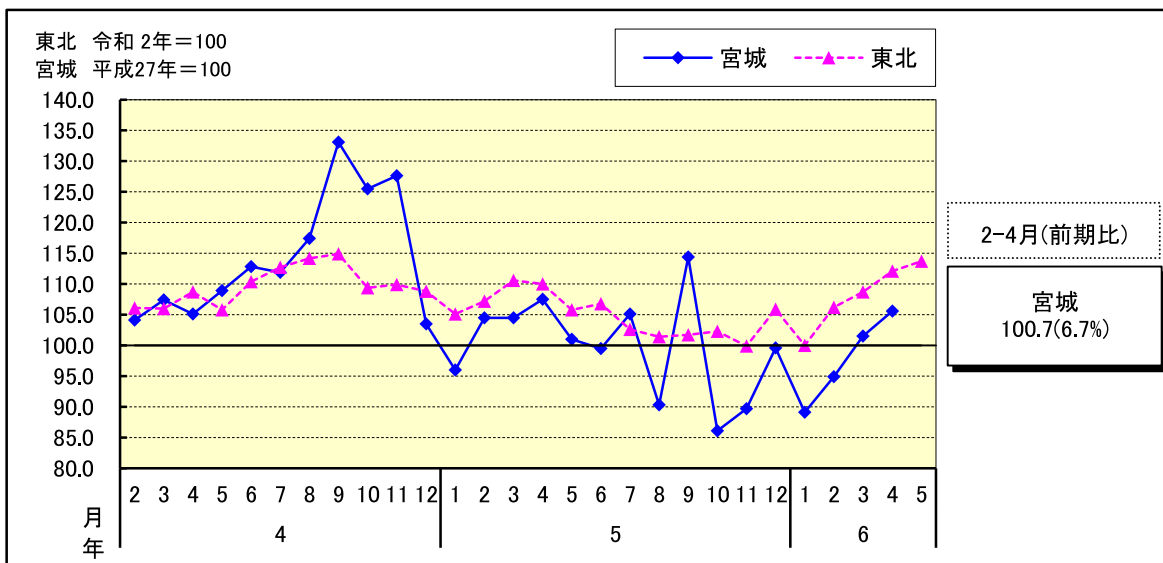


区分	東北 (前年比%)		宮城 (前年比%)		
			普通	小型	軽
5年	15.1	14.4	27.1	5.3	8.9
5. 7-9	11.1	10.3	19.1	9.0	1.5
10-12	11.4	14.7	31.4	▲1.5	11.0
6. 1-3	▲20.0	▲17.4	▲4.6	▲32.3	▲19.5
4-6	▲10.0	▲14.2	▲4.1	▲23.2	▲19.2
6. 2	▲20.8	▲18.5	▲9.2	▲34.3	▲16.0
3	▲21.6	▲18.4	▲6.1	▲34.3	▲19.5
4	▲10.6	▲10.5	9.8	▲23.8	▲22.3
5	▲5.8	▲8.4	0.2	▲9.4	▲17.6
6	▲12.8	▲21.6	▲17.3	▲32.6	▲17.9

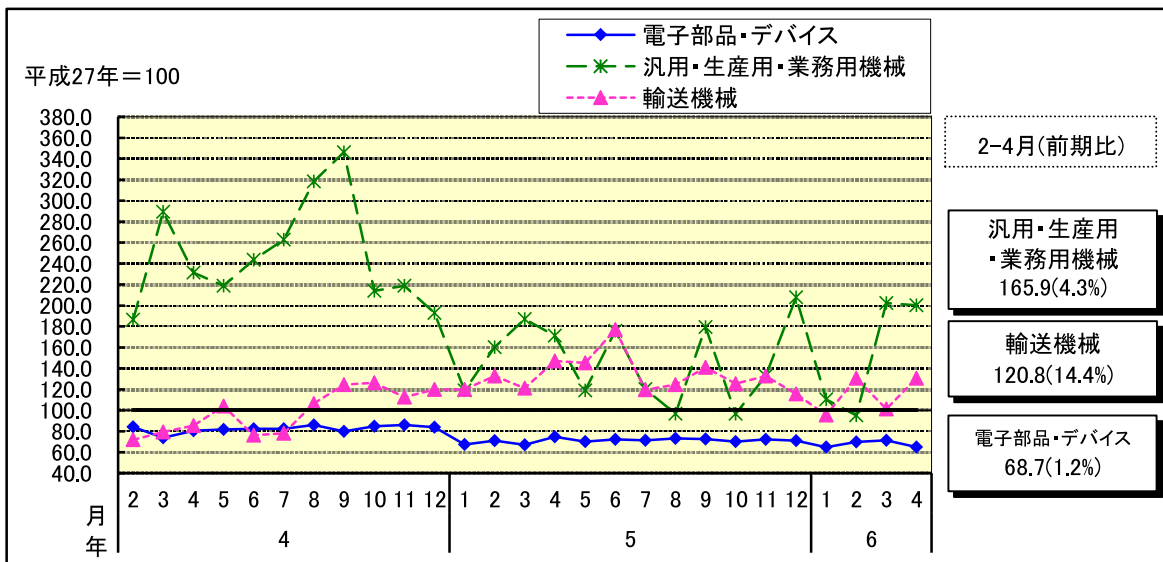
[日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、東北運輸局]

## 2.生産活動 … 緩やかに持ち直しつつある

### 鉱工業生産指数(季節調整済)



### 鉱工業生産指数(業種別・季節調整済)

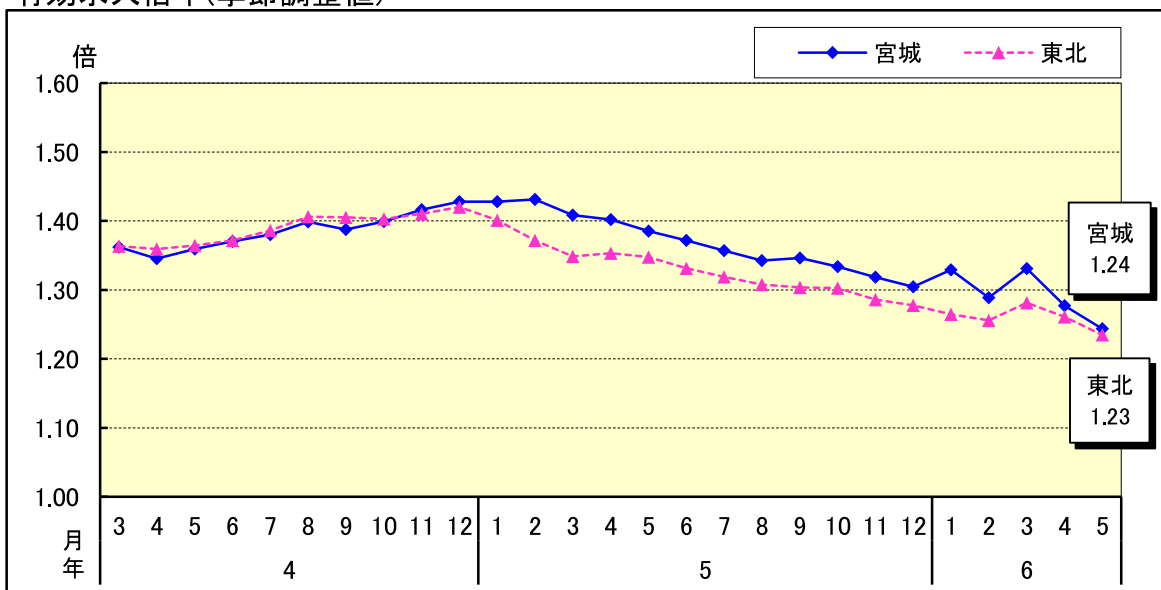


区分	東北 〔令和2年=100〕			宮城 〔平成27年=100〕			電子部品・デバイス (Wt. 2,071.3)		汎用・生産用・業務用機械 (Wt. 895.9)		輸送機械 (Wt. 815.2)					
	前月比%	前年比%		前月比%	前年比%		前月比%	前年比%	前月比%	前年比%	前月比%	前年比%				
5年	105.0	▲4.2		100.0	▲12.1		70.8	▲14.2	151.9	▲38.8	132.1	37.3				
5. 4-6	107.5	▲0.1	▲0.4	102.7	1.0	▲5.4	72.3	5.4	155.3	▲0.1	156.4	25.5				
7-9	101.9	▲5.2	▲10.6	103.3	0.6	▲14.4	72.4	0.1	132.1	▲14.9	128.3	▲18.0				
10-12	102.7	0.8	▲6.1	91.8	▲11.1	▲22.7	71.1	▲1.8	145.7	10.3	124.5	▲3.0				
6. 1-3	105.0	2.2	▲3.3	95.2	3.7	▲6.0	68.7	▲3.4	136.0	▲6.7	109.2	▲12.3				
6. 1	100.0	▲5.6	▲3.6	89.1	▲10.5	▲5.5	64.8	▲8.6	▲1.3	110.4	▲46.9	▲2.1	95.6	▲17.3	▲18.7	
2	106.2	6.2	▲1.6	94.9	6.5	▲6.1	69.9	7.9	2.0	95.1	▲13.9	▲38.3	130.6	36.6	▲2.8	
3	108.7	2.4	▲4.3	101.5	7.0	▲6.4	71.4	2.1	1.0	202.4	112.8	▲2.8	101.3	▲22.4	▲19.6	
4	112.1	3.1	3.5	105.6	4.0	0.2	64.9	▲9.1	▲7.7	200.2	▲1.1	20.1	130.5	28.8	▲5.6	
5	113.7	1.4	8.6													

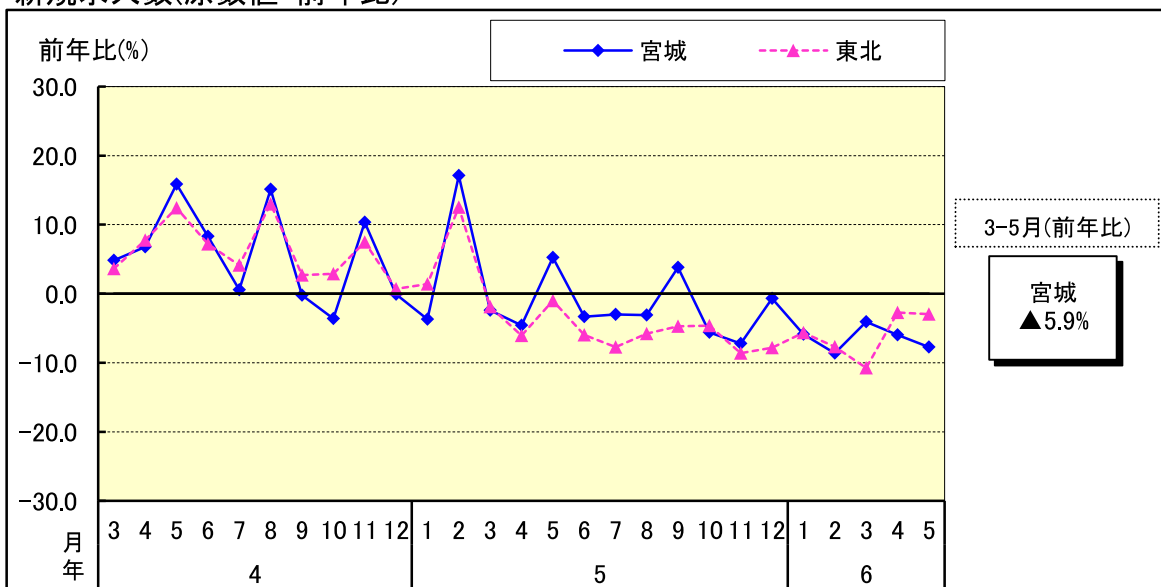
(注)前年比は原指数、東北の6年5月、宮城の6年4月は速報値

### 3.雇用情勢 … 緩やかに持ち直している

有効求人倍率(季節調整値)



新規求人数(原数値・前年比)



区分	有効求人倍率(季節調整値)				新規求人数		新規求職者数 (前年比%)	完全失業率	
	東北 (倍)	宮城 (倍)	有効求人 人数 (人)	有効求職者 数 (人)	東北 (前年比%)	宮城 (前年比%)		東北 (%)	宮城 (%)
5年	1.33	1.37	49,277	35,966	▲3.3	▲0.8	3.1	2.7	3.0
5. 4-6	1.34	1.39	49,554	35,747	▲4.5	▲1.0	0.4	2.4	2.9
	1.31	1.35	48,948	36,295	▲6.1	▲0.8	4.0	2.8	3.1
	1.29	1.32	48,073	36,450	▲7.0	▲4.6	5.8	2.8	3.1
6. 1-3	1.27	1.32	48,079	36,533	▲8.0	▲6.3	▲0.8	3.0	3.3
6. 1	1.26	1.33	48,520	36,511	▲5.7	▲5.9	1.8	/	/
	2	1.26	47,804	37,098	▲7.7	▲8.6	2.1		
	3	1.28	47,912	35,991	▲10.8	▲4.1	▲6.3		
	4	1.26	46,268	36,231	▲2.7	▲6.0	4.7		
	5	1.23	1.24	45,944	36,946	▲3.0	▲7.7		

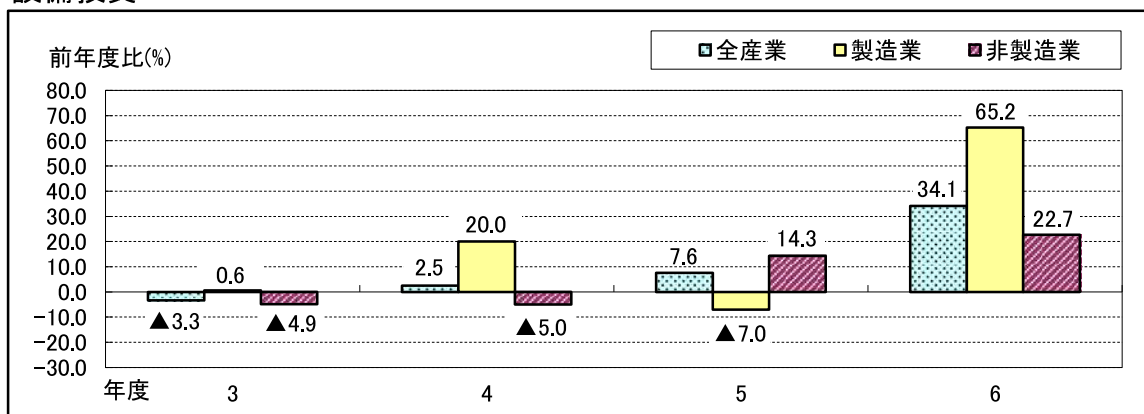
(注)1.新規求人数・新規求職者数・完全失業率は原数値

2.5年12月以前の季節調整値は改定値

[厚生労働省、総務省]

## 4.設備投資 … 6年度は増加見込み

### 設備投資



(前年度比増減率%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	( 2.6 )	65.2	( 5.4 )	22.7	( 4.7 )

(注) 1.ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

2.( )書きは前回調査結果

3.グラフについて、3-5年度は当該年度の1-3月期調査結果で、6年度は見込み

[東北財務局「法人企業景気予測調査(6年4-6月期調査)」]

## 5.企業収益 … 6年度は減益見込み

### 経常利益

(前年度比増減率%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	( 5.6 )	▲ 4.7	( ▲ 5.0 )	▲ 0.8	( ▲ 1.8 )

(注) 1.電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2.( )書きは前回調査結果

[東北財務局「法人企業景気予測調査(6年4-6月期調査)」]

## 6.企業の景況感 … 「下降」超幅が縮小

### 景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

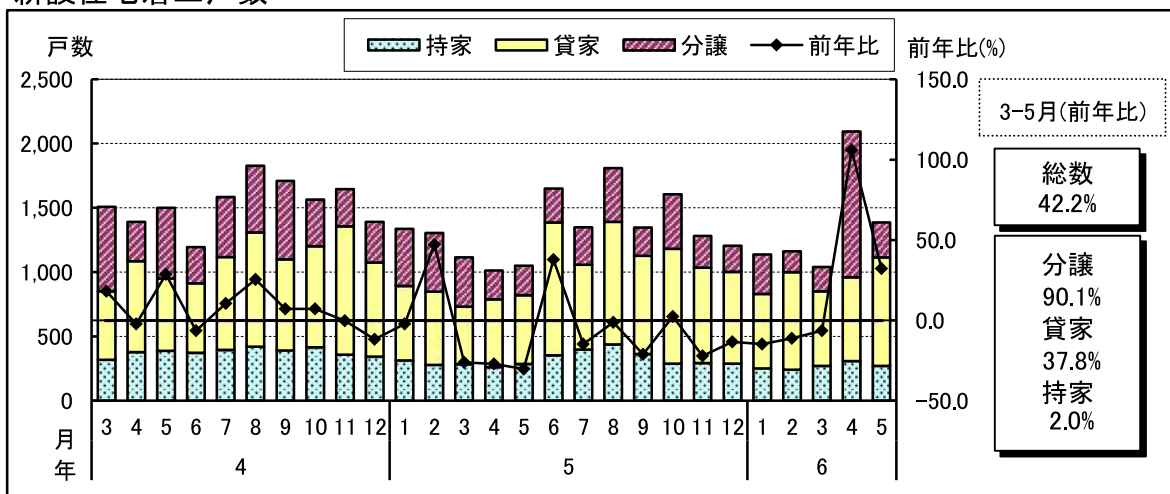
区分	6年1~3月 (6年1-3月期調査)	6年4~6月 現 状 判 断	6年7~9月 見 通 し	6年10~12月 見 通 し
全産業	( ▲ 4.0 )	( 2.8 ) ▲ 2.7	( 4.0 ) 3.2	5.9
業種別				
製造業	( ▲ 7.5 )	( 7.5 ) ▲ 4.8	( 5.0 ) ▲ 2.4	2.4
非製造業	( ▲ 2.9 )	( 1.5 ) ▲ 2.1	( 3.7 ) 4.8	6.8

(注)( )書きは前回調査結果

[東北財務局「法人企業景気予測調査(6年4-6月期調査)」]

## 7.住宅建設 … 前年を上回っている

### 新設住宅着工戸数

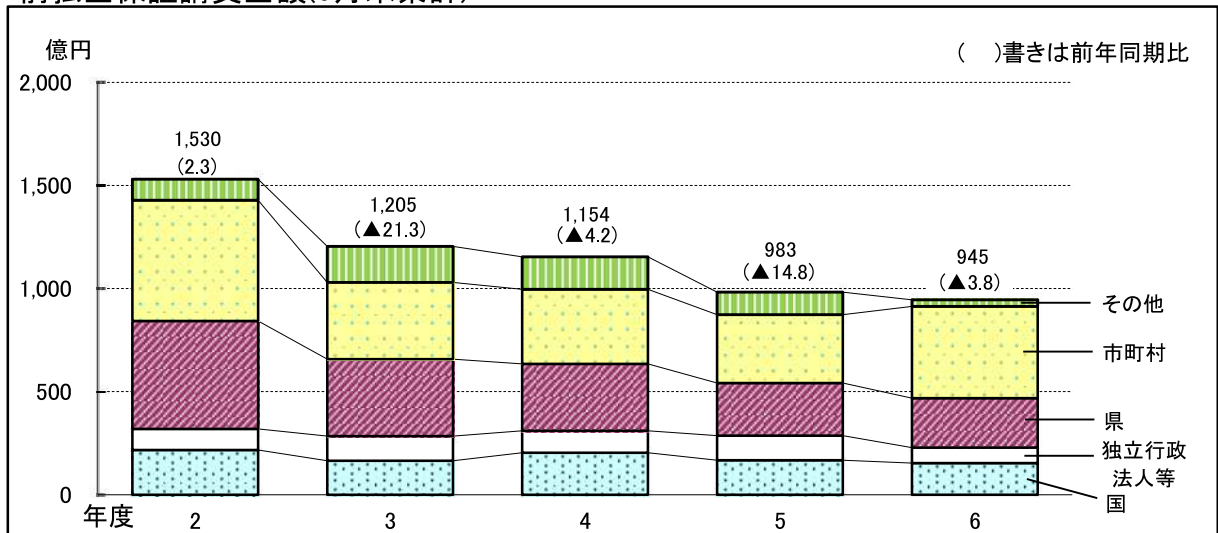


区分	東北 (前年比%)		宮城 (前年比%)		
	持家	貸家	持家	貸家	分譲
5年	▲ 7.6	▲ 8.7	▲ 12.4	2.4	▲ 23.3
5. 4-6	▲ 5.5	▲ 9.3	▲ 20.9	15.7	▲ 37.1
7-9	▲ 3.3	▲ 12.1	▲ 0.4	2.3	▲ 41.5
10-12	▲ 12.8	▲ 11.2	▲ 22.0	▲ 6.7	▲ 9.8
6. 1-3	▲ 11.0	▲ 11.1	▲ 13.2	20.3	▲ 48.6
6. 1	▲ 16.2	▲ 14.8	▲ 20.4	0.3	▲ 30.8
2	▲ 7.1	▲ 11.3	▲ 13.7	33.1	▲ 64.3
3	▲ 9.8	▲ 6.5	▲ 4.9	30.0	▲ 50.5
4	26.6	105.9	17.9	23.7	404.9
5	▲ 1.5	32.1	▲ 5.6	58.2	17.9

[国土交通省]

## 8.公共事業 … 前年度を下回っている

前払金保証請負金額(6月末累計)



(注)その他には地方公社を含む

(単月)

月	6年4月	5月	6月
前年同月比%	▲22.4	16.2	12.0

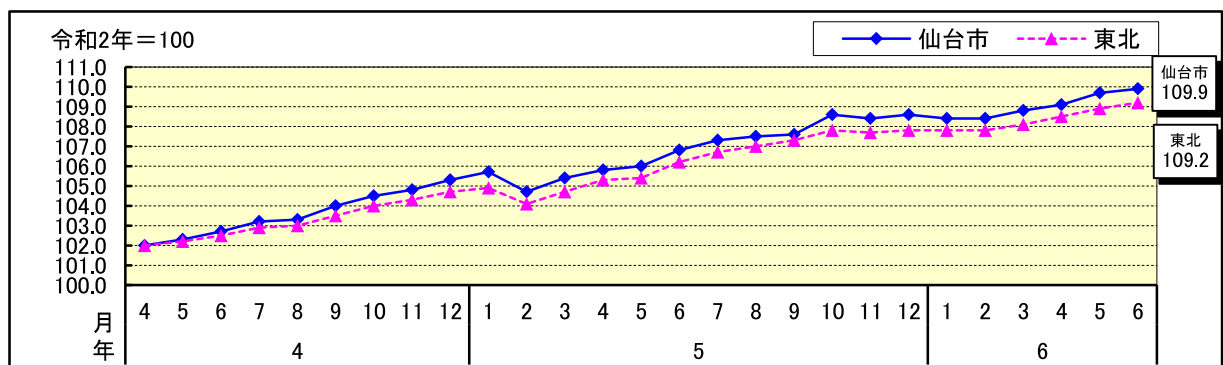
(参考:年度末累計)

年度	2年度	3年度	4年度	5年度
前年度比%	▲2.2	▲32.9	▲12.4	▲3.5

[東日本建設業保証(株)ほか]

## 9.消費者物価 … 前年を上回っている

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)



区分	生鮮食品を除く総合 [令和2年=100]					
	東北			仙台市		
	指数	前月比%	前年比%	指数	前月比%	前年比%
5年	106.3		3.5	106.9		3.7
5. 7-9	107.0	1.3	3.8	107.5	1.2	3.9
10-12	107.8	0.7	3.4	108.5	0.9	3.4
6. 1-3	107.9	0.1	3.2	108.5	0.0	3.0
4-6	108.9	0.9	3.1	109.6	1.0	3.2
6. 2	107.8	0.0	3.5	108.4	0.0	3.5
3	108.1	0.3	3.2	108.8	0.4	3.3
4	108.5	0.4	3.0	109.1	0.3	3.1
5	108.9	0.4	3.3	109.7	0.5	3.4
6	109.2	0.3	2.9	109.9	0.2	2.9

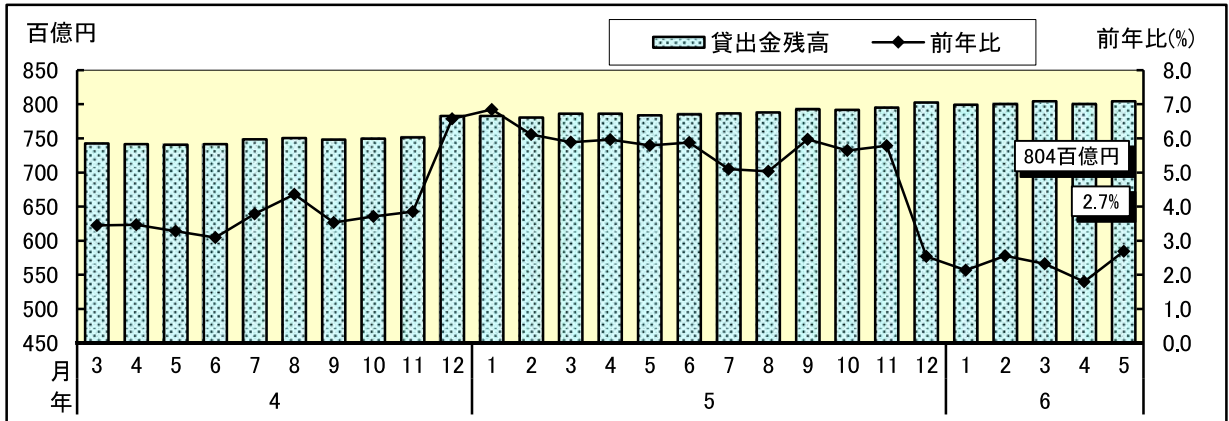
(注)四半期分については、端数処理後の月別指数を基に算出

[総務省]



## 10.金融 … 貸出金残高は、前年を上回っている

### 貸出金残高



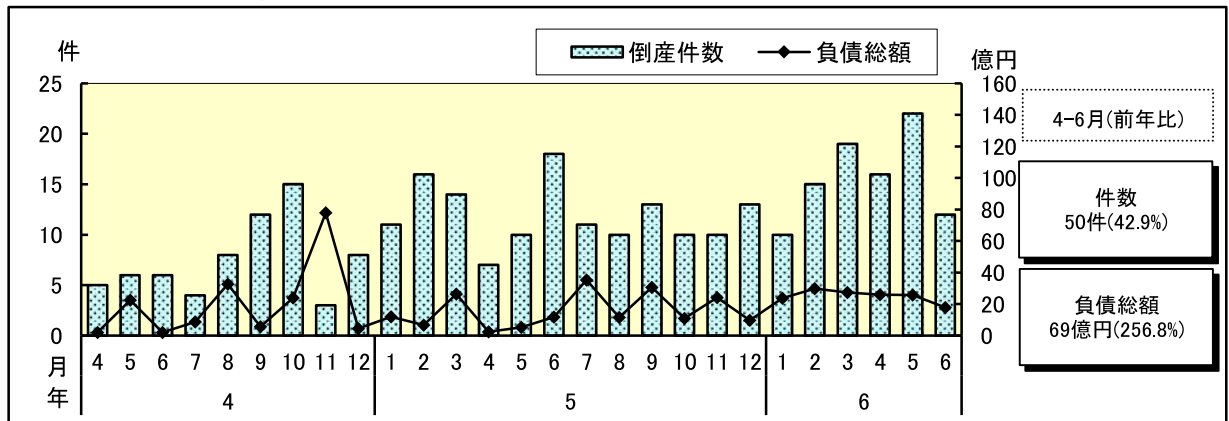
区分	国内銀行		
	東北	宮城	
	前年比%	前年比%	
5.	8	4.1	5.0
	9	4.6	6.0
	10	4.4	5.6
	11	4.3	5.8
	12	3.2	2.5
6.	1	3.0	2.1
	2	2.9	2.6
	3	3.4	2.3
	4	2.8	1.8
	5	3.1	2.7

(注)在店舗ベース(ゆうちょ銀行除く)

[日本銀行]

## 11.企業倒産 … 件数、負債総額とも前年を上回っている

### 企業倒産件数・負債総額



区分	件数		負債総額				
	東北	宮城	東北	宮城			
	前年比%	(件)	前年比%	(百万円)			
5年	27.3	143	43.0	56.7	18,675	▲17.6	
5.	7-9	63.8	34	41.7	70.9	7,746	65.5
	10-12	13.9	33	26.9	12.4	4,484	▲57.8
6.	1-3	57.9	44	7.3	12.2	8,102	80.1
	4-6	29.7	50	42.9	▲0.1	6,944	256.8
6.	2	52.8	15	▲6.3	▲22.1	2,982	345.7
	3	73.0	19	35.7	55.2	2,744	3.9
	4	60.0	16	128.6	117.1	2,594	976.3
	5	100.0	22	120.0	252.0	2,567	388.0
	6	▲25.9	12	▲33.3	▲69.3	1,783	51.2

[株東京商工リサーチ]

# 法人企業景気予測調査

(令和6年4-6月期調査)

宮城県分

令和6年6月13日  
財務省東北財務局

## 【調査要領】

### 1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施した。

### 2. 調査対象の範囲

資本金1千万円以上の法人企業。  
ただし、電気・ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上を対象。

### 3. 調査時点 令和6年5月15日

### 4. 調査対象期間

判断項目： 6年4～6月期又は6月末見込み、6年7～9月期又は9月末見通し、  
6年10～12月期又は12月末見通し

計数項目： 5年度実績、6年度実績見込み

### 5. 調査対象企業数及び回収率

区分	製造業	非製造業	全産業
調査対象企業数	43	153	196
回答企業数	42	146	188
回収率 %	97.7	95.4	95.9

財務省東北財務局 経済調査課  
TEL 022-263-1111 内線 3157  
<https://lfb.mof.go.jp/tohoku/>

# 1. 企業の景況判断...

現状は「下降」超幅が縮小  
先行きは「上昇」超に転じる見通し

(現状判断)

6年4～6月期の企業の景況判断BSIは、全産業では「下降」超幅が縮小している。  
業種別にみると、製造業、非製造業とも「下降」超幅が縮小している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「上昇」超に転じる見通しとなっている。

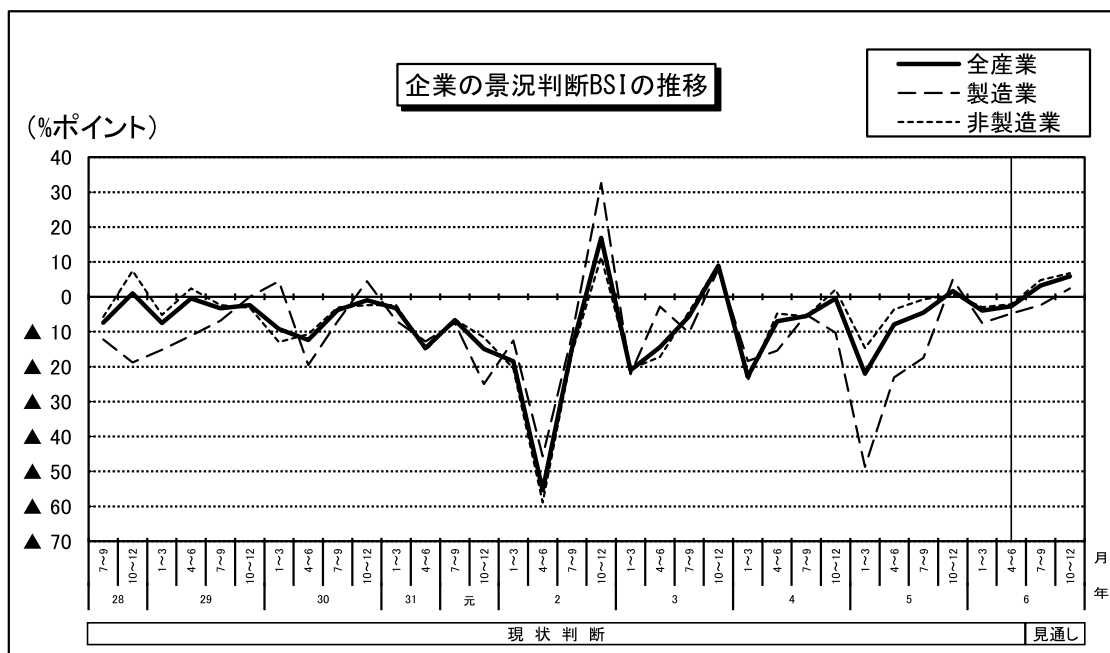
## 企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区分	6年1～3月 (6年1-3月期調査)	6年4～6月 現 状 判 断	6年7～9月 見 通 し	6年10～12月 見 通 し
全 産 業	( ▲ 4.0 )	( 2.8 ) ▲ 2.7	( 4.0 ) 3.2	5.9
業 種 別				
製 造 業	( ▲ 7.5 )	( 7.5 ) ▲ 4.8	( 5.0 ) ▲ 2.4	2.4
非製造業	( ▲ 2.9 )	( 1.5 ) ▲ 2.1	( 3.7 ) 4.8	6.8

(注) ( )書きは前回調査結果



## 2. 国内の景況判断…

現状は「下降」超に転じている

先行きは6年7～9月期に「下降」超幅が縮小し、  
6年10～12月期に「上昇」超に転じる見通し

(現状判断)

6年4～6月期の国内の景況判断BSIは、全産業では「下降」超に転じている。  
業種別にみると、製造業は前回調査と変わらず「均衡」となり、非製造業は「下降」超に転じている。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では6年7～9月期に「下降」超幅が縮小し、6年10～12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

### 国内の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区 分	6年1～3月 (6年1-3月期調査)	6年4～6月 現 状 判 断	6年7～9月 見 通 し	6年10～12月 見 通 し
全 産 業	( 0.7 )	( 6.9 ) ▲ 5.6	( 5.5 ) ▲ 3.5	2.8
業 種 別				
製造業	( 0.0 )	( 9.4 ) 0.0	( 9.4 ) 0.0	6.9
非製造業	( 0.9 )	( 6.2 ) ▲ 7.0	( 4.4 ) ▲ 4.4	1.8

(注) ( ) 書きは前回調査結果

## 3. 売上高…

6年度は増収見込み

6年度の売上高は、製造業で6.4%、非製造業で1.2%の増収見込みとなっており、全産業では3.5%の増収見込みとなっている。

### 売上高

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
6 年 度	( 3.2 )	6.4	( 2.6 )	1.2	( 2.8 )	3.5

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数  
2. ( ) 書きは前回調査結果

## 4. 経常利益…

6年度は減益見込み

6年度の経常利益は、製造業で4.7%、非製造業で0.8%の減益見込みとなっており、全産業では2.2%の減益見込みとなっている。

### 経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
6 年 度	( 5.6 )	▲ 4.7	( ▲ 5.0 )	▲ 0.8	( ▲ 1.8 )	▲ 2.2

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数  
2. ( ) 書きは前回調査結果

## 5. 設備投資… 6年度は増加見込み

6年度の設備投資は、製造業で65.2%、非製造業で22.7%の増加見込みとなっており、全産業では34.1%の増加見込みとなっている。

### 設備投資

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	6 年 度	( 2.6 )	65.2	( 5.4 )	22.7	( 4.7 )

(注) 1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く  
2. ( ) 書きは前回調査結果

## 6. 従業員数判断… 現状は「不足気味」超幅が縮小 先行きは「不足気味」超で推移する見通し

(現状判断)

6年6月末時点の従業員数判断BSIは、全産業では「不足気味」超幅が縮小している。業種別にみると、製造業、非製造業とも「不足気味」超幅が縮小している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

### 従業員数判断BSI 【原数値】

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区 分	6年3月末	6年6月末		6年9月末		6年12月末	
	(6年1-3月期調査)	現 状 判 断		見 通 し		見 通 し	
全 産 業	( 36.1 )	( 30.6 )	27.1	( 29.2 )	26.4	31.9	
業 種 別	製 造 業	( 19.4 )	( 16.1 )	3.3	( 9.7 )	6.7	16.7
	非製造業	( 40.7 )	( 34.5 )	33.3	( 34.5 )	31.6	36.0

(注) ( ) 書きは前回調査結果

### (参考資料1) 計数調査対象全業種集計結果

#### 売上高

(前年度比増減率:%)

区分			全産業
	製造業	非製造業	
6年度	6.4	1.6	3.6

(注) 電気・ガス・水道を含み、金融・保険は含まない(調査対象外)

#### 経常利益

(前年度比増減率:%)

区分			全産業
	製造業	非製造業	
6年度	▲ 4.7	▲ 0.8	▲ 1.6

(注) 電気・ガス・水道、金融・保険を含む

### (参考資料2) 設備投資(土地購入額を含み、ソフトウェア投資額を除く)

(前年度比増減率:%)

区分			全産業
	製造業	非製造業	
6年度	70.5	29.6	42.8

(注) 石油・石炭、電気・ガス・水道を除く

# みやぎ経済月報

(2024年8月号)

令和6年9月2日

目次			
I 本県の経済概況	.....		1
II 主な指標の動き	.....		2
1 生産			
鉱工業生産指数	6月	....	2
2 住宅投資			
新設住宅着工戸数	6月	....	2
3 公共工事			
公共工事請負金額	7月	....	2
4 個人消費			
百貨店・スーパー販売額	6月	....	3
コンビニエンスストア販売額	6月	....	3
家電大型専門店販売額	6月	....	3
ドラッグストア販売額	6月	....	4
ホームセンター販売額	6月	....	4
乗用車新車登録及び届出台数	7月	....	4
仙台市消費者物価指数	7月	....	5
5 雇用			
求人倍率	6月	....	5
所定外労働時間	6月	....	6
実質賃金指数	6月	....	6
雇用保険受給者実人員	6月	....	6
6 企業倒産	7月	....	7
III 全国・東北等の景況	.....		8
IV 主要経済指標	.....		12

## 利用される方に

- この経済月報は、本県における経済活動の主要項目分野に着目し、当該分野の経済指標の数値変動をもとに、本県経済の状況をマクロ的視点から定性的に表現することを目的としています。
- 資料は、官公庁、団体、会社等の業務資料および当該機関の刊行した統計資料等によるもので、資料を御提供いただいた関係各位に厚くお礼申し上げます。
- 数字の単位未満は、原則として四捨五入しており、合計と内訳の計とが一致しない場合もあります。なお、指標の一部に速報値等を利用しており、翌月に数値変更の場合がありますので、あらかじめ御了承願います。
- 統計表の符号は次のとおりです。  
 「▲」.....負数  
 「…」.....数字が得られないもの  
 「-」.....該当数字がないもの
- 内容についての御照会、御意見は、  
 宮城県企画部統計課  
 (企画分析班)  
 〒980-8570  
 仙台市青葉区本町三丁目8番1号  
 電話 022-211-2453(直通)  
 に御連絡ください。
- 本誌の内容は、インターネットでも御覧いただけます。

宮城県統計課ホームページ  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/toukei/>

# I 本県の経済概況

## 6月を中心とした宮城県経済の概要

緩やかに持ち直しているものの、弱い動きもみられる。

○前回公表分からの変更点（前月号の表現）  
なし

(変化方向※)



7月号

8月号

※ 矢印により表現の上方・下方修正を示しています。  
絶対的な好況・不況の水準や方向感を示すものではないことに御留意願います。

○前回公表分との比較（下線部は変更箇所）

個別指標	前回公表分 (2024年7月号)	今回公表分 (2024年8月号)	変化方向※
生産	持ち直しの兆しがみられる。	持ち直しの兆しがみられる。	→
住宅投資	一段と弱い動きとなっている。	一段と弱い動きとなっている。	→
公共投資	<u>下げ止まりの動きがみられる。</u>	<u>横ばい圏内の動きとなっている。</u>	↗
個人消費	回復の動きに足踏みがみられる。	回復の動きに足踏みがみられる。	→
雇用	<u>持ち直しの動きに足踏みがみられる。</u>	<u>持ち直しの動きが弱まっている。</u>	↘
企業倒産	このところ増加している。	このところ増加している。	→

※ 矢印により表現の上方・下方修正を示しています。  
絶対的な好況・不況の水準や方向感を示すものではないことに御留意願います。



## II 主な指標の動き

### 1 生産

#### ○ 鉱工業生産指数

6月の鉱工業生産指数(季節調整値、令和2年=100)は106.0(速報値)で、前月比は10.9%低下し、5か月ぶりの低下となった(図1、2)。

業種別にみると、化学、石油・石炭製品工業、窯業・土石製品工業など4業種が上昇した。一方で、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業など11業種が低下した。

前年同月比(原指数)では3.6%低下し、3か月ぶりの低下となった。

(資料:県統計課)

→ 数値データは13~15ページに掲載

図1:前月比(季節調整済指数)

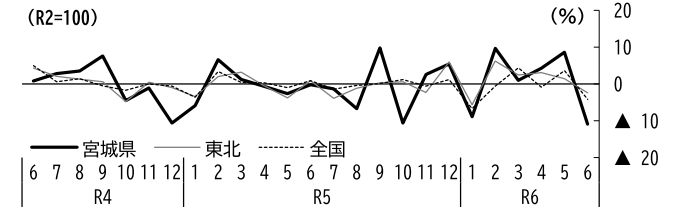
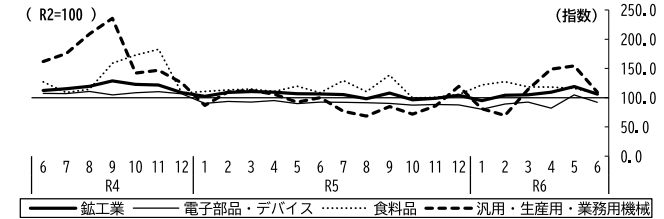


図2:季節調整済指数(宮城県)



### 2 住宅投資

#### ○ 新設住宅着工戸数

6月の新設住宅着工戸数は1,384戸で、前年同月比16.1%減少し、3か月ぶりの減少となった(図3、4)。

利用別に前年同月比をみると、持家は0.8%増加し、2か月ぶりの増加となった。

貸家は26.5%減少し、6か月ぶりの減少となった。

分譲住宅は2.7%減少し、3か月ぶりの減少となった。

(資料:国土交通省)

→ 数値データは16、17ページに掲載

図3:前年同月比

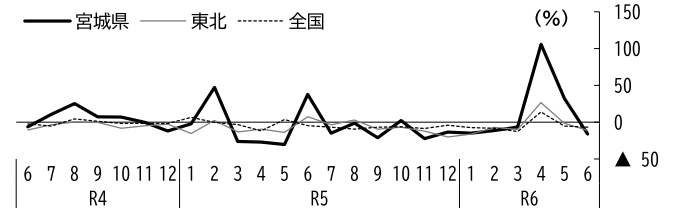
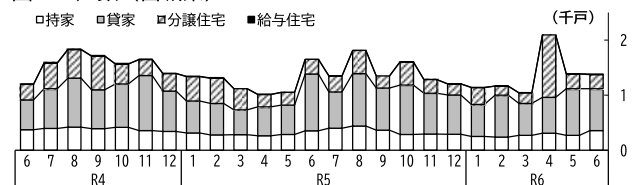


図4:戸数(宮城県)



### 3 公共投資

#### ○ 公共工事請負金額

7月の公共工事請負金額は288億27百万円で、前年同月比0.2%増加し、3か月連続の増加となった(図5、6)。

発注者別に前年同月比をみると、国は56.9%増加し、3か月連続の増加となった。都道府県は35.9%増加し、3か月ぶりの増加となった。市町村は9.8%減少し、4か月ぶりの減少となった。その他\*(独立行政法人等、地方公社、その他)は59.4%減少し、2か月ぶりの減少となった。

※「その他」は、県が算出。

(資料:東日本建設業保証(株))

→ 数値データは18、19ページに掲載

図5:前年同月比

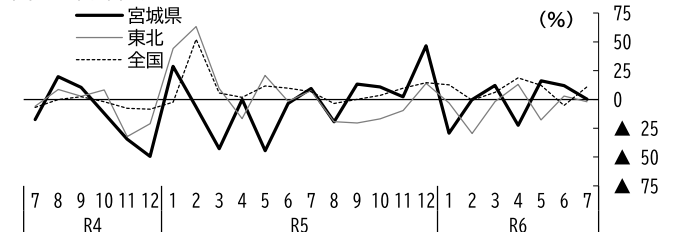
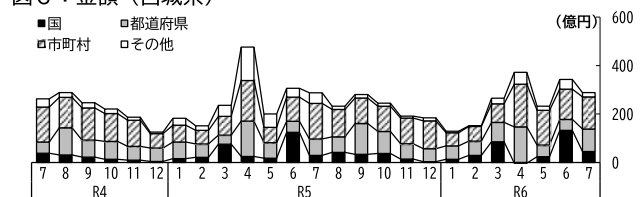


図6:金額(宮城県)



## 4 個人消費

### (1) 百貨店・スーパー販売額

6月の百貨店・スーパー販売額は341億円で、全店舗比較では前年同月比2.0%増加し、2か月連続の増加となった(図7、8)。既存店比較は2.4%増加し、2か月連続の増加となった。

(資料:経済産業省)

→ 数値データは19~22ページに掲載

図7:前年同月比(全店舗、百貨店・スーパー計)

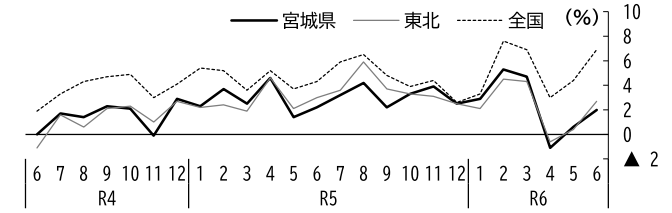
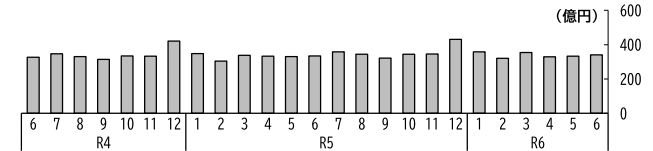


図8:金額(宮城県)



### (2) コンビニエンスストア販売額

6月のコンビニエンスストア販売額は204億円で、前年同月比0.0%減少し、4か月連続の減少となった(図9、10)。

(資料:経済産業省)

→ 数値データは20~22ページに掲載

図9:前年同月比

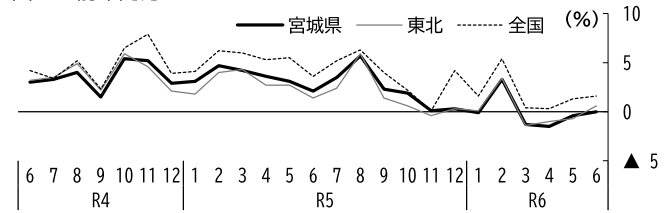
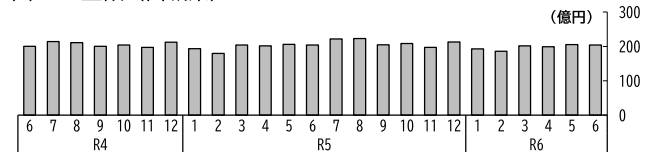


図10:金額(宮城県)



### (3) 家電大型専門店販売額

6月の家電大型専門店販売額は61億円で、前年同月比0.2%増加し、5か月連続の増加となった(図11、12)。

(資料:経済産業省)

→ 数値データは20~22ページに掲載

図11:前年同月比

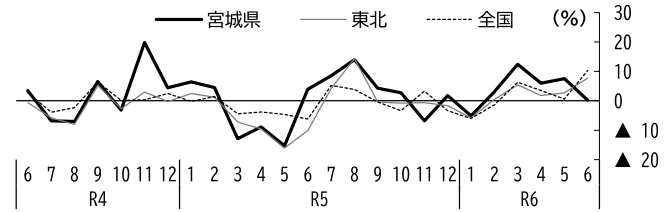
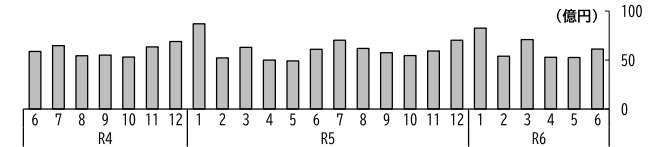


図12:金額(宮城県)



#### (4) ドラッグストア販売額

6月のドラッグストア販売額は156億円で、前年同月比7.5%増加し、39か月連続の増加となった(図13、14)。

(資料:経済産業省)

→ 数値データは20~22ページに掲載

図13:前年同月比

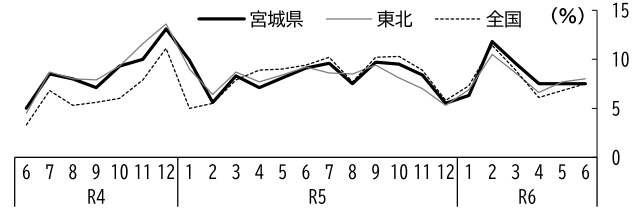
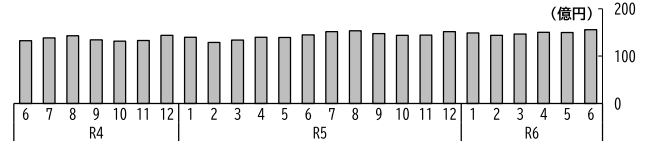


図14:金額(宮城県)



#### (5) ホームセンター販売額

6月のホームセンター販売額は60億円で、前年同月比3.4%増加し、4か月ぶりの増加となった(図15、16)。

(資料:経済産業省)

→ 数値データは20~22ページに掲載

図15:前年同月比

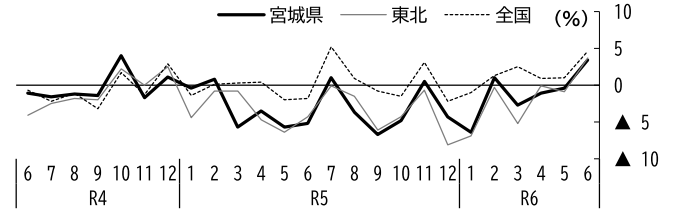
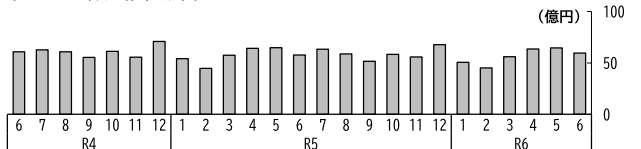


図16:金額(宮城県)



#### (6) 百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額計(参考値\*)

6月の百貨店・スーパー及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額計(参考値)は821億円で、前年同月比2.4%増加し、28か月連続の増加となった(図17、18)。

※4(1)~(5)各公表値(端数調整済)を県が合算。

図17:前年同月比

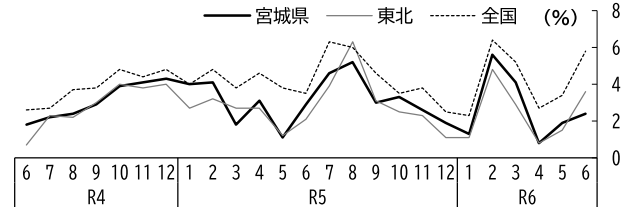
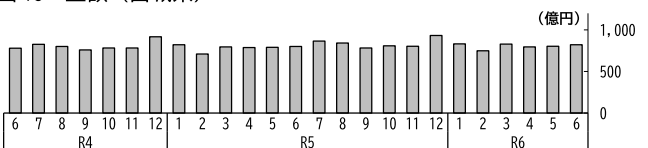


図18:金額(宮城県)



#### (7) 乗用車新車登録及び届出台数

7月の乗用車新車登録及び届出台数(普通乗用車、小型乗用車、軽乗用自動車の合計)は6,124台で、前年同月比6.1%増加し、7か月ぶりの増加となった(図19、20)。

車種別に前年同月比をみると、普通車は7.4%増加し、2か月ぶりの増加となった。小型車は0.7%減少し、7か月連続の減少となった。軽自動車は10.9%増加し、7か月ぶりの増加となった。

(資料:東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

→ 数値データは23~26ページに掲載

図19:前年同月比(普通車、小型車、軽自動車)

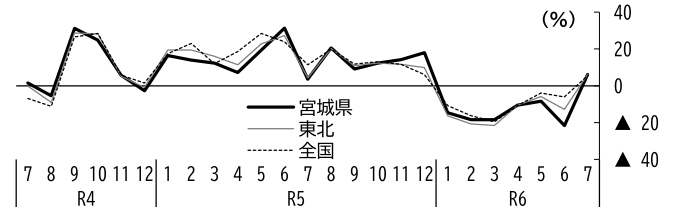
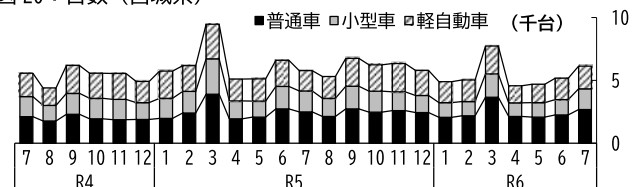


図20:台数(宮城県)



## (8) 物価

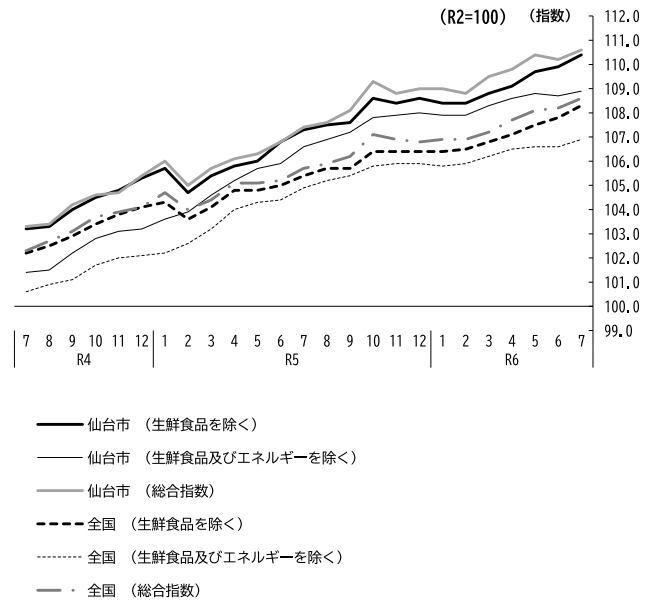
7月の仙台市消費者物価指数を前月比で見ると、生鮮食品を除く総合指数(令和2年=100)は110.4で、前月比0.5%上昇した。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数(同)は108.9で、前月比0.2%上昇した。総合指数(同)は110.6で、前月比0.3%上昇した。(図21)。

前年同月比で見ると、生鮮食品を除く総合指数(同)は2.8%上昇し、37か月連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数(同)は2.1%上昇し、28か月連続の上昇となった。総合指数(同)は3.0%上昇し、35か月連続の上昇となった。

(資料:県統計課)

→ 数値データは27、28ページに掲載

図21:消費者物価指数



## 5 雇 用

### (1) 求人倍率

6月の有効求人倍率(季節調整値、新規学卒者除きパートタイム含む)は1.22倍で、前月を0.02ポイント下回り、3か月連続の低下となった(図22)。新規求人倍率(同)は1.96倍で、前月と同水準となった(図23)。

有効求人数及び新規求人数(原数値、新規学卒者除きパートタイム含む)は、有効は前年同月比9.5%減少し13か月連続の減少となった。新規は前年同月比13.9%減少し、9か月連続の減少となった。

新規求人数(原数値・前年同月比)を産業別にみると、「情報通信業」、「学術研究、専門・技術サービス業」で増加となった。一方で、「サービス業」、「建設業」、「医療、福祉」などで減少となった。

(資料:宮城労働局)

→ 数値データは29、30ページに掲載

図22:有効求人倍率(季節調整済)

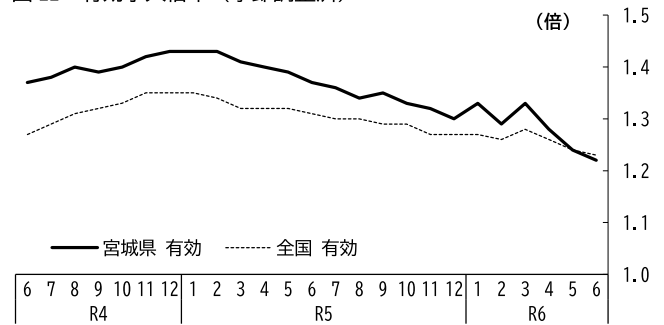
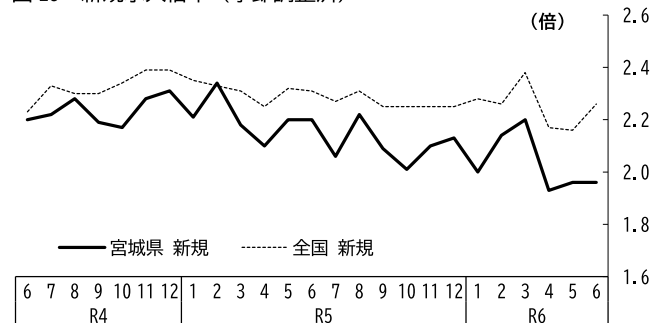


図23:新規求人倍率(季節調整済)



## (2) 所定外労働時間

6月の所定外労働時間(製造業、事業所規模 30人以上、1人平均月間)は13.2時間で、前年同月比(指数、令和2年=100)が9.6%減少し、4か月ぶりの減少となった(図24、25)。

(資料:県統計課)

→ 数値データは31ページに掲載

図24:前年同月比(製造業・30人以上、指数(R2=100))

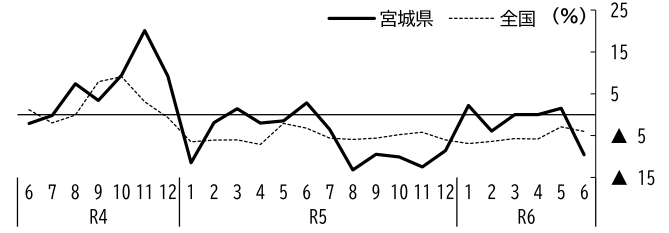
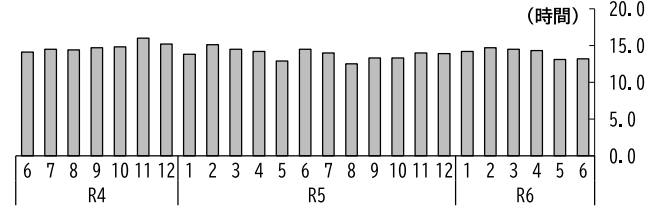


図25:時間数(宮城県、製造業・30人以上)



## (3) 実質賃金指数

6月の実質賃金指数(令和2年=100、現金給与総額、製造業、事業所規模30人以上)は148.3で、前年同月比が0.7%上昇し、7か月連続の上昇となった(図26、27)。

(資料:県統計課)

→ 数値データは31ページに掲載

図26:前年同月比(製造業・30人以上、指数(R2=100))

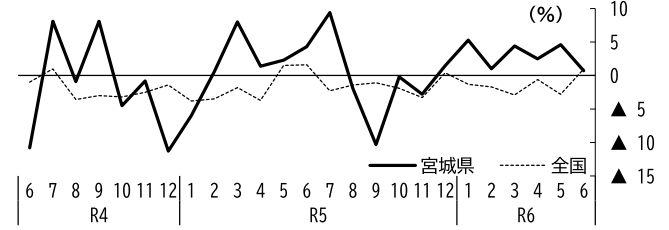
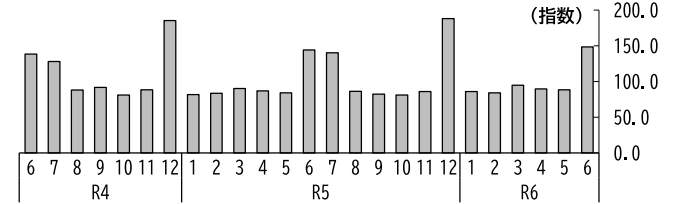


図27:指数(宮城県、製造業・30人以上)



## (4) 雇用保険受給者実人員

6月の雇用保険受給者実人員は8,594人で、前年同月比1.5%増加し、14か月連続の増加となった(図28、29)。

(資料:宮城労働局)

→ 数値データは31ページに掲載

図28:前年同月比

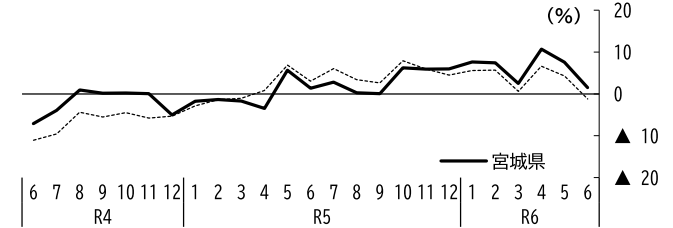
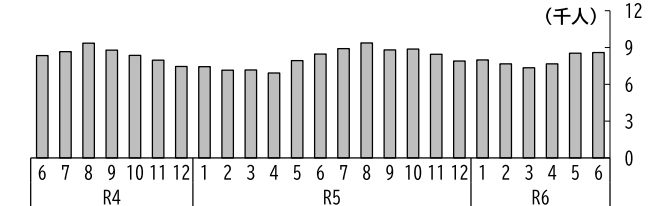


図29:人数(宮城県)



## 6 企業倒産

7月の企業倒産(負債総額1,000万円以上)は14件で、前年同月比27.3%増加し、2か月ぶりの増加となった(図30)。負債総額は20億54百万円で、前年同月比41.8%減少し、8か月ぶりの減少となった(図31)。

大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

不況型倒産(販売不振、売掛金回収困難、既往のシワ寄せ(赤字累積))の件数は11件となり、全体に占める構成比は78.6%となった。

(資料:株東京商工リサーチ)  
→ 数値データは32ページに掲載

図30:前年同月比(件数)

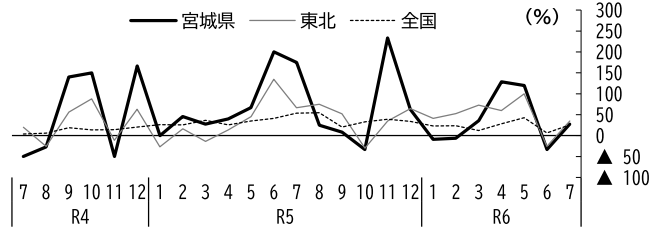
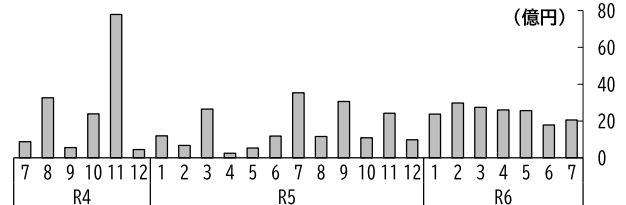
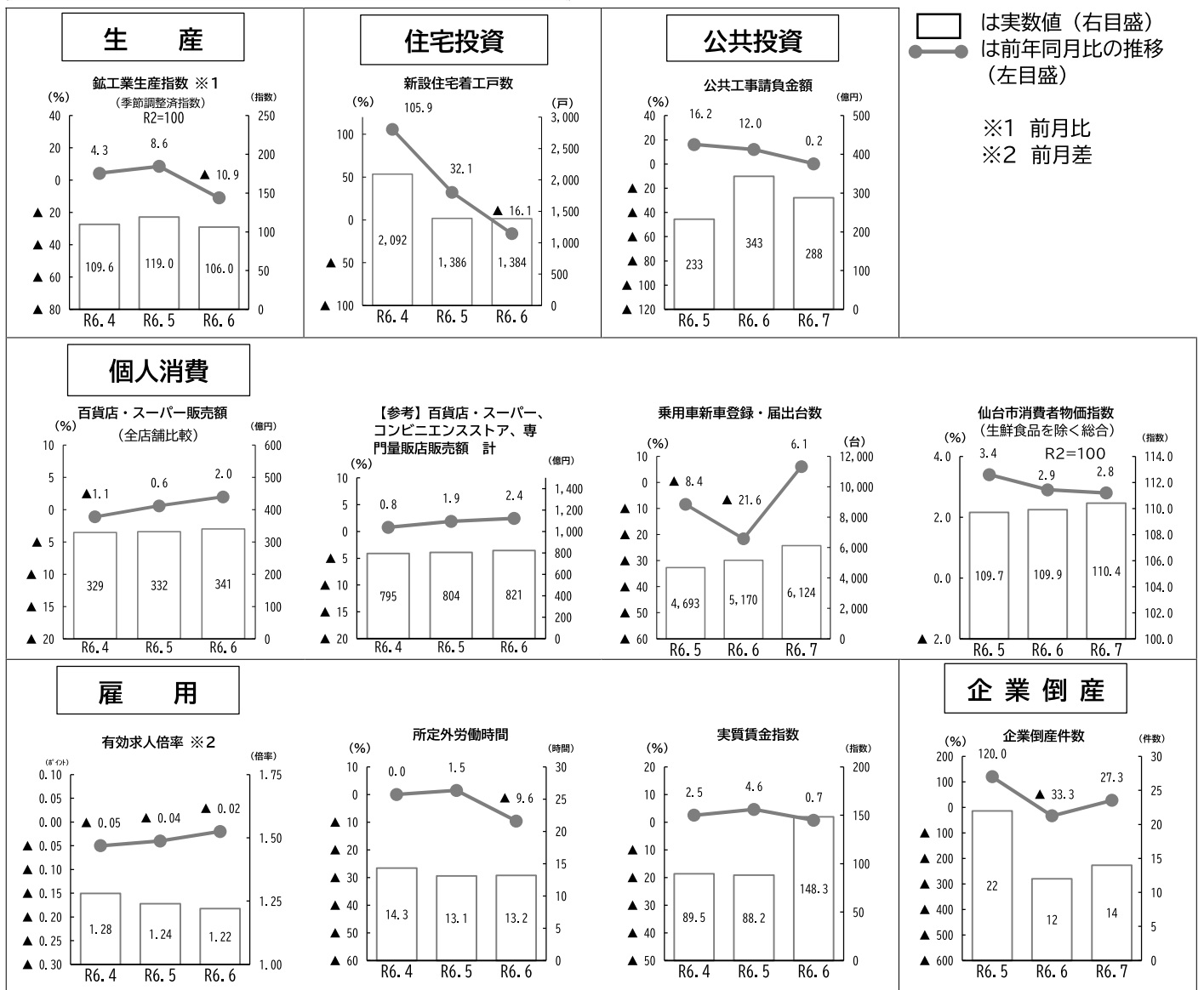


図31:負債総額



### 直近3か月の経済動向(前年同月比の動き)



## IV 全国・東北等の景況

### 1 全国の景況

月例経済報告（内閣府） 8月29日

[ <https://www.cao.go.jp/> ]

景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、このところ持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

経済・物価情勢の展望 ―展望レポート― 基本的見解（日本銀行） 7月31日

[ <https://www.boj.or.jp/> ]

わが国の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。海外経済は、総じてみれば緩やかに成長している。輸出や鉱工業生産は横ばい圏内の動きとなっている。企業収益は改善しており、業況感は良好な水準を維持している。こうしたもとの、設備投資は緩やかな増加傾向にある。雇用・所得環境は緩やかに改善している。個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、底堅く推移している。住宅投資は弱めの動きとなっている。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。わが国の金融環境は、緩和した状態にある。物価面では、消費者物価（除く生鮮食品）の前年比をみると、既往の輸入物価上昇を起点とする価格転嫁の影響は減衰してきているものの、賃金上昇等を受けたサービス価格の緩やかな上昇が続くもとの、足もとは2%台半ばとなっている。予想物価上昇率は、緩やかに上昇している。

## 2 東北の景況

管内（東北6県）の経済動向（東北経済産業局） 8月22日

[ <https://www.tohoku.meti.go.jp/> ]

緩やかに持ち直している

- ・鉱工業生産：持ち直しの動きがみられる
- ・個人消費：改善の動きがみられる(↑)
- ・住宅着工：2か月連続で前年同月を下回った
- ・公共投資：2か月ぶりに前年同月を上回った
- ・設備投資：前年度を上回る見込み
- ・雇用：有効求人倍率は前月と比べ低下
- ・企業倒産：倒産件数は8か月ぶりに前年同月を下回った

(※前月と基調判断に変更がある場合は矢印で上下を示している。)

経済の動き（日本銀行仙台支店） 7月24日

[ <https://www3.boj.or.jp/sendai/> ]

東北地域の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回っている。



### 3 宮城県の景況

県内経済の基調判断（七十七リサーチ&コンサルティング株式会社） 8月6日

[ <https://www.77rc.co.jp/> ]

#### 総括判断

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

#### 概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

この間、企業の景況感は総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる。

## 【 用 語 解 説 】

- 指 数：ある統計データについて、100 又は 1 を基準とした数値で表し、時間的な変化や比率などをわかりやすくしたもの。

(例)りんごの価格の指数を求めてみます。基準年を令和2年とした場合、令和2年のりんごの価格指数は 100 となります( $R2=100$ )。りんごの令和2年の平均価格が 30 円で、今月の価格が 31 円だった場合、今月のりんごの価格の指数は、 $30 \text{ 円} = 100$  なので、比例計算で以下のとおり 103.3 となります。

$$(\text{りんごの価格指数}) \quad 31 \text{ 円} \div 30 \text{ 円} \times 100 = 103.3$$

- 季節調整：経済に関する時系列データについて、真の変動を把握するため、元データから季節による変動分(季節変動<sup>\*</sup>)を取り除くこと。

※ 季節変動(季節性)の例

- ・ 夏にかき氷の販売が増える。
- ・ 冬にストーブの販売が増える。
- ・ 決算対策のため中間決算や決算の時期に生産や販売が増加する。

- 前月(期)比：前月(期)からの変化率。

$$\text{前月(期)比} = \frac{\text{当月(期)の値} - \text{前月(期)の値}}{\text{前月(期)の値}}$$

\* 足元の動きを見るための目安になります。季節変動のあるデータについては季節調整済の値により比較します。

- 前年同月(期)比：前年の同じ月(期)からの変化率。

$$\text{前年同月(期)比} = \frac{\text{当月(期)の値} - \text{前年の同じ月(期)の値}}{\text{前年の同じ月(期)の値}}$$

\* 季節変動があるため単純に前月(期)と比較することができないものについては、前年の同じ月(期)と比較することで、季節的な要因を考慮せずに変化の方向性が見やすくなります。ただし、大規模災害など前年に特別な出来事の発生により大きく増減した場合には、その反動により当月(期)も大きく増減するので注意が必要です。

## V 主要経済指標

### 目次

<b>1 生産</b>	
鉱工業生産指数	13
<b>2 設備投資</b>	
機械受注額	15
<b>3 建設</b>	
(1)新設住宅着工戸数	16
(2)公共工事請負金額	18
<b>4 個人消費</b>	
(1)百貨店・スーパー販売額、 【参考】コンビニエンスストア、 専門量販店販売額	19
(2)乗用車新車登録台数 及び軽自動車新規届出台数	23
<b>5 物価</b>	
(1)国内企業物価指数	27
(2)消費者物価指数	27
<b>6 金融</b>	
(1)貸出約定平均金利	28
(2)短期・長期プライムレート	28
<b>7 雇用</b>	
(1)有効求人倍率	29
(2)新規求人倍率	30
(3)所定外労働時間	30
(4)実質賃金指数	30
(5)雇用保険受給者実人員	30
<b>8 企業倒産</b>	
(1)企業倒産件数	32
(2)負債総額	32
<b>9 市場</b>	
(1)株式	33
(2)円相場	33
<b>10 輸出入通関実績</b>	33

#### (数値変更等、留意事項について)

○掲載指標中、季節調整済みの数値については、直近の季節変動のパターンを反映させるために定期的に再計算が行われており、その結果、過去に遡り数値が変更される場合があります。その他の数値についても基準改定や年間補正等により、過去の数値が変更される場合があります。

○季節調整済みの数値を掲載している指標については、月(四半期)値が季節調整済みの値、年値については原数値を掲載しています。

○鉱工業生産指数については、全国値が令和5年6月、東北値が令和6年5月、宮城県値が令和6年7月に令和2年基準へ改定されております。

○百貨店・スーパー販売額、及びコンビニエンスストア、専門量販店販売額は、統計の見直し等に伴い不連続が生じる場合があります。補正等の対象期間とそれ以前の前年同月(期)比については、販売額にリンク係数を乗じて処理した値から算出されております。詳しくは以下のホームページを参照願います。

- ・東北経済産業局「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」  
(<https://www.tohoku.meti.go.jp/cyosa/tokei/ogata.html>)
- ・経済産業省「商業動態統計」(調査の結果)  
(<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syoudou/>)

		生 産											
		鉱工業生産指数（季節調整済）（注1）											
		宮 城 県（令和2年=100）											
		鉱工業	業 種 別									汎用・生産用・業務用機械工業	
電子部品・デバイス工業			食料品工業			ウエイト							
	前 月 （期） 比	前年同月 （期） 比	ウエイト 1461.2	前 月 （期） 比	前年同月 （期） 比	ウエイト 2022.1	前 月 （期） 比	前年同月 （期） 比	ウエイト 1015.8	前 月 （期） 比	前年同月 （期） 比		
令和元年	107.3	—	▲ 5.7	106.8	—	▲ 12.6	97.4	—	1.2	89.6	—	▲ 15.6	
2年	100.0	—	▲ 6.8	100.0	—	▲ 6.4	100.0	—	2.7	100.0	—	11.6	
3年	108.7	—	8.7	120.7	—	20.7	102.6	—	2.6	133.3	—	33.3	
4年	114.7	—	5.5	106.7	—	▲ 11.6	129.0	—	25.7	163.9	—	23.0	
5年	104.8	—	▲ 8.6	90.8	—	▲ 14.9	114.2	—	▲ 11.5	97.1	—	▲ 40.8	
4年	1～ 3月	108.9	0.5	2.7	105.2	▲ 7.4	▲ 14.1	108.1	10.6	3.9	152.3	▲ 9.3	38.3
	4～ 6月	110.9	1.8	0.8	106.7	1.4	▲ 14.8	121.7	12.6	15.2	154.1	1.2	35.5
	7～ 9月	121.3	9.4	10.6	107.5	0.7	▲ 12.6	127.5	4.8	24.6	206.8	34.2	49.5
	10～12月	117.7	▲ 3.0	7.7	108.6	1.0	▲ 4.9	154.6	21.3	57.3	138.2	▲ 33.2	▲ 22.1
5年	1～ 3月	107.3	▲ 8.8	▲ 1.3	92.2	▲ 15.1	▲ 13.3	112.9	▲ 27.0	1.1	103.0	▲ 25.5	▲ 33.3
	4～ 6月	107.7	0.4	▲ 2.7	92.5	0.3	▲ 14.0	113.1	0.2	▲ 8.7	99.6	▲ 3.3	▲ 33.6
	7～ 9月	103.7	▲ 3.7	▲ 13.6	91.3	▲ 1.3	▲ 14.6	126.2	11.6	5.9	76.9	▲ 22.8	▲ 59.1
	10～12月	99.8	▲ 3.8	▲ 15.4	87.8	▲ 3.8	▲ 17.5	101.9	▲ 19.3	▲ 34.4	92.5	20.3	▲ 28.0
6年	1～ 3月	101.4	1.6	▲ 5.9	87.3	▲ 0.6	▲ 5.1	122.6	20.3	9.2	88.3	▲ 4.5	▲ 14.9
	4～ 6月	111.5	10.0	3.4	93.0	6.5	0.0	114.0	▲ 7.0	0.8	137.6	55.8	34.7
4年	1月	109.1	▲ 5.0	1.5	111.0	▲ 2.5	▲ 12.9	105.2	5.5	4.6	152.4	▲ 11.5	29.2
	2月	108.0	▲ 1.0	2.2	107.7	▲ 3.0	▲ 8.5	108.5	3.1	5.0	120.2	▲ 21.1	6.9
	3月	109.5	1.4	4.2	96.8	▲ 10.1	▲ 20.1	110.6	1.9	2.3	184.3	53.3	73.1
	4月	108.7	▲ 0.7	▲ 1.0	105.9	9.4	▲ 16.7	114.4	3.4	3.8	158.5	▲ 14.0	82.3
	5月	111.5	2.6	6.4	107.0	1.0	▲ 11.7	123.5	8.0	17.9	141.7	▲ 10.6	55.0
	6月	112.4	0.8	▲ 2.5	107.3	0.3	▲ 15.4	127.1	2.9	23.9	162.0	14.3	5.4
	7月	115.5	2.8	0.4	107.0	▲ 0.3	▲ 16.6	108.8	▲ 14.4	1.6	175.5	8.3	42.2
	8月	119.6	3.5	7.5	110.9	3.6	▲ 6.4	114.5	5.2	5.2	209.1	19.1	43.0
	9月	128.7	7.6	23.6	104.7	▲ 5.6	▲ 14.0	159.2	39.0	70.0	235.7	12.7	60.8
	10月	122.9	▲ 4.5	18.1	108.7	3.8	▲ 5.7	172.8	8.5	79.8	142.2	▲ 39.7	▲ 18.3
	11月	121.6	▲ 1.1	14.1	110.3	1.5	▲ 0.4	183.0	5.9	88.7	147.0	3.4	▲ 13.9
	12月	108.7	▲ 10.6	▲ 7.0	106.7	▲ 3.3	▲ 8.3	108.0	▲ 41.0	6.2	125.4	▲ 14.7	▲ 30.6
5年	1月	102.3	▲ 5.9	▲ 6.2	90.4	▲ 15.3	▲ 16.4	110.7	2.5	1.4	86.6	▲ 30.9	▲ 51.2
	2月	109.1	6.6	1.9	93.7	3.7	▲ 14.8	113.4	2.4	1.5	109.9	26.9	▲ 8.3
	3月	110.4	1.2	0.1	92.6	▲ 1.2	▲ 8.5	114.7	1.1	0.5	112.5	2.4	▲ 35.3
	4月	109.6	▲ 0.7	0.5	95.0	2.6	▲ 12.2	110.9	▲ 3.3	▲ 4.3	106.2	▲ 5.6	▲ 27.3
	5月	106.8	▲ 2.6	▲ 3.8	90.0	▲ 5.3	▲ 15.9	119.8	8.0	▲ 2.0	92.5	▲ 12.9	▲ 43.0
	6月	106.6	▲ 0.2	▲ 4.7	92.6	2.9	▲ 14.0	108.7	▲ 9.3	▲ 18.2	100.1	8.2	▲ 31.1
	7月	105.2	▲ 1.3	▲ 8.0	92.2	▲ 0.4	▲ 13.3	129.4	19.0	26.8	76.9	▲ 23.2	▲ 57.5
	8月	98.2	▲ 6.7	▲ 19.3	91.4	▲ 0.9	▲ 16.1	110.5	▲ 14.6	▲ 1.3	68.7	▲ 10.7	▲ 71.7
	9月	107.8	9.8	▲ 13.5	90.3	▲ 1.2	▲ 14.6	138.6	25.4	▲ 4.1	85.1	23.9	▲ 50.4
	10月	96.4	▲ 10.6	▲ 21.9	87.4	▲ 3.2	▲ 16.8	99.7	▲ 28.1	▲ 43.6	72.0	▲ 15.4	▲ 55.9
	11月	98.9	2.6	▲ 19.2	88.4	1.1	▲ 18.8	100.6	0.9	▲ 45.2	86.0	19.4	▲ 41.8
	12月	104.2	5.4	▲ 4.1	87.6	▲ 0.9	▲ 16.9	105.4	4.8	▲ 1.5	119.5	39.0	4.3
6年	1月	94.9	▲ 8.9	▲ 5.7	80.3	▲ 8.3	▲ 9.4	121.8	15.6	9.8	81.1	▲ 32.1	▲ 4.5
	2月	104.1	9.7	▲ 3.9	89.2	11.1	▲ 2.3	127.5	4.7	14.5	69.5	▲ 14.3	▲ 37.8
	3月	105.1	1.0	▲ 7.7	92.5	3.7	▲ 4.0	118.6	▲ 7.0	3.9	114.2	64.3	▲ 2.6
	4月	109.6	4.3	1.7	82.1	▲ 11.2	▲ 10.0	118.3	▲ 0.3	4.6	148.9	30.4	27.3
	5月	119.0	8.6	13.1	104.8	27.6	16.3	116.0	▲ 1.9	▲ 1.8	154.4	3.7	91.4
	6月	106.0	▲ 10.9	▲ 3.6	92.0	▲ 12.2	▲ 4.6	107.8	▲ 7.1	▲ 0.3	109.6	▲ 29.0	5.0

資料出所 県統計課「宮城県鉱工業生産指数」

（注1） 前期（月）比は季節調整済指数、前年同期（月）比は原指数による。最新月数値は速報値（ただし全国は確報値）。

生 産												
鉱工業生産指数(季節調整済)												
宮 城 (令和2年=100)												
業 種 別												
輸送機械工業			パルプ・紙・紙加工品工業			化学、石油・石炭製品工業			金属製品工業			
ウェイト 1121.8	前 月 (期) 比	前年同月 (期) 比	ウェイト 549.1	前 月 (期) 比	前年同月 (期) 比	ウェイト 737.0	前 月 (期) 比	前年同月 (期) 比	ウェイト 510.6	前 月 (期) 比	前年同月 (期) 比	
124.3	-	▲ 0.8	115.7	-	▲ 0.7	116.1	-	2.6	112.5	-	▲ 2.8	令和元年 2年 3年 4年 5年
100.0	-	▲ 19.5	100.0	-	▲ 13.6	100.0	-	▲ 13.9	100.0	-	▲ 11.1	
119.9	-	19.9	96.0	-	▲ 4.0	84.3	-	▲ 15.7	103.2	-	3.2	
112.2	-	▲ 6.4	93.6	-	▲ 2.5	94.6	-	12.2	106.0	-	2.7	
140.2	-	25.0	87.4	-	▲ 6.6	100.3	-	6.0	99.1	-	▲ 6.5	
95.2	▲ 4.5	▲ 29.1	98.9	▲ 2.2	20.2	98.6	▲ 1.2	62.2	103.7	▲ 1.9	4.1	4年 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月
104.8	10.1	▲ 19.4	99.6	0.7	3.4	69.6	▲ 29.4	▲ 17.0	106.5	2.7	2.3	
118.0	12.6	2.9	88.9	▲ 10.7	▲ 13.1	120.6	73.3	15.4	110.0	3.3	8.2	
127.8	8.3	28.6	85.8	▲ 3.5	▲ 14.5	95.1	▲ 21.1	▲ 2.0	104.5	▲ 5.0	▲ 2.9	
130.8	2.3	34.2	94.7	10.4	▲ 3.2	116.4	22.4	22.8	101.4	▲ 3.0	▲ 1.6	5年 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月
154.2	17.9	53.5	92.4	▲ 2.4	▲ 4.8	92.5	▲ 20.5	46.6	98.8	▲ 2.6	▲ 6.3	
138.4	▲ 10.2	14.6	82.0	▲ 11.3	▲ 9.0	88.9	▲ 3.9	▲ 25.0	97.0	▲ 1.8	▲ 12.3	
139.3	0.7	7.5	79.6	▲ 2.9	▲ 10.1	98.6	10.9	0.3	98.7	1.8	▲ 5.3	
119.4	▲ 14.3	▲ 14.7	84.5	6.2	▲ 9.9	114.4	16.0	▲ 0.5	95.0	▲ 3.7	▲ 7.7	6年 1~3月 4~6月
133.7	12.0	▲ 13.4	88.5	4.7	▲ 4.8	155.3	35.8	57.6	94.5	▲ 0.5	▲ 4.2	
86.7	▲ 35.4	▲ 39.5	98.9	▲ 0.3	▲ 1.2	107.7	9.6	44.3	106.6	1.8	11.9	4年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
95.3	9.9	▲ 28.3	112.4	13.7	87.7	107.2	▲ 0.5	70.8	105.7	▲ 0.8	8.4	
103.7	8.8	▲ 21.4	85.3	▲ 24.1	2.6	81.0	▲ 24.4	85.5	98.7	▲ 6.6	▲ 5.7	
107.4	3.6	▲ 19.3	91.0	6.7	▲ 3.3	53.1	▲ 34.4	▲ 30.3	105.8	7.2	▲ 3.1	
128.6	19.7	2.8	121.8	33.8	25.3	55.6	4.7	▲ 26.3	105.4	▲ 0.4	5.6	
78.5	▲ 39.0	▲ 40.2	85.9	▲ 29.5	▲ 17.2	100.2	80.2	10.2	108.4	2.8	4.5	
112.0	42.7	▲ 27.2	86.4	0.6	▲ 14.5	165.2	64.9	92.2	114.2	5.4	11.1	
117.4	4.8	▲ 1.3	93.6	8.3	▲ 10.8	113.2	▲ 31.5	16.3	108.5	▲ 5.0	7.5	
124.5	6.0	60.3	86.8	▲ 7.3	▲ 14.0	83.3	▲ 26.4	▲ 15.3	107.2	▲ 1.2	5.7	
133.1	6.9	86.5	87.2	0.5	▲ 10.5	93.5	12.2	▲ 5.7	103.5	▲ 3.5	▲ 4.7	
117.7	▲ 11.6	26.3	84.1	▲ 3.6	▲ 22.8	97.1	3.9	1.3	104.7	1.2	▲ 1.7	
132.5	12.6	▲ 1.4	86.1	2.4	▲ 11.1	94.6	▲ 2.6	▲ 1.8	105.3	0.6	▲ 2.3	
132.7	0.2	56.9	90.2	4.8	▲ 13.2	101.4	7.2	▲ 1.9	99.9	▲ 5.1	▲ 7.2	5年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
132.7	0.0	34.7	92.8	2.9	▲ 17.8	117.3	15.7	11.9	103.1	3.2	0.7	
127.1	▲ 4.2	19.6	101.0	8.8	34.1	130.4	11.2	79.0	101.1	▲ 1.9	2.1	
143.2	12.7	27.4	95.1	▲ 5.8	9.5	118.2	▲ 9.4	134.5	102.6	1.5	▲ 0.6	
147.9	3.3	23.2	97.7	2.7	▲ 16.0	92.2	▲ 22.0	62.3	103.5	0.9	1.1	
171.5	16.0	144.8	84.4	▲ 13.6	▲ 4.6	67.0	▲ 27.3	▲ 33.1	90.4	▲ 12.7	▲ 17.3	
142.8	▲ 16.7	27.7	80.2	▲ 5.0	▲ 11.3	88.1	31.5	▲ 50.9	95.5	5.6	▲ 17.3	
131.4	▲ 8.0	10.3	84.9	5.9	▲ 8.1	88.4	0.3	▲ 22.2	97.5	2.1	▲ 10.2	
140.9	7.2	7.5	81.0	▲ 4.6	▲ 7.7	90.1	1.9	▲ 5.0	98.0	0.5	▲ 8.9	
134.3	▲ 4.7	1.5	80.5	▲ 0.6	▲ 11.8	90.8	0.8	▲ 7.3	95.8	▲ 2.2	▲ 6.4	
147.4	9.8	25.8	77.2	▲ 4.1	▲ 12.5	101.6	11.9	1.9	100.0	4.4	▲ 3.5	
136.3	▲ 7.5	▲ 2.8	81.2	5.2	▲ 6.9	103.4	1.8	5.8	100.2	0.2	▲ 6.4	
101.4	▲ 25.6	▲ 21.7	82.7	1.8	▲ 9.9	109.0	5.4	7.6	95.8	▲ 4.4	▲ 1.2	6年 1月 2月 3月 4月 5月 6月
152.0	49.9	▲ 1.6	93.3	12.8	2.1	112.5	3.2	▲ 1.6	95.6	▲ 0.2	▲ 8.8	
104.9	▲ 31.0	▲ 21.5	77.6	▲ 16.8	▲ 20.5	121.8	8.3	▲ 6.7	93.5	▲ 2.2	▲ 12.7	
130.7	24.6	▲ 1.5	93.8	20.9	▲ 4.8	123.6	1.5	9.1	95.4	2.0	▲ 4.4	
156.6	19.8	3.2	91.2	▲ 2.8	▲ 6.7	159.1	28.7	65.4	93.2	▲ 2.3	▲ 7.2	
113.9	▲ 27.3	▲ 36.8	80.5	▲ 11.7	▲ 1.3	183.2	15.1	173.2	94.8	1.7	▲ 1.1	

県 統 計 課 「 宮 城 県 鉱 工 業 生 産 指 数 」

資 料 出 所

	生 産										設 備 投 資		
	鋳 工 業 生 産 指 数 ( 季 節 調 整 済 )										機 械 受 注 額 ( 季 節 調 整 値 ) ( 注 2 )		
	東 北 ( 令 和 2 年 = 100 )					全 国 ( 令 和 2 年 = 100 )					全 国 ( 億 円 )		
	鋳工業			( 参 考 掲 載 ) 業 種 別			鋳工業						
				輸 送 機 械 工 業									
前 月 ( 期 ) 比	前 年 同 月 ( 期 ) 比	ウ ェ イ ト 741.5	前 月 ( 期 ) 比	前 年 同 月 ( 期 ) 比	前 月 ( 期 ) 比	前 年 同 月 ( 期 ) 比	前 月 ( 期 ) 比	前 年 同 月 ( 期 ) 比	前 月 ( 期 ) 比	前 年 同 月 ( 期 ) 比			
令和元年	107.1	—	▲ 2.3	112.3	—	0.4	111.6	—	▲ 2.6	104,323	—	▲ 0.7	
2年	100.0	—	▲ 6.6	100.0	—	▲ 11.0	100.0	—	▲ 10.4	95,570	—	▲ 8.4	
3年	108.2	—	8.2	105.0	—	5.0	105.4	—	5.4	102,086	—	6.8	
4年	109.6	—	1.3	99.6	—	▲ 5.1	105.3	—	▲ 0.1	107,418	—	5.2	
5年	105.0	—	▲ 4.2	121.4	—	21.9	103.9	—	▲ 1.3	103,550	—	▲ 3.6	
4年 1~3月	106.9	▲ 3.3	1.0	86.6	▲ 10.7	▲ 23.3	105.4	0.8	▲ 0.8	25,923	▲ 3.2	6.1	
4~6月	108.3	1.3	0.9	95.3	10.0	▲ 13.4	103.9	▲ 1.4	▲ 3.4	27,708	6.9	10.8	
7~9月	113.9	5.2	5.3	102.5	7.6	1.6	107.1	3.1	4.0	27,357	▲ 1.3	7.9	
10~12月	109.4	▲ 4.0	▲ 1.8	113.3	10.5	16.8	105.3	▲ 1.7	▲ 0.2	26,061	▲ 4.7	▲ 3.6	
5年 1~3月	107.6	▲ 1.6	1.3	115.8	2.2	34.7	103.5	▲ 1.7	▲ 1.3	26,586	2.0	1.8	
4~6月	107.5	▲ 0.1	▲ 0.4	141.8	22.5	48.5	104.8	1.3	0.9	25,822	▲ 2.9	▲ 6.7	
7~9月	101.9	▲ 5.2	▲ 10.6	113.3	▲ 20.1	9.1	103.3	▲ 1.4	▲ 3.9	25,458	▲ 1.4	▲ 7.2	
10~12月	102.7	0.8	▲ 6.1	118.7	4.8	4.9	104.4	1.1	▲ 0.7	25,133	▲ 1.3	▲ 2.5	
6年 1~3月	105.0	2.2	▲ 3.3	101.9	▲ 14.2	▲ 12.6	99.0	▲ 5.2	▲ 4.0	26,236	4.4	▲ 2.0	
4~6月	112.3	7.0	4.3	127.9	25.5	▲ 9.7	101.7	2.7	▲ 2.9	26,202	▲ 0.1	2.7	
4年 1月	108.5	▲ 4.7	0.2	84.4	▲ 32.7	▲ 27.3	104.6	▲ 0.8	▲ 0.7	8,923	▲ 2.8	5.1	
2月	106.1	▲ 2.2	2.0	85.3	1.1	▲ 23.7	106.0	1.3	0.0	8,207	▲ 8.0	4.3	
3月	106.0	▲ 0.1	0.5	90.1	5.6	▲ 19.8	105.7	▲ 0.3	▲ 1.6	8,793	7.1	7.6	
4月	108.7	2.5	0.7	94.3	4.7	▲ 22.5	105.3	▲ 0.4	▲ 4.7	9,401	6.9	19.0	
5月	105.8	▲ 2.7	4.2	101.1	7.2	▲ 1.6	100.7	▲ 4.4	▲ 2.7	9,113	▲ 3.1	7.4	
6月	110.4	4.3	▲ 1.6	90.6	▲ 10.4	▲ 13.0	105.7	5.0	▲ 3.0	9,194	0.9	6.5	
7月	112.7	2.1	3.1	98.9	9.2	▲ 22.1	106.3	0.6	▲ 1.8	9,485	3.2	12.8	
8月	114.2	1.3	5.1	101.7	2.8	▲ 6.3	107.8	1.4	5.7	9,094	▲ 4.1	9.7	
9月	114.9	0.6	7.6	106.9	5.1	51.5	107.3	▲ 0.5	8.7	8,778	▲ 3.5	2.9	
10月	109.4	▲ 4.8	▲ 0.1	115.7	8.2	57.1	105.5	▲ 1.7	3.1	9,049	3.1	0.4	
11月	109.9	0.5	0.6	106.3	▲ 8.1	16.4	105.5	0.0	▲ 1.4	8,502	▲ 6.0	▲ 3.7	
12月	108.8	▲ 1.0	▲ 5.7	117.9	10.9	▲ 6.9	104.9	▲ 0.6	▲ 2.2	8,510	0.1	▲ 6.6	
5年 1月	105.1	▲ 3.4	▲ 2.9	108.5	▲ 8.0	33.1	101.1	▲ 3.6	▲ 3.0	9,201	8.1	4.5	
2月	107.2	2.0	2.2	119.7	10.3	39.2	104.5	3.4	▲ 0.5	8,810	▲ 4.3	9.8	
3月	110.6	3.2	4.4	119.1	▲ 0.5	32.2	104.9	0.4	▲ 0.8	8,574	▲ 2.7	▲ 3.5	
4月	110.0	▲ 0.5	1.0	136.6	14.7	39.9	105.2	0.3	▲ 0.8	8,853	3.2	▲ 5.9	
5月	105.8	▲ 3.8	1.3	133.9	▲ 2.0	36.1	104.1	▲ 1.0	4.1	8,395	▲ 5.2	▲ 8.7	
6月	106.8	0.9	▲ 3.3	154.8	15.6	70.8	105.0	0.9	▲ 0.1	8,574	2.1	▲ 5.8	
7月	102.6	▲ 3.9	▲ 9.0	114.0	▲ 26.4	15.3	103.5	▲ 1.4	▲ 2.6	8,463	▲ 1.3	▲ 13.0	
8月	101.4	▲ 1.2	▲ 11.2	110.1	▲ 3.4	8.3	103.1	▲ 0.4	▲ 4.7	8,447	▲ 0.2	▲ 7.7	
9月	101.7	0.3	▲ 11.6	115.7	5.1	4.5	103.2	0.1	▲ 4.5	8,548	1.2	▲ 2.2	
10月	102.3	0.6	▲ 5.3	114.4	▲ 1.1	1.6	104.4	1.2	0.9	8,536	▲ 0.1	▲ 2.2	
11月	99.9	▲ 2.3	▲ 9.2	120.8	5.6	13.7	103.8	▲ 0.6	▲ 1.6	8,219	▲ 3.7	▲ 5.0	
12月	105.9	6.0	▲ 4.0	120.8	0.0	▲ 0.3	105.0	1.2	▲ 1.1	8,378	1.9	▲ 0.7	
6年 1月	100.0	▲ 5.6	▲ 3.6	89.5	▲ 25.9	▲ 15.2	98.0	▲ 6.7	▲ 1.5	8,238	▲ 1.7	▲ 10.9	
2月	106.2	6.2	▲ 1.6	110.8	23.8	▲ 6.0	97.4	▲ 0.6	▲ 3.9	8,868	7.7	▲ 1.8	
3月	108.7	2.4	▲ 4.3	105.4	▲ 4.9	▲ 16.2	101.7	4.4	▲ 6.2	9,130	2.9	2.7	
4月	112.1	3.1	3.5	125.2	18.8	▲ 2.5	100.8	▲ 0.9	▲ 1.8	8,863	▲ 2.9	0.7	
5月	113.7	1.4	8.6	139.4	11.3	3.3	104.4	3.6	1.1	8,578	▲ 3.2	10.8	
6月	111.0	▲ 2.4	1.3	119.2	▲ 14.5	▲ 27.1	100.0	▲ 4.2	▲ 7.9	8,761	2.1	▲ 1.7	
資 料 出 所	東北経済産業局「東北地域の鋳工業生産・出荷・在庫指数」										内閣府「機械受注統計調査報告」		

(注2) 船舶・電力を除く民需。前年同月(期)比は原系列で算定。

建設												
新設住宅着工戸数(戸)												
宮城												
合計	利用関係別											
	前年同月 (期)比	持家			貸家			給与 住宅	分譲住宅			
前年同月 (期)比		構成比	前年同月 (期)比	構成比	前年同月 (期)比	構成比	前年同月 (期)比		構成比			
17,591	▲ 10.5	5,265	▲ 10.2	29.9	7,729	▲ 16.6	43.9	75	4,522	0.8	25.7	令和元年
14,451	▲ 17.9	4,631	▲ 12.0	32.0	5,736	▲ 25.8	39.7	47	4,037	▲ 10.7	27.9	2年
16,271	12.6	5,091	9.9	31.3	6,830	19.1	42.0	48	4,302	6.6	26.4	3年
17,604	8.2	4,394	▲ 13.7	25.0	8,218	20.3	46.7	38	4,954	15.2	28.1	4年
16,079	▲ 8.7	3,849	▲ 12.4	23.9	8,413	2.4	52.3	17	3,800	▲ 23.3	23.6	5年
3,770	17.6	933	▲ 9.9	24.7	1,573	33.4	41.7	8	1,256	28.0	33.3	4年 1~3月
4,096	5.7	1,139	▲ 9.3	27.8	1,809	7.0	44.2	9	1,139	23.4	27.8	4~6月
5,128	14.2	1,206	▲ 14.4	23.5	2,320	24.1	45.2	10	1,592	32.1	31.0	7~9月
4,610	▲ 1.9	1,116	▲ 19.8	24.2	2,516	20.3	54.6	11	967	▲ 18.9	21.0	10~12月
3,765	▲ 0.1	876	▲ 6.1	23.3	1,598	1.6	42.4	11	1,280	1.9	34.0	5年 1~3月
3,714	▲ 9.3	901	▲ 20.9	24.3	2,093	15.7	56.4	3	717	▲ 37.1	19.3	4~6月
4,507	▲ 12.1	1,201	▲ 0.4	26.6	2,374	2.3	52.7	1	931	▲ 41.5	20.7	7~9月
4,093	▲ 11.2	871	▲ 22.0	21.3	2,348	▲ 6.7	57.4	2	872	▲ 9.8	21.3	10~12月
3,347	▲ 11.1	760	▲ 13.2	22.7	1,923	20.3	57.5	6	658	▲ 48.6	19.7	6年 1~3月
4,862	30.9	935	3.8	19.2	2,256	7.8	46.4	13	1,658	131.2	34.1	4~6月
891	▲ 1.8	288	▲ 9.1	32.3	339	▲ 13.1	38.0	7	257	29.8	28.8	4年 2月
1,509	18.2	318	▲ 4.2	21.1	532	32.7	35.3	1	658	21.9	43.6	3月
1,395	▲ 2.3	379	▲ 11.4	27.2	705	18.9	50.5	3	308	▲ 23.8	22.1	4月
1,504	28.5	388	▲ 11.2	25.8	562	18.1	37.4	3	551	114.4	36.6	5月
1,197	▲ 6.3	372	▲ 4.9	31.1	542	▲ 12.7	45.3	3	280	6.9	23.4	6月
1,585	10.5	396	▲ 14.3	25.0	722	47.6	45.6	3	464	▲ 3.7	29.3	7月
1,833	25.4	419	▲ 8.1	22.9	890	30.7	48.6	6	518	60.4	28.3	8月
1,710	7.2	391	▲ 20.4	22.9	708	1.1	41.4	1	610	52.5	35.7	9月
1,569	7.0	415	▲ 10.4	26.4	788	47.8	50.2	7	359	▲ 23.1	22.9	10月
1,647	▲ 0.2	358	▲ 26.6	21.7	997	24.9	60.5	2	290	▲ 19.4	17.6	11月
1,394	▲ 11.8	343	▲ 22.0	24.6	731	▲ 3.8	52.4	2	318	▲ 13.1	22.8	12月
1,339	▲ 2.3	314	▲ 4.0	23.5	580	▲ 17.4	43.3	3	442	29.6	33.0	5年 1月
1,311	47.1	278	▲ 3.5	21.2	571	68.4	43.6	8	454	76.7	34.6	2月
1,115	▲ 26.1	284	▲ 10.7	25.5	447	▲ 16.0	40.1	0	384	▲ 41.6	34.4	3月
1,016	▲ 27.2	262	▲ 30.9	25.8	527	▲ 25.2	51.9	3	224	▲ 27.3	22.0	4月
1,049	▲ 30.3	286	▲ 26.3	27.3	534	▲ 5.0	50.9	0	229	▲ 58.4	21.8	5月
1,649	37.8	353	▲ 5.1	21.4	1,032	90.4	62.6	0	264	▲ 5.7	16.0	6月
1,350	▲ 14.8	399	0.8	29.6	658	▲ 8.9	48.7	1	292	▲ 37.1	21.6	7月
1,810	▲ 1.3	438	4.5	24.2	953	7.1	52.7	0	419	▲ 19.1	23.1	8月
1,347	▲ 21.2	364	▲ 6.9	27.0	763	7.8	56.6	0	220	▲ 63.9	16.3	9月
1,605	2.3	288	▲ 30.6	17.9	894	13.5	55.7	1	422	17.5	26.3	10月
1,282	▲ 22.2	294	▲ 17.9	22.9	740	▲ 25.8	57.7	0	248	▲ 14.5	19.3	11月
1,206	▲ 13.5	289	▲ 15.7	24.0	714	▲ 2.3	59.2	1	202	▲ 36.5	16.7	12月
1,141	▲ 14.8	250	▲ 20.4	21.9	582	0.3	51.0	3	306	▲ 30.8	26.8	6年 1月
1,163	▲ 11.3	240	▲ 13.7	20.6	760	33.1	65.3	1	162	▲ 64.3	13.9	2月
1,043	▲ 6.5	270	▲ 4.9	25.9	581	30.0	55.7	2	190	▲ 50.5	18.2	3月
2,092	105.9	309	17.9	14.8	652	23.7	31.2	0	1,131	404.9	54.1	4月
1,386	32.1	270	▲ 5.6	19.5	845	58.2	61.0	1	270	17.9	19.5	5月
1,384	▲ 16.1	356	0.8	25.7	759	▲ 26.5	54.8	12	257	▲ 2.7	18.6	6月
												7月

国土交通省「建築着工統計調査報告」

資料出所

	建設										
	新設住宅着工戸数(戸)						新設住宅着工戸数(戸)				
	宮城						東北		全国		
	利用関係別										
	分譲住宅										
	マンション	前年同月(期)比	構成比	一戸建て	前年同月(期)比	構成比	前年同月(期)比	前年同月(期)比			
令和元年	1,232	▲ 3.0	7.0	3,279	4.2	18.6	53,232	▲ 8.1	905,123	▲ 4.0	
2年	1,130	▲ 8.3	7.8	2,898	▲ 11.6	20.1	44,789	▲ 15.9	815,340	▲ 9.9	
3年	964	▲ 14.7	5.9	3,320	14.6	20.4	47,480	6.0	856,484	5.0	
4年	1,566	62.4	8.9	3,386	2.0	19.2	47,593	0.2	859,529	0.4	
5年	668	▲ 57.3	4.2	3,132	▲ 7.5	19.5	43,969	▲ 7.6	819,623	▲ 4.6	
4年	1～3月	444	55.2	11.8	812	19.9	21.5	10,284	10.2	200,424	4.9
	4～6月	280	182.8	6.8	859	4.2	21.0	12,237	▲ 0.2	218,135	▲ 1.3
	7～9月	709	217.9	13.8	881	▲ 10.3	17.2	13,124	▲ 1.1	224,759	0.0
	10～12月	133	▲ 62.6	2.9	834	▲ 0.4	18.1	11,948	▲ 5.3	216,211	▲ 1.6
5年	1～3月	425	▲ 4.3	11.3	855	5.3	22.7	9,292	▲ 9.6	201,723	0.6
	4～6月	0	▲ 100.0	0.0	717	▲ 16.5	19.3	11,564	▲ 5.5	207,826	▲ 4.7
	7～9月	116	▲ 83.6	2.6	815	▲ 7.5	18.1	12,692	▲ 3.3	207,481	▲ 7.7
	10～12月	127	▲ 4.5	3.1	745	▲ 10.7	18.2	10,421	▲ 12.8	202,593	▲ 6.3
6年	1～3月	81	▲ 80.9	2.4	577	▲ 32.5	17.2	8,272	▲ 11.0	182,276	▲ 9.6
	4～6月	1,051	-	21.6	607	▲ 15.3	12.5	12,067	4.3	208,813	0.5
4年	2月	0	-	0.0	257	29.8	28.8	2,841	▲ 7.3	64,614	6.3
	3月	354	23.8	23.5	304	28.8	20.1	3,955	16.0	76,120	6.0
	4月	0	▲ 100.0	0.0	308	1.0	22.1	4,275	2.5	76,295	2.4
	5月	280	-	18.6	271	5.4	18.0	4,046	9.1	67,223	▲ 4.2
	6月	0	0.0	0.0	280	6.9	23.4	3,916	▲ 10.5	74,617	▲ 2.2
	7月	110	▲ 38.9	6.9	352	16.6	22.2	4,258	▲ 3.4	73,024	▲ 5.4
	8月	236	-	12.9	282	▲ 12.7	15.4	4,393	0.4	77,731	4.6
	9月	363	744.2	21.2	247	▲ 30.8	14.4	4,473	▲ 0.2	74,004	1.1
	10月	50	▲ 73.8	3.2	309	12.0	19.7	4,083	▲ 8.1	76,590	▲ 1.8
	11月	40	▲ 51.2	2.4	250	▲ 10.1	15.2	4,031	▲ 5.1	72,372	▲ 1.4
	12月	43	▲ 48.2	3.1	275	▲ 2.8	19.7	3,834	▲ 2.5	67,249	▲ 1.7
5年	1月	180	100.0	13.4	262	4.4	19.6	2,951	▲ 15.4	63,604	6.6
	2月	194	-	14.8	260	1.2	19.8	2,907	2.3	64,426	▲ 0.3
	3月	51	▲ 85.6	4.6	333	9.5	29.9	3,434	▲ 13.2	73,693	▲ 3.2
	4月	0	0.0	0.0	224	▲ 27.3	22.0	3,871	▲ 9.5	67,250	▲ 11.9
	5月	0	▲ 100.0	0.0	229	▲ 15.5	21.8	3,489	▲ 13.8	69,561	3.5
	6月	0	0.0	0.0	264	▲ 5.7	16.0	4,204	7.4	71,015	▲ 4.8
	7月	0	▲ 100.0	0.0	292	▲ 17.0	21.6	4,109	▲ 3.5	68,151	▲ 6.7
	8月	116	▲ 50.8	6.4	303	7.4	16.7	4,527	3.1	70,389	▲ 9.4
	9月	0	▲ 100.0	0.0	220	▲ 10.9	16.3	4,056	▲ 9.3	68,941	▲ 6.8
	10月	127	154.0	7.9	295	▲ 4.5	18.4	3,810	▲ 6.7	71,769	▲ 6.3
	11月	0	▲ 100.0	0.0	248	▲ 0.8	19.3	3,541	▲ 12.2	66,238	▲ 8.5
	12月	0	▲ 100.0	0.0	202	▲ 26.5	16.7	3,070	▲ 19.9	64,586	▲ 4.0
6年	1月	81	▲ 55.0	7.1	225	▲ 14.1	19.7	2,473	▲ 16.2	58,849	▲ 7.5
	2月	0	▲ 100.0	0.0	162	▲ 37.7	13.9	2,701	▲ 7.1	59,162	▲ 8.2
	3月	0	▲ 100.0	0.0	190	▲ 42.9	18.2	3,098	▲ 9.8	64,265	▲ 12.8
	4月	938	-	44.8	193	▲ 13.8	9.2	4,901	26.6	76,583	13.9
	5月	50	-	3.6	220	▲ 3.9	15.9	3,436	▲ 1.5	65,945	▲ 5.2
	6月	63	-	4.6	194	▲ 26.5	14.0	3,730	▲ 11.3	66,285	▲ 6.7
	7月										

資料出所

国土交通省「建築着工統計調査報告」



建設								資料出所
公共工事請負金額 (百万円) (注3)								
宮城								
合計	発注者別							
	国		都道府県			市町村		
	前年同月 (期)比		前年同月 (期)比		前年同月 (期)比		前年同月 (期)比	
531,401	▲ 8.9	79,630	7.7	157,172	▲ 18.9	217,794	▲ 1.8	令和元年
519,585	▲ 2.2	58,413	▲ 26.6	177,658	13.0	217,728	0.0	2年
348,844	▲ 32.9	46,049	▲ 21.2	107,663	▲ 39.4	131,472	▲ 39.6	3年
305,539	▲ 12.4	43,590	▲ 5.3	90,100	▲ 16.3	124,884	▲ 5.0	4年
294,865	▲ 3.5	45,418	4.2	91,761	1.8	121,300	▲ 2.9	5年
71,626	▲ 41.8	10,802	25.9	24,475	▲ 51.9	20,981	▲ 50.3	4年 1～3月
115,388	▲ 4.2	20,376	23.5	32,445	▲ 13.1	36,171	▲ 2.8	4～6月
79,763	2.0	9,183	▲ 24.1	22,836	1.9	40,227	18.7	7～9月
53,384	▲ 32.1	2,755	▲ 58.6	18,618	▲ 20.6	28,227	▲ 28.3	10～12月
57,004	▲ 20.4	11,276	4.4	16,201	▲ 33.8	20,259	▲ 3.4	5年 1～3月
98,264	▲ 14.8	16,745	▲ 17.8	25,522	▲ 21.3	33,145	▲ 8.4	4～6月
79,999	0.3	10,375	13.0	26,043	14.0	36,535	▲ 9.2	7～9月
62,054	16.2	5,484	99.1	20,794	11.7	32,449	15.0	10～12月
54,548	▲ 4.3	12,814	13.6	19,402	19.8	19,171	▲ 5.4	6年 1～3月
94,534	▲ 3.8	15,359	▲ 8.3	23,993	▲ 6.0	44,510	34.3	4～6月
16,200	▲ 54.2	2,683	53.1	3,904	▲ 76.5	5,169	▲ 57.1	4年 2月
41,279	▲ 36.9	7,828	21.4	15,110	▲ 35.7	8,599	▲ 56.0	3月
47,567	13.5	1,425	▲ 56.8	20,307	26.1	19,574	19.9	4月
36,074	▲ 15.5	6,169	2.9	7,070	▲ 30.7	5,316	▲ 46.8	5月
31,747	▲ 11.4	12,780	77.5	5,067	▲ 54.0	11,280	3.6	6月
26,241	▲ 17.4	3,819	▲ 53.6	4,641	▲ 22.9	14,385	34.2	7月
28,813	19.8	3,134	29.2	11,193	57.2	12,574	▲ 5.6	8月
24,707	10.5	2,229	53.4	7,000	▲ 24.4	13,268	34.8	9月
22,122	▲ 12.0	1,315	▲ 39.3	7,372	▲ 8.7	11,528	▲ 11.5	10月
18,715	▲ 34.5	1,011	▲ 70.4	5,679	▲ 36.1	10,734	9.5	11月
12,546	▲ 49.5	427	▲ 59.7	5,567	▲ 14.4	5,963	▲ 64.0	12月
18,221	28.8	1,604	452.2	6,865	25.8	6,953	▲ 3.6	5年 1月
15,169	▲ 6.4	2,129	▲ 20.6	5,560	42.4	5,584	8.0	2月
23,612	▲ 42.8	7,542	▲ 3.7	3,774	▲ 75.0	7,720	▲ 10.2	3月
47,606	0.1	2,525	77.1	14,536	▲ 28.4	16,811	▲ 14.1	4月
20,019	▲ 44.5	1,771	▲ 71.3	6,409	▲ 9.4	6,338	19.2	5月
30,638	▲ 3.5	12,447	▲ 2.6	4,576	▲ 9.7	9,995	▲ 11.4	6月
28,767	9.6	2,895	▲ 24.2	6,815	46.8	14,681	2.1	7月
23,214	▲ 19.4	4,139	32.0	6,488	▲ 42.0	11,293	▲ 10.2	8月
28,017	13.4	3,340	49.8	12,739	82.0	10,559	▲ 20.4	9月
24,517	10.8	3,724	183.1	9,094	23.4	10,423	▲ 9.6	10月
19,137	2.3	1,390	37.4	6,385	12.4	10,550	▲ 1.7	11月
18,399	46.6	369	▲ 13.6	5,314	▲ 4.5	11,474	92.4	12月
12,899	▲ 29.2	1,340	▲ 16.5	5,480	▲ 20.2	5,486	▲ 21.1	6年 1月
15,150	▲ 0.1	2,937	38.0	5,910	6.3	6,008	7.6	2月
26,497	12.2	8,536	13.2	8,011	112.3	7,675	▲ 0.6	3月
36,944	▲ 22.4	▲ 295	-	14,651	0.8	17,686	5.2	4月
23,259	16.2	2,402	35.6	4,799	▲ 25.1	14,312	125.8	5月
34,330	12.0	13,252	6.5	4,543	▲ 0.7	12,510	25.2	6月
28,827	0.2	4,543	56.9	9,263	35.9	13,244	▲ 9.8	7月

東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(注3) 年欄は年度計。合計値は、公団、事業団、地方公社等の発注分を含む。

	建設				個人消費		
	公共工事請負金額 (百万円) (注3)				百貨店・スーパー販売額 (百万円) (注4)		
	東北		全国		宮城		
					百貨店・スーパー合計		
		前年同月 (期)比		前年同月 (期)比		全店舗 前年同月 (期)比	既存店 前年同月 (期)比
令和元年	2,106,222	▲ 3.0	15,025,453	6.8	406,351	▲ 1.2	▲ 2.4
2年	2,369,307	12.5	15,365,760	2.3	402,839	▲ 2.0	▲ 2.5
3年	1,528,569	▲ 35.5	14,050,279	▲ 8.6	398,002	▲ 1.4	▲ 1.0
4年	1,504,283	▲ 1.6	13,993,700	▲ 0.4	401,150	0.8	▲ 0.5
5年	1,398,439	▲ 7.0	14,740,516	5.3	413,100	3.0	2.6
4年 1～3月	216,439	▲ 50.8	2,560,501	▲ 8.5	96,226	▲ 0.7	▲ 1.8
4～6月	573,022	▲ 8.2	4,929,596	▲ 4.4	97,097	0.2	▲ 1.5
7～9月	420,149	1.3	3,747,069	▲ 1.8	99,148	1.8	0.5
10～12月	236,937	▲ 13.4	2,380,243	▲ 5.4	108,678	1.7	0.7
5年 1～3月	274,174	26.7	2,936,790	14.7	98,928	2.8	1.9
4～6月	555,591	▲ 3.0	5,279,403	7.1	99,724	2.7	2.5
7～9月	376,246	▲ 10.4	3,794,395	1.3	102,315	3.2	3.5
10～12月	218,466	▲ 7.8	2,577,341	8.3	112,133	3.2	2.5
6年 1～3月	248,135	▲ 9.5	3,089,376	5.2	103,166	4.3	4.3
4～6月	559,995	0.8	5,742,256	8.8	100,209	0.5	0.8
4年 2月	45,002	▲ 56.6	589,722	▲ 9.1	29,292	▲ 2.1	▲ 3.9
3月	134,695	▲ 41.4	1,449,902	▲ 4.3	32,952	0.6	▲ 1.4
4月	256,357	4.5	2,010,515	▲ 4.0	31,851	0.2	▲ 1.1
5月	134,500	▲ 24.8	1,267,150	▲ 10.3	32,562	0.5	▲ 1.5
6月	182,164	▲ 8.9	1,651,930	0.1	32,684	▲ 0.0	▲ 1.8
7月	144,318	▲ 5.9	1,292,375	▲ 7.0	34,632	1.7	0.5
8月	136,707	8.7	1,156,190	▲ 0.1	33,074	1.4	0.1
9月	139,122	2.8	1,298,503	2.4	31,442	2.3	1.1
10月	117,103	8.3	1,055,807	▲ 1.9	33,369	2.1	0.8
11月	65,481	▲ 32.2	696,131	▲ 7.6	33,274	▲ 0.1	▲ 0.6
12月	54,351	▲ 21.0	628,304	▲ 8.4	42,035	2.9	1.8
5年 1月	53,004	44.3	508,844	▲ 2.3	34,777	2.3	1.3
2月	73,472	63.3	897,832	52.2	30,367	3.7	2.8
3月	147,697	9.7	1,530,113	5.5	33,783	2.5	1.9
4月	213,685	▲ 16.6	2,048,049	1.9	33,303	4.6	4.0
5月	162,562	20.9	1,416,265	11.8	33,032	1.4	1.4
6月	179,344	▲ 1.5	1,815,087	9.9	33,389	2.2	2.1
7月	155,266	7.6	1,380,246	6.8	35,741	3.2	3.2
8月	110,302	▲ 19.3	1,114,660	▲ 3.6	34,451	4.2	4.8
9月	110,677	▲ 20.4	1,299,488	0.1	32,123	2.2	2.5
10月	97,365	▲ 16.9	1,093,324	3.6	34,474	3.3	3.3
11月	59,144	▲ 9.7	764,701	9.9	34,572	3.9	3.1
12月	61,955	14.0	719,316	14.5	43,088	2.5	1.4
6年 1月	51,370	▲ 3.1	573,389	12.7	35,794	2.9	2.0
2月	51,736	▲ 29.6	891,734	▲ 0.7	31,991	5.3	5.8
3月	145,028	▲ 1.8	1,624,252	6.2	35,381	4.7	5.2
4月	241,732	13.1	2,432,416	18.8	32,927	▲ 1.1	▲ 0.8
5月	133,570	▲ 17.8	1,590,089	12.3	33,224	0.6	0.9
6月	184,693	3.0	1,719,749	▲ 5.3	34,058	2.0	2.4
7月	152,109	▲ 2.0	1,530,675	10.9			
資料出所	東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」				経済産業省「商業動態統計月報」		

(注4) 金額は全店舗の売上総額。既存店は当月および前年同月とも調査の対象となっている店舗。前年比、前年同月(期)比の一部はリンク係数による計算(12月参照)。

個人消費										
【参考】コンビニエンスストア、専門量販店販売額 (百万円) (注4)										
宮 城										
コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター				
	前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比			
241,179	0.0	70,542	2.9	128,641	7.9	68,696	▲ 2.2	令和元年		
231,423	▲ 4.0	72,922	3.4	142,258	10.6	73,726	7.3	2年		
232,727	0.6	72,728	▲ 0.3	147,109	3.4	73,440	▲ 0.4	3年		
238,965	2.7	73,488	1.0	158,757	7.9	72,232	▲ 1.6	4年		
245,823	2.9	73,530	0.1	171,752	8.2	69,845	▲ 3.3	5年		
55,513	0.3	20,399	1.4	37,237	6.9	15,953	▲ 4.3	4年	1～3月	
59,488	2.9	17,135	▲ 0.8	39,157	5.9	19,620	▲ 2.3		4～6月	
62,590	3.0	17,407	▲ 3.0	41,551	7.9	17,901	▲ 1.4		7～9月	
61,374	4.4	18,547	6.7	40,812	10.9	18,758	1.2		10～12月	
57,725	4.0	20,210	▲ 0.9	40,204	8.0	15,620	▲ 2.1	5年	1～3月	
61,231	2.9	15,986	▲ 6.7	42,335	8.1	18,675	▲ 4.8		4～6月	
65,007	3.9	18,953	8.9	45,253	8.9	17,367	▲ 3.0		7～9月	
61,860	0.8	18,381	▲ 0.9	43,960	7.7	18,183	▲ 3.1		10～12月	
58,041	0.5	20,712	2.5	43,893	9.2	15,163	▲ 2.9	6年	1～3月	
60,841	▲ 0.6	16,666	4.3	45,518	7.5	18,771	0.5		4～6月	
17,180	▲ 1.4	4,998	▲ 8.0	12,183	9.2	4,427	▲ 10.1	4年	2月	
19,597	1.0	7,239	6.8	12,333	5.4	6,092	▲ 0.4		3月	
19,484	3.0	5,473	▲ 1.6	13,025	6.1	6,658	▲ 0.2		4月	
19,977	2.7	5,787	▲ 4.1	12,870	6.7	6,873	▲ 5.1		5月	
20,027	3.0	5,875	3.5	13,262	5.0	6,089	▲ 1.1		6月	
21,424	3.3	6,467	▲ 6.8	13,851	8.5	6,272	▲ 1.6		7月	
21,126	4.0	5,432	▲ 7.0	14,277	8.0	6,087	▲ 1.2		8月	
20,040	1.5	5,508	6.6	13,423	7.1	5,542	▲ 1.4		9月	
20,428	5.4	5,302	▲ 3.2	13,134	9.3	6,119	4.0		10月	
19,720	5.2	6,347	19.8	13,300	10.0	5,558	▲ 1.7		11月	
21,226	2.9	6,898	4.4	14,378	13.1	7,081	1.1		12月	
19,324	3.1	8,685	6.4	13,984	9.9	5,414	▲ 0.4	5年	1月	
17,986	4.7	5,222	4.5	12,860	5.6	4,462	0.8		2月	
20,415	4.2	6,303	▲ 12.9	13,360	8.3	5,744	▲ 5.7		3月	
20,186	3.6	4,984	▲ 8.9	13,953	7.1	6,423	▲ 3.5		4月	
20,606	3.1	4,900	▲ 15.3	13,917	8.1	6,482	▲ 5.7		5月	
20,439	2.1	6,102	3.9	14,465	9.1	5,770	▲ 5.2		6月	
22,183	3.5	7,016	8.5	15,178	9.6	6,335	1.0		7月	
22,327	5.7	6,192	14.0	15,346	7.5	5,862	▲ 3.7		8月	
20,497	2.3	5,745	4.3	14,729	9.7	5,170	▲ 6.7		9月	
20,825	1.9	5,446	2.7	14,379	9.5	5,824	▲ 4.8		10月	
19,749	0.1	5,915	▲ 6.8	14,414	8.4	5,584	0.5		11月	
21,286	0.3	7,020	1.8	15,167	5.5	6,775	▲ 4.3		12月	
19,306	▲ 0.1	8,243	▲ 5.1	14,867	6.3	5,066	▲ 6.4	6年	1月	
18,586	3.3	5,382	3.1	14,378	11.8	4,506	1.0		2月	
20,149	▲ 1.3	7,087	12.4	14,648	9.6	5,591	▲ 2.7		3月	
19,891	▲ 1.5	5,285	6.0	14,999	7.5	6,352	▲ 1.1		4月	
20,518	▲ 0.4	5,269	7.5	14,967	7.5	6,453	▲ 0.4		5月	
20,432	▲ 0.0	6,112	0.2	15,552	7.5	5,966	3.4		6月	
									7月	

経済産業省「商業動態統計月報」

資料出所

個人消費											
百貨店・スーパー販売額（百万円）、【参考】コンビニエンスストア、専門量販店販売額（百万円）（注4）											
東 北											
	百貨店・スーパー合計			コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター	
		全店舗 前年同月 (期)比	既存店 前年同月 (期)比		前年同月 (期)比		前年同月 (期)比		前年同月 (期)比		前年同月 (期)比
令和元年	1,215,261	▲ 0.9	▲ 1.6	825,895	0.9	222,656	3.5	459,297	7.9	293,688	▲ 1.4
2年	1,298,052	▲ 1.2	▲ 1.5	795,357	▲ 3.7	237,092	6.5	508,978	10.8	315,110	7.3
3年	1,306,600	▲ 0.8	▲ 1.2	795,777	0.1	232,866	▲ 1.8	530,722	4.3	306,321	▲ 2.8
4年	1,316,942	0.8	▲ 0.3	818,625	2.9	226,667	▲ 2.7	576,204	8.6	301,899	▲ 1.4
5年	1,358,781	3.2	2.1	837,061	2.3	222,206	▲ 2.0	622,329	8.0	290,706	▲ 3.7
4年 1～3月	316,427	▲ 0.3	▲ 1.6	188,854	0.3	61,079	▲ 4.2	134,064	8.3	62,947	▲ 4.5
4～6月	317,993	▲ 0.1	▲ 1.5	203,925	3.3	53,375	▲ 2.9	141,430	6.3	84,423	▲ 1.4
7～9月	328,967	1.4	0.6	216,183	3.5	55,747	▲ 3.4	151,640	8.2	73,604	▲ 2.1
10～12月	353,555	2.1	1.2	209,663	4.1	56,466	▲ 0.0	149,070	11.5	80,925	1.7
5年 1～3月	323,259	2.2	1.0	195,215	3.4	60,269	▲ 1.3	144,859	8.1	61,648	▲ 2.1
4～6月	328,141	3.2	1.8	208,498	2.2	47,007	▲ 11.9	153,328	8.4	80,065	▲ 5.2
7～9月	343,509	4.4	3.5	223,284	3.3	59,070	6.0	165,032	8.8	71,844	▲ 2.4
10～12月	363,873	2.9	2.0	210,064	0.2	55,860	▲ 1.1	159,110	6.7	77,149	▲ 4.7
6年 1～3月	334,837	3.6	3.1	196,384	0.6	60,065	▲ 0.3	157,323	8.6	58,931	▲ 4.4
4～6月	330,943	0.9	0.7	207,703	▲ 0.4	48,971	4.2	164,777	7.5	80,677	0.8
4年 2月	97,791	▲ 1.2	▲ 2.5	58,442	▲ 1.2	16,016	▲ 10.7	43,937	10.7	17,425	▲ 6.4
3月	109,102	0.2	▲ 1.6	66,050	0.3	21,852	▲ 1.1	44,337	7.4	23,465	▲ 3.9
4月	104,093	0.6	▲ 0.9	66,514	2.9	16,963	▲ 2.5	46,872	7.6	29,411	1.5
5月	108,594	0.3	▲ 1.1	68,808	3.8	17,906	▲ 5.4	46,621	6.7	29,889	▲ 1.8
6月	105,306	▲ 1.1	▲ 2.4	68,603	3.2	18,506	▲ 0.6	47,937	4.5	25,123	▲ 4.1
7月	112,465	1.6	0.9	73,852	3.5	20,860	▲ 5.8	50,537	8.7	26,215	▲ 2.5
8月	113,555	0.6	▲ 0.2	73,263	4.9	17,426	▲ 8.0	52,137	8.0	25,039	▲ 1.8
9月	102,946	2.1	1.1	69,068	2.2	17,461	5.2	48,966	7.9	22,350	▲ 2.0
10月	109,082	2.3	1.0	70,414	5.9	17,166	▲ 2.7	48,240	9.3	25,610	2.2
11月	107,233	1.0	0.5	67,137	4.6	17,542	3.0	48,485	11.6	24,261	▲ 0.0
12月	137,240	2.7	1.8	72,112	2.1	21,758	▲ 0.3	52,345	13.6	31,054	2.5
5年 1月	111,899	2.2	1.2	65,551	1.8	23,794	2.5	49,906	9.0	21,086	▲ 4.4
2月	100,151	2.4	1.2	60,767	4.0	16,204	1.2	46,740	6.4	17,279	▲ 0.8
3月	111,209	1.9	0.6	68,897	4.3	20,271	▲ 7.2	48,213	8.7	23,283	▲ 0.8
4月	108,866	4.6	2.9	68,287	2.7	15,341	▲ 9.6	50,476	7.7	28,031	▲ 4.7
5月	110,826	2.1	0.7	70,651	2.7	15,032	▲ 16.1	50,514	8.4	27,988	▲ 6.4
6月	108,449	3.0	1.7	69,560	1.4	16,634	▲ 10.1	52,338	9.2	24,046	▲ 4.3
7月	116,484	3.6	2.6	75,641	2.4	21,741	4.2	54,903	8.6	26,183	▲ 0.1
8月	120,248	5.9	4.9	77,606	5.9	19,938	14.4	56,549	8.5	24,672	▲ 1.5
9月	106,777	3.7	2.9	70,037	1.4	17,391	▲ 0.4	53,580	9.4	20,989	▲ 6.1
10月	112,726	3.3	2.4	70,817	0.6	17,032	▲ 0.8	52,125	8.1	24,519	▲ 4.3
11月	110,506	3.1	2.1	66,891	▲ 0.4	17,431	▲ 0.6	51,886	7.0	24,090	▲ 0.7
12月	140,641	2.5	1.6	72,356	0.3	21,397	▲ 1.7	55,099	5.3	28,540	▲ 8.1
6年 1月	114,212	2.1	1.3	65,625	0.1	22,416	▲ 5.8	53,327	6.9	19,637	▲ 6.9
2月	104,688	4.5	4.3	62,812	3.4	16,289	0.5	51,651	10.5	17,219	▲ 0.3
3月	115,938	4.3	3.9	67,947	▲ 1.4	21,360	5.4	52,345	8.6	22,075	▲ 5.2
4月	108,215	▲ 0.6	▲ 1.0	67,576	▲ 1.0	15,619	1.8	53,832	6.6	27,997	▲ 0.1
5月	111,321	0.4	0.1	70,157	▲ 0.7	15,435	2.7	54,424	7.7	27,743	▲ 0.9
6月	111,407	2.7	2.9	69,970	0.6	17,917	7.7	56,521	8.0	24,937	3.7
7月											

資料出所

経済産業省「商業動態統計月報」

(注4) 金額は全店舗の売上総額。既存店は当月および前年同月とも調査の対象となっている店舗。前年比、前年同月(期)比の一部はリンク係数による計算(12頁参照)。

個人消費											
百貨店・スーパー販売額(百万円)、【参考】コンビニエンスストア、専門量販店販売額(百万円) (注4)											
全 国											
百貨店・スーパー合計			コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター		
	全店舗 前年同月 (期) 比	既存店 前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比	
19,396,177	▲ 1.1	▲ 1.3	12,184,143	1.7	4,545,374	3.5	6,835,625	5.6	3,274,756	▲ 0.3	令和元年
19,504,951	▲ 5.4	▲ 6.6	11,642,288	▲ 4.4	4,792,759	5.1	7,284,078	6.6	3,496,352	6.8	2年
19,907,136	0.9	0.6	11,760,089	1.3	4,686,672	▲ 2.3	7,306,578	0.3	3,390,495	▲ 3.0	3年
20,660,329	3.8	3.2	12,199,648	3.8	4,684,361	▲ 0.0	7,708,656	5.5	3,342,006	▲ 1.4	4年
21,604,942	4.6	4.2	12,732,050	4.4	4,632,412	▲ 1.1	8,343,843	8.2	3,341,126	▲ 0.0	5年
4,885,580	1.9	1.5	2,821,770	1.8	1,211,530	▲ 0.9	1,820,175	4.9	742,242	▲ 2.9	4年 1～3月
4,978,724	5.1	4.6	3,009,288	3.5	1,113,779	▲ 0.1	1,884,585	2.7	889,724	▲ 2.1	4～6月
5,077,831	4.1	3.5	3,177,027	3.7	1,164,081	▲ 0.3	1,990,575	5.9	818,550	▲ 2.1	7～9月
5,718,194	4.0	3.4	3,191,563	6.0	1,194,971	1.1	2,013,321	8.4	891,490	1.2	10～12月
5,116,434	4.7	4.2	2,975,121	5.4	1,195,674	▲ 1.3	1,932,138	6.2	739,691	▲ 0.3	5年 1～3月
5,199,205	4.4	4.1	3,153,478	4.8	1,059,112	▲ 4.9	2,056,217	9.1	879,748	▲ 1.1	4～6月
5,368,426	5.7	5.4	3,341,071	5.2	1,198,992	3.0	2,176,564	9.3	833,709	1.9	7～9月
5,920,877	3.5	3.4	3,262,380	2.2	1,178,634	▲ 1.4	2,178,924	8.2	887,978	▲ 0.4	10～12月
5,417,122	5.9	5.6	3,045,576	2.4	1,192,678	▲ 0.3	2,108,690	9.1	746,960	1.0	6年 1～3月
5,449,812	4.8	4.5	3,186,572	1.0	1,110,889	4.9	2,195,772	6.8	898,069	2.1	4～6月
1,503,612	0.5	0.1	872,107	0.6	342,340	▲ 2.0	580,203	4.5	224,618	▲ 4.1	4年 2月
1,705,298	2.1	1.5	995,994	1.7	449,290	1.6	622,472	4.6	267,087	▲ 2.2	3月
1,624,303	4.6	4.1	987,320	2.7	355,466	0.7	618,920	3.1	298,608	▲ 1.5	4月
1,680,909	9.1	8.5	1,007,847	3.5	368,074	▲ 3.9	628,392	1.7	310,094	▲ 3.9	5月
1,673,512	1.9	1.3	1,014,121	4.2	390,239	2.8	637,273	3.3	281,022	▲ 0.7	6月
1,770,353	3.3	2.8	1,084,389	3.4	424,955	▲ 3.9	676,354	6.8	287,440	▲ 2.2	7月
1,677,558	4.3	3.8	1,072,031	5.2	361,411	▲ 2.3	677,351	5.3	274,171	▲ 1.1	8月
1,629,920	4.7	4.1	1,020,607	2.3	377,715	6.4	636,870	5.6	256,939	▲ 3.2	9月
1,732,555	4.9	4.1	1,057,711	6.5	351,560	0.1	644,569	6.0	284,569	1.7	10月
1,759,019	3.0	2.4	1,032,437	7.9	358,877	0.3	637,333	7.9	267,282	▲ 1.3	11月
2,226,620	4.1	3.6	1,101,415	3.9	484,534	2.5	731,419	11.1	339,639	2.9	12月
1,767,409	5.4	4.9	992,377	4.1	419,090	▲ 0.2	648,594	5.0	246,927	▲ 1.4	5年 1月
1,582,048	5.2	4.7	926,496	6.2	347,273	1.4	611,972	5.5	224,805	0.1	2月
1,766,977	3.6	3.2	1,056,248	6.0	429,311	▲ 4.4	671,572	7.9	267,959	0.3	3月
1,709,486	5.2	4.8	1,039,514	5.3	342,065	▲ 3.8	673,722	8.9	299,690	0.4	4月
1,743,611	3.7	3.4	1,063,344	5.5	351,097	▲ 4.6	685,229	9.0	304,025	▲ 2.0	5月
1,746,107	4.3	4.1	1,050,620	3.6	365,950	▲ 6.2	697,266	9.4	276,033	▲ 1.8	6月
1,874,095	5.9	5.5	1,140,285	5.2	446,955	5.2	745,677	10.2	302,340	5.2	7月
1,785,868	6.5	6.0	1,139,128	6.3	375,683	3.9	729,226	7.7	276,571	0.9	8月
1,708,463	4.8	4.5	1,061,658	4.0	376,354	▲ 0.4	701,661	10.2	254,798	▲ 0.8	9月
1,799,946	3.9	3.6	1,081,452	2.2	339,728	▲ 3.4	711,072	10.3	280,194	▲ 1.5	10月
1,836,337	4.4	4.2	1,033,388	0.1	370,751	3.3	693,987	8.9	275,609	3.1	11月
2,284,594	2.6	2.5	1,147,540	4.2	468,155	▲ 3.4	773,865	5.8	332,175	▲ 2.2	12月
1,826,405	3.3	3.3	1,008,612	1.6	394,133	▲ 6.0	695,904	7.3	244,407	▲ 1.0	6年 1月
1,702,098	7.6	7.2	976,758	5.4	342,282	▲ 1.4	681,459	11.4	227,823	1.3	2月
1,888,618	6.9	6.5	1,060,206	0.4	456,263	6.3	731,327	8.9	274,730	2.5	3月
1,761,183	3.0	2.7	1,042,284	0.3	354,002	3.5	714,985	6.1	302,239	0.9	4月
1,821,174	4.4	4.1	1,077,258	1.3	353,234	0.6	731,489	6.8	306,997	1.0	5月
1,867,454	6.9	6.6	1,067,030	1.6	403,653	10.3	749,298	7.5	288,833	4.6	6月
											7月

経済産業省「商業動態統計月報」

資料出所

	個人消費											
	乗用車新車登録台数(台)及び軽自動車新規届出台数(台)											
	宮城											
	合計 普通車・小型車・軽自動車合計	前年同月 (期)比	普通車・小型車			普通車	前年同月 (期)比	構成比	小型車	前年同月 (期)比	構成比	
前年同月 (期)比			構成比	前年同月 (期)比	構成比							
令和元年	82,304	▲ 0.7	55,324	▲ 1.0	67.2	27,707	1.0	33.7	27,617	▲ 3.0	33.6	
2年	72,836	▲ 11.5	47,913	▲ 13.4	65.8	24,029	▲ 13.3	33.0	23,884	▲ 13.5	32.8	
3年	67,239	▲ 7.7	44,797	▲ 6.5	66.6	25,242	5.0	37.5	19,555	▲ 18.1	29.1	
4年	65,013	▲ 3.3	42,513	▲ 5.1	65.4	23,484	▲ 7.0	36.1	19,029	▲ 2.7	29.3	
5年	74,387	14.4	49,883	17.3	67.1	29,844	27.1	40.1	20,039	5.3	26.9	
4年	1～3月	18,760	▲ 17.1	12,306	▲ 16.4	65.6	6,600	▲ 20.0	35.2	5,706	▲ 11.8	30.4
	4～6月	14,079	▲ 6.2	9,246	▲ 5.4	65.7	5,010	▲ 11.1	35.6	4,236	2.3	30.1
	7～9月	16,159	8.8	10,671	3.2	66.0	6,176	5.0	38.2	4,495	0.7	27.8
	10～12月	16,015	8.6	10,290	3.4	64.3	5,698	4.1	35.6	4,592	2.5	28.7
5年	1～3月	21,367	13.9	14,399	17.0	67.4	8,263	25.2	38.7	6,136	7.5	28.7
	4～6月	16,822	19.5	11,215	21.3	66.7	6,737	34.5	40.0	4,478	5.7	26.6
	7～9月	17,827	10.3	12,255	14.8	68.7	7,354	19.1	41.3	4,901	9.0	27.5
	10～12月	18,371	14.7	12,014	16.8	65.4	7,490	31.4	40.8	4,524	▲ 1.5	24.6
6年	1～3月	17,645	▲ 17.4	12,037	▲ 16.4	68.2	7,883	▲ 4.6	44.7	4,154	▲ 32.3	23.5
	4～6月	14,429	▲ 14.2	9,897	▲ 11.8	68.6	6,460	▲ 4.1	44.8	3,437	▲ 23.2	23.8
4年	2月	5,413	▲ 18.0	3,381	▲ 18.7	62.5	1,752	▲ 22.3	32.4	1,629	▲ 14.4	30.1
	3月	8,425	▲ 14.8	5,663	▲ 14.1	67.2	3,048	▲ 17.2	36.2	2,615	▲ 10.3	31.0
	4月	4,761	▲ 9.4	3,155	▲ 5.2	66.3	1,733	▲ 2.9	36.4	1,422	▲ 7.9	29.9
	5月	4,294	▲ 5.8	2,802	▲ 4.4	65.3	1,464	▲ 17.4	34.1	1,338	15.4	31.2
	6月	5,024	▲ 3.3	3,289	▲ 6.4	65.5	1,813	▲ 12.7	36.1	1,476	2.7	29.4
	7月	5,571	1.5	3,706	▲ 3.9	66.5	2,113	▲ 3.4	37.9	1,593	▲ 4.6	28.6
	8月	4,398	▲ 5.4	3,005	▲ 9.0	68.3	1,757	▲ 5.7	39.9	1,248	▲ 13.4	28.4
	9月	6,190	31.2	3,960	24.4	64.0	2,306	26.1	37.3	1,654	22.2	26.7
	10月	5,556	24.9	3,574	22.3	64.3	1,933	18.2	34.8	1,641	27.5	29.5
	11月	5,555	5.7	3,483	2.0	62.7	1,874	2.7	33.7	1,609	1.2	29.0
	12月	4,904	▲ 2.7	3,233	▲ 10.7	65.9	1,891	▲ 6.1	38.6	1,342	▲ 16.4	27.4
5年	1月	5,731	16.4	3,562	9.2	62.2	1,976	9.8	34.5	1,586	8.5	27.7
	2月	6,173	14.0	4,127	22.1	66.9	2,398	36.9	38.8	1,729	6.1	28.0
	3月	9,463	12.3	6,710	18.5	70.9	3,889	27.6	41.1	2,821	7.9	29.8
	4月	5,103	7.2	3,358	6.4	65.8	1,940	11.9	38.0	1,418	▲ 0.3	27.8
	5月	5,122	19.3	3,341	19.2	65.2	2,074	41.7	40.5	1,267	▲ 5.3	24.7
	6月	6,597	31.3	4,516	37.3	68.5	2,723	50.2	41.3	1,793	21.5	27.2
	7月	5,773	3.6	4,147	11.9	71.8	2,491	17.9	43.1	1,656	4.0	28.7
	8月	5,302	20.6	3,575	19.0	67.4	2,132	21.3	40.2	1,443	15.6	27.2
	9月	6,752	9.1	4,533	14.5	67.1	2,731	18.4	40.4	1,802	8.9	26.7
	10月	6,240	12.3	4,135	15.7	66.3	2,466	27.6	39.5	1,669	1.7	26.7
	11月	6,344	14.2	4,080	17.1	64.3	2,591	38.3	40.8	1,489	▲ 7.5	23.5
	12月	5,787	18.0	3,799	17.5	65.6	2,433	28.7	42.0	1,366	1.8	23.6
6年	1月	4,890	▲ 14.7	3,218	▲ 9.7	65.8	2,052	3.8	42.0	1,166	▲ 26.5	23.8
	2月	5,033	▲ 18.5	3,314	▲ 19.7	65.8	2,178	▲ 9.2	43.3	1,136	▲ 34.3	22.6
	3月	7,722	▲ 18.4	5,505	▲ 18.0	71.3	3,653	▲ 6.1	47.3	1,852	▲ 34.3	24.0
	4月	4,566	▲ 10.5	3,210	▲ 4.4	70.3	2,130	9.8	66.4	1,080	▲ 23.8	33.6
	5月	4,693	▲ 8.4	3,226	▲ 3.4	68.7	2,078	0.2	44.3	1,148	▲ 9.4	24.5
	6月	5,170	▲ 21.6	3,461	▲ 23.4	66.9	2,252	▲ 17.3	43.6	1,209	▲ 32.6	23.4
	7月	6,124	6.1	4,320	4.2	70.5	2,676	7.4	43.7	1,644	▲ 0.7	26.8
資料出所	東北運輸局「東北運輸局管内の新車新規登録・届出台数」、全国軽自動車協会連合会「軽四輪車県別新車販売台数」											

個人消費											
乗用車新車登録台数(台)及び軽自動車新規届出台数(台)											
宮城			東北								
軽自動車	前年同月 (期)比	構成比	合計		普通車・小型車			普通車	前年同月 (期)比	構成比	
			普通車・小型車・軽自動車合計	前年同月 (期)比	前年同月 (期)比	構成比					
26,980	0.1	32.8	319,867	▲ 1.5	200,634	▲ 1.8	62.7	98,146	1.0	30.7	令和元年
24,923	▲ 7.6	34.2	281,233	▲ 12.1	173,590	▲ 13.5	61.7	83,782	▲ 14.6	29.8	2年
22,442	▲ 10.0	33.4	262,570	▲ 6.6	161,917	▲ 6.7	61.7	86,945	3.8	33.1	3年
22,500	0.3	34.6	249,896	▲ 4.8	151,222	▲ 6.6	60.5	81,117	▲ 6.7	32.5	4年
24,504	8.9	32.9	287,733	15.1	181,439	20.0	63.1	106,419	31.2	37.0	5年
6,454	▲ 18.4	34.4	71,042	▲ 18.1	44,065	▲ 15.3	62.0	22,759	▲ 18.6	32.0	4年 1～3月
4,833	▲ 7.7	34.3	54,138	▲ 10.3	32,724	▲ 10.7	60.4	17,294	▲ 11.7	31.9	4～6月
5,488	21.8	34.0	62,150	6.1	37,977	0.2	61.1	21,496	3.9	34.6	7～9月
5,725	19.5	35.7	62,566	10.0	36,456	3.1	58.3	19,568	4.6	31.3	10～12月
6,968	8.0	32.6	83,753	17.9	53,106	20.5	63.4	31,044	36.4	37.1	5年 1～3月
5,607	16.0	33.3	65,241	20.5	41,418	26.6	63.5	24,261	40.3	37.2	4～6月
5,572	1.5	31.3	69,048	11.1	43,941	15.7	63.6	25,357	18.0	36.7	7～9月
6,357	11.0	34.6	69,691	11.4	42,974	17.9	61.7	25,757	31.6	37.0	10～12月
5,608	▲ 19.5	31.8	66,984	▲ 20.0	42,806	▲ 19.4	63.9	27,811	▲ 10.4	41.5	6年 1～3月
4,532	▲ 19.2	31.4	58,742	▲ 10.0	37,690	▲ 9.0	64.2	23,707	▲ 2.3	40.4	4～6月
2,032	▲ 16.7	37.5	20,039	▲ 19.2	11,887	▲ 18.1	59.3	6,081	▲ 21.1	30.3	4年 2月
2,762	▲ 16.1	32.8	32,812	▲ 17.8	20,798	▲ 15.0	63.4	10,687	▲ 17.9	32.6	3月
1,606	▲ 16.6	33.7	18,510	▲ 12.2	11,291	▲ 10.9	61.0	5,970	▲ 5.6	32.3	4月
1,492	▲ 8.4	34.7	16,158	▲ 14.0	9,944	▲ 10.5	61.5	5,006	▲ 18.2	31.0	5月
1,735	3.2	34.5	19,470	▲ 5.1	11,489	▲ 10.7	59.0	6,318	▲ 11.5	32.4	6月
1,865	14.5	33.5	21,738	▲ 0.2	13,354	▲ 8.0	61.4	7,445	▲ 5.1	34.2	7月
1,393	3.7	31.7	16,776	▲ 9.0	10,417	▲ 13.0	62.1	5,964	▲ 7.6	35.6	8月
2,230	45.3	36.0	23,636	28.7	14,206	24.6	60.1	8,087	26.6	34.2	9月
1,982	30.1	35.7	21,697	28.2	12,679	21.2	58.4	6,650	21.5	30.6	10月
2,072	12.5	37.3	22,169	5.1	12,749	0.5	57.5	6,631	1.3	29.9	11月
1,671	17.4	34.1	18,700	▲ 0.9	11,028	▲ 9.8	59.0	6,287	▲ 5.9	33.6	12月
2,169	30.7	37.8	21,735	19.5	12,755	12.1	58.7	7,405	23.6	34.1	5年 1月
2,046	0.7	33.1	23,947	19.5	15,012	26.3	62.7	8,834	45.3	36.9	2月
2,753	▲ 0.3	29.1	38,071	16.0	25,339	21.8	66.6	14,805	38.5	38.9	3月
1,745	8.7	34.2	20,617	11.4	13,093	16.0	63.5	7,517	25.9	36.5	4月
1,781	19.4	34.8	19,837	22.8	12,236	23.0	61.7	7,175	43.3	36.2	5月
2,081	19.9	31.5	24,787	27.3	16,089	40.0	64.9	9,569	51.5	38.6	6月
1,626	▲ 12.8	28.2	22,669	4.3	15,238	14.1	67.2	8,975	20.6	39.6	7月
1,727	24.0	32.6	20,164	20.2	12,386	18.9	61.4	7,103	19.1	35.2	8月
2,219	▲ 0.5	32.9	26,215	10.9	16,317	14.9	62.2	9,279	14.7	35.4	9月
2,105	6.2	33.7	24,383	12.4	15,206	19.9	62.4	8,750	31.6	35.9	10月
2,264	9.3	35.7	24,756	11.7	15,312	20.1	61.9	9,292	40.1	37.5	11月
1,988	19.0	34.4	20,552	9.9	12,456	12.9	60.6	7,715	22.7	37.5	12月
1,672	▲ 22.9	34.2	18,174	▲ 16.4	11,450	▲ 10.2	63.0	7,142	▲ 3.6	39.3	6年 1月
1,719	▲ 16.0	34.2	18,975	▲ 20.8	11,767	▲ 21.6	62.0	7,585	▲ 14.1	40.0	2月
2,217	▲ 19.5	28.7	29,835	▲ 21.6	19,589	▲ 22.7	65.7	13,084	▲ 11.6	43.9	3月
1,356	▲ 22.3	29.7	18,432	▲ 10.6	12,266	▲ 6.3	66.5	7,912	5.3	42.9	4月
1,467	▲ 17.6	31.3	18,688	▲ 5.8	11,956	▲ 2.3	64.0	7,380	2.9	39.5	5月
1,709	▲ 17.9	33.1	21,622	▲ 12.8	13,468	▲ 16.3	62.3	8,415	▲ 12.1	38.9	6月
1,804	10.9	29.5	24,078	6.2	15,752	3.4	65.4	9,713	8.2	40.3	7月

東北運輸局「東北運輸局管内の新車新規登録・届出台数」、全国軽自動車協会連合会「軽四輪車県別新車販売台数」

資料出所

		個人消費										
		乗用車新車登録台数(台)及び軽自動車新規届出台数(台)										
		東北					全国					
					軽自動車		合計		普通車・小型車			
		小型車	前年同月 (期)比	構成比		前年同月 (期)比	構成比	普通車・小型車・軽自動車合計	前年同月 (期)比		前年同月 (期)比	構成比
令和元年	102,488	▲ 4.3	32.0	119,233	▲ 1.0	37.3	4,295,825	▲ 2.0	2,816,620	▲ 2.5	65.6	
2年	89,808	▲ 12.4	31.9	107,643	▲ 9.7	38.3	3,803,756	▲ 11.5	2,472,607	▲ 12.2	65.0	
3年	74,972	▲ 16.5	28.6	100,653	▲ 6.5	38.3	3,669,506	▲ 3.5	2,393,670	▲ 3.2	65.2	
4年	70,105	▲ 6.5	28.1	98,674	▲ 2.0	39.5	3,443,372	▲ 6.2	2,218,378	▲ 7.3	64.4	
5年	75,020	7.0	26.1	106,294	7.7	36.9	3,987,897	15.8	2,646,567	19.3	66.4	
4年	1~3月	21,306	▲ 11.4	30.0	26,977	▲ 22.3	38.0	987,198	▲ 17.4	649,711	▲ 14.8	65.8
	4~6月	15,430	▲ 9.6	28.5	21,414	▲ 9.7	39.6	722,919	▲ 14.5	458,288	▲ 16.0	63.4
	7~9月	16,481	▲ 4.2	26.5	24,173	16.8	38.9	846,359	2.1	551,782	▲ 0.9	65.2
	10~12月	16,888	1.3	27.0	26,110	21.4	41.7	886,896	10.8	558,597	5.6	63.0
5年	1~3月	22,062	3.5	26.3	30,647	13.6	36.6	1,152,452	16.7	767,479	18.1	66.6
	4~6月	17,157	11.2	26.3	23,823	11.2	36.5	892,650	23.5	598,656	30.6	67.1
	7~9月	18,584	12.8	26.9	25,107	3.9	36.4	964,151	13.9	641,990	16.3	66.6
	10~12月	17,217	1.9	24.7	26,717	2.3	38.3	978,644	10.3	638,442	14.3	65.2
6年	1~3月	14,995	▲ 32.0	22.4	24,178	▲ 21.1	36.1	966,545	▲ 16.1	663,105	▲ 13.6	68.6
	4~6月	13,983	▲ 18.5	23.8	21,052	▲ 11.6	35.8	830,863	▲ 6.9	568,328	▲ 5.1	68.4
4年	2月	5,806	▲ 14.8	29.0	8,152	▲ 20.6	40.7	289,293	▲ 19.9	184,174	▲ 18.6	63.7
	3月	10,111	▲ 11.7	30.8	12,014	▲ 22.2	36.6	425,882	▲ 16.4	284,033	▲ 13.5	66.7
	4月	5,321	▲ 16.2	28.7	7,219	▲ 14.1	39.0	244,022	▲ 15.3	153,239	▲ 16.0	62.8
	5月	4,938	▲ 0.9	30.6	6,214	▲ 19.1	38.5	211,392	▲ 19.1	135,941	▲ 17.9	64.3
	6月	5,171	▲ 9.8	26.6	7,981	4.4	41.0	267,505	▲ 9.7	169,108	▲ 14.4	63.2
	7月	5,909	▲ 11.4	27.2	8,384	15.4	38.6	287,770	▲ 6.9	186,336	▲ 12.2	64.8
	8月	4,453	▲ 19.3	26.5	6,359	▲ 1.8	37.9	233,854	▲ 11.2	154,027	▲ 12.1	65.9
	9月	6,119	22.1	25.9	9,430	35.5	39.9	324,735	26.6	211,419	24.9	65.1
	10月	6,029	20.9	27.8	9,018	39.6	41.6	295,365	28.5	185,758	23.9	62.9
	11月	6,118	▲ 0.3	27.6	9,420	12.0	42.5	307,616	5.7	192,461	2.3	62.6
	12月	4,741	▲ 14.4	25.4	7,672	15.5	41.0	283,915	1.5	180,378	▲ 5.5	63.5
5年	1月	5,350	▲ 0.7	24.6	8,980	31.8	41.3	319,565	17.5	201,950	11.3	63.2
	2月	6,178	6.4	25.8	8,935	9.6	37.3	355,753	23.0	236,176	28.2	66.4
	3月	10,534	4.2	27.7	12,732	6.0	33.4	477,134	12.0	329,353	16.0	69.0
	4月	5,576	4.8	27.0	7,524	4.2	36.5	289,327	18.6	192,844	25.8	66.7
	5月	5,061	2.5	25.5	7,601	22.3	38.3	271,644	28.5	179,406	32.0	66.0
	6月	6,520	26.1	26.3	8,698	9.0	35.1	331,679	24.0	226,406	33.9	68.3
	7月	6,263	6.0	27.6	7,431	▲ 11.4	32.8	320,687	11.4	221,347	18.8	69.0
	8月	5,283	18.6	26.2	7,778	22.3	38.6	280,330	19.9	183,092	18.9	65.3
	9月	7,038	15.0	26.8	9,898	5.0	37.8	363,134	11.8	237,551	12.4	65.4
	10月	6,456	7.1	26.5	9,177	1.8	37.6	333,969	13.1	214,167	15.3	64.1
	11月	6,020	▲ 1.6	24.3	9,444	0.3	38.1	343,488	11.7	224,029	16.4	65.2
	12月	4,741	0.0	23.1	8,096	5.5	39.4	301,187	6.1	200,246	11.0	66.5
6年	1月	4,308	▲ 19.5	23.7	6,724	▲ 25.1	37.0	284,935	▲ 10.8	192,668	▲ 4.6	67.6
	2月	4,182	▲ 32.3	22.0	7,208	▲ 19.3	38.0	297,933	▲ 16.3	202,078	▲ 14.4	67.8
	3月	6,505	▲ 38.2	21.8	10,246	▲ 19.5	34.3	383,677	▲ 19.6	268,359	▲ 18.5	69.9
	4月	4,354	▲ 21.9	23.6	6,166	▲ 18.0	33.5	258,329	▲ 10.7	181,201	▲ 6.0	70.1
	5月	4,576	▲ 9.6	24.5	6,732	▲ 11.4	36.0	261,046	▲ 3.9	176,412	▲ 1.7	67.6
	6月	5,053	▲ 22.5	23.4	8,154	▲ 6.3	37.7	311,488	▲ 6.1	210,715	▲ 6.9	67.6
	7月	6,039	▲ 3.6	25.1	8,326	12.0	34.6	338,458	5.5	229,437	3.7	67.8
資料出所	東北運輸局「東北運輸局管内の新車新規登録・届出台数」、全国軽自動車協会連合会「軽四輪車県別新車販売台数」											



個人消費									
乗用車新車登録台数(台)及び軽自動車新規届出台数(台)									
全 国									
						軽自動車			
普通車	前年同月 (期) 比	構成比	小型車	前年同月 (期) 比	構成比		前年同月	構成比	
							(期) 比		
1,585,031	0.2	36.9	1,231,589	▲ 5.9	28.7	1,479,205	▲ 1.1	34.4	令和元年
1,369,298	▲ 13.6	36.0	1,103,309	▲ 10.4	29.0	1,331,149	▲ 10.0	35.0	2年
1,445,400	5.6	39.4	948,270	▲ 14.1	25.8	1,275,836	▲ 4.2	34.8	3年
1,344,637	▲ 7.0	39.1	873,741	▲ 7.9	25.4	1,224,994	▲ 4.0	35.6	4年
1,756,346	30.6	44.0	890,221	1.9	22.3	1,341,330	9.5	33.6	5年
385,568	▲ 16.5	39.1	264,143	▲ 12.1	26.8	337,487	▲ 21.9	34.2	4年 1～3月
276,159	▲ 16.1	38.2	182,129	▲ 15.9	25.2	264,631	▲ 11.7	36.6	4～6月
346,471	3.3	40.9	205,311	▲ 7.3	24.3	294,577	8.3	34.8	7～9月
336,439	5.5	37.9	222,158	5.8	25.0	328,299	20.8	37.0	10～12月
499,878	29.6	43.4	267,601	1.3	23.2	384,973	14.1	33.4	5年 1～3月
400,080	44.9	44.8	198,576	9.0	22.2	293,994	11.1	32.9	4～6月
429,145	23.9	44.5	212,845	3.7	22.1	322,161	9.4	33.4	7～9月
427,243	27.0	43.7	211,199	▲ 4.9	21.6	340,202	3.6	34.8	10～12月
479,205	▲ 4.1	49.6	183,900	▲ 31.3	19.0	303,440	▲ 21.2	31.4	6年 1～3月
394,430	▲ 1.4	47.5	173,898	▲ 12.4	20.9	262,535	▲ 10.7	31.6	4～6月
107,828	▲ 21.4	37.3	76,346	▲ 14.3	26.4	105,119	▲ 22.1	36.3	4年 2月
169,940	▲ 13.5	39.9	114,093	▲ 13.6	26.8	141,849	▲ 21.7	33.3	3月
91,793	▲ 12.3	37.6	61,446	▲ 21.1	25.2	90,783	▲ 14.1	37.2	4月
80,730	▲ 19.6	38.2	55,211	▲ 15.4	26.1	75,451	▲ 21.1	35.7	5月
103,636	▲ 16.6	38.7	65,472	▲ 10.7	24.5	98,397	▲ 0.1	36.8	6月
116,034	▲ 6.1	40.3	70,302	▲ 20.7	24.4	101,434	4.8	35.2	7月
96,329	▲ 6.5	41.2	57,698	▲ 20.2	24.7	79,827	▲ 9.4	34.1	8月
134,108	23.3	41.3	77,311	27.7	23.8	113,316	29.9	34.9	9月
108,655	21.6	36.8	77,103	27.2	26.1	109,607	37.2	37.1	10月
114,391	2.4	37.2	78,070	2.2	25.4	115,155	11.9	37.4	11月
113,393	▲ 3.8	39.9	66,985	▲ 8.2	23.6	103,537	16.5	36.5	12月
128,921	19.6	40.3	73,029	▲ 0.9	22.9	117,615	29.9	36.8	5年 1月
155,012	43.8	43.6	81,164	6.3	22.8	119,577	13.8	33.6	2月
215,945	27.1	45.3	113,408	▲ 0.6	23.8	147,781	4.2	31.0	3月
126,994	38.3	43.9	65,850	7.2	22.8	96,483	6.3	33.3	4月
119,003	47.4	43.8	60,403	9.4	22.2	92,238	22.2	34.0	5月
154,083	48.7	46.5	72,323	10.5	21.8	105,273	7.0	31.7	6月
150,633	29.8	47.0	70,714	0.6	22.1	99,340	▲ 2.1	31.0	7月
120,008	24.6	42.8	63,084	9.3	22.5	97,238	21.8	34.7	8月
158,504	18.2	43.6	79,047	2.2	21.8	125,583	10.8	34.6	9月
141,933	30.6	42.5	72,234	▲ 6.3	21.6	119,802	9.3	35.9	10月
150,043	31.2	43.7	73,986	▲ 5.2	21.5	119,459	3.7	34.8	11月
135,267	19.3	44.9	64,979	▲ 3.0	21.6	100,941	▲ 2.5	33.5	12月
135,707	5.3	47.6	56,961	▲ 22.0	20.0	92,267	▲ 21.6	32.4	6年 1月
145,950	▲ 5.8	49.0	56,128	▲ 30.8	18.8	95,855	▲ 19.8	32.2	2月
197,548	▲ 8.5	51.5	70,811	▲ 37.6	18.5	115,318	▲ 22.0	30.1	3月
126,777	▲ 0.2	49.1	54,424	▲ 17.4	21.1	77,128	▲ 20.1	29.9	4月
121,329	2.0	46.5	55,083	▲ 8.8	21.1	84,634	▲ 8.2	32.4	5月
146,324	▲ 5.0	47.0	64,391	▲ 11.0	20.7	100,773	▲ 4.3	32.4	6月
155,925	3.5	46.1	73,512	4.0	21.7	109,021	9.7	32.2	7月

東北運輸局「東北運輸局管内の新車新規登録・届出台数」、全国軽自動車協会連合会「軽四輪車県別新車販売台数」資料出所

		物 価														
		国内企業物価指数 (令和2年=100)			消費者物価指数 (令和2年=100)											
					仙 台 市									全 国 (注5)		
		総平均			総合指数			生鮮食品を除く 総合指数			生鮮食品及びエネルギー を除く総合指数			総合指数		
前 月 (期) 比	前 年 同 月 (期) 比		前 月 (期) 比	前 年 同 月 (期) 比		前 月 (期) 比	前 年 同 月 (期) 比		前 月 (期) 比	前 年 同 月 (期) 比		前 月 (期) 比	前 年 同 月 (期) 比		前 月 (期) 比	前 年 同 月 (期) 比
令和元年	101.2	-	0.2	99.7	-	0.6	100.1	-	0.7	99.7	-	0.6	100.0	-	0.5	
2年	100.0	-	▲ 1.2	100.0	-	0.3	100.0	-	▲ 0.1	100.0	-	0.3	100.0	-	0.0	
3年	104.6	-	4.6	99.9	-	▲ 0.1	100.0	-	0.0	99.6	-	▲ 0.4	99.8	-	▲ 0.2	
4年	114.9	-	9.8	103.1	-	3.2	103.0	-	3.0	101.3	-	1.6	102.3	-	2.5	
5年	119.7	-	4.2	107.2	-	4.0	106.9	-	3.7	106.1	-	4.8	105.6	-	3.2	
4年	1~3月	110.5	2.1	9.4	101.4	1.1	1.5	101.2	0.7	1.3	99.7	0.2	▲ 0.5	100.7	0.7	0.9
	4~6月	113.8	3.0	9.8	102.5	1.1	2.9	102.3	1.1	2.6	100.6	0.9	1.2	101.7	1.0	2.4
	7~9月	116.1	2.0	9.8	103.6	1.1	3.7	103.5	1.2	3.5	101.7	1.1	2.2	102.7	1.0	2.9
	10~12月	119.1	2.6	10.1	104.9	1.3	4.6	104.9	1.4	4.4	103.0	1.3	3.5	103.9	1.2	3.9
5年	1~3月	119.7	0.5	8.3	105.6	0.7	4.1	105.3	0.4	4.1	104.0	1.0	4.3	104.4	0.5	3.7
	4~6月	119.5	▲ 0.2	5.0	106.4	0.8	3.8	106.2	0.9	3.8	105.6	1.5	5.0	105.1	0.7	3.3
	7~9月	119.6	0.1	3.0	107.7	1.2	4.0	107.5	1.2	3.9	106.9	1.2	5.1	105.9	0.8	3.1
	10~12月	119.8	0.2	0.6	109.0	1.2	3.9	108.5	0.9	3.4	107.9	0.9	4.8	106.9	0.9	2.9
6年	1~3月	120.5	0.6	0.7	109.1	0.1	3.3	108.5	0.0	3.0	108.0	0.1	3.8	107.0	0.1	2.5
	4~6月	122.2	1.4	2.3	110.1	0.9	3.5	109.6	1.0	3.2	108.7	0.6	2.9	108.0	0.9	2.8
4年	2月	110.4	0.8	9.5	101.4	0.5	1.7	101.2	0.5	1.5	99.7	0.3	▲ 0.3	100.7	0.4	0.9
	3月	111.5	1.0	9.5	102.0	0.6	1.9	101.8	0.6	1.7	100.1	0.4	▲ 0.2	101.1	0.4	1.2
	4月	113.5	1.8	10.2	102.2	0.2	2.7	102.0	0.2	2.5	100.3	0.2	0.8	101.5	0.4	2.5
	5月	113.5	0.0	9.6	102.6	0.4	2.8	102.3	0.3	2.6	100.6	0.3	1.0	101.8	0.3	2.5
	6月	114.5	0.9	9.8	102.6	0.0	3.0	102.7	0.3	3.0	100.8	0.3	1.5	101.8	0.0	2.4
	7月	115.4	0.8	9.5	103.3	0.6	3.5	103.2	0.5	3.2	101.4	0.5	1.9	102.3	0.5	2.6
	8月	115.9	0.4	9.8	103.4	0.1	3.8	103.3	0.1	3.4	101.5	0.2	2.2	102.7	0.4	3.0
	9月	117.0	0.9	10.4	104.2	0.7	3.9	104.0	0.7	3.8	102.2	0.7	2.6	103.1	0.4	3.0
	10月	118.2	1.0	9.7	104.6	0.4	4.6	104.5	0.5	4.3	102.8	0.6	3.5	103.7	0.6	3.7
	11月	119.2	0.8	10.0	104.7	0.1	4.2	104.8	0.3	4.1	103.1	0.3	3.5	103.9	0.2	3.8
	12月	119.9	0.6	10.6	105.4	0.7	4.7	105.3	0.5	4.7	103.2	0.1	3.8	104.1	0.2	4.0
5年	1月	119.9	0.0	9.5	106.0	0.6	5.1	105.7	0.3	4.9	103.6	0.3	4.2	104.7	0.5	4.3
	2月	119.6	▲ 0.3	8.3	105.0	▲ 0.9	3.6	104.7	▲ 0.9	3.5	103.9	0.3	4.2	104.0	▲ 0.6	3.3
	3月	119.7	0.1	7.4	105.7	0.6	3.6	105.4	0.6	3.5	104.6	0.7	4.6	104.4	0.4	3.2
	4月	120.1	0.3	5.8	106.1	0.4	3.8	105.8	0.4	3.7	105.2	0.5	4.9	105.1	0.6	3.5
	5月	119.3	▲ 0.7	5.1	106.3	0.2	3.6	106.0	0.2	3.6	105.7	0.6	5.2	105.1	0.1	3.2
	6月	119.2	▲ 0.1	4.1	106.8	0.4	4.0	106.8	0.7	4.0	105.9	0.2	5.0	105.2	0.1	3.3
	7月	119.5	0.3	3.6	107.4	0.6	4.0	107.3	0.5	4.0	106.6	0.7	5.2	105.7	0.5	3.3
	8月	119.8	0.3	3.4	107.6	0.2	4.1	107.5	0.1	4.0	106.9	0.3	5.3	105.9	0.3	3.2
	9月	119.6	▲ 0.2	2.2	108.1	0.4	3.8	107.6	0.1	3.5	107.2	0.2	4.8	106.2	0.3	3.0
	10月	119.5	▲ 0.1	1.1	109.3	1.2	4.6	108.6	0.9	3.8	107.8	0.6	4.8	107.1	0.9	3.3
	11月	119.8	0.3	0.5	108.8	▲ 0.5	3.9	108.4	▲ 0.1	3.4	107.9	0.1	4.7	106.9	▲ 0.2	2.8
	12月	120.2	0.3	0.3	109.0	0.2	3.4	108.6	0.1	3.1	108.0	0.1	4.6	106.8	▲ 0.1	2.6
6年	1月	120.2	0.0	0.3	109.0	0.0	2.8	108.4	▲ 0.1	2.6	107.9	▲ 0.1	4.1	106.9	0.1	2.2
	2月	120.4	0.2	0.7	108.8	▲ 0.1	3.6	108.4	0.0	3.5	107.9	0.0	3.8	106.9	0.0	2.8
	3月	120.8	0.3	0.9	109.5	0.6	3.6	108.8	0.4	3.3	108.3	0.4	3.5	107.2	0.3	2.7
	4月	121.5	0.6	1.2	109.8	0.3	3.5	109.1	0.3	3.1	108.6	0.2	3.3	107.7	0.4	2.5
	5月	122.4	0.7	2.6	110.4	0.5	3.8	109.7	0.5	3.4	108.8	0.2	2.9	108.1	0.4	2.8
	6月	122.7	0.2	2.9	110.2	▲ 0.1	3.2	109.9	0.2	2.9	108.7	▲ 0.1	2.6	108.2	0.1	2.8
	7月	123.1	0.3	3.0	110.6	0.3	3.0	110.4	0.5	2.8	108.9	0.2	2.1	108.6	0.4	2.8
資 料 出 所	日本銀行「企業物価指数」			県統計課「仙台市消費者物価指数」									総務省「消費者物価指数」			

(注5) 季節調整済指数は、以下のホームページを参照願います。

・総務省統計局「消費者物価指数(CPI)結果」(https://www.stat.go.jp/data/cpi/1.html)

物 価						金 融 (注6)								
消費者物価指数 (令和2年=100)						貸出約定平均金利 (%) (注7)								
全 国 (注5)						東 北				全 国			短期 プライム レート (%)	長期 プライム レート (%)
生鮮食品を除く 総合指数			生鮮食品及びエネルギー を除く総合指数			前 月 (期) 差		前 月 (期) 差		前 月 (期) 差				
前 月 (期) 比	前年同月 (期) 比		前 月 (期) 比	前年同月 (期) 比		前 月 (期) 差	前 月 (期) 差	前 月 (期) 差	前 月 (期) 差	前 月 (期) 差	前 月 (期) 差	前 月 (期) 差		
100.2	-	0.6	99.8	-	0.6	0.848	▲ 0.044	0.898	▲ 0.048	1.475	0.95	令和元年 2年 3年 4年 5年		
100.0	-	▲ 0.2	100.0	-	0.2	0.807	▲ 0.041	0.858	▲ 0.040	1.475	1.00			
99.8	-	▲ 0.2	99.5	-	▲ 0.5	0.782	▲ 0.025	0.828	▲ 0.030	1.475	1.00			
102.1	-	2.3	100.5	-	1.1	0.745	▲ 0.037	0.802	▲ 0.026	1.475	1.25			
105.2	-	3.1	104.5	-	4.0	0.751	0.006	0.798	▲ 0.004	1.475	1.50			
100.5	0.5	0.6	99.2	0.0	▲ 1.0	0.775	▲ 0.007	0.822	▲ 0.006	1.475	1.10	4年 1~ 3月 4~ 6月 7~ 9月 10~12月		
101.6	1.1	2.2	100.0	0.8	0.8	0.761	▲ 0.014	0.814	▲ 0.008	1.475	1.20			
102.5	0.9	2.7	100.9	0.9	1.6	0.753	▲ 0.008	0.808	▲ 0.006	1.475	1.25			
103.8	1.3	3.8	101.9	1.0	2.7	0.745	▲ 0.008	0.802	▲ 0.006	1.475	1.25			
104.0	0.2	3.5	102.7	0.8	3.5	0.744	▲ 0.001	0.803	0.001	1.475	1.45	5年 1~ 3月 4~ 6月 7~ 9月 10~12月		
104.9	0.9	3.2	104.2	1.5	4.2	0.741	▲ 0.003	0.798	▲ 0.005	1.475	1.30			
105.6	0.7	3.0	105.2	1.0	4.3	0.753	0.012	0.798	0.000	1.475	1.45			
106.4	0.8	2.5	105.9	0.7	3.9	0.751	▲ 0.002	0.798	0.000	1.475	1.50			
106.6	0.2	2.5	106.0	0.1	3.2	0.765	0.014	0.813	0.015	1.475	1.60	6年 1~ 3月 4~ 6月		
107.5	0.8	2.5	106.6	0.6	2.3			0.829	0.016	1.475	1.80			
100.5	0.4	0.6	99.2	0.1	▲ 1.0	0.779	0.000	0.823	▲ 0.003	1.475	1.10	4年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月		
100.9	0.5	0.8	99.5	0.3	▲ 0.7	0.775	▲ 0.004	0.822	▲ 0.001	1.475	1.10			
101.4	0.4	2.1	99.9	0.4	0.8	0.772	▲ 0.003	0.819	▲ 0.003	1.475	1.10			
101.6	0.2	2.1	100.1	0.2	0.8	0.769	▲ 0.003	0.815	▲ 0.004	1.475	1.10			
101.7	0.1	2.2	100.1	0.0	1.0	0.761	▲ 0.008	0.814	▲ 0.001	1.475	1.20			
102.2	0.5	2.4	100.6	0.5	1.2	0.755	▲ 0.006	0.811	▲ 0.003	1.475	1.20			
102.5	0.3	2.8	100.9	0.3	1.6	0.751	▲ 0.004	0.807	▲ 0.004	1.475	1.20			
102.9	0.3	3.0	101.1	0.3	1.8	0.753	0.002	0.808	0.001	1.475	1.25			
103.4	0.6	3.6	101.7	0.6	2.5	0.751	▲ 0.002	0.805	▲ 0.003	1.475	1.25			
103.8	0.4	3.7	102.0	0.3	2.8	0.749	▲ 0.002	0.804	▲ 0.001	1.475	1.25			
104.1	0.2	4.0	102.1	0.1	3.0	0.745	▲ 0.004	0.802	▲ 0.002	1.475	1.25			
104.3	0.2	4.2	102.2	0.1	3.2	0.747	0.002	0.800	▲ 0.002	1.475	1.40		5年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	
103.6	▲ 0.6	3.1	102.6	0.4	3.5	0.742	▲ 0.005	0.800	0.000	1.475	1.50			
104.1	0.5	3.1	103.2	0.6	3.8	0.744	0.002	0.803	0.003	1.475	1.45			
104.8	0.7	3.4	104.0	0.7	4.1	0.746	0.002	0.802	▲ 0.001	1.475	1.40			
104.8	0.0	3.2	104.3	0.3	4.3	0.742	▲ 0.004	0.799	▲ 0.003	1.475	1.40			
105.0	0.2	3.3	104.4	0.0	4.2	0.741	▲ 0.001	0.798	▲ 0.001	1.475	1.30			
105.4	0.4	3.1	104.9	0.5	4.3	0.743	0.002	0.796	▲ 0.002	1.475	1.30			
105.7	0.2	3.1	105.2	0.3	4.3	0.749	0.006	0.795	▲ 0.001	1.475	1.40			
105.7	0.0	2.8	105.4	0.1	4.2	0.753	0.004	0.798	0.003	1.475	1.45			
106.4	0.7	2.9	105.8	0.4	4.0	0.755	0.002	0.799	0.001	1.475	1.50			
106.4	0.0	2.5	105.9	0.1	3.8	0.752	▲ 0.003	0.798	▲ 0.001	1.475	1.60			
106.4	0.0	2.3	105.9	0.0	3.7	0.751	▲ 0.001	0.798	0.000	1.475	1.50			
106.4	0.0	2.0	105.8	0.0	3.5	0.753	0.002	0.798	0.000	1.475	1.40	6年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月		
106.5	0.1	2.8	105.9	0.1	3.2	0.753	0.000	0.800	0.002	1.475	1.50			
106.8	0.3	2.6	106.2	0.2	2.9	0.765	0.012	0.813	0.013	1.475	1.60			
107.1	0.3	2.2	106.5	0.3	2.4	0.777	0.012	0.818	0.005	1.475	1.60			
107.5	0.3	2.5	106.6	0.1	2.1	0.787	0.010	0.825	0.007	1.475	1.70			
107.8	0.3	2.6	106.6	0.1	2.2			0.829	0.004	1.475	1.80			
108.3	0.5	2.7	106.9	0.2	1.9					1.475	1.80			
総務省「消費者物価指数」						日本銀行仙台支店 「東北地区主要金融経済統計」		日本銀行「預金・貸出関連統計」			資 料 出 所			

(注6) 年は年末、四半期は期末、月は月末。

(注7) 東北、全国は地方銀行の金利。

	雇 用										
	宮 城 (注8)					東 北 (注8)		全 国 (注8)			
	有効求人倍率 (倍)		有効求人数 (人)		有効求職者数 (人)		有効求人倍率 (倍)		有効求人倍率 (倍)		
		前 月 (期) 差		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前 月 (期) 差		前 月 (期) 差	
令和元年	1.63	▲ 0.06	56,033	▲ 5.0	34,298	▲ 1.8	1.48	▲ 0.05	1.60	▲ 0.01	
2年	1.26	▲ 0.37	43,295	▲ 22.7	34,450	0.4	1.18	▲ 0.30	1.18	▲ 0.42	
3年	1.30	0.04	45,626	5.4	35,212	2.2	1.25	0.07	1.13	▲ 0.05	
4年	1.37	0.07	49,445	8.4	35,974	2.2	1.38	0.13	1.28	0.15	
5年	1.37	0.00	49,278	▲ 0.3	35,969	▲ 0.0	1.33	▲ 0.05	1.31	0.03	
4年	1~ 3月	1.34	0.00	50,939	13.5	35,975	2.9	1.34	0.00	1.21	0.05
	4~ 6月	1.36	0.02	47,959	10.0	38,504	3.6	1.36	0.02	1.26	0.05
	7~ 9月	1.39	0.03	48,671	7.8	35,387	3.9	1.39	0.03	1.31	0.05
	10~12月	1.41	0.02	50,210	2.8	34,030	▲ 1.9	1.41	0.02	1.35	0.04
5年	1~ 3月	1.42	0.01	52,279	2.6	34,795	▲ 3.3	1.42	0.01	1.34	▲ 0.01
	4~ 6月	1.39	▲ 0.03	48,230	0.6	38,004	▲ 1.3	1.39	▲ 0.03	1.32	▲ 0.02
	7~ 9月	1.35	▲ 0.04	47,958	▲ 1.5	35,906	1.5	1.35	▲ 0.04	1.29	▲ 0.03
	10~12月	1.32	▲ 0.03	48,644	▲ 3.1	35,170	3.3	1.32	▲ 0.03	1.28	▲ 0.01
6年	1~ 3月	1.32	0.00	49,732	▲ 4.9	35,902	3.2	1.27	▲ 0.05	1.27	▲ 0.01
	4~ 6月	1.25	▲ 0.07	44,586	▲ 7.6	38,983	2.6	1.23	▲ 0.04	1.24	▲ 0.03
4年	2月	1.34	0.01	51,192	13.8	35,685	3.1	1.35	0.02	1.21	0.01
	3月	1.36	0.02	51,545	10.9	37,350	0.8	1.36	0.01	1.23	0.02
	4月	1.35	▲ 0.01	48,125	8.2	38,418	1.1	1.36	0.00	1.24	0.01
	5月	1.36	0.01	47,274	10.2	38,824	3.9	1.36	0.00	1.25	0.01
	6月	1.37	0.01	48,478	11.6	38,269	5.9	1.37	0.01	1.27	0.02
	7月	1.38	0.01	47,811	8.9	35,821	4.3	1.39	0.02	1.29	0.02
	8月	1.40	0.02	49,169	8.6	35,281	4.1	1.41	0.02	1.31	0.02
	9月	1.39	▲ 0.01	49,034	5.9	35,058	3.4	1.41	0.00	1.32	0.01
	10月	1.40	0.01	50,539	3.6	35,344	1.3	1.40	▲ 0.01	1.33	0.01
	11月	1.42	0.02	50,289	2.6	34,505	▲ 1.9	1.41	0.01	1.35	0.02
	12月	1.43	0.01	49,802	2.2	32,242	▲ 5.1	1.42	0.01	1.35	0.00
5年	1月	1.43	0.00	51,092	2.0	33,019	▲ 5.4	1.40	▲ 0.02	1.35	0.00
	2月	1.43	0.00	53,142	3.8	34,702	▲ 2.8	1.37	▲ 0.03	1.34	▲ 0.01
	3月	1.41	▲ 0.02	52,602	2.1	36,664	▲ 1.8	1.35	▲ 0.02	1.32	▲ 0.02
	4月	1.40	▲ 0.01	49,273	2.4	37,758	▲ 1.7	1.35	0.00	1.32	0.00
	5月	1.39	▲ 0.01	47,679	0.9	38,434	▲ 1.0	1.35	0.00	1.32	0.00
	6月	1.37	▲ 0.02	47,738	▲ 1.5	37,820	▲ 1.2	1.33	▲ 0.02	1.31	▲ 0.01
	7月	1.36	▲ 0.01	47,414	▲ 0.8	36,104	0.8	1.32	▲ 0.01	1.30	▲ 0.01
	8月	1.34	▲ 0.02	47,980	▲ 2.4	35,687	1.2	1.31	▲ 0.01	1.30	0.00
	9月	1.35	0.01	48,480	▲ 1.1	35,928	2.5	1.30	▲ 0.01	1.29	▲ 0.01
	10月	1.33	▲ 0.02	49,680	▲ 1.7	36,454	3.1	1.30	0.00	1.29	0.00
	11月	1.32	▲ 0.01	48,553	▲ 3.5	35,438	2.7	1.29	▲ 0.01	1.27	▲ 0.02
	12月	1.30	▲ 0.02	47,699	▲ 4.2	33,617	4.3	1.28	▲ 0.01	1.27	0.00
6年	1月	1.33	0.03	49,025	▲ 4.0	34,298	3.9	1.26	▲ 0.02	1.27	0.00
	2月	1.29	▲ 0.04	50,648	▲ 4.7	36,341	4.7	1.26	0.00	1.26	▲ 0.01
	3月	1.33	0.04	49,522	▲ 5.9	37,067	1.1	1.28	0.02	1.28	0.02
	4月	1.28	▲ 0.05	46,032	▲ 6.6	38,774	2.7	1.26	▲ 0.02	1.26	▲ 0.02
	5月	1.24	▲ 0.04	44,515	▲ 6.6	39,599	3.0	1.23	▲ 0.03	1.24	▲ 0.02
	6月	1.22	▲ 0.02	43,212	▲ 9.5	38,577	2.0	1.21	▲ 0.02	1.23	▲ 0.01
	7月										
資料出所	宮 城 労 働 局 「 一 般 職 業 紹 介 状 況 」										

(注8) 学卒除きパート含む。新規求人倍率、有効求人倍率のうち、月値(四半期値)は季節調整済値・前月(期)差。年値は原数値・前年差。

雇 用										
宮 城 (注8)						東 北 (注8)		全 国 (注8)		
新規求人倍率 (倍)		新規求人数 (人)		新規求職申込件数 (件)		新規求人倍率 (倍)		新規求人倍率 (倍)		
	前 月 (期) 差		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前 月 (期) 差		前 月 (期) 差	
2.35	▲ 0.08	19,773	▲ 5.8	8,412	▲ 2.6	2.06	▲ 0.05	2.42	0.03	令和元年
1.94	▲ 0.41	15,180	▲ 23.2	7,809	▲ 7.2	1.79	▲ 0.27	1.95	▲ 0.47	2年
2.10	0.16	16,394	8.0	7,814	0.1	1.97	0.18	2.02	0.07	3年
2.23	0.13	17,442	6.4	7,835	0.3	2.13	0.16	2.26	0.24	4年
2.14	▲ 0.09	17,307	▲ 0.8	8,080	3.1	1.99	▲ 0.14	2.29	0.03	5年
2.24	0.06	18,332	9.2	8,406	▲ 2.8	2.12	0.07	2.20	0.11	4年 1~3月
2.20	▲ 0.04	16,953	10.0	9,019	5.3	2.10	▲ 0.02	2.22	0.02	4~6月
2.23	0.03	16,977	4.9	7,227	2.0	2.16	0.06	2.31	0.09	7~9月
2.25	0.02	17,503	1.8	6,689	▲ 3.9	2.17	0.01	2.37	0.06	10~12月
2.24	▲ 0.01	18,917	3.2	8,665	3.1	2.05	▲ 0.12	2.33	▲ 0.04	5年 1~3月
2.17	▲ 0.07	16,776	▲ 1.0	9,058	0.4	2.02	▲ 0.03	2.30	▲ 0.03	4~6月
2.12	▲ 0.05	16,842	▲ 0.8	7,518	4.0	1.98	▲ 0.04	2.28	▲ 0.02	7~9月
2.08	▲ 0.04	16,694	▲ 4.6	7,078	5.8	1.94	▲ 0.04	2.25	▲ 0.03	10~12月
2.11	0.03	17,726	▲ 6.3	8,591	▲ 0.9	1.95	0.01	2.31	0.06	6年 1~3月
1.95	▲ 0.16	15,223	▲ 9.3	9,045	▲ 0.1	1.87	▲ 0.08	2.20	▲ 0.11	4~6月
2.27	▲ 0.02	17,146	6.1	8,002	▲ 5.6	2.13	▲ 0.02	2.24	0.07	4年 2月
2.17	▲ 0.10	17,740	4.8	8,788	▲ 4.9	2.08	▲ 0.05	2.20	▲ 0.04	3月
2.19	0.02	17,126	6.8	10,606	▲ 0.8	2.09	0.01	2.21	0.01	4月
2.22	0.03	15,987	15.8	8,482	13.2	2.09	0.00	2.22	0.01	5月
2.20	▲ 0.02	17,747	8.3	7,969	6.1	2.12	0.03	2.23	0.01	6月
2.22	0.02	16,675	0.6	6,811	▲ 1.7	2.16	0.04	2.33	0.10	7月
2.28	0.06	17,631	15.1	7,330	6.1	2.18	0.02	2.30	▲ 0.03	8月
2.19	▲ 0.09	16,625	▲ 0.2	7,540	1.7	2.13	▲ 0.05	2.30	0.00	9月
2.17	▲ 0.02	18,606	▲ 3.6	7,682	▲ 0.1	2.13	0.00	2.34	0.04	10月
2.28	0.11	17,681	10.3	6,744	▲ 3.6	2.19	0.06	2.39	0.05	11月
2.31	0.03	16,223	▲ 0.1	5,642	▲ 9.1	2.21	0.02	2.39	0.00	12月
2.21	▲ 0.10	19,363	▲ 3.7	8,665	2.8	2.07	▲ 0.14	2.35	▲ 0.04	5年 1月
2.34	0.13	20,075	17.1	8,591	7.4	2.03	▲ 0.04	2.33	▲ 0.02	2月
2.18	▲ 0.16	17,314	▲ 2.4	8,739	▲ 0.6	2.04	0.01	2.31	▲ 0.02	3月
2.10	▲ 0.08	16,342	▲ 4.6	10,596	▲ 0.1	1.99	▲ 0.05	2.25	▲ 0.06	4月
2.20	0.10	16,827	5.3	8,831	4.1	2.04	0.05	2.32	0.07	5月
2.20	0.00	17,160	▲ 3.3	7,747	▲ 2.8	2.03	▲ 0.01	2.31	▲ 0.01	6月
2.06	▲ 0.14	16,176	▲ 3.0	7,362	8.1	1.95	▲ 0.08	2.27	▲ 0.04	7月
2.22	0.16	17,088	▲ 3.1	7,430	1.4	2.01	0.06	2.31	0.04	8月
2.09	▲ 0.13	17,261	3.8	7,763	3.0	1.98	▲ 0.03	2.25	▲ 0.06	9月
2.01	▲ 0.08	17,564	▲ 5.6	8,130	5.8	1.96	▲ 0.02	2.25	0.00	10月
2.10	0.09	16,405	▲ 7.2	6,909	2.4	1.92	▲ 0.04	2.25	0.00	11月
2.13	0.03	16,112	▲ 0.7	6,196	9.8	1.93	0.01	2.25	0.00	12月
2.00	▲ 0.13	18,224	▲ 5.9	8,817	1.8	1.93	0.00	2.28	0.03	6年 1月
2.14	0.14	18,344	▲ 8.6	8,770	2.1	1.91	▲ 0.02	2.26	▲ 0.02	2月
2.20	0.06	16,611	▲ 4.1	8,186	▲ 6.3	2.02	0.11	2.38	0.12	3月
1.93	▲ 0.27	15,366	▲ 6.0	11,096	4.7	1.91	▲ 0.11	2.17	▲ 0.21	4月
1.96	0.03	15,528	▲ 7.7	8,848	0.2	1.85	▲ 0.06	2.16	▲ 0.01	5月
1.96	0.00	14,774	▲ 13.9	7,191	▲ 7.2	1.84	▲ 0.01	2.26	0.10	6月
										7月

(注8：続) 新規求人数、有効求人数、新規求職申込件数、有効求職者数はすべて原数値。これらの年値(四半期値)は、年(四半期)平均値。

	雇 用												
	所定外労働時間(時間) (注9) (前年同月(期)比は指数 (令和2年=100))				実質賃金指数(注10) (令和2年=100)				雇用保険受給者実人員(人) (注11) (全国の単位は千人)				
	宮 城		全 国		宮 城		全 国		宮 城		全 国		
	前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		前年同月 (期) 比		
令和元年	13.8	▲ 18.5	16.7	▲ 7.4	100.5	▲ 4.9	104.1	▲ 0.4	7,358	1.7	382	2.4	
2年	11.4	▲ 17.7	13.4	▲ 19.8	100.0	▲ 0.4	100.0	▲ 3.9	9,160	24.5	457	19.4	
3年	13.7	20.2	15.4	14.7	104.1	4.1	102.5	2.5	8,326	▲ 9.1	449	▲ 1.6	
4年	14.7	7.3	16.0	4.3	102.0	▲ 2.0	101.0	▲ 1.5	7,983	▲ 4.1	407	▲ 9.4	
5年	13.8	▲ 6.0	15.2	▲ 5.3	102.9	0.9	99.6	▲ 1.4	8,120	1.7	420	3.1	
4年	1~3月	15.1	12.5	16.3	8.9	84.4	2.4	82.6	▲ 0.7	7,373	▲ 7.9	383	▲ 13.6
	4~6月	13.9	0.6	15.5	3.0	102.0	▲ 6.4	100.4	▲ 1.9	7,682	▲ 6.4	392	▲ 12.5
	7~9月	14.5	3.5	15.8	1.8	102.5	5.3	100.8	▲ 1.4	8,943	▲ 1.0	450	▲ 6.5
	10~12月	15.3	12.8	16.5	3.7	118.4	▲ 7.3	119.7	▲ 2.0	7,934	▲ 1.5	403	▲ 5.2
5年	1~3月	14.5	▲ 4.2	15.3	▲ 6.2	85.1	0.8	80.2	▲ 2.9	7,255	▲ 1.6	377	▲ 1.8
	4~6月	13.9	▲ 0.2	14.8	▲ 4.3	105.1	3.0	100.6	0.2	7,779	1.3	407	3.6
	7~9月	13.3	▲ 8.7	14.9	▲ 5.7	102.8	0.3	99.2	▲ 1.6	9,033	1.0	468	4.0
	10~12月	13.7	▲ 10.4	15.7	▲ 5.0	118.2	▲ 0.2	118.3	▲ 1.2	8,415	6.1	427	6.2
6年	1~3月	14.5	▲ 0.7	14.3	▲ 6.3	88.3	3.5	78.3	▲ 1.9	7,679	5.8	392	4.0
	4~6月	13.5	▲ 2.9	14.2	▲ 4.3	108.6	2.2	99.3	▲ 0.5	8,269	6.3	419	3.0
4年	2月	15.4	8.3	16.6	10.6	82.9	▲ 0.8	80.6	▲ 0.4	7,249	▲ 8.5	376	▲ 13.9
	3月	14.3	5.7	16.8	6.9	83.5	1.1	85.2	▲ 1.2	7,300	▲ 7.3	378	▲ 15.2
	4月	14.5	5.7	16.7	6.2	85.7	0.0	83.7	▲ 1.1	7,180	▲ 6.3	366	▲ 15.8
	5月	13.1	▲ 1.7	14.4	1.3	82.3	▲ 4.6	80.5	▲ 3.9	7,513	▲ 5.7	387	▲ 10.7
	6月	14.1	▲ 2.1	15.4	1.2	138.2	▲ 10.8	137.0	▲ 1.0	8,354	▲ 7.1	425	▲ 11.1
	7月	14.5	▲ 0.2	16.1	▲ 2.0	128.1	8.1	142.2	1.0	8,674	▲ 3.9	439	▲ 9.6
	8月	14.4	7.4	15.1	▲ 0.1	88.0	▲ 0.9	80.8	▲ 3.6	9,357	0.9	469	▲ 4.4
	9月	14.7	3.4	16.1	7.9	91.6	8.1	79.7	▲ 3.0	8,798	0.1	441	▲ 5.5
	10月	14.8	9.4	16.5	9.1	81.1	▲ 4.5	79.5	▲ 3.2	8,359	0.2	419	▲ 4.5
	11月	16.0	20.1	16.6	3.1	88.4	▲ 0.8	87.1	▲ 2.5	7,982	0.1	402	▲ 5.8
	12月	15.2	9.2	16.5	▲ 0.7	185.3	▲ 11.3	192.3	▲ 1.4	7,462	▲ 5.0	387	▲ 5.3
5年	1月	13.8	▲ 11.5	14.5	▲ 6.5	81.5	▲ 6.0	78.9	▲ 3.8	7,435	▲ 1.8	385	▲ 2.9
	2月	15.1	▲ 1.9	15.6	▲ 6.1	83.4	0.6	77.8	▲ 3.5	7,153	▲ 1.3	371	▲ 1.3
	3月	14.5	1.4	15.8	▲ 6.0	90.2	8.0	83.7	▲ 1.8	7,177	▲ 1.7	374	▲ 1.0
	4月	14.2	▲ 2.0	15.5	▲ 7.1	86.9	1.4	80.6	▲ 3.7	6,929	▲ 3.5	369	0.8
	5月	12.9	▲ 1.5	14.1	▲ 2.1	84.2	2.3	81.7	1.5	7,940	5.7	413	6.9
	6月	14.5	2.8	14.9	▲ 3.2	144.2	4.3	139.2	1.6	8,468	1.4	438	3.1
	7月	14.0	▲ 3.5	15.2	▲ 5.6	140.1	9.4	139.0	▲ 2.3	8,916	2.8	465	6.0
	8月	12.5	▲ 13.2	14.2	▲ 5.9	86.3	▲ 1.9	79.7	▲ 1.4	9,381	0.3	485	3.4
	9月	13.3	▲ 9.5	15.2	▲ 5.6	82.2	▲ 10.3	78.8	▲ 1.1	8,801	0.0	453	2.6
	10月	13.3	▲ 10.1	15.7	▲ 4.8	80.9	▲ 0.2	78.0	▲ 1.9	8,881	6.2	452	7.9
	11月	14.0	▲ 12.5	15.9	▲ 4.2	85.9	▲ 2.8	84.2	▲ 3.3	8,455	5.9	426	6.0
	12月	13.9	▲ 8.6	15.5	▲ 6.0	188.0	1.5	193.1	0.4	7,908	6.0	405	4.5
6年	1月	14.2	2.2	13.5	▲ 6.9	85.9	5.3	77.6	▲ 1.3	8,001	7.6	407	5.6
	2月	14.7	▲ 3.9	14.6	▲ 6.4	84.2	1.0	76.3	▲ 1.7	7,679	7.4	392	5.7
	3月	14.5	0.0	14.9	▲ 5.7	94.7	4.4	80.9	▲ 2.9	7,356	2.5	376	0.6
	4月	14.3	0.0	14.6	▲ 5.8	89.5	2.5	79.7	▲ 0.6	7,668	10.7	393	6.6
	5月	13.1	1.5	13.6	▲ 2.9	88.2	4.6	79.1	▲ 2.8	8,544	7.6	431	4.3
	6月	13.2	▲ 9.6	14.3	▲ 4.0	148.3	0.7	139.1	1.0	8,594	1.5	433	▲ 1.2
	7月												
資料出所	県 統 計 課 「 毎 月 勤 労 統 計 調 査 」								宮城労働局「雇用保険主要指標」				

(注9) 事業所規模30人以上。製造業、一人月平均。

(注11) 年値(四半期値)は年(四半期)平均値。

(注10) 事業所規模30人以上。製造業、現金給与総額。

企 業 倒 産 (注12)												
企 業 倒 産 件 数 (件)						負 債 総 額 (百万円)						
宮 城	前年同月 (期) 比	東 北	前年同月 (期) 比	全 国	前年同月 (期) 比	宮 城	前年同月 (期) 比	東 北	前年同月 (期) 比	全 国	前年同月 (期) 比	
												139
113	▲ 18.7	355	▲ 12.3	7,773	▲ 7.3	23,379	▲ 15.2	59,247	▲ 27.1	1,220,046	▲ 14.3	
72	▲ 36.3	240	▲ 32.4	6,030	▲ 22.4	16,465	▲ 29.6	61,247	3.4	1,150,703	▲ 5.7	
100	38.9	341	42.1	6,428	6.6	22,668	37.7	55,669	▲ 9.1	2,331,443	102.6	
143	43.0	434	27.3	8,690	35.2	18,675	▲ 17.6	87,209	56.7	2,402,645	3.1	
33	73.7	104	82.5	1,504	▲ 3.2	4,713	269.1	13,725	79.6	307,602	5.9	4年 1~ 3月 4~ 6月 7~ 9月 10~12月
17	21.4	67	34.0	1,556	4.4	2,657	144.9	9,535	85.1	1,401,216	336.1	
24	0.0	69	9.5	1,585	9.5	4,681	▲ 61.7	11,925	▲ 49.5	340,869	34.6	
26	73.3	101	44.3	1,783	15.9	10,617	465.9	20,484	▲ 17.5	281,756	▲ 1.4	
41	24.2	95	▲ 8.7	1,956	30.1	4,499	▲ 4.5	22,289	62.4	300,538	▲ 2.3	5年 1~ 3月 4~ 6月 7~ 9月 10~12月
35	105.9	111	65.7	2,086	34.1	1,946	▲ 26.8	21,517	125.7	633,542	▲ 54.8	
34	41.7	113	63.8	2,238	41.2	7,746	65.5	20,374	70.9	962,456	182.4	
33	26.9	115	13.9	2,410	35.2	4,484	▲ 57.8	23,029	12.4	506,109	79.6	
44	7.3	150	57.9	2,319	18.6	8,102	80.1	25,006	12.2	360,971	20.1	6年 1~ 3月 4~ 6月
50	42.9	144	29.7	2,612	25.2	6,944	256.8	21,494	▲ 0.1	360,071	▲ 43.2	
11	266.7	31	181.8	459	2.9	1,249	1,659.2	3,118	5.0	70,989	5.2	4年 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月
11	0.0	43	48.3	593	▲ 6.5	2,070	219.0	6,380	94.2	169,673	20.0	
5	25.0	22	100.0	486	1.9	202	▲ 60.3	2,391	▲ 6.1	81,253	▲ 3.4	
6	200.0	22	57.1	524	11.0	2,254	2,520.9	4,375	370.4	87,380	▲ 48.2	
6	▲ 25.0	23	▲ 8.0	546	0.9	201	▲ 59.0	2,769	65.3	1,232,583	1,697.7	
4	▲ 50.0	24	20.0	494	3.8	868	▲ 92.3	4,812	▲ 67.0	84,570	18.3	
8	▲ 27.3	20	▲ 25.9	492	5.6	3,258	441.2	5,198	14.3	111,428	22.5	
12	140.0	25	56.3	599	18.6	555	82.0	1,915	▲ 57.5	144,871	59.4	
15	150.0	47	88.0	596	13.5	2,384	94.1	5,239	27.9	86,995	▲ 11.6	
3	▲ 50.0	23	▲ 11.5	581	13.9	7,789	1,642.5	11,824	90.6	115,589	22.8	
8	166.7	31	63.2	606	20.2	444	120.9	3,421	▲ 76.5	79,172	▲ 15.0	
11	0.0	22	▲ 26.7	570	26.1	1,188	▲ 14.8	2,268	▲ 46.3	56,524	▲ 15.6	
16	45.5	36	16.1	577	25.7	669	▲ 46.4	14,352	360.3	96,580	36.0	
14	27.3	37	▲ 14.0	809	36.4	2,642	27.6	5,669	▲ 11.1	147,434	▲ 13.1	
7	40.0	25	13.6	610	25.5	241	19.3	2,171	▲ 9.2	203,861	150.9	
10	66.7	32	45.5	706	34.7	526	▲ 76.7	3,376	▲ 22.8	278,734	219.0	
18	200.0	54	134.8	770	41.0	1,179	486.6	15,970	476.7	150,947	▲ 87.8	
11	175.0	40	66.7	758	53.4	3,532	306.9	7,116	47.9	162,137	91.7	
10	25.0	35	75.0	760	54.5	1,154	▲ 64.6	3,965	▲ 23.7	108,377	▲ 2.7	
13	8.3	38	52.0	720	20.2	3,060	451.4	9,293	385.3	691,942	377.6	
10	▲ 33.3	33	▲ 29.8	793	33.1	1,090	▲ 54.3	5,268	0.6	308,010	254.1	
10	233.3	31	34.8	807	38.9	2,416	▲ 69.0	6,260	▲ 47.1	94,871	▲ 17.9	
13	62.5	51	64.5	810	33.7	978	120.3	11,501	236.2	103,228	30.4	
10	▲ 9.1	31	40.9	701	23.0	2,376	100.0	5,029	121.7	79,123	40.0	6年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月
15	▲ 6.3	55	52.8	712	23.4	2,982	345.7	11,176	▲ 22.1	139,596	44.5	
19	35.7	64	73.0	906	12.0	2,744	3.9	8,801	55.2	142,252	▲ 3.5	
16	128.6	40	60.0	783	28.4	2,594	976.3	4,713	117.1	113,423	▲ 44.4	
22	120.0	64	100.0	1,009	42.9	2,567	388.0	11,882	252.0	136,769	▲ 50.9	
12	▲ 33.3	40	▲ 25.9	820	6.5	1,783	51.2	4,899	▲ 69.3	109,879	▲ 27.2	
14	27.3	54	35.0	953	25.7	2,054	▲ 41.8	6,539	▲ 8.1	781,206	381.8	

株 式 会 社 東 京 商 工 リ サ ー 子 「 倒 産 月 報 」 資 料 出 所

(注12) 負債総額1千万円以上。

	市 場				輸 出 入 通 関 実 績				
	株 式 (円)		円相場 (1ドルにつき円) (注13)		宮 城 (百万円)				
	株 価 日経平均株価		東京インターバンク相場		輸 出		輸 入		輸出超過
	終 値	前 月 (期) 差	スポット・ レ ー ト	前 月 (期) 差	前年同月 (期) 比	前年同月 (期) 比	前年同月 (期) 比	前年同月 (期) 比	
令和元年	23,656.62	3,641.85	109.15	▲ 1.25	247,169	▲ 19.4	788,806	▲ 8.6	▲ 541,637
2年	27,444.17	3,787.55	103.33	▲ 5.82	185,917	▲ 24.8	618,106	▲ 21.6	▲ 432,189
3年	28,791.71	1,347.54	115.12	11.79	234,745	26.3	747,355	20.9	▲ 512,610
4年	26,094.50	▲ 2,697.21	132.14	17.02	335,819	43.1	1,067,690	42.9	▲ 731,871
5年	33,464.17	7,369.67	141.40	9.26	356,156	6.1	1,112,506	4.2	▲ 756,350
4年 1~3月	27,821.43	▲ 970.28	121.64	6.52	77,434	60.0	232,093	59.5	▲ 154,660
4~6月	26,393.04	▲ 1,428.39	136.20	14.56	74,780	35.3	193,765	34.9	▲ 118,985
7~9月	25,937.21	▲ 455.83	144.32	8.12	95,546	49.4	310,591	66.3	▲ 215,045
10~12月	26,094.50	157.29	132.14	▲ 12.18	88,060	31.2	331,241	22.0	▲ 243,182
5年 1~3月	28,041.48	1,946.98	133.13	0.99	94,081	21.5	321,970	38.7	▲ 227,889
4~6月	33,189.04	5,147.56	144.85	11.72	80,396	7.5	217,104	12.0	▲ 136,708
7~9月	31,857.62	▲ 1,331.42	148.77	3.92	82,220	▲ 13.9	236,651	▲ 23.8	▲ 154,431
10~12月	33,464.17	1,606.55	141.40	▲ 7.37	99,459	12.9	336,781	1.7	▲ 237,322
6年 1~3月	40,369.44	6,905.27	151.34	9.94	117,170	24.5	309,236	▲ 4.0	▲ 192,066
4~6月	39,583.08	▲ 786.36	160.93	9.59	111,495	38.7	304,561	40.3	▲ 193,067
4年 2月	26,526.82	▲ 475.16	115.50	0.07	29,714	88.1	86,640	67.9	▲ 56,926
3月	27,821.43	1,294.61	121.64	6.14	25,457	34.9	65,780	45.2	▲ 40,323
4月	26,847.90	▲ 973.53	130.60	8.96	21,765	31.8	79,028	56.2	▲ 57,264
5月	27,279.80	431.90	127.76	▲ 2.84	24,828	36.9	57,786	12.6	▲ 32,958
6月	26,393.04	▲ 886.76	136.20	8.44	28,187	36.7	56,950	36.6	▲ 28,763
7月	27,801.64	1,408.60	132.78	▲ 3.42	36,376	101.4	105,330	112.7	▲ 68,954
8月	28,091.53	289.89	138.60	5.82	29,402	41.5	103,966	41.5	▲ 74,564
9月	25,937.21	▲ 2,154.32	144.32	5.72	29,768	18.6	101,294	58.9	▲ 71,526
10月	27,587.46	1,650.25	148.01	3.69	31,038	38.1	108,634	35.1	▲ 77,596
11月	27,968.99	381.53	138.53	▲ 9.48	26,150	13.7	101,618	13.5	▲ 75,468
12月	26,094.50	▲ 1,874.49	132.14	▲ 6.39	30,871	42.6	120,989	19.2	▲ 90,118
5年 1月	27,327.11	1,232.61	130.15	▲ 1.99	26,591	19.4	114,613	43.9	▲ 88,023
2月	27,445.56	118.45	136.76	6.61	28,311	▲ 4.7	106,259	22.6	▲ 77,947
3月	28,041.48	595.92	133.13	▲ 3.63	39,178	53.9	101,098	53.7	▲ 61,919
4月	28,856.44	814.96	135.73	2.60	27,762	27.6	92,297	16.8	▲ 64,535
5月	30,887.88	2,031.44	139.75	4.02	25,661	3.4	83,556	44.6	▲ 57,895
6月	33,189.04	2,301.16	144.85	5.10	26,973	▲ 4.3	41,251	▲ 27.6	▲ 14,278
7月	33,172.22	▲ 16.82	142.18	▲ 2.67	29,726	▲ 18.3	56,753	▲ 46.1	▲ 27,027
8月	32,619.34	▲ 552.88	145.91	3.73	23,727	▲ 19.3	93,896	▲ 9.7	▲ 70,169
9月	31,857.62	▲ 761.72	148.77	2.86	28,767	▲ 3.4	86,001	▲ 15.1	▲ 57,234
10月	30,858.85	▲ 998.77	150.29	1.52	33,344	7.4	93,945	▲ 13.5	▲ 60,600
11月	33,486.89	2,628.04	147.06	▲ 3.23	31,259	19.5	117,529	15.7	▲ 86,271
12月	33,464.17	▲ 22.72	141.40	▲ 5.66	34,856	12.9	125,307	3.6	▲ 90,450
6年 1月	36,286.71	2,822.54	147.66	6.26	36,382	36.8	105,491	▲ 8.0	▲ 69,109
2月	39,166.19	2,879.48	149.68	2.02	34,715	22.6	110,529	4.0	▲ 75,815
3月	40,369.44	1,203.25	151.34	1.66	46,073	17.6	93,216	▲ 7.8	▲ 47,143
4月	38,405.66	▲ 1,963.78	156.86	5.52	40,225	44.9	115,573	25.2	▲ 75,348
5月	38,487.90	82.24	157.15	0.30	35,896	39.9	97,391	16.6	▲ 61,495
6月	39,583.08	1,095.18	160.93	3.80	35,374	31.1	91,597	122.0	▲ 56,224
7月	39,101.82	▲ 481.26	150.91	▲ 10.02					
資 料 出 所	株式会社 日本経済新聞社		日本銀行 「主要時系列統計データ表」		財務省関税局 「普通貿易統計」				

(注13) 年は年末、四半期は期末、月は月末。



## 経済の動き\*

### 【全体感】

東北地域の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

### 【各論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、増加している。

6月短観（東北地区）における2024年度の設備投資をみると、中長期的な目線に基づいた能力増強投資や省力化投資、新規出店などがみられることから、増加している。

個人消費は、緩やかに回復している。

主要小売業販売額をみると、ドラッグストアは、増加している。スーパーとコンビニエンスストアは、回復している。百貨店は、弱めの動きとなっている。ホームセンターは、減少している。また、家電大型専門店は、下げ止まっている。乗用車の新車登録台数は、供給制約の影響を受けて、減少している。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲のいずれも弱い動きとなっている。

\* 直近の金融経済統計および企業ヒアリングをもとに、東北地区6県（青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島）の金融経済情勢を取り纏め。

▼日本銀行仙台支店HPへのアクセス

当店HPでは「経済の動き」を始め、東北経済に関する様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



## 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、持ち直しの動きが足踏みしている。

主要業種別にみると、輸送機械は、弱めの動きとなっている。生産用機械等は、下げ止まっている。電子部品・デバイスと食料品は、持ち直している。

## 3. 雇用・所得

雇用・所得環境は、改善している。

労働需給は、引き締まった状態にある。この間、雇用者所得は、業種ごとのばらつきを伴いながらも増加している。

## 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

## 5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながら前年と比べて増加している。

## 6. 金融情勢

預金動向をみると、法人、個人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、横ばい圏内で推移している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行仙台支店営業課 TEL：022-214-3120
---

全国企業短期経済観測調査結果（東北地区6県）—2024年6月調査—

調査対象企業数

	製造業	非製造業	全産業
調査対象企業数	231社	419社	650社
うち 大企業	16社	18社	34社
中堅・中小企業	215社	401社	616社
回答企業数	230社	418社	648社
回答率	99.6%	99.8%	99.7%

<回答期間> 5月29日～6月28日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート (全規模・全産業)

(円/ドル)

	2023年度		2024年度			
		上期	下期	上期	下期	
2024年6月調査	140.24	138.17	142.31	144.41	144.46	144.35

<本件に関する問い合わせ先>

日本銀行仙台支店営業課 022-214-3120

1. 業況判断

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	社数 構成比 (今回 調査)	東北・全規模					
		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
					変化幅	変化幅	
製造業	35	▲12	▲5	▲9	3	▲1	8
食料品	6	0	▲3	▲6	▲6	0	6
繊維	2	0	▲9	0	0	▲17	▲17
木材・木製品	1	▲33	▲17	▲33	0	0	33
化学	2	▲33	▲25	▲25	8	▲25	0
窯業・土石	2	▲20	0	0	20	0	0
鉄鋼	2	▲62	▲38	▲30	32	▲15	15
非鉄金属	2	▲9	▲8	8	17	0	▲8
金属製品	1	0	0	11	11	11	0
はん用・生産用・業務用機械	5	0	6	0	0	11	11
はん用機械	1	0	16	0	0	0	0
生産用機械	3	▲5	▲5	▲10	▲5	0	10
業務用機械	1	11	22	22	11	44	22
電気機械	8	▲17	▲6	▲15	2	▲8	7
輸送用機械	2	▲7	29	0	7	29	29
その他	3	5	▲6	▲11	▲16	0	11
非製造業	65	6	3	6	0	3	▲3
建設	17	0	▲4	2	2	▲1	▲3
不動産・物品賃貸	5	24	12	18	▲6	18	0
不動産	2	7	6	7	0	13	6
物品賃貸	3	39	16	27	▲12	22	▲5
卸・小売	16	12	8	7	▲5	▲2	▲9
卸売	9	5	3	8	3	▲4	▲12
小売	7	19	13	5	▲14	0	▲5
運輸・郵便	7	▲10	▲10	▲8	2	▲11	▲3
情報通信	3	▲8	▲13	▲5	3	▲4	1
電気・ガス	4	5	8	9	4	8	▲1
対事業所サービス	4	4	4	8	4	11	3
対個人サービス	3	27	32	41	14	27	▲14
宿泊・飲食サービス	4	20	12	16	▲4	20	4
鉱業・採石業・砂利採取業	1	▲17	▲17	▲17	0	▲17	0
全産業	100	0	0	1	1	2	1

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	東北・大企業					
	2024年3月調査		2024年6月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
製造業	38	38	31	▲7	25	▲6
非製造業	22	11	11	▲11	6	▲5
全産業	29	24	21	▲8	15	▲6

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	東北・中堅中小企業					
	2024年3月調査		2024年6月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
製造業	▲14	▲7	▲11	3	▲3	8
非製造業	5	2	6	1	2	▲4
全産業	▲2	▲1	0	2	0	0

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	全国・全規模					
	2024年3月調査		2024年6月調査			
	最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅	変化幅	
製造業	4	4	5	1	6	1
非製造業	18	13	19	1	13	▲6
全産業	12	9	12	0	10	▲2

(注1) 判断項目において、「最近」は回答時点を、「先行き」は3か月後を示す。

「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。

「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比（以下、同じ）。

(注2) 大企業は資本金10億円以上、中堅・中小企業は資本金10億円未満の先。

## 2. 売上・収益計画

### 売上高

(前年度比・%)

			2023年度		2024年度	
				修正率	(計画)	修正率
東北	大企業	製造業	10.3	▲ 0.3	7.0	4.9
		非製造業	3.3	▲ 0.4	1.6	0.1
	中堅・中小企業	製造業	▲ 8.7	▲ 0.7	7.9	4.6
		非製造業	1.4	0.0	▲ 0.3	0.1
	全規模	製造業	▲ 2.2	▲ 0.6	7.6	4.7
		うち輸出	10.4	0.6	4.9	4.7
		非製造業	2.1	▲ 0.2	0.5	0.1
全産業	0.1	▲ 0.3	3.7	2.3		
全国	全規模	全産業	3.0	0.3	1.9	1.1

(前年同期比・%)

2023/上期		2023/下期		2024/上期		2024/下期	
			修正率	(計画)	修正率	(計画)	修正率
23.5	▲ 0.2	▲ 0.6	8.0	6.3	6.1	3.5	
3.5	3.1	▲ 0.7	2.7	0.3	0.6	0.0	
▲ 11.5	▲ 5.8	▲ 0.6	5.4	2.6	10.3	6.6	
2.7	0.3	▲ 0.1	▲ 0.3	0.7	▲ 0.3	▲ 0.5	
▲ 0.5	▲ 3.7	▲ 0.6	6.4	4.0	8.7	5.4	
13.3	7.8	0.8	3.8	4.1	6.0	5.2	
3.0	1.4	▲ 0.4	0.9	0.5	0.1	▲ 0.3	
1.3	▲ 1.0	▲ 0.5	3.4	2.2	4.0	2.3	
3.9	2.2	0.5	2.1	1.1	1.7	1.1	

(注) 修正率は、前回調査との対比（以下、同じ）。

### 経常利益

(前年度比・%)

			2023年度		2024年度	
				修正率	(計画)	修正率
東北	大企業	製造業	26.5	3.1	20.8	8.8
		非製造業	7.2	3.6	▲ 5.6	▲ 2.2
	中堅・中小企業	製造業	▲ 67.4	1.6	84.7	80.5
		非製造業	10.6	11.9	▲ 14.0	▲ 4.3
	全規模	製造業	▲ 47.5	2.4	52.0	42.4
		非製造業	9.3	8.6	▲ 10.9	▲ 3.4
		全産業	▲ 26.3	5.7	17.2	18.7
全国	全規模	全産業	12.4	5.1	▲ 7.5	0.2

(前年同期比・%)

2023/上期		2023/下期		2024/上期		2024/下期	
			修正率	(計画)	修正率	(計画)	修正率
115.7	▲ 4.3	5.6	22.6	0.0	19.4	17.1	
13.5	2.7	1.4	▲ 8.4	0.2	▲ 3.4	▲ 3.8	
▲ 73.0	▲ 57.9	8.7	34.2	51.4	139.8	104.6	
1.3	18.1	20.0	▲ 6.1	▲ 4.5	▲ 19.6	▲ 4.1	
▲ 54.4	▲ 39.0	7.0	28.8	23.2	73.3	59.3	
5.8	12.0	12.4	▲ 7.0	▲ 2.7	▲ 13.6	▲ 4.0	
▲ 35.1	▲ 17.2	10.1	10.1	10.3	22.9	25.6	
12.3	12.5	11.3	▲ 11.8	▲ 6.4	▲ 2.9	7.7	

(注) 売上高、経常利益の項目は、企業から回答が得られなかった場合、前年同期の値等を代替入力する処理を実施している。

### 3. 設備投資計画等

#### 設備投資額（含む土地投資額）

（前年度比・％）

			2023年度		2024年度	
				修正率	(計画)	修正率
東北	大企業	製造業	▲ 35.0	▲ 5.2	34.2	22.8
		非製造業	▲ 5.7	▲ 0.7	44.2	▲ 1.3
	中堅・中小企業	製造業	34.9	▲ 0.7	5.9	0.4
		非製造業	10.7	1.5	▲ 13.3	▲ 2.6
	全規模	製造業	6.3	▲ 1.9	13.0	6.1
		非製造業	5.1	0.8	4.4	▲ 2.1
	全産業	5.8	▲ 0.8	9.5	2.8	
全国	全規模	全産業	10.6	▲ 0.2	8.4	4.8

（注）設備投資額（含む土地投資額）は、ソフトウェア投資額、研究開発投資額は含まない。

#### 生産・営業用設備判断

（「過剰」－「不足」・％ポイント）

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅		先行き
東北	製造業	3	0	7	4	3	▲ 4
	非製造業	▲ 4	▲ 6	▲ 4	0	▲ 6	▲ 2
	全産業	▲ 1	▲ 5	0	1	▲ 3	▲ 3
全国	製造業	2	▲ 1	2	0	0	▲ 2
	非製造業	▲ 4	▲ 5	▲ 4	0	▲ 5	▲ 1
	全産業	▲ 1	▲ 4	▲ 1	0	▲ 4	▲ 3

#### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）

（前年度比・％）

			2023年度		2024年度	
				修正率	(計画)	修正率
東北	全規模	製造業	7.6	▲ 1.2	13.7	9.0
		非製造業	5.4	0.4	9.4	▲ 1.6
		全産業	7.0	▲ 0.8	12.5	5.8
全国	全規模	全産業	9.4	▲ 0.7	10.6	5.1

（注）設備投資額（含む土地投資額）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資額）の項目は、企業から回答が得られなかった場合、前年同期の値等を代替入力する処理を実施している。

#### 4. 需給・在庫・価格判断

国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」・%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近		先行き	
				変化幅	変化幅	変化幅	変化幅
東北	製造業	▲ 25	▲ 19	▲ 20	5	▲ 18	2
	非製造業	▲ 12	▲ 13	▲ 10	2	▲ 12	▲ 2

製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」・%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査	
		最近	先行き	最近	
				変化幅	変化幅
東北	製造業	20		23	3

販売価格判断 (「上昇」-「下落」・%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近		先行き	
				変化幅	変化幅	変化幅	変化幅
東北	製造業	22	29	24	2	33	9
	非製造業	25	31	31	6	30	▲ 1

仕入価格判断 (「上昇」-「下落」・%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近		先行き	
				変化幅	変化幅	変化幅	変化幅
東北	製造業	53	59	60	7	63	3
	非製造業	56	56	58	2	60	2

#### 5. 雇用

雇用人員判断 (「過剰」-「不足」・%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近		先行き	
				変化幅	変化幅	変化幅	変化幅
東北	製造業	▲ 21	▲ 26	▲ 21	0	▲ 33	▲ 12
	非製造業	▲ 44	▲ 47	▲ 43	1	▲ 47	▲ 4
	全産業	▲ 36	▲ 39	▲ 35	1	▲ 42	▲ 7
全国	製造業	▲ 22	▲ 27	▲ 21	1	▲ 27	▲ 6
	非製造業	▲ 45	▲ 48	▲ 45	0	▲ 48	▲ 3
	全産業	▲ 36	▲ 39	▲ 35	1	▲ 40	▲ 5

新卒採用計画<6、12月調査のみ>

(前年度比・%)

		2023年度	2024年度		2025年度	
			(計画)	修正率	(計画)	修正率
東北	製造業	▲ 4.1	▲ 3.0	▲ 1.5	3.5	-
	非製造業	▲ 7.1	▲ 1.0	▲ 11.2	13.9	-
	全産業	▲ 5.5	▲ 2.1	▲ 6.2	8.3	-
全国	全産業	4.1	7.5	▲ 4.8	11.4	-

## 6. 企業金融

### 資金繰り判断 (全産業)

(「楽である」 - 「苦しい」・%ポイント)

	2024年3月調査		2024年6月調査	
	最近	先行き	最近	変化幅
	東北	0		1
全国	11		12	1

### 金融機関の貸出態度判断 (全産業)

(「緩い」 - 「厳しい」・%ポイント)

	2024年3月調査		2024年6月調査	
	最近	先行き	最近	変化幅
	東北	9		9
全国	15		15	0

### 借入金利水準判断 (全産業)

(「上昇」 - 「低下」・%ポイント)

	2024年3月調査		2024年6月調査			
	最近	先行き	最近	先行き	変化幅	変化幅
	東北	11	23	21	34	10
全国	17	31	32	43	15	11

## (参考) 県別業況判断

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

		2024年3月調査		2024年6月調査			
		最近	先行き	最近	先行き		変化幅
				変化幅		変化幅	
製造業	青森県	▲ 12	▲ 6	▲ 12	0	0	12
	岩手県	▲ 13	13	▲ 13	0	9	22
	宮城県	▲ 16	▲ 4	▲ 4	12	4	8
	秋田県	▲ 10	▲ 16	▲ 8	2	▲ 10	▲ 2
	山形県	▲ 17	▲ 7	▲ 11	6	▲ 4	7
	福島県	▲ 3	▲ 3	▲ 3	0	▲ 2	1
	東北	▲ 12	▲ 5	▲ 9	3	▲ 1	8

非製造業	青森県	7	6	13	6	4	▲ 9
	岩手県	▲ 3	2	▲ 5	▲ 2	▲ 11	▲ 6
	宮城県	11	10	2	▲ 9	9	7
	秋田県	11	2	3	▲ 8	0	▲ 3
	山形県	▲ 13	▲ 6	6	19	13	7
	福島県	3	▲ 3	2	▲ 1	▲ 3	▲ 5
	東北	6	3	6	0	3	▲ 3

全産業	青森県	0	2	4	4	2	▲ 2
	岩手県	▲ 7	7	▲ 8	▲ 1	▲ 4	4
	宮城県	4	6	0	▲ 4	7	7
	秋田県	5	▲ 4	▲ 1	▲ 6	▲ 3	▲ 2
	山形県	▲ 15	▲ 7	▲ 2	13	5	7
	福島県	1	▲ 4	0	▲ 1	▲ 3	▲ 3
	東北	0	0	1	1	2	1

(出所) 日本銀行青森支店・秋田支店・仙台支店・福島支店・盛岡事務所・山形事務所

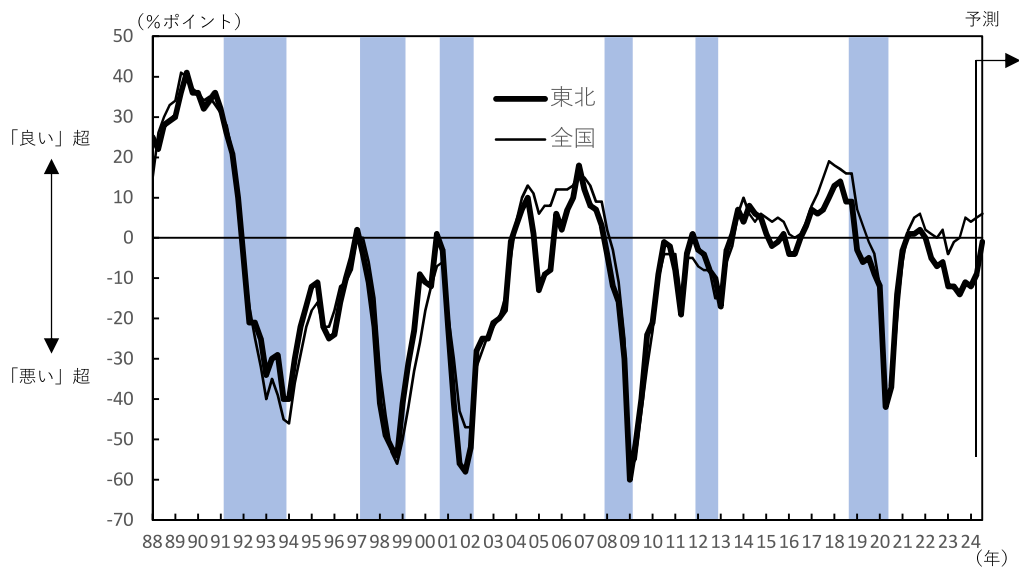


(参考)

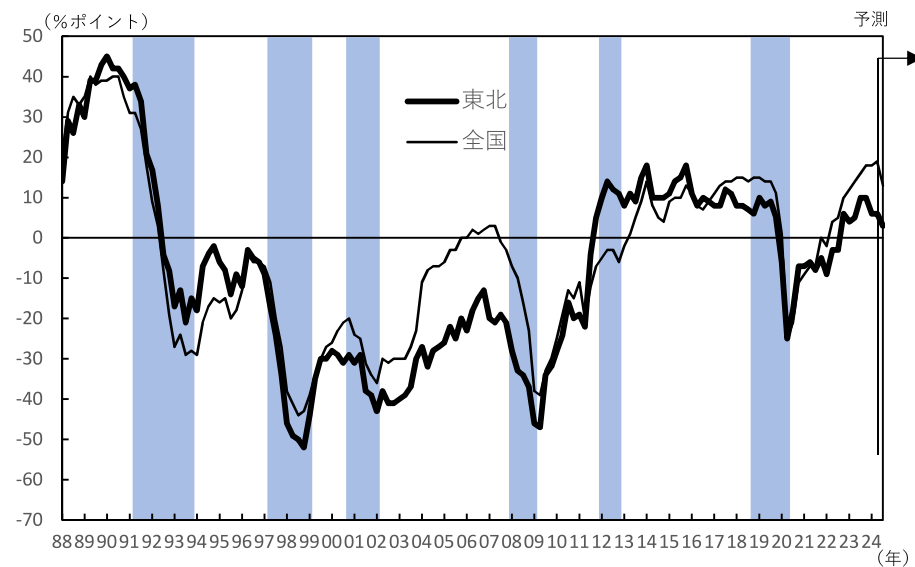
(注1) シャドローは、景気後退期（内閣府調べ）。  
(注2) 2004年3月調査より調査対象企業等の見直しを行ったことから、2003年12月調査以前と2004年3月調査以降の計数は連続しない。以下同じ。  
(注3) 企業規模別の2003年12月以前の大企業は従業員数1,000人以上、中堅・中小企業は従業員数1,000人未満の先。2004年3月以降の大企業は資本金10億円以上、中堅・中小企業は資本金10億円未満の先。

### 業況判断の推移

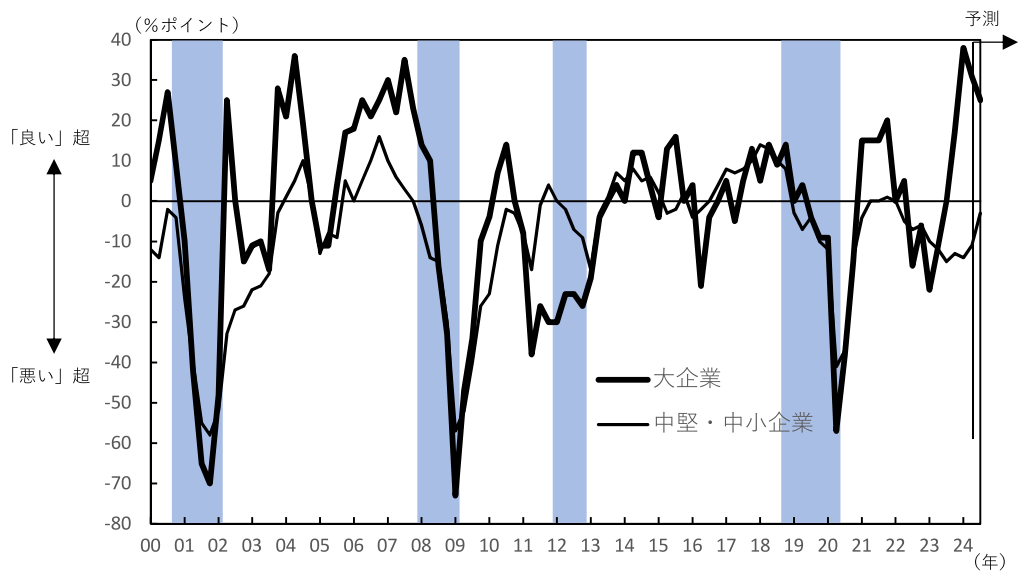
全規模・製造業



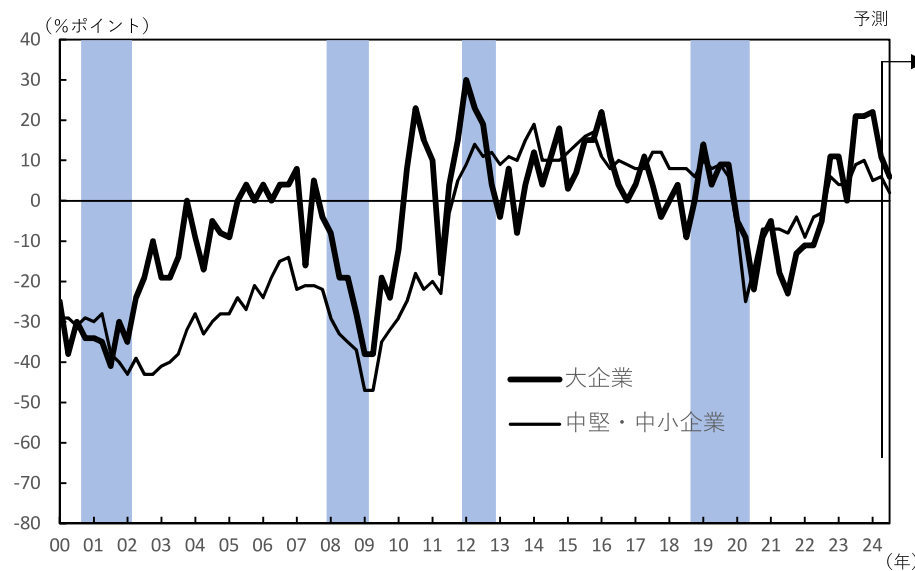
全規模・非製造業



企業規模別・製造業



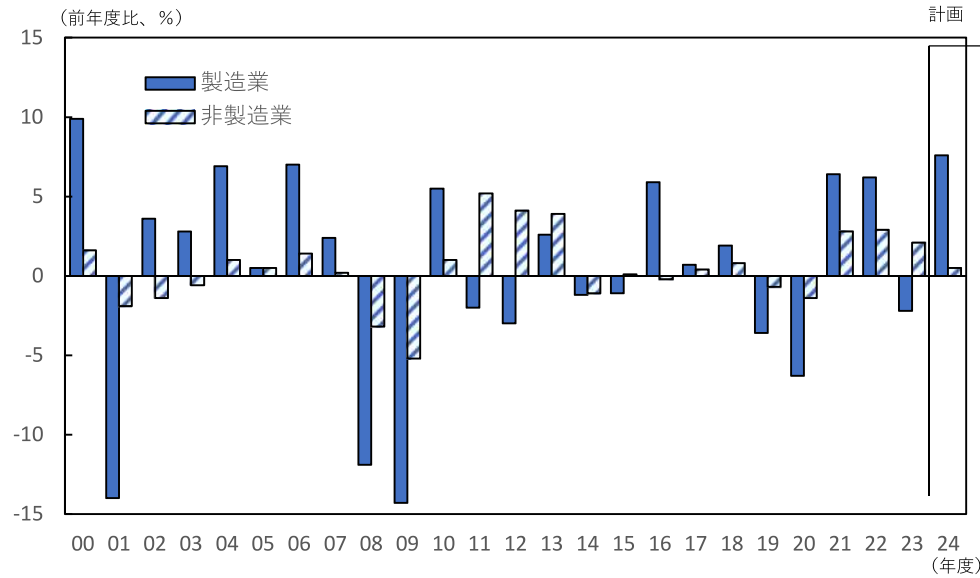
企業規模別・非製造業



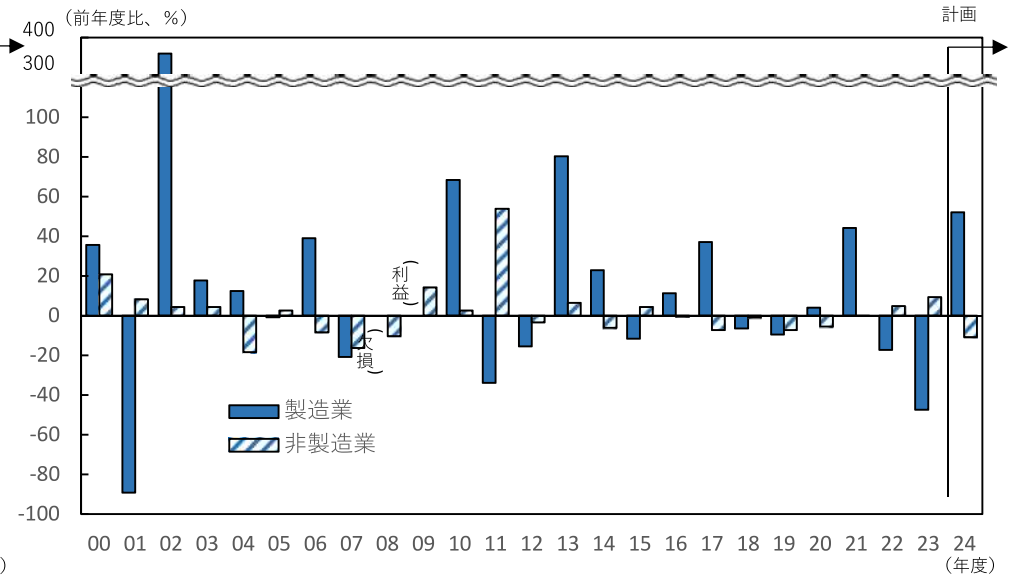
(注) 設備投資額(含む土地投資額)は、ソフトウェア投資額、研究開発投資額は含まない。2010年9月調査以降、リース会計対応前ベースの計数公表を取り止め、リース会計対応ベースの計数を正式指標として採用したため、2009年度以前と2010年度以降の計数は連続しない。

## 事業計画の推移

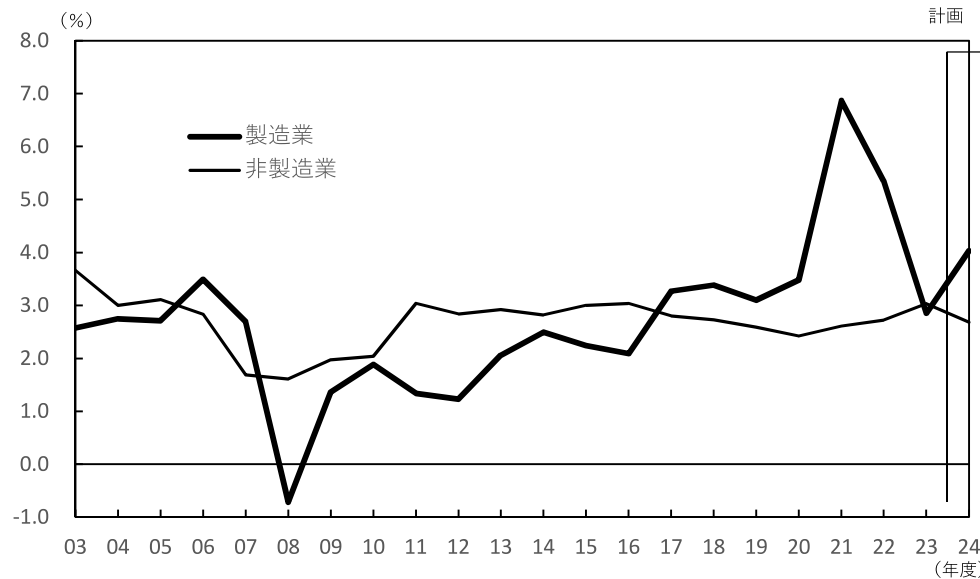
### 売上高



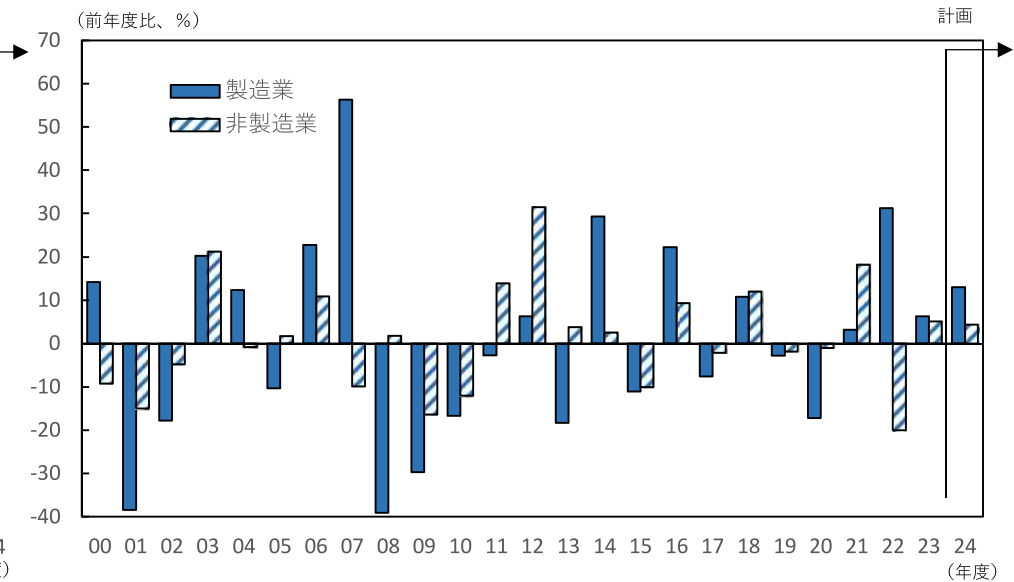
### 経常利益



### 売上高経常利益率

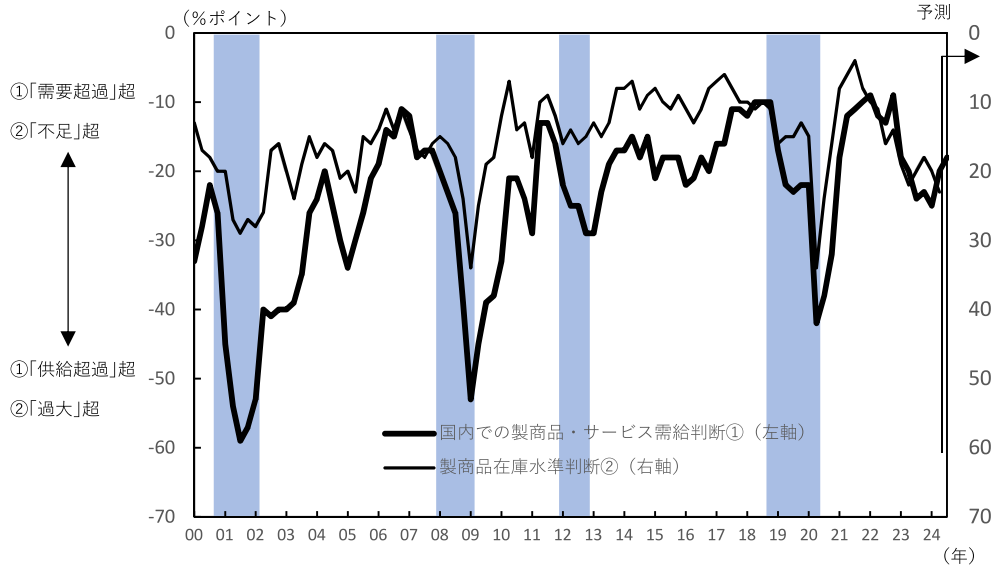


### 設備投資額(含む土地投資額)

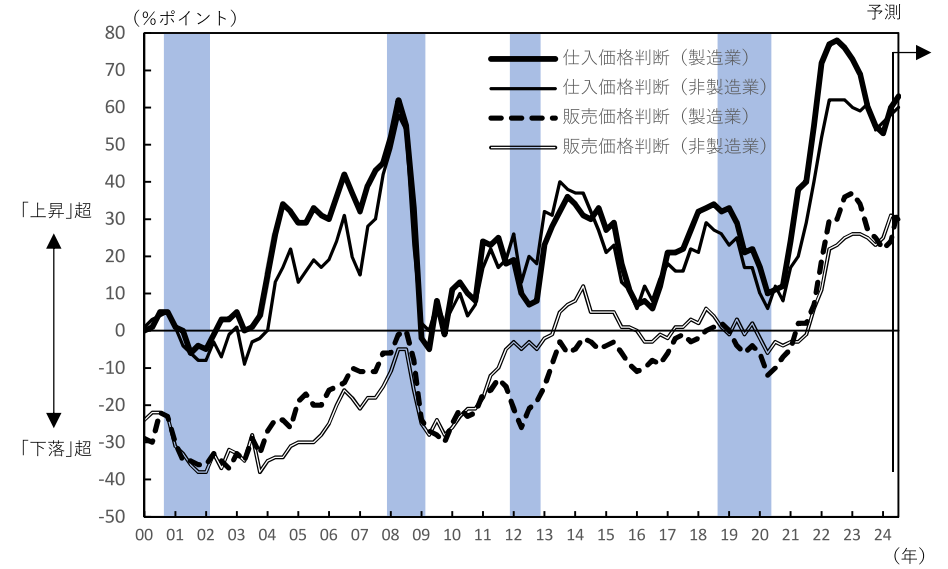


需給・価格判断、雇用人員判断、生産・営業用設備判断の推移

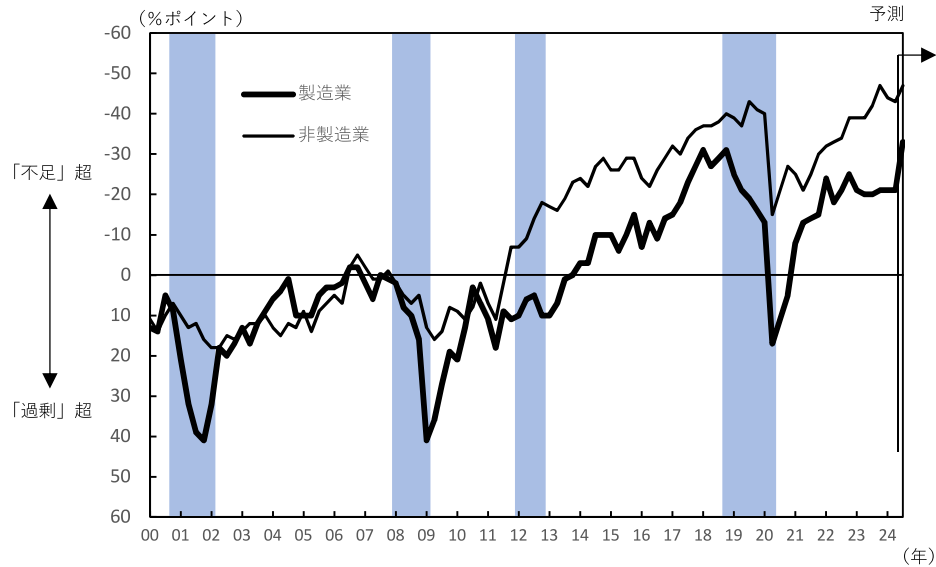
製商品・サービス需給判断と在庫水準判断（製造業）



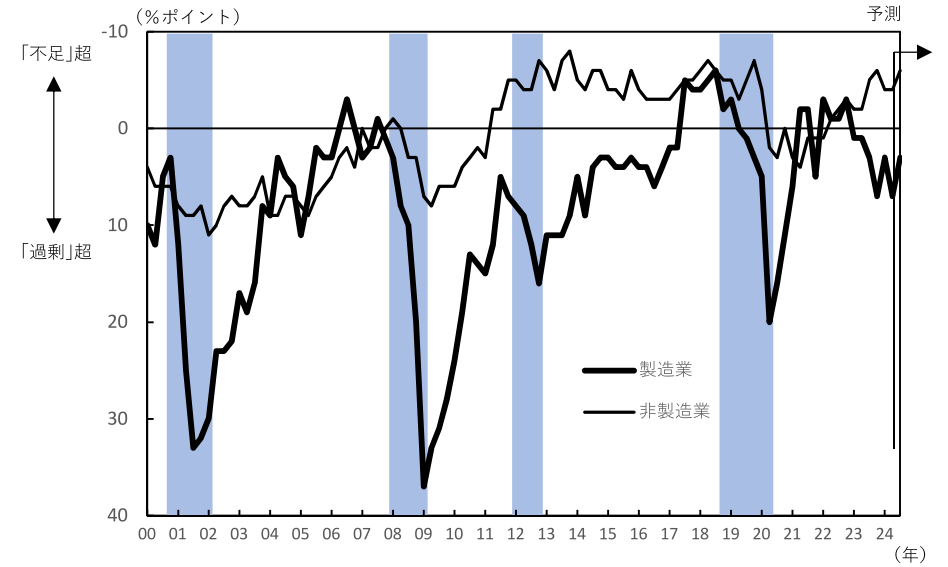
価格判断



雇用人員判断

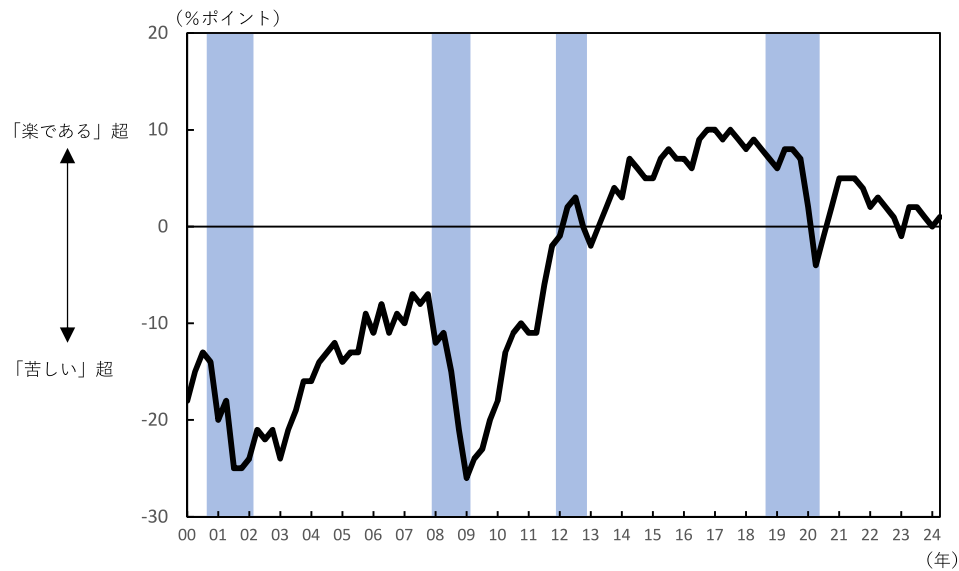


生産・営業用設備判断

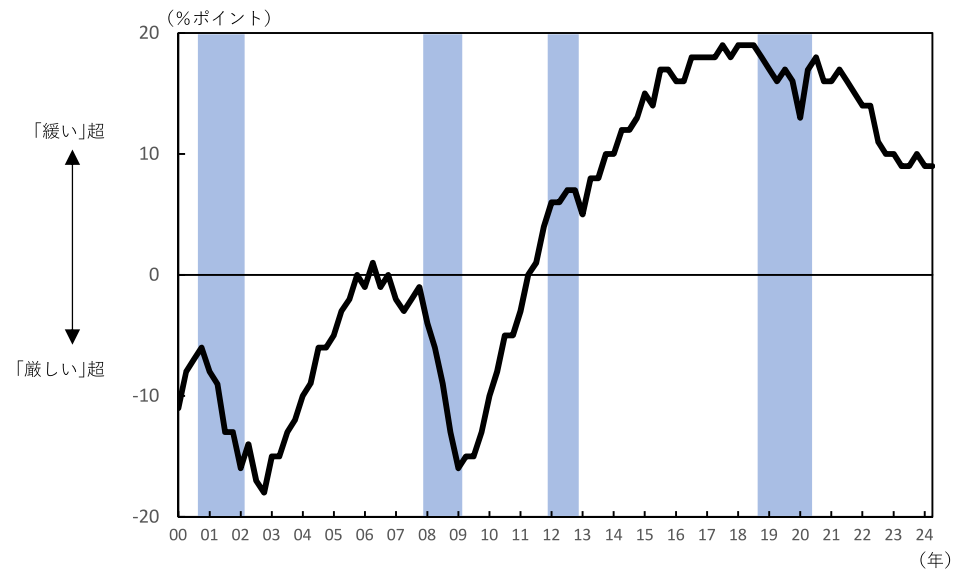


企業金融関連判断（全産業）の推移

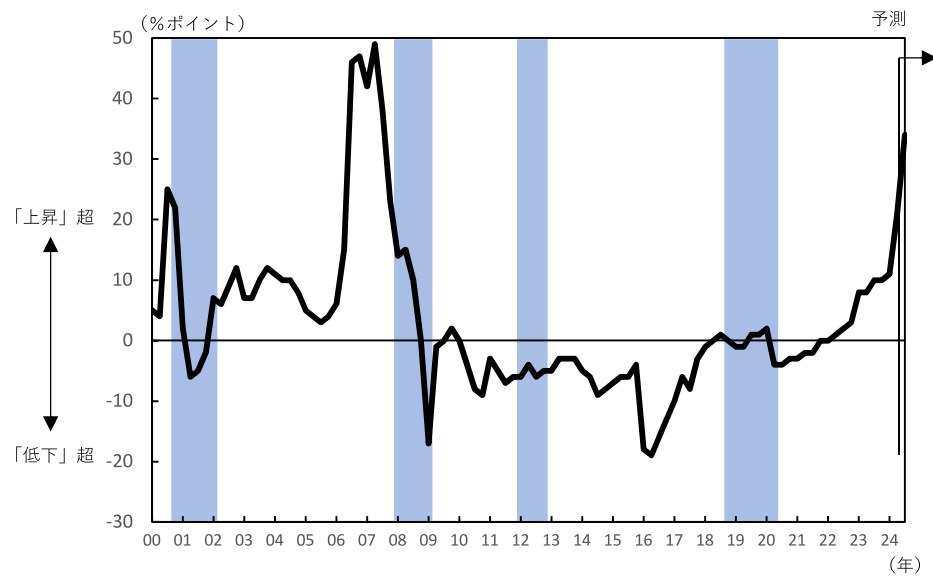
資金繰り判断



金融機関の貸出態度判断



借入金利水準判断



公表時間  
7月8日(月) 14時00分



**BOJ**  
*Reports & Research Papers*

2024年7月8日  
日 本 銀 行

# 地 域 経 済 報 告

— さくらレポート —

(2024年7月)

本報告は、本日開催の支店長会議に向けて収集された情報をもとに、支店等地域経済担当部署からの報告を集約したものである。

# 地 域 経 済 報 告

(2024年7月)

## 目 次

I. 各地域の景気判断の概要	・・・1
II. 地域別金融経済概況	・・・6
• 北海道	・・・7
• 東北	・・・11
• 北陸	・・・15
• 関東甲信越	・・・19
• 東海	・・・23
• 近畿	・・・27
• 中国	・・・31
• 四国	・・・35
• 九州・沖縄	・・・39

## 参考

日本銀行各支店等のホームページアドレス ・・・最終頁

### <地域区分>

地域名	都道府県	取りまとめ店
北海道	北海道	札幌支店
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	仙台支店
北陸	富山県、石川県、福井県	金沢支店
関東甲信越	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県	調査統計局 (本店)
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	名古屋支店
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	大阪支店
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県	広島支店
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	高松支店
九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県	福岡支店

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行調査統計局までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。








【照会先】 調査統計局 地域経済調査課 Tel. 03-3277-1357





## I. 各地域の景気判断の概要

### (1) 各地域の景気の総括判断

北陸を除く8地域では、景気は、一部に弱めの動きもみられるが、「緩やかに回復」、「持ち直し」、「緩やかに持ち直し」としている。北陸では、地震の影響による下押しが一部にみられるものの、「回復に向けた動きがみられている」としている。

#### ▽各地域の景気の総括判断と前回との比較

	【24/4月判断】	前回との比較	【24/7月判断】
北海道	持ち直している		一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している
東北	緩やかに持ち直している		緩やかに持ち直している
北陸	能登半島地震の影響により個人消費や生産の一部に下押しがみられており復旧の途上にあるものの、復旧復興需要や生産正常化が進むもとの、持ち直しの動きがみられている		能登半島地震の影響により一部に下押しがみられており復旧の途上にあるものの、復旧復興需要や生産正常化が進むもとの、回復に向けた動きがみられている
関東甲信越	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している		一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している
東海	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している		一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している
近畿	一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している		一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している
中国	緩やかな回復基調にある		緩やかな回復基調にある
四国	持ち直している		持ち直しのペースが鈍化している
九州・沖縄	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している		一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している

(注) 前回との比較の「」、「」は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いが変化したことを示す（例えば、改善度合いの強まりまたは悪化度合いの弱まりは、「」）。  
 なお、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、「」となる。

## (2) 各地域の需要項目等別の判断

	公共投資	設備投資	個人消費
北海道	高水準で推移している	緩やかに増加している	物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している
東北	弱めの動きとなっている	増加している	緩やかに回復している
北陸	復旧復興関連工事等により足もと増加しており、先行きもさらなる増加が見込まれる	増加している	復旧復興関連需要に加え、一部に休業を余儀なくされる地域があるものの政府による旅行支援制度の効果等もあって、回復に向けた動きがみられている
関東 甲信越	緩やかに増加している	増加している	一部に弱めの動きがみられ、増加ペースが幾分鈍化した状態が続いている
東海	高水準で推移している	増加している	物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直している
近畿	高水準で推移している	増加している	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している
中国	高水準で推移している	増加している	緩やかな回復基調にある
四国	持ち直している	増加している	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している
九州・ 沖縄	増加している	高水準で推移している	物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している



住宅投資	生産	雇用・所得	
減少している	横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる	雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している	北海道
弱い動きとなっている	持ち直しの動きが足踏みしている	雇用・所得環境は、改善している	東北
先行きは復旧需要等が見込まれるものの、足もとは減少している	地震の影響により一部で生産水準が低下しており復旧の途上にあるものの、足もと持ち直しつつある	雇用・所得環境は、地震による調整もみられるが、有効求人倍率や賃上げ動向からみると、足もと持ち直しつつある	北陸
弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	雇用・所得情勢は、緩やかに改善している	関東 甲信越
弱い動きとなっている	下押し圧力を受けているものの、増加基調にある	雇用・所得情勢は、緩やかに改善している	東海
横ばい圏内で推移している	横ばい圏内で推移している	雇用・所得環境をみると、緩やかに改善している	近畿
弱めの動きとなっている	横ばい圏内の動きとなっている	雇用・所得環境をみると、全体として緩やかに改善している	中国
弱めの動きとなっている	横ばい圏内の動きとなっている	雇用・所得情勢は、緩やかに改善している	四国
弱含んでいる	このところ弱めの動きとなっている	雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している	九州・ 沖縄

### (3) 企業等の主な声（トピック別）※

#### ①個人消費（インバウンド需要を含む）

- ・一部メーカーの生産停止が解除され、受注・登録台数ともに持ち直しているものの、新たな認証不正の問題もあり、影響を懸念（鹿児島[自動車販売]）。
- ・物価上昇の影響が続くもとで旧型モデルなどのセール品や廉価品の引き合いが強く、引き続き販売動向は弱め（福岡[家電販売]）。
- ・長引く物価高の中、家計応援キャンペーンと銘打って食料品や日用品の値下げを実施。値下げをした商品の販売は非常に好調であり、顧客の節約志向の高まりを感じている（高松[商業施設]）。
- ・物価上昇が続くもとで、購入点数の減少や相対的に安価なプライベートブランド商品へのシフトがみられる一方、高単価商品の販売も引き続き好調であるなど、メリハリの利いた消費行動が広がっている（那覇[小売]）。
- ・富裕層を中心に高価格帯の化粧品やブランド品の売れ行きが好調。円安を受けてインバウンド客の購買意欲も旺盛（金沢[百貨店]）。
- ・値上げを進めてきたもとでも、地元客の宴会需要や観光客の来店回復が続いており、売上は好調に推移している（松本[飲食]）。
- ・為替円安などで海外旅行が不人気な中、国内旅行へ支出を振り向ける動きもみられ、GWは沖縄方面などの遠方旅行が好調であった（大阪[旅行]）。
- ・国内レジャー客の需要は、GWを含め宿泊価格を引き上げるもとでも底堅く推移している。インバウンドは、東アジア圏の個人旅行客が大幅に増加しており、旺盛な需要が続いている（大阪[宿泊]）。

#### ②生産・輸出、設備投資

- ・供給面の問題による影響は受けているものの、高い水準にある受注残を背景に、生産は増加基調（名古屋[輸送用機械]）。
- ・完成車メーカーの生産再開を受けて、足もとの自動車部品の受注・生産は回復している。ただし、再び一部メーカーの生産が停止しているため、今後の受注への影響を懸念している（松本[輸送用機械]）。
- ・海外メーカーが生産能力を増強するもとで、アジア圏における汎用品の市況軟化につながっており、国内生産に対する調整圧力となっている（本店[化学]）。
- ・中国向けを中心に需要が増加傾向にあるほか、2024年度下期以降は主にAI関連の受注が回復するとみており、生産水準は高まる見通し（熊本[生産用機械]）。
- ・スマホやPC向け製品の在庫調整が進捗してきたことを受けて、生産ラインの稼働率を徐々に引き上げている（仙台[電気機械]）。
- ・半導体需要の一段の高まりとそれに伴う半導体製造装置の需要拡大を見込み、生産能力増強および製品の高付加価値化に向けた投資を実施（高松[窯業・土石]）。
- ・持続的な賃上げを行うため、施工図面の3Dモデル化による管理や測量のコスト削減などDXを通じた労働生産性向上に取り組んでいる（下関[建設]）。
- ・資材価格の高騰や建設業の人手不足による工期長期化の影響により、新設店舗を当初想定の2階建てから平屋建てに変更した（名古屋[小売]）。

※ 日本銀行の本支店・事務所による企業等へのヒアリングの際に聞かれた声をトピック単位でまとめたもの（各地域の「企業等の主な声」は「Ⅱ. 地域別金融経済概況」を参照）。（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名。

### ③雇用、賃金設定

- ・2024年度に大幅な賃上げを実施したところ、同業他社から転職の応募が増加するなど採用競争力が向上した（秋田[小売]）。
- ・業績が非常に好調に推移する中、昨今の物価上昇も考慮して従業員に報いるべく、今春は昨年を上回る高い賃上げを実施した（名古屋[輸送用機械]）。
- ・業績低迷で賃上げに踏み切れずにいた中、若手が数名退職したこともあり、2024年度は原資の確保に先行して平均8%の賃上げを実施（福岡[情報通信]）。
- ・2024年のベア率については、当初は昨年並みとする予定であったが、同業他社の多くが昨年を上回る賃上げ方針を打ち出す中、多少無理をして昨年以上の水準に引き上げた（福島[生産用機械]）。
- ・将来の中核を担う若年層の退職を防止するため、2024年度は、40代以上の社員よりも30代以下の社員の賃上げ幅を大きくし、限られた原資を若年層に重点配分した（仙台[食料品]）。
- ・ドラッグストア等との競合が激しい中、厳しい収益状況が続いており、賞与は夏しか支給できていない。このため、人材流出が激しく、新卒採用についても、2024年度入社はゼロ名となるなど非常に苦しい経営が続いている（高松[小売]）。
- ・建設業界では人材確保を目的とした企業買収の動きが活発化しており、当社も技術者の確保に向けてM&Aを検討している（札幌[建設]）。
- ・転職後の賃金が転職前を上回るケースが増えているもと、転職市場は引き続き活発な動きとなっている。先行きも、タイトな労働需給と雇用の流動化がドライバーとなり、賃金上昇の傾向が続くと見込まれる（本店[人材サービス]）。

### ④価格設定

- ・原材料価格の上昇一服から、再値上げは当面想定していなかった。ただし、最近の為替円安を受け、既に収益が下振れており、次の値上げを前倒しで行うかどうかを検討している（本店[食料品]）。
- ・物価高の影響で、近隣にディスカウントストアがある店舗の客数が減少しているため、対抗して一部商品を値下げし、顧客の係留を図っている（長崎[スーパー]）。
- ・定番商品の価格は据え置く一方、付加価値を高めた新規商品や季節限定の商品は値上げを実施することで、客離れを抑制しつつ、コスト上昇分の価格転嫁を進めている（福島[飲食]）。
- ・レンタカーの利用料金の値上げ以外にも、従来無料だった乗り捨て料金の有料化など、様々な手段を組み合わせてながら価格転嫁を進めている（仙台[物品賃貸]）。
- ・ホテルの宿泊価格は昨年来上昇傾向にある。円安が続く中で旺盛なインバウンド需要に陰りがみられないため、値上げの流れはしばらく続く見通し（京都[宿泊]）。
- ・優秀な講師確保のためには継続的な賃上げおよび授業料の値上げが必要と認識しており、すでに社内では、来年の上げ幅を議論している（本店[対個人サービス]）。
- ・競合他社の価格改定もあり、値上げしやすい環境にあるため、新規出店など先行きの業容拡大を見据えた値上げを実施（本店[対個人サービス]）。
- ・政府の働きかけなどもあり、大企業では、中小企業からの価格転嫁の受け入れに前向きなスタンスの先が増えている。一方、中小企業間の価格交渉では、依然として人件費等の価格転嫁が進んでいないケースも少なくない（横浜[経済団体]）。
- ・ブローラーの飼育・加工費や当社の人件費の増加分を転嫁するため、出荷先企業と価格交渉を実施。以前は交渉のテーブルにつくことすら難しかったが、外部環境の変化もあり、前向きに対応してもらっている（鹿児島[食料品]）。
- ・完成車メーカーが価格転嫁の容認姿勢を強めるもと、原材料費やエネルギーコストに加え、足もとでは人件費の上昇分も販売価格へ転嫁できた（松本[輸送用機械]）。

## II. 地域別金融経済概況

## 北海道地域の金融経済概況

### 【全体感】

北海道地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。

すなわち、公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。観光は、回復している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、下げ止まっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

この間、企業の業況感は、改善した。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、下げ止まっている。

設備投資は、緩やかに増加している。

6月短観（北海道地区）における2024年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。

百貨店は、回復している。スーパーは、増勢が鈍化している。コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、下げ止まっている。サービス消費は、回復している。

観光は、回復している。

住宅投資は、減少している。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。

主要業種別にみると、食料品、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。輸送機械は、持ち直している。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、増加している。

#### 6. 金融情勢

預金残高は、個人預金を中心に増加している。

貸出残高は、高水準で推移しているものの、減少している。

## 北海道地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

一（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線や国土強靱化の関連案件などから、公共工事の発注は高水準で推移。新幹線延伸時期の延期が発表されたが、現時点では工事の発注は順調。ただし、工期が伸びることにより受注業者の収益計上時期が後ずれする可能性がある（札幌）。</li> <li>・公共工事の多くが、大手ゼネコンが請け負う大規模工事に振り向けられており、中小零細企業が大半の当地建設業者からは案件が少ないとの声が聞かれている（函館）。</li> </ul>
輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホタテは中国向けの減少が続いているが、米国・ASEAN向けなどが増加しており、減少幅が縮小している（札幌[行政機関]）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上の観点から、バックオフィス事務を一元的に処理するデジタルプラットフォームを構築した。半年の納期遅延やコスト上昇などの障壁もあったが、導入後は事務効率化につながっている（釧路[建設]）。</li> <li>・EVシフトの進展等に伴う将来的な自動車部品の需要減少などを見越して、他分野にも応用可能な新たな製品開発に向けた試作ライン新設などの投資を積極的に行っていく方針（札幌[輸送用機械]）。</li> <li>・設備投資案件は、エレベーターなど老朽化した店舗内設備の更新程度。電気代などのコストが引き続き増加する中、足もとの収益状況では省人化や新規出店を行う余裕はない（函館[小売]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス品質向上に取り組みつつ、コスト上昇分を転嫁して客室単価を引き上げており、稼働率は好調を維持。インバウンド客は円安効果などもあり、高価格帯の客室から予約していく（札幌[宿泊]）。</li> <li>・桜の開花時期やGW期間を中心に観光客の入込みが好調。当地が舞台となったアニメ映画の聖地巡礼客も追い風となった（函館[宿泊]）。</li> <li>・円安効果などからインバウンド向けの免税売上は前年を大幅に上回り続けているほか、地元客などへの販売も堅調に推移している（札幌[百貨店]）。</li> <li>・物流コストの上昇等により販売価格を前年比+1割ほど引き上げているが、主要客層が比較的高所得者層であるため、客数の減少など目立った節約行動はみられていない（函館[飲食]）。</li> <li>・日常消費については、ディスカウント業態への流出や安価なプライベートブランド商品へのシフトの動きが強まっている。一方、ハレの日消費は引き続き好調（札幌[スーパー]）。</li> <li>・食料品等では、プライベートブランド商品への選好やセール時のまとめ買いなど顧客の節約志向が強まっている。価格の割高感を和らげるため、一部商品の値下げやアプリクーポンの発行頻度増加などで、誘客を強化している（釧路[小売]）。</li> <li>・稼働率向上のため従来は値下げしていたが、リネン代等のコスト上昇を吸収するため稼働率を犠牲にして値上げする方針に転換。価格に見合った付加価値を提供するため、客室改装やサービスの見直しも進めている（釧路[宿泊]）。</li> <li>・エアコン需要の増加が売上全体を押し上げていたが、足もとでは、エアコンの設置工事が追い付かず納期が長期化しているため、消費者の買い控えの動きがみられている（函館[家電販売]）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>完成車の供給制約は徐々に改善していたが、6月入り後からの一部自動車メーカーの出荷停止の影響から先行きの不透明感が強まっている（釧路[自動車販売]）。</li> <li>インバウンド客が多い一部店舗では需要が旺盛であるものの、地元客向けの店舗では物価高による節約志向の強まりからか動きが鈍く、飲食業を巡る環境は依然厳しい（釧路[飲食]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸建販売は価格高騰などから低調な動きが続いているが、利幅悪化につながる価格の引き下げは難しい。断熱性能向上など高付加価値化を進めることで需要を喚起している（札幌）。</li> <li>価格が高いために持家の購入を断念した世帯が、より良い住環境を求めて築古のアパートから新築に住み替えるニーズが高まっており、こうした需要を捉えた貸家建築が相応にみられている（釧路）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌再開発、先端半導体工場などの建設需要を受けて、コンクリート関連製品の生産は増加傾向だが、人手不足等を背景に投資計画の後ずれが増えている点は先行きの懸念材料（札幌[窯業・土石]）。</li> <li>趨勢的な不漁の影響から輸入原料を活用する中で、円安による仕入価格の上昇分を製品価格に転嫁せざるを得ない。もともと、転嫁後の価格水準では消費者の需要回復は見込み難しく、低水準の生産が続く見通し（釧路[食料品]）。</li> <li>スマホ等向けの生産は、低位だった前年から水準を切り上げている。停止していた製造ラインを再稼働するなど工場全体の稼働率も上昇している（函館[電子部品・デバイス]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外労働の上限規制によって社員の残業代が減少することを踏まえ、基本給を大幅に引き上げた。この間、受注の抑制に伴って収益が減少することから、賃上げ原資の確保等のため、運賃の大幅な値上げを実現した（釧路[運輸]）。</li> <li>当地では、中小企業による賃上げの動きは前年よりも広がっているほか、先行きも人材係留のための賃上げが続くとみられる。そうした中、人件費上昇分の価格転嫁に理解が得られず収益が苦しくなっている先もみられる（札幌[経済団体]）。</li> <li>2024年度は採用強化のため初任給を引き上げ、連動して若年層を対象に基本給を引き上げたが、全社員一律のベアは収益的に難しかった（札幌[情報通信]）。</li> <li>他企業で賃上げの動きが広がる中、人材係留のためには、収益が厳しい当社も追随せざるを得ず、役員報酬を削って賃上げ原資を確保している（札幌[建設]）。</li> <li>アルバイトの採用が困難化しているため、自社採用に比べて、時給が割高で教育コストも要するが、新たな人材獲得手段として、単発の仕事を請負うギグワーカーを活用している（函館[水産加工]）。</li> <li>建設業界では人材確保を目的とした企業買収の動きが活発化しており、当社も技術者の確保に向けてM&amp;Aを検討している（札幌[建設]）。</li> <li>人手確保のため2年連続で5%のベアを実施しているほか、外国人材の採用を積極的に進めてきており、既に従業員の約2割が海外出身者となっている。足もとでは幹部ポストにも外国人材を登用し始めている（釧路[宿泊]）。</li> <li>各種コストの高止まり等による経営の不透明感から、収益が厳しい中小零細企業では、人手不足感が続く中でも正社員求人を抑制し、短時間のスポットワークサービスを積極的に活用する先もみられ始めている（釧路[行政機関]）。</li> <li>当地の整備士が不足していることから、引越し手当や単身赴任手当、奨学金返済援助等の各種手当を充実させることで、地域外から整備士を採用しようとしている（函館[自動車販売]）。</li> </ul>



## 東北地域の金融経済概況

### 【全体感】

東北地域の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。こうした中、企業の業況感は、改善している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、弱めの動きとなっている。

設備投資は、増加している。

6月短観（東北地区）における2024年度の設備投資をみると、中長期的な目線に基づいた能力増強投資や省力化投資、新規出店などがみられることから、増加している。

個人消費は、緩やかに回復している。

主要小売業販売額をみると、ドラッグストアは、増加している。スーパーとコンビニエンスストアは、回復している。百貨店は、弱めの動きとなっている。ホームセンターは、減少している。また、家電大型専門店は、下げ止まっている。乗用車の新車登録台数は、供給制約の影響を受けて、弱めの動きとなっている。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲のいずれも弱い動きとなっている。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、持ち直しの動きが足踏みしている。

主要業種別にみると、輸送機械は、弱めの動きとなっている。生産用機械等は、下げ止まっている。電子部品・デバイスと食料品は、持ち直している。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

労働需給は、引き締まった状態にある。この間、雇用者所得は、業種ごとのば

らつきを伴いながらも増加している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、食料品などの価格上昇により、前年を上回っている。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながら前年と比べて増加している。

#### 6. 金融情勢

預金動向をみると、法人、個人を中心に全体では前年を上回っている。

貸出動向をみると、個人向け、法人向けの増加を背景に全体でも前年を上回っている。この間、貸出金利は、横ばい圏内で推移している。

## 東北地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

－（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年以前の大雨災害に伴う復旧工事の発注は一巡したものの、国土強靱化関連工事等を受け、公共工事は前年比微増で推移している（青森）。</li> <li>・資材価格の上昇や人手不足を受けて、採算性が低い工事への入札を控えている（仙台）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホやPC向け製品の需要下げ止まりに合わせて、既存設備の更新投資や、新製品向けのライン新設投資を進めている（仙台[電気機械]）。</li> <li>・生産効率向上と省人化の観点から、複数拠点の生産ラインを一元的に管理できるシステムを導入した（福島[食料品]）。</li> <li>・足もとEV市場は伸び悩んでいるが、中長期的な市場拡大を見据えて、生産ライン導入に向けた大規模改修工事を計画している（青森[電気機械]）。</li> <li>・先行きの半導体関連製品の需要増加を見据えて、工場新設などの能力増強投資を実施予定。もっとも、建設業者の人手不足や建築資材の納入遅延等から、投資計画が後ずれしている（秋田[化学]）。</li> <li>・建築コストの上昇に加え、建設業者の人手不足から工事発注先の確保が困難化しており、新規出店や店舗改装を一時的に見送っている（仙台[小売]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歓送迎会や企業の会合などの開催件数が増加傾向にあり、宴会部門の売上が前年を上回っている（秋田[宿泊]）。</li> <li>・高所得者層を中心に宝飾品や化粧品など雑貨の販売は比較的堅調。外出機会の増加が背景にあるとみている（福島[商業施設]）。</li> <li>・2023年に続き今夏も猛暑となることが予想されるため、夏に向けて早めにエアコンを購入する顧客が多く、売上が前年比大幅に増加している（青森[家電販売]）。</li> <li>・アジア圏からのインバウンド観光客が増加傾向にあることに加え、円安効果が追い風となり、免税売上が過去最高水準となっている（仙台[百貨店]）。</li> <li>・夏休み期間の予約状況は好調であるなど、先行きの売上は好調だった前年を上回る見通し（仙台[宿泊]）。</li> <li>・生活防衛意識の高まりがみられており、ナショナルブランドの値上がり幅が大きい品目ほど、プライベートブランドの売上が伸長している（秋田[スーパー]）。</li> <li>・物価高による消費者の節約志向の強まりにより、スーパーやドラッグストアへの需要シフトが鮮明となっているため、売上が減少している（青森[コンビニ]）。</li> <li>・一部自動車メーカーの出荷停止を受けて車両の供給が滞っていることから、受注・登録台数はいずれも前年割れとなっている（仙台[自動車販売]）。</li> <li>・レンタカーの利用料金の値上げ以外にも、従来無料だった乗り捨て料金の有料化など、様々な手段を組み合わせながら価格転嫁を進めている（仙台[物品賃貸]）。</li> <li>・定番商品の価格は据え置く一方、付加価値を高めた新規商品や季節限定の商品は値上げを実施することで、客離れを抑制しつつ、コスト上昇分の価格転嫁を進めている（福島[飲食]）。</li> <li>・仕入コスト上昇を受けた値上げを行う一方、品目や期間を絞ったポイント還元セールにより、顧客離れを最小限に抑えている（仙台[ホームセンター]）。</li> </ul>

住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材価格の高騰に伴う住宅価格の上昇を背景に、注文住宅の新規受注は引き続き低調となっている（福島）。</li> <li>・持家では、新築物件の価格高騰を背景に、中古物件のリフォーム・リノベーションの受注件数が増加している（秋田）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体製造装置の生産は足もと横ばいとなっているが、半導体関連企業における設備投資需要の持ち直しに連動して、2024年後半以降本格的に回復していく見通し（仙台[生産用機械]）。</li> <li>・生成A I 関連の需要増加を受け、データセンター向け半導体の生産水準は2024年を通して高水準で推移する見通し（青森[電気機械]）。</li> <li>・スマホやPC向け製品の在庫調整が進捗してきたことを受けて、生産ラインの稼働率を徐々に引き上げている（仙台[電気機械]）。</li> <li>・堅調な外食需要を背景に、業務用の冷凍・レトルト食品の生産量は前年を上回って推移している（仙台[食料品]）。</li> <li>・新興国における医療器具需要の高まりを受けて、生産ラインを新設して関連製品を増産することを予定している（秋田[業務用機械]）。</li> <li>・生成A I 関連の需要の高まりから、データセンター向けの製品ではフル生産が続く一方、スマホ向けでは一部の取引先で在庫が積みあがっており、生産調整が続いている（福島[電気機械]）。</li> <li>・受注残の消化に向けて挽回生産を進めていたが、一部自動車メーカーの出荷停止を受けて、生産ラインの稼働率が幾分低下している（仙台[輸送用機械]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用の売り手市場が続く中、夕方以降や休祝日の勤務を敬遠する就労希望者が多く、時給を引き上げても採用には苦勞している（仙台[小売]）。</li> <li>・人材係留の観点から残業の廃止や福利厚生充実を進めており、給与面だけでなく、ワークライフバランスや、社員同士のコミュニケーションの改善も推進している（福島[対個人サービス]）。</li> <li>・2024年度に大幅な賃上げを実施したところ、同業他社から転職の応募が増加するなど採用競争力が向上した（秋田[小売]）。</li> <li>・派遣社員に対して建設技術に関するリスキリングを行い、建設会社へ派遣する取り組みを開始。人手不足感が強い専門人材の派遣料金は高いため、こうした取り組みを通じて労働生産性の向上を図る（仙台[人材サービス]）。</li> <li>・2024年度は、足もとの好調な業績等を反映して5%強のベアを実施したほか、賞与も過去最高となる年間7か月分超を支給する予定（秋田[金属製品]）。</li> <li>・2023年度は4%強の賃上げを実施したが、採用競争力の向上を目的として、2024年度はそれを上回る5%程度の賃上げを実施した（青森[小売]）。</li> <li>・2024年のベア率については、当初は昨年並みとする予定であったが、同業他社の多くが昨年を上回る賃上げ方針を打ち出す中、多少無理をして昨年以上の水準に引き上げた（福島[生産用機械]）。</li> <li>・将来の中核を担う若年層の退職を防止するため、2024年度は、40代以上の社員よりも30代以下の社員の賃上げ幅を大きくし、限られた原資を若年層に重点配分した（仙台[食料品]）。</li> <li>・2024年度は、業績低迷により賃上げ原資が限られるため、2023年度と同様に最低賃金引き上げ対応の賃上げにとどめる方針（青森[繊維]）。</li> <li>・コストアップ分の価格転嫁が十分でないほか、コロナ禍で膨らんだ銀行借入の返済を優先する必要があるため、2024年度は賃上げを見送る（仙台[飲食]）。</li> </ul>

## 北陸地域の金融経済概況

### 【全体感】

北陸地域の景気は、能登半島地震の影響により一部に下押しがみられており復旧の途上にあるものの、復旧復興需要や生産正常化が進むもとの、回復に向けた動きがみられている。

最終需要をみると、個人消費は、復旧復興関連需要に加え、一部に休業を余儀なくされる地域があるものの政府による旅行支援制度の効果等もあって、回復に向けた動きがみられている。住宅投資は、先行きは復旧需要等が見込まれるものの、足もとは減少している。設備投資は、増加している。公共投資は、復旧復興関連工事等により足もと増加しており、先行きもさらなる増加が見込まれる。

生産は、地震の影響により一部で生産水準が低下しており復旧の途上にあるものの、足もと持ち直しつつある。雇用・所得環境は、地震による調整もみられるが、有効求人倍率や賃上げ動向からみると、足もと持ち直しつつある。

この間、企業の業況感は、緩やかに改善している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、復旧復興関連工事等により足もと増加しており、先行きもさらなる増加が見込まれる。

設備投資は、増加している。

能力増強・省力化投資、脱炭素・環境対応投資に加え、新規事業向けの投資に踏み切る動きがみられるほか、地震による修繕等への投資もみられていることから、増加している。

個人消費は、復旧復興関連需要に加え、一部に休業を余儀なくされる地域があるものの政府による旅行支援制度の効果等もあって、回復に向けた動きがみられている。

百貨店・スーパー等の売上高は、引き続き地震による下押しがみられる中で、一部に震災関連需要がみられていること等から、持ち直している。家電販売は、持ち直しつつある。乗用車販売は、供給制約による下押しの影響から減少している。旅行取扱、ホテル・旅館の宿泊者数は、地震による下押しは残るものの、政府による旅行支援制度や新幹線延伸の効果等から、回復している。

住宅投資は、先行きは復旧需要等が見込まれるものの、足もとは減少している。

## 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、地震の影響により一部で生産水準が低下しており復旧の途上にあるものの、足もと持ち直しつつある。

業種別にみると、電子部品・デバイスは、地震後の正常化に向けた動きが一段と進むもとで、持ち直している。化学は、持ち直している。繊維は、持ち直しつつある。金属製品は、減少している。生産用機械は、弱含んでいる。

## 3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、地震による調整もみられるが、有効求人倍率や賃上げ動向からみると、足もと持ち直しつつある。

## 4. 物価

消費者物価（新潟県を含む北陸4県、除く生鮮食品）は、上昇している。

## 5. 企業倒産

企業倒産は、低水準となっている。

## 6. 金融情勢

預金動向をみると、個人、公金、法人いずれも前年を上回っている。

貸出動向をみると、地公体向けが前年を下回っている一方、個人向けおよび法人向けは前年を上回って推移していることから、前年並みとなっている。

貸出約定平均金利は、幾分上昇しているが、引き続き低水準で推移している。

## 北陸地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

一（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震の被災地域における仮設住宅の建設や港湾工事など、災害復旧工事が増加している（金沢）。</li> <li>・石川県の6月補正予算でも多額の復旧費用が計上されたことから、先行きも受注の増加が見込まれる（金沢）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力維持・向上のための投資に加え、DX投資を継続的に行うことで、事業の合理化・省人化を図るほか、脱炭素関連投資にも注力することで、環境意識の高い欧米アパレルメーカー関連からの受注獲得を目指す方針（金沢[金属製品]）。</li> <li>・人手不足や旺盛な受注に対応するため、鉄骨製造ラインにおける省人化投資を前倒しして実施（金沢[金属製品]）。</li> <li>・パートやアルバイトの恒常的な採用難を受け、従業員一人分の働きを期待できる配膳ロボットの導入を進めている（金沢[飲食]）。</li> <li>・これまで業容拡大を志向して新規出店を積極化してきたが、建築コストが前回出店時の3倍にまで上昇していることに伴い投資採算が悪化したことから、出店を抑制（金沢[小売]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客の節約志向が根強い中、食料品におけるプライベートブランド商品の拡充を中心とした低価格戦略が奏功して客数が増加したほか、利益率の高い化粧品等のついで買いも喚起して、売上が前年を大きく上回っている（金沢[ドラッグストア]）。</li> <li>・顧客の継続的な低価格志向に対応するため、ナショナルブランド商品よりも価格が安く、コストパフォーマンスが高いプライベートブランド商品を拡充している。また、広告コスト等の削減分を商品値引きに反映したエブリデー・ロープライス型の店舗出店にも取り組む（金沢[スーパー]）。</li> <li>・富裕層を中心に高価格帯の化粧品やブランド品の売れ行きが好調。円安を受けてインバウンド客の購買意欲も旺盛（金沢[百貨店]）。</li> <li>・能登半島地震により、住宅修繕等を優先するため新車購入予約をキャンセルしたりグレードを下げたりする顧客がみられているほか、一部自動車メーカーの出荷停止による供給制約もあり、販売が不芳（金沢[自動車販売]）。</li> <li>・物価高に伴う価格転嫁等により、コロナ禍前対比宿泊単価が約2割上昇している中、宿泊客数は▲2割程度減少。今後は、付加価値を高めて単価を引き上げることで、利益率を高めていく方針（金沢[宿泊]）。</li> <li>・能登半島へのアクセスが良好なエリアにあるビジネスホテルでは、復旧関連需要に支えられ、稼働率は高水準を維持（金沢[宿泊]）。</li> <li>・北陸新幹線延伸に伴う広告宣伝効果や首都圏からのアクセス改善により、個人・団体ともに需要が強く、週末を中心に利用は好調（金沢[宿泊]）。</li> <li>・インバウンド客がコロナ禍前のピーク並みまで回復するなど観光客の需要は好調であるほか、地元客の外出需要も増加傾向にある（金沢[飲食]）。</li> <li>・被災地支援の効果から、当社施設の利用客数は、前年から増加しているものの、能登半島地震の影響を受けるも、回復テンポに鈍さがうかがわれる（金沢[観光施設]）。</li> </ul>

住宅 投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持家は、価格の高止まりが続く中、一部に購入に踏み切る顧客はみられているものの、依然として様子見する顧客が多く、受注は前年を下回っている（金沢）。</li> <li>・能登半島地震の被災者からの受注がみられ始めているが、住宅の公費解体やインフラ復旧が長期化している中で、住宅の再建にはなお時間を要する（金沢）。</li> <li>・長期金利に上昇圧力が生じる中でも、地元金融機関は住宅ローン金利を引き上げていないため、住宅販売に金利面の影響はみられていない（金沢）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外需要の悪化を受けて生産計画を引き下げている。米国やインドネシアなどは比較的良いが、エネルギー価格高騰によるインフレの影響を受ける欧州や、不動産市況が悪化している中国は、厳しい状況（金沢[生産用機械]）。</li> <li>・能登半島地震で被災した設備は概ね稼働を再開した。後発医薬品の需要が堅調であるもと、今後は安定供給に向けて、フル稼働で在庫を積み増していく計画（金沢[化学]）。</li> <li>・能登半島地震で被害を受けた工場の多くは、生産を再開し始めているが、液状化の被害が大きい地域の一部の工場では、なお影響が長引いている（金沢[繊維]）。</li> <li>・自動車メーカーの生産再開に伴い、車両用内装材向け製品の受注が徐々に回復しているものの、足もとの生産量は、例年対比▲2割程度で推移。生産量の回復は夏場以降とみている（金沢[繊維]）。</li> <li>・能登半島地震の影響を受けた生産拠点では地震前の生産水準に戻っている。こうした中、受注面では、米国・中国メーカーのスマホ向けが持ち直しているほか、AIサーバー向けが増加している（金沢[電子部品・デバイス]）。</li> <li>・工作機械では、中国を中心とする海外経済の減速の影響を受けているほか、好調だった自動車関連向けでも、世の中のEVシフトに不透明感が強まるもとで需要が弱まっている（金沢[生産用機械]）。</li> </ul>
雇用 ・ 所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震の被災地域では求人が▲3割程度減少しており、労働需給の改善には事業再開が急務。また求職増加には事業の魅力向上も必要（金沢[行政機関]）。</li> <li>・世間の賃上げ機運の高まりを反映し、2024年度は、全社員一律4%の賃上げを実施したほか、高年層の就業意欲にも配慮し、50代後半からの給与の減額措置を廃止（金沢[宿泊]）。</li> <li>・人材確保に苦勞していたことから、2024年度からアルバイトの時給を県内最高水準に設定。これが奏功して、若い世代を中心に応募が大幅に増加（金沢[宿泊]）。</li> <li>・世間の賃上げ機運の高まりを受けて、2024年度は2%弱の賃上げを実施。来年以降についても、価格転嫁や事業の高付加価値化等により賃上げ原資を確保し、今年以上の賃上げを実施したい考え（金沢[繊維]）。</li> <li>・2023年度、2024年度とも大卒・大学院卒の給与を引き上げた。他の金融機関や都市部の企業との人材獲得競争が激化する中、メガバンク等と遜色ない給与水準にすることで、優秀なUターン人材を獲得したい（金沢[金融機関]）。</li> <li>・人手不足が強い状況ではないため、賃上げは同業他社の賃金水準や賃上げ率をうかがいつつ実施する方針（金沢[小売]）。</li> <li>・若手を中心とする賃上げに加え、宿泊客の食事・入浴可能時間の短縮等、従業員の労働負担を減らす施策をとった結果、従業員の離職率が低下したため、足もと人手不足感は緩和（金沢[宿泊]）。</li> <li>・仕入価格等の上昇を受けた値上げを続けてきた結果、価格がいわゆる「ラーメン一杯千円の壁」に近付いている。顧客離れを招く可能性の高い一段の値上げは難しいため、収益的に若干のベアしか実施できない（金沢[飲食]）。</li> </ul>



## 関東甲信越地域の金融経済概況

### 【全体感】

関東甲信越地域の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、一部に弱めの動きがみられ、増加ペースが幾分鈍化した状態が続いている。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。生産は、弱めの動きとなっている。この間、企業の業況感は、横ばいとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

設備投資は、増加している。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられ、増加ペースが幾分鈍化した状態が続いている。

百貨店の売上高は、増加している。スーパーの売上高は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。コンビニエンスストアの売上高は、堅調な動きとなっている。乗用車新車登録台数は、供給制約の影響を受けて、弱めの動きとなっている。家電販売は、弱めの動きとなっている。この間、外食や旅行関連など対面型サービスは、インバウンド需要の押し上げ効果が続くもとの、着実に増加している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱めの動きとなっている。

業種別にみると、電気機械は横ばい圏内の動きとなっている。輸送機械は弱めの動きとなっている。汎用・生産用・業務用機械は減少している。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2%台前半のプラスとなっている。

#### 5. 企業倒産

企業倒産をみると、前年を上回って推移している。

#### 6. 金融情勢

預金動向をみると、金融機関預金の減少を受けて伸びが縮小しているものの、全体として前年比プラスの推移を続けている。

貸出動向をみると、法人向けを中心に前年比プラス幅は拡大している。

## 関東甲信越地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

一（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速道路などのインフラ整備の大型工事案件がコンスタントにみられていることから、県内の公共工事はこのところ緩やかに増加している（松本）。</li> </ul>
輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子部品の輸出は、E V化の進展や先進運転支援システムの普及に伴い車載向けが好調なため、欧米向けを中心に増加。先行きは、グローバルでのA I市場の拡大に伴いデータセンター向けも増加する見込み（前橋[電子部品・デバイス]）。</li> <li>・ 世界的なスマホ・P C需要の低迷長期化から、当初計画よりも弱い動きとなっているが、夏ごろから回復していく見通し（新潟[電気機械]）。</li> <li>・ 海外メーカーが生産能力を増強するもとで、アジア圏における汎用品の市況軟化につながっており、国内生産に対する調整圧力となっている（本店[化学]）。</li> <li>・ アジア圏では、安価な海外メーカーとの競合から、相当なシェアを奪われている。日本からは多くの製品を輸出していることから、今後アジア圏向けの輸出が影響を受けかねない（横浜[輸送用機械]）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半導体関連の需要拡大を見据えて生産拠点を新設する計画（甲府[生産用機械]）。</li> <li>・ 作業工程の大部分を人手に頼ってきたが、足もとの人件費上昇や人手確保の困難化を踏まえ、機械設備導入やデジタル化による省人化を実施（本店[金属製品]）。</li> <li>・ 宿泊需要と業績が回復してきた中、客室改装を実施。室内設備の充実にあわせて客室単価を引き上げたことで、利益率も改善している（松本[宿泊]）。</li> <li>・ 積極的な新規出店により業容を拡大してきたが、最近では人手不足により営業人員を確保できず、出店ペースを極端に抑えざるを得ない（横浜[対個人サービス]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 値上げを進めてきたもともども、地元客の宴会需要や観光客の来店回復が続いており、売上は好調に推移している（松本[飲食]）。</li> <li>・ 物価高を背景とする消費の節約が指摘されているが、高価格帯の客室から予約が埋まっていく傾向は続いており、メリハリ消費の動きがみられる（水戸[宿泊]）。</li> <li>・ 高品質な家事サービスが評価され、人件費の価格転嫁による値上げ後も、新規受注を断らざるを得ないほどの旺盛な需要が継続している（本店[対個人サービス]）。</li> <li>・ 高額品は富裕層やインバウンドの需要が強く、引き続き絶好調。最近では、東京都内の百貨店がインバウンドの集中で、混雑している上に品薄となっているため、需要が当地へこぼれてきている可能性もある（横浜[百貨店]）。</li> <li>・ 仕入価格の上昇に伴って多くの商品で値上げを進める中、プライベートブランド商品はできるだけ価格を据え置き、値ごろ感を出している。節約志向を強めている消費者の支持を受けて、来店客数が増え、売上は増加傾向（新潟[スーパー]）。</li> <li>・ 物価高を受けた消費者の生活防衛意識の高まりを背景に、価格据え置き戦略をとる当社へスーパーなどから顧客がシフトしている（横浜[ドラッグストア]）。</li> <li>・ 新車販売台数は、完成車メーカーの工場稼働停止の影響が縮小している一方、新たに一部車種の不具合に伴う出荷停止が発生したため減少。受注残が積み上がっているため、出荷再開後は販売台数が回復する見込み（前橋[自動車販売]）。</li> <li>・ 消費者の生活防衛意識などを反映し、主力の白物家電の販売が振るわないなど、低水準横ばい圏内の動きが継続している（水戸[家電販売]）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでは省人化などの経営努力によりコスト上昇を吸収してきたものの、足もとの人手不足による人件費上昇を受けて、価格改定に踏み切った（本店[飲食]）。</li> <li>・ 電気代・人件費の上昇分を価格転嫁し、入場料金を引き上げた。その際、客足が遠のくのをおそれ、値上げ幅やタイミングは慎重に判断した（新潟[観光施設]）。</li> <li>・ 競合他社の価格改定もあり、値上げしやすい環境にあるため、新規出店など先行きの業容拡大を見据えた値上げを実施（本店[対個人サービス]）。</li> <li>・ 原材料価格の上昇一服から、再値上げは当面想定していなかった。ただし、最近の為替円安を受け、既に収益が下振れており、次の値上げを前倒しで行うかどうかを検討している（本店[食料品]）。</li> <li>・ 為替円安によりインバウンドの購買力が增大する中、将来的に一部の店舗でインバウンド団体客向けに特別価格のメニューを提供することを検討（横浜[飲食]）。</li> <li>・ 優秀な講師確保のためには継続的な賃上げおよび授業料の値上げが必要と認識しており、すでに社内では、来年の上げ幅を議論している（本店[対個人サービス]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資材価格や建築コストの高騰を受けた住宅価格の上昇などを背景として、住宅需要は弱い状態が続いている（甲府）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時的な生産トラブル等で稼働率が低下したものの、大量の受注残を背景に過去最高水準まで稼働率を引き上げる計画（横浜[輸送用機械]）。</li> <li>・ 受注は、低水準で推移してきたものの、昨年後半からは、生成A I 関連のデータセンター向けで増加傾向にある（甲府[電子部品・デバイス]）。</li> <li>・ 完成車メーカーの生産再開を受けて、足もとの自動車部品の受注・生産は回復している。ただし、再び一部メーカーの生産が停止しているため、今後の受注への影響を懸念している（松本[輸送用機械]）。</li> <li>・ 政府の働きかけなどもあり、大企業では、中小企業からの価格転嫁の受け入れに前向きなスタンスの先が増えている。一方、中小企業間の価格交渉では、依然として人件費等の価格転嫁が進んでいないケースも少なくない（横浜[経済団体]）。</li> <li>・ 完成車メーカーが価格転嫁の容認姿勢を強めるもと、原材料費やエネルギーコストに加え、足もとでは人件費の上昇分も販売価格へ転嫁できた（松本[輸送用機械]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運送業界における働き方改革への対応を進める中、必要人員の確保難を受けて、大規模なダイヤ改正を実施し、路線バスの減便を行った（横浜[運輸]）。</li> <li>・ 転職後の賃金が転職前を上回るケースが増えているもと、転職市場は引き続き活発な動きとなっている。先行きも、タイトな労働需給と雇用の流動化がドライバーとなり、賃金上昇の傾向が続くと見込まれる（本店[人材サービス]）。</li> <li>・ 人材係留のため、組合からの要求に満額回答する予定。業界内で少ない人材を奪い合う構図となっており、今後も賃金は上昇傾向が続くだろう（新潟[運輸]）。</li> <li>・ 今年は積極的な値上げにより原資を確保したうえで、前年を上回る賃上げを実施。優秀な人材確保のためには継続的な賃上げが必要と考えており、諸コストの上昇への対応を含めて更なる値上げも検討している（本店[飲食]）。</li> <li>・ 他社の動向を踏まえ、人材係留の観点からやむを得ず賃上げを実施したが、人件費の上昇に見合う価格転嫁ができておらず、収益は非常に厳しい（松本[卸売]）。</li> <li>・ 需要が鈍化している部門の従業員は、リスクリングを進めたうえで、生産が拡大しているE V 関連部門へ異動しており、生産性が向上している（横浜[生産用機械]）。</li> <li>・ 同業他社を買収して事業拡大を図るケースに加えて、被買収先の人材などの経営資源を目当てとするM&amp;Aが増加している（本店[対事業所サービス]）。</li> </ul>

## 東海地域の金融経済概況

### 【全体感】

東海地域の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱い動きとなっている。輸出と生産は、下押し圧力を受けているものの、増加基調にある。企業の業況感は、小幅に悪化している。

雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、下押し圧力を受けているものの、増加基調にある。

設備投資は、増加している。

業種別にみると、引き続き、製造業では、産業構造の変革に向けた研究開発投資が見込まれているほか、非製造業では、インフラ関連投資が見込まれている。

個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直している。

飲食・宿泊サービスは、緩やかに回復している。ドラッグストアは、緩やかに持ち直している。スーパーや家電販売は、物価上昇などの影響がみられるものの、底堅く推移している。乗用車販売は、均してみれば横ばい圏内で推移している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、下押し圧力を受けているものの、増加基調にある。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、感染症拡大前の水準となっている。

## 6. 金融情勢

預金残高は、前年を上回っている。

貸出残高は、前年を上回っている。貸出金利は、横ばい圏内で推移している。

## 東海地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

一（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土強靱化計画のもとで、南海トラフ地震や風水害に対する防災・減災工事が引き続き発注されるなど、公共工事は高水準で推移している（名古屋）。</li> <li>・災害復旧関連や国土強靱化関連の案件を中心に、公共工事の発注は引き続き高水準で推移している。先行き、時間外労働の上限規制による人手不足が公共工事の請負動向に与える影響を注視している（静岡）。</li> </ul>
輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供給面の問題による影響は受けているものの、高い水準にある受注残を背景に、輸出は増加基調（名古屋[輸送用機械]）。</li> <li>・足もとの欧州向け輸出は、景気減速を受けてやや弱含んでいる。先行きも、ECBの利下げ開始に伴ってユーロ安・円高が進行すれば輸出競争力の低下につながるため、一段の弱含みが懸念される（静岡[輸送用機械]）。</li> <li>・2023 年後半からIT関連材メーカー各社の在庫調整が進み、需給バランスが改善したことを背景に、足もと輸出は増加している（名古屋[電子部品・デバイス]）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短納期の受注増加に対応するため、部品在庫を厚く持てるよう工場の倉庫スペースを拡充する工事を実施中。2023 年度に続き、2024 年度も投資計画通り進んでいる（名古屋[生産用機械]）。</li> <li>・自動車など各分野での需要拡大が見込まれる中、2024 年度は本社工場など複数拠点で半導体の生産能力を増強する計画（静岡[電気機械]）。</li> <li>・2023 年度はキャッシュレスレジや最新の冷凍ケースを導入し、効率化と省エネ化に努めた。2024 年度はネットスーパーや移動スーパーなど、新たな分野へ進出するために必要な投資を実行する（静岡[スーパー]）。</li> <li>・足もとの設備投資は計画通りに進捗。ただし、今後、建設業における時間外労働の上限規制の影響により工事が遅延しないか懸念（名古屋[鉄鋼]）。</li> <li>・資材価格の高騰や建設業の人手不足による工期長期化の影響により、新設店舗を当初想定の2階建てから平屋建てに変更した（名古屋[小売]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費意欲の高い富裕層を中心に、ラグジュアリーブランド品や美術品、宝飾関係、時計等の高額品販売が増加している（名古屋[百貨店]）。</li> <li>・特売品のみ購入する目的買いが増加しており、引き続き顧客の節約志向の高さがうかがわれる中、一部品目を値下げして客数確保に注力（名古屋[スーパー]）。</li> <li>・プライベートブランド商品の売れ筋は、低価格品ばかりではなく、高価格でも購買意欲を刺激できる商品は売れており、消費の二極化がうかがわれる（静岡[スーパー]）。</li> <li>・競合他社では値下げの動きもみられるが、当社では、仕入先からの価格交渉に応じる形で販売価格の値上げを継続する方針であり、値下げをする考えはない（静岡[小売]）。</li> <li>・一部メーカーの生産停止に伴う影響は引き続きみられているものの、新車発売や生産再開に伴って、受注・登録台数ともに回復していく見通し（名古屋[自動車販売]&lt;静岡&gt;）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊需要が堅調に推移するもとの、各種コスト上昇分を販売価格に転嫁できており、売上高は前年を上回って推移する見通し（名古屋[宿泊]）。</li> <li>・飲み会需要が回復しているもとの、1次会開始前の0次会や、3次会などの来店客数が増加しており、増収傾向にある（名古屋[飲食]）。</li> <li>・旅行需要は好調で、販売価格の引き上げもできており、旅行取扱額はコロナ禍前の水準まで回復している。最近は法人による国内旅行需要が増加している（名古屋[旅行]）。</li> <li>・宿泊需要は持ち直しているものの、従業員不足で稼働率に制約があるため、需要の取りこぼしが発生している（名古屋[宿泊]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物価高に伴う家計負担の増加に加え、既往の労務費や物流費の増加分の転嫁を受けた販売価格の上昇が敬遠され、持家の受注は弱含んでいる（名古屋&lt;静岡&gt;）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供給面の問題による影響は受けているものの、高い水準にある受注残を背景に、生産は増加基調（名古屋[輸送用機械]）。</li> <li>・主力である自動車向けは生産が幾分増加（名古屋[鉄鋼]）。</li> <li>・人手不足を背景に、企業規模を問わず自動化や省力化に対するニーズが強い。特に夜間作業の自動化を可能にする機械のニーズが旺盛である（名古屋[生産用機械]）。</li> <li>・外出機会の増加に伴い、弁当用食品の生産が増加しているほか、消費者の健康志向の高まりを背景に高付加価値品の生産も好調（静岡[食料品]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業績が非常に好調に推移する中、昨今の物価上昇も考慮して従業員に報いるべく、今春は昨年を上回る高い賃上げを実施した（名古屋[輸送用機械]）。</li> <li>・今年度は、人材確保と社員のモチベーション維持の観点から平均5%の賃上げを行い、特に若年層（初任給を含む）やシニア層は重点的な処遇改善を実施した。今後も業績が回復する見通しの中、賃上げを積極的に実施していく予定（名古屋[旅行]）。</li> <li>・当地企業の賃上げ動向をみると、業績が堅調な製造業を中心に、妥結水準は非常に高い。特に自動車関連企業では、中小企業を含めて高い賃上げ率となっているようだ（名古屋[経済団体]）。</li> <li>・中小企業は、大企業と同様、昨年以上の高い賃上げとなっているが、依然として価格転嫁が十分できていない先も相応にみられる。こうした中でも、人材確保の観点から多少無理をしてでも賃上げを行う「防衛的賃上げ」を行った先が少なくないとみている（名古屋[経済団体]）。</li> <li>・キャリア採用を積極化する企業が増えており、転職市場では、民間求人サイトに加え、転職エージェントの利用も活発化している。人手不足感が高まる中、企業の人材獲得手段が多様化してきている（名古屋[人材サービス]）。</li> </ul>



## 近畿地域の金融経済概況

### 【全体感】

近畿地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

輸出は、弱めの動きがみられている。生産は、横ばい圏内で推移している。企業の業況感は、良好な水準を維持している。設備投資は、増加している。個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。公共投資は、高水準で推移している。雇用・所得環境をみると、緩やかに改善している。

先行きについては、海外の経済・金融の動向、地政学的リスク、原材料価格の動向、消費者物価の上昇、賃上げの動向や人手不足等が、当地の経済金融情勢に与える影響などを注視していく必要がある。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、弱めの動きがみられている。

設備投資は、増加している。

個人消費は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加している。

百貨店販売額、外食売上高は、インバウンド消費による押し上げもあって、増加している。スーパー等販売額、旅行取扱額は、緩やかに増加している。乗用車販売は、持ち直している。家電販売額は、弱めの動きとなっている。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内で推移している。

内訳をみると、海外経済の回復ペースが鈍化するもとの、電子部品・デバイスや化学など一部に弱めの動きがみられているものの、生産用機械などは堅調に推移している。この間、足もとでは輸送機械は持ち直しつつある。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、緩やかに改善している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、2%台半ばのプラスとなっている。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、増加している。

#### 6. 金融情勢

預金残高は、企業収益の改善に伴う法人預金の増加や、雇用・所得環境の緩やかな改善に伴う個人預金の増加から、前年を上回っている。

貸出残高は、設備資金需要のほか、経済活動の改善や各種コスト高に伴う運転資金需要を背景に、前年を上回っている。

預金金利は、幾分上昇しているが、引き続き低水準で推移している。

貸出金利は、幾分上昇しているが、引き続き低水準で推移している。

## 近畿地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

一（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路関連工事や国土強靱化計画に基づく地方公共団体の予算執行が進むもとで、高水準で推移している（大阪&lt;京都&gt;）。</li> <li>・公共投資は、国土強靱化関連工事等の予算執行が進むもと、緩やかに増加しているが、足もとでは、建設業の人手不足に伴う入札不調がみられる（神戸）。</li> </ul>
輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体製造装置の輸出は、中国ローカルメーカーからの需要が引き続き旺盛なことに加え、台湾や北米からのA I向け需要も好調であることから、高水準で推移している（京都[生産用機械]）。</li> <li>・中国向けF A機器の需要は、現地メーカーとの競争激化による影響もあって、低水準で推移している。今年度中の需要回復は見通し難い（大阪[電気機械]）。</li> <li>・米欧向けの建機輸出は、金利高止まりの影響による建設投資の減速により、緩やかに減少している（大阪[運輸]）。</li> <li>・北米でのハイブリッド車の需要好調を受けて、自動車部品の輸出が増加している（神戸[輸送用機械]）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の設備投資は、資材の納期遅延や建設現場の人手不足により工期が遅れたこともあって、計画比下振れた。しかし、今年度は、データセンターやE Vといった成長分野での能力増強投資を中心に増加させる計画（大阪[非鉄金属]）。</li> <li>・足もとの業績は芳しくないが、x E V化に伴う需要の増加が見込まれる分野では高水準の設備投資と研究開発投資を継続する計画（京都[電子部品・デバイス]）。</li> <li>・D X推進のため、基幹システムの刷新を含めた大規模なソフトウェア投資を実施する予定（神戸[生産用機械]）。</li> <li>・人材確保を目的とした賃上げを優先しているため、設備投資は老朽化に伴う改装工事等の必要最低限に絞っているほか、新規出店も抑制している（神戸[飲食]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高所得者層による高額品需要は引き続き高水準で推移。また、レジャー需要が増加しているため、衣料品や化粧品の販売も堅調に推移している（大阪[百貨店]）。</li> <li>・免税売上高は、為替円安による割安感もあって、大幅に増加している。中国人観光客を中心に高額品の需要が旺盛である（大阪[百貨店]）。</li> <li>・プライベートブランド商品などの価格競争力がある商品は売上が伸長しているが、その他の一部商品では、ディスカウントストアやドラッグストアといった低価格帯の他業態に需要がシフトしている（神戸[スーパー]&lt;京都&gt;）。</li> <li>・消費者の日用品に対する節約志向は依然として強いことから、来店客数を確保する観点から値下げ品目を増やしている（大阪[スーパー]）。</li> <li>・節約志向のあらわれか、売れ筋の商品価格が二極化している。また、足もとでは、レジャーへの需要シフトなどを背景に来店客数が減少している（大阪[家電販売]）。</li> <li>・自動車の販売台数は、完成車メーカーの出荷停止の影響から減少していたが、足もとでは、出荷再開を受けて下げ止まっている（大阪[自動車販売]）。</li> <li>・ランチタイムの来客数はコロナ禍前を上回っており、ショッピングモール内の店舗などが特に好調。一方、夜の時間帯は未だ客足の戻りが鈍い状態（大阪[飲食]）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・為替円安などで海外旅行が不人気な中、国内旅行へ支出を振り向ける動きもみられ、GWは沖縄方面などの遠方旅行が好調であった（大阪[旅行]）。</li> <li>・国内レジャー客の需要は、GWを含め宿泊価格を引き上げるもとでも底堅く推移している。インバウンドは、東アジア圏の個人旅行客が大幅に増加しており、旺盛な需要が続いている（大阪[宿泊]）。</li> <li>・ホテルの宿泊価格は昨年来上昇傾向にある。円安が続く中で旺盛なインバウンド需要に陰りがみられないため、値上げの流れはしばらく続く見通し（京都[宿泊]）。</li> <li>・パート・アルバイトの募集賃金を引き上げているが、思うように人手が集まらない。今後も賃上げによる人手の確保が必要であり、賃金上昇分の価格転嫁を進めなければならない（大阪[対個人サービス]）。</li> <li>・原材料費の上昇が落ち着いてきた中、競合他社に先駆けて値上げに踏み切れば顧客が流出するおそれがあり、更なる値上げが難しくなっている（大阪[飲食]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持家は、資材高や労務費の上昇を反映した住宅価格の上昇を受けて、顧客の購入マインドが減退しているように感じる（大阪）。</li> <li>・貸家は、富裕層の相続税対策需要が根強いほか、企業が安定収益源の獲得を目的として、中規模賃貸マンションを購入する動きもみられる（神戸）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部完成車メーカーの生産停止の影響は改善に向かっているが、他の完成車メーカーでもトラブルが生じたため、足もとの受注は低調が続いている。受注の回復は今年度下期以降になる見通し（京都[窯業・土石]&lt;大阪&gt;）。</li> <li>・自動車向けは、xEV化の進展等に伴い増加しているほか、スマホ・PC向けも底を打っており、工場稼働率は持ち直しつつある。今年度中には本格回復となる見通し（京都[電子部品・デバイス]）。</li> <li>・半導体メーカー向けの新規受注が下げ止まるもと、既往の受注残を消化するために、今年度中は高水準の生産を続ける計画（大阪[はん用機械]）。</li> <li>・円安進行で原材料価格が上昇しているほか、人件費、物流費の価格転嫁の進捗も芳しくなく、コスト上昇分の半分も価格転嫁できていない（神戸[食料品]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足にあえぐ中小製造業では、従業員の募集をしても中々充足できず、最終的に廃業を余儀なくされる先も散見されている（京都[経済団体]）。</li> <li>・転職市場の活性化を背景に、離職者が急増し、工場の稼働に悪影響が出始めた。優秀な人材が流出してしまうことも経営課題である（大阪[金属製品]）。</li> <li>・人手不足の解消に向けて、食材の仕入れ作業等の効率化に加え、営業スタッフがフロント業務を担うなど従業員のマルチタスク化を進めている（大阪[宿泊]）。</li> <li>・新卒初任給の引き上げを3年連続で実施。人手不足が深刻化する中、業界全体で魅力を高めていく必要があるとの問題意識を強く持っている（大阪[建設]）。</li> <li>・人材係留を目的として、若手を中心に平均5%程度の賃上げを実施。もっとも、人件費の価格転嫁は困難なため、生産ラインの自動化によるコストカットや利益を切り崩すことで原資を捻出（神戸[食料品]）。</li> <li>・業績は芳しくないが、賃上げにかかる社会的な要請を受けて、今年は5%以上の賃上げで妥結した。ただし、業績の本格回復が見通せない中、来年も同様の賃上げ要請にこたえられるかは不透明である（京都[電子部品・デバイス]）。</li> <li>・今年度の業績次第ではあるが、来年度も今年度と同程度の幅で初任給を引き上げたいと考えている。セントラルキッチン化や物流の効率化等による経費削減を通じて、継続的な賃上げに向けた原資を確保したい（神戸[スーパー]）。</li> </ul>

## 中国地域の金融経済概況

### 【全体感】

中国地域の景気は、緩やかな回復基調にある。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。公共投資は高水準で推移している。個人消費は緩やかな回復基調にある。輸出は横ばい圏内の動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境をみると、全体として緩やかに改善している。この間、企業の業況感は小幅に改善している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

設備投資は、増加している。

6月短観（中国地区）における2024年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかな回復基調にある。

百貨店売上高は、横ばい圏内の動きとなっている。スーパー売上高は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。コンビニエンスストア売上高は、緩やかな回復基調にある。家電販売は、弱めの動きとなっている。乗用車販売は、弱い動きとなっている。旅行取扱額は、回復基調にある。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内の動きとなっている。

主要業種別にみると、化学は、弱めの動きとなっている。自動車は、横ばい圏内の動きとなっている。汎用・生産用・業務用機械は、横ばい圏内で推移している。電子部品・デバイスは、高水準で推移している。鉄鋼は、横ばい圏内で推移している。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、全体として緩やかに改善している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

#### 5. 企業倒産

企業倒産をみると、増加している。

#### 6. 金融情勢

預金動向をみると、前年を上回っている。

貸出動向をみると、前年を上回っている。

## 中国地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

一（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取・広島間を結ぶ国道 183 号のバイパス道路の整備や前年 8 月に発生した台風 7 号に関する災害復旧工事などを中心に、国や県の発注が増加している（松江）。</li> <li>・施工管理技士不足により一部入札への参加を見送る例があるが、国土強靱化関連の道路延伸工事を受注したため、手持ち工事は高水準（下関）。</li> </ul>
輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車メーカーの海外生産が好調なことから、海外生産拠点向けの設備輸出が高水準で推移している（広島[自動車関連]）。</li> <li>・中国向け建材関連製品は、中国不動産市況の悪化を受けて、弱めの動きが続いている（岡山[化学]）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型車向け部品の生産設備の導入を計画しており、投資額は前年から増加する見通し（広島[自動車関連]）。</li> <li>・持続的な賃上げを行うため、施工図面の 3D モデル化による管理や測量のコスト削減など DX を通じた労働生産性向上に取り組んでいる（下関[建設]）。</li> <li>・宿泊単価をさらに引き上げるため、洗面台などを改装し、宿泊者を女性に限定した高付加価値の客室を新設する方針（松江[宿泊]）。</li> <li>・仕入価格や人件費などのコスト上昇を背景に、製造・検査工程における省人化投資を進める計画（岡山[生産用機械]）。</li> <li>・新規出店は継続的に行っていきたいが、資材価格が高騰している中で初期投資費用がかさむことから、今年度は土地が比較的安価な地域に小規模店舗を出店するにとどめる計画（広島[小売]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富裕層の購買意欲は引き続き堅調なほか、投資感覚で宝飾品を購入する顧客が増えているなど、高単価な商品の販売が好調（広島[小売]）。</li> <li>・足もと、輸入物価が再び上昇傾向にあり、生活に身近な品目での値上げが散見されている。価格上昇の主因は原産国における天候不良だが、円安進行も寄与しており、消費者の買い控えの動きを懸念している（岡山[小売]）。</li> <li>・個人の海外旅行需要が回復していることに加え、近隣空港で国際便が増加していることもあって、海外旅行取扱額は前年を上回って推移している（広島[旅行]）。</li> <li>・円安が後押しとなって、韓国や台湾などに加え、欧米からのインバウンド客が増加している（松江[宿泊]）。</li> <li>・長引く物価高のもと例年以上に過年度モデルへ購入が集中しているほか、給湯器などの補助金に関する問い合わせも多く、消費者の生活防衛意識の高さを感じている（松江[家電販売]）。</li> <li>・完成車メーカーの生産トラブルによる出荷への影響は緩和しつつあるものの、車両価格上昇等を背景に消費者マインドが悪化し、受注は前年を下回っている（広島[自動車販売]）。</li> <li>・物価高が続く中、消費者マインドは「お手頃価格でそれなりの質を求める層」と、「高価格でも高付加価値品を求める層」に二極化している印象。こうした中、値上げにより、前者の客層については回復が鈍い（岡山[飲食]）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊料金を引き上げるもとで、食事付きプランの利用減少や、低価格客室の利用増加などがみられており、顧客の消費スタンスは慎重化している（下関[宿泊]）。</li> <li>・旺盛な需要を背景に、光熱費や人件費等の既往のコスト上昇分は客室単価にフルスライドできている。今後はインバウンド対応可能な高スキル人材確保による人件費上昇が見込まれるため、客室単価を引き上げる方針（岡山[宿泊]）。</li> <li>・値上げは商品リニューアル時に行うなどの工夫を講じている。もともと、物価高の長期化もあって販売が下振れていることから、今はこれ以上の値上げには慎重なスタンス（下関[小売]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設業者の労務費上昇等を背景に、住宅価格を引き上げていることから、持家、分譲戸建の販売は弱めの動きとなっている（下関）。</li> <li>・分譲マンションは、地方部の販売は弱含んでいるものの、市内の高利便性エリアの販売は引き続き好調（広島）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生成A I 向け半導体の需要増を背景に、半導体製造装置の受注が増加しており、受注残が増えるもとで、足もとはフル生産となっている（広島[生産用機械]）。</li> <li>・半導体市場は本格的な回復には至っていないものの、顧客の在庫調整が進捗するもとで、生産は高水準で推移している（広島[電気機械]）。</li> <li>・自動車部品向け非鉄金属は、完成車メーカーの生産は回復しているものの、サプライヤーの在庫調整が遅れていることから、持ち直しの動きに足踏みがみられる（下関[非鉄金属]）。</li> <li>・国内外のE V の台頭に伴いエンジン部品の受注が減少していることから、新たにE V モーター用部品の試作を進めている（松江[鉄鋼]）。</li> <li>・価格転嫁は、行政の支援もあって業界全体で進んでおり、コスト上昇分は販売価格へおおむね転嫁できている（岡山[輸送用機械]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足が深刻化するもと、特定技能などの在留資格を持ち即戦力となる外国人の採用を積極化させており、足もとは正社員の半数近くが外国人材となっている（下関[宿泊]）。</li> <li>・土日や深夜勤務が嫌気される傾向にある中、都市部のホテルを定年などで退職して岡山に帰郷したシニア層の中途採用を強化することで、何とか人手を確保している（岡山[宿泊]）。</li> <li>・昨今の情勢を踏まえると、人材確保に向けた「賃金面の価格競争」が始まったと認識。収益的に楽ではないものの、今年は前年の数倍にもなるベアを実施（岡山[鉄鋼]）。</li> <li>・中国経済の回復ペース鈍化などが収益面の下押しになっているものの、優秀な人材を採用するため、前年度を上回る賃上げを行った（下関[化学]）。</li> <li>・前年に実施した販売価格引き上げ分を原資に、前年の2倍近い1万円超のベアを含む平均5%の賃上げを実施した（松江[電気機械]）。</li> <li>・需要は緩やかに回復しているが、前年の思い切った賃上げが負担となり、収益の改善は小幅にとどまっている。そうしたもとでも、今年の賃上げは、人材確保等の観点から組合の要求に満額で回答した（松江[生産用機械]）。</li> <li>・人手は不足しているものの、仕入価格や光熱費、物流費等のコスト上昇から収益が圧迫されている状態のため、賃上げは実施できていない（広島[小売]）。</li> </ul>



## 四国地域の金融経済概況

### 【全体感】

四国地域の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。

すなわち、公共投資は、持ち直している。設備投資は、増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。この間、企業の業況感は、悪化している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、持ち直している。

設備投資は、増加している。

6月短観（四国地区）における設備投資（全産業）をみると、2024年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

大型小売店の売上は、底堅く推移している。

コンビニエンスストア売上高は、横ばい圏内の動きとなっている。

家電販売は、弱めの動きとなっている。

乗用車販売は、弱い動きとなっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、横ばい圏内の動きとなっている。

主要業種別にみると、輸送機械は、持ち直しつつある。汎用・生産用機械は、持ち直しの動きが一服している。化学は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、弱めの動きが続いている。紙・パルプは、減少している。

#### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢は、緩やかに改善している。

#### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、3%台前半のプラスとなっている。

#### 5. 企業倒産

企業倒産は、感染症拡大前の水準となっている。

#### 6. 金融情勢

預金動向をみると、前年を上回っている。

貸出動向をみると、前年を上回っている。

## 四国地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

－（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治水工事や道路工事を中心とした国土強靱化関連の予算が相応に計上されており、入札不調もみられていないもとの、公共投資は持ち直している（高松）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内において半導体製造拠点の整備が進む中、半導体関連製品を取り扱う物流センターを新設。24 時間体制で製品輸送に対応し、旺盛な輸送需要を取り込んでいく（松山[運輸]）。</li> <li>・半導体需要の一段の高まりとそれに伴う半導体製造装置の需要拡大を見込み、生産能力増強および製品の高付加価値化に向けた投資を実施（高松[窯業・土石]）。</li> <li>・現在、各工程間の製品の運搬は人手を介して行っているが、人手不足が進む中、製品の生産から包装までを一貫して担う機器を導入し、省人化を図る予定（高松[食料品]&lt;松山、高知&gt;）。</li> <li>・原材料価格の高騰によって収益が圧迫されている中、投資案件の絞り込みを実施。環境対応投資などの必要不可欠な案件は維持しつつ、不急の案件は大幅に投資規模を縮小するよう計画を見直している（松山[紙・パルプ]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円安を受けて、免税売上が好調に推移。特にブランドバッグ等の高額品の売上は過去最高水準まで増加している（高松[商業施設]）。</li> <li>・新型コロナの5 類移行後に消費が盛り上がった前年の反動から、足もとの売上は前年割れとなっているものの、身の回り品や雑貨類の販売は好調に推移しており、消費者マインドは底堅いとみている（高知[小売]）。</li> <li>・菓子類や加工食品の売上は、節約志向の高まりから、より安価で販売するドラッグストア等への顧客流出がみられるもと、低迷している（高松[スーパー]）。</li> <li>・新車登録台数は、一部完成車メーカーの生産や出荷が再開されるもとの、ひと頃に比べて持ち直しているが、新たに一部車種の出荷が停止されたことから、先行きの不透明感が再び強まっている（高知[自動車販売]&lt;高松&gt;）。</li> <li>・南海トラフ地震が意識される当地では、4月に県西部で発生した最大震度6 弱の地震以後、防災意識が高まっており、防災用品の販売が伸長（高知[小売]）。</li> <li>・4月から高松―上海便の運航が再開されたことや円安が追い風となって、足もとのインバウンド客数は、コロナ禍前を上回る水準で推移している（高松[宿泊]）。</li> <li>・業種を問わず企業による歓送迎会利用が増加するもとの、団体需要はコロナ禍前の水準まで回復している（高知[飲食]）。</li> <li>・観光需要、会食需要の回復が続くもと、直近のGW期間中は満席状態が続き、盛況となった（高松[飲食]）。</li> <li>・各種コスト上昇分の価格転嫁を進めているが、夏休みも含めて新規予約は堅調に推移しており、物価高の中でも旅行需要の強さを感じている（松山[宿泊]）。</li> <li>・サウナ施設の来場者数は開業以降で最多となっており、特に20～30代の利用が増加している。近年のサウナブームに加え、企業が若年層に対して手厚い賃上げを行っている効果も相応に寄与していると考えている（松山[対個人サービス]）。</li> <li>・インバウンド客を中心に宿泊需要が堅調な中、リネン代や人件費上昇分の価格転嫁を進めており、足もとの客室単価は前年比+1割上昇している（高松[宿泊]）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長引く物価高の中、家計応援キャンペーンと銘打って食料品や日用品の値下げを実施。値下げをした商品の販売は非常に好調であり、顧客の節約志向の高まりを感じている（高松[商業施設]）。</li> <li>・外食業態では、値上げが需要の減少に直結してしまうため、原材料費が上昇したからといって、その都度、値上げを行うことは難しい。こうしたもと、極力値上げは控え、可能な限り生産性向上を通じて利益確保を図る方針（松山[飲食]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築コストの上昇を背景に、持家では買い控えの動きが広がっているほか、賃貸物件も十分な投資採算が見込めないとして着工ペースが鈍化している（松山）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主力の業務用冷凍食品の生産は伸長している。出荷先のスーパーやレストランにおいて、調理スタッフの人手確保が難しくなっており、調理の手間を削減できる冷凍食品の需要が高まっている（松山[食料品]）。</li> <li>・コロナ禍からの経済再開に伴う貨物輸送量の増加が続くもと、船舶の受注を順調に獲得しており、既に今後4年分の仕事量を確保している（高松[輸送用機械]）。</li> <li>・夏頃と見込んでいた車載用半導体の受注回復時期は、中国向けの低迷が続くもとで、今秋以降に後ずれする見込みであり、少なくとも年内の生産量は低水準で推移するとみている（松山[電気機械]）。</li> <li>・既往の原材料価格上昇分は概ね販売価格に転嫁できているものの、人件費上昇分は企業努力で吸収すべきと考える取引先企業が多く、賃上げ原資の確保に向けた価格転嫁を進めることができていない（高松[食料品]）。</li> <li>・受注から出荷までのリードタイムが長い中、原材料価格が早いペースで上昇を続けている今次局面では、価格転嫁が追い付いていない（高知[はん用機械]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精肉・鮮魚の調理担当者の人員不足が深刻で、繁忙期には生鮮商品の提供を満足に出来ていない店舗がみられる（高松[スーパー]）。</li> <li>・転職市場が活発化する中、高待遇な都市部の同業他社への転職者が増えており、地方では若手を中心に人材不足が加速している（高松[情報通信]）。</li> <li>・人手確保や最低賃金の改定等を意識して賃上げを実施しているが、年収の壁を意識する従業員が就労時間を短縮させる動きが顕在化しており、人手不足感は強まる一方となっている（高知[宿泊]）。</li> <li>・人手確保が喫緊の課題となる中、キャリア採用の開始、アルバイトの正社員登用推進、副業の解禁などを実施（松山[対個人サービス]）。</li> <li>・2024年度は2023年度を上回る6%超のベアを実施。新卒採用の難易度が上がっているため、特に若年層の賃上げを重点的に行っている（高松[その他製造業]）。</li> <li>・建設業界における働き方改革への対応を受けた人手不足感の強まりに加え、賃上げが公共工事入札時の加点対象になることや、賃上げ促進税制等の活用も意識して、2024年度は2023年度を上回る賃上げを実施（松山[建設]）。</li> <li>・利益は減少しているものの、組合からの賃上げ要求の高まりを受け、やむなく2024年度は2023年度を上回る3%超の賃上げを実施（松山[業務用機械]）。</li> <li>・2023年度はベアを実施したものの、人材係留面での効果が乏しく、厳しい収益状況にあることも踏まえ、2024年度はベアを見送った。ベアではない人材係留策として、残業削減や有給休暇の取得促進等、労働環境の改善に注力（高松[自動車販売]）。</li> <li>・ドラッグストア等との競合が激しい中、厳しい収益状況が続いており、賞与は夏しか支給できていない。このため、人材流出が激しく、新卒採用についても、2024年度入社はゼロ名となるなど非常に苦しい経営が続いている（高松[小売]）。</li> </ul>

## 九州・沖縄地域の金融経済概況

### 【全体感】

九州・沖縄地域の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。公共投資は、増加している。設備投資は、高水準で推移している。住宅投資は、弱含んでいる。輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

こうした中で、生産は、このところ弱めの動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。この間、企業の業況感は、幾分悪化したものの、全体として良好な水準を維持している。

### 【各 論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、横ばい圏内の動きとなっている。

設備投資は、高水準で推移している。

6月短観（九州・沖縄地区）における2024年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、物価上昇などの影響を受けつつも、堅調に推移している。

百貨店売上高は、緩やかに回復している。スーパー売上高は、底堅く推移している。コンビニエンスストア売上高は、堅調に推移している。家電販売は、弱めの動きとなっている。乗用車新車登録台数は、持ち直しの動きがみられている。旅行・観光は、ペースは鈍化しているが、増加している。

住宅投資は、弱含んでいる。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、このところ弱めの動きとなっている。

主要業種別にみると、自動車は、一部の工場稼働停止などの影響から、このところ減少している。電子部品・デバイスは、在庫調整の影響がみられているが、全体としては高水準で推移している。汎用・生産用・業務用機械は、持ち直している。化学は、低水準で推移している。鉄鋼・非鉄金属は、横ばい圏内の動きとなっている。食料品は、減少している。

### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

### 4. 物価

消費者物価（九州地区、除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

### 5. 企業倒産

企業倒産は、低水準ながらも、このところ増加している。

### 6. 金融情勢

預金動向をみると、法人預金や個人預金を中心に前年を上回っている。

貸出動向をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回っている。

## 九州・沖縄地域の金融経済概況（続）

### 【企業等の主な声】

－（）内は報告のあった支店等名、[]内はヒアリング先企業等の業種名、<>内は同趣旨の報告のあった支店等名。

項目名	企業等から聞かれた主な声
公共投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災を目的とした道路改良工事等の大型工事案件が進捗しており、公共工事は高めの水準で推移している（大分）。</li> <li>・今年度の公共投資は、防衛関連や各自治体の建設関連の予算が増額となるもとで、高水準で推移する見通し（那覇）。</li> </ul>
輸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国半導体メーカーによるレガシー半導体への積極的な投資が継続しており、中国向け輸出の増加が継続している（熊本[生産用機械]）。</li> <li>・米国向け自動車輸出は、高級車を中心に、同国内の自動車需要に一服感がみられているため、幾分弱含んでいる（北九州[輸送用機械]）。</li> <li>・EV市場の減速を背景に、取引先で在庫調整の動きがみられており、欧州・中国向けの出荷がひと頃に比べ弱含んでいる（熊本[窯業・土石]）。</li> </ul>
設備投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の電動化需要の増加を見据え、車載向けパワー半導体部品の生産設備を増強する計画（北九州[電気機械]）。</li> <li>・顧客がサプライチェーン全体におけるCO2排出量削減への取り組みを加速させており、当社も脱炭素化対応への投資を積極的に実施（大分[化学]）。</li> <li>・慢性的な人手不足が続く中、生産性向上を図るため、各生産設備の稼働状況についてAIカメラによる把握・管理分析を行うシステムを導入するなど、スマート工場化を図っている（鹿児島[その他製造業]）。</li> <li>・人手不足が深刻化する中、建設現場での所要人員削減を目的として、遠隔での測量や施工管理が可能なドローンを導入（那覇[建設]）。</li> <li>・大幅に賃上げしても大手メーカーとの賃金差はなお大きく、人手が確保しづらいため、産業用ロボット導入等による生産性向上に注力する（長崎[輸送用機械]）。</li> </ul>
個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円安等から旺盛なインバウンド需要が継続する中、国内客についても、物価上昇の影響はみられながらも、富裕層を中心に需要が堅調（福岡[百貨店]）。</li> <li>・物価上昇が続くもとで、購入点数の減少や相対的に安価なプライベートブランド商品へのシフトがみられる一方、高単価商品の販売も引き続き好調であるなど、メリハリの利いた消費行動が広がっている（那覇[小売]）。</li> <li>・先行きの賃金改善への期待もあってか、セール品以外の販売も増加。顧客側も物価高はある程度は仕方ないとの考えが広がってきている印象（鹿児島[小売]）。</li> <li>・物価上昇の影響が続くもとで旧型モデルなどのセール品や廉価品の引き合いが強くなり、引き続き販売動向は弱め（福岡[家電販売]）。</li> <li>・一部メーカーの生産停止が解除され、受注・登録台数ともに持ち直しているものの、新たな認証不正の問題もあり、影響を懸念（鹿児島[自動車販売]）。</li> <li>・国内旅行では、ペントアップ需要の一巡感がうかがわれるほか、海外旅行では、円安や燃料費引き上げによる旅行価格の上昇を受けて、旅行先を遠方から近場に切り替える動きや、旅行自体を断念する動きがみられている（熊本[旅行]）。</li> <li>・宿泊需要は、客室単価を引き上げている中でもインバウンド需要が下支えし、総じてみれば底堅い。ただし、国内客については、ペントアップ需要に一巡感がみられる（福岡[宿泊]）。</li> </ul>

個人消費等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入価格が高止まりしている中、賃上げによって販管費も増加したため、経費削減でまかないきれない部分について値上げをしている（北九州[小売]）。</li> <li>・物価高の影響で、近隣にディスカウントストアがある店舗の客数が減少しているため、対抗して一部商品を値下げし、顧客の係留を図っている（長崎[スーパー]）。</li> <li>・新車の購入者が減少しているため、通常よりも顧客の値引き交渉に積極的に応じて販売促進を図っている（大分[自動車販売]）。</li> <li>・旅費の高騰を受けて、宿泊代節約のために安価なビジネスホテルに宿泊する客が増えている中、当社も稼働率確保に向けて客室単価を引き下げた（那覇[宿泊]）。</li> </ul>
住宅投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持家の着工は、用地不足に加え、住宅価格の上昇に伴う中間層の購入意欲の減退を背景に、減少傾向が続いている（長崎）。</li> <li>・労務費上昇を主因に建築コストの増加が見通されることから、分譲マンションの着工が一服している（大分）。</li> <li>・現場の人手不足等によって工期が従来比長期化しており、案件受注を制限している。貸家需要は根強いが、前年度を上回るペースでの建設は困難（熊本）。</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国向けを中心に需要が増加傾向にあるほか、2024年度下期以降は主にAI関連の受注が回復するとみており、生産水準は高まる見通し（熊本[生産用機械]）。</li> <li>・出荷先の自動車関連メーカーからの減産通達を受け、休日出勤を取りやめる等の生産調整を行っている（大分[輸送用機械]）。</li> <li>・人手不足による工事遅延等により鋼材等の建材需要が落ち込んでいるため、生産は低水準となっている（北九州[鉄鋼]）。</li> <li>・人件費や原材料費が高騰する中で、9年ぶりに値上げを決断。需要減は懸念されるものの、自社での吸収が難しくなっているためやむを得ない（福岡[食料品]）。</li> <li>・ブローラーの飼育・加工費や当社の人件費の増加分を転嫁するため、出荷先企業と価格交渉を実施。以前は交渉のテーブルにつくことすら難しかったが、外部環境の変化もあり、前向きに対応してもらっている（鹿児島[食料品]）。</li> </ul>
雇用・所得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊業では、人手不足が常態化するもとの、省人化の工夫や投資を進めており、求人数が減少している（大分[行政機関]）。</li> <li>・働き方改革対応によりドライバーが不足する中、店舗への商品配送回数の減少に伴う欠品が相次いでおり、機会損失が発生（那覇[小売]）。</li> <li>・若手人材の採用を強化するためには、給与面だけでなく福利厚生改善も重要と考え、社員寮を新築することとした（長崎[建設]）。</li> <li>・業績低迷で賃上げに踏み切れずにいた中、若手が数名退職したこともあり、2024年度は原資の確保に先行して平均8%の賃上げを実施（福岡[情報通信]）。</li> <li>・2024年度は、社内の優秀な人材の係留と採用力の強化を目的に、労働組合の要求水準を上回る賃上げを行った。下請け企業に対しても、労務費の上昇分を取引価格に反映するように伝えている（北九州[鉄鋼]）。</li> <li>・2年連続での賃上げとなるため、2024年度の賃上げ幅は2023年度比で縮小する予定だったが、需要の増加に伴い収益が想定以上に上振れたため、賃上げ幅を前年度並みにまで引き上げた（鹿児島[窯業・土石]）。</li> <li>・人気メニューの値上げのほか、調達先や食材の見直しによって利益率が改善しているため、これを原資に2025年度も賃上げを実施予定（長崎[飲食]）。</li> <li>・円安によるコスト高で収益が圧迫されている中、2024年度は例年通りの定期昇給で精一杯。場合によっては賞与減額なども検討せざるを得ない（熊本[食料品]）。</li> </ul>



## 参 考

## 「各地域の需要項目等別の判断」にかかる前回との比較

	公共投資	設備投資	個人消費	住宅投資	生産	雇用	所得
北海道	→	↗	↘	→	→	→	→
東北	↘	→	→	→	→	→	→
北陸	↗	→	↗	→	→	→	→
関東 甲信越	→	↗	→	→	→	→	→
東海	↗	→	→	→	→	→	→
近畿	→	→	↗	→	↗	→	→
中国	→	→	↘	→	→	→	→
四国	→	→	↘	→	→	→	→
九州・ 沖縄	↗	→	→	→	→	→	→

(注)1. 「↗」、「↘」は、前回判断に比較して需要項目等の改善度合いまたは悪化度合いが変化したことを示す（例えば、改善度合いの強まりまたは悪化度合いの弱まりは、「↗」）。  
なお、前回に比較し需要項目等の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、「→」となる。

2. 輸出については判断対象としていない地域があるため、上表には含めていない。

## 地域別業況判断DI

## (1) 業況判断DI (全産業)

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	全国
2023/ 9	10	1	5	11	7	6	11	9	19	10
12(旧)	12	3	10	13	13	11	14	11	20	13
12(新)	(12)	(3)	(10)	(14)	(14)	(11)	(14)	(11)	(21)	(13)
2024/ 3	13	0	3	15	9	9	13	12	21	12
6	17	1	7	15	7	9	16	8	19	12
9(予)	11	2	1	13	6	7	14	7	16	10

## (2) 業況判断DI (製造業)

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	全国
2023/ 9	▲ 3	▲ 14	2	2	▲ 1	▲ 3	3	3	8	0
12(旧)	2	▲ 11	6	6	7	4	8	6	6	5
12(新)	(2)	(▲ 12)	(6)	(7)	(9)	(5)	(9)	(5)	(7)	(5)
2024/ 3	9	▲ 12	▲ 2	6	1	2	4	5	7	4
6	10	▲ 9	▲ 1	8	▲ 1	0	11	3	11	5
9(予)	14	▲ 1	▲ 2	7	2	3	10	8	7	6

## (3) 業況判断DI (非製造業)

(「良い」－「悪い」・%ポイント)

	北海道	東北	北陸	関東 甲信越	東海	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄	全国
2023/ 9	13	10	9	17	16	14	18	13	25	16
12(旧)	15	10	12	19	20	16	19	14	27	18
12(新)	(14)	(11)	(12)	(19)	(20)	(17)	(18)	(15)	(28)	(18)
2024/ 3	15	6	8	21	17	16	20	16	28	18
6	19	6	14	22	16	17	21	12	24	19
9(予)	10	3	4	16	10	10	17	6	21	13

(注)1. 短観の標本設計(調査対象企業の抽出方法)では、業種・企業規模ごとの売上高の標準誤差率や、売上高および資本金でみた調査母集団企業と調査対象企業の分布が有意に乖離しないこと等を基準として、全国ベースでの調査対象企業の抽出を行っているため、地域毎にみると、必ずしも各地域の産業構造を正確に反映していない。このため、例えばこの統計を、全国短観の業況判断DIや、他の地域について算出された業況判断DIと水準比較することは適当ではない。

しかし、短観の調査対象企業には、継続標本が多く含まれており、かつ回答率が極めて高いことから、この統計を各地域の企業の業況感の時系列的な変化を把握するために活用することは可能である。

2. 2024/3月調査から調査対象企業の見直しを行ったことから、2023/12月調査以前と2024/3月調査以降の計数は連続しない(2023/12月調査については、新ベースによる再集計結果を下段の括弧内に併記)。

3. 「(予)」は、直近の調査時における3か月後の予測。

4. 地域区分と都道府県の関係は以下の通り。

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北陸：富山県、石川県、福井県

関東甲信越：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 日本銀行各支店等のホームページアドレス

各支店等では、地域経済報告とは別に各地の地域経済・産業調査等を行っております。

地域名	支店名等	URL
北海道	釧路支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kushiro/index.html">https://www3.boj.or.jp/kushiro/index.html</a>
	札幌支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/sapporo/index.html">https://www3.boj.or.jp/sapporo/index.html</a>
	函館支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/hakodate/index.html">https://www3.boj.or.jp/hakodate/index.html</a>
東北	青森支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/aomori/index.html">https://www3.boj.or.jp/aomori/index.html</a>
	秋田支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/akita/index.html">https://www3.boj.or.jp/akita/index.html</a>
	仙台支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/sendai/index.html">https://www3.boj.or.jp/sendai/index.html</a>
	福島支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/fukushima/index.html">https://www3.boj.or.jp/fukushima/index.html</a>
北陸	金沢支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kanazawa/index.html">https://www3.boj.or.jp/kanazawa/index.html</a>
関東甲信越	前橋支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/maebashi/index.html">https://www3.boj.or.jp/maebashi/index.html</a>
	横浜支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/yokohama/index.html">https://www3.boj.or.jp/yokohama/index.html</a>
	新潟支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/niigata/index.html">https://www3.boj.or.jp/niigata/index.html</a>
	甲府支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kofu/index.html">https://www3.boj.or.jp/kofu/index.html</a>
	松本支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/matsumoto/index.html">https://www3.boj.or.jp/matsumoto/index.html</a>
	水戸事務所	<a href="https://www3.boj.or.jp/mito/index.html">https://www3.boj.or.jp/mito/index.html</a>
東海	静岡支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html">https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html</a>
	名古屋支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/nagoya/index.html">https://www3.boj.or.jp/nagoya/index.html</a>
近畿	京都支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kyoto/index.html">https://www3.boj.or.jp/kyoto/index.html</a>
	大阪支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/osaka/index.html">https://www3.boj.or.jp/osaka/index.html</a>
	神戸支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kobe/index.html">https://www3.boj.or.jp/kobe/index.html</a>
中国	岡山支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/okayama/index.html">https://www3.boj.or.jp/okayama/index.html</a>
	広島支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/hiroshima/index.html">https://www3.boj.or.jp/hiroshima/index.html</a>
	松江支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/matsue/index.html">https://www3.boj.or.jp/matsue/index.html</a>
	下関支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/shimonoseki/index.html">https://www3.boj.or.jp/shimonoseki/index.html</a>
四国	高松支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/takamatsu/index.html">https://www3.boj.or.jp/takamatsu/index.html</a>
	松山支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/matsuyama/index.html">https://www3.boj.or.jp/matsuyama/index.html</a>
	高知支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kochi/index.html">https://www3.boj.or.jp/kochi/index.html</a>
九州・沖縄	北九州支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/index.html">https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/index.html</a>
	福岡支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/fukuoka/index.html">https://www3.boj.or.jp/fukuoka/index.html</a>
	大分支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/oita/index.html">https://www3.boj.or.jp/oita/index.html</a>
	長崎支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/nagasaki/index.html">https://www3.boj.or.jp/nagasaki/index.html</a>
	熊本支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kumamoto/index.html">https://www3.boj.or.jp/kumamoto/index.html</a>
	鹿児島支店 那覇支店	<a href="https://www3.boj.or.jp/kagoshima/index.html">https://www3.boj.or.jp/kagoshima/index.html</a> <a href="https://www3.boj.or.jp/naha/index.html">https://www3.boj.or.jp/naha/index.html</a>
本店（地域経済報告）		<a href="https://www.boj.or.jp/research/brp/rer/index.htm">https://www.boj.or.jp/research/brp/rer/index.htm</a>

77R&C

# 調査月報

2024.  
7

■ 県内経済動向	1
■ データで見る宮城県 工場立地動向	12
■ 統計トピックス 宮城県観光統計概要（2023年・速報値）	13
■ 主要経済指標	15
■ 経済日誌	19
■ 今月の事件簿 政府経済対策の名前の謎	20

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

## 県内経済の基調判断

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

### 概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

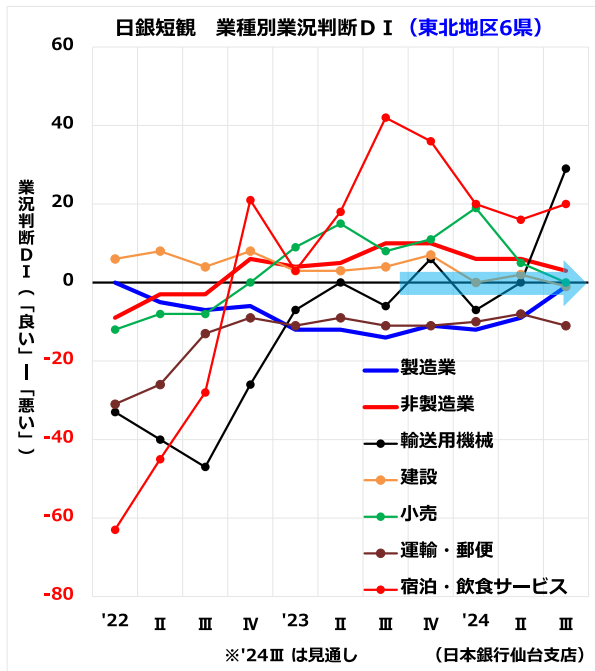
(参考) 県内景況判断の推移

	2024年5月	6月	7月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年7~9月	10~12月	2024年1~3月
企業景況感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

## 今月のポイント

新型コロナウイルス感染症の5類移行から1年が経過し、感染防止を目的とした行動制約に伴う下押しの影響はほぼなくなりましたが、一方で需要回復で再燃した人手不足の問題や高止まりする輸入物価などが企業・家計ともに実質所得の下押しを続けています。企業部門では大企業を中心に価格転嫁の進捗で業況は持ち直し、設備投資にも意欲的な姿勢がうかがえますが、中小企業や家計への分配は十分ではなく、街角景気や家計心理もこのところ悪化しています。今後の物価・賃金動向次第では、県内景気は後退局面入りも懸念される状況となっています。

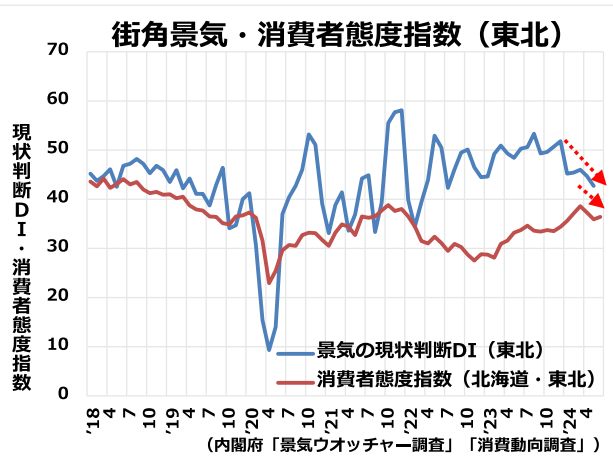


設備投資計画等 (リトリア・研究開発含む：除く土地投資額)

		2023年度	2024年度
東北	全規模		
	製造業	7.6	13.7
	非製造業	5.4	9.4
	全産業	7.0	12.5
全国	全規模	9.4	10.6

※2024年3月調査

(日本銀行仙台支店)



(全国、東北経済の基調判断) <要約>

	月例経済報告 (全国)	経済の動き (東北)
景気全体	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している (6月27日)	緩やかに持ち直している (6月21日)
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる	緩やかに回復している
設備投資	持ち直しの動きがみられる	増加している
住宅投資	弱含んでいる	弱い動きとなっている
公共投資	底堅く推移している (㊄)	弱めの動きとなっている (㊄)
生産	このところ持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが足踏みしている
雇用	改善の動きがみられる	改善している

注) 下線部は上方修正(㊄)または下方修正(㊅)

(出所:内閣府、日銀仙台支店)

77BI

77BI (暫定値)は、持ち直しの動きが鈍化している。

5月の77BI (暫定値)は、前月比0.1ポイント低下の99.8となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積は前月比上昇したが、宮城県消費動向指数、有効求人倍率は前月比低下した。また、4月の鉱工業生産指数は前月比上昇した。

一方、移動平均値 (3カ月後方) は、前月比0.1ポイント低下の100.1となった。

個別採用指標では鉱工業生産指数が持ち直す半面、消費動向指数および有効求人倍率が低下基調にあり、県内景気の下支え役だった雇用・消費の弱さが全体の重石となっています。



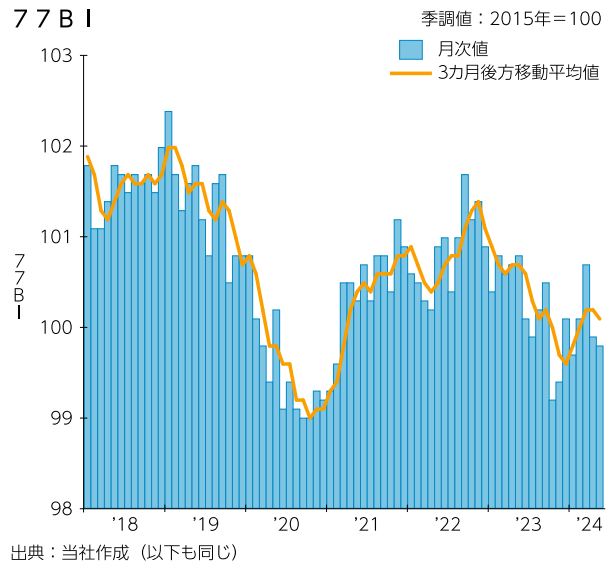
77BI (季節調整値、2015年=100)

	2024年3月	4月	5月
BI値	100.7	99.9	99.8
鉱工業生産指数	101.5	105.6	105.6
宮城県消費動向指数	106.5	99.4	97.1
建築物着工床面積	147.0	68.9	128.9
有効求人倍率	99.5	95.8	92.8

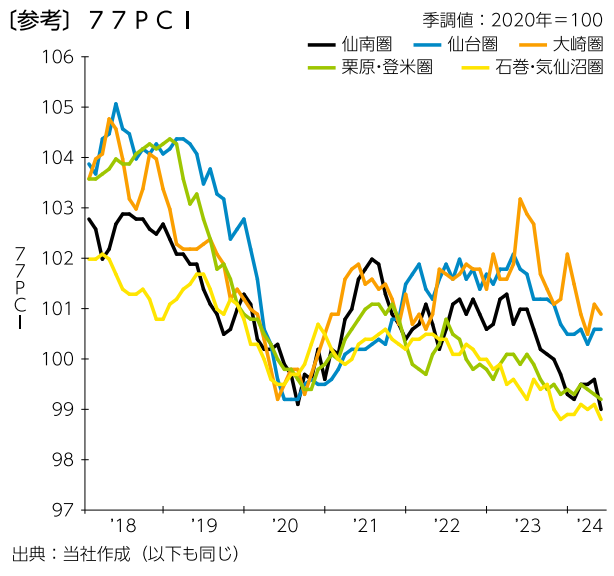
[参考] 77PCI (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年3月	4月	5月
仙南圏	0.1	0.05	▲ 0.6
仙台圏	▲ 0.3	0.4	▲ 0.1
大崎圏	▲ 0.4	0.6	▲ 0.1
栗原・登米圏	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
石巻・気仙沼圏	▲ 0.1	0.1	▲ 0.3

77BI



[参考] 77PCI



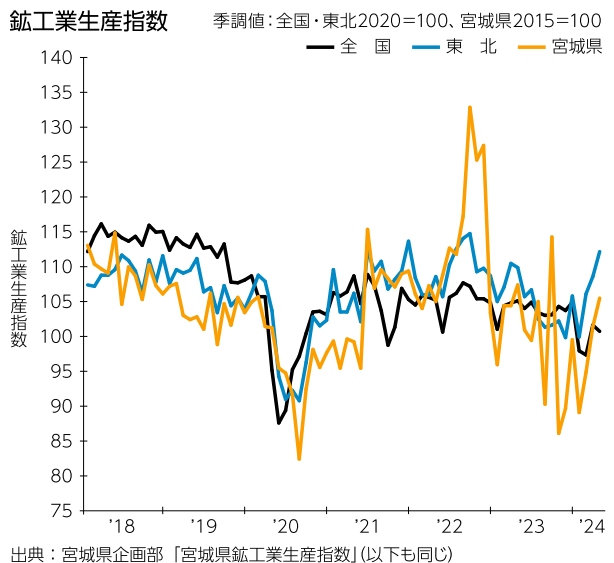
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

4月の鉱工業生産指数は、前月比4.0%上昇の105.6となった。業種別にみると、輸送機械工業が前月比プラスとなったことなどから、3カ月連続して前月を上回っている。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比0.2%の上昇となり、12カ月ぶりに前年を上回った。

鉱工業生産指数





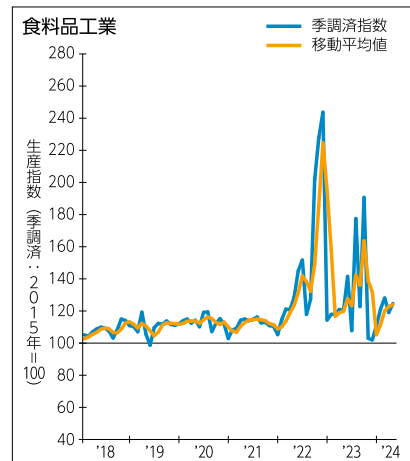
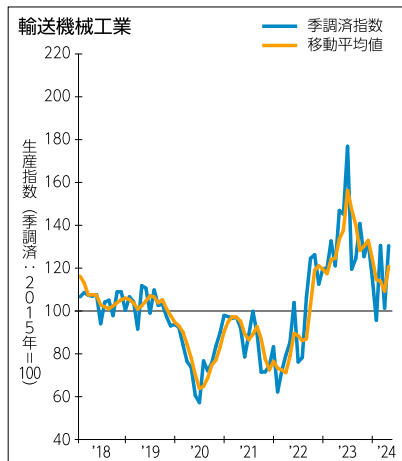
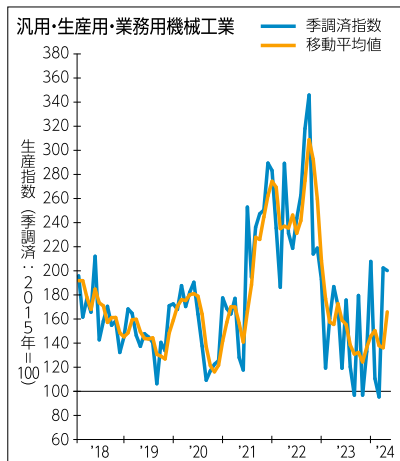
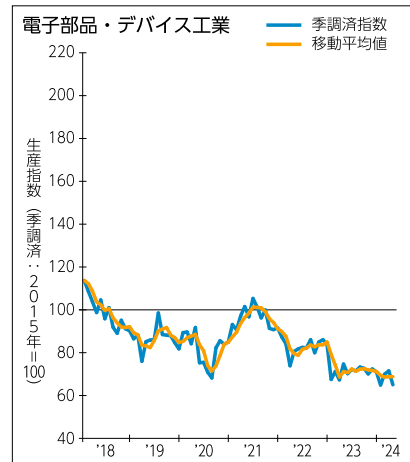
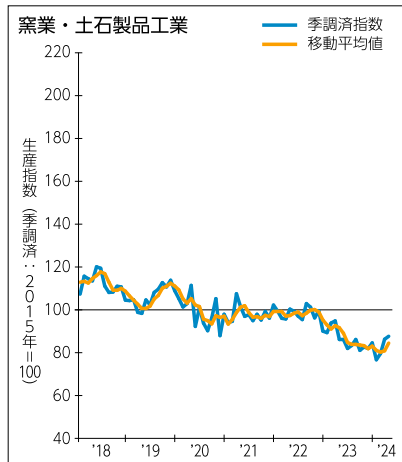
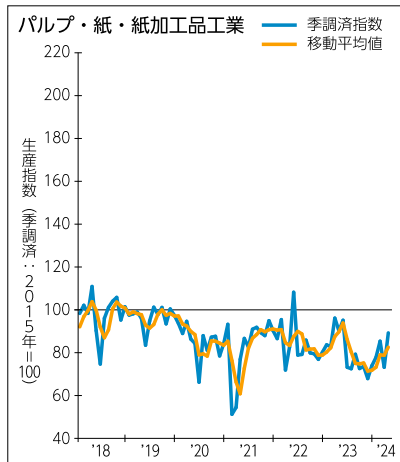
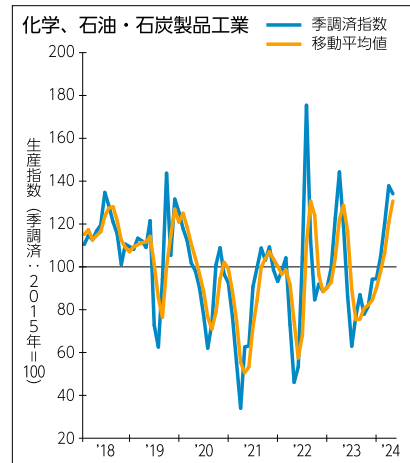
鉱工業生産指数 (宮城県2015年=100、東北・全国2020年=100、季節調整済、前年比:%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	94.9	101.5	105.6
(前年比)	▲ 6.1	▲ 6.4	0.2
東北	106.2	108.7	112.3
(前年比)	▲ 1.6	▲ 4.3	3.6
全国	97.4	101.7	100.8
(前年比)	▲ 3.9	▲ 6.2	▲ 1.8

主要業種別生産動向(宮城県) (2015年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2024年2月	3月	4月
化学、石油・石炭製品工業	120.3	137.9	134.2
(前年比)	▲ 4.9	▲ 2.4	12.0
パルプ・紙・紙加工品工業	85.3	73.1	89.2
(前年比)	5.3	▲ 21.8	▲ 4.6
窯業・土石製品工業	79.5	86.2	87.6
(前年比)	▲ 13.9	▲ 13.1	2.3
電子部品・デバイス工業	69.9	71.4	64.9
(前年比)	2.0	1.0	▲ 7.7
汎用・生産用・業務用機械工業	95.1	202.4	200.2
(前年比)	▲ 38.3	▲ 2.8	20.1
輸送機械工業	130.6	101.3	130.5
(前年比)	▲ 2.8	▲ 19.6	▲ 5.6
食料品工業	128.0	119.0	124.6
(前年比)	8.2	▲ 1.5	0.7

半導体需要は先行指標とも言える半導体製造装置の増加等で汎用・生産用・業務用機械の指数(季調済)が2カ月連続で200を上回るなど持ち直しがみられます。一方、主力の電子部品・デバイスは水準が依然低調で、輸送機械は検査不正問題などで振れ幅の大きな動きとなっています。



**建設動向**

公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

**公共工事**

5月の公共工事請負金額は、前年同月比21.0%増の225億円となり、2カ月ぶりに前年を上回った。発注者別にみると、国の機関では、同33.2%減の31億円と前年を下回った。

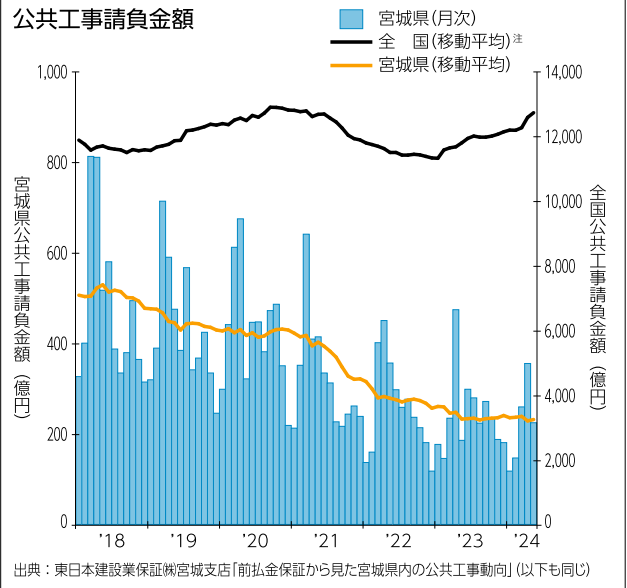
一方、地方の機関は、県が同27.7%減の47億円、市町村等は同97.6%増の147億円となり、全体で同39.3%増の194億円と前年を上回った。

また、震災前の2010年5月の請負金額（156億円）と比べた水準は44.5%増となっている。

当月は高速道路や地下鉄、病院、小学校、廃棄物焼却施設など公共建築物の改修・更新等で大型工事が重なりました。同種の公共インフラは老朽化が進む一方、人口減や地方財政の悪化などから受注は抑制的に推移すると見込まれます。

**CHECK!**

公共工事請負金額



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別)

(前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	10.6	▲ 25.0	21.0
国の機関	21.7	▲ 71.4	▲ 33.2
県	2.0倍	0.1	▲ 27.7
市町村等	▲ 28.2	▲ 25.0	97.6
全国	6.2	18.8	12.3

**住宅建設**

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比32.1%増の1,386戸（全国5.3%減、65,882戸）となり、前月に引続き前年を上回っている。

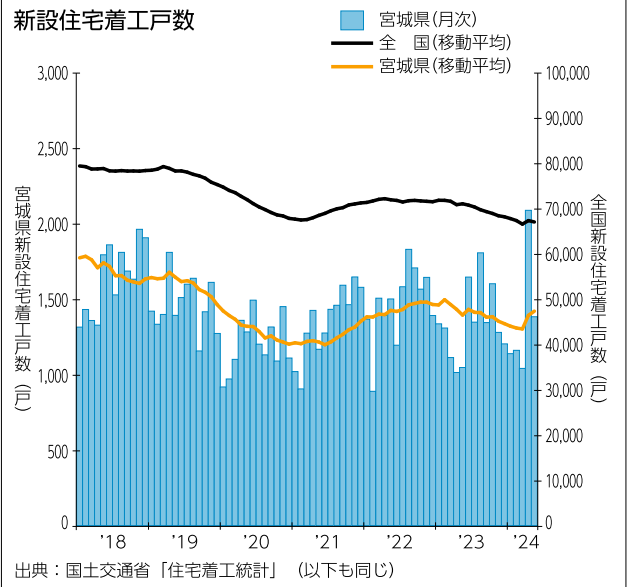
利用関係別にみると、持家が同5.6%減（270戸）と前年を下回ったが、貸家が同58.2%増（845戸）、分譲が同17.9%増（270戸）と前年を上回った。

また、震災前の2010年5月の着工戸数（990戸）と比べた水準は40.0%増となっている。

2カ月連続のプラスとなるのは約1年半ぶりですが、相次ぐ大型マンション着工による一時的な上振れの可能性が高く、持家が再びマイナスになるなど基調としては弱めの動きが続いています。

**CHECK!**

新設住宅着工戸数



出典：国土交通省「住宅着工統計」（以下も同じ）

新設住宅着工戸数(利用関係別)

(前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	▲ 6.5	2.1倍	32.1
持家	▲ 4.9	17.9	▲ 5.6
貸家	30.0	23.7	58.2
分譲	▲ 50.5	5.0倍	17.9
全国	▲ 12.8	13.9	▲ 5.3

新設住宅着工戸数(市部・郡部別)

(前年比、%)

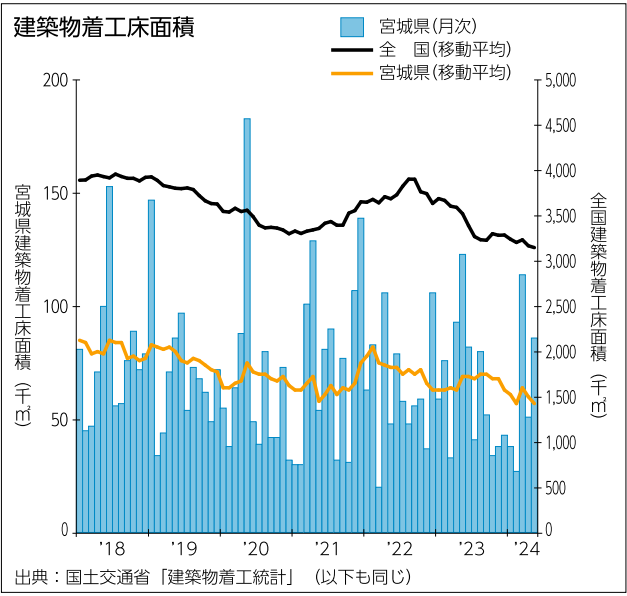
	2024年3月	4月	5月
市部	▲ 9.6	2.1倍	33.7
うち仙台市	1.0	2.4倍	65.0
うち仙台市以外	▲ 29.1	54.6	▲ 17.5
郡部	15.7	46.7	21.4

**建築物着工**

5月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比30.1%減の86千㎡、工事費予定額は同0.7%減の184億円となり、床面積、工事費予定額とも前月に引続き前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、工場（1千㎡：前年同月比89.8%減）などが前年を下回った。

当月は仙台圏南部で久しぶりとなる大型物流施設（45千㎡）の着工により全体の水準が押し上げられましたが、それを除いた水準をみる限り、建設投資は依然として力強さの欠けたものとなっています。



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	3.5倍	▲ 44.9	▲ 30.1
事務所	▲ 42.3	▲ 58.8	2.2倍
店舗	▲ 55.6	▲ 30.6	7.5倍
工場	▲ 70.1	23.7	▲ 89.8
倉庫	10.7倍	▲ 22.4	▲ 51.6
その他	5.5倍	▲ 83.6	19.5
全国	13.5	▲ 18.2	▲ 8.5

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	3.2倍	▲ 33.8	▲ 0.7
事務所	▲ 45.4	▲ 60.0	53.7
店舗	▲ 61.3	▲ 38.8	7.1倍
工場	▲ 52.9	25.2	▲ 90.8
倉庫	18.9倍	▲ 15.4	▲ 35.0
その他	4.7倍	▲ 75.2	59.4
全国	55.9	24.2	▲ 1.6

**消費動向**

宮城県消費動向指数はこのところ弱含んでおり、小売業主要業態販売は底堅さがうかがわれる動きとなっている。乗用車新車販売は強い下押しにより減少している。

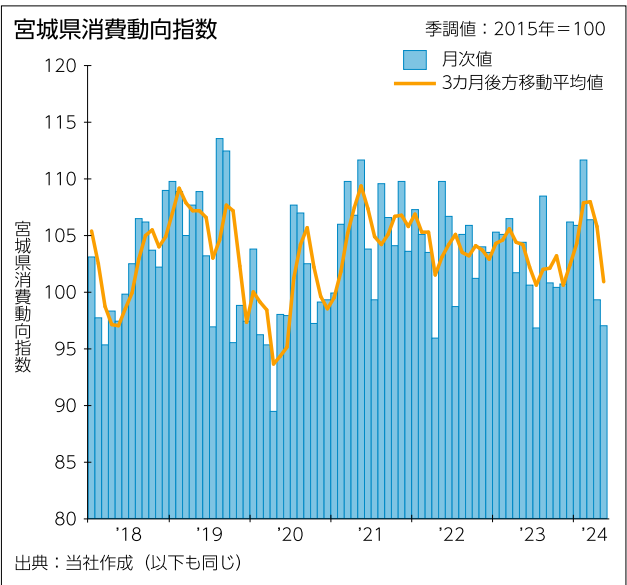
**消費動向指数**

5月の宮城県消費動向指数は、前月比2.3ポイント低下の97.1となり、3カ月連続して低下している。

消費費目別にみると、「家具・家事用品」「教養娯楽」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比4.9ポイント低下の101.0となった。

単月では10カ月ぶりの低水準、旅行・レジャーなど教養娯楽のほか、食料や光熱・水道、家具・家事用品など日用品の分野でも幅広く節約志向が強まり、大型連休明け・夏季賞与前・賃上げ効果浸透前などの一時的要因か、マインド悪化による潮流変化か、注意が必要です。



出典：当社作成（以下も同じ）

宮城県消費動向指数 (季節調整値、2015年=100)

	2024年3月	4月	5月
消費動向指数	106.5	99.4	97.1
家賃指数	110.5	110.4	110.8
乗用車販売指数	65.1	78.8	79.5
コア消費支出指数	120.6	114.2	106.1

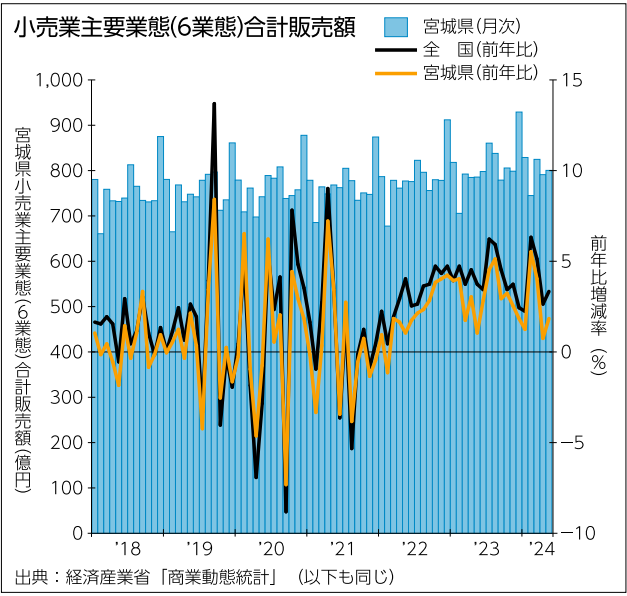
※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

小売業主要業態販売

5月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)は、前年同月比1.9%増の804億円(全国3.4%増、4兆2,898億円)となり、27カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同0.6%増の332億円(全国4.4%増)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。コンビニエンスストアは同0.4%減の205億円(全国1.3%増)となり、3カ月連続して前年を下回っている。家電大型専門店は同7.5%増の53億円(全国0.6%増)となり、4カ月連続して前年を上回っている。ドラッグストアは同7.4%増の149億円(全国6.6%増)となり、38カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同0.4%減の65億円(全国1.1%増)となり、3カ月連続して前年を下回っている。

うるう年による押し上げのあった2月を除くとコンビニは今年1月から、ホームセンターは昨年12月から前年割れが続いています。スーパー(当社推計値)は辛うじてプラスに転じましたが、値上げによる増収効果は息切れしつつあります。



小売業主要業態(6業態)合計販売額 (前年比、%)

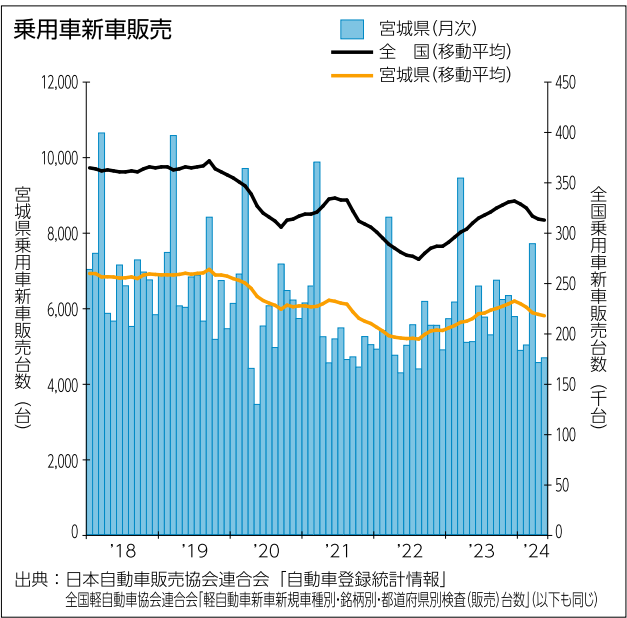
	2024年3月	4月	5月
6業態合計(宮城県)	4.1	0.8	1.9
百貨店・スーパー	4.7	▲ 1.1	0.6
コンビニエンスストア	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 0.4
家電大型専門店	12.4	6.0	7.5
ドラッグストア	9.6	7.7	7.4
ホームセンター	▲ 2.7	▲ 1.1	▲ 0.4
6業態合計(全国)	5.2	2.7	3.4

注) 全店ベース

乗用車新車販売

5月の乗用車新車販売台数は、前年同月比8.4%減(全国3.9%減)の4,693台となり、5カ月連続して前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同0.2%増(全国2.0%増)の2,078台となり、前月に引続き前年を上回っている。小型車は、同9.4%減(全国8.8%減)の1,148台となり、5カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同17.6%減(全国8.2%減)の1,467台となり、5カ月連続して前年を下回っている。

年明け以降、販売を下押しし続けてきた検査不正問題の影響が緩和してきた矢先に同種問題の第二弾が発生し、来月(6月)以降に再び減少幅が拡大するとみられ、県内経済にとっては生産と同様に消費(販売)への影響も小さくありません。



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
宮城県	▲ 18.4	▲ 10.5	▲ 8.4
普通車	▲ 6.1	9.8	0.2
小型車	▲ 34.3	▲ 23.8	▲ 9.4
軽乗用車	▲ 19.5	▲ 22.3	▲ 17.6
全国	▲ 19.6	▲ 10.7	▲ 3.9

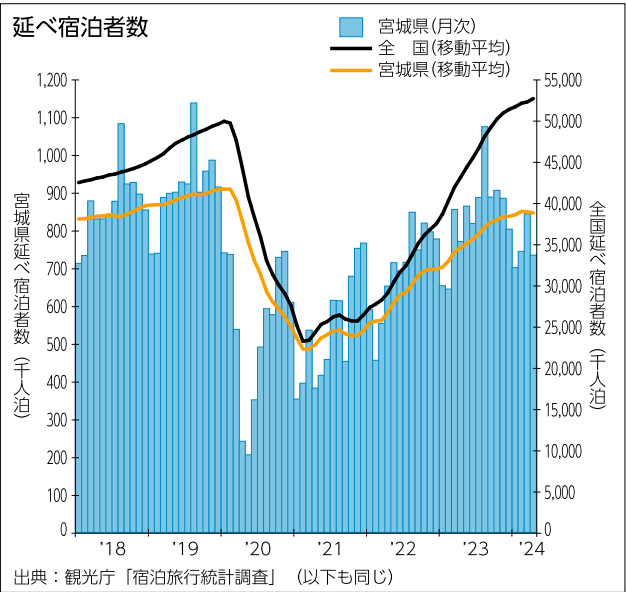
**観光動向**

4月の延べ宿泊者数は、前年同月比4.6%減の736千人泊となり、前月に引続き前年を下回っている。

居住地別にみると、県内宿泊客は同8.1%減の156千人泊と前月に引続き前年を下回っており、県外宿泊客は同13.0%減の463千人泊と前月に引続き前年を下回っている。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同32.7%増の72千人泊となり、21カ月連続して前年を上回っている。

延べ宿泊者数



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(以下も同じ)

延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	746	846	736
うち県内客	182	223	156
うち県外客	471	545	463
うち外国人	74	62	72
全国	47,848	55,110	51,896
うち外国人	11,517	12,982	14,502

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2024年2月	3月	4月
宮城県	15.4	▲ 1.3	▲ 4.6
うち県内客	2.7	▲ 1.2	▲ 8.1
うち県外客	8.2	▲ 4.6	▲ 13.0
うち外国人	3.1倍	2.8倍	32.7
全国	11.7	4.2	10.1
うち外国人	86.3	64.6	46.9

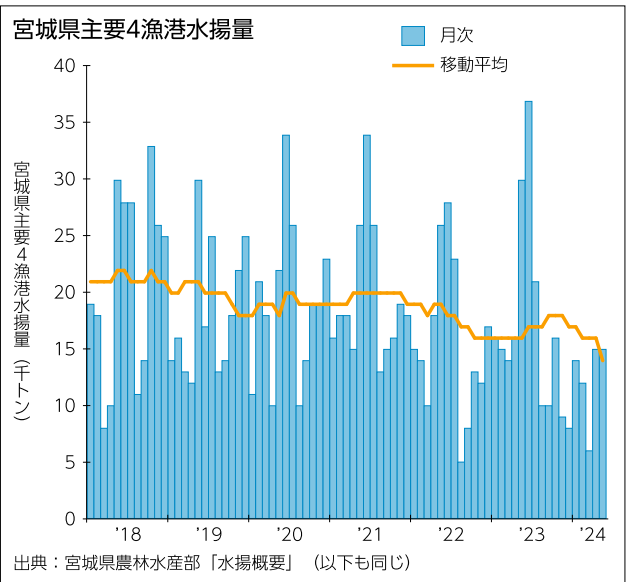
**水産動向**

5月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚は、数量が前年同月比50.7%減の15千トン、金額が同40.3%減の47億円となり、数量は7カ月連続して、金額は6カ月連続して前年を下回っている。

魚種別にみると、数量はマイワシ、金額はビンチョウマグロなどが減少した。

漁港別にみると、数量は塩釜が前年を上回ったが、石巻、気仙沼、女川が前年を下回った。金額は全ての漁港が前年を下回った。

宮城県主要4漁港水揚量



出典：宮城県農林水産部「水揚概要」(以下も同じ)

主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月
合計	▲ 56.9	▲ 4.0	▲ 50.7
塩釜	▲ 42.7	▲ 65.8	0.1
石巻	▲ 42.4	▲ 11.4	▲ 47.6
気仙沼	▲ 52.5	78.6	▲ 59.8
女川	▲ 83.3	15.3	▲ 56.9

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

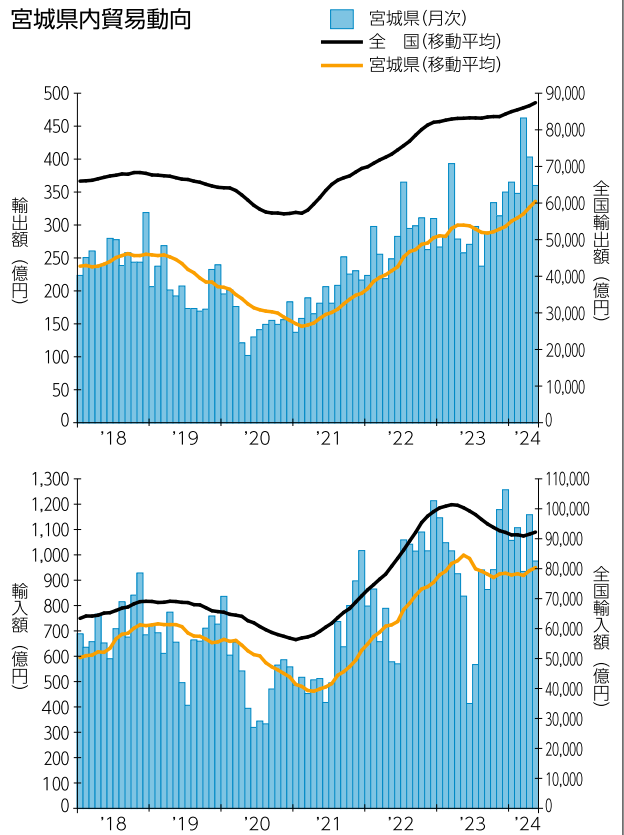
	2024年3月	4月	5月
合計	▲ 29.1	▲ 2.7	▲ 40.3
塩釜	▲ 39.8	▲ 39.6	▲ 16.6
石巻	▲ 19.8	13.0	▲ 32.3
気仙沼	▲ 13.0	69.4	▲ 65.8
女川	▲ 68.0	▲ 0.4	▲ 19.4

貿易動向

5月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比39.9%増の359億円、輸入が同16.5%増の973億円となった。

輸出は石油製品が増加したことなどから8カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから前月に引続き前年を上回っている。

宮城県内貿易動向



輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
宮城県	輸出	17.6	44.9	39.9
	輸入	▲ 8.0	25.1	16.5
全国	輸出	7.3	8.3	13.5
	輸入	▲ 5.1	8.3	9.5

出典：横浜税関「横浜税関管内貿易速報」（以下も同じ）

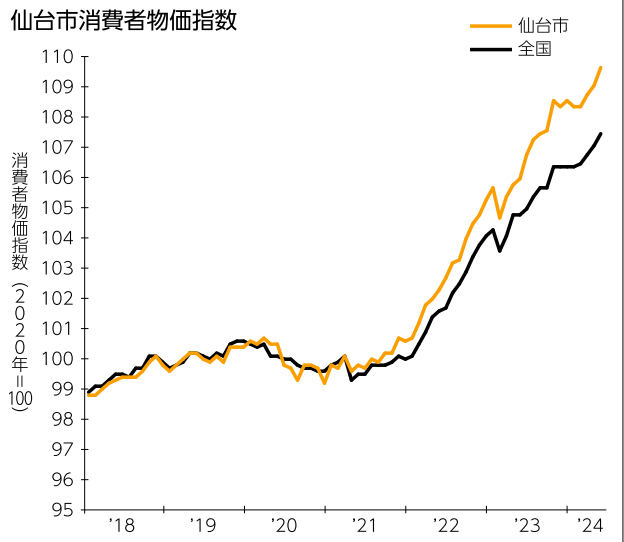
物価動向

5月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比3.4%上昇の109.7となり35カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「光熱・水道」などが上昇した。

縮小傾向の上昇幅が再拡大。電気代が再エネ賦課金の引上げなどで上昇したほか、生鮮食品除く食料に下げ止まりがみられるなど、生活必需財を中心とした高止まりが家計の防衛的行動につながっています。

仙台市消費者物価指数



注）生鮮食品除く総合  
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
生鮮食品を除く食料		5.2	4.3	4.4
住居		1.5	1.4	0.1
光熱・水道	▲	0.6	0.4	8.1
家具・家事用品	▲	0.1	1.3	4.7
被服および履物		3.2	3.5	3.3
保健医療		2.4	1.6	1.2
交通・通信		3.7	4.2	3.3
教育		1.6	3.5	3.4
教養娯楽		8.2	7.0	5.6
諸雑費		1.4	1.6	1.7

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

		2024年3月	4月	5月
仙台市		3.3	3.1	3.4
全国		2.6	2.2	2.5

## 雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

5月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求職者数が増加したことなどから、前月比0.04ポイント低下の1.24倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて卸売業・小売業などが減少した。

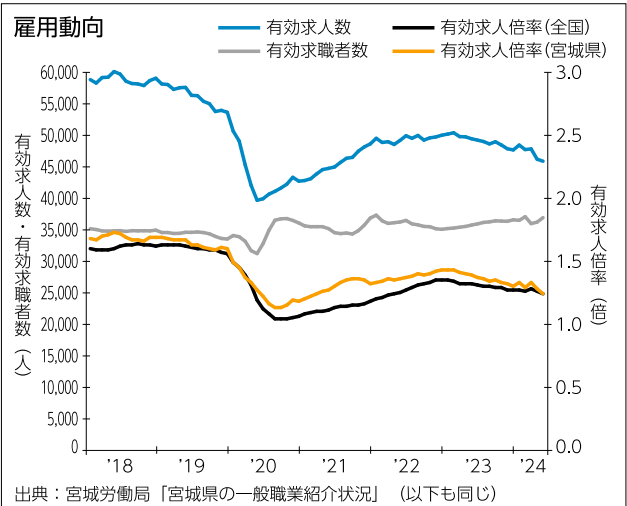
有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、仙台（1.31倍）、築館（1.23倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.57倍）、塩釜（0.63倍）などは1倍を下回っている。

有効求人倍率（季調値）は1倍以上を維持しているとはいえ年初から0.09ポイント低下、新規求人数も8カ月連続で前年割れなど、求人の弱さが目立ちます。足元の賃金上昇は、労働需要の減退と人手不足感をより強める状況となっています。



	2024年3月	4月	5月
有効求人倍率(宮城県)	1.33	1.28	1.24
(全国)	1.28	1.26	1.24
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 4.1	▲ 6.0	▲ 7.7

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値



職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2024年3月	4月	5月
気仙沼	1.21	1.06	1.02
石巻	1.40	1.20	1.10
塩釜	0.73	0.66	0.63
仙台	1.55	1.38	1.31
大和	1.37	1.27	1.20
古川	1.07	0.96	0.90
築館	1.40	1.20	1.23
迫	0.88	0.78	0.74
大河原	0.69	0.59	0.57
白石	1.27	1.10	1.02

## 倒産動向

5月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比2.2倍の22件、負債額では同4.9倍の26億円となった。

倒産企業を業種別にみると、製造業が5件、建設業、サービス業他が各4件などとなっている。

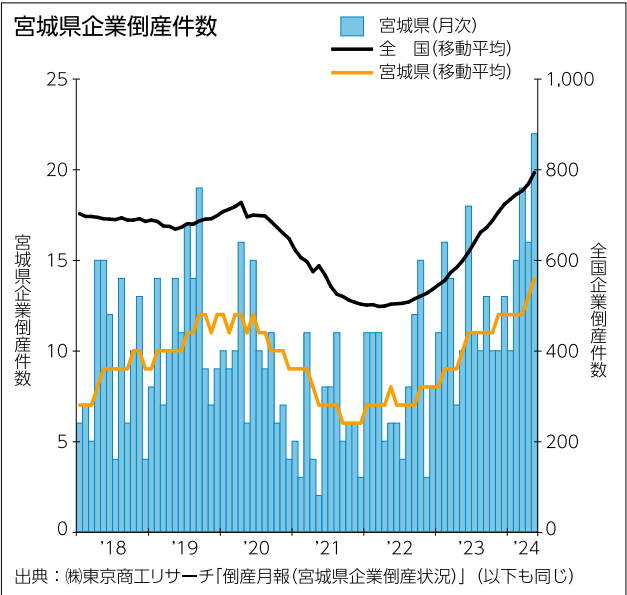
主因別では、販売不振が15件、既往のシワ寄せが5件などとなっている。

地域別では、仙台市が9件、石巻市が3件などとなっている。

件数(22件)は2010年3月(23件)以来の多さですが、負債額は年明け以降の平均的な水準にとどまるなど小規模倒産が中心となっています。ただ、コロナ関連の支援策の反動などから、今後も景気回復局面での倒産増加という状況が続くそうです。



	2024年3月	4月	5月	
宮城県	件数	19	16	22
	負債額	2,744	2,594	2,567
全国	件数	906	783	1,009
	負債額	142,252	113,423	136,769



企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

	2024年3月	4月	5月	
宮城県	件数	35.7	2.3倍	2.2倍
	負債額	3.9	10.8倍	4.9倍
全国	件数	12.0	28.4	42.9
	負債額	▲ 3.5	▲ 44.4	▲ 50.9

人口動向

6月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比16,076人減の225万1,346人となり、38カ月連続して前年を下回っている。

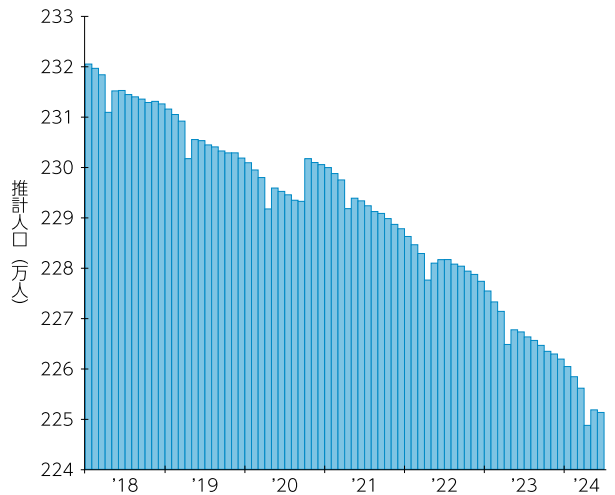
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,773人減、社会増減は697人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（257人増）、富谷市（133人増）の2市、減少したのは石巻市（2,201人減）、仙台市（1,816人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では9万5,507人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,668人増）、名取市（5,426人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万8,054人減）、気仙沼市（1万6,787人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口

(人)

	2024年4月	5月	6月
総人口	2,248,772	2,251,867	2,251,346
自然増減	▲ 1,740	▲ 1,430	▲ 1,259
社会増減	▲ 5,679	4,525	738

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月 ①	2023年6月 ②	2024年6月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①		2011年3月 ①	2023年6月 ②	2024年6月 ③	前年比 ③-②	震災前比 ③-①
宮城県	2,346,853	2,267,422	2,251,346	▲ 16,076	▲ 95,507	村田町	11,939	10,161	9,982	▲ 179	▲ 1,957
仙台市	1,046,737	1,098,221	1,096,405	▲ 1,816	▲ 49,668	柴田町	39,243	37,501	37,223	▲ 278	▲ 2,020
石巻市	160,394	134,541	132,340	▲ 2,201	▲ 28,054	川崎町	9,919	7,964	7,775	▲ 189	▲ 2,144
塩釜市	56,221	50,799	50,517	▲ 282	▲ 5,704	丸森町	15,362	11,330	10,991	▲ 339	▲ 4,371
気仙沼市	73,154	57,691	56,367	▲ 1,324	▲ 16,787	亘理町	34,795	32,782	32,587	▲ 195	▲ 2,208
白石市	37,273	31,185	30,426	▲ 759	▲ 6,847	山元町	16,608	11,632	11,465	▲ 167	▲ 5,143
名取市	73,603	78,772	79,029	257	5,426	松島町	15,014	12,838	12,583	▲ 255	▲ 2,431
角田市	31,188	26,718	26,325	▲ 393	▲ 4,863	七ヶ浜町	20,353	17,464	17,360	▲ 104	▲ 2,993
多賀城市	62,990	63,060	62,590	▲ 470	▲ 400	利府町	34,279	35,006	34,960	▲ 46	681
岩沼市	44,160	43,605	43,450	▲ 155	▲ 710	大和町	25,366	28,484	28,409	▲ 75	3,043
登米市	83,691	72,491	71,014	▲ 1,477	▲ 12,677	大郷町	8,871	7,527	7,384	▲ 143	▲ 1,487
栗原市	74,474	61,049	59,666	▲ 1,383	▲ 14,808	大衡村	5,361	5,580	5,469	▲ 111	108
東松島市	42,840	38,102	37,620	▲ 482	▲ 5,220	色麻町	7,406	6,343	6,203	▲ 140	▲ 1,203
大崎市	134,950	123,336	121,654	▲ 1,682	▲ 13,296	加美町	25,421	20,886	20,451	▲ 435	▲ 4,970
富谷市	47,501	51,341	51,474	133	3,973	涌谷町	17,399	14,546	14,166	▲ 380	▲ 3,233
蔵王町	12,847	10,861	10,698	▲ 163	▲ 2,149	美里町	25,055	23,072	22,775	▲ 297	▲ 2,280
七ヶ宿町	1,664	1,173	1,163	▲ 10	▲ 501	女川町	9,932	6,113	6,027	▲ 86	▲ 3,905
大河原町	23,465	23,637	23,411	▲ 226	▲ 54	南三陸町	17,378	11,611	11,387	▲ 224	▲ 5,991

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）  
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数



# データで見る宮城県

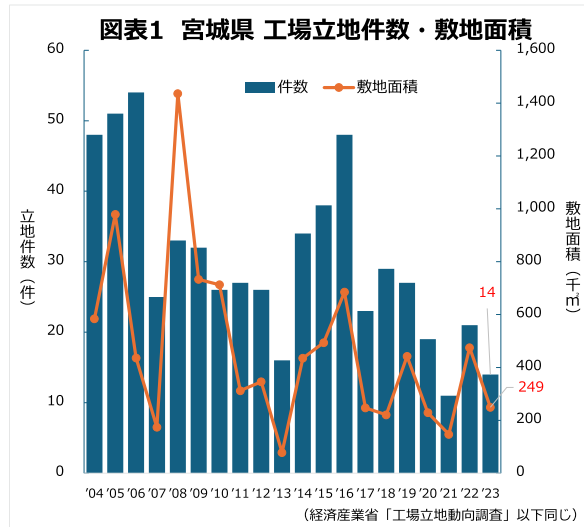
# 工場立地動向

宮城県の2023年の工場立地件数(図表1)は前年比7件(50%)減の14件、敷地面積は同47.6%減の249千㎡となった。過去20年間の推移をみると、当初は年間50件前後で推移していたが、2007年以降は半分程度まで減少、東日本大震災の復興需要や大手の進出企業関連などで水準を戻し、2016年にピークアウトしている。

業種別の立地件数(図表2)をみると、直近3年間では食料品(13件)が最も多く生産用機械(8件)、金属製品(5件)などと比べても多くなっており、県の主力業種の立地が安定的に続いている。

宮城県の立地件数(図表3)は全都道府県で2023年は18位だったが、過去20年の累計では13位と順位は高く、弱さのあった県内製造業は厚みを増したと言える。

一方、高度人材を集めて高付加価値創出の核となる研究所の立地件数(図表4)をみると大学数に比して立地状況は低調である。今後、半導体関連の企業集積が想定される中、生産工場のみならず研究開発を担う研究所の立地も重要であり、産学官金の一層の連携による誘致が期待される。



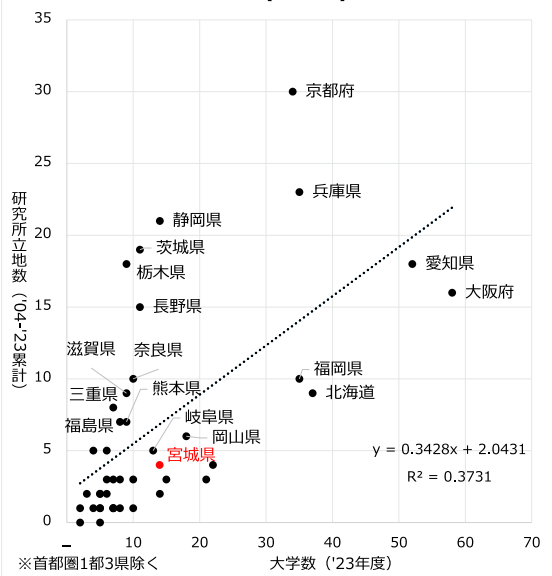
図表2 宮城県 業種別立地件数 (件)

業種	'21年	'22年	'23年	計
食料品	4	5	4	13
生産用機械	2	2	4	8
金属製品	1	2	2	5
窯業・土石		3	1	4
電気機械		3	1	4
木材・木製品		1	1	2
プラスチック製品	1		1	2
飲料・たばこ・飼料	1	1		2
はん用機械	1	1		2
ゴム製品		1		1
業務用機械		1		1
電子部品・デバイス		1		1
輸送用機械	1			1
合計	11	21	14	46

図表3 工場立地件数 都道府県順位 (件)

順位	都道府県	'23年	順位	都道府県	'04-'23計
1	茨城県	75	1	静岡県	1,401
2	愛知県	62	2	愛知県	1,286
3	静岡県	47	3	群馬県	1,247
4	群馬県	41	4	兵庫県	1,234
5	北海道	34	5	茨城県	1,167
6	栃木県	34	6	埼玉県	832
7	岐阜県	32	7	福岡県	786
8	兵庫県	29	8	栃木県	768
9	福岡県	29	9	岐阜県	764
10	奈良県	28	10	新潟県	740
11	福島県	23	13	宮城県	602
18	宮城県	14	14	福島県	556
20	山形県	13	22	山形県	415
29	青森県	7	29	岩手県	282
30	秋田県	7	35	秋田県	217
32	岩手県	6	41	青森県	172
全国合計		745	全国合計		22,059

図表4 大学数と(製造業)研究所立地件数



統計トピックス

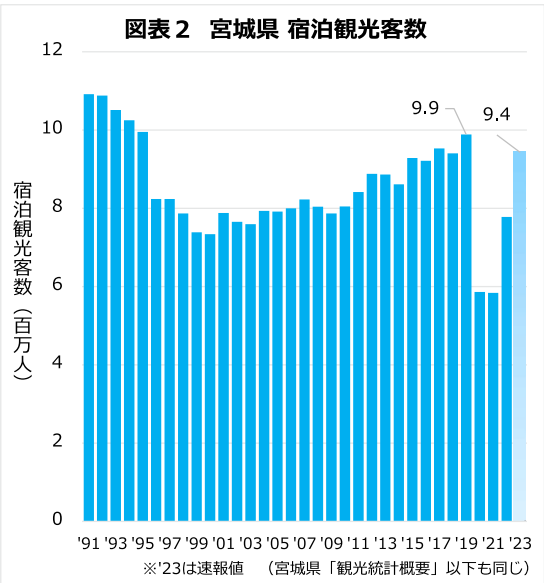
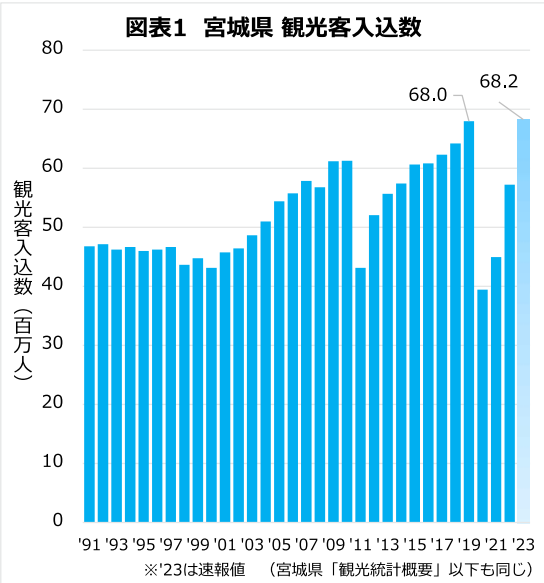
宮城県観光統計概要（2023年・速報値）

宮城県は2023年の観光統計概要（速報値）を公表した。

2023年はCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）が5月8日に5類感染症に移行したことにより観光分野におけるペントアップ需要が顕在化し、観光客入込数（図表1）は前年比1,100万人（19.2%）増加の6,824万人に達し、統計開始以降で最も多かったコロナ禍前の2019年（6,796万人）を28万人（0.4%）上回り、過去最高を更新した。

一方、宿泊観光客数（図表2）は前年比165万人泊（21.4%）増加の943万人泊となり、2019年比では46万人（4.7%）の減少となり、コロナ禍前を上回るには至らなかった。

圏域別（図表3）に2019年比の状況を見ると、観光客入込数では仙台圏域（2019年比：107.0%）が松島海岸や仙台城址・瑞鳳殿等で増加したほか、石巻圏域（同115.8%）が集客力のある道の駅などで増加しており、全体として「全国都市緑化仙台フェア」や大規模な集客イベントの通常規模での開催などに押し上げられた。宿泊観光客数では石巻圏域（同110.5%）が宿泊施設の新規開業などもあり増加し、仙台圏域（同98.0%）でもほぼ回復したが、宿泊施設の廃業や人手不足による稼働率の低下などから全般的に回復の足取りは重く、大崎圏域（同70.1%）や栗原圏域（同81.8%）などで減少幅が大きくなっている。



図表3 圏域別観光客入込数・宿泊観光客数

	観光客入込数（万人）					宿泊観光客数（万人泊）				
	'19	'22	'23	対'19比	対'22比	'19	'22	'23	対'19比	対'22比
仙南圏域	718	579	670	93.3%	115.7%	71	53	63	88.7%	118.9%
仙台圏域	3,679	3,182	3,936	107.0%	123.7%	742	591	727	98.0%	123.0%
大崎圏域	941	709	809	86.0%	114.1%	77	48	54	70.1%	112.5%
栗原圏域	190	142	166	87.4%	116.9%	11	8	9	81.8%	112.5%
登米圏域	347	258	281	81.0%	108.9%	9	7	8	88.9%	114.3%
石巻圏域	550	538	637	115.8%	118.4%	38	31	42	110.5%	135.5%
気仙沼圏域	371	315	324	87.3%	102.9%	42	40	40	95.2%	100.0%
合計	6,796	5,724	6,824	100.4%	119.2%	989	778	943	95.3%	121.2%

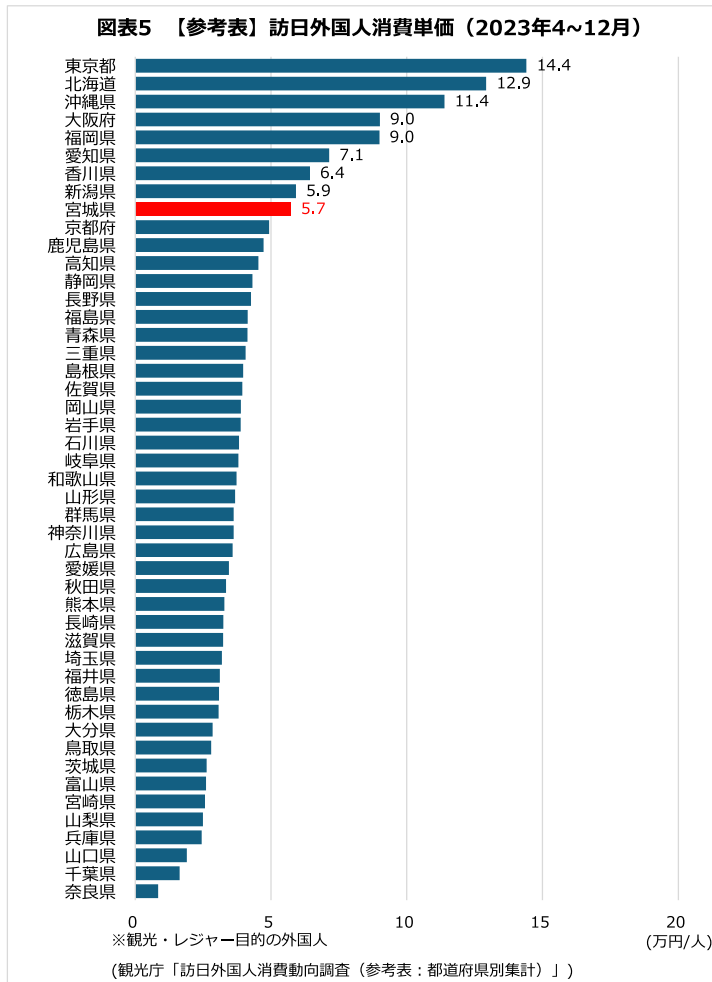
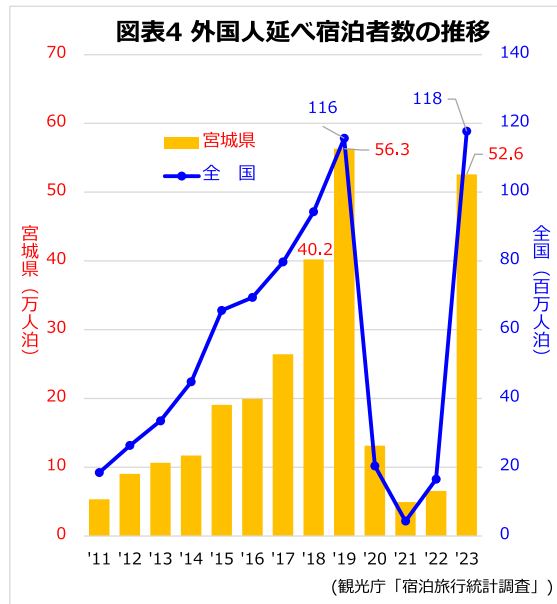
2023 年は前年の外国人の入国制限要件が緩和され（10 月）、円安基調が定着しつつあるもとで仙台空港の海外定期便が約 3 年ぶりに続々と運航を再開（1 月：台湾、4 月：韓国、7 月：中国）し、インバウンドへの追い風が強まった 1 年でもあった。

2023 年の県内の外国人延べ宿泊者数（図表 4）は前年比 8.0 倍の 52 万 5,870 人泊となり、2019 年（56 万 3,040 人泊）を 6.6% 下回ったものの、2018 年（40 万 2,110 人泊）を 30.8% 上回るなど、コロナ禍前の水準を上回った全国には及ばないものの増勢のトレンドを取り戻している。

そこで課題となるのはインバウンド消費の拡大である。参考値ではあるがコロナ明け（2023 年 4～12 月）の都道府県別の外国人消費単価（観光・レジャー目的）（図表 5）をみると、宮城県は 5.7 万円/人と全都道府県で第 8 位であるが、金額は上位 5 都道府県平均（11.3 万円/人）の半分程度と乖離があり、むしろ都道府県平均（4.5 万円/人）に近く、インバウンド消費が盛んとは言い難い。

観光業は地方では希少な成長産業として期待を集める一方で、産業別の付加価値率・賃金水準が低く、労働力や投資余力の不足する構造的な弱みを抱えている。

地元資本が外貨を稼げ、今後も伸びしろのある観光産業の持続可能性を高めるには、滞在時間を引き延ばし、willing to pay（支払意思額）を上げるような魅力ある地域資源の開発・彫琢や訪日客の消費マインドを刺激する仕掛けづくりの巧拙が問われることとなるだろう。





	公共工事請負金額 (億円)						建築物着工床面積 (千㎡)				建築物着工工事費予定額 (億円)			
	宮城県	東北	全国	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2022年	3,090	14,170	136,174	-20.2	-17.5	-4.7	762	43,652	-15.4	-0.5	1,735	101,656	-3.4	4.3
2023年	2,896	13,923	145,879	-6.3	-1.7	7.1	755	39,463	-0.9	-9.6	2,020	107,032	16.4	5.3
2021年度	3,361	14,958	140,503	-32.9	-35.6	-8.6	905	43,738	14.9	9.4	1,829	95,879	1.7	9.9
2022年度	2,949	14,685	139,937	-12.3	-1.8	-0.4	764	43,296	-15.6	-1.0	1,778	103,672	-2.8	8.1
2023年度	2,863	13,685	147,405	-2.9	-6.8	5.3	766	38,831	0.2	-10.3	2,024	112,357	13.8	8.4
'23年1~3月	558	2,645	29,368	-20.2	24.1	14.7	168	9,346	1.4	-3.7	365	22,521	13.2	9.8
4~6月	959	5,412	52,794	-13.2	-3.2	7.1	298	10,166	28.1	-20.3	934	25,607	56.5	-11.5
7~9月	776	3,707	37,944	0.4	-10.3	1.3	173	9,703	7.0	-16.7	424	27,552	9.4	-1.4
10~12月	603	2,160	25,773	17.8	-6.9	8.3	116	10,247	-42.5	7.2	297	31,351	-30.7	29.3
'24年1~3月	525	2,407	30,894	-5.9	-9.0	5.2	179	8,715	6.5	-6.8	369	27,847	1.0	23.6
2023年5月	186	1,575	14,163	-48.0	19.6	11.8	123	2,872	156.6	-22.5	185	7,334	102.8	-18.8
6月	299	1,762	18,151	0.3	-1.1	9.9	82	2,947	4.1	-35.1	554	8,057	152.9	-18.2
7月	280	1,536	13,802	8.1	9.4	6.8	41	3,195	-29.5	-31.1	96	9,510	-12.0	-14.4
8月	224	1,075	11,147	-19.0	-20.3	-3.6	80	3,280	67.9	-11.5	188	7,875	38.1	-8.8
9月	272	1,096	12,995	14.6	-20.4	0.1	52	3,228	-7.5	-2.0	140	10,168	-1.7	24.0
10月	234	957	10,933	9.2	-16.3	3.6	34	4,109	-41.9	26.9	91	11,367	-15.0	34.7
11月	188	587	7,647	4.1	-8.5	9.9	38	2,956	4.5	-6.6	96	8,569	16.8	8.4
12月	181	616	7,193	54.3	15.2	14.5	43	3,183	-59.2	0.8	110	11,415	-54.0	44.3
2024年1月	118	469	5,734	-33.4	-9.6	12.7	38	3,040	-35.9	-15.3	91	10,051	-41.0	15.4
2月	147	510	8,917	0.7	-22.9	-0.7	27	2,793	-64.5	-13.2	55	8,045	-60.8	6.5
3月	260	1,428	16,243	10.6	-2.5	6.2	114	2,882	245.2	13.5	222	9,751	218.6	55.9
4月	356	2,361	24,324	-25.0	13.8	18.8	51	3,555	-44.9	-18.2	129	12,687	-33.8	24.2
5月	225	1,304	15,901	21.0	-17.2	12.3	86	2,627	-30.1	-8.5	184	7,219	-0.7	-1.6
資料出所	東日本建設業保証(株)宮城支店 北海道、東日本、西日本の三保証株式会社						国土交通省							

注) ①公共工事請負金額の暦年・四半期の数値は当社集計。  
 ②建築物着工床面積および建築物着工工事費予定額は民間非住宅の数値で、当社集計。

	消費活動指数	宮城県消費動向指数	百貨店・スーパー (販売額: 右同)		コンビニエンスストア		家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター			
			宮城県 (億円)	全国 (億円)	前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)		前年比 (%)			
			宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国	宮城県	全国		
2022年	104.0	4,012	206,603	0.8	3.8	2.7	3.8	1.0	-0.01	7.9	5.5	-1.6	-1.4	
2023年	103.2	4,131	216,049	3.0	4.6	2.9	4.4	0.1	-1.1	8.2	8.2	-3.3	-0.03	
2021年度	106.0	3,973	199,978	-0.6	1.9	1.1	2.4	-1.2	-4.9	5.1	2.2	-2.9	-4.3	
2022年度	104.1	4,039	208,912	1.6	4.5	3.6	4.6	0.4	-0.2	8.2	5.8	-1.1	-0.9	
2023年度	103.8	4,173	219,056	3.3	4.9	2.1	3.6	1.0	-0.8	8.5	8.9	-3.5	0.3	
'23年1~3月	97.6	105.7	989	51,164	2.8	4.7	4.0	5.4	-0.9	-1.3	8.0	6.2	-2.1	-0.3
4~6月	97.6	102.3	997	51,992	2.7	4.4	2.9	4.8	-6.7	-4.9	8.1	9.1	-4.8	-1.1
7~9月	98.0	102.2	1,023	53,684	3.2	5.7	3.9	5.2	8.9	3.0	8.9	9.3	-3.0	1.9
10~12月	97.1	102.5	1,121	59,209	3.2	3.5	0.8	2.2	-0.9	-1.4	7.7	8.2	-3.1	-0.4
'24年1~3月	96.3	108.1	1,032	54,171	4.3	5.9	0.5	2.4	2.5	-0.3	9.2	9.1	-2.9	1.0
2023年5月	97.8	104.5	330	17,436	1.4	3.7	3.1	5.5	-15.3	-4.6	8.1	9.0	-5.7	-2.0
6月	97.6	100.7	334	17,461	2.2	4.3	2.1	3.6	3.9	-6.2	9.1	9.4	-5.2	-1.8
7月	98.0	96.9	357	18,741	3.2	5.9	3.5	5.2	8.5	5.2	9.6	10.2	1.0	5.2
8月	98.1	108.6	345	17,859	4.2	6.5	5.7	6.3	14.0	3.9	7.5	7.7	-3.7	0.9
9月	97.9	100.9	321	17,085	2.2	4.8	2.3	4.0	4.3	-0.4	9.7	10.2	-6.7	-0.8
10月	97.3	100.5	345	17,999	3.3	3.9	1.9	2.2	2.7	-3.4	9.5	10.3	-4.8	-1.5
11月	97.4	100.8	346	18,363	3.9	4.4	0.1	0.1	-6.8	3.3	8.4	8.9	0.5	3.1
12月	96.5	106.3	431	22,846	2.5	2.6	0.3	4.2	1.8	-3.4	5.5	5.8	-4.3	-2.2
2024年1月	95.8	106.0	358	18,264	2.9	3.3	-0.1	1.6	-5.1	-6.0	6.3	7.3	-6.4	-1.0
2月	97.0	111.8	320	17,021	5.3	7.6	3.3	5.4	3.1	-1.4	11.8	11.4	1.0	1.3
3月	96.1	106.5	354	18,886	4.7	6.9	-1.3	0.4	12.4	6.3	9.6	8.9	-2.7	2.5
4月	97.0	99.4	329	17,612	-1.1	3.0	-1.5	0.3	6.0	3.5	7.7	6.1	-1.1	0.9
5月	97.0	97.1	332	18,211	0.6	4.4	-0.4	1.3	7.5	0.6	7.4	6.6	-0.4	1.1
資料出所	日本銀行 当社		経済産業省											

注) ①消費活動指数、宮城県消費動向指数は2015年を100とした季節調整値。  
 ②百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの前年比は全店ベース。

	乗用車新車販売台数						延べ宿泊者数 (千人泊)				外国人延べ宿泊者数 (千人泊)			
	宮城県 (台)	東北 (台)	全国 (千台)	前年比 (%)			宮城県	全国	前年比 (%)		宮城県	全国	前年比 (%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国			宮城県	全国
2022年	65,013	249,896	3,443	- 3.3	- 4.8	- 6.2	8,383	450,458	30.3	41.8	66	16,503	32.6	282.3
2023年	74,387	287,733	3,988	14.4	15.1	15.8	10,072	617,475	20.1	37.1	526	117,751	701.3	613.5
2021年度	63,364	246,892	3,462	- 12.8	- 12.6	- 10.1	6,751	339,391	15.6	21.0	42	4,103	15.3	14.3
2022年度	67,620	262,607	3,609	6.7	6.4	4.2	8,938	503,999	32.4	48.5	133	36,262	216.5	783.8
2023年度	70,665	270,964	3,802	4.5	3.2	5.4	10,209	628,559	14.2	24.7	653	133,003	391.6	266.8
'23年1~3月	21,367	83,753	1,152	13.9	17.9	16.7	2,158	137,524	34.6	63.8	71	20,483	1,686.2	2,727.3
4~6月	16,822	65,241	893	19.5	20.5	23.5	2,458	145,882	19.1	41.0	141	28,464	1,136.5	1,516.8
7~9月	17,827	69,048	964	10.3	11.1	13.9	2,857	170,967	23.3	35.6	134	31,731	947.8	1,308.1
10~12月	18,371	69,691	979	14.7	11.4	10.3	2,600	163,101	8.4	19.1	179	37,074	378.4	215.1
'24年1~3月	17,645	66,984	967	- 17.4	- 20.0	- 16.1	2,295	148,609	6.3	8.1	199	35,735	179.0	74.5
2023年5月	5,122	19,837	272	19.3	22.8	28.5	866	51,350	21.0	39.5	41	9,021	713.8	1,282.4
6月	6,597	24,787	332	31.3	27.3	24.0	820	47,381	18.2	39.8	46	9,572	1,482.5	1,483.9
7月	5,773	22,669	321	3.6	4.3	11.4	889	54,444	23.9	36.6	44	11,048	1,509.1	1,467.8
8月	5,302	20,164	280	20.6	20.2	19.9	1,077	64,347	26.8	37.3	49	10,597	739.5	1,366.0
9月	6,752	26,215	363	9.1	10.9	11.8	890	52,176	18.7	32.6	41	10,085	869.4	1,121.3
10月	6,240	24,383	334	12.3	12.4	13.1	908	56,112	10.5	27.3	68	12,498	593.2	496.8
11月	6,344	24,756	343	14.2	11.7	11.7	887	54,476	11.2	18.9	57	12,035	365.7	217.3
12月	5,787	20,552	301	18.0	9.9	6.1	805	52,514	3.3	11.5	54	12,541	251.6	113.4
2024年1月	4,890	18,174	285	- 14.7	- 16.4	- 10.8	703	45,650	7.4	9.2	63	11,235	153.1	75.1
2月	5,033	18,975	298	- 18.5	- 20.8	- 16.3	746	47,848	15.4	11.7	74	11,517	206.4	86.3
3月	7,722	29,835	384	- 18.4	- 21.6	- 19.6	846	55,110	- 1.3	4.2	62	12,982	178.1	64.6
4月	4,566	18,432	258	- 10.5	- 10.6	- 10.7	736	51,896	- 4.6	10.1	72	14,502	32.7	46.9
5月	4,693	18,688	261	- 8.4	- 5.8	- 3.9								
資料出所	日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会						観光庁							

注) ①乗用車新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車および軽乗用車の合計値。  
 ②延べ宿泊者数は全宿泊施設の数値。

	完全失業者		新規求人倍率			有効求人倍率			企業物価指数		消費者物価指数 (2020年=100)			
	失業者数 (万人)	失業率 (%)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全国 (倍)	2020年 = 100	前年比 (%)	前年比 (%)			
											仙台市	全国	仙台市	全国
2022年	179	2.6	2.23	2.14	2.28	1.38	1.38	1.28	114.9	9.8	103.0	102.1	3.0	2.3
2023年	178	2.6	2.15	2.00	2.29	1.37	1.33	1.31	119.7	4.2	106.9	105.2	3.7	3.1
2021年度	191	2.8	2.17	2.05	2.09	1.33	1.31	1.16	107.0	7.1	100.4	99.9	0.5	0.1
2022年度	178	2.6	2.23	2.12	2.31	1.40	1.39	1.31	117.2	9.5	104.0	103.0	3.6	3.0
2023年度	178	2.6	2.12	1.97	2.28	1.34	1.30	1.29	119.9	2.3	107.7	105.9	3.5	2.8
'23年1~3月	180	2.6	2.24	2.05	2.33	1.42	1.37	1.34	119.7	8.3	105.3	104.0	4.0	3.5
4~6月	177	2.6	2.17	2.02	2.29	1.39	1.34	1.32	119.5	5.0	106.2	104.9	3.8	3.2
7~9月	181	2.6	2.12	1.98	2.28	1.35	1.31	1.30	119.6	3.0	107.5	105.6	3.8	3.0
10~12月	175	2.5	2.08	1.94	2.25	1.32	1.29	1.28	119.8	0.6	108.5	106.4	3.5	2.5
'24年1~3月	178	2.5	2.11	1.95	2.31	1.32	1.27	1.27	120.5	0.7	108.5	106.6	3.1	2.5
2023年5月	177	2.6	2.20	2.04	2.32	1.39	1.35	1.32	119.3	5.1	106.0	104.8	3.6	3.2
6月	174	2.5	2.20	2.03	2.31	1.37	1.33	1.31	119.2	4.1	106.8	105.0	4.0	3.3
7月	182	2.6	2.06	1.95	2.27	1.36	1.32	1.30	119.5	3.6	107.3	105.4	4.0	3.1
8月	183	2.6	2.22	2.01	2.31	1.34	1.31	1.30	119.8	3.4	107.5	105.7	4.0	3.1
9月	177	2.6	2.09	1.98	2.25	1.35	1.30	1.29	119.6	2.2	107.6	105.7	3.5	2.8
10月	176	2.5	2.01	1.96	2.25	1.33	1.30	1.29	119.5	1.1	108.6	106.4	3.8	2.9
11月	177	2.5	2.10	1.92	2.25	1.32	1.29	1.27	119.8	0.5	108.4	106.4	3.4	2.5
12月	172	2.5	2.13	1.93	2.25	1.30	1.28	1.27	120.2	0.3	108.6	106.4	3.1	2.3
2024年1月	170	2.4	2.00	1.93	2.28	1.33	1.26	1.27	120.2	0.3	108.4	106.4	2.6	2.0
2月	182	2.6	2.14	1.91	2.26	1.29	1.26	1.26	120.4	0.7	108.4	106.5	3.5	2.8
3月	182	2.6	2.20	2.02	2.38	1.33	1.28	1.28	120.8	0.9	108.8	106.8	3.3	2.6
4月	183	2.6	1.93	1.91	2.17	1.28	1.26	1.26	121.4	1.1	109.1	107.1	3.1	2.2
5月	182	2.6	1.96	1.85	2.16	1.24	1.23	1.24	122.2	2.4	109.7	107.5	3.4	2.5
資料出所	総務省		厚生労働省					日本銀行		総務省・宮城県				

注) ①完全失業者、企業物価指数は全国の数値。 ②消費者物価指数は生鮮食品を除く総合指数。  
 ③仙台市消費者物価指数の四半期の数値は当社集計。

	宮城県主要4漁港水揚								宮城県貿易			
	水揚数量 (千トン)	数 量					金 額		輸 出		輸 入	
		前 年 比 (%)					水揚金額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		塩 釜	石 巻	気仙沼	女 川							
2022年	188	-19.4	-30.2	5.1	-38.9	-36.6	495	0.6	3,359	43.1	10,669	42.9
2023年	203	7.9	14.6	-5.1	41.4	-1.2	634	28.1	3,562	6.0	11,104	4.1
2021年度	221	-4.1	-15.9	-6.5	10.1	-16.5	489	3.3	2,638	49.0	8,319	49.6
2022年度	194	-12.2	-21.5	11.3	-37.4	-18.2	525	7.3	3,525	33.6	11,552	38.9
2023年度	190	-2.1	24.8	-13.7	34.2	-25.6	617	17.5	3,792	7.6	10,993	-4.8
'23年1~3月	45	14.4	-12.5	11.1	19.3	25.0	97	44.9	941	21.4	3,201	38.3
4~6月	84	16.7	93.5	4.8	69.1	-1.3	229	46.5	804	7.5	2,172	12.4
7~9月	41	14.9	-30.6	-10.6	68.6	-38.7	169	17.1	822	-13.9	2,364	-23.9
10~12月	33	-19.8	21.1	-37.4	-2.1	-5.3	139	9.2	995	12.9	3,367	1.7
'24年1~3月	32	-29.4	34.4	-28.5	-16.2	-53.2	80	-17.7	1,172	24.5	3,090	-3.5
2023年5月	30	14.7	12.6	4.3	95.1	-16.2	79	70.7	257	3.4	835	44.9
6月	37	34.3	125.7	19.8	78.9	16.0	113	37.6	270	-4.3	413	-27.5
7月	21	-7.2	-64.6	-43.6	67.6	-49.3	79	0.8	297	-18.3	566	-46.5
8月	10	96.2	-19.0	151.0	103.5	13.5	41	40.7	237	-19.3	938	-9.7
9月	10	27.7	10.0	23.6	40.1	3.8	49	33.1	288	-3.4	861	-15.0
10月	16	25.3	106.5	-0.1	50.4	17.8	62	41.3	333	7.4	939	-13.7
11月	9	-23.2	-15.6	-29.1	-23.5	8.9	44	9.1	313	19.5	1,175	16.0
12月	8	-52.7	17.1	-64.1	-51.4	-50.1	33	-23.7	349	12.9	1,253	3.6
2024年1月	14	-12.0	255.6	-21.2	-8.5	-26.5	31	-20.3	364	36.8	1,054	-7.8
2月	12	-22.0	-25.2	-25.9	19.9	-39.6	28	-2.6	347	22.6	1,104	5.7
3月	6	-56.9	-42.7	-42.4	-52.5	-83.3	21	-29.1	461	17.6	932	-8.0
4月	15	-4.0	-65.8	-11.4	78.6	15.3	36	-2.7	402	44.9	1,155	25.1
5月	15	-50.7	0.1	-47.6	-59.8	-56.9	47	-40.3	359	39.9	973	16.5
資料出所	宮 城 県								横 浜 税 関			

注) 宮城県主要4漁港水揚の年度・四半期の数値および宮城県貿易の年度・四半期・月次の数値は当社集計。

	企 業 倒 産 (負債総額1千万円以上)								宮城県内預金残高		宮城県内貸出金残高	
	件数(件)	前 年 比 (%)			負債額(億円)	前 年 比 (%)			金 額 (億円)	前年比 (%)	金 額 (億円)	前年比 (%)
		宮城県	東 北	全 国		宮城県	東 北	全 国				
2022年	100	38.9	42.1	6.6	227	37.7	-9.1	102.6	120,926	3.4	78,276	6.6
2023年	143	43.0	27.3	35.2	187	-17.6	56.7	3.1	121,335	0.3	80,263	2.5
2021年度	86	-16.5	-3.7	-16.5	199	120.9	81.9	-3.3	118,383	2.7	74,245	3.4
2022年度	108	25.6	15.7	15.1	225	12.8	-4.6	99.0	121,092	2.3	78,618	5.9
2023年度	146	35.2	47.3	31.6	223	-0.8	40.0	6.0	121,884	0.7	80,443	2.3
'23年1~3月	41	24.2	-8.7	30.1	45	-4.5	62.4	-2.3	121,092	2.3	78,618	5.9
4~6月	35	105.9	65.7	34.1	19	-26.8	125.7	-54.8	120,583	1.9	78,519	5.9
7~9月	34	41.7	63.8	41.2	77	65.5	70.9	182.4	121,856	3.5	79,291	6.0
10~12月	33	26.9	13.9	35.2	45	-57.8	12.4	79.6	121,335	0.3	80,263	2.5
'24年1~3月	44	7.3	57.9	18.6	81	80.1	12.2	20.1	121,884	0.7	80,443	2.3
2023年5月	10	66.7	45.5	34.7	5	-76.7	-22.8	219.0	119,918	2.3	78,361	5.8
6月	18	200.0	134.8	41.0	12	486.6	476.7	-87.8	120,583	1.9	78,519	5.9
7月	11	175.0	66.7	53.4	35	306.9	47.9	91.7	120,776	2.6	78,678	5.1
8月	10	25.0	75.0	54.5	12	-64.6	-23.7	-2.7	121,330	3.8	78,808	5.0
9月	13	8.3	52.0	20.2	31	451.4	385.3	377.6	121,856	3.5	79,291	6.0
10月	10	-33.3	-29.8	33.1	11	-54.3	0.6	254.1	120,362	2.2	79,169	5.6
11月	10	233.3	34.8	38.9	24	-69.0	-47.1	-17.9	119,999	2.2	79,504	5.8
12月	13	62.5	64.5	33.7	10	120.3	236.2	30.4	121,335	0.3	80,263	2.5
2024年1月	10	-9.1	40.9	23.0	24	100.0	121.7	40.0	120,246	-0.4	79,948	2.1
2月	15	-6.3	52.8	23.4	30	345.7	-22.1	44.5	120,421	0.1	80,026	2.6
3月	19	35.7	73.0	12.0	27	3.9	55.2	-3.5	121,884	0.7	80,443	2.3
4月	16	128.6	60.0	28.4	26	976.3	117.1	-44.4	121,003	-0.1	80,012	1.8
5月	22	120.0	100.0	42.9	26	388.0	252.0	-50.9	120,536	0.5	80,466	2.7
資料出所	(株) 東 京 商 工 リ サ ー チ								日 本 銀 行			

注) ①企業倒産の四半期の数値は当社集計。

②預金残高、貸出金残高の歴年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。

経済日誌 (2024年6月分)

宮城県		東北	
7日	日本版ライドシェアの運用が仙台市で開始した。金曜日の午後4～7時台、土曜日の午前0～3時台に台数限定で実施。申請許可は9事業者、東北では初めての運用。	2日	サッカーJ2のモンテディオ山形（天童市）は新スタジアムの建設・運営を担う会社を山形市に設立した。JTB（東京都）など4社が共同出資、2027年夏開業予定。
8日	東北絆まつりが仙台市青葉区で開幕した。仙台開催は2017年以来、二日間の来場者は57万2000人と前回は12万人を上回り、過去最高を更新。来年度は大阪万博に出展。	13日	東北財務局、4～6月期法人企業景気予測調査を公表した。企業の景況判断指数（BSI）は前期比10.1ポイント改善しマイナス6.6と3期ぶりに改善。
10日	仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン3号機が更新され利用開始した。4機で年間2万個（20フィートコンテナ換算）増の最大32万個の取扱可能。	14日	福島県と福島国際研究教育機構（エフレイ）は県の福島ロボットテストフィールドをエフレイに統合する基本合意を締結した。統合は来春、エフレイにとって初の研究開発施設。
20日	航空会社のトキエア（新潟県）は仙台～新潟線を増便すると発表した。同線は今年4月に週5便で新規就航したが、7月から週7便に増便。増便後も運航時刻は変更なし。	22日	釜石港（岩手県）は新たな国際コンテナ定期航路の運航を開始した。中国の海運大手が輸出入サービスを開始するのに伴い開設、毎週土曜日に寄港。
	仙台国際空港は2023年度の決算を公表した。純損益は5億8821万円（前期：▲1億6201万円）と5期ぶりに黒字転換し、過去最高を更新。	28日	モンベル（大阪府）は道の駅「ねむの丘」（にかほ市）に「NIKAHO OUTDOOR BASE」を開業した。延べ床面積1816㎡のアウトドア拠点施設で県内では2店舗目。
国内		海外	
3日	国土交通省はトヨタ自動車など5社から「型式指定」の認証申請で不正報告があったと発表した。対象は計38車種で、重複を除く5社の不正台数の合計は500万台超。	4日	世界半導体市場統計（WSTS）は2025年の市場規模予測を発表した。世界では前年比12.5%増の6873億ドル（約107兆円）、日本では同9.3%増の7兆5088億円。
5日	厚生労働省は2023年の人口動態統計（概数）を発表した。合計特殊出生率は1.20と過去最低を更新、出生数も前年比4万3482人減し、過去最少の72万7277人。	5日	米半導体大手エヌビディアは株式時価総額が初めて3兆ドル（約468兆円）を突破した。3兆ドルの大台は米アップル、米マイクロソフトに続き3社目。
20日	国際決済銀行（BIS）は5月の「実質実効為替レート」（2020年=100）を公表した。日本円は68.65と過去最低を更新、ピークの1995年4月（193.97）の約3分の1の水準。	6日	欧州中央銀行（ECB）は政策金利を0.25%引き下げると決定した。利下げは2019年9月以来4年9カ月ぶり。主要政策金利4.25%、中銀預金金利3.75%。
27日	内閣府は「地域課題分析レポート」で2024年春闘の結果を公表した。平均賃上げ率が判明した33道府県中全国平均（5.08%）を下回ったのは23道府県。	12日	世界経済フォーラム（WEF）は2024年版「男女格差（ジェンダー・ギャップ）報告書」を発表した。首位はアイスランド、日本は先進7カ国（G7）の中で最低の118位。

資料：日本経済新聞、河北新報ほか



# 今月の事件簿

vol.32

## 「政府経済対策の名前の謎」

～日々は捜査、景気を動かす真犯人追跡中～

※題字、イラストも筆者

田口 庸友

「千尋というのかい？贅沢な名前だねえ。今日からお前の名前は“千”だ！」

2002年、ベルリン国際映画祭で金熊賞を受賞した日本アニメ映画界の金字塔・「千と千尋の神隠し」のなかでもとりわけ有名なこのセリフを放った湯婆婆は、湯屋の仕事の契約時に主人公から荻野千尋という立派な名前を奪ってもとの世界に戻れなくしようとしたが、その後“千”は同じく名前を奪われていたハクの力を借りて無事に両親を救い出し、名前も取り戻しました。

まだ子供の千尋が両親を豚にされた絶望から這い上がり、ミッション・インポッシブルに近い両親奪還を成し遂げたのは実に痛快ですが、そんな千尋の「名前」を湯婆婆が贅沢だとして引き剥がしたこのくだりは、景気的重要容疑者である財政政策を追い続けてきた者としては何やら示唆深いものを感じます。

今回のテーマは「政府の経済対策の名前」についてです。

2024年の通常国会で成立した「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」は3.6兆円を投入する政権肝煎りのいわゆる「異次元の少子化対策（こども未来戦略）」ですが、不慣れな担当女性大臣の迷走する不安定な答弁ぶりに話題をさらわれ、稀代の大盤振る舞いをまかなう財源や国民負担の見通しが“神隠し”されたままエンディングロールが流れてしまいました。

法案の内容は要するにほとんどが四方八方への給付であって、育児世帯や妊婦のほか出産・育児関連の派生需要を期待する事業者の経済的利益にはなるものの、肝心の少子化解消につながるかは甚だ疑問です。多くの識者から最大の少子化要因が「非婚化」にあると指摘されているにもかかわらず、その対策や予算については千尋にやりこめられたカオナシのごとくダンマリのありさまでは、そもそも対策の「名前」が間違っているのではないかという気さえします。

この政策を持って、湯婆婆に就職（＝法案成立）を申し込んだら、

「異次元の少子化対策というのかい？贅沢な名前だねえ。今日からお前の名前は“シン・バラマキ”だ！」

と一喝されそうですが、名前を奪われて発奮した千尋とは違い、政権のほうでは仕事の獲得（＝法案成立）さえしてしまえば、名前を奪われたのをよいことに忘れたままにして「少子化対策」という元の世界に戻ってこなくなりそうです。

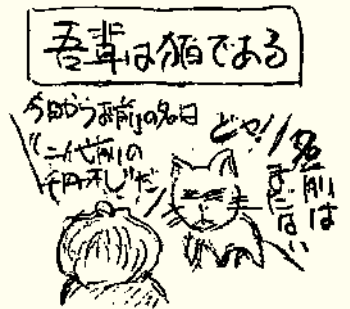
これに限らず、近年、政府の政策には「贅沢な名前」を冠したものが増えています。

「一億総活躍社会というのかい？贅沢な名前だねえ。今日からお前の名前は“とにかくみんな働け”だ！」「デフレ完全脱却のための総合経済対策というのかい？贅沢な名前だねえ。今日からお前の名前は“いつまでも続けられるバラマキ”だ！」

などとキリがありませんが、手のひらから砂金を出し、群がるものを呑み込んでいけば、いつか手がつけられなくなるほど巨大化するのにはカオナシの図体も政府債務も同じことです。

「千と千尋の神隠し」が栄冠を手にした2002年のはじめに600兆円だった政府債務もいまや1,300兆円、肥大化したカオナシの正体は高齢化による社会保障費の増加という別次元の“社会的贅沢”ですが、そんな時だからこそ、今われわれに必要なのは欲望に負けず目的を貫く千尋の根性と、口当たりのよい政策から「贅沢な名前」を引き剥がす湯婆婆の眼力なのかもしれません。

※本シリーズは2021年1月(vol.30)に一旦終了しましたが、不定期掲載コラムとして再開しています。



# 77R&C

編集

後記

## ～社会的コストをどうするか～

20年ぶりに新紙幣が発行され、銀行や肖像ゆかりの地ではちょっとしたお祭り騒ぎとなりました。ただ本義は紙幣の偽造抵抗強化、業界団体の試算では国内全体で1.6兆円程度の対応費用がかかるそうで、しかも飲食店など自動販売機の設置事業者のみが負担する「偏った社会的コスト」でもあり、浮かれてばかりもられません。これを機にキャッシュレス決済への移行を目論む向きもありますが、決済手数料も同じく事業者負担であることが普及の障壁です。何とかコストなくキャッシュレス化できないものか、「現金」なことばかり考えています。

(田口 庸友)

県内経済の基調判断

2024年9月速報

最近の県内景況をみると、総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている。

概況

生産は振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。需要面の動きをみると、公共投資は下げ止まりの動きとなっている。住宅投資は弱めの動きとなっている。個人消費は持ち直しの動きが鈍化している。雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

(参考) 県内景況判断の推移

	2024年7月	8月	9月
総括判断	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)	総じて足踏み感がうかがわれるものとなっている (据え置き)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる
公共投資	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている	下げ止まりの動きとなっている
住宅投資	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
個人消費	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している	持ち直しの動きが鈍化している
雇用情勢	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている	持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている
	2023年10~12月	2024年1~3月	4~6月
企業景況の感	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しの動きとなっている	総じて持ち直しているが、一部で弱めの動きがみられる

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

77B I

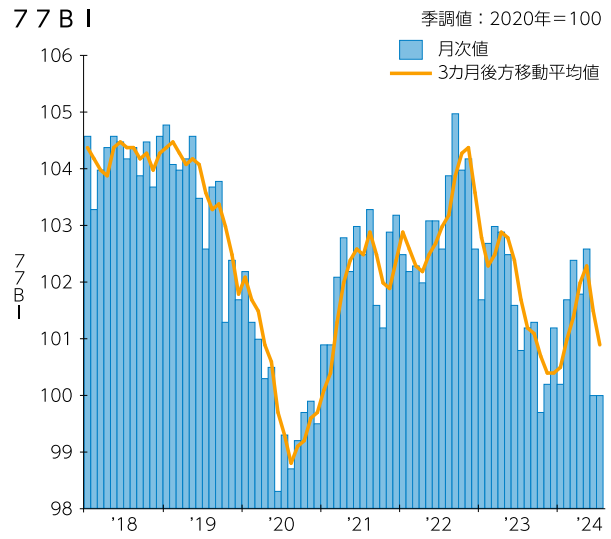
77B I (暫定値)は、持ち直しの動きが鈍化している。

7月の77B I (暫定値)は、前月比横ばいの100.0となった。

採用指標別にみると、建築物着工床面積は前月比上昇し、有効求人倍率は前月比横ばいとなり、宮城県消費動向指数は前月比低下した。また、6月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.6ポイント低下の100.9となった。

77B I



出典：当社作成 (以下も同じ)

77B I (季節調整値、2020年=100)

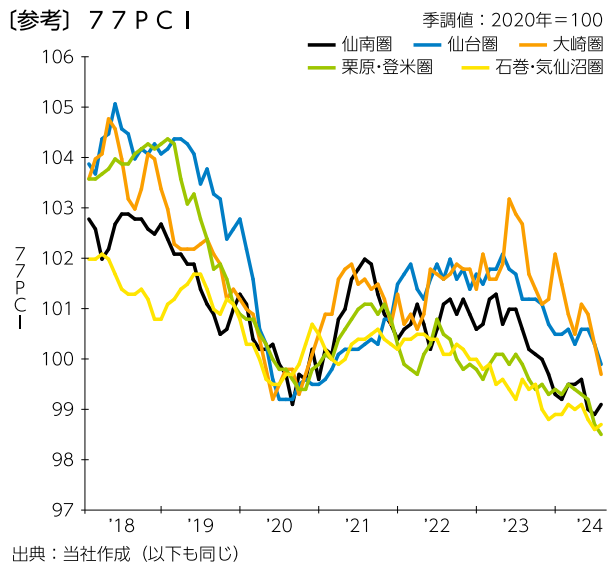
	2024年5月	6月	7月
B I 値	102.6	100.0	100.0
鉱工業生産指数	119.0	106.0	106.0
宮城県消費動向指数	97.6	96.8	95.4
建築物着工床面積	147.4	29.1	61.7
有効求人倍率	98.7	97.1	97.1

[参考] 77P C I (広域圏別景気指数) (季節調整値、2020年=100、前月比:%ポイント)

	2024年5月	6月	7月
仙南圏	▲ 0.6	▲ 0.1	0.2
仙台圏	▲ 0.1	▲ 0.2	▲ 0.5
大崎圏	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 0.6
栗原・登米圏	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 0.2
石巻・気仙沼圏	▲ 0.3	▲ 0.2	0.1

※77B Iは、前月より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

[参考] 77P C I



出典：当社作成 (以下も同じ)

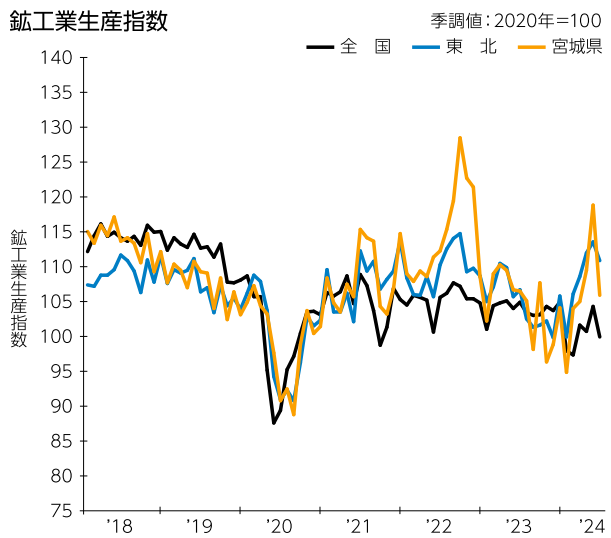
生産動向

鉱工業生産指数は、振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる。

6月の鉱工業生産指数は、前月比10.9%低下の106.0となった。業種別にみると、輸送機械工業が前月比マイナスとなったことなどから、5カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、輸送機械工業が前年を下回ったことなどから、全体では前年比3.6%の低下となり、3カ月ぶりに前年を下回った。

鉱工業生産指数



出典：宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数

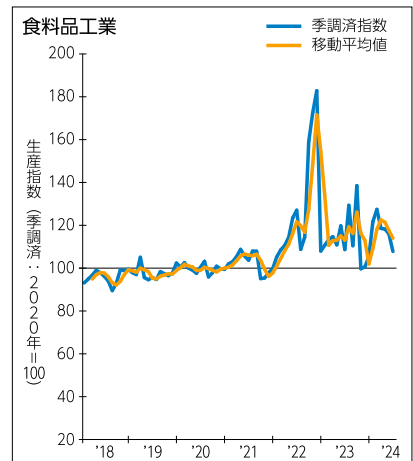
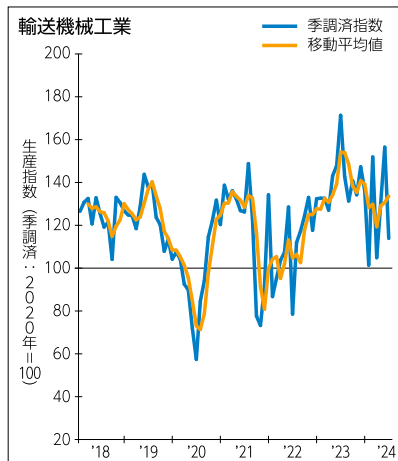
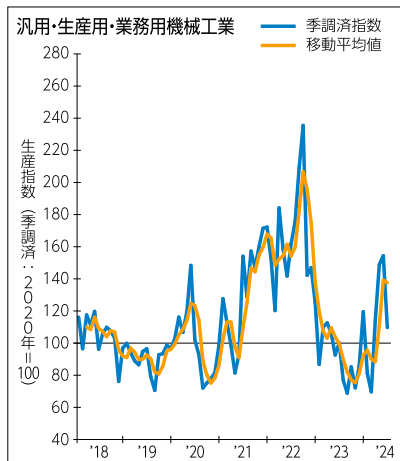
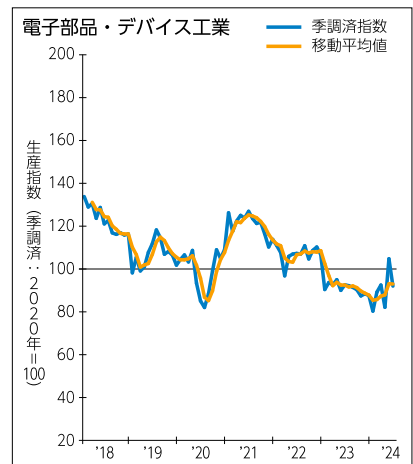
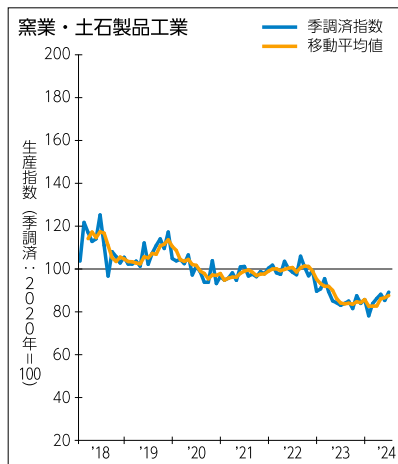
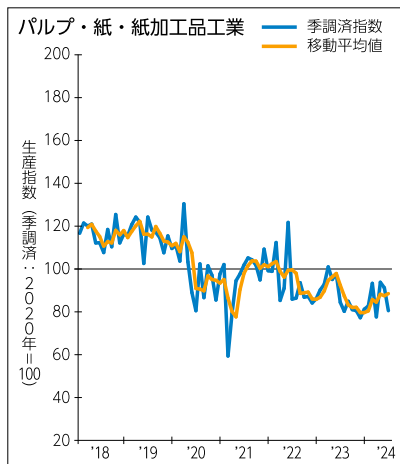
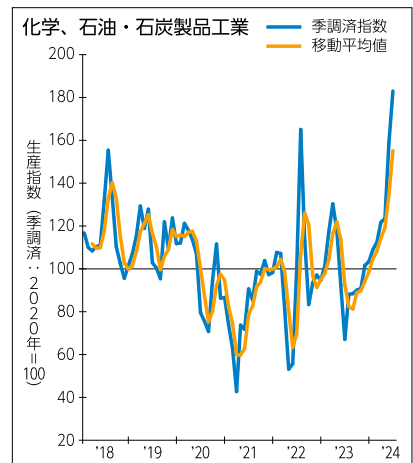
(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

	2024年4月	5月	6月
宮城県	109.6	119.0	106.0
(前年比)	1.7	13.1	▲ 3.6
東北	112.1	113.7	111.0
(前年比)	3.5	8.6	1.3
全国	100.8	104.4	100.0
(前年比)	▲ 1.8	1.1	▲ 7.9

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年 = 100、季節調整済、前年比：%)

業種	2024年4月	5月	6月
化学、石油・石炭製品工業	123.6	159.1	183.2
(前年比)	9.1	65.4	2.7倍
パルプ・紙・紙加工品工業	93.8	91.2	80.5
(前年比)	▲ 4.8	▲ 6.7	▲ 1.3
窯業・土石製品工業	88.2	85.3	89.2
(前年比)	4.3	6.9	1.3
電子部品・デバイス工業	82.1	104.8	92.0
(前年比)	▲ 10.0	16.3	▲ 4.6
汎用・生産用・業務用機械工業	148.9	154.4	109.6
(前年比)	27.3	91.4	5.0
輸送機械工業	130.7	156.6	113.9
(前年比)	▲ 1.5	3.2	▲ 36.8
食料品工業	118.3	116.0	107.8
(前年比)	4.6	▲ 1.8	▲ 0.3



**建設動向**

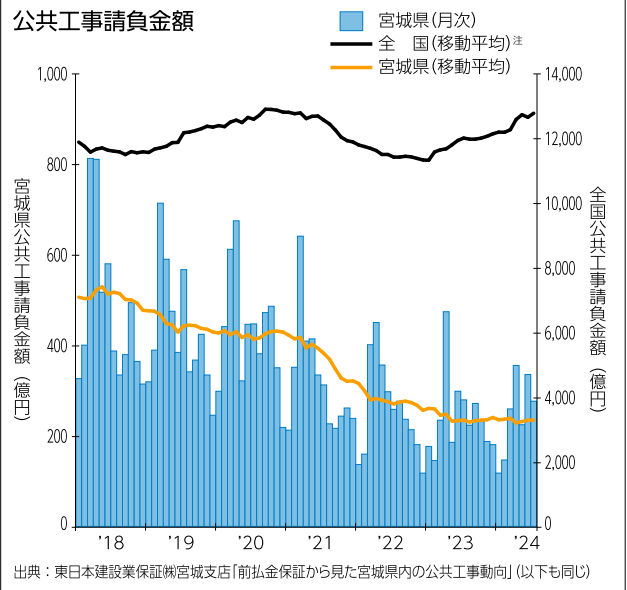
公共工事請負金額は下げ止まりの動きとなっている。住宅着工は弱めの動きとなっている。建築物着工は水準が低下している。

**公共工事**

7月の公共工事請負金額は、前年同月比1.1%減の277億円となり、3カ月ぶりに前年を下回った。発注者別にみると、国の機関では、同30.5%増の45億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同37.4%増の91億円、市町村等は同21.4%減の141億円となり、全体で同5.5%減の232億円と前年を下回った。

また、震災前の2010年7月の請負金額（162億円）と比べた水準は71.0%増となっている。



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別) (前年比、%)

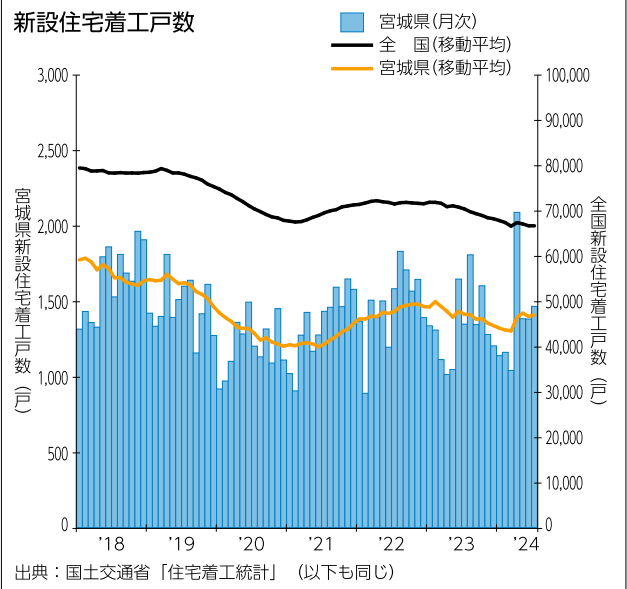
	2024年5月	6月	7月
宮城県	21.0	12.4	▲ 1.1
国の機関	▲ 33.2	9.9	30.5
県	▲ 27.7	▲ 8.5	37.4
市町村等	97.6	24.5	▲ 21.4
全国	12.3	▲ 5.3	10.9

**住宅建設**

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比8.7%増の1,468戸(全国0.2%減、68,014戸)となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

利用関係別にみると、持家が同7.8%減(368戸)、分譲が同35.3%減(189戸)と前年を下回ったが、貸家が同38.1%増(909戸)と前年を上回った。

また、震災前の2010年7月の着工戸数(1,233戸)と比べた水準は19.1%増となっている。



新設住宅着工戸数(利用関係別) (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
宮城県	32.1	▲ 16.1	8.7
持家	▲ 5.6	0.8	▲ 7.8
貸家	58.2	▲ 26.5	38.1
分譲	17.9	▲ 2.7	▲ 35.3
全国	▲ 5.3	▲ 6.7	▲ 0.2

新設住宅着工戸数(市部・郡部別) (前年比、%)

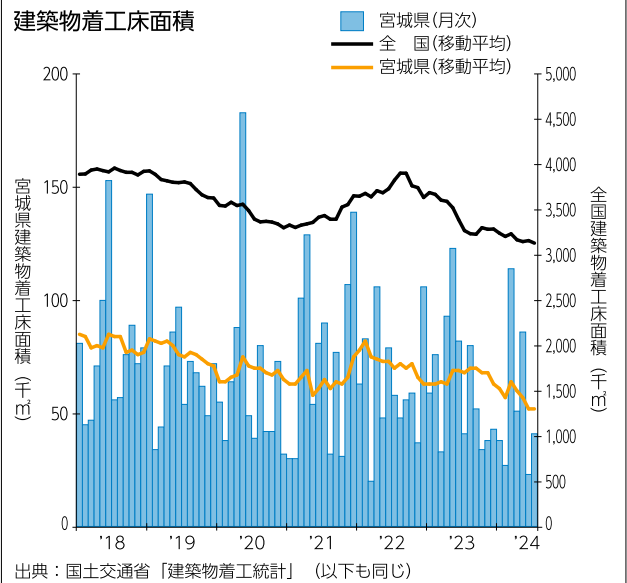
	2024年5月	6月	7月
市部	33.7	▲ 21.6	10.3
うち仙台市	65.0	▲ 27.4	14.1
うち仙台市以外	▲ 17.5	0.3	2.1
郡部	21.4	48.8	▲ 3.3

**建築物着工**

7月の**建築物着工**（民間非居住用）は、床面積が前年同月比0.5%減の41千㎡、工事費予定額は同3.0倍の285億円となり、床面積は4カ月連続して前年を下回っており、工事費予定額は4カ月ぶりに前年を上回った。

用途別に床面積をみると、工場（11千㎡：前年同月比25.9%減）などが前年を下回った。

建築物着工床面積



出典：国土交通省「建築物着工統計」（以下も同じ）

建築物着工床面積(用途別) (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
宮城県	▲ 30.1	▲ 72.3	▲ 0.5
事務所	2.2倍	▲ 5.4	3.0
店舗	7.5倍	▲ 45.0	24.5
工場	▲ 89.8	▲ 97.4	▲ 25.9
倉庫	▲ 51.6	2.2倍	5.1
その他	19.5	▲ 14.1	20.6
全国	▲ 8.5	4.6	▲ 10.3

建築物着工工事費予定額(用途別) (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
宮城県	▲ 0.7	▲ 57.0	3.0倍
事務所	53.7	4.7	2.1
店舗	7.1倍	▲ 44.9	99.0
工場	▲ 90.8	▲ 98.8	4.8
倉庫	▲ 35.0	97.5	24.7
その他	59.4	5.8倍	6.4倍
全国	▲ 1.6	4.2	▲ 10.0

**消費動向**

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はいずれもこのところ弱含んでいる。乗用車新車販売は持ち直しに向けた動きとなっている。

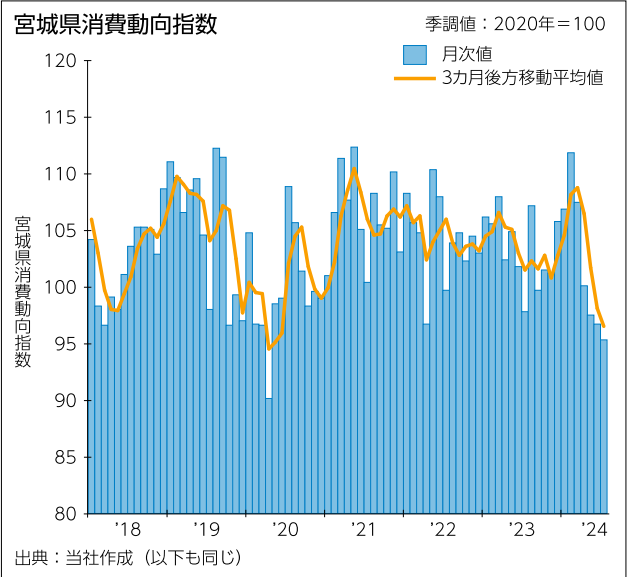
**消費動向指数**

7月の宮城県消費動向指数は、前月比1.4ポイント低下の95.4となり、5カ月連続して低下している。

消費費目別にみると、「教養娯楽」「被服・履物」などが低下した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比1.6ポイント低下の96.6となった。

宮城県消費動向指数



出典：当社作成（以下も同じ）

※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をよりの確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、前月より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

宮城県消費動向指数 (季節調整値、2020年=100)

	2024年5月	6月	7月
消費動向指数	97.6	96.8	95.4
家賃指数	107.2	107.2	107.2
乗用車販売指数	97.0	85.8	98.0
コア消費支出指数	104.6	100.0	97.7

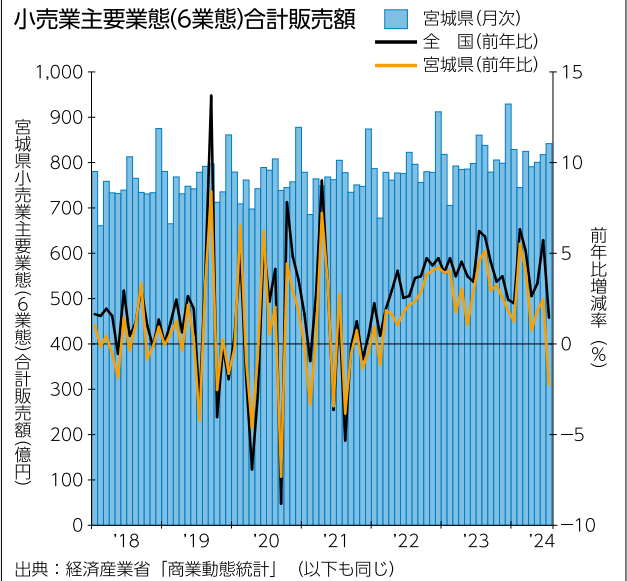
小売業主要業態販売

7月の小売業主要業態(6業態)の合計販売額(全店ベース)

は、前年同月比2.2%減の846億円(全国1.5%増、4兆5,778億円)となり、29カ月ぶりに前年を下回った。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同3.2%減の346億円(全国1.3%増)となり、3カ月ぶりに前年を下回った。コンビニエンスストアは同2.6%減の216億円(全国0.7%増)となり、5カ月連続して前年を下回っている。家電大型専門店は同8.1%減の65億円(全国1.6%増)となり、6カ月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは同5.2%増の160億円(全国4.5%増)となり、40カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同6.1%減の59億円(全国1.5%減)となり、2カ月ぶりに前年を下回った。

小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額 (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
6業態合計(宮城県)	1.9	2.5	▲ 2.2
百貨店・スーパー	0.6	2.0	▲ 3.2
コンビニエンスストア	▲ 0.4	▲ 0.03	▲ 2.6
家電大型専門店	7.5	0.2	▲ 8.1
ドラッグストア	7.5	7.6	5.2
ホームセンター	▲ 0.4	3.4	▲ 6.1
6業態合計(全国)	3.4	5.8	1.5

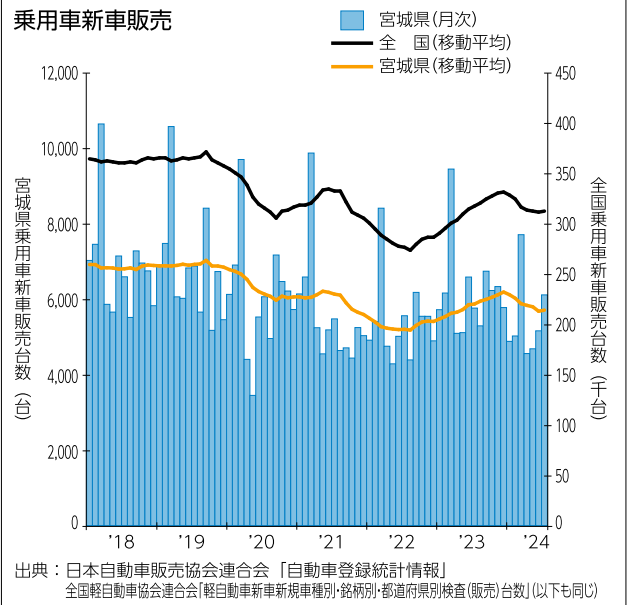
注) 全店ベース

乗用車新車販売

7月の乗用車新車販売台数は、前年同月比6.1%増(全国5.5%増)の6,124台となり、7カ月ぶりに前年を上回った。

車種別にみると、普通車は、同7.4%増(全国3.5%増)の2,676台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。小型車は、同0.7%減(全国4.0%増)の1,644台となり、7カ月連続して前年を下回っている。また、軽乗用車は、同10.9%増(全国9.7%増)の1,804台となり、7カ月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車販売



乗用車新車販売台数 (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
宮城県	▲ 8.4	▲ 21.6	6.1
普通車	0.2	▲ 17.3	7.4
小型車	▲ 9.4	▲ 32.6	▲ 0.7
軽乗用車	▲ 17.6	▲ 17.9	10.9
全国	▲ 3.9	▲ 6.1	5.5



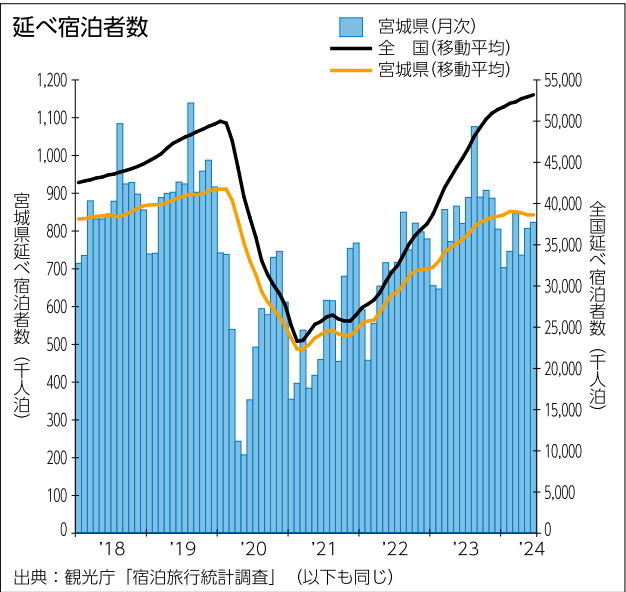
**観光動向**

6月の延べ宿泊者数は、前年同月比0.4%増の823千人泊となり、4カ月ぶりに前年を上回った。

居住地別にみると、県内宿泊客は同12.5%減の195千人泊と4カ月連続して前年を下回っており、県外宿泊客は同4.7%増の563千人泊と4カ月ぶりに前年を上回った。

また、外国人の延べ宿泊者数は、同10.6%増の51千人泊となり、23カ月連続して前年を上回っている。

延べ宿泊者数



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)

	2024年4月	5月	6月
宮城県	736	807	823
うち県内客	156	190	195
うち県外客	463	559	563
うち外国人	72	46	51
全国	51,896	53,901	50,360
うち外国人	14,502	13,563	13,466

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2024年4月	5月	6月
宮城県	▲ 4.6	▲ 6.9	0.4
うち県内客	▲ 8.1	▲ 9.0	▲ 12.5
うち県外客	▲ 13.0	▲ 5.1	4.7
うち外国人	32.7	11.0	10.6
全国	10.1	5.0	6.3
うち外国人	46.9	50.4	40.7

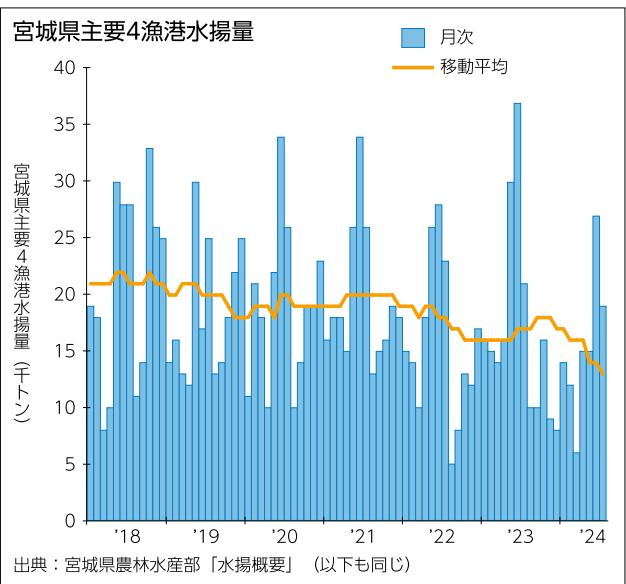
**水産動向**

7月の主要4漁港(塩釜、石巻、気仙沼、女川)における水揚げは、数量が前年同月比11.4%減の19千トン、金額が同10.9%減の70億円となり、数量は9カ月連続して、金額は8カ月連続して前年を下回っている。

魚種別にみると、数量はカツオ、金額はサケ・マスなどが減少した。

漁港別にみると、数量は塩釜、石巻が前年を上回ったが、気仙沼、女川が前年を下回った。金額は石巻が前年を上回ったが、塩釜、気仙沼、女川が前年を下回った。

宮城県主要4漁港水揚量



主要漁港水揚量 (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
合計	▲ 50.7	▲ 27.2	▲ 11.4
塩釜	0.1	▲ 13.3	58.9
石巻	▲ 47.6	▲ 30.9	7.9
気仙沼	▲ 59.8	▲ 20.0	▲ 17.1
女川	▲ 56.9	▲ 31.6	▲ 35.0

主要漁港水揚金額 (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月
合計	▲ 40.3	▲ 14.8	▲ 10.9
塩釜	▲ 16.6	▲ 9.9	▲ 11.0
石巻	▲ 32.3	▲ 19.4	3.2
気仙沼	▲ 65.8	▲ 15.0	▲ 9.4
女川	▲ 19.4	▲ 8.1	▲ 36.6

貿易動向

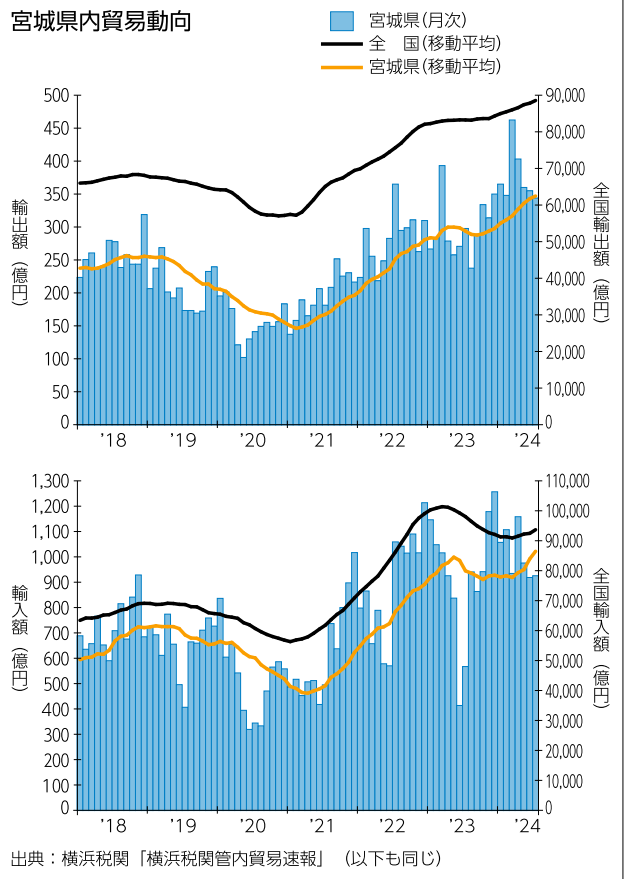
7月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）は、輸出が前年同月比15.3%増の343億円、輸入が同63.2%増の923億円となった。

輸出は有機化合物が増加したことなどから10カ月連続して前年を上回っている。一方、輸入は原油・粗油が増加したことなどから4カ月連続して前年を上回っている。

輸出額・輸入額 (前年比、%)

		2024年5月	6月	7月
宮城県	輸出	39.9	31.1	15.3
	輸入	16.5	2.2倍	63.2
全国	輸出	13.5	5.4	10.3
	輸入	9.5	3.2	16.6

宮城県内貿易動向



物価動向

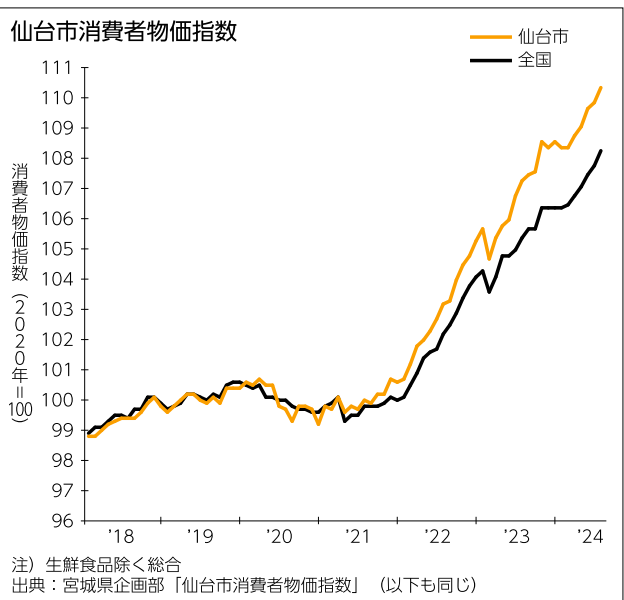
7月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年同月比2.8%上昇の110.4となり37カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「光熱・水道」「生鮮食品を除く食料」などが上昇した。

消費者物価指数(費目別) (前年比、%)

		2024年5月	6月	7月
生鮮食品を除く食料		4.4	3.7	2.5
住居		0.1	0.1	0.5
光熱・水道		8.1	4.3	9.6
家具・家事用品		4.7	2.9	5.1
被服および履物		3.3	2.9	2.9
保健医療		1.2	1.6	1.9
交通・通信		3.3	3.4	1.8
教育		3.4	3.4	3.4
教養娯楽		5.6	6.0	4.0
諸雑費		1.7	1.2	1.9

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品除く総合  
出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」(以下も同じ)

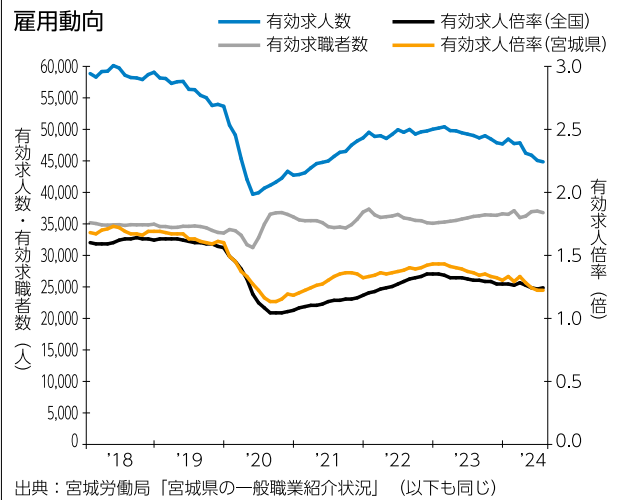
消費者物価指数(生鮮食品を除く総合) (前年比、%)

		2024年5月	6月	7月
仙台市		3.4	2.9	2.8
全国		2.5	2.6	2.7

### 雇用動向

雇用情勢は持ち直しの動きに足踏みがみられる一方、一部では人手不足による影響が強まっている。

7月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月に比べ有効求職者数、有効求人数ともに減少したことなどから、前月比横ばいの1.22倍となった。また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べて宿泊業・飲食サービス業などが減少した。有効求人倍率(原数値)を職業安定所別にみると、大和(1.38倍)、仙台(1.36倍)などが1倍を上回っている一方、大河原(0.62倍)、塩釜(0.69倍)などは1倍を下回っている。



有効求人倍率等 (倍、%)

	2024年5月	6月	7月
有効求人倍率(宮城県)	1.24	1.22	1.22
(全国)	1.24	1.23	1.24
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 7.7	▲ 13.9	▲ 2.3

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値

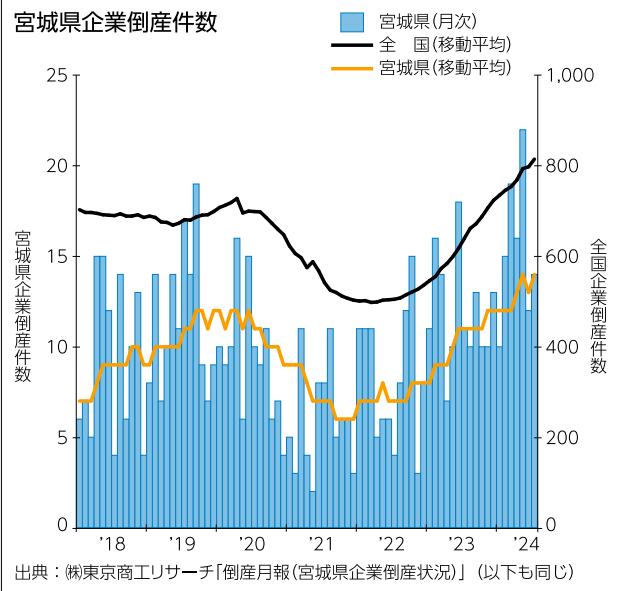
### 職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2024年5月	6月	7月
気仙沼	1.02	0.97	1.09
石巻	1.10	1.15	1.23
塩釜	0.63	0.65	0.69
仙台	1.31	1.31	1.36
大和	1.20	1.21	1.38
古川	0.90	0.89	0.90
築館	1.23	1.10	1.20
迫	0.74	0.72	0.79
大河原	0.57	0.56	0.62
白石	1.02	1.05	1.19

### 倒産動向

7月の企業倒産(負債総額1千万円以上)は、件数では前年同月比27.3%増の14件、負債額では同41.8%減の21億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が5件、製造業、サービス業他が各3件などとなっている。主因別では、販売不振が11件、信用性低下が3件となっている。地域別では、仙台市が8件などとなっている。



企業倒産件数・負債額 (件、百万円)

	2024年5月	6月	7月	
宮城県	件数	22	12	14
	負債額	2,567	1,783	2,054
全国	件数	1,009	820	953
	負債額	136,769	109,879	781,206

企業倒産件数・負債額 (前年比、%)

	2024年5月	6月	7月	
宮城県	件数	2.2倍	▲ 33.3	27.3
	負債額	4.9倍	51.2	▲ 41.8
全国	件数	42.9	6.5	25.7
	負債額	▲ 50.9	▲ 27.2	4.8倍

人口動向

8月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比16,234人減の224万9,490人となり、40カ月連続して前年を下回っている。

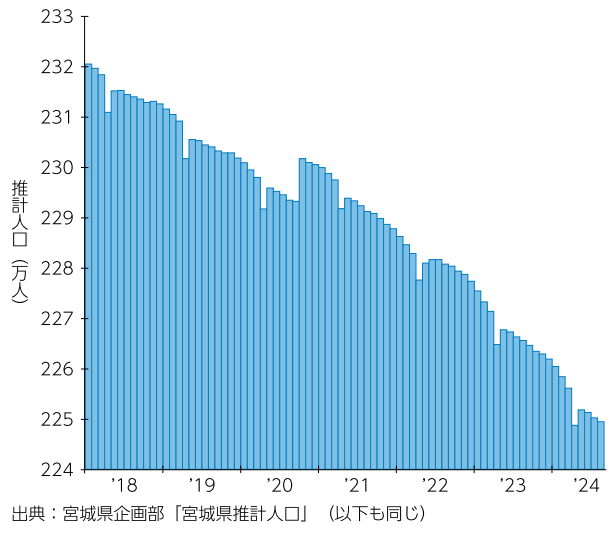
人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万6,998人減、社会増減は764人増となった。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、名取市（202人増）、富谷市（110人増）の2市、減少したのは石巻市（2,290人減）、仙台市（1,813人減）など33市町村となっている。

また、震災前の2011年3月1日現在の人口（234万6,853人）と比べると、県全体では9万7,363人減となっている。

市町村別にみると、仙台市（4万9,785人増）、名取市（5,446人増）など6市町村では増加したが、石巻市（2万8,355人減）、気仙沼市（1万6,896人減）など29市町では減少している。

宮城県人口動向



出典：宮城県企画部「宮城県推計人口」（以下も同じ）

宮城県人口 (人)

	2024年6月	7月	8月
総人口	2,251,346	2,250,274	2,249,490
自然増減	▲ 1,259	▲ 1,100	▲ 1,136
社会増減	738	28	352

注）総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向(推計人口)

(人)

	2011年3月	2023年8月	2024年8月	前年比	震災前比		2011年3月	2023年8月	2024年8月	前年比	震災前比
	①	②	③	③-②	③-①		①	②	③	③-②	③-①
宮城県	2,346,853	2,265,724	2,249,490	▲ 16,234	▲ 97,363	村田町	11,939	10,125	9,965	▲ 160	▲ 1,974
仙台市	1,046,737	1,098,335	1,096,522	▲ 1,813	▲ 49,785	柴田町	39,243	37,517	37,082	▲ 435	▲ 2,161
石巻市	160,394	134,329	132,039	▲ 2,290	▲ 28,355	川崎町	9,919	7,940	7,724	▲ 216	▲ 2,195
塩釜市	56,221	50,781	50,488	▲ 293	▲ 5,733	丸森町	15,362	11,284	10,949	▲ 335	▲ 4,413
気仙沼市	73,154	57,608	56,258	▲ 1,350	▲ 16,896	亘理町	34,795	32,770	32,576	▲ 194	▲ 2,219
白石市	37,273	31,062	30,351	▲ 711	▲ 6,922	山元町	16,608	11,587	11,452	▲ 135	▲ 5,156
名取市	73,603	78,847	79,049	202	5,446	松島町	15,014	12,783	12,574	▲ 209	▲ 2,440
角田市	31,188	26,703	26,308	▲ 395	▲ 4,880	七ヶ浜町	20,353	17,423	17,323	▲ 100	▲ 3,030
多賀城市	62,990	62,580	62,262	▲ 318	▲ 728	利府町	34,279	35,037	34,986	▲ 51	707
岩沼市	44,160	43,531	43,402	▲ 129	▲ 758	大和町	25,366	28,491	28,369	▲ 122	3,003
登米市	83,691	72,334	70,906	▲ 1,428	▲ 12,785	大郷町	8,871	7,533	7,383	▲ 150	▲ 1,488
栗原市	74,474	60,878	59,490	▲ 1,388	▲ 14,984	大衡村	5,361	5,560	5,455	▲ 105	94
東松島市	42,840	38,054	37,546	▲ 508	▲ 5,294	色麻町	7,406	6,321	6,175	▲ 146	▲ 1,231
大崎市	134,950	123,201	121,480	▲ 1,721	▲ 13,470	加美町	25,421	20,871	20,413	▲ 458	▲ 5,008
富谷市	47,501	51,382	51,492	110	3,991	涌谷町	17,399	14,491	14,133	▲ 358	▲ 3,266
蔵王町	12,847	10,853	10,695	▲ 158	▲ 2,152	美里町	25,055	23,047	22,723	▲ 324	▲ 2,332
七ヶ宿町	1,664	1,179	1,163	▲ 16	▲ 501	女川町	9,932	6,133	6,022	▲ 111	▲ 3,910
大河原町	23,465	23,579	23,378	▲ 201	▲ 87	南三陸町	17,378	11,575	11,357	▲ 218	▲ 6,021

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡・転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）  
 自然増減数＝出生者数－死亡者数 社会増減数＝転入者数－転出者数